

**千葉市**  
**障害者計画・障害福祉計画策定に係る**  
**実態調査報告書**

－障害者生活実態・意向調査－

平成 29 年 3 月

千 葉 市



# 目 次

## 第1章 調査の概要

1 調査の目的と方法.....	1
2 回収結果.....	5
調査結果の利用にあたって .....	6

## 第2章 アンケート調査の結果

### I 在宅の方（18歳以上）を対象とした調査

1 本人について .....	8
2 医療機関への受診状況について .....	16
3 家族や介助者について .....	24
4 相談や情報入手について .....	30
5 暮らしについて .....	42
6 災害対策について.....	55
7 日中活動・就労について .....	60
8 運動やスポーツについて .....	69
9 将来について .....	78
10 障害のある人に対する理解度について .....	86
11 サービス利用について .....	94
12 収入や利用者負担について.....	111
13 市の障害者施策について .....	113
14 自由意見.....	114

### II 施設に入所している方を対象とした調査

1 本人について .....	120
2 医療機関への受診状況について .....	125
3 施設への入所について .....	128
4 相談や情報入手について .....	132

5	日常生活（施設での生活）について.....	136
6	将来について .....	150
7	障害のある人に対する理解度.....	157
8	サービス利用について .....	165
9	収入について .....	169
10	市の障害者施策について .....	170
11	自由意見.....	171

### Ⅲ 18歳未満の方と保護者の方を対象とした調査

1	本人について .....	176
2	医療機関への受診状況について .....	182
3	家族や介助者について .....	191
4	相談や情報入手について .....	198
5	暮らしについて .....	206
6	災害対策について.....	220
7	療育・保育について.....	226
8	学校・教育について.....	234
9	日中活動・就労について .....	244
10	運動やスポーツについて .....	245
11	将来について .....	252
12	障害のある人に対する理解度について.....	257
13	サービス利用について .....	267
14	収入や利用者負担について.....	282
15	市の障害者施策について .....	284
16	自由意見.....	285

### Ⅳ 発達障害のある方を対象とした調査

1	本人について .....	291
2	医療機関への受診状況について .....	296
3	家族や介助者について .....	297
4	相談や情報入手について .....	300



5	暮らしについて .....	305
6	災害対策について .....	310
7	日中活動・就労について .....	313
8	運動やスポーツについて .....	316
9	将来について .....	319
10	障害のある人に対する理解度について .....	322
11	サービス利用について .....	326
12	収入や利用者負担について .....	334
13	市の障害者施策について .....	335
14	自由意見 .....	336

## **V 発達障害のある 18 歳未満の方とその保護者の方を対象とした調査**

1	本人について .....	339
2	医療機関への受診状況について .....	344
3	家族や介助者について .....	345
4	相談や情報入手について .....	348
5	暮らしについて .....	352
6	災害対策について .....	357
7	療育・保育について .....	360
8	学校・教育について .....	367
9	日中活動・就労について .....	372
10	運動やスポーツについて .....	373
11	将来について .....	376
12	障害のある人に対する理解度について .....	378
13	サービス利用について .....	383
14	収入や利用者負担について .....	389
15	市の障害者施策について .....	390
16	自由意見 .....	391

## VI サービス事業者の方を対象とした調査

1 事業所について .....	393
2 職員について .....	398
3 サービス提供について .....	403
4 障害者の虐待防止について .....	410
5 災害時の対策について .....	411
6 感染症対策について .....	412
7 障害者の差別解消について .....	413
8 自由意見 .....	414

## 第3章 障害者団体・障害者施設関係団体等とのヒアリング調査の結果

1 ヒアリング調査の概要 .....	415
2 ヒアリング調査における意見等 .....	415

## 資料編

- 千葉市障害者生活実態・意向調査調査票（在宅の方）
- 千葉市障害者生活実態・意向調査調査票（施設に入所している方）
- 千葉市障害者生活実態・意向調査調査票（18歳未満の方と保護者の方）
- 千葉市障害者生活実態・意向調査調査票（発達障害のある方）
- 千葉市障害者生活実態・意向調査調査票（18歳未満の発達障害のある方とその保護者の方）
- 千葉市障害者生活実態・意向調査調査票（サービス事業者の方）

## 第1章 調査の概要

---



## 1 調査の目的と方法

### (1) 調査の目的

福祉・保健・医療・雇用・教育・生活環境など、幅広い分野を対象とした障害者施策の総合的推進と、障害福祉サービス等の必要見込量とその確保のための方策を策定するためには、障害者等の生活実態と意向を明らかにするための基礎調査が不可欠です。

この調査は、障害者基本法第11条第3項に規定する障害者計画及び障害者総合支援法第88条に規定する障害福祉計画の次期計画の策定に係る必要なデータを収集し、障害者施策の一層の推進を図ることを目的として実施しました。

### (2) アンケート調査の実施方法

#### ①調査の対象

千葉市に住所のある方で、身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方と、自立支援医療（精神通院医療）を利用している方及び千葉市療育センターまたは千葉市大宮学園に通っている方の中から対象者を選定しました。

対象者	分類	人数	抽出数	対象者の選定方法
Ⅰ 在宅の方 (42,954 名)	身体障害	32,432	1,500	身体障害者手帳をお持ちの18歳以上の方から抽出
	知的障害	4,163	500	療育手帳をお持ちの18歳以上の方から抽出
	精神障害	6,359	500	精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方と、自立支援医療（精神通院医療）を利用している方から抽出
Ⅱ 施設に入 所している 方 (753 名)	市内施設	394	394	身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳をお持ちで、千葉市から障害者施設に入所している方（全数）
	県内施設	317	317	
	県外施設	42	42	
Ⅲ 18歳未満 の方と保護 者の方 (3,156 名)	身体障害	1,234	500	身体障害者手帳をお持ちの18歳未満の方から抽出
	知的障害	1,922	500	療育手帳をお持ちの18歳未満の方から抽出
Ⅳ 発達障害のある方(251 名)		251	244	精神障害者保健福祉手帳または自立支援医療（精神通院医療）受給者証をお持ちの18歳以上の方のうち、発達障害の類型に属する病名での申請がある方

対象者	人数	抽出数	対象者の選定方法
V 発達障害のある 18 歳未満の方とその保護者の方 (61 名)	25	25	精神障害者保健福祉手帳または自立支援医療（精神通院医療）受給者証をお持ちの 18 歳未満の方のうち、発達障害の類型に属する病名での申請がある方（全数）
	36	36	千葉市療育センターまたは千葉市大宮学園に通っている方のうち、発達障害の類型に属する病名での申請がある方に対して、一定期間窓口配布
VI サービス事業者の方 (387 名)	387	100	千葉市内に所在地のある障害福祉サービス事業所から抽出

## ②調査の方法

「在宅の方（18 歳以上）」、「18 歳未満の方と保護者の方」、「発達障害のある方」、「発達障害のある 18 歳未満の方とその保護者の方」を対象とした調査では、対象の方に郵送（一部窓口配布）で調査票を配布し、無記名で郵送回収しました。

「施設に入所している方」を対象とした調査では、対象の方が入所している施設を通じて調査票を配布し、無記名で郵送回収しました。

「サービス事業者の方」を対象とした調査では、対象の事業所に郵送で調査票を配布し、無記名で郵送回収しました。

## ③調査期間

平成 29 年 1 月 21 日～2 月 15 日の期間に実施しました。

## （3）ヒアリング調査の実施方法

### ①調査の対象

千葉市内の障害者団体・障害者施設関係団体等 18 団体を対象としました。（順不同）

団体の種類	団体名
当事者団体	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特定非営利活動法人千葉市視覚障害者協会</li> <li>・千葉市聴覚障害者協会</li> <li>・千葉市中途失聴・難聴者協会</li> <li>・千葉市身体障害者福祉会</li> <li>・千葉市オストミー協会</li> <li>・千葉市腎臓病患者友の会</li> </ul>

団体の種類	団体名
障害児者の保護者の会・家族会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・千葉県肢体不自由児者父母の会</li> <li>・千葉県ことばを育てる会</li> <li>・千葉県重症心身障害児(者)を守る会</li> <li>・千葉県手をつなぐ育成会</li> <li>・千葉県自閉症協会</li> <li>・特定非営利活動法人千家連</li> <li>・ちば高次脳機能障害者と家族の会</li> </ul>
障害者施設団体・事業所団体	<ul style="list-style-type: none"> <li>・千葉県身体障害者施設連絡協議会</li> <li>・千葉県知的障害者福祉施設連絡協議会</li> <li>・千葉県心身障がい者ワークホーム等連絡会</li> <li>・千葉県精神障害者共同作業所等連絡会</li> <li>・千葉県障害福祉サービス事業者連絡協議会</li> </ul>

## ②調査の方法

対象団体に事前に調査票を配布し、ヒアリングの当日に代表の方に会場に来ていただいて、調査票の記入内容を中心にお話を伺う方法で実施しました。

## ③調査期間

平成28年6月29日から8月5日の間に実施しました。

調査日	団体名
6月29日	・特定非営利活動法人千葉県視覚障害者協会
7月 4日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・千葉市中途失聴・難聴者協会</li> <li>・千葉県肢体不自由児者父母の会</li> </ul>
7月 6日	・千葉県自閉症協会
7月 7日	・千葉県腎臓病患者友の会
7月 8日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・千葉県オストミー協会</li> <li>・千葉県重症心身障害児(者)を守る会</li> </ul>
7月11日	・千葉県聴覚障害者協会

調査日	団体名
7月13日	・千葉市知的障害者福祉施設連絡協議会
7月14日	・千葉市ことばを育てる会 ・千葉市身体障害者福祉会
7月15日	・特定非営利活動法人千家連 ・千葉市障害福祉サービス事業者連絡協議会
7月19日	・千葉市手をつなぐ育成会 ・千葉市身体障害者施設連絡協議会
7月20日	・千葉市心身障がい者ワークホーム等連絡会
7月25日	・千葉市精神障害者共同作業所等連絡会
8月 5日	・ちば高次脳機能障害者と家族の会



## 2 回収結果

調査票の種類	配布数	有効回収数	有効回収率
I 在宅の方	2,500	1,135	45.4%
II 施設に入所している方	753	568	75.4%
III 18 歳未満の方と保護者の方	1,000	427	42.7%
IV 発達障害のある方	244	120	49.2%
V 発達障害のある 18 歳未満の方とその保護者の方	61	34	55.7%
VI サービス事業者の方	100	64	64.0%

#### ◆調査結果の利用にあたって

- (1) 集計した数値（％）は小数点第2位を四捨五入し、小数点第 1 位まで表示しています。このため、質問に対する回答の選択肢が 1 つだけの場合、選択肢の数値（％）をすべて合計しても、100.0%にならない場合があります。また、説明文の中で複数の選択肢を合わせた割合を記載している場合、実数から再計算した上で四捨五入しているため、各選択肢の割合をそのまま合計した値と若干異なっています。
- (2) 回答者数を分母として割合（％）を計算しているため、複数回答の場合には、各選択肢の割合を合計すると 100%を超えます。
- (3) 障害種別ごとの集計結果において、2 つ以上障害のある方は、それぞれの集計結果に重複して入っています。
- (4) 掲載の都合上、選択肢の文言については一部省略している場合があります。

## 第2章 アンケート調査の結果

---

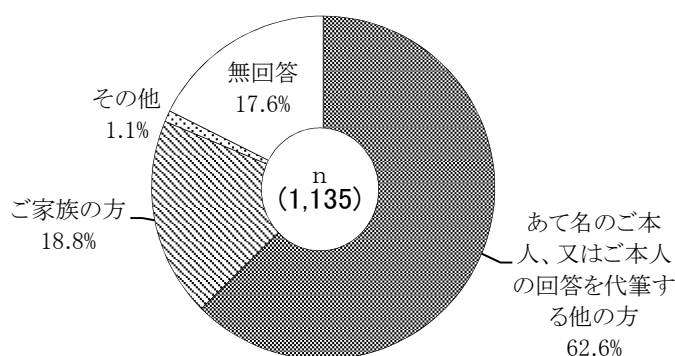
### I 在宅の方（18歳以上）を対象とした調査



問 この調査票でご回答いただくのはどなたですか。（〇は1つ）

「あて名のご本人、又はご本人の回答を代筆する他の方」が62.6%、「ご家族の方」が18.8%となっています。

## ●全体



## ●障害種別

	調査数	あて名のご本人、又はご本人の回答を代筆する他の方	ご家族の方	その他	無回答
全 体	1135	710	213	12	200
	100.0	62.6	18.8	1.1	17.6
身体障害	772	515	112	5	140
	100.0	66.7	14.5	0.6	18.1
知的障害	226	65	116	5	40
	100.0	28.8	51.3	2.2	17.7
精神障害	231	164	27	2	38
	100.0	71.0	11.7	0.9	16.5
難病	224	139	43	1	41
	100.0	62.1	19.2	0.4	18.3
無回答	7	2	2	-	3
	100.0	28.6	28.6	-	42.9

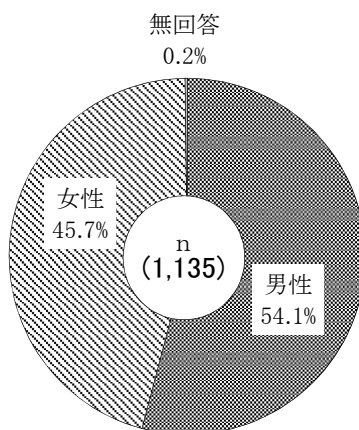
## 1. 本人について

### (1) 性別

問1 あなたの性別をおたずねします。(〇は1つ)

「男性」が54.1%、「女性」が45.7%となっています。

#### ●全体



#### ●障害種別

	調査数	男性	女性	無回答
全 体	1135	614	519	2
	100.0	54.1	45.7	0.2
身体障害	772	415	357	—
	100.0	53.8	46.2	—
知的障害	226	137	89	—
	100.0	60.6	39.4	—
精神障害	231	110	120	1
	100.0	47.6	51.9	0.4
難病	224	115	109	—
	100.0	51.3	48.7	—
無回答	7	3	3	1
	100.0	42.9	42.9	14.3

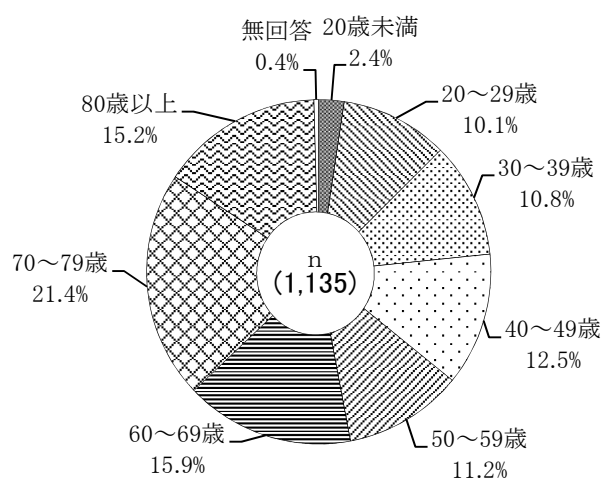
## (2) 年齢

問2 あなたの年齢について、平成29年1月1日現在の年齢をご記入ください。

全体では、「70～79歳」が21.4%で最も多く、以下「60～69歳」が15.9%、「80歳以上」が15.2%となっています。

障害種別でみると、身体障害のある方では高齢の方が多く、平均年齢は66.6歳となっています。知的障害の方では40歳未満の方が多く、平均年齢は35.1歳となっています。精神障害の方の平均は44.2歳、難病の方の平均は59.7歳となっています。

### ●全体



### ●障害種別

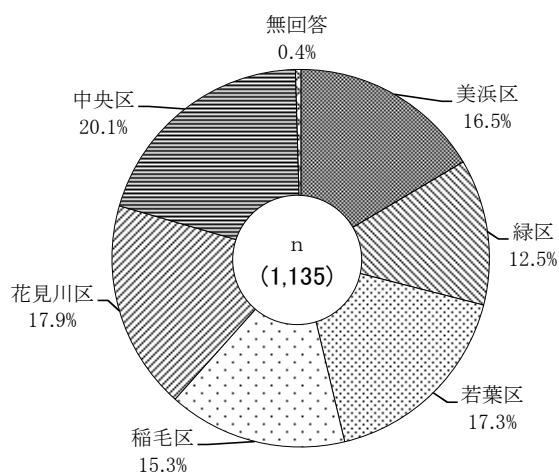
	調査数	20歳未満	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	無回答	平均(歳)
全 体	1135	27	115	123	142	127	180	243	173	5	57.7
	100.0	2.4	10.1	10.8	12.5	11.2	15.9	21.4	15.2	0.4	
身体障害	772	5	28	36	57	76	159	237	171	3	66.6
	100.0	0.6	3.6	4.7	7.4	9.8	20.6	30.7	22.2	0.4	
知的障害	226	22	71	52	52	17	6	3	2	1	35.1
	100.0	9.7	31.4	23.0	23.0	7.5	2.7	1.3	0.9	0.4	
精神障害	231	3	34	54	62	45	21	9	3	-	44.2
	100.0	1.3	14.7	23.4	26.8	19.5	9.1	3.9	1.3	-	
難病	224	2	17	24	21	30	41	60	28	1	59.7
	100.0	0.9	7.6	10.7	9.4	13.4	18.3	26.8	12.5	0.4	
無回答	7	-	1	1	1	-	1	2	-	1	54.7
	100.0	-	14.3	14.3	14.3	-	14.3	28.6	-	14.3	

### (3) 居住区

問3 あなたのお住まいの区をおたずねします。(〇は1つ)

「中央区」が20.1%で最も多く、以下「花見川区」が17.9%、「若葉区」が17.3%となっています。

#### ●全体



#### ●障害種別

	調査数	中央区	花見川区	稲毛区	若葉区	緑区	美浜区	無回答
全 体	1135	228	203	174	196	142	187	5
	100.0	20.1	17.9	15.3	17.3	12.5	16.5	0.4
身体障害	772	163	125	118	143	93	126	4
	100.0	21.1	16.2	15.3	18.5	12.0	16.3	0.5
知的障害	226	39	51	33	47	25	31	—
	100.0	17.3	22.6	14.6	20.8	11.1	13.7	—
精神障害	231	46	39	44	28	31	43	—
	100.0	19.9	16.9	19.0	12.1	13.4	18.6	—
難病	224	41	37	44	36	29	36	1
	100.0	18.3	16.5	19.6	16.1	12.9	16.1	0.4
無回答	7	3	1	—	—	—	2	1
	100.0	42.9	14.3	—	—	—	28.6	14.3

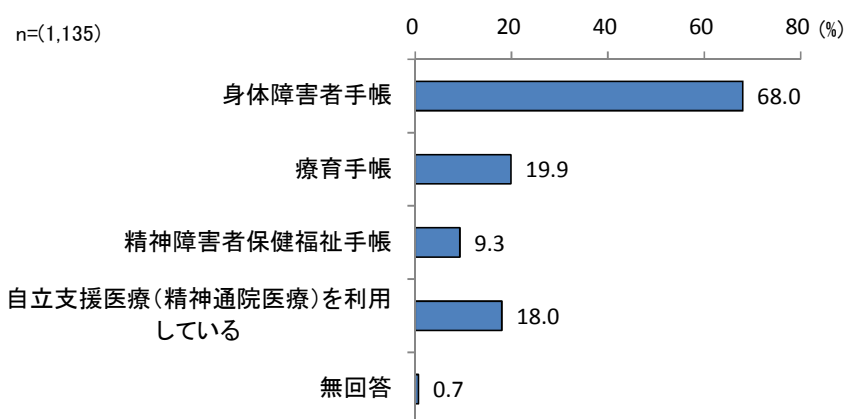


#### (4) 障害の種別

問4 あなたがお持ちの手帳の種類と等級、自立支援医療（精神通院医療）の利用をおたずねします。（〇はいくつでも。手帳をお持ちの方は、カッコ内の等級（程度）にも〇印をつけてください。）

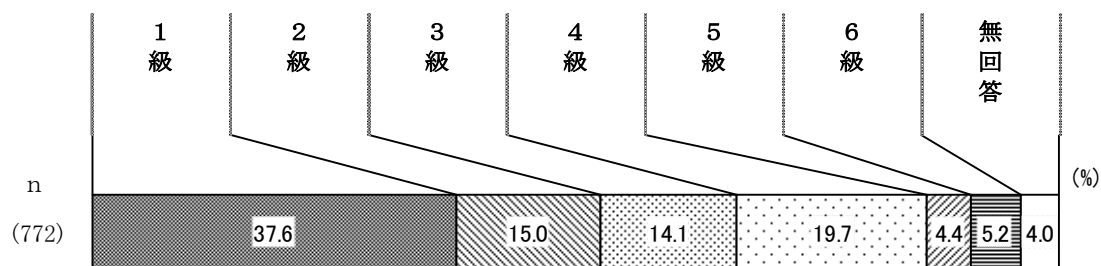
「身体障害者手帳」が68.0%で最も多く、以下「療育手帳」が19.9%、「自立支援医療(精神通院医療)を利用している」が18.0%、「精神障害者保健福祉手帳」が9.3%となっています。

#### ●全体



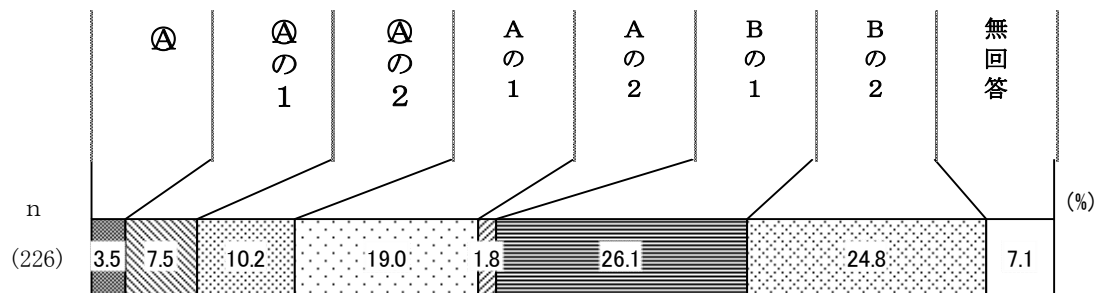
#### ① 身体障害者手帳の等級

身体障害者手帳の等級では、「1 級」が37.6%で最も多く、次いで「4 級」が19.7%となっています。



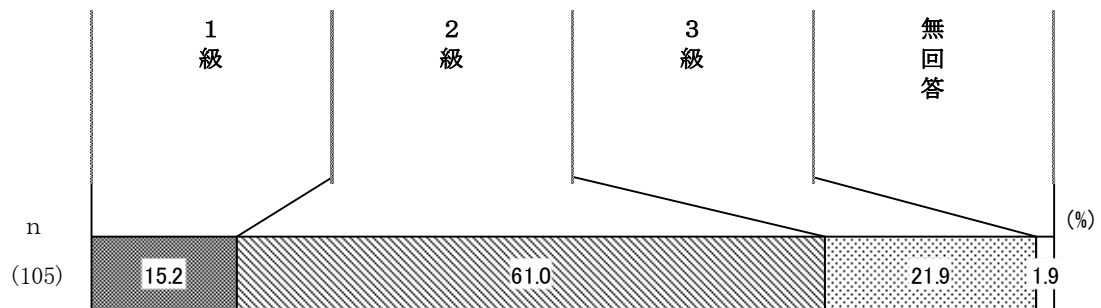
## ② 療育手帳の程度

療育手帳の程度では、「Bの1」が26.1%で最も多く、次いで「Bの2」が24.8%となっています。



## ③ 精神障害者保健福祉手帳の等級

精神障害者保健福祉手帳の等級では、「2級」が61.0%で最も多くなっています。

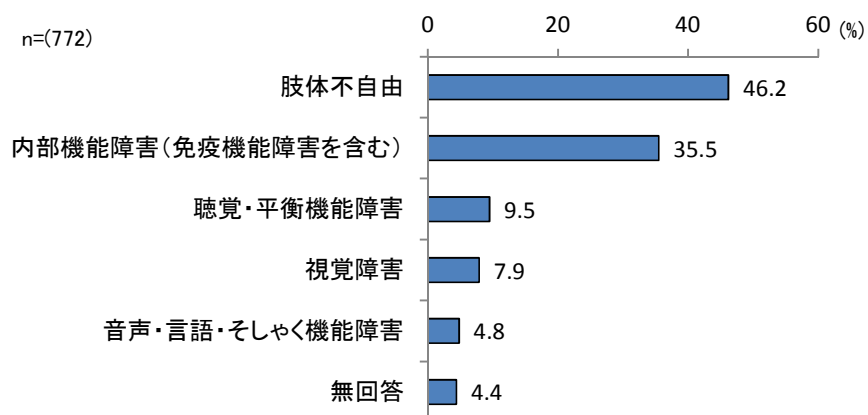


## (5) 身体障害の部位

問5 身体障害者手帳をお持ちの方におたずねします。障害の種類は何ですか。(〇はいくつでも)

「肢体不自由」が46.2%で最も多く、次いで「内部機能障害(免疫機能障害を含む)」が35.5%となっています。

### ●全体



# (6) 難病の種類

問6 難病に罹患している方におたずねします。あなたの難病の種類は次のどちらですか。(〇は1つ)

## ●国指定の難病の内訳

病名	人数	病名	人数
関節リウマチ	16	黄色靱帯骨化症	1
パーキンソン病	12	下垂体前葉機能低下症	1
網膜色素変性症	11	急性壊死性脳症	1
後縦靱帯骨化症	7	結節性硬化症	1
IgA腎症	5	原発性胆汁性肝硬変	1
ダウン症候群	5	顕微鏡的多発血管炎	1
多系統萎縮症	5	再生不良性貧血	1
片側痙攣・片麻痺・てんかん症候群	4	再発性多発軟骨炎	1
加齢黄斑変性	3	自己免疫性肝炎	1
筋ジストロフィー	3	正常圧水頭症	1
クローン病	3	全身性エリテマトーデス	1
心室中隔欠損を伴う肺動脈閉鎖症	3	先天性大脳白質形成不全症	1
脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く)	3	高安動脈炎	1
特発性拡張型心筋症	3	多発性硬化症／視神経脊髄炎	1
肥大型心筋症	3	単心室症	1
潰瘍性大腸炎	2	遅発性内リンパ水腫	1
強皮症	2	特発性血小板減少性紫斑病	1
徐波睡眠期持続性棘徐波を示すてんかん性脳症	2	特発性両側性感音難聴	1
脊髄空洞症	2	ヌーナン症候群	1
多発性嚢胞腎	2	膿疱性乾癬	1
特発性大腿骨頭壊死症	2	肺動脈性肺高血圧症	1
突発性難聴	2	マルファン症候群	1
肺胞低換気症候群	2	慢性膵炎	1
ファロー四徴症	2	ミオクロニー脱力発作を伴うてんかん	1
副甲状腺機能低下症	2	もやもや病	1
ベーチェット病	2	両大血管右室起始症	1
アトピー性脊髄炎	1	リンパ脈管筋腫症	1
ウィルソン病	1	ルビンシュタイン・テイビ症候群	1
円錐角膜	1	レノックス・ガストー症候群	1
		合計	140

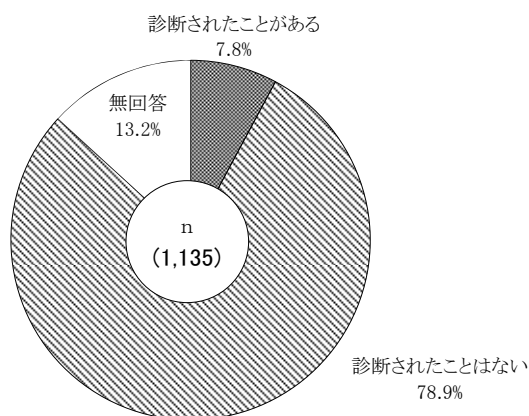
## (7) 高次脳機能障害の診断有無

問7 あなたは医師から高次脳機能障害と診断されたことがありますか。(○は1つ)

※高次脳機能障害とは、病気や事故など、様々な原因で脳が部分的に損傷を受けたことにより生じる言語や記憶などの障害です

「診断されたことがある」が7.8%、「診断されたことはない」が78.9%となっています。

### ●全体



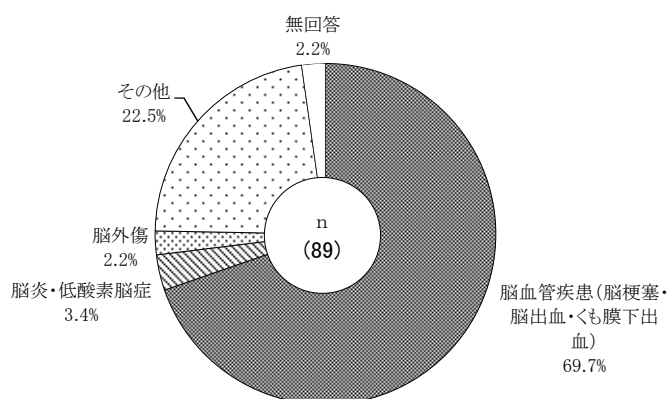
## (8) 障害を負った原因

問8 【問7で診断されたことがある(1番)に○をつけた方におたずねします。】

あなた(ご本人)が障害を負った原因は何ですか。(○は1つ)

「脳血管疾患(脳梗塞・脳出血・くも膜下出血)」が69.7%を占めています。

### ●全体



## 2. 医療機関への受診状況について

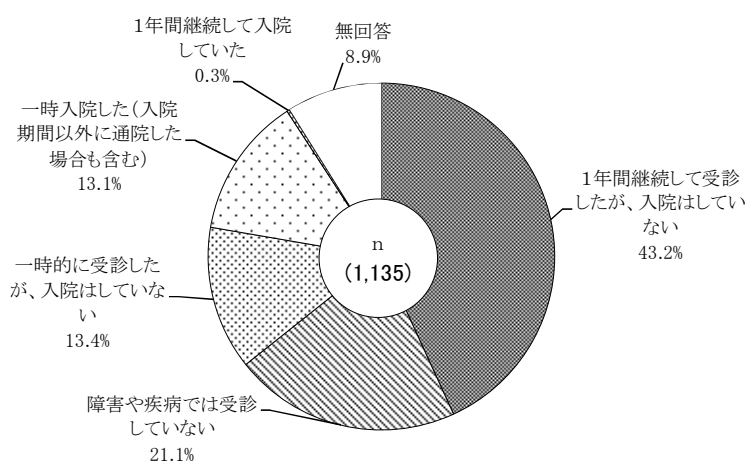
### (1) 医療機関の受診状況

問9 あなたは最近1年間に、障害や疾病が原因で医療機関を受診しましたか。(〇は1つ)

全体では、「1年間継続して受診したが、入院はしていない」が43.2%で最も多く、次いで「障害や疾病では受診していない」が21.1%となっています。

障害種別でみると、精神障害のある方や難病の方では「1年間継続して受診したが、入院はしていない」が、身体障害の方や知的障害の方より多くなっています。

#### ●全体



#### ●障害種別

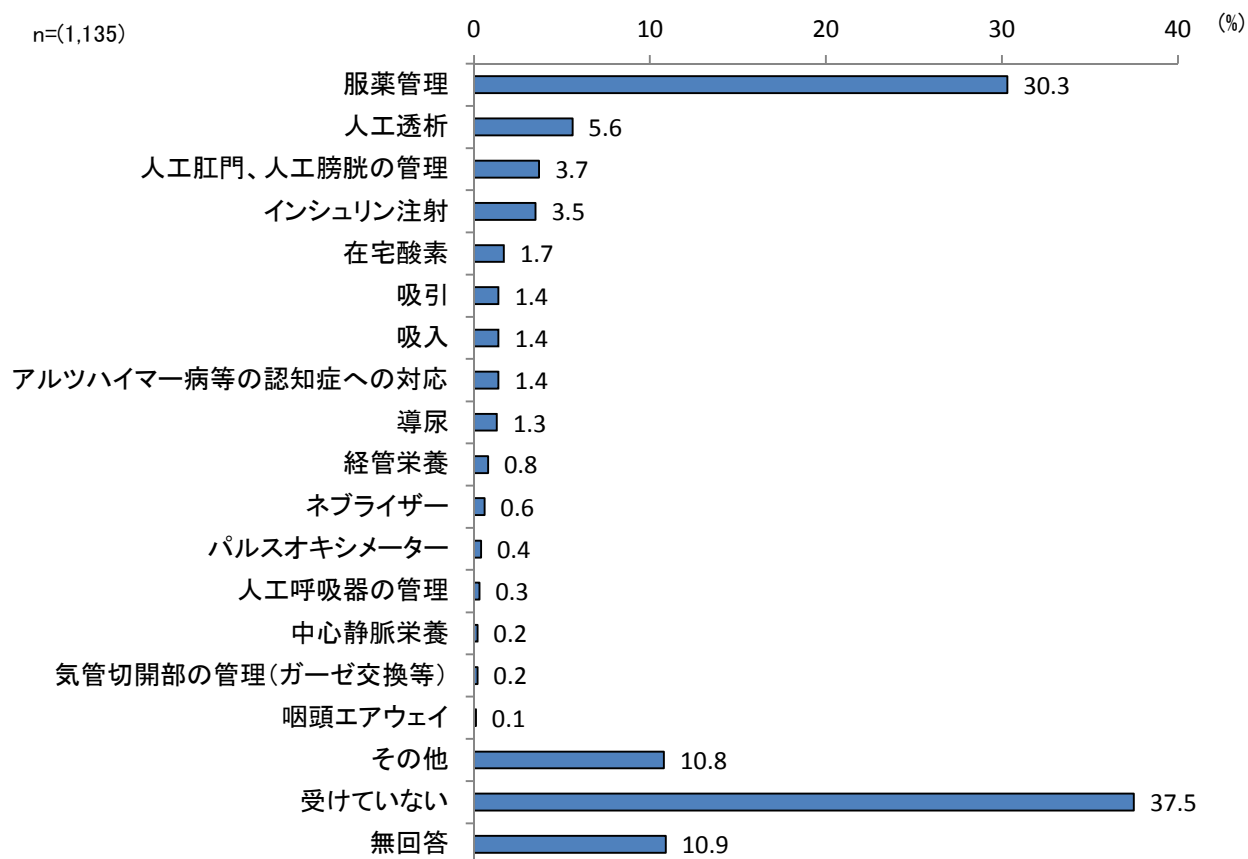
	調査数	障害や疾病では受診していない	一時的に受診したが、入院はしていない	1年間継続して受診したが、入院はしていない	一時入院した(入院期間以外に通院した場合も含む)	1年間継続して入院していた	無回答
全 体	1135	240	152	490	149	3	101
	100.0	21.1	13.4	43.2	13.1	0.3	8.9
身体障害	772	146	107	320	133	2	64
	100.0	18.9	13.9	41.5	17.2	0.3	8.3
知的障害	226	89	36	71	6	1	23
	100.0	39.4	15.9	31.4	2.7	0.4	10.2
精神障害	231	19	20	155	22	—	15
	100.0	8.2	8.7	67.1	9.5	—	6.5
難病	224	24	26	119	41	—	14
	100.0	10.7	11.6	53.1	18.3	—	6.3
無回答	7	1	—	2	1	—	3
	100.0	14.3	—	28.6	14.3	—	42.9

## (2) 医療的ケアの種類

問 10 あなたが現在受けている医療的ケアの種類をおたずねします。(〇はいくつでも)

現在受けている医療的ケアについては「服薬管理」が30.3%で最も多く、次いで「人工透析」が5.6%となっています。

### ●全体



## ●障害種別

	調査数	吸引	吸入	経管栄養	中心静脈栄養	導尿	在宅酸素	ネブライザー	咽頭エアウェイ	パルスオキシメーター	気管切開部の管理(ガーゼ交換等)
全 体	1135 100.0	16 1.4	16 1.4	9 0.8	2 0.2	15 1.3	19 1.7	7 0.6	1 0.1	5 0.4	2 0.2
身体障害	772 100.0	16 2.1	16 2.1	9 1.2	2 0.3	14 1.8	19 2.5	7 0.9	1 0.1	5 0.6	2 0.3
知的障害	226 100.0	2 0.9	1 0.4	-	-	-	-	1 0.4	-	-	-
精神障害	231 100.0	1 0.4	3 1.3	1 0.4	-	3 1.3	2 0.9	-	-	1 0.4	-
難病	224 100.0	4 1.8	3 1.3	3 1.3	1 0.4	6 2.7	7 3.1	-	-	2 0.9	-
無回答	7 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

	調査数	人工呼吸器の管理	人工肛門、人工膀胱の管理	アルツハイマー病等の認知症への対応	インシュリン注射	人工透析	服薬管理	その他	受けていない	無回答
全 体	1135 100.0	3 0.3	42 3.7	16 1.4	40 3.5	64 5.6	344 30.3	123 10.8	426 37.5	124 10.9
身体障害	772 100.0	3 0.4	41 5.3	14 1.8	37 4.8	64 8.3	234 30.3	98 12.7	238 30.8	84 10.9
知的障害	226 100.0	1 0.4	-	-	2 0.9	-	53 23.5	16 7.1	134 59.3	22 9.7
精神障害	231 100.0	-	-	2 0.9	5 2.2	1 0.4	100 43.3	15 6.5	88 38.1	21 9.1
難病	224 100.0	2 0.9	7 3.1	5 2.2	8 3.6	24 10.7	98 43.8	35 15.6	52 23.2	17 7.6
無回答	7 100.0	-	1 14.3	-	1 14.3	-	1 14.3	-	1 14.3	4 57.1

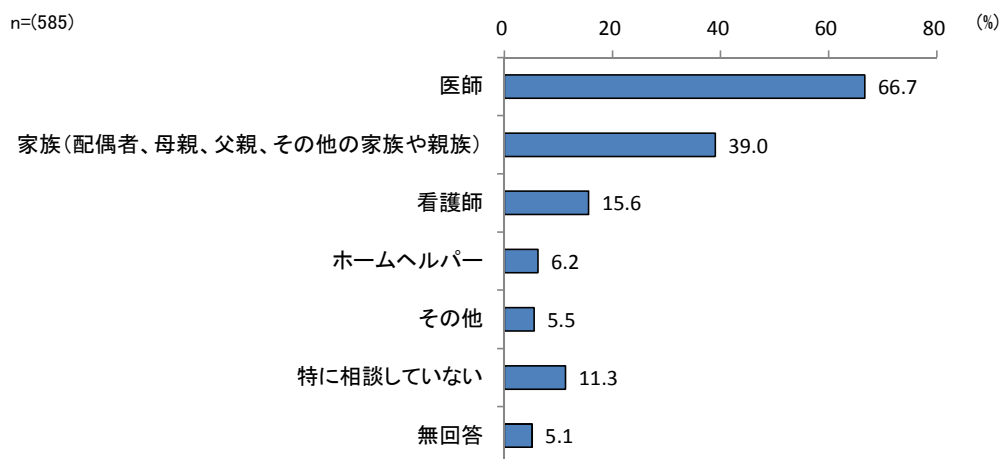
### (3) 医療的ケアについての相談相手

問 11 【問 10 で 1 ～17 番に○をつけた方におたずねします。】

医療的ケアについて、誰かに相談をしていますか。(○はいくつでも)

「医師」が 66.7%で最も多く、以下「家族(配偶者、母親、父親、その他の家族や親族)」が 39.0%、「看護師」が 15.6%となっています。

## ●全体





## ●障害種別

	調査数	家族(配偶者、母親、父親、その他の家族や親族)	医師	看護師	ホームヘルパー	その他	特に相談していない	無回答
全 体	585 100.0	228 39.0	390 66.7	91 15.6	36 6.2	32 5.5	66 11.3	30 5.1
身体障害	450 100.0	169 37.6	300 66.7	90 20.0	31 6.9	16 3.6	50 11.1	27 6.0
知的障害	70 100.0	34 48.6	49 70.0	3 4.3	5 7.1	8 11.4	4 5.7	3 4.3
精神障害	122 100.0	50 41.0	81 66.4	4 3.3	4 3.3	14 11.5	19 15.6	1 0.8
難病	155 100.0	62 40.0	117 75.5	27 17.4	11 7.1	10 6.5	11 7.1	3 1.9
無回答	2 100.0	2 100.0	- -	- -	- -	- -	- -	- -

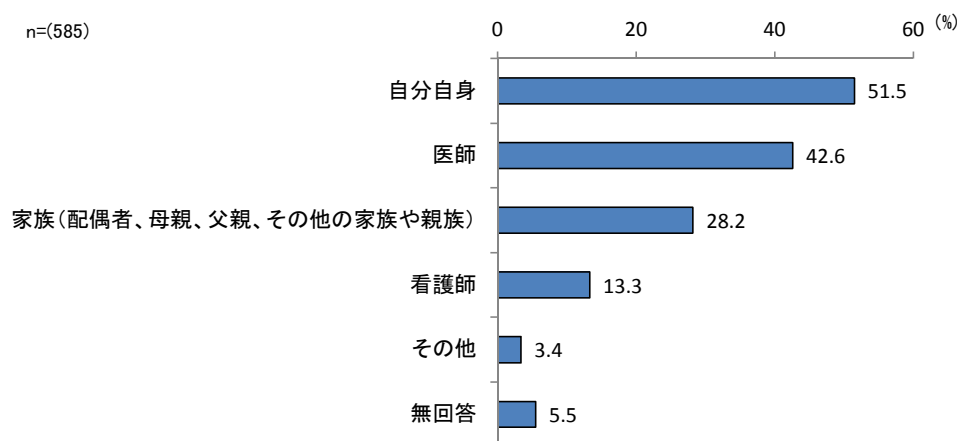
### (4) 医療的ケアを行っている人

問 12 【問 10 で 1 ～ 17 番に○をつけた方におたずねします。】

現在、医療的ケアを行っている人は誰ですか。(○はいくつでも)

「自分自身」が51.5%で最も多く、以下「医師」が42.6%、「家族(配偶者、母親、父親、その他の家族や親族)」が28.2%となっています。

## ●全体



## ●障害種別

	調査数	自分自身	家族(配偶者、母親、父親、その他の家族や親族)	医師	看護師	その他	無回答
全 体	585 100.0	301 51.5	165 28.2	249 42.6	78 13.3	20 3.4	32 5.5
身体障害	450 100.0	233 51.8	122 27.1	192 42.7	71 15.8	12 2.7	27 6.0
知的障害	70 100.0	19 27.1	38 54.3	29 41.4	6 8.6	6 8.6	3 4.3
精神障害	122 100.0	76 62.3	28 23.0	49 40.2	7 5.7	5 4.1	2 1.6
難病	155 100.0	85 54.8	51 32.9	72 46.5	26 16.8	7 4.5	4 2.6
無回答	2 100.0	1 50.0	－ －	－ －	－ －	－ －	1 50.0

### (5) 医療型短期入所の認知と必要性

問 13 障害者総合支援法に基づく障害福祉サービスとして、医療的ケアが必要な重度の障害がある方について、介助者の病気やその他の理由により、介助が難しくなった場合に、一時的に施設(病院・診療所等)が利用できる事業「医療型短期入所」があります。

(1) あなたは「医療型短期入所」のことを知っていますか。(○は1つ)

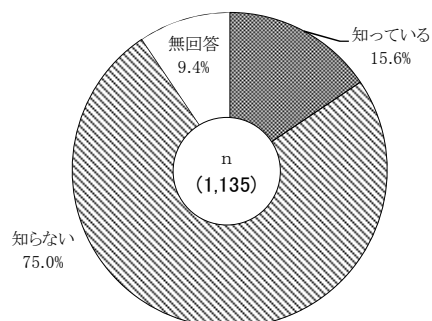
(2) あなたは「医療型短期入所」の必要性を感じていますか。(○は1つ)

#### (1) 認知

全体では、「知っている」が15.6%、「知らない」は75.0%となっています。

障害種別でみると、精神障害の方では「知っている」が、他の障害の方より少なくなっています。

## ●全体

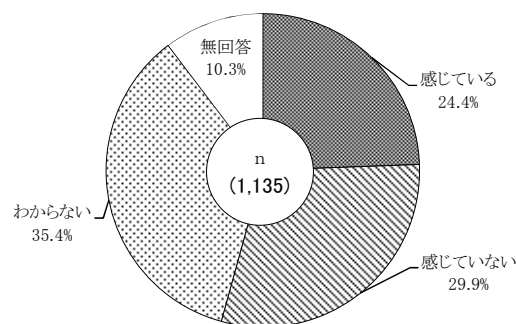


## （２）必要性

全体では、「感じている」が24.4%、「感じていない」が29.9%となっています。

障害種別でみると、身体障害の方と難病の方では、「感じている」が他の障害の方より多くなっています。

### ●全体



### ●障害種別

（１）「医療型短期入所」の認知

	調査数	知っている	知らない	無回答
全 体	1135	177	851	107
	100.0	15.6	75.0	9.4
身体障害	772	141	563	68
	100.0	18.3	72.9	8.8
知的障害	226	34	171	21
	100.0	15.0	75.7	9.3
精神障害	231	20	188	23
	100.0	8.7	81.4	10.0
難病	224	43	167	14
	100.0	19.2	74.6	6.3
無回答	7	-	4	3
	100.0	-	57.1	42.9

（２）「医療型短期入所」の必要性

調査数	感じている	感じていない	わからない	無回答
1135	277	339	402	117
100.0	24.4	29.9	35.4	10.3
772	213	238	243	78
100.0	27.6	30.8	31.5	10.1
226	51	57	96	22
100.0	22.6	25.2	42.5	9.7
231	46	64	99	22
100.0	19.9	27.7	42.9	9.5
224	69	61	78	16
100.0	30.8	27.2	34.8	7.1
7	-	2	2	3
100.0	-	28.6	28.6	42.9

### ●身体障害者手帳の等級別

（１）「医療型短期入所」の認知

	調査数	知っている	知らない	無回答
1 級	290	59	207	24
	100.0	20.3	71.4	8.3
2 級	116	24	85	7
	100.0	20.7	73.3	6.0
3 級	109	17	81	11
	100.0	15.6	74.3	10.1
4 級	152	23	114	15
	100.0	15.1	75.0	9.9
5 級	34	6	24	4
	100.0	17.6	70.6	11.8
6 級	40	6	27	7
	100.0	15.0	67.5	17.5
無回答	31	6	25	-
	100.0	19.4	80.6	-

（２）「医療型短期入所」の必要性

調査数	感じている	感じていない	わからない	無回答
290	78	86	99	27
100.0	26.9	29.7	34.1	9.3
116	36	31	40	9
100.0	31.0	26.7	34.5	7.8
109	25	35	38	11
100.0	22.9	32.1	34.9	10.1
152	39	58	37	18
100.0	25.7	38.2	24.3	11.8
34	10	10	9	5
100.0	29.4	29.4	26.5	14.7
40	13	11	8	8
100.0	32.5	27.5	20.0	20.0
31	12	7	12	-
100.0	38.7	22.6	38.7	-

## ●療育手帳の等級別

(1) 「医療型短期入所」の認知

	調査数	知っている	知らない	無回答
マルA	8 100.0	1 12.5	6 75.0	1 12.5
マルAの1	17 100.0	7 41.2	9 52.9	1 5.9
マルAの2	23 100.0	6 26.1	17 73.9	- -
Aの1	43 100.0	4 9.3	36 83.7	3 7.0
Aの2	4 100.0	- -	4 100.0	- -
Bの1	59 100.0	3 5.1	50 84.7	6 10.2
Bの2	56 100.0	9 16.1	40 71.4	7 12.5
無回答	16 100.0	4 25.0	9 56.3	3 18.8

(2) 「医療型短期入所」の必要性

調査数	感じている	感じていない	わからない	無回答
8 100.0	3 37.5	- -	4 50.0	1 12.5
17 100.0	8 47.1	- -	7 41.2	2 11.8
23 100.0	10 43.5	3 13.0	10 43.5	- -
43 100.0	10 23.3	12 27.9	18 41.9	3 7.0
4 100.0	1 25.0	- -	3 75.0	- -
59 100.0	6 10.2	21 35.6	25 42.4	7 11.9
56 100.0	9 16.1	19 33.9	21 37.5	7 12.5
16 100.0	4 25.0	2 12.5	8 50.0	2 12.5

## ●精神障害区分別

(1) 「医療型短期入所」の認知

	調査数	知っている	知らない	無回答
精神障害者保健福祉手帳のみ	27 100.0	3 11.1	22 81.5	2 7.4
自立支援医療のみ	126 100.0	12 9.5	99 78.6	15 11.9
精神障害者保健福祉手帳＋自立支援医療	78 100.0	5 6.4	67 85.9	6 7.7

(2) 「医療型短期入所」の必要性

調査数	感じている	感じていない	わからない	無回答
27 100.0	5 18.5	6 22.2	14 51.9	2 7.4
126 100.0	23 18.3	38 30.2	51 40.5	14 11.1
78 100.0	18 23.1	20 25.6	34 43.6	6 7.7

## ●障害の重複別

(1) 「医療型短期入所」の認知

	調査数	知っている	知らない	無回答
身体のみ	695 100.0	127 18.3	506 72.8	62 8.9
知的のみ	168 100.0	22 13.1	131 78.0	15 8.9
精神のみ	166 100.0	10 6.0	137 82.5	19 11.4
身体＋知的	33 100.0	8 24.2	21 63.6	4 12.1
身体＋精神	40 100.0	6 15.0	32 80.0	2 5.0
知的＋精神	21 100.0	4 19.0	15 71.4	2 9.5
身体＋知的＋精神	4 100.0	- -	4 100.0	- -
無回答	8 100.0	- -	5 62.5	3 37.5

(2) 「医療型短期入所」の必要性

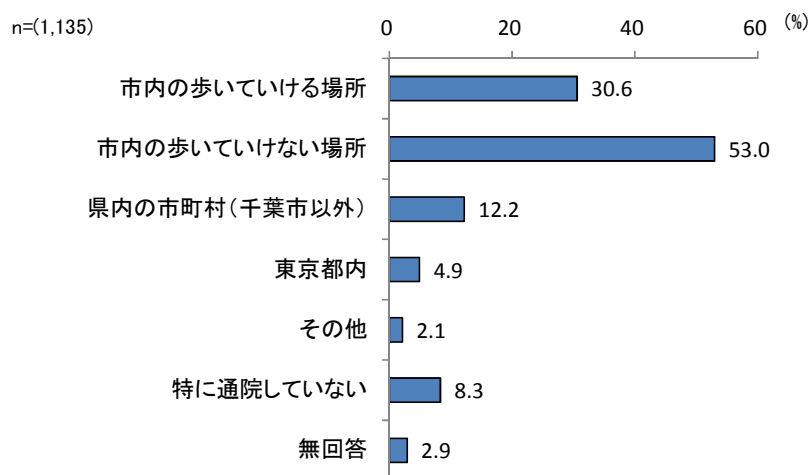
調査数	感じている	感じていない	わからない	無回答
695 100.0	184 26.5	221 31.8	218 31.4	72 10.4
168 100.0	34 20.2	46 27.4	72 42.9	16 9.5
166 100.0	26 15.7	48 28.9	74 44.6	18 10.8
33 100.0	13 39.4	6 18.2	10 30.3	4 12.1
40 100.0	16 40.0	11 27.5	11 27.5	2 5.0
21 100.0	4 19.0	5 23.8	10 47.6	2 9.5
4 100.0	- -	- -	4 100.0	- -
8 100.0	- -	2 25.0	3 37.5	3 37.5

## (6) 通院先の所在地

問 14 あなたの「医療」についておたずねします。あなたはどこの病院に通院していますか。  
(○はいくつでも)

「市内の歩いていけない場所」が 53.0%で最も多く、次いで「市内の歩いていける場所」が 30.6%となっています。

### ●全体



### ●障害種別

	調査数	市内の歩いていける場所	市内の歩いていけない場所	県内の市町村(千葉市以外)	東京都内	その他	特に通院していない	無回答
全 体	1135	347	602	138	56	24	94	33
	100.0	30.6	53.0	12.2	4.9	2.1	8.3	2.9
身体障害	772	225	438	95	43	21	45	20
	100.0	29.1	56.7	12.3	5.6	2.7	5.8	2.6
知的障害	226	71	95	27	9	2	53	8
	100.0	31.4	42.0	11.9	4.0	0.9	23.5	3.5
精神障害	231	79	129	32	8	5	3	4
	100.0	34.2	55.8	13.9	3.5	2.2	1.3	1.7
難病	224	56	137	28	18	7	8	3
	100.0	25.0	61.2	12.5	8.0	3.1	3.6	1.3
無回答	7	1	4	-	-	-	-	2
	100.0	14.3	57.1	-	-	-	-	28.6

### 3. 家族や介助者について

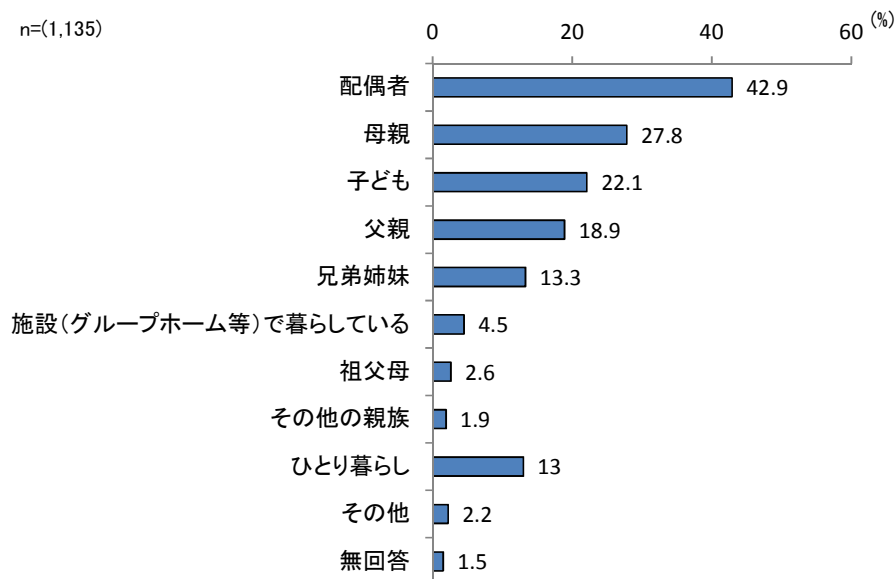
#### (1) 同居者

問 15 あなたは、どなたと一緒に暮らしていますか。(〇はいくつでも)

全体では、「配偶者」が42.9%で最も多く、以下「母親」が27.8%、「子ども」が22.1%、「父親」が18.9%となっています。

障害種別でみると、身体障害のある方や難病のある方では「配偶者」が多くなっています。一方、知的障害のある方や精神障害のある方では「母親」が多くなっています。

#### ●全体



#### ●障害種別

	調査数	母親	父親	兄弟姉妹	祖父母	配偶者	子ども	その他の親族	施設(グループホーム等)で暮らしている	ひとり暮らし	その他	無回答
全 体	1135	315	215	151	30	487	251	21	51	148	25	17
	100.0	27.8	18.9	13.3	2.6	42.9	22.1	1.9	4.5	13.0	2.2	1.5
身体障害	772	91	55	42	10	432	205	16	28	113	17	10
	100.0	11.8	7.1	5.4	1.3	56.0	26.6	2.1	3.6	14.6	2.2	1.3
知的障害	226	181	132	91	19	3	3	2	19	11	5	2
	100.0	80.1	58.4	40.3	8.4	1.3	1.3	0.9	8.4	4.9	2.2	0.9
精神障害	231	98	69	48	5	69	51	3	8	35	3	3
	100.0	42.4	29.9	20.8	2.2	29.9	22.1	1.3	3.5	15.2	1.3	1.3
難病	224	52	36	20	6	107	51	3	8	32	7	1
	100.0	23.2	16.1	8.9	2.7	47.8	22.8	1.3	3.6	14.3	3.1	0.4
無回答	7	3	1	-	-	-	1	-	1	1	-	2
	100.0	42.9	14.3	-	-	-	14.3	-	14.3	14.3	-	28.6

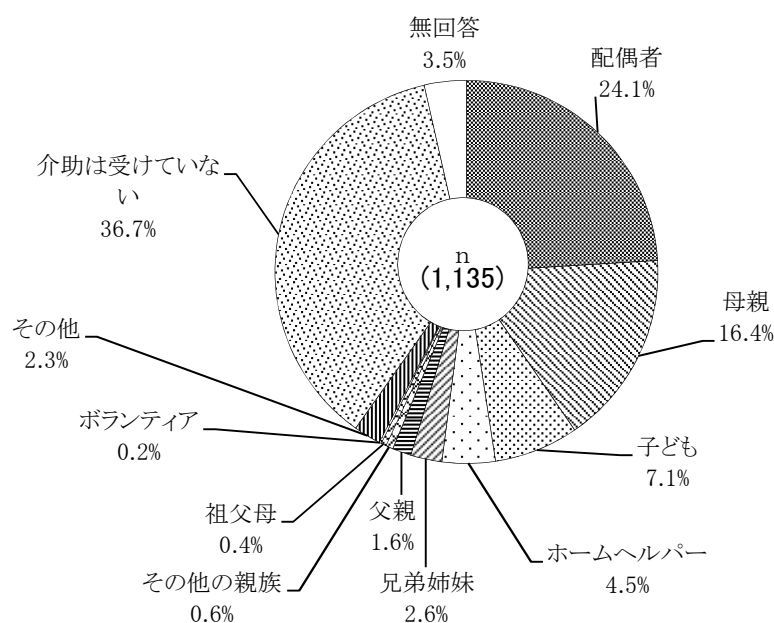
## (2) 主な介助者

問 16 あなたへの介助について、主な介助者はどなたですか。(○は1つ)

全体では、主な介助者については「配偶者」が24.1%で最も多く、次いで「母親」が16.4%となっています。

障害種別でみると、身体障害のある方と難病のある方では、「配偶者」が他の障害のある方より多くなっています。一方、知的障害のある方では「母親」が多くなっています。

### ●全体



### ●障害種別

	調査数	母親	父親	兄弟姉妹	祖父母	配偶者	子ども	その他の親族	ホームヘルパー	ボランティア	介助は受けていない	その他	無回答
全 体	1135	186	18	30	5	273	81	7	51	2	416	26	40
	100.0	16.4	1.6	2.6	0.4	24.1	7.1	0.6	4.5	0.2	36.7	2.3	3.5
身体障害	772	64	9	19	2	255	76	5	41	1	260	15	25
	100.0	8.3	1.2	2.5	0.3	33.0	9.8	0.6	5.3	0.1	33.7	1.9	3.2
知的障害	226	126	8	10	2	1	-	2	6	1	56	8	6
	100.0	55.8	3.5	4.4	0.9	0.4	-	0.9	2.7	0.4	24.8	3.5	2.7
精神障害	231	41	7	8	1	27	7	-	8	-	120	5	7
	100.0	17.7	3.0	3.5	0.4	11.7	3.0	-	3.5	-	51.9	2.2	3.0
難病	224	34	2	7	-	75	17	-	6	1	72	7	3
	100.0	15.2	0.9	3.1	-	33.5	7.6	-	2.7	0.4	32.1	3.1	1.3
無回答	7	2	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	2
	100.0	28.6	-	-	-	-	28.6	-	14.3	-	-	-	28.6

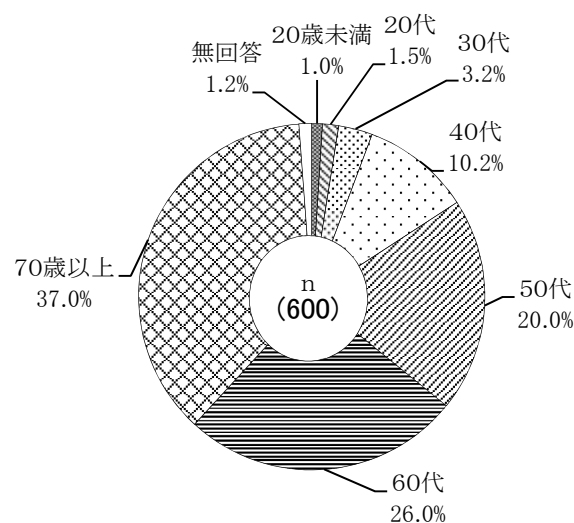
### (3) 主な介助者の年齢

問 17 【問 16 で主な介助者が家族・親族（１～７番）に○をつけた方におたずねします。】  
 主な介助者の年齢をお答えください。（○は１つ）

全体では、「70 歳以上」が 37.0%で最も多く、以下「60 代」が 26.0%、「50 代」が 20.0%となっています。

障害種別でみると、身体障害のある方、精神障害のある方、難病の方では、「70 歳以上」が多くなっています。一方、知的障害のある方では「50 代」が多くなっています。

#### ●全体



#### ●障害種別

	調査数	20歳未満	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上	無回答
全 体	600	6	9	19	61	120	156	222	7
	100.0	1.0	1.5	3.2	10.2	20.0	26.0	37.0	1.2
身体障害	430	4	7	13	37	73	112	177	7
	100.0	0.9	1.6	3.0	8.6	17.0	26.0	41.2	1.6
知的障害	149	-	-	1	21	50	31	45	1
	100.0	-	-	0.7	14.1	33.6	20.8	30.2	0.7
精神障害	91	2	2	5	14	17	23	27	1
	100.0	2.2	2.2	5.5	15.4	18.7	25.3	29.7	1.1
難病	135	3	4	3	9	26	41	45	4
	100.0	2.2	3.0	2.2	6.7	19.3	30.4	33.3	3.0
無回答	4	-	-	1	-	1	2	-	-
	100.0	-	-	25.0	-	25.0	50.0	-	-



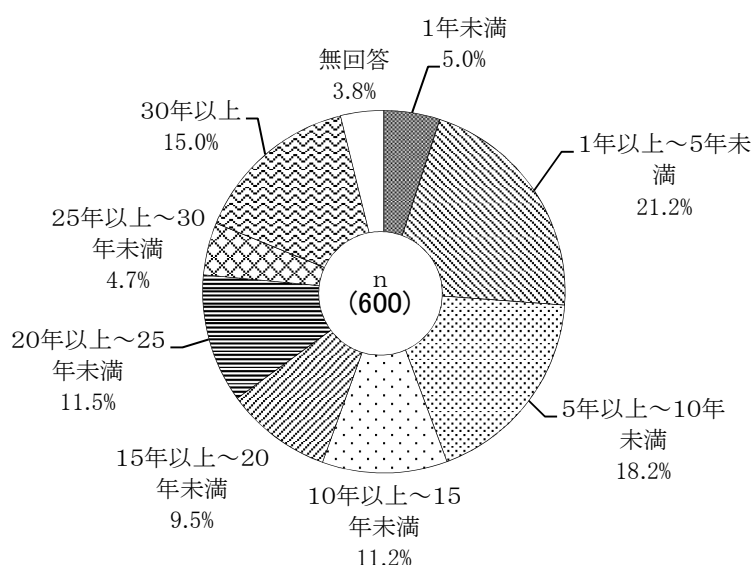
#### (4) 主な介助者の介助継続年数

問 18 【問 16 で主な介助者が家族・親族（１～７番）に○をつけた方におたずねします。】  
 主な介助者の介助継続年数をお答えください。（○は１つ）

全体では、「１年以上～５年未満」が 21.2%で最も多く、以下「５年以上～１０年未満」が 18.2%、「30 年以上」が 15.0%となっています。

障害種別でみると、知的障害のある方では、「30 年以上」が他の障害のある方より多くなっています。

#### ●全体



#### ●障害種別

	調査数	1年未満	1年以上～5年未満	5年以上～10年未満	10年以上～15年未満	15年以上～20年未満	20年以上～25年未満	25年以上～30年未満	30年以上	無回答
全 体	600	30	127	109	67	57	69	28	90	23
	100.0	5.0	21.2	18.2	11.2	9.5	11.5	4.7	15.0	3.8
身体障害	430	24	117	93	58	33	30	18	38	19
	100.0	5.6	27.2	21.6	13.5	7.7	7.0	4.2	8.8	4.4
知的障害	149	—	2	6	2	22	38	14	59	6
	100.0	—	1.3	4.0	1.3	14.8	25.5	9.4	39.6	4.0
精神障害	91	5	13	18	10	10	12	3	18	2
	100.0	5.5	14.3	19.8	11.0	11.0	13.2	3.3	19.8	2.2
難病	135	2	31	27	19	11	9	8	23	5
	100.0	1.5	23.0	20.0	14.1	8.1	6.7	5.9	17.0	3.7
無回答	4	1	—	—	1	—	1	—	1	—
	100.0	25.0	—	—	25.0	—	25.0	—	25.0	—

## (5) 主な介助者が困っていること

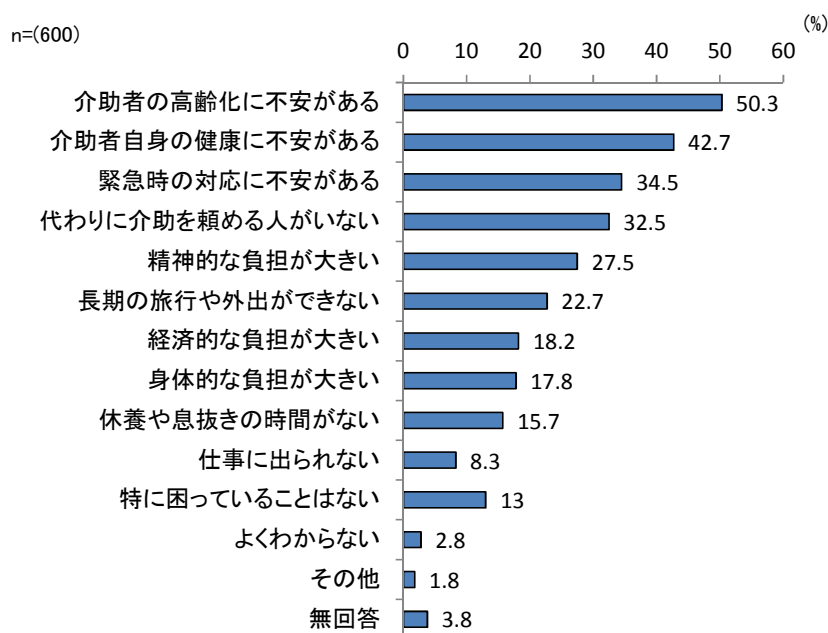
問 19 【問 16 で主な介助者が家族・親族（１～７番）に○をつけた方におたずねします。】  
主な介助者が困っていることは何ですか。（○はいくつでも）

全体では、「介助者の高齢化に不安がある」が 50.3%で最も多く、以下「介助者自身の健康に不安がある」が 42.7%、「緊急時の対応に不安がある」が 34.5%、「代わりに介助を頼める人がいない」が 32.5% となっています。

障害種別でみると、知的障害のある方では「介助者の高齢化に不安がある」が、精神障害のある方では「精神的な負担が大きい」が多くなっています。一方、難病のある方では、「介助者自身の健康に不安がある」が、他の障害のある方より多くなっています。

なお、平成 25 年度に実施した千葉市障害者計画・障害福祉計画策定に係る実態調査（以下、「前回調査」と記載）と比較すると、「介助者の高齢化に不安がある」と「介助者自身の健康に不安がある」が、今回の調査では増加しています。

### ●全体



## ●障害種別

	調査数	介助者自身の健康に不安がある	介助者の高齢化に不安がある	代わりに介助を頼める人がいない	緊急時の対応に不安がある	身体的な負担が大きい	精神的な負担が大きい	経済的な負担が大きい	仕事に出られない	長期の旅行や外出ができない
全 体	600	256	302	195	207	107	165	109	50	136
	100.0	42.7	50.3	32.5	34.5	17.8	27.5	18.2	8.3	22.7
身体障害	430	180	203	127	136	79	94	70	24	90
	100.0	41.9	47.2	29.5	31.6	18.4	21.9	16.3	5.6	20.9
知的障害	149	63	94	63	69	28	47	25	20	44
	100.0	42.3	63.1	42.3	46.3	18.8	31.5	16.8	13.4	29.5
精神障害	91	42	44	34	30	12	45	30	14	17
	100.0	46.2	48.4	37.4	33.0	13.2	49.5	33.0	15.4	18.7
難病	135	69	63	43	46	29	43	29	12	26
	100.0	51.1	46.7	31.9	34.1	21.5	31.9	21.5	8.9	19.3
無回答	4	3	3	2	2	1	2	1	1	1
	100.0	75.0	75.0	50.0	50.0	25.0	50.0	25.0	25.0	25.0

	調査数	休養や息抜きの時間がない	特に困っていることはない	よくわからない	その他	無回答
全 体	600	94	78	17	11	23
	100.0	15.7	13.0	2.8	1.8	3.8
身体障害	430	63	67	15	7	17
	100.0	14.7	15.6	3.5	1.6	4.0
知的障害	149	29	9	2	5	5
	100.0	19.5	6.0	1.3	3.4	3.4
精神障害	91	16	7	3	－	2
	100.0	17.6	7.7	3.3	－	2.2
難病	135	29	17	4	3	7
	100.0	21.5	12.6	3.0	2.2	5.2
無回答	4	－	－	－	－	1
	100.0	－	－	－	－	25.0

## ●経年比較

	調査数	介助者自身の健康に不安がある	介助者の高齢化に不安がある	代わりに介助を頼める人がいない	緊急時の対応に不安がある	身体的な負担が大きい	精神的な負担が大きい	経済的な負担が大きい	仕事に出られない	長期の旅行や外出ができない
今回 (平成28年度)	600	256	302	195	207	107	165	109	50	136
	100.0	42.7	50.3	32.5	34.5	17.8	27.5	18.2	8.3	22.7
	増減	6.4	5.6	5.4	4.3	0.7	3.0	▲0.5	1.1	▲1.8
前回 (平成25年度)	683	248	305	185	206	117	167	128	49	167
	100.0	36.3	44.7	27.1	30.2	17.1	24.5	18.7	7.2	24.5

	調査数	休養や息抜きの時間がない	特に困っていることはない	よくわからない	その他	無回答
今回 (平成28年度)	600	94	78	17	11	23
	100.0	15.7	13.0	2.8	1.8	3.8
	増減	3.5	▲0.5	▲0.6	▲0.8	▲2.9
前回 (平成25年度)	683	83	92	23	18	46
	100.0	12.2	13.5	3.4	2.6	6.7

## 4. 相談や情報入手について

### (1) 日常生活で困っていること

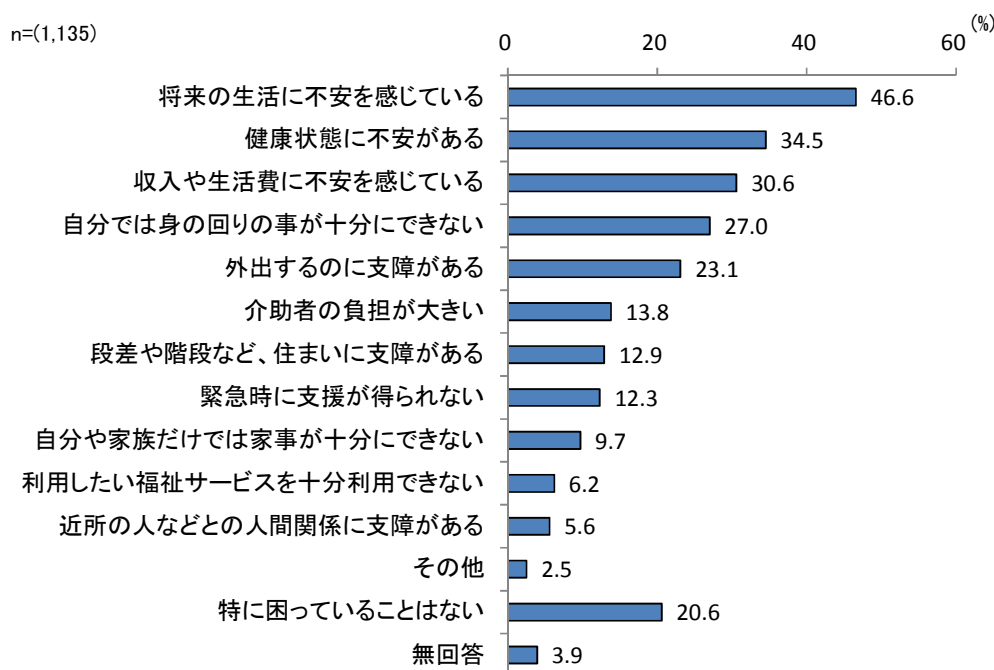
問 20 あなた（やご家族の方）は、日常生活で困っていることはありますか。（〇はいくつでも）

全体では、「将来の生活に不安を感じている」が 46.6%で最も多く、以下「健康状態に不安がある」が 34.5%、「収入や生活費に不安を感じている」が 30.6%、「自分では身の回りの事が十分にできない」が 27.0%となっています。

障害種別でみると、知的障害のある方では、「自分では身の回りの事が十分にできない」が、精神障害のある方では「収入や生活費に不安を感じている」が、他の障害のある方より多くなっています。また、知的障害のある方と精神障害のある方では、「将来の生活に不安を感じている」も、他の障害に比べて多くなっています。

年齢別でみると、18～39 歳では、「将来の生活に不安を感じている」と「収入や生活費に不安を感じている」が多くなっています。一方、40 歳以上では「健康状態に不安がある」が多くなっています。

#### ●全体



## ●障害種別

	調査数	自分では身の回りの事が十分にできない	自分や家族だけでは家事が十分にできない	健康状態に不安がある	介助者の負担が大きい	段差や階段など、住まいに支障がある	外出するのに支障がある	利用したい福祉サービスを十分に利用できない	収入や生活費に不安を感じている	緊急時に支援が得られない
全 体	1135 100.0	306 27.0	110 9.7	392 34.5	157 13.8	146 12.9	262 23.1	70 6.2	347 30.6	140 12.3
身体障害	772 100.0	204 26.4	71 9.2	271 35.1	110 14.2	127 16.5	198 25.6	44 5.7	190 24.6	87 11.3
知的障害	226 100.0	95 42.0	20 8.8	49 21.7	40 17.7	11 4.9	43 19.0	25 11.1	67 29.6	37 16.4
精神障害	231 100.0	54 23.4	33 14.3	102 44.2	24 10.4	24 10.4	55 23.8	14 6.1	126 54.5	29 12.6
難病	224 100.0	71 31.7	26 11.6	90 40.2	40 17.9	42 18.8	67 29.9	17 7.6	71 31.7	30 13.4
無回答	7 100.0	4 57.1	3 42.9	5 71.4	1 14.3	2 28.6	2 28.6	－ －	3 42.9	2 28.6

	調査数	近所の人などとの人間関係に支障がある	将来の生活に不安を感じている	特に困っていることはない	その他	無回答
全 体	1135 100.0	63 5.6	529 46.6	234 20.6	28 2.5	44 3.9
身体障害	772 100.0	24 3.1	296 38.3	180 23.3	17 2.2	35 4.5
知的障害	226 100.0	16 7.1	133 58.8	35 15.5	6 2.7	9 4.0
精神障害	231 100.0	30 13.0	154 66.7	33 14.3	6 2.6	4 1.7
難病	224 100.0	12 5.4	105 46.9	33 14.7	4 1.8	11 4.9
無回答	7 100.0	1 14.3	1 14.3	1 14.3	－ －	－ －

## ●年齢別

	調査数	自分では身の回りの事が十分にできない	自分や家族だけでは家事が十分にできない	健康状態に不安がある	介助者の負担が大きい	段差や階段など、住まいに支障がある	外出するのに支障がある	利用したい福祉サービスを十分に利用できない	収入や生活費に不安を感じている	緊急時に支援が得られない
18～39歳	265 100.0	84 31.7	25 9.4	68 25.7	40 15.1	12 4.5	47 17.7	34 12.8	111 41.9	40 15.1
40～64歳	343 100.0	70 20.4	38 11.1	122 35.6	43 12.5	37 10.8	63 18.4	20 5.8	116 33.8	50 14.6
65～74歳	232 100.0	57 24.6	19 8.2	88 37.9	31 13.4	46 19.8	58 25.0	4 1.7	65 28.0	20 8.6
75歳以上	290 100.0	92 31.7	27 9.3	112 38.6	43 14.8	51 17.6	94 32.4	12 4.1	54 18.6	30 10.3
無回答	5 100.0	3 60.0	1 20.0	2 40.0	－ －	－ －	－ －	－ －	1 20.0	－ －

	調査数	近所の人などとの人間関係に支障がある	将来の生活に不安を感じている	特に困っていることはない	その他	無回答
18～39歳	265 100.0	23 8.7	177 66.8	31 11.7	8 3.0	9 3.4
40～64歳	343 100.0	23 6.7	170 49.6	81 23.6	8 2.3	8 2.3
65～74歳	232 100.0	8 3.4	95 40.9	54 23.3	3 1.3	10 4.3
75歳以上	290 100.0	9 3.1	86 29.7	67 23.1	9 3.1	16 5.5
無回答	5 100.0	－ －	1 20.0	1 20.0	－ －	1 20.0

## (2) 困った時の相談先

問 21 あなた（やご家族の方）が困った時に相談する相手は誰（どこ）ですか。（〇はいくつでも）

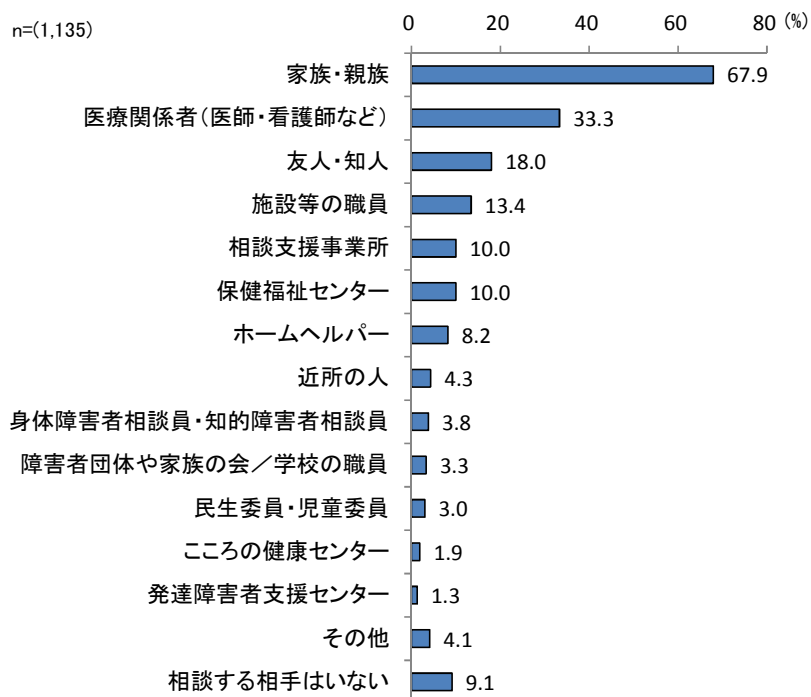
全体では、「家族・親族」が 67.9%で最も多く、以下「医療関係者（医師・看護師など）」が 33.3%、「友人・知人」が 18.0%となっています。

障害種別でみると、知的障害のある方では、「施設等の職員」と「相談支援事業所」が、他の障害のある方より多くなっています。一方、精神障害のある方では、「医療関係者（医師・看護師など）」が多くなっています。

なお、前回調査と比較すると、「相談支援事業所」が前回調査で 2.9%であったのが、今回調査では 10.0%に増加しています。

また、「相談する相手はいない」は前回調査より 1.1%増加しています。

### ●全体



## ●障害種別

	調査数	家族・親族	友人・知人	近所の人	相談支援事業所	ホームヘルパー	施設等の職員	医療関係者 (医師・看護師など)	障害者団体 や家族の会 ／学校の職員	民生委員・児童委員
全 体	1135 100.0	771 67.9	204 18.0	49 4.3	113 10.0	93 8.2	152 13.4	378 33.3	37 3.3	34 3.0
身体障害	772 100.0	527 68.3	123 15.9	42 5.4	60 7.8	79 10.2	74 9.6	247 32.0	11 1.4	29 3.8
知的障害	226 100.0	157 69.5	40 17.7	7 3.1	56 24.8	11 4.9	83 36.7	57 25.2	26 11.5	1 0.4
精神障害	231 100.0	142 61.5	55 23.8	2 0.9	24 10.4	9 3.9	22 9.5	117 50.6	8 3.5	4 1.7
難病	224 100.0	145 64.7	33 14.7	6 2.7	19 8.5	22 9.8	33 14.7	79 35.3	5 2.2	8 3.6
無回答	7 100.0	4 57.1	1 14.3	－ －	－ －	1 14.3	2 28.6	2 28.6	－ －	－ －

	調査数	身体障害者 相談員・知的 障害者相談員	保健福祉セ ンター	発達障害者 支援センター	こころの健康 センター	相談する相 手はいない	その他
全 体	1135 100.0	43 3.8	113 10.0	15 1.3	22 1.9	103 9.1	46 4.1
身体障害	772 100.0	21 2.7	69 8.9	－ －	7 0.9	68 8.8	29 3.8
知的障害	226 100.0	25 11.1	28 12.4	13 5.8	3 1.3	13 5.8	8 3.5
精神障害	231 100.0	3 1.3	31 13.4	5 2.2	14 6.1	27 11.7	13 5.6
難病	224 100.0	6 2.7	27 12.1	1 0.4	3 1.3	22 9.8	7 3.1
無回答	7 100.0	－ －	－ －	－ －	1 14.3	2 28.6	－ －

## ●経年比較

	調査数	家族・親族	友人・知人	近所の人	相談支援事業所	ホームヘルパー	施設等の職員	医療関係者 (医師・看護師など)	障害者団体 や家族の会 ／学校の職員	民生委員・児童委員
今回 (平成28年度)	1135 100.0	771 67.9	204 18.0	49 4.3	113 10.0	93 8.2	152 13.4	378 33.3	37 3.3	34 3.0
	増減	▲2.3	▲2.8	▲1.8	7.1	2.6	▲2.8	6.5	▲0.9	▲0.7
前回 (平成25年度)	1300 100.0	913 70.2	270 20.8	79 6.1	38 2.9	73 5.6	211 16.2	349 26.8	54 4.2	48 3.7

	調査数	身体障害者 相談員・知的 障害者相談員	保健福祉セ ンター	発達障害者 支援センター	こころの健康 センター	相談する相 手はいない	その他
今回 (平成28年度)	1135 100.0	43 3.8	113 10.0	15 1.3	22 1.9	103 9.1	46 4.1
	増減	1.6	▲1.3	0.7	0.2	1.1	▲0.7
前回 (平成25年度)	1300 100.0	4 2.2	147 11.3	8 0.6	22 1.7	104 8.0	63 4.8

### (3) 希望する相談制度

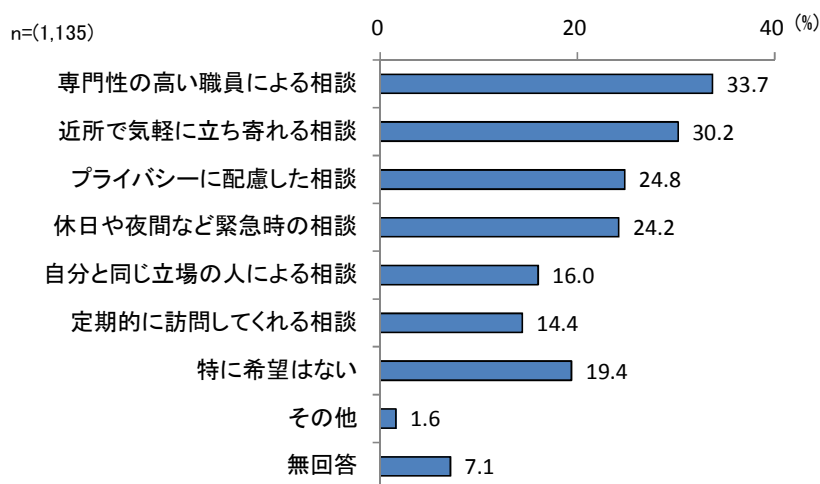
問 22 あなた（やご家族の方）は、どのような相談制度があれば、より便利だと思いますか。  
（〇はいくつでも）

全体では、「専門性の高い職員による相談」が 33.7%で最も多く、以下「近所で気軽に立ち寄れる相談」が 30.2%、「プライバシーに配慮した相談」が 24.8%、「休日や夜間など緊急時の相談」が 24.2%となっています。

障害種別でみると、知的障害のある方と精神障害のある方では、「専門性の高い職員による相談」が他の障害より多くなっています。また、精神障害のある方では、「プライバシーに配慮した相談」も多くなっています。

年齢別でみると、64 歳以下では「専門性の高い職員による相談」と「プライバシーに配慮した相談」が、他の年代より多くなっています。また、18～39 歳、75 歳以上では「休日や夜間など緊急時の相談」が多くなっています。

#### ●全体



#### ●障害種別

	調査数	近所で気軽に立ち寄れる相談	休日や夜間など緊急時の相談	専門性の高い職員による相談	自分と同じ立場の人による相談	定期的に訪問してくれる相談	プライバシーに配慮した相談	特に希望はない	その他	無回答
全 体	1135	343	275	383	182	163	282	220	18	81
	100.0	30.2	24.2	33.7	16.0	14.4	24.8	19.4	1.6	7.1
身体障害	772	212	168	221	108	111	148	164	13	69
	100.0	27.5	21.8	28.6	14.0	14.4	19.2	21.2	1.7	8.9
知的障害	226	73	68	100	39	35	60	35	5	10
	100.0	32.3	30.1	44.2	17.3	15.5	26.5	15.5	2.2	4.4
精神障害	231	89	62	98	56	35	97	33	3	8
	100.0	38.5	26.8	42.4	24.2	15.2	42.0	14.3	1.3	3.5
難病	224	60	61	66	41	21	55	36	4	22
	100.0	26.8	27.2	29.5	18.3	9.4	24.6	16.1	1.8	9.8
無回答	7	3	1	2	-	-	1	4	-	-
	100.0	42.9	14.3	28.6	-	-	14.3	57.1	-	-



## ●年齢別

	調査数	近所で気軽に立ち寄れる相談	休日や夜間など緊急時の相談	専門性の高い職員による相談	自分と同じ立場の人による相談	定期的に訪問してくれる相談	プライバシーに配慮した相談	特に希望はない	その他	無回答
18～39歳	265	92	81	120	61	41	93	38	7	4
	100.0	34.7	30.6	45.3	23.0	15.5	35.1	14.3	2.6	1.5
40～64歳	343	105	69	112	61	41	98	73	4	22
	100.0	30.6	20.1	32.7	17.8	12.0	28.6	21.3	1.2	6.4
65～74歳	232	63	38	63	28	23	40	59	1	25
	100.0	27.2	16.4	27.2	12.1	9.9	17.2	25.4	0.4	10.8
75歳以上	290	80	86	87	31	58	50	50	6	29
	100.0	27.6	29.7	30.0	10.7	20.0	17.2	17.2	2.1	10.0
無回答	5	3	1	1	1	－	1	－	－	1
	100.0	60.0	20.0	20.0	20.0	－	20.0	－	－	20.0

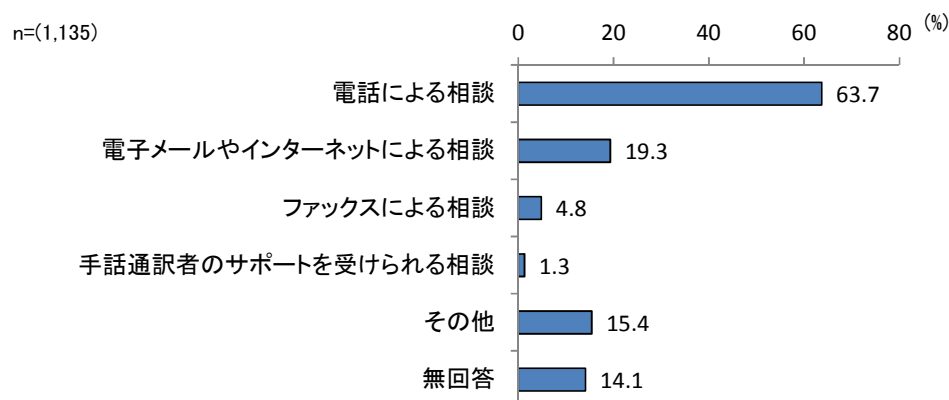
#### (4) 相談しやすい方法

問 23 あなた（やご家族の方）は、どのような相談方法が相談しやすいですか。  
（〇はいくつでも）

全体では、「電話による相談」が 63.7%で最も多く、次いで「電子メールやインターネットによる相談」が 19.3%となっています。

障害種別でみると、精神障害のある方では「電子メールやインターネットによる相談」が他の障害より多くなっています。

#### ●全体



#### ●障害種別

	調査数	電話による相談	電子メールやインターネットによる相談	ファックスによる相談	手話通訳者のサポートを受けられる相談	その他	無回答
全 体	1135	723	219	55	15	175	160
	100.0	63.7	19.3	4.8	1.3	15.4	14.1
身体障害	772	490	123	43	15	86	131
	100.0	63.5	15.9	5.6	1.9	11.1	17.0
知的障害	226	144	48	10	1	55	20
	100.0	63.7	21.2	4.4	0.4	24.3	8.8
精神障害	231	148	67	5	1	49	22
	100.0	64.1	29.0	2.2	0.4	21.2	9.5
難病	224	144	42	9	1	33	36
	100.0	64.3	18.8	4.0	0.4	14.7	16.1
無回答	7	3	-	-	-	1	3
	100.0	42.9	-	-	-	14.3	42.9

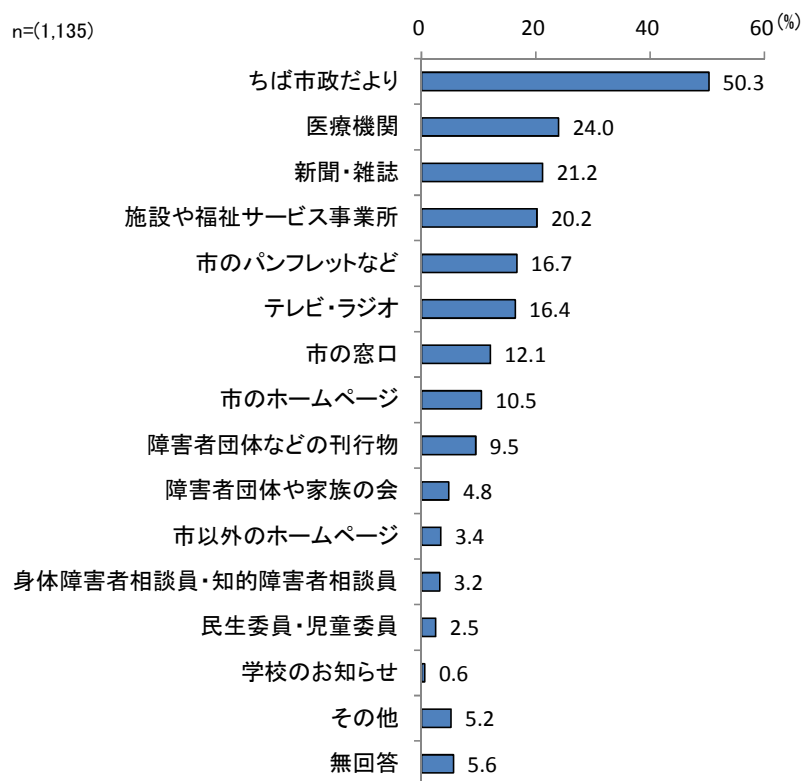
## (5) 福祉情報の入手先

問 24 あなた（やご家族の方）は、福祉に関する情報を、どこから知ることが多いですか。  
（〇はいくつでも）

全体では、「ちば市政だより」が50.3%で最も多く、以下「医療機関」が24.0%、「新聞・雑誌」が21.2%、「施設や福祉サービス事業所」が20.2%となっています。

障害種別でみると、身体障害のある方では「ちば市政だより」が多くなっています。知的障害のある方では、「施設や福祉サービス事業所」と「障害者団体などの刊行物」が、精神障害のある方では、「医療機関」が多くなっています。

### ●全体



## ●障害種別

	調査数	ちば市政だより	市のパンフレットなど	障害者団体などの刊行物	学校のお知らせ	市のホームページ	市以外のホームページ	新聞・雑誌	テレビ・ラジオ	施設や福祉サービス事業所
全 体	1135 100.0	571 50.3	189 16.7	108 9.5	7 0.6	119 10.5	39 3.4	241 21.2	186 16.4	229 20.2
身体障害	772 100.0	422 54.7	134 17.4	58 7.5	2 0.3	79 10.2	16 2.1	179 23.2	140 18.1	131 17.0
知的障害	226 100.0	100 44.2	28 12.4	53 23.5	5 2.2	16 7.1	5 2.2	39 17.3	29 12.8	97 42.9
精神障害	231 100.0	79 34.2	31 13.4	11 4.8	1 0.4	30 13.0	19 8.2	36 15.6	23 10.0	31 13.4
難病	224 100.0	109 48.7	33 14.7	17 7.6	- -	21 9.4	6 2.7	40 17.9	37 16.5	43 19.2
無回答	7 100.0	2 28.6	- -	- -	- -	- -	- -	1 14.3	1 14.3	2 28.6

	調査数	医療機関	障害者団体や家族の会	民生委員・児童委員	身体障害者相談員・知的障害者相談員	市の窓口	その他	無回答
全 体	1135 100.0	272 24.0	54 4.8	28 2.5	36 3.2	137 12.1	59 5.2	64 5.6
身体障害	772 100.0	172 22.3	21 2.7	28 3.6	17 2.2	78 10.1	38 4.9	53 6.9
知的障害	226 100.0	22 9.7	35 15.5	- -	21 9.3	38 16.8	15 6.6	7 3.1
精神障害	231 100.0	102 44.2	8 3.5	- -	6 2.6	41 17.7	14 6.1	12 5.2
難病	224 100.0	65 29.0	10 4.5	5 2.2	6 2.7	37 16.5	10 4.5	11 4.9
無回答	7 100.0	2 28.6	- -	- -	1 14.3	- -	- -	1 14.3

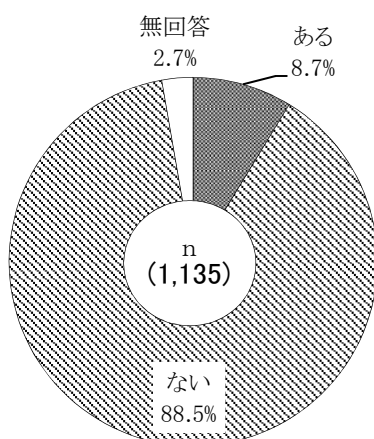
## （６）商品購入やサービス利用におけるトラブルの経験

問 25 あなたは、商品の購入やサービスの利用にあたって、トラブルになったことがありますか。（○は１つ）

全体では、「ある」が8.7%、「ない」が88.5%となっています。

障害種別でみると、精神障害のある方では「ある」が16.9%と、他の障害のある方より多くなっています。

### ●全体



### ●障害種別

	調査数	ある	ない	無回答
全 体	1135	99	1005	31
	100.0	8.7	88.5	2.7
身体障害	772	57	690	25
	100.0	7.4	89.4	3.2
知的障害	226	20	202	4
	100.0	8.8	89.4	1.8
精神障害	231	39	185	7
	100.0	16.9	80.1	3.0
難病	224	17	199	8
	100.0	7.6	88.8	3.6
無回答	7	-	7	-
	100.0	-	100.0	-

(7) 商品購入やサービス利用におけるトラブルの相談先

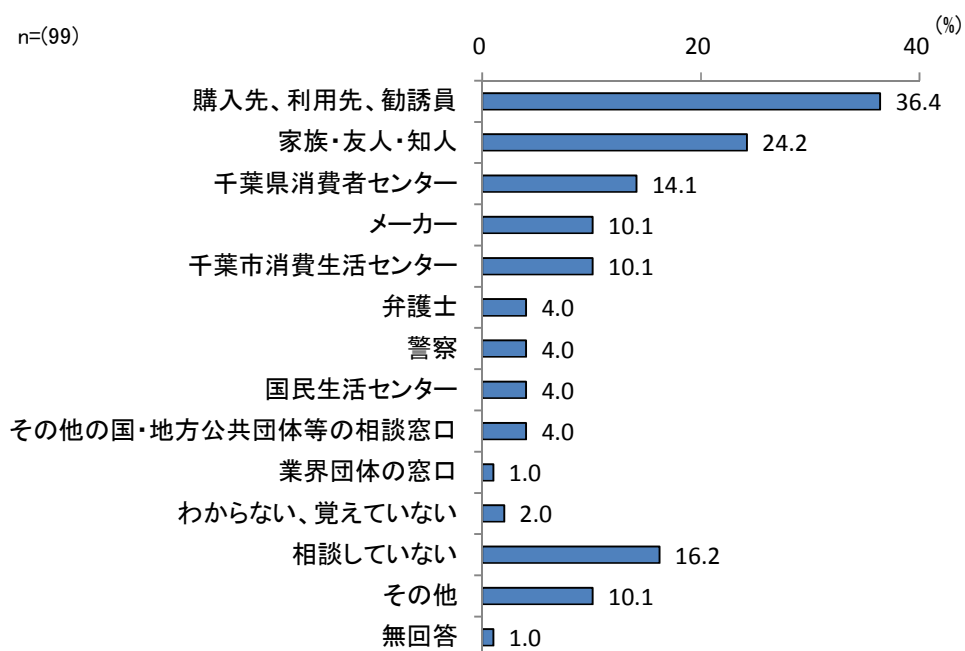
問 26 【問 25 で「1. ある」に○をつけた方におたずねします。】

あなたは、どこに（誰に）相談しましたか。（○はいくつでも）

全体では「購入先、利用先、勧誘員」が 36.4%で最も多く、以下「家族・友人・知人」が 24.2%、「千葉県消費者センター」が 14.1%となっています。

障害種別でみると、身体障害のある方、精神障害のある方、難病のある方では「購入先、利用先、勧誘員」が多くなっています。一方、知的障害のある方では「家族・友人・知人」が他の障害のある方より多くなっています。

●全体



## ●障害種別

	調査数	購入先、利用先、勧誘員	メーカー	業界団体の窓口	国民生活センター	千葉県消費者センター	千葉市消費生活センター	その他の国・地方公共団体等の相談窓口	弁護士	警察
全 体	99 100.0	36 36.4	10 10.1	1 1.0	4 4.0	14 14.1	10 10.1	4 4.0	4 4.0	4 4.0
身体障害	57 100.0	24 42.1	7 12.3	－ －	2 3.5	8 14.0	6 10.5	3 5.3	2 3.5	2 3.5
知的障害	20 100.0	3 15.0	1 5.0	－ －	－ －	－ －	1 5.0	－ －	1 5.0	－ －
精神障害	39 100.0	13 33.3	3 7.7	1 2.6	3 7.7	7 17.9	5 12.8	1 2.6	2 5.1	3 7.7
難病	17 100.0	6 35.3	4 23.5	1 5.9	－ －	1 5.9	1 5.9	1 5.9	1 5.9	－ －
無回答	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －

	調査数	家族・友人・知人	わからない、覚えていない	相談していない	その他	無回答
全 体	99 100.0	24 24.2	2 2.0	16 16.2	10 10.1	1 1.0
身体障害	57 100.0	10 17.5	1 1.8	11 19.3	6 10.5	1 1.8
知的障害	20 100.0	8 40.0	－ －	5 25.0	3 15.0	－ －
精神障害	39 100.0	8 20.5	2 5.1	5 12.8	3 7.7	－ －
難病	17 100.0	1 5.9	－ －	3 17.6	3 17.6	1 5.9
無回答	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －

## 5. 暮らしについて

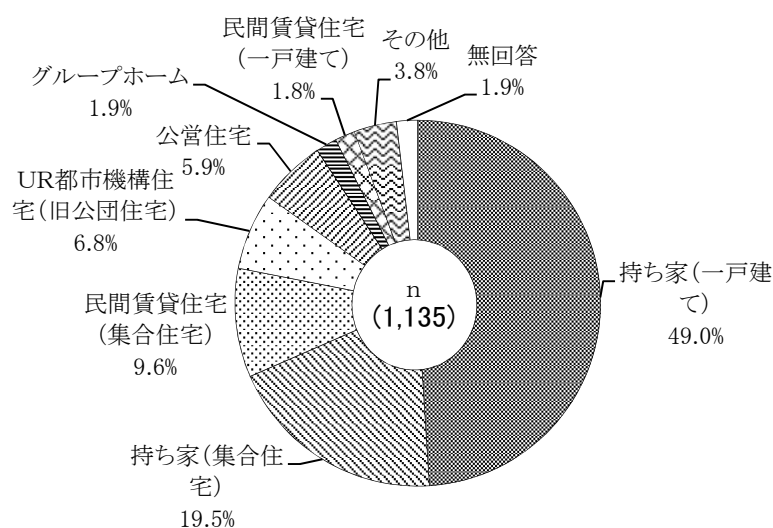
### (1) 住まいの種類

問 27 あなたのお住まいの種類をお聞きます。(○は1つ)

全体では、「持ち家(一戸建て)」が49.0%で最も多く、次いで「持ち家(集合住宅)」が19.5%となっています。

障害種別でみると、精神障害のある方では、「民間賃貸住宅(集合住宅)」が、他の障害のある方より多くなっています。

#### ●全体



#### ●障害種別

	調査数	持ち家(一戸建て)	持ち家(集合住宅)	民間賃貸住宅(一戸建て)	民間賃貸住宅(集合住宅)	公営住宅	UR都市機構住宅(旧公団住宅)	グループホーム	その他	無回答
全 体	1135	556	221	20	109	67	77	21	43	21
	100.0	49.0	19.5	1.8	9.6	5.9	6.8	1.9	3.8	1.9
身体障害	772	403	151	10	58	50	50	8	26	16
	100.0	52.2	19.6	1.3	7.5	6.5	6.5	1.0	3.4	2.1
知的障害	226	109	37	7	20	17	10	12	10	4
	100.0	48.2	16.4	3.1	8.8	7.5	4.4	5.3	4.4	1.8
精神障害	231	86	46	7	34	14	24	3	14	3
	100.0	37.2	19.9	3.0	14.7	6.1	10.4	1.3	6.1	1.3
難病	224	99	48	2	19	17	20	4	11	4
	100.0	44.2	21.4	0.9	8.5	7.6	8.9	1.8	4.9	1.8
無回答	7	2	1	-	1	1	1	-	1	-
	100.0	28.6	14.3	-	14.3	14.3	14.3	-	14.3	-



## (2) 住まいについて困っていること

問 28 あなたは、住まいについて困っていることがありますか。(〇はいくつでも)

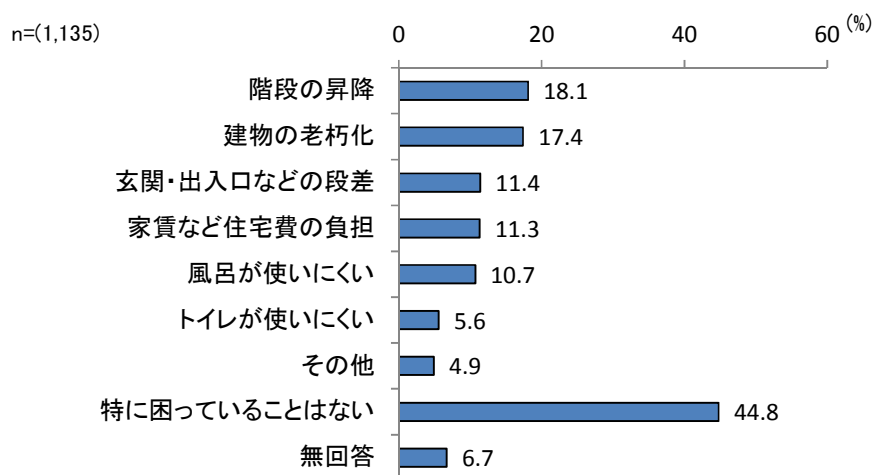
全体では、住まいについて困っていることについては「階段の昇降」が 18.1%で最も多く、次いで「建物の老朽化」が 17.4%となっています。

障害種別でみると、身体障害のある方と難病のある方では「階段の昇降」が多くなっています。精神障害のある方と難病のある方では「建物の老朽化」が、他の障害のある方より多くなっています。

住まいの種類別でみると、民間賃貸住宅（集合住宅）の方では、「家賃など住宅費の負担」が多く、公営住宅、UR都市機構住宅（旧公団住宅）の方では、「階段の昇降」が他の住宅の方より多くなっています。

身体障害の種類別でみると、肢体不自由の方、音声・言語・そしゃく機能障害の方では、「階段の昇降」が多くなっています。

### ●全体



### ●障害種別

	調査数	階段の昇降	玄関・出入口 などの段差	風呂が使い にくい	トイレが使い にくい	建物の老朽 化	家賃など住 宅費の負担	特に困って いることは ない	その他	無回答
全 体	1135	205	129	121	63	198	128	508	56	76
	100.0	18.1	11.4	10.7	5.6	17.4	11.3	44.8	4.9	6.7
身体障害	772	170	111	98	44	136	81	306	34	56
	100.0	22.0	14.4	12.7	5.7	17.6	10.5	39.6	4.4	7.3
知的障害	226	16	14	14	14	31	17	133	18	14
	100.0	7.1	6.2	6.2	6.2	13.7	7.5	58.8	8.0	6.2
精神障害	231	40	17	21	14	49	42	108	10	11
	100.0	17.3	7.4	9.1	6.1	21.2	18.2	46.8	4.3	4.8
難病	224	54	32	34	15	48	30	80	13	16
	100.0	24.1	14.3	15.2	6.7	21.4	13.4	35.7	5.8	7.1
無回答	7	2	1	1	-	2	1	2	1	-
	100.0	28.6	14.3	14.3	-	28.6	14.3	28.6	14.3	-

## ●住まいの種類別

	調査数	階段の昇降	玄関・出入口 などの段差	風呂が使い にくい	トイレが使い にくい	建物の老朽 化	家賃など住 宅費の負担	特に困ってい ることはない	その他	無回答
持ち家（一戸建て）	556	97	84	51	20	110	13	269	21	33
	100.0	17.4	15.1	9.2	3.6	19.8	2.3	48.4	3.8	5.9
持ち家（集合住宅）	221	32	15	19	9	31	15	122	11	10
	100.0	14.5	6.8	8.6	4.1	14.0	6.8	55.2	5.0	4.5
民間賃貸住宅（一戸建て）	20	3	2	-	2	4	5	7	2	1
	100.0	15.0	10.0	-	10.0	20.0	25.0	35.0	10.0	5.0
民間賃貸住宅（集合住宅）	109	21	13	18	6	13	43	38	8	4
	100.0	19.3	11.9	16.5	5.5	11.9	39.4	34.9	7.3	3.7
公営住宅	67	21	8	17	10	15	15	17	6	1
	100.0	31.3	11.9	25.4	14.9	22.4	22.4	25.4	9.0	1.5
ＵＲ都市機構住宅 （旧公団住宅）	77	23	4	10	10	18	24	24	3	4
	100.0	29.9	5.2	13.0	13.0	23.4	31.2	31.2	3.9	5.2
グループホーム	21	2	-	3	2	1	5	8	1	5
	100.0	9.5	-	14.3	9.5	4.8	23.8	38.1	4.8	23.8
その他	43	6	2	2	3	4	8	22	4	1
	100.0	14.0	4.7	4.7	7.0	9.3	18.6	51.2	9.3	2.3
無回答	21	-	1	1	1	2	-	1	-	17
	100.0	-	4.8	4.8	4.8	9.5	-	4.8	-	81.0

## ●身体障害の種類別

	調査数	階段の昇降	玄関・出入口 などの段差	風呂が使い にくい	トイレが使い にくい	建物の老朽 化	家賃など住 宅費の負担	特に困ってい ることはない	その他	無回答
肢体不自由	357	104	58	69	29	60	42	121	20	24
	100.0	29.1	16.2	19.3	8.1	16.8	11.8	33.9	5.6	6.7
音声・言語・そしゃく	37	11	5	6	2	4	6	17	4	1
機能障害	100.0	29.7	13.5	16.2	5.4	10.8	16.2	45.9	10.8	2.7
視覚障害	61	12	7	6	4	11	6	27	1	9
	100.0	19.7	11.5	9.8	6.6	18.0	9.8	44.3	1.6	14.8
聴覚・平衡機能障害	73	11	4	7	2	16	5	36	4	3
	100.0	15.1	5.5	9.6	2.7	21.9	6.8	49.3	5.5	4.1
内部機能障害 （免疫機能障害を含む）	274	47	38	24	12	47	24	114	11	19
	100.0	17.2	13.9	8.8	4.4	17.2	8.8	41.6	4.0	6.9
無回答	34	7	7	3	1	7	5	12	2	3
	100.0	20.6	20.6	8.8	2.9	20.6	14.7	35.3	5.9	8.8

### (3) 外出の頻度

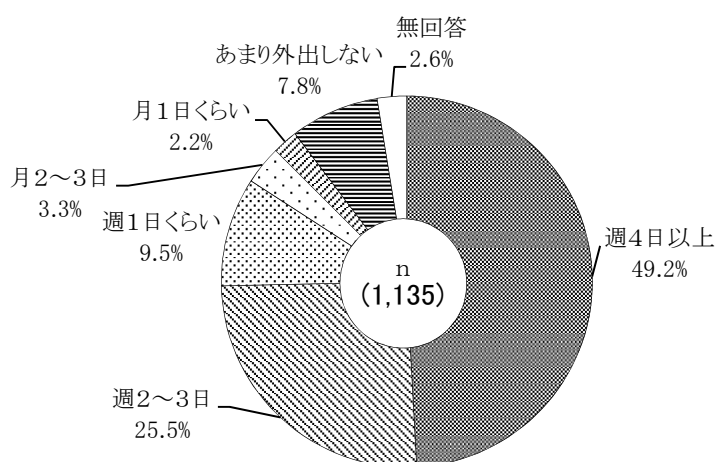
問 29 あなたは、どのくらいの頻度で外出していますか。(〇は1つ)

全体では、「週4日以上」が49.2%で最も多く、次いで「週2～3日」が25.5%となっています。

障害種別でみると、知的障害のある方では「週4日以上」が、他の障害のある方より多くなっています。

年代別でみると、加齢とともに、外出頻度は減少する傾向があります。

#### ●全体



#### ●障害種別

	調査数	週4日以上	週2～3日	週1日くらい	月2～3日	月1日くらい	あまり外出しない	無回答
全 体	1135	558	289	108	38	25	88	29
	100.0	49.2	25.5	9.5	3.3	2.2	7.8	2.6
身体障害	772	325	225	83	30	18	68	23
	100.0	42.1	29.1	10.8	3.9	2.3	8.8	3.0
知的障害	226	169	18	20	3	4	7	5
	100.0	74.8	8.0	8.8	1.3	1.8	3.1	2.2
精神障害	231	115	60	21	8	4	20	3
	100.0	49.8	26.0	9.1	3.5	1.7	8.7	1.3
難病	224	100	62	18	10	9	18	7
	100.0	44.6	27.7	8.0	4.5	4.0	8.0	3.1
無回答	7	3	2	－	－	1	1	－
	100.0	42.9	28.6	－	－	14.3	14.3	－

# ●年齢別

	調査数	週4日以上	週2～3日	週1日くらい	月2～3日	月1日くらい	あまり外出しない	無回答
18～39歳	265	185	39	20	8	3	7	3
	100.0	69.8	14.7	7.5	3.0	1.1	2.6	1.1
40～64歳	343	191	76	32	9	8	20	7
	100.0	55.7	22.2	9.3	2.6	2.3	5.8	2.0
65～74歳	232	103	63	24	4	4	26	8
	100.0	44.4	27.2	10.3	1.7	1.7	11.2	3.4
75歳以上	290	77	109	32	17	10	35	10
	100.0	26.6	37.6	11.0	5.9	3.4	12.1	3.4
無回答	5	2	2	－	－	－	－	1
	100.0	40.0	40.0	－	－	－	－	20.0

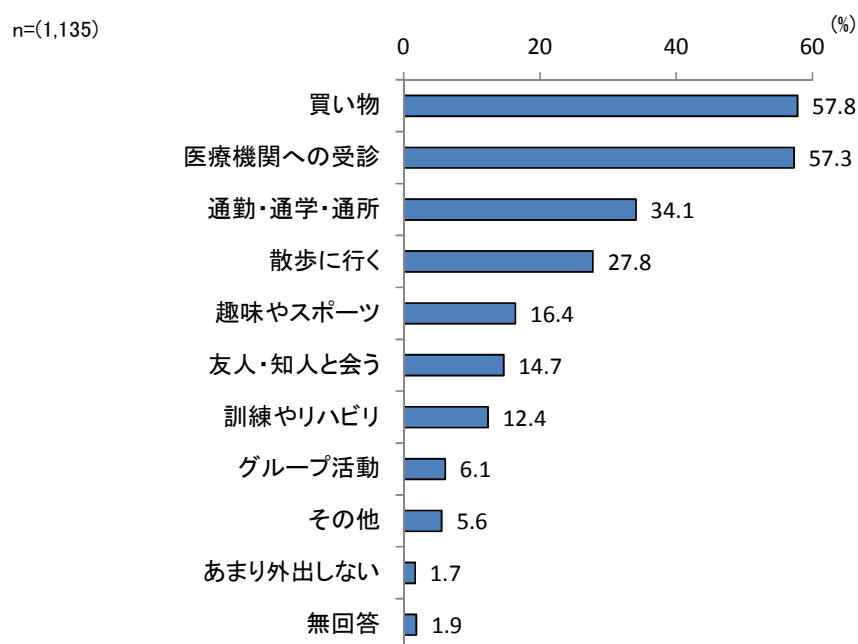
#### (4) 外出の目的

問 30 あなたは、どのような目的で外出することが多いですか。(〇はいくつでも)

全体では「買い物」が57.8%、「医療機関への受診」が57.3%と、いずれも6割近くを占めています。

障害種別でみると、身体障害のある方、精神障害のある方、難病のある方では「医療機関への受診」が、知的障害のある方より多くなっています。一方、知的障害のある方では、「通勤・通学・通所」が、他の障害のある方より多くなっています。

#### ●全体



#### ●障害種別

	調査数	通勤・通学・通所	訓練やリハビリ	医療機関への受診	買い物	友人・知人と会う	趣味やスポーツ	グループ活動	散歩に行く	あまり外出しない	その他	無回答
全 体	1135	387	141	650	656	167	186	69	315	19	63	21
	100.0	34.1	12.4	57.3	57.8	14.7	16.4	6.1	27.8	1.7	5.6	1.9
身体障害	772	168	129	470	444	120	128	47	220	13	42	18
	100.0	21.8	16.7	60.9	57.5	15.5	16.6	6.1	28.5	1.7	5.4	2.3
知的障害	226	175	9	73	122	23	41	18	64	2	14	3
	100.0	77.4	4.0	32.3	54.0	10.2	18.1	8.0	28.3	0.9	6.2	1.3
精神障害	231	92	14	159	143	35	28	8	57	5	13	2
	100.0	39.8	6.1	68.8	61.9	15.2	12.1	3.5	24.7	2.2	5.6	0.9
難病	224	61	42	153	130	27	31	15	50	2	7	3
	100.0	27.2	18.8	68.3	58.0	12.1	13.8	6.7	22.3	0.9	3.1	1.3
無回答	7	1	1	4	3	-	-	-	1	1	1	-
	100.0	14.3	14.3	57.1	42.9	-	-	-	14.3	14.3	14.3	-

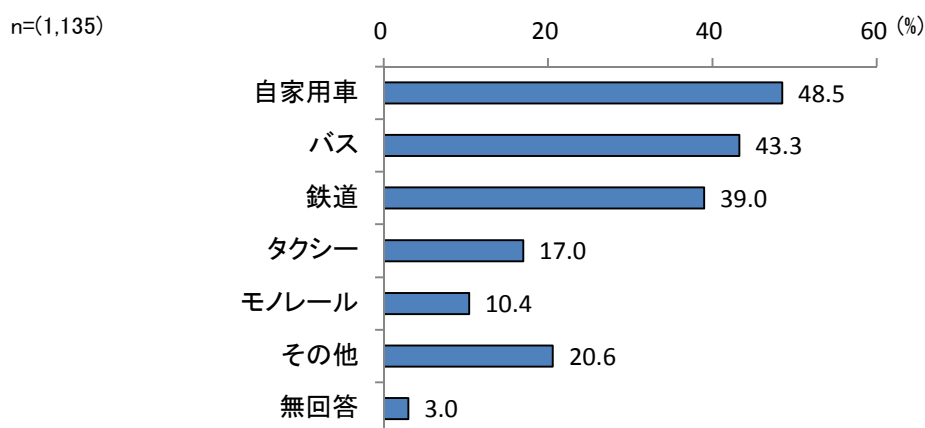
## (5) 外出時の移動手段

問 31 あなたは、外出時の移動手段について、何を利用していますか。(〇はいくつでも)

全体では、「自家用車」が48.5%で最も多く、以下「バス」が43.3%、「鉄道」が39.0%となっています。

障害種別でみると、身体障害のある方、難病のある方では、「自家用車」が、他の障害のある方より多くなっています。一方、知的障害のある方では、「鉄道」、「バス」、「モノレール」が、精神障害のある方では、「鉄道」が多くなっています。

### ●全体



### ●障害種別

	調査数	鉄道	バス	モノレール	タクシー	自家用車	その他	無回答
全 体	1135	443	492	118	193	551	234	34
	100.0	39.0	43.3	10.4	17.0	48.5	20.6	3.0
身体障害	772	259	305	63	172	401	147	29
	100.0	33.5	39.5	8.2	22.3	51.9	19.0	3.8
知的障害	226	105	125	47	13	104	50	4
	100.0	46.5	55.3	20.8	5.8	46.0	22.1	1.8
精神障害	231	109	108	21	26	92	46	3
	100.0	47.2	46.8	9.1	11.3	39.8	19.9	1.3
難病	224	70	97	20	54	117	44	3
	100.0	31.3	43.3	8.9	24.1	52.2	19.6	1.3
無回答	7	1	2	－	1	4	3	－
	100.0	14.3	28.6	－	14.3	57.1	42.9	－

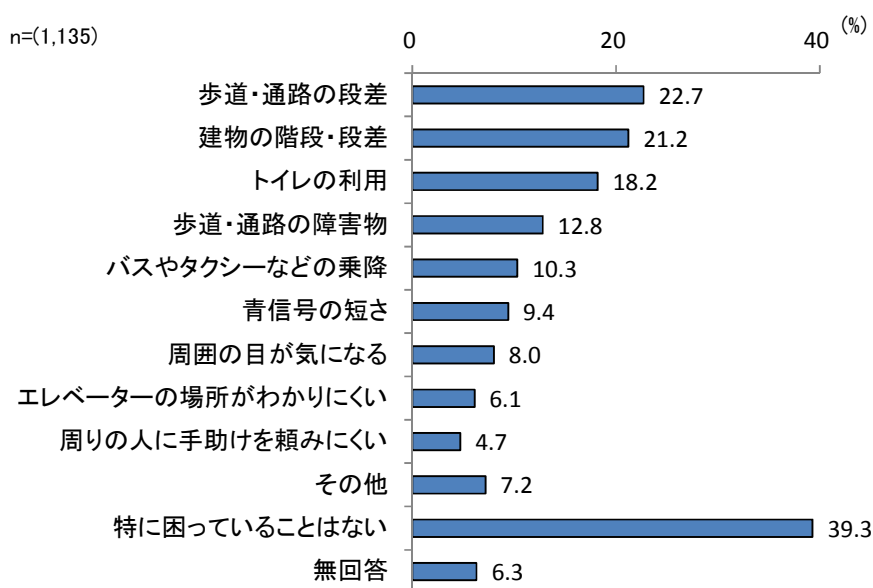
## (6) 外出時に困っていること

問 32 あなたは、外出時に困っていることがありますか。(〇はいくつでも)

全体では、外出時に困っていることについては「歩道・通路の段差」が22.7%、「建物の階段・段差」が21.2%、「トイレの利用」が18.2%と、いずれも2割前後を占めています。

障害種別でみると、身体障害のある方、難病のある方では、「歩道・通路の段差」と「建物の階段・段差」が他の障害のある方より多くなっています。一方、精神障害のある方では「周囲の目が気になる」が、他の障害のある方より多くなっています。

### ●全体



### ●障害種別

	調査数	歩道・通路の 段差	青信号の長 さ	歩道・通路の 障害物	バスやタク シーなどの 乗降	建物の階段・ 段差	エレベーター の場所がわ かりにくい	トイレの利用	周りの人に 手助けを頼 みにくい	周囲の目が 気になる	特に困ってい ることはない	その他	無回答
全 体	1135	258	107	145	117	241	69	207	53	91	446	82	71
	100.0	22.7	9.4	12.8	10.3	21.2	6.1	18.2	4.7	8.0	39.3	7.2	6.3
身体障害	772	223	83	123	98	209	53	158	34	33	256	56	51
	100.0	28.9	10.8	15.9	12.7	27.1	6.9	20.5	4.4	4.3	33.2	7.3	6.6
知的障害	226	35	14	22	15	29	11	40	13	28	108	21	16
	100.0	15.5	6.2	9.7	6.6	12.8	4.9	17.7	5.8	12.4	47.8	9.3	7.1
精神障害	231	27	25	22	17	28	15	33	13	52	105	14	13
	100.0	11.7	10.8	9.5	7.4	12.1	6.5	14.3	5.6	22.5	45.5	6.1	5.6
難病	224	70	16	44	36	63	23	43	15	20	70	14	15
	100.0	31.3	7.1	19.6	16.1	28.1	10.3	19.2	6.7	8.9	31.3	6.3	6.7
無回答	7	2	1	1	-	2	1	3	1	-	3	-	1
	100.0	28.6	14.3	14.3	-	28.6	14.3	42.9	14.3	-	42.9	-	14.3

## (7) 外出先のトイレに望むこと

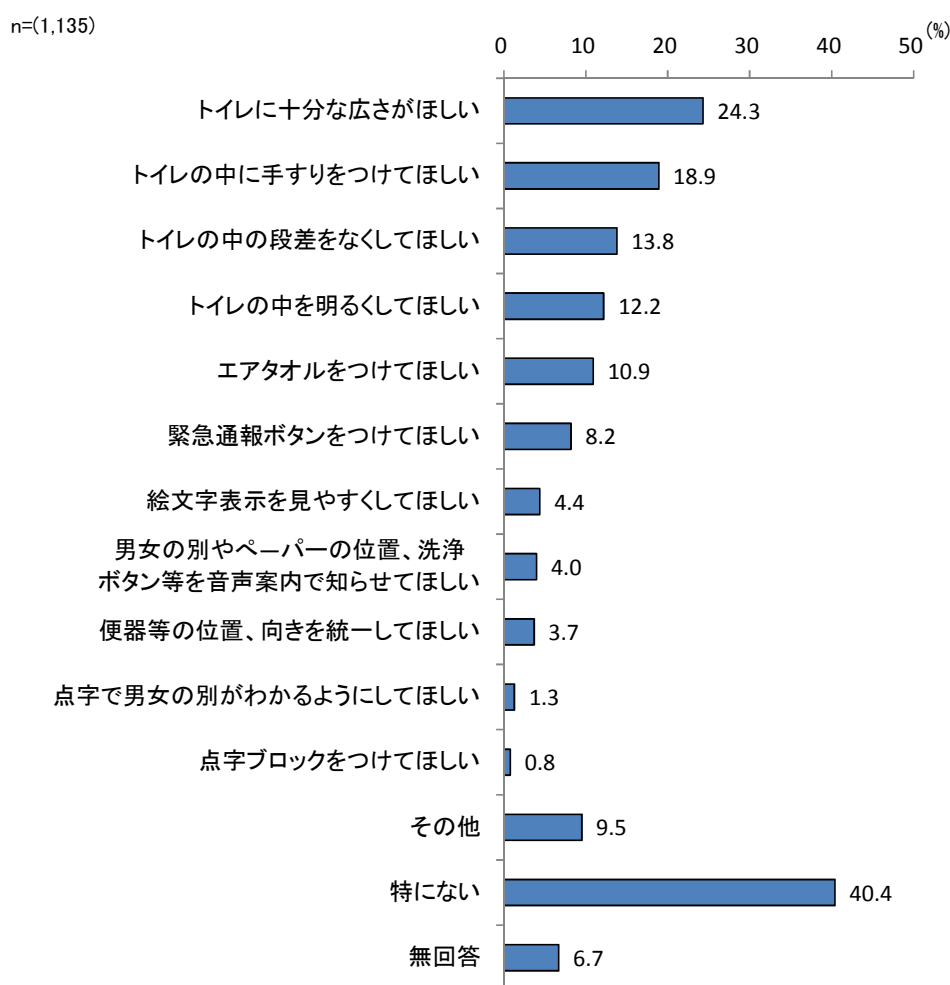
問 33 外出先のトイレに望むことは何ですか。(〇はいくつでも)

全体では、外出先のトイレに望むことについては「トイレに十分な広さがほしい」が 24.3%で最も多く、以下「トイレの中に手すりをつけてほしい」が 18.9%、「トイレの中の段差をなくしてほしい」が 13.8%、「トイレの中を明るくしてほしい」が 12.2%となっています。

障害種別でみると、身体障害のある方、難病のある方では、「トイレの中に手すりをつけてほしい」、「トイレの中の段差をなくしてほしい」が多くなっています。

身体障害の種別でみると、肢体不自由の方では、「トイレに十分な広さがほしい」、「トイレの中に手すりをつけてほしい」、「トイレの中の段差をなくしてほしい」が、他より多くなっています。視覚障害のある方では、「男女の別やペーパーの位置、洗浄ボタン等を音声案内で知らせてほしい」、「トイレの中の段差をなくしてほしい」、「トイレの中を明るくしてほしい」、「便器等の位置、向きを統一してほしい」、「点字で男女の別がわかるようにしてほしい」が、他より多くなっています。

### ●全体





## ●障害種別

	調査数	点字で男女の別がわかるようにしてほしい	男女の別やペーパーの位置、洗浄ボタン等を音声案内で知らせてほしい	絵文字表示を見やすくしてほしい	トイレの中を明るくしてほしい	トイレの中の段差をなくしてほしい	点字ブロックをつけてほしい	便器等の位置、向きを統一してほしい	トイレの中に手すりをつけてほしい	エアタオルをつけてほしい
全 体	1135 100.0	15 1.3	45 4.0	50 4.4	138 12.2	157 13.8	9 0.8	42 3.7	214 18.9	124 10.9
身体障害	772 100.0	13 1.7	32 4.1	29 3.8	95 12.3	124 16.1	7 0.9	28 3.6	184 23.8	79 10.2
知的障害	226 100.0	2 0.9	10 4.4	19 8.4	20 8.8	23 10.2	1 0.4	9 4.0	19 8.4	24 10.6
精神障害	231 100.0	2 0.9	6 2.6	6 2.6	35 15.2	24 10.4	1 0.4	12 5.2	28 12.1	37 16.0
難病	224 100.0	3 1.3	11 4.9	13 5.8	32 14.3	34 15.2	3 1.3	14 6.3	47 21.0	22 9.8
無回答	7 100.0	－ －	2 28.6	－ －	－ －	2 28.6	－ －	－ －	3 42.9	－ －

	調査数	トイレに十分な広さがほしい	緊急通報ボタンをつけてほしい	特にない	その他	無回答
全 体	1135 100.0	276 24.3	93 8.2	458 40.4	108 9.5	76 6.7
身体障害	772 100.0	205 26.6	66 8.5	277 35.9	64 8.3	59 7.6
知的障害	226 100.0	45 19.9	12 5.3	109 48.2	29 12.8	17 7.5
精神障害	231 100.0	54 23.4	24 10.4	102 44.2	26 11.3	11 4.8
難病	224 100.0	61 27.2	26 11.6	86 38.4	28 12.5	11 4.9
無回答	7 100.0	3 42.9	－ －	3 42.9	1 14.3	－ －

## ●身体障害の種類別

	調査数	点字で男女の別がわかるようにしてほしい	男女の別やペーパーの位置、洗浄ボタン等を音声案内で知らせてほしい	絵文字表示を見やすくしてほしい	トイレの中を明るくしてほしい	トイレの中の段差をなくしてほしい	点字ブロックをつけてほしい	便器等の位置、向きを統一してほしい	トイレの中に手すりをつけてほしい	エアタオルをつけてほしい
肢体不自由	357 100.0	3 0.8	16 4.5	15 4.2	40 11.2	79 22.1	－ －	13 3.6	122 34.2	45 12.6
音声・言語・そしゃく機能障害	37 100.0	1 2.7	2 5.4	1 2.7	4 10.8	6 16.2	－ －	3 8.1	8 21.6	5 13.5
視覚障害	61 100.0	8 13.1	15 24.6	3 4.9	11 18.0	14 23.0	7 11.5	10 16.4	12 19.7	3 4.9
聴覚・平衡機能障害	73 100.0	1 1.4	1 1.4	3 4.1	7 9.6	7 9.6	－ －	1 1.4	11 15.1	5 6.8
内部機能障害 (免疫機能障害を含む)	274 100.0	3 1.1	1 0.4	7 2.6	35 12.8	24 8.8	－ －	7 2.6	46 16.8	29 10.6
無回答	34 100.0	－ －	1 2.9	2 5.9	6 17.6	6 17.6	－ －	－ －	7 20.6	1 2.9

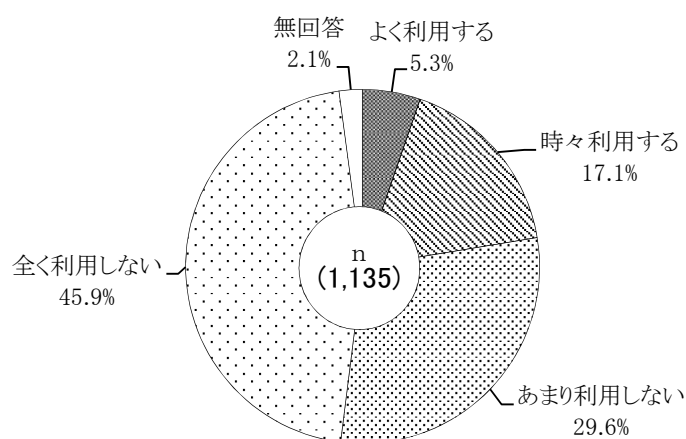
	調査数	トイレに十分な広さがほしい	緊急通報ボタンをつけてほしい	特にない	その他	無回答
肢体不自由	357 100.0	115 32.2	34 9.5	89 24.9	42 11.8	31 8.7
音声・言語・そしゃく機能障害	37 100.0	10 27.0	3 8.1	16 43.2	4 10.8	3 8.1
視覚障害	61 100.0	11 18.0	5 8.2	19 31.1	3 4.9	4 6.6
聴覚・平衡機能障害	73 100.0	11 15.1	3 4.1	43 58.9	2 2.7	3 4.1
内部機能障害 (免疫機能障害を含む)	274 100.0	65 23.7	24 8.8	122 44.5	20 7.3	18 6.6
無回答	34 100.0	12 35.3	3 8.8	10 29.4	1 2.9	5 14.7

## (8) 公園の利用状況

問 34 あなたは日頃、近くの公園を利用していますか。(○は1つ)

全体では、「よく利用する」が5.3%、「時々利用する」が17.1%となっています。

### ●全体



### ●障害種別

	調査数	よく利用する	時々利用する	あまり利用しない	全く利用しない	無回答
全 体	1135	60	194	336	521	24
	100.0	5.3	17.1	29.6	45.9	2.1
身体障害	772	40	137	221	355	19
	100.0	5.2	17.7	28.6	46.0	2.5
知的障害	226	12	34	84	93	3
	100.0	5.3	15.0	37.2	41.2	1.3
精神障害	231	13	39	60	117	2
	100.0	5.6	16.9	26.0	50.6	0.9
難病	224	6	44	66	102	6
	100.0	2.7	19.6	29.5	45.5	2.7
無回答	7	-	1	2	4	-
	100.0	-	14.3	28.6	57.1	-

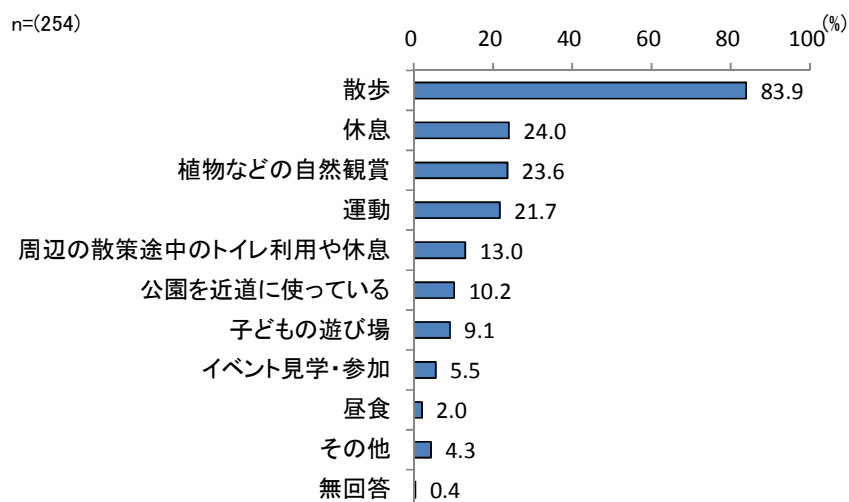
## (9) 公園の利用目的

問 35 【問 34 で「1. よく利用する」または「2. 時々利用する」に○をつけた方におたずねします】あなたが公園を利用する目的は何ですか。(○はいくつでも)

全体では、「散歩」が83.9%で最も多く、以下「休息」、「植物などの自然観賞」、「運動」がいずれも2割台で続いています。

障害の種別でみると、知的障害のある方では「運動」が、精神障害のある方では「休息」が他の障害のある方より多くなっています。

### ●全体



### ●障害種別

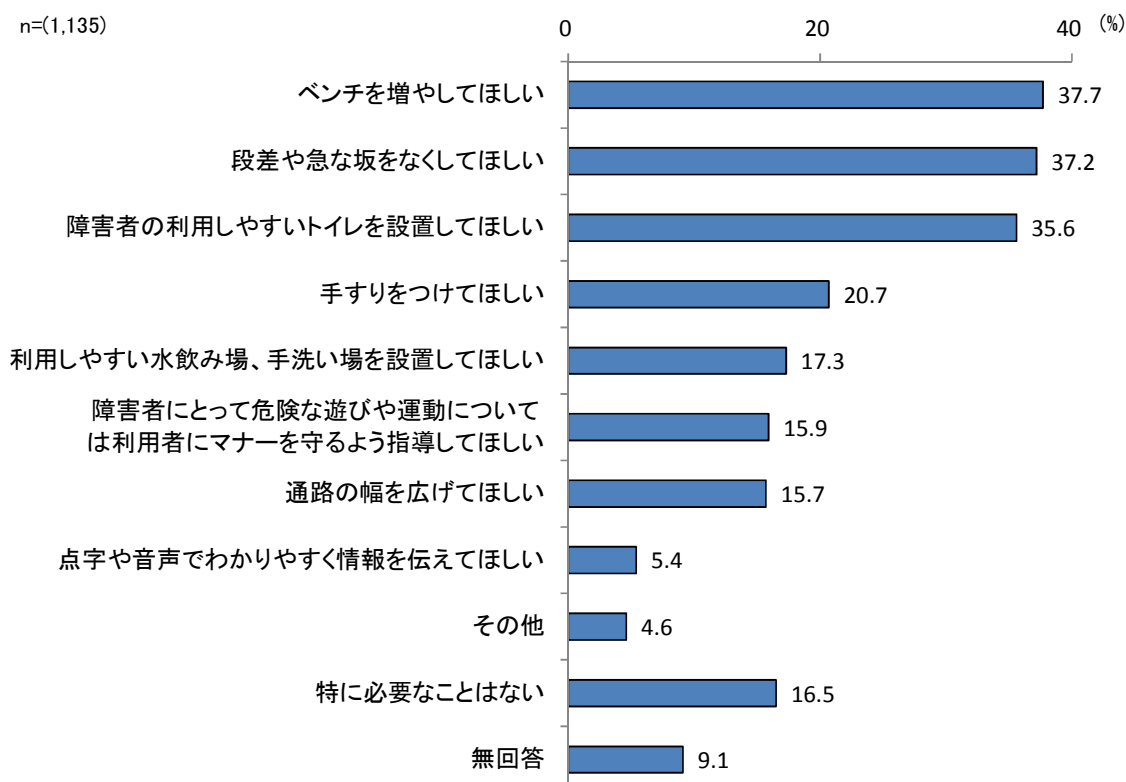
	調査数	散歩	運動	休息	植物などの自然観賞	昼食	公園を近道に使っている	周辺の散策途中のトイレ利用や休息	子どもの遊び場	イベント見学・参加	その他	無回答
全 体	254	213	55	61	60	5	26	33	23	14	11	1
	100.0	83.9	21.7	24.0	23.6	2.0	10.2	13.0	9.1	5.5	4.3	0.4
身体障害	177	156	31	45	46	1	19	21	11	10	8	1
	100.0	88.1	17.5	25.4	26.0	0.6	10.7	11.9	6.2	5.6	4.5	0.6
知的障害	46	38	15	4	6	-	1	7	1	2	2	-
	100.0	82.6	32.6	8.7	13.0	-	2.2	15.2	2.2	4.3	4.3	-
精神障害	52	37	14	16	12	4	7	8	11	3	3	-
	100.0	71.2	26.9	30.8	23.1	7.7	13.5	15.4	21.2	5.8	5.8	-
難病	50	44	11	13	12	-	6	5	5	2	1	-
	100.0	88.0	22.0	26.0	24.0	-	12.0	10.0	10.0	4.0	2.0	-
無回答	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
	100.0	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-

## (10) 障害者の公園利用のために必要なこと

問 36 あなたは、障害者が安心して公園を利用できるようにするために、何が必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

全体では、「ベンチを増やしてほしい」が37.7%、「段差や急な坂をなくしてほしい」が37.2%、「障害者の利用しやすいトイレを設置してほしい」が35.6%と、いずれも3割を超えています。

### ●全体



### ●障害種別

	調査数	通路の幅を広げてほしい	手すりをつけてほしい	段差や急な坂をなくしてほしい	点字や音声でわかりやすく情報を伝えてほしい	障害者の利用しやすいトイレを設置してほしい	障害者にとって危険な遊びや運動については利用者にマナーを守るよう指導してほしい	ベンチを増やしてほしい	利用しやすい水飲み場、手洗い場を設置してほしい	特に必要なことはない	その他	無回答
全 体	1135	178	235	422	61	404	181	428	196	187	52	103
	100.0	15.7	20.7	37.2	5.4	35.6	15.9	37.7	17.3	16.5	4.6	9.1
身体障害	772	111	178	303	37	276	101	306	117	114	31	74
	100.0	14.4	23.1	39.2	4.8	35.8	13.1	39.6	15.2	14.8	4.0	9.6
知的障害	226	38	26	65	15	86	51	58	46	51	14	24
	100.0	16.8	11.5	28.8	6.6	38.1	22.6	25.7	20.4	22.6	6.2	10.6
精神障害	231	48	44	89	13	84	40	91	49	38	11	22
	100.0	20.8	19.0	38.5	5.6	36.4	17.3	39.4	21.2	16.5	4.8	9.5
難病	224	31	50	93	17	74	39	101	32	25	11	20
	100.0	13.8	22.3	41.5	7.6	33.0	17.4	45.1	14.3	11.2	4.9	8.9
無回答	7	2	3	2	-	2	1	2	2	2	-	-
	100.0	28.6	42.9	28.6	-	28.6	14.3	28.6	28.6	28.6	-	-

## 6. 災害対策について

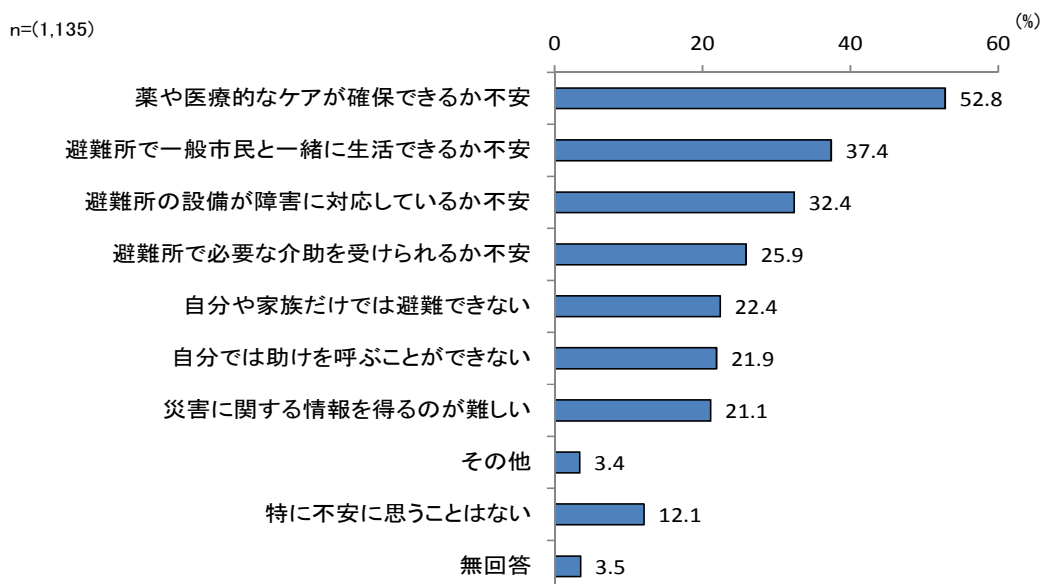
### (1) 災害時に不安に思うこと

問 37 あなたは、地震などの災害が起きた時について、どのようなことを不安に思いますか。  
(○はいくつでも)

全体では、「薬や医療的なケアが確保できるか不安」が 52.8%で最も多く、以下、「避難所で一般市民と一緒に生活できるか不安」が 37.4%、「避難所の設備が障害に対応しているか不安」が 32.4%、「避難所で必要な介助を受けられるか不安」が 25.9%となっています。一方、「特に不安に思うことはない」は 12.1%となっています。

障害種別でみると、精神障害のある方、難病の方では、「薬や医療的なケアが確保できるか不安」が、他の障害のある方より多くなっています。一方、知的障害のある方では、「避難所で一般市民と一緒に生活できるか不安」、「自分では助けを呼ぶことができない」、「災害に関する情報を得るのが難しい」が、多くなっています。

#### ●全体



#### ●障害種別

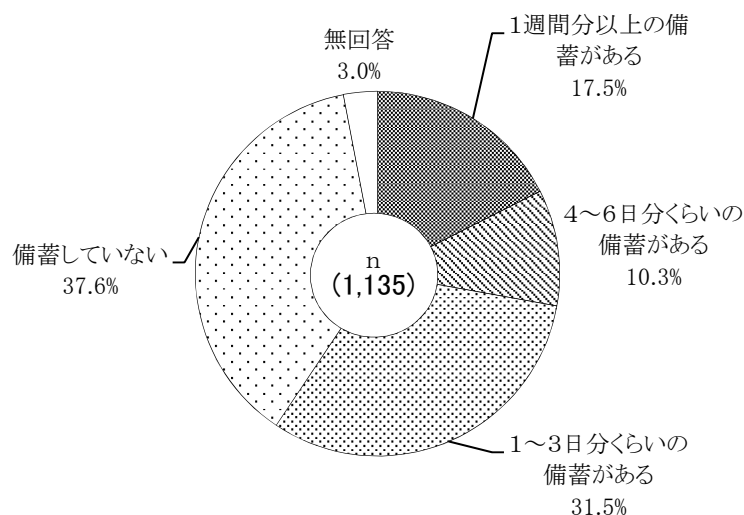
	調査数	自分や家族だけでは避難できない	自分では助けを呼ぶことができない	災害に関する情報を得るのが難しい	避難所の設備が障害に対応しているか不安	避難所で必要な介助を受けられるか不安	避難所で一般市民と一緒に生活できるか不安	薬や医療的なケアが確保できるか不安	特に不安に思うことはない	その他	無回答
全 体	1135	254	249	240	368	294	425	599	137	39	40
	100.0	22.4	21.9	21.1	32.4	25.9	37.4	52.8	12.1	3.4	3.5
身体障害	772	196	147	143	284	210	248	410	88	24	33
	100.0	25.4	19.0	18.5	36.8	27.2	32.1	53.1	11.4	3.1	4.3
知的障害	226	51	102	79	69	67	122	84	29	12	5
	100.0	22.6	45.1	35.0	30.5	29.6	54.0	37.2	12.8	5.3	2.2
精神障害	231	37	29	36	50	47	104	165	25	8	5
	100.0	16.0	12.6	15.6	21.6	20.3	45.0	71.4	10.8	3.5	2.2
難病	224	59	52	45	87	70	89	140	22	3	3
	100.0	26.3	23.2	20.1	38.8	31.3	39.7	62.5	9.8	1.3	1.3
無回答	7	1	1	2	3	5	2	5	2	-	-
	100.0	14.3	14.3	28.6	42.9	71.4	28.6	71.4	28.6	-	-

## (2) 災害発生に備えた備蓄状況

問 38 あなたは、災害発生に備えて、避難生活に必要な物資（薬や装具等）を、備蓄していますか。（○は1つ）

全体では、「1～3日分くらいの備蓄がある」が31.5%で最も多く、次いで「1週間分以上の備蓄がある」が17.5%となっています。一方、「備蓄していない」は37.6%となっています。

### ●全体



### ●障害種別

	調査数	1週間分以上の備蓄がある	4～6日分くらいの備蓄がある	1～3日分くらいの備蓄がある	備蓄していない	無回答
全 体	1135	199	117	358	427	34
	100.0	17.5	10.3	31.5	37.6	3.0
身体障害	772	144	89	251	263	25
	100.0	18.7	11.5	32.5	34.1	3.2
知的障害	226	31	19	69	101	6
	100.0	13.7	8.4	30.5	44.7	2.7
精神障害	231	41	23	61	100	6
	100.0	17.7	10.0	26.4	43.3	2.6
難病	224	44	27	70	78	5
	100.0	19.6	12.1	31.3	34.8	2.2
無回答	7	2	1	1	3	－
	100.0	28.6	14.3	14.3	42.9	－

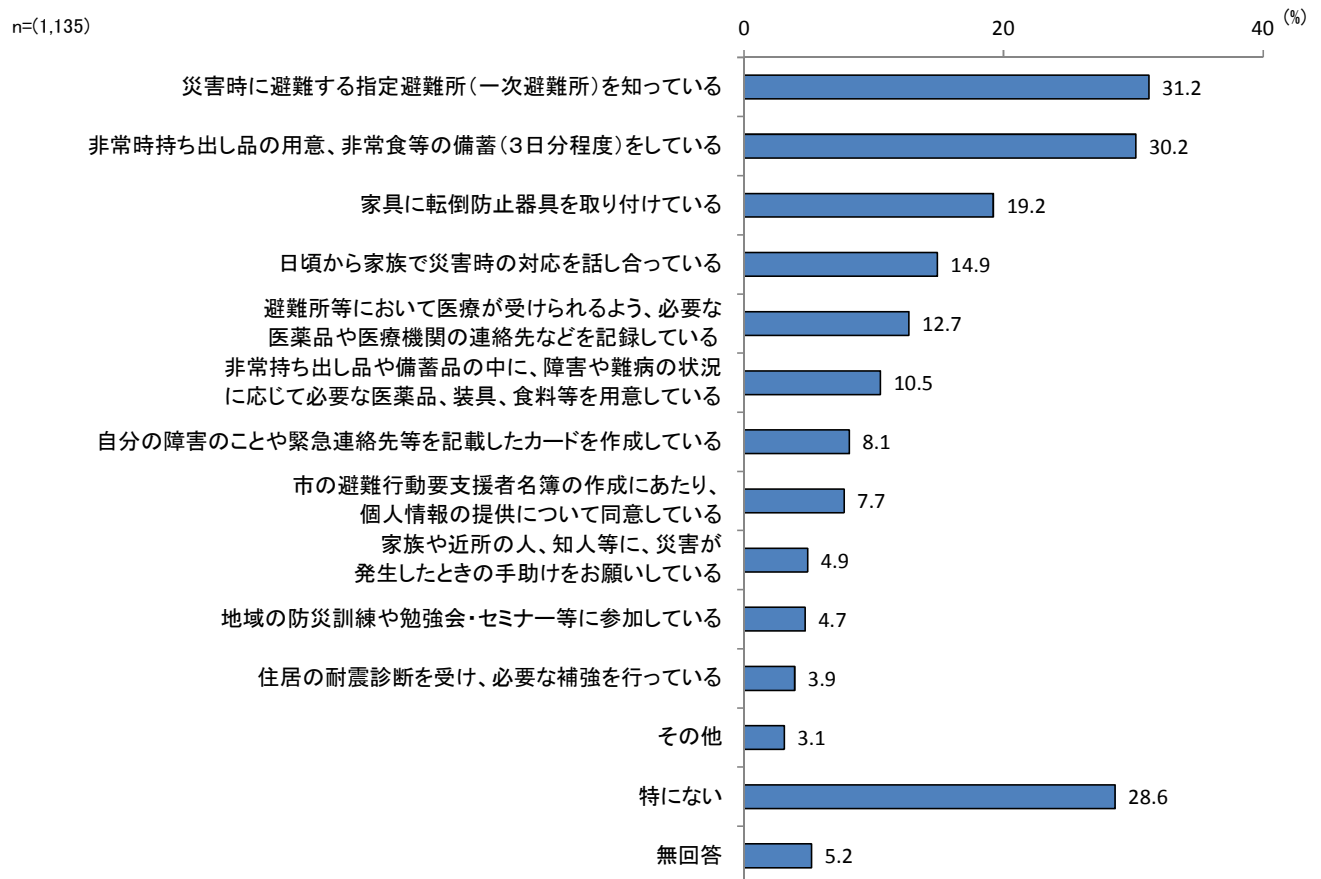
### (3) 災害に対する備え

問 39 あなたは、災害に対してどのような備えをしていますか。(〇はいくつでも)

全体では、「災害時に避難する指定避難所（一次避難所）を知っている」が 31.2%、「非常時持ち出し品の用意、非常食等の備蓄（3 日分程度）」をしている」が 30.2%と、いずれも 3 割を超えています。

障害種別でみると、身体障害のある方では、「災害時に避難する指定避難所（一次避難所）を知っている」と「非常時持ち出し品の用意、非常食等の備蓄（3 日分程度）」をしている」が多くなっています。一方、知的障害のある方では、「日頃から家族で災害時の対応を話し合っている」と「市の避難行動要支援者名簿の作成にあたり、個人情報の提供について同意している」が、他の障害のある方より多くなっています。

#### ●全体



## ●障害種別

	調査数	日頃から家族で災害時の対応を話し合っている	非常時持ち出し品の用意、非常食等の備蓄(3日分程度)をしている	非常持ち出し品や備蓄品の中に、障害や難病の状況に応じて必要な医薬品、装具、食料等を用意している	避難所等において医療が受けられるよう、必要な医薬品や医療機関の連絡先などを記録している	家族や近所の人、知人等に、災害が発生したときの手助けをお願いしている	自分の障害のことや緊急連絡先等を記載したカードを作成している	市の避難行動要支援者名簿の作成にあたり、個人情報の提供について同意している	家具に転倒防止器具を取り付けている	住居の耐震診断を受け、必要な補強を行っている
全 体	1135 100.0	169 14.9	343 30.2	119 10.5	144 12.7	56 4.9	92 8.1	87 7.7	218 19.2	44 3.9
身体障害	772 100.0	107 13.9	248 32.1	90 11.7	114 14.8	50 6.5	74 9.6	52 6.7	149 19.3	32 4.1
知的障害	226 100.0	46 20.4	57 25.2	21 9.3	22 9.7	10 4.4	16 7.1	36 15.9	44 19.5	8 3.5
精神障害	231 100.0	32 13.9	56 24.2	18 7.8	23 10.0	3 1.3	5 2.2	9 3.9	40 17.3	7 3.0
難病	224 100.0	37 16.5	60 26.8	31 13.8	39 17.4	13 5.8	26 11.6	17 7.6	53 23.7	12 5.4
無回答	7 100.0	－ －	2 28.6	－ －	1 14.3	－ －	2 28.6	－ －	－ －	－ －

	調査数	災害時に避難する指定避難所(一次避難所)を知っている	地域の防災訓練や勉強会・セミナー等に参加している	特になし	その他	無回答
全 体	1135 100.0	354 31.2	53 4.7	325 28.6	35 3.1	59 5.2
身体障害	772 100.0	263 34.1	47 6.1	192 24.9	22 2.8	48 6.2
知的障害	226 100.0	59 26.1	6 2.7	76 33.6	8 3.5	10 4.4
精神障害	231 100.0	54 23.4	2 0.9	92 39.8	7 3.0	5 2.2
難病	224 100.0	75 33.5	11 4.9	55 24.6	7 3.1	7 3.1
無回答	7 100.0	1 14.3	－ －	2 28.6	－ －	－ －



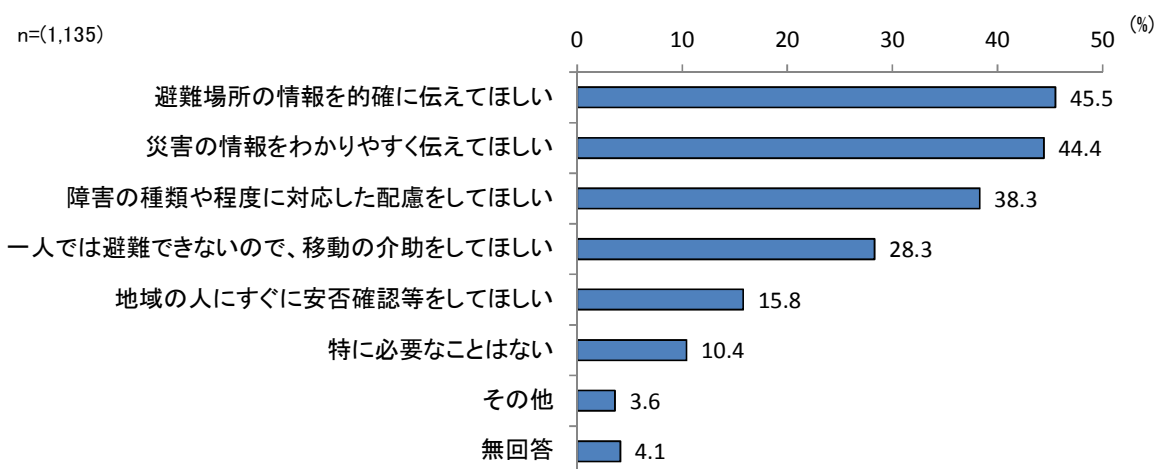
#### (4) 災害で避難する場合に必要な支援

問 40 あなたは、災害で避難する場合に、どのような支援をしてほしいですか。(〇はいくつでも)

全体では、「避難場所の情報を的確に伝えてほしい」が 45.5%、「災害の情報をわかりやすく伝えてほしい」が 44.4%と、いずれも4割台半ばを占めています。

障害種別でみると、知的障害のある方、難病のある方では「障害の種類や程度に対応した配慮をしてほしい」が、他の障害のある方より多くなっています。

#### ●全体



#### ●障害種別

	調査数	一人では避難できないので、移動の介助をしてほしい	災害の情報をわかりやすく伝えてほしい	障害の種類や程度に対応した配慮をしてほしい	地域の人にすぐに安否確認等をしてほしい	避難場所の情報を的確に伝えてほしい	特に必要なことはない	その他	無回答
全 体	1135	321	504	435	179	516	118	41	46
	100.0	28.3	44.4	38.3	15.8	45.5	10.4	3.6	4.1
身体障害	772	249	340	292	117	331	71	24	35
	100.0	32.3	44.0	37.8	15.2	42.9	9.2	3.1	4.5
知的障害	226	76	96	113	46	112	18	10	8
	100.0	33.6	42.5	50.0	20.4	49.6	8.0	4.4	3.5
精神障害	231	37	93	73	29	109	39	14	6
	100.0	16.0	40.3	31.6	12.6	47.2	16.9	6.1	2.6
難病	224	80	101	103	27	99	12	11	9
	100.0	35.7	45.1	46.0	12.1	44.2	5.4	4.9	4.0
無回答	7	4	4	1	2	3	1	-	-
	100.0	57.1	57.1	14.3	28.6	42.9	14.3	-	-

## 7. 日中活動・就労について

### (1) 日中の過ごし方

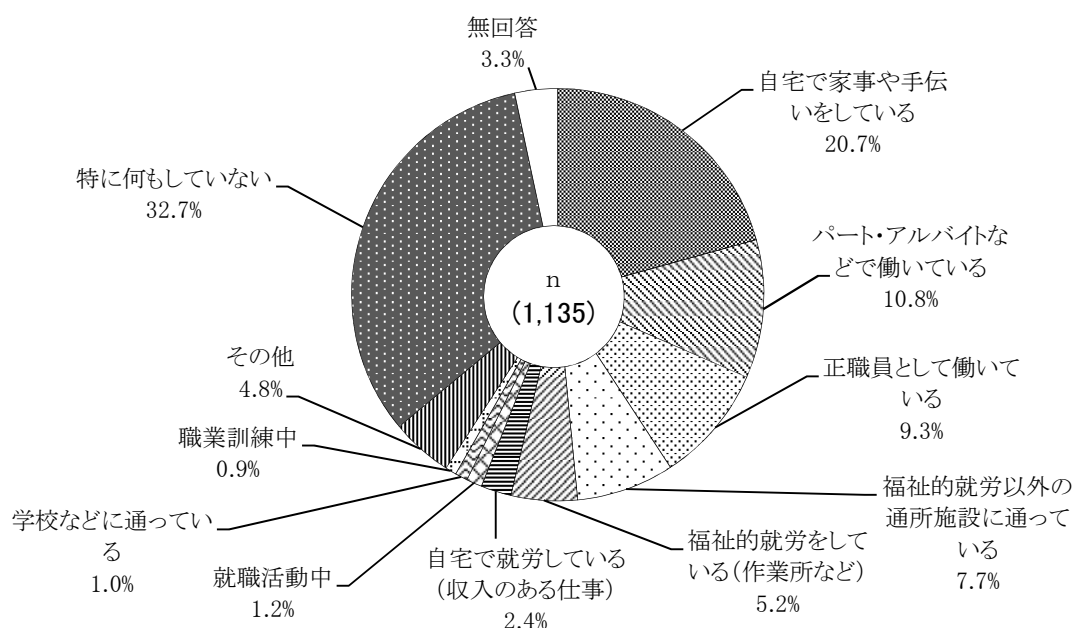
問 41 あなたは、平日の日中を主にどのように過ごしていますか。(最もあてはまる番号ひとつに○)

全体では、平日の日中の過ごし方については「自宅で家事や手伝いをしている」が20.7%、「パート・アルバイトなどで働いている」が10.8%となっています。

障害種別でみると、知的障害のある方は「福祉的就労をしている（作業所など）」や「福祉的就労以外の通所施設に通っている」が多くなっています。

年齢別でみると、65歳以上は外で働くことよりも「自宅で家事や手伝いをしている」や「特に何もしていない」が多くなっています。

#### ●全体



## ●障害種別

	調査数	正職員として働いている	パート・アルバイトなどで働いている	福祉的就労をしている（作業所など）	自宅で就労している（収入のある仕事）	福祉的就労以外の通所施設に通っている	自宅で家事や手伝いをしている	学校などに通っている	職業訓練中	就職活動中
全 体	1135 100.0	105 9.3	123 10.8	59 5.2	27 2.4	87 7.7	235 20.7	11 1.0	10 0.9	14 1.2
身体障害	772 100.0	62 8.0	56 7.3	9 1.2	24 3.1	40 5.2	186 24.1	7 0.9	3 0.4	4 0.5
知的障害	226 100.0	24 10.6	37 16.4	57 25.2	－ －	53 23.5	10 4.4	1 0.4	6 2.7	－ －
精神障害	231 100.0	24 10.4	37 16.0	4 1.7	3 1.3	17 7.4	50 21.6	3 1.3	4 1.7	8 3.5
難病	224 100.0	15 6.7	24 10.7	10 4.5	6 2.7	18 8.0	44 19.6	1 0.4	3 1.3	1 0.4
無回答	7 100.0	－ －	－ －	－ －	－ －	1 14.3	1 14.3	－ －	－ －	2 28.6

	調査数	特に何もしていない	その他	無回答
全 体	1135 100.0	371 32.7	55 4.8	38 3.3
身体障害	772 100.0	313 40.5	38 4.9	30 3.9
知的障害	226 100.0	23 10.2	7 3.1	8 3.5
精神障害	231 100.0	62 26.8	14 6.1	5 2.2
難病	224 100.0	87 38.8	8 3.6	7 3.1
無回答	7 100.0	3 42.9	－ －	－ －

## ●年齢別

	調査数	正職員として働いている	パート・アルバイトなどで働いている	福祉的就労をしている（作業所など）	自宅で就労している（収入のある仕事）	福祉的就労以外の通所施設に通っている	自宅で家事や手伝いをしている	学校などに通っている	職業訓練中	就職活動中
18～39歳	265 100.0	33 12.5	56 21.1	39 14.7	2 0.8	42 15.8	25 9.4	9 3.4	6 2.3	6 2.3
40～64歳	343 100.0	63 18.4	45 13.1	19 5.5	9 2.6	23 6.7	69 20.1	1 0.3	4 1.2	7 2.0
65～74歳	232 100.0	8 3.4	18 7.8	－ －	9 3.9	9 3.9	64 27.6	1 0.4	－ －	－ －
75歳以上	290 100.0	1 0.3	4 1.4	－ －	7 2.4	13 4.5	77 26.6	－ －	－ －	－ －
無回答	5 100.0	－ －	－ －	1 20.0	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	1 20.0

	調査数	特に何もしていない	その他	無回答
18～39歳	265 100.0	28 10.6	14 5.3	5 1.9
40～64歳	343 100.0	77 22.4	17 5.0	9 2.6
65～74歳	232 100.0	107 46.1	7 3.0	9 3.9
75歳以上	290 100.0	156 53.8	17 5.9	15 5.2
無回答	5 100.0	3 60.0	－ －	－ －

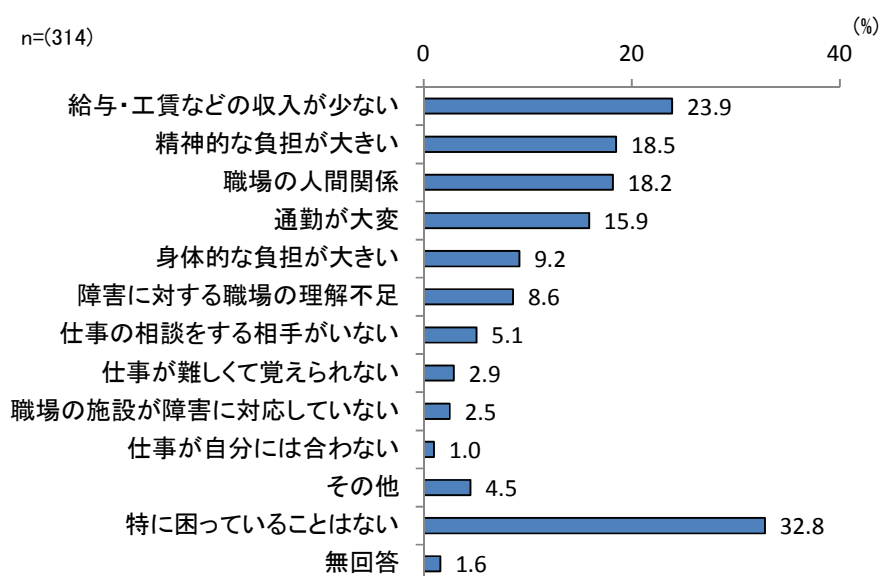
## (2) 仕事上で困っていること

問 42 【問 41 で働いている（１～４番）に○をつけた方におたずねします。】あなたが仕事上で困っていることはなんですか。（○は３つまで）

全体では、仕事上で困っていることについては「給与・工賃などの収入が少ない」が 23.9%、「精神的な負担が大きい」が 18.5%、「職場の人間関係」が 18.2%となっています。

障害種別でみると、「給与・工賃などの収入が少ない」は知的障害のある方で多く、「精神的な負担が大きい」や「職場の人間関係」は精神障害のある方で多くなっています。

### ●全体



## ●障害種別

	調査数	身体的な負担が大きい	精神的な負担が大きい	通勤が大変	職場の施設が障害に対応していない	障害に対する職場の理解不足	職場の人間関係	仕事の相談をする相手がいない	仕事が自分には合わない	給与・工賃などの収入が少ない
全 体	314 100.0	29 9.2	58 18.5	50 15.9	8 2.5	27 8.6	57 18.2	16 5.1	3 1.0	75 23.9
身体障害	151 100.0	17 11.3	22 14.6	24 15.9	4 2.6	17 11.3	18 11.9	5 3.3	1 0.7	31 20.5
知的障害	118 100.0	6 5.1	10 8.5	19 16.1	1 0.8	8 6.8	22 18.6	6 5.1	－ －	39 33.1
精神障害	68 100.0	6 8.8	28 41.2	13 19.1	3 4.4	5 7.4	20 29.4	6 8.8	2 2.9	16 23.5
難病	55 100.0	8 14.5	12 21.8	9 16.4	2 3.6	9 16.4	8 14.5	－ －	－ －	13 23.6
無回答	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －

	調査数	仕事が難しく覚えられない	特に困っていることはない	その他	無回答
全 体	314 100.0	9 2.9	103 32.8	14 4.5	5 1.6
身体障害	151 100.0	2 1.3	54 35.8	5 3.3	4 2.6
知的障害	118 100.0	6 5.1	41 34.7	5 4.2	1 0.8
精神障害	68 100.0	3 4.4	14 20.6	6 8.8	－ －
難病	55 100.0	3 5.5	11 20.0	4 7.3	2 3.6
無回答	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －

### (3) 働いていない理由

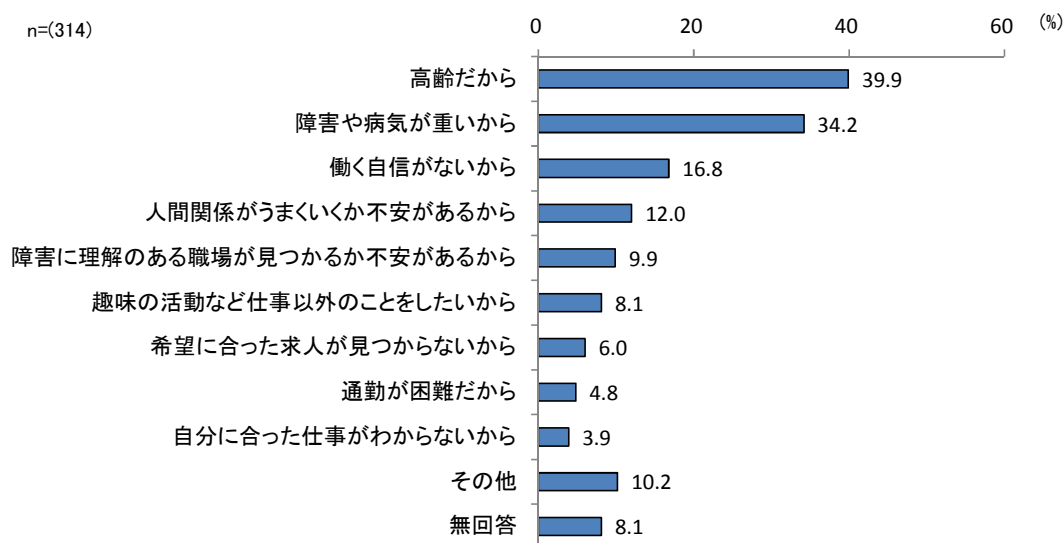
問 43 【問 41 で働いていない（5～7 番）に○をつけた方におたずねします。】

あなたが働いていない理由はなんですか。（○は3つまで）

全体では、「高齢だから」が 39.9%で最も多く、次いで「障害や病気が重いから」が 34.2%となっています。

障害種別でみると、「高齢だから」は身体障害のある方で5割を超えています。また、「障害や病気が重いから」は知的障害のある方で6割を超え、難病の方で5割を超えています。

#### ●全体



#### ●障害種別

	調査数	障害や病気が重いから	高齢だから	自分に合った仕事がわからないから	希望に合った求人が見つからないから	働く自信がないから	通勤が困難だから	障害に理解のある職場が見つかるか不安があるから	人間関係がうまくいか不安があるから	趣味の活動など仕事以外のことをしたいから	その他	無回答
全 体	333	114	133	13	20	56	16	33	40	27	34	27
	100.0	34.2	39.9	3.9	6.0	16.8	4.8	9.9	12.0	8.1	10.2	8.1
身体障害	233	65	127	6	10	27	12	13	6	21	22	23
	100.0	27.9	54.5	2.6	4.3	11.6	5.2	5.6	2.6	9.0	9.4	9.9
知的障害	64	41	3	2	4	8	3	12	12	3	6	5
	100.0	64.1	4.7	3.1	6.3	12.5	4.7	18.8	18.8	4.7	9.4	7.8
精神障害	70	25	7	6	8	30	4	16	28	3	8	3
	100.0	35.7	10.0	8.6	11.4	42.9	5.7	22.9	40.0	4.3	11.4	4.3
難病	63	33	25	1	2	6	4	5	2	4	7	4
	100.0	52.4	39.7	1.6	3.2	9.5	6.3	7.9	3.2	6.3	11.1	6.3
無回答	2	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
	100.0	50.0	-	-	-	-	50.0	-	-	-	-	-

#### (4) 一般就労のために必要な支援

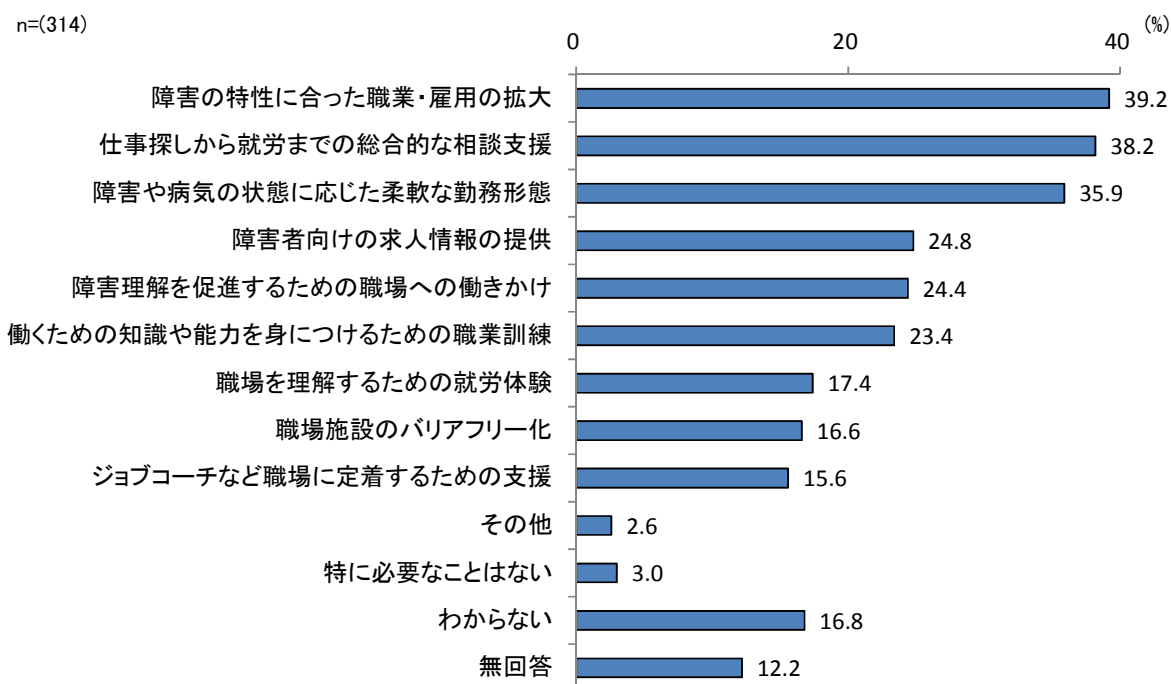
問 44 あなたは、障害のある人が企業などで一般就労するためには、どのような支援が必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

全体では、「障害の特性に合った職業・雇用の拡大」が 39.2%、「仕事探しから就労までの総合的な相談支援」が 38.2%、「障害や病気の状態に応じた柔軟な勤務形態」が 35.9%と、いずれも 3 割を超えて多くなっています。

障害種別でみると、知的障害のある方では、「仕事探しから就労までの総合的な相談支援」と「障害の特性に合った職業・雇用の拡大」が多くなっています。一方、精神障害のある方では、「障害や病気の状態に応じた柔軟な勤務形態」が多くなっています。

年齢別でみると、18～39 歳では、「仕事探しから就労までの総合的な相談支援」と「障害の特性に合った職業・雇用の拡大」が他の年代に比べて多くなっています。

#### ●全体



## ●障害種別

	調査数	仕事探しから就労までの総合的な相談支援	働くための知識や能力を身につけるための職業訓練	職場を理解するための就労体験	障害の特性に合った職業・雇用の拡大	障害者向けの求人情報の提供	障害理解を促進するための職場への働きかけ	職場施設のバリアフリー化	障害や病気の状態に応じた柔軟な勤務形態	ジョブコーチなど職場に定着するための支援
全 体	1135 100.0	434 38.2	266 23.4	198 17.4	445 39.2	281 24.8	277 24.4	188 16.6	408 35.9	177 15.6
身体障害	772 100.0	246 31.9	139 18.0	88 11.4	273 35.4	161 20.9	146 18.9	136 17.6	256 33.2	63 8.2
知的障害	226 100.0	117 51.8	69 30.5	71 31.4	110 48.7	66 29.2	84 37.2	27 11.9	72 31.9	84 37.2
精神障害	231 100.0	109 47.2	77 33.3	55 23.8	94 40.7	71 30.7	70 30.3	34 14.7	113 48.9	52 22.5
難病	224 100.0	69 30.8	45 20.1	28 12.5	71 31.7	44 19.6	50 22.3	31 13.8	71 31.7	21 9.4
無回答	7 100.0	2 28.6	1 14.3	1 14.3	4 57.1	1 14.3	1 14.3	1 14.3	1 14.3	－ －

	調査数	特に必要なことはない	わからない	その他	無回答
全 体	1135 100.0	34 3.0	191 16.8	30 2.6	138 12.2
身体障害	772 100.0	25 3.2	148 19.2	18 2.3	122 15.8
知的障害	226 100.0	9 4.0	29 12.8	9 4.0	18 8.0
精神障害	231 100.0	4 1.7	30 13.0	9 3.9	12 5.2
難病	224 100.0	6 2.7	44 19.6	7 3.1	36 16.1
無回答	7 100.0	－ －	1 14.3	－ －	1 14.3

## ●年齢別

	調査数	仕事探しから就労までの総合的な相談支援	働くための知識や能力を身につけるための職業訓練	職場を理解するための就労体験	障害の特性に合った職業・雇用の拡大	障害者向けの求人情報の提供	障害理解を促進するための職場への働きかけ	職場施設のバリアフリー化	障害や病気の状態に応じた柔軟な勤務形態	ジョブコーチなど職場に定着するための支援
18～39歳	265 100.0	148 55.8	91 34.3	88 33.2	135 50.9	100 37.7	110 41.5	47 17.7	124 46.8	98 37.0
40～64歳	343 100.0	150 43.7	83 24.2	59 17.2	139 40.5	92 26.8	95 27.7	58 16.9	148 43.1	47 13.7
65～74歳	232 100.0	59 25.4	37 15.9	23 9.9	82 35.3	45 19.4	37 15.9	41 17.7	70 30.2	15 6.5
75歳以上	290 100.0	75 25.9	54 18.6	27 9.3	87 30.0	44 15.2	34 11.7	42 14.5	65 22.4	16 5.5
無回答	5 100.0	2 40.0	1 20.0	1 20.0	2 40.0	－ －	1 20.0	－ －	1 20.0	1 20.0

	調査数	特に必要なことはない	わからない	その他	無回答
18～39歳	265 100.0	2 0.8	25 9.4	10 3.8	10 3.8
40～64歳	343 100.0	10 2.9	53 15.5	10 2.9	18 5.2
65～74歳	232 100.0	13 5.6	41 17.7	5 2.2	38 16.4
75歳以上	290 100.0	9 3.1	72 24.8	5 1.7	70 24.1
無回答	5 100.0	－ －	－ －	－ －	2 40.0



#### (5) 今後取り組みたい活動

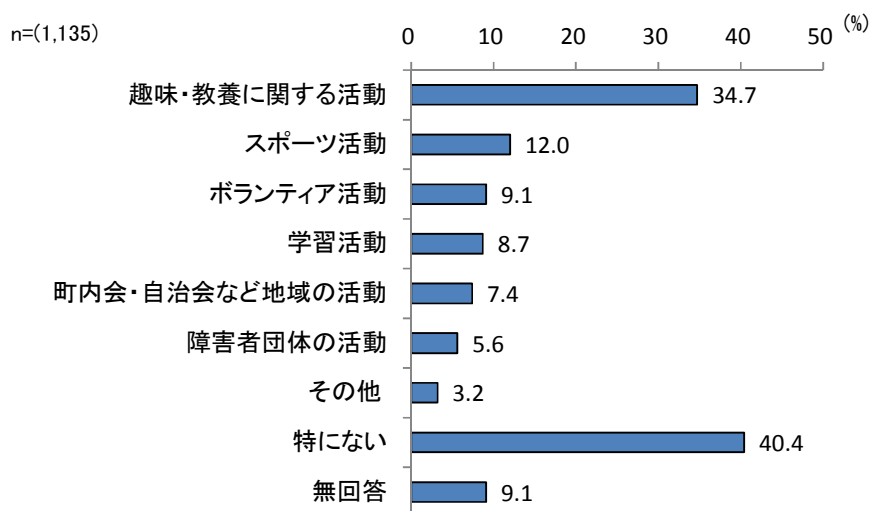
問 45 あなたは今後、どのような活動に取り組みたいと思いますか。すでに取り組んでいる方は、今後も取り組みたいかどうかをお答えください。(〇はいくつでも)

全体では、今後取り組みたい活動については「趣味・教養に関する活動」が34.7%で最も多く、次いで「スポーツ活動」が12.0%となっています。

障害種別でみると、精神障害のある方では、「趣味・教養に関する活動」と「スポーツ活動」が多くなっています。また、知的障害のある方でも、「スポーツ活動」が多くなっています。

年齢別でみると、18～39 歳、40～64 歳では「趣味・教養に関する活動」が、他の年代より多くなっています。

#### ●全体



## ●障害種別

	調査数	趣味・教養に関する活動	学習活動	スポーツ活動	ボランティア活動	障害者団体の活動	町内会・自治会など地域の活動	特にない	その他	無回答
全 体	1135	394	99	136	103	63	84	458	36	103
	100.0	34.7	8.7	12.0	9.1	5.6	7.4	40.4	3.2	9.1
身体障害	772	244	54	60	70	33	66	332	22	87
	100.0	31.6	7.0	7.8	9.1	4.3	8.5	43.0	2.8	11.3
知的障害	226	80	16	48	15	26	12	83	10	20
	100.0	35.4	7.1	21.2	6.6	11.5	5.3	36.7	4.4	8.8
精神障害	231	100	36	42	20	14	11	76	8	13
	100.0	43.3	15.6	18.2	8.7	6.1	4.8	32.9	3.5	5.6
難病	224	71	5	23	19	12	11	90	7	28
	100.0	31.7	2.2	10.3	8.5	5.4	4.9	40.2	3.1	12.5
無回答	7	-	1	-	-	-	-	6	-	-
	100.0	-	14.3	-	-	-	-	85.7	-	-

## ●年齢別

	調査数	趣味・教養に関する活動	学習活動	スポーツ活動	ボランティア活動	障害者団体の活動	町内会・自治会など地域の活動	特にない	その他	無回答
18～39歳	265	125	39	63	27	28	13	74	10	16
	100.0	47.2	14.7	23.8	10.2	10.6	4.9	27.9	3.8	6.0
40～64歳	343	145	39	44	29	20	20	120	15	20
	100.0	42.3	11.4	12.8	8.5	5.8	5.8	35.0	4.4	5.8
65～74歳	232	63	10	14	23	9	18	116	2	22
	100.0	27.2	4.3	6.0	9.9	3.9	7.8	50.0	0.9	9.5
75歳以上	290	61	10	14	23	6	33	147	8	45
	100.0	21.0	3.4	4.8	7.9	2.1	11.4	50.7	2.8	15.5
無回答	5	-	1	1	1	-	-	1	1	-
	100.0	-	20.0	20.0	20.0	-	-	20.0	20.0	-

## 8. 運動やスポーツについて

### (1) 運動やスポーツの実施状況

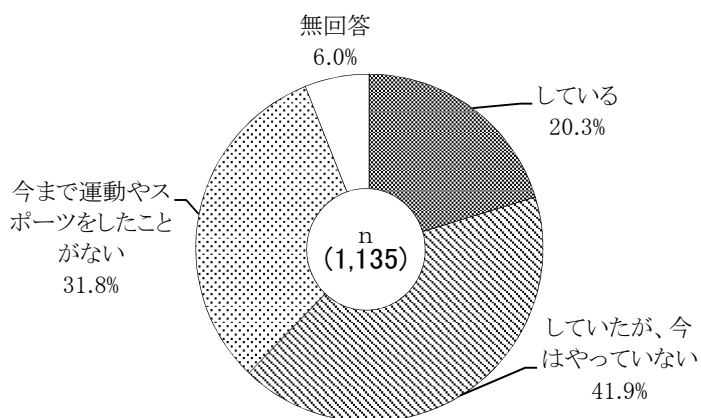
問 46 あなたは、運動やスポーツをしていますか。（学校に通っている方は、学校の授業を除く）

全体では、「している」が 20.3%、「していたが、今はやっていない」が 41.9%となっています。一方、「今まで運動やスポーツをしたことがない」は 31.8% となっています。

障害種別でみると、知的障害のある方では、「している」が他の障害のある方より多くなっています。

年齢別でみると、18～39 歳では、「している」が他の年代より多くなっています。

#### ●全体



#### ●障害種別

	調査数	している	していたが、今はやっていない	今まで運動やスポーツをしたことがない	無回答
全 体	1135	230	476	361	68
	100.0	20.3	41.9	31.8	6.0
身体障害	772	134	336	243	59
	100.0	17.4	43.5	31.5	7.6
知的障害	226	62	63	92	9
	100.0	27.4	27.9	40.7	4.0
精神障害	231	47	111	65	8
	100.0	20.3	48.1	28.1	3.5
難病	224	36	98	77	13
	100.0	16.1	43.8	34.4	5.8
無回答	7	1	2	4	-
	100.0	14.3	28.6	57.1	-

## ●年齢別

	調査数	している	していたが、 今はやって いない	今まで運動 やスポーツを したことがな い	無回答
18～39歳	265	68	113	77	7
	100.0	25.7	42.6	29.1	2.6
40～64歳	343	68	147	115	13
	100.0	19.8	42.9	33.5	3.8
65～74歳	232	45	98	74	15
	100.0	19.4	42.2	31.9	6.5
75歳以上	290	48	116	95	31
	100.0	16.6	40.0	32.8	10.7
無回答	5	1	2	—	2
	100.0	20.0	40.0	—	40.0

## (2) 運動やスポーツの実施頻度

問 47 【問 46 で「1. している」に○をつけた方におたずねします】

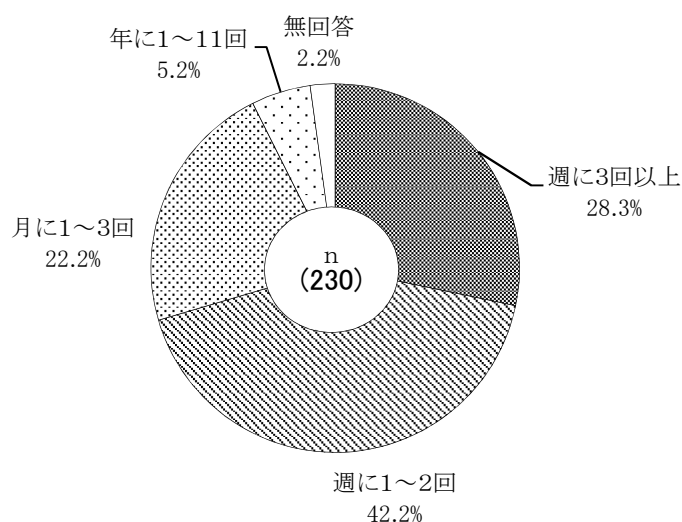
あなたは、どのくらいの頻度で運動やスポーツをしていますか。

全体では「週に 1～2 回」が 42.2%で最も多く、次いで「週に 3 回以上」が 28.3%となっています。

障害種別でみると、身体障害のある方、精神障害のある方では、「週に 3 回以上」が他の障害のある方より多くなっています。一方、知的障害のある方、難病のある方では「週に 1～2 回」が多くなっています。

年齢別でみると、40～64 歳、65～74 歳では「週に 1～2 回」が多く、75 歳以上では「週に 3 回以上」が多くなっています。

## ●全体



## ●障害種別

	調査数	週に3回以上	週に1～2回	月に1～3回	年に1～11回	無回答
全 体	230	65	97	51	12	5
	100.0	28.3	42.2	22.2	5.2	2.2
身体障害	134	45	54	26	4	5
	100.0	33.6	40.3	19.4	3.0	3.7
知的障害	62	9	30	20	3	－
	100.0	14.5	48.4	32.3	4.8	－
精神障害	47	17	17	8	5	－
	100.0	36.2	36.2	17.0	10.6	－
難病	36	8	17	9	1	1
	100.0	22.2	47.2	25.0	2.8	2.8
無回答	1	1	－	－	－	－
	100.0	100.0	－	－	－	－

## ●年齢別

	調査数	週に3回以上	週に1～2回	月に1～3回	年に1～11回	無回答
18～39歳	68	16	25	21	6	－
	100.0	23.5	36.8	30.9	8.8	－
40～64歳	68	15	37	12	3	1
	100.0	22.1	54.4	17.6	4.4	1.5
65～74歳	45	14	21	6	2	2
	100.0	31.1	46.7	13.3	4.4	4.4
75歳以上	48	20	13	12	1	2
	100.0	41.7	27.1	25.0	2.1	4.2
無回答	1	－	1	－	－	－
	100.0	－	100.0	－	－	－

### (3) 実施している（していた）運動やスポーツの種目

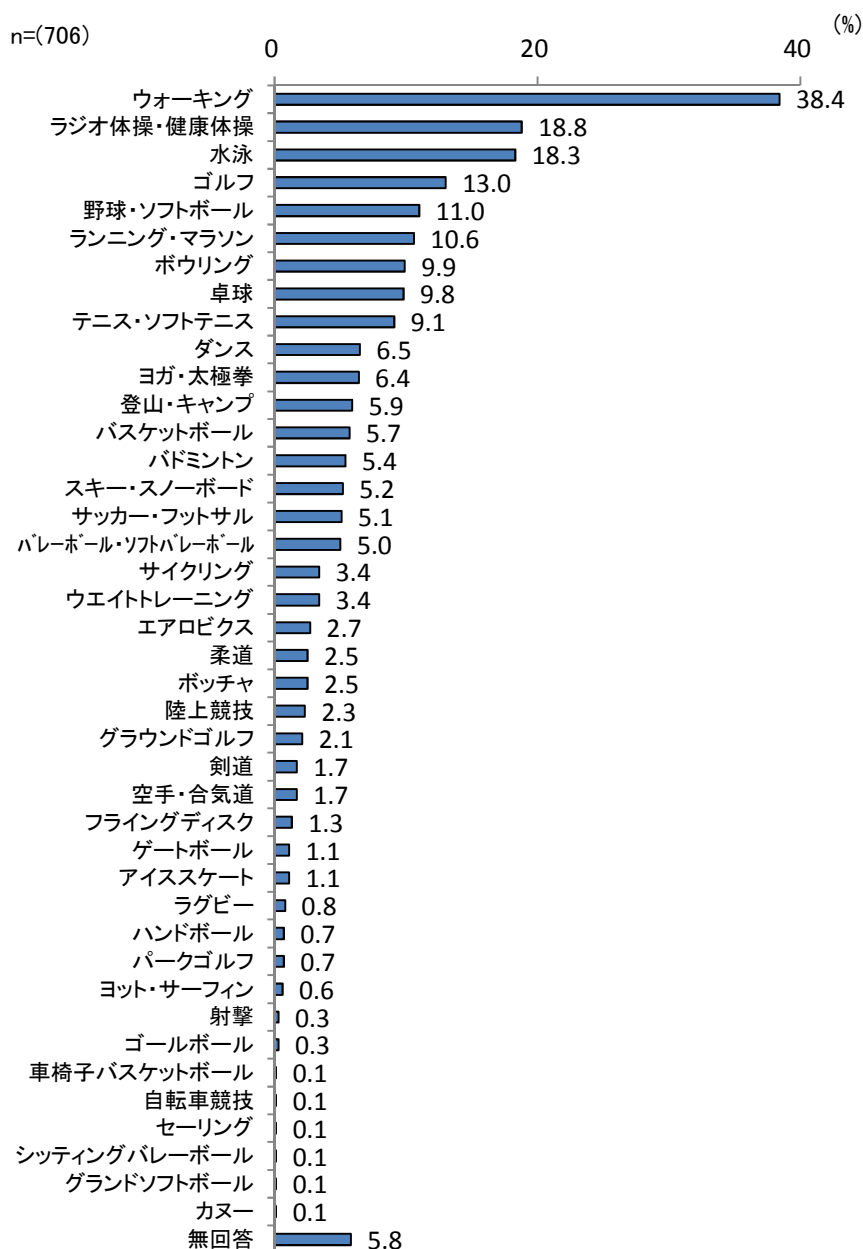
問 48 【問 46 で「1. している」または「2. していたが、今はやっていない」に○をつけた方におたずねします】

あなたが行っている（行っていた）運動やスポーツの種目は何か。（あてはまるものすべてに○）

全体では「ウォーキング」が38.4%で最も多く、以下「ラジオ体操・健康体操」が18.8%、「水泳」が18.3%となっています。

障害種別でみると、知的障害のある方では「ラジオ体操・健康体操」が、精神障害のある方では、「水泳」が多くなっています。

#### ●全体



## ●障害種別

	調査数	ウォーキング	ランニング・マラソン	ラジオ体操・健康体操	ヨガ・太極拳	ウエイトトレーニング	ダンス	エアロビクス	水泳	ゴルフ	野球・ソフトボール	サッカー・フットサル
全 体	706 100.0	271 38.4	75 10.6	133 18.8	45 6.4	24 3.4	46 6.5	19 2.7	129 18.3	92 13.0	78 11.0	36 5.1
身体障害	470 100.0	182 38.7	22 4.7	89 18.9	29 6.2	7 1.5	30 6.4	9 1.9	72 15.3	85 18.1	58 12.3	11 2.3
知的障害	125 100.0	47 37.6	34 27.2	31 24.8	1 0.8	2 1.6	7 5.6	4 3.2	27 21.6	1 0.8	8 6.4	12 9.6
精神障害	158 100.0	57 36.1	25 15.8	19 12.0	17 10.8	15 9.5	9 5.7	8 5.1	39 24.7	9 5.7	13 8.2	14 8.9
難病	134 100.0	54 40.3	6 4.5	24 17.9	8 6.0	3 2.2	6 4.5	3 2.2	17 12.7	16 11.9	15 11.2	4 3.0
無回答	3 100.0	-	1 33.3	1 33.3	-	-	-	-	1 33.3	-	-	-

	調査数	ラグビー	バスケットボール	陸上競技	ハレーボール・ソフトハレーボール	ハンドボール	テニス・ソフトテニス	バドミントン	卓球	アイススケート	スキー・スノーボード	柔道
全 体	706 100.0	6 0.8	40 5.7	16 2.3	35 5.0	5 0.7	64 9.1	38 5.4	69 9.8	8 1.1	37 5.2	18 2.5
身体障害	470 100.0	3 0.6	16 3.4	12 2.6	26 5.5	4 0.9	48 10.2	18 3.8	53 11.3	5 1.1	21 4.5	14 3.0
知的障害	125 100.0	-	16 12.8	4 3.2	1 0.8	-	2 1.6	4 3.2	7 5.6	1 0.8	2 1.6	1 0.8
精神障害	158 100.0	3 1.9	14 8.9	2 1.3	9 5.7	1 0.6	16 10.1	20 12.7	14 8.9	2 1.3	16 10.1	4 2.5
難病	134 100.0	-	7 5.2	-	7 5.2	1 0.7	17 12.7	5 3.7	17 12.7	1 0.7	7 5.2	-
無回答	3 100.0	-	-	-	-	-	-	1 33.3	-	-	-	-

	調査数	剣道	空手・合気道	ゲートボール	ボウリング	グラウンドゴルフ	登山・キャンプ	サイクリング	ヨット・サーフィング	パークゴルフ	グランドソフトボール	車椅子バスケットボール
全 体	706 100.0	12 1.7	12 1.7	8 1.1	70 9.9	15 2.1	42 5.9	24 3.4	4 0.6	5 0.7	1 0.1	1 0.1
身体障害	470 100.0	8 1.7	9 1.9	6 1.3	38 8.1	14 3.0	35 7.4	7 1.5	3 0.6	4 0.9	1 0.2	1 0.2
知的障害	125 100.0	-	1 0.8	-	26 20.8	1 0.8	-	9 7.2	-	1 0.8	-	-
精神障害	158 100.0	4 2.5	2 1.3	2 1.3	12 7.6	-	10 6.3	11 7.0	1 0.6	-	-	-
難病	134 100.0	1 0.7	2 1.5	1 0.7	12 9.0	5 3.7	10 7.5	1 0.7	1 0.7	-	-	-
無回答	3 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

	調査数	フライングディスク	カヌー	ゴールボール	シットイングバレーボール	自転車競技	射撃	セーリング	ボッチャ	その他	無回答
全 体	706 100.0	9 1.3	1 0.1	2 0.3	1 0.1	1 0.1	2 0.3	1 0.1	18 2.5	29 4.1	41 5.8
身体障害	470 100.0	2 0.4	-	2 0.4	1 0.2	-	2 0.4	1 0.2	11 2.3	16 3.4	30 6.4
知的障害	125 100.0	8 6.4	1 0.8	-	-	-	-	-	10 8.0	7 5.6	6 4.8
精神障害	158 100.0	-	-	-	-	1 0.6	-	-	-	10 6.3	7 4.4
難病	134 100.0	-	-	-	-	-	-	-	4 3.0	4 3.0	11 8.2
無回答	3 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1 33.3

#### (4) 障害者がスポーツ活動をより多く行うために必要なこと

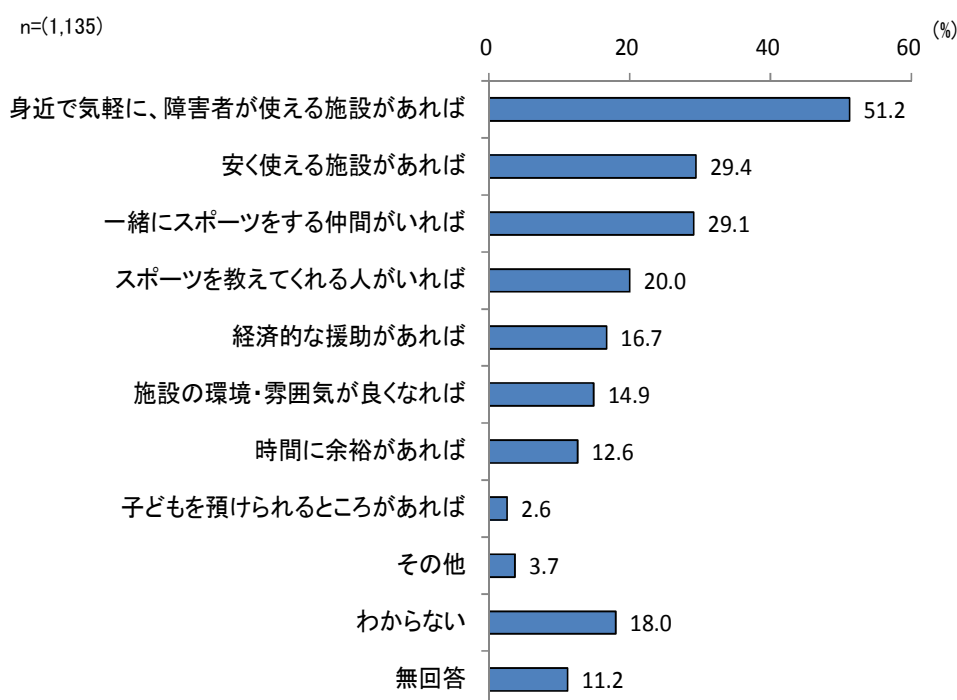
問 49 今後、障害のある方がスポーツ活動を、より多く行うためには、どのようになればいいと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

全体では、「身近で気軽に、障害者が使える施設があれば」が51.2%で最も多く、以下「安く使える施設があれば」が29.4%、「一緒にスポーツをする仲間がいれば」が29.1%となっています。

障害種別でみると、知的障害のある方では「一緒にスポーツをする仲間がいれば」、「スポーツを教えてくれる人がいれば」が多くなっています。また、精神障害のある方では「安く使える施設があれば」、「一緒にスポーツをする仲間がいれば」、「施設的环境・雰囲気が良くなれば」が多くなっています。

年齢別でみると、18～39歳では、「身近で気軽に、障害者が使える施設があれば」と「一緒にスポーツをする仲間がいれば」が、他の年代より多くなっています。

#### ●全体



#### ●障害種別

	調査数	身近で気軽に、障害者が使える施設があれば	安く使える施設があれば	一緒にスポーツをする仲間がいれば	子どもを預けられるところがあれば	スポーツを教えてくれる人がいれば	施設的环境・雰囲気が良くなれば	時間に余裕があれば	経済的な援助があれば	わからない	その他	無回答
全 体	1135	581	334	330	30	227	169	143	189	204	42	127
	100.0	51.2	29.4	29.1	2.6	20.0	14.9	12.6	16.7	18.0	3.7	11.2
身体障害	772	377	206	183	15	111	88	74	103	149	28	110
	100.0	48.8	26.7	23.7	1.9	14.4	11.4	9.6	13.3	19.3	3.6	14.2
知的障害	226	135	66	85	5	88	36	30	29	40	5	14
	100.0	59.7	29.2	37.6	2.2	38.9	15.9	13.3	12.8	17.7	2.2	6.2
精神障害	231	118	90	87	10	50	59	50	69	37	11	13
	100.0	51.1	39.0	37.7	4.3	21.6	25.5	21.6	29.9	16.0	4.8	5.6
難病	224	123	68	47	6	32	23	21	44	42	8	27
	100.0	54.9	30.4	21.0	2.7	14.3	10.3	9.4	19.6	18.8	3.6	12.1
無回答	7	2	-	1	-	-	-	-	-	1	3	1
	100.0	28.6	-	14.3	-	-	-	-	14.3	42.9	-	14.3



## ●年齢別

	調査数	身近で気軽に、障害者が使える施設があれば	安く使える施設があれば	一緒にスポーツをする仲間がいれば	子どもを預けられるところがあれば	スポーツを教えてくれる人がいれば	施設的环境・雰囲気が良くなれば	時間に余裕があれば	経済的な援助があれば	わからない	その他	無回答
18～39歳	265	160	92	117	17	93	61	54	51	36	10	11
	100.0	60.4	34.7	44.2	6.4	35.1	23.0	20.4	19.2	13.6	3.8	4.2
40～64歳	343	168	119	110	4	68	62	56	79	70	11	24
	100.0	49.0	34.7	32.1	1.2	19.8	18.1	16.3	23.0	20.4	3.2	7.0
65～74歳	232	113	62	54	4	33	22	17	31	44	5	31
	100.0	48.7	26.7	23.3	1.7	14.2	9.5	7.3	13.4	19.0	2.2	13.4
75歳以上	290	137	60	46	5	32	24	16	28	53	16	60
	100.0	47.2	20.7	15.9	1.7	11.0	8.3	5.5	9.7	18.3	5.5	20.7
無回答	5	3	1	3	-	1	-	-	-	1	-	1
	100.0	60.0	20.0	60.0	-	20.0	-	-	-	20.0	-	20.0

## (5) スポーツをしない理由

問 50 【問 46 で「3. 今まで運動やスポーツをしたことがない」に○を付けた方におたずねします】

あなたがスポーツをしない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

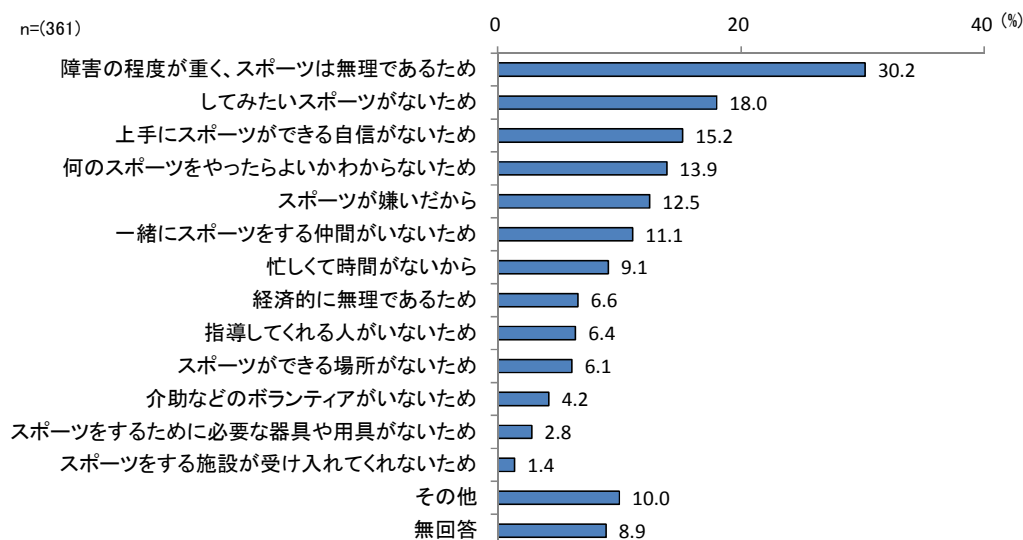
全体では「障害の程度が重く、スポーツは無理であるため」が 30.2%で最も多く、以下「してみたいスポーツがないため」が 18.0%、「上手にスポーツができる自信がないため」が 15.2%となっています。

障害種別でみると、身体障害のある方、難病のある方では、「障害の程度が重く、スポーツは無理であるため」が多くなっています。一方、精神障害のある方では、「上手にスポーツができる自信がないため」が、他の障害のある方より多くなっています。

身体障害の内容別でみると、音声・言語・そしゃく機能障害の方では、「障害の程度が重く、スポーツは無理であるため」が多くなっています。

年齢別でみると、65～74 歳では、「障害の程度が重く、スポーツは無理であるため」が多くなっています。

## ●全体



## ●障害種別

	調査数	スポーツができる場所がないため	スポーツをする施設が受け入れてくれないため	指導してくれる人がいないため	上手にスポーツができる自信がないため	スポーツをするために必要な器具や用具がないため	経済的に無理であるため	一緒にスポーツをする仲間がいないため	介助などのボランティアがいないため	障害の程度が重く、スポーツは無理であるため
全 体	361 100.0	22 6.1	5 1.4	23 6.4	55 15.2	10 2.8	24 6.6	40 11.1	15 4.2	109 30.2
身体障害	243 100.0	11 4.5	1 0.4	9 3.7	25 10.3	6 2.5	9 3.7	19 7.8	8 3.3	91 37.4
知的障害	92 100.0	9 9.8	3 3.3	14 15.2	19 20.7	3 3.3	8 8.7	15 16.3	8 8.7	23 25.0
精神障害	65 100.0	5 7.7	1 1.5	4 6.2	20 30.8	3 4.6	11 16.9	12 18.5	1 1.5	14 21.5
難病	77 100.0	7 9.1	－ －	6 7.8	10 13.0	－ －	1 1.3	10 13.0	3 3.9	35 45.5
無回答	4 100.0	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	1 25.0

	調査数	何のスポーツをやったらよいかわからないため	してみたいスポーツがないため	スポーツが嫌いだから	忙しくて時間がないから	その他	無回答
全 体	361 100.0	50 13.9	65 18.0	45 12.5	33 9.1	36 10.0	32 8.9
身体障害	243 100.0	24 9.9	44 18.1	21 8.6	20 8.2	25 10.3	29 11.9
知的障害	92 100.0	24 26.1	12 13.0	13 14.1	7 7.6	8 8.7	3 3.3
精神障害	65 100.0	9 13.8	11 16.9	14 21.5	8 12.3	6 9.2	2 3.1
難病	77 100.0	9 11.7	8 10.4	10 13.0	7 9.1	4 5.2	5 6.5
無回答	4 100.0	－ －	－ －	1 25.0	1 25.0	1 25.0	－ －

## ●身体障害の種類別

	調査数	スポーツができる場所がないため	スポーツをする施設が受け入れてくれないため	指導してくれる人がいないため	上手にスポーツができる自信がないため	スポーツをするために必要な器具や用具がないため	経済的に無理であるため	一緒にスポーツをする仲間がいないため	介助などのボランティアがいないため	障害の程度が重く、スポーツは無理であるため
肢体不自由	127 100.0	2 1.6	－ －	6 4.7	11 8.7	5 3.9	3 2.4	8 6.3	5 3.9	54 42.5
音声・言語・そしゃく機能障害	13 100.0	－ －	－ －	1 7.7	1 7.7	1 7.7	－ －	1 7.7	1 7.7	9 69.2
視覚障害	29 100.0	2 6.9	－ －	1 3.4	3 10.3	－ －	2 6.9	1 3.4	2 6.9	11 37.9
聴覚・平衡機能障害	23 100.0	1 4.3	－ －	－ －	2 8.7	－ －	－ －	2 8.7	－ －	6 26.1
内部機能障害 (免疫機能障害を含む)	73 100.0	6 8.2	1 1.4	2 2.7	12 16.4	1 1.4	4 5.5	10 13.7	1 1.4	27 37.0
無回答	9 100.0	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	2 22.2

	調査数	何のスポーツをやったらよいかわからないため	してみたいスポーツがないため	スポーツが嫌いだから	忙しくて時間がないから	その他	無回答
肢体不自由	127 100.0	10 7.9	24 18.9	6 4.7	11 8.7	14 11.0	15 11.8
音声・言語・そしゃく機能障害	13 100.0	1 7.7	1 7.7	－ －	－ －	1 7.7	2 15.4
視覚障害	29 100.0	5 17.2	4 13.8	5 17.2	1 3.4	4 13.8	2 6.9
聴覚・平衡機能障害	23 100.0	5 21.7	1 4.3	1 4.3	3 13.0	4 17.4	4 17.4
内部機能障害 (免疫機能障害を含む)	73 100.0	4 5.5	12 16.4	12 16.4	6 8.2	4 5.5	8 11.0
無回答	9 100.0	3 33.3	2 22.2	－ －	－ －	1 11.1	2 22.2

## ●年齢別

	調査数	スポーツができる場所がないため	スポーツをする施設が受け入れてくれないため	指導してくれる人がいないため	上手にスポーツができる自信がないため	スポーツをするために必要な器具や用具がないため	経済的に無理であるため	一緒にスポーツをする仲間がいないため	介助などのボランティアがいないため	障害の程度が重く、スポーツは無理であるため
18～39歳	77 100.0	11 14.3	3 3.9	12 15.6	19 24.7	3 3.9	7 9.1	14 18.2	6 7.8	17 22.1
40～64歳	115 100.0	3 2.6	1 0.9	5 4.3	23 20.0	5 4.3	10 8.7	15 13.0	2 1.7	28 24.3
65～74歳	74 100.0	3 4.1	－ －	2 2.7	6 8.1	－ －	3 4.1	7 9.5	1 1.4	35 47.3
75歳以上	95 100.0	5 5.3	1 1.1	4 4.2	7 7.4	2 2.1	4 4.2	4 4.2	6 6.3	29 30.5
無回答	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －

	調査数	何のスポーツをやったらよいかわからないため	してみたいスポーツがないため	スポーツが嫌いだから	忙しくて時間がないから	その他	無回答
18～39歳	77 100.0	17 22.1	10 13.0	11 14.3	8 10.4	6 7.8	1 1.3
40～64歳	115 100.0	14 12.2	27 23.5	21 18.3	18 15.7	11 9.6	3 2.6
65～74歳	74 100.0	10 13.5	15 20.3	6 8.1	3 4.1	3 4.1	7 9.5
75歳以上	95 100.0	9 9.5	13 13.7	7 7.4	4 4.2	16 16.8	21 22.1
無回答	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －

## 9. 将来について

### (1) 親なき後の生活の不安

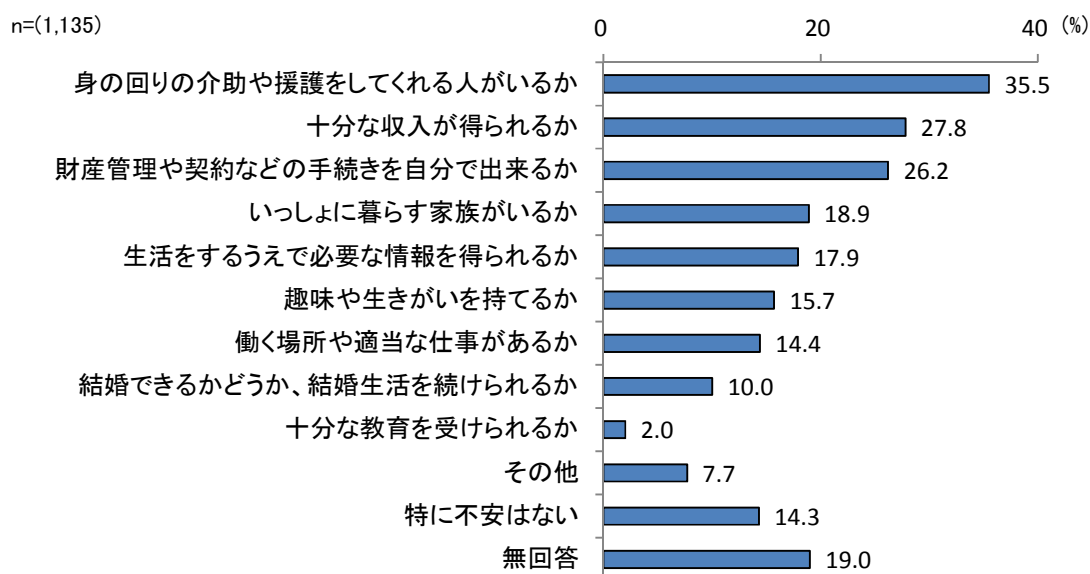
問 51 あなたは、親なき後の生活を考えたとき、どのような不安がありますか。(〇はいくつでも)

全体では、「身の回りの介助や援護をしてくれる人がいるか」が35.5%で最も多く、以下「十分な収入が得られるか」が27.8%、「財産管理や契約などの手続きを自分で出来るか」が26.2%となっています。

障害種別でみると、知的障害のある方では、「身の回りの介助や援護をしてくれる人がいるか」と「財産管理や契約などの手続きを自分で出来るか」が他の障害のある方より多くなっています。一方、精神障害のある方では、「十分な収入が得られるか」が多くなっています。

年齢別でみると、18～39歳では、「身の回りの介助や援護をしてくれる人がいるか」、「十分な収入が得られるか」、「財産管理や契約などの手続きを自分で出来るか」が、いずれも他の年代より多くなっています。

#### ●全体



## ●障害種別

	調査数	身の回りの 介助や援護 をしてくれる 人がいるか	財産管理や 契約などの 手続きを自 分で出来る か	結婚できるか どうか、結婚 生活を続けら れるか	いっしょに暮 らす家族が いるか	十分な教育 を受けられる か	働く場所や適 当な仕事があ るか	十分な収入 が得られる か	趣味や生き がいを持てる か	生活をするう えに必要な 情報を得ら れるか
全 体	1135 100.0	403 35.5	297 26.2	113 10.0	214 18.9	23 2.0	163 14.4	315 27.8	178 15.7	203 17.9
身体障害	772 100.0	232 30.1	114 14.8	31 4.0	101 13.1	13 1.7	54 7.0	136 17.6	86 11.1	94 12.2
知的障害	226 100.0	150 66.4	134 59.3	44 19.5	81 35.8	8 3.5	56 24.8	90 39.8	49 21.7	78 34.5
精神障害	231 100.0	77 33.3	90 39.0	52 22.5	59 25.5	5 2.2	73 31.6	122 52.8	66 28.6	53 22.9
難病	224 100.0	88 39.3	43 19.2	20 8.9	32 14.3	3 1.3	26 11.6	52 23.2	27 12.1	33 14.7
無回答	7 100.0	2 28.6	1 14.3	- -	- -	- -	1 14.3	- -	- -	- -

	調査数	特に不安は ない	その他	無回答
全 体	1135 100.0	162 14.3	87 7.7	216 19.0
身体障害	772 100.0	127 16.5	64 8.3	205 26.6
知的障害	226 100.0	14 6.2	12 5.3	10 4.4
精神障害	231 100.0	29 12.6	19 8.2	10 4.3
難病	224 100.0	26 11.6	15 6.7	57 25.4
無回答	7 100.0	3 42.9	- -	1 14.3

## ●年齢別

	調査数	身の回りの 介助や援護 をしてくれる 人がいるか	財産管理や 契約などの 手続きを自 分で出来る か	結婚できるか どうか、結婚 生活を続けら れるか	いっしょに暮 らす家族が いるか	十分な教育 を受けられる か	働く場所や適 当な仕事があ るか	十分な収入 が得られる か	趣味や生き がいを持てる か	生活をするう えに必要な 情報を得ら れるか
18～39歳	265 100.0	137 51.7	149 56.2	75 28.3	87 32.8	13 4.9	92 34.7	136 51.3	81 30.6	99 37.4
40～64歳	343 100.0	120 35.0	93 27.1	34 9.9	70 20.4	5 1.5	58 16.9	129 37.6	52 15.2	59 17.2
65～74歳	232 100.0	67 28.9	29 12.5	3 1.3	30 12.9	1 0.4	8 3.4	33 14.2	24 10.3	28 12.1
75歳以上	290 100.0	78 26.9	24 8.3	1 0.3	27 9.3	4 1.4	4 1.4	17 5.9	21 7.2	17 5.9
無回答	5 100.0	1 20.0	2 40.0	- -	- -	- -	1 20.0	- -	- -	- -

	調査数	特に不安は ない	その他	無回答
18～39歳	265 100.0	15 5.7	17 6.4	7 2.6
40～64歳	343 100.0	58 16.9	28 8.2	26 7.6
65～74歳	232 100.0	45 19.4	21 9.1	61 26.3
75歳以上	290 100.0	43 14.8	21 7.2	120 41.4
無回答	5 100.0	1 20.0	- -	2 40.0

## (2) 将来の暮らし方の希望

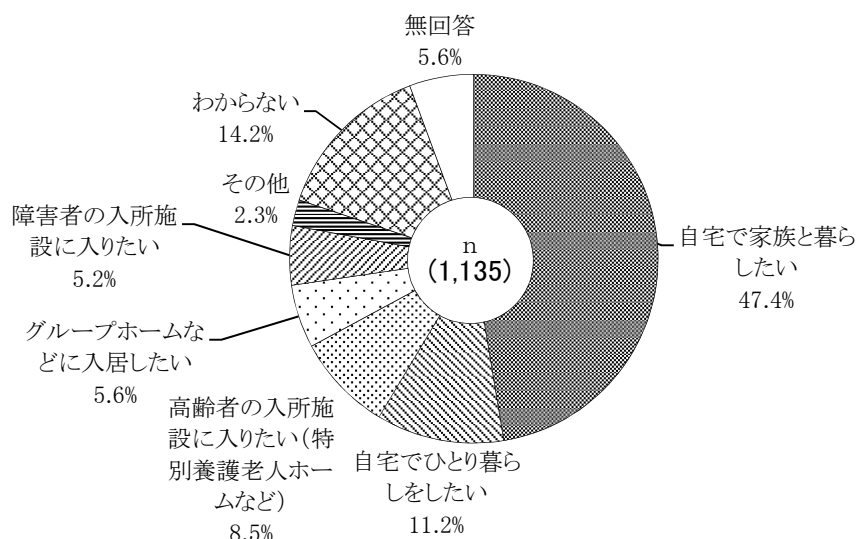
問 52 あなたは将来、どのような暮らし方をしたいと思いますか。(〇は1つ)

全体では、「自宅で家族と暮らしたい」が47.4%で最も多くなっています。

障害種別でみると、身体障害のある方、精神障害のある方、難病のある方では、「自宅で家族と暮らしたい」が多くなっています。一方、知的障害のある方では、「グループホームなどに入居したい」と「障害者の入所施設に入りたい」が、他の障害のある方より多くなっています。

年齢別でみると、18～39 歳、40～64 歳では「自宅でひとり暮らしをしたい」が、他の年代よりやや多くなっています。一方、65～74 歳、75 歳以上では「高齢者の入所施設に入りたい(特別養護老人ホームなど)」が、多くなる傾向にあります。

### ●全体



### ●障害種別

	調査数	自宅で家族と暮らしたい	自宅でひとり暮らしをしたい	グループホームなどに入居したい	障害者の入所施設に入りたい	高齢者の入所施設に入りたい(特別養護老人ホームなど)	わからない	その他	無回答
全 体	1135	538	127	63	59	97	161	26	64
	100.0	47.4	11.2	5.6	5.2	8.5	14.2	2.3	5.6
身体障害	772	378	72	30	34	87	100	14	57
	100.0	49.0	9.3	3.9	4.4	11.3	13.0	1.8	7.4
知的障害	226	86	28	33	32	4	35	3	5
	100.0	38.1	12.4	14.6	14.2	1.8	15.5	1.3	2.2
精神障害	231	109	40	9	12	6	40	11	4
	100.0	47.2	17.3	3.9	5.2	2.6	17.3	4.8	1.7
難病	224	109	22	9	15	21	28	4	16
	100.0	48.7	9.8	4.0	6.7	9.4	12.5	1.8	7.1
無回答	7	2	1	-	1	-	3	-	-
	100.0	28.6	14.3	-	14.3	-	42.9	-	-

## ●年齢別

	調査数	自宅で家族 と暮らしたい	自宅でひとり 暮らしをした い	グループ ホームなど に入居したい	障害者の入 所施設に入 りたい	高齢者の入 所施設に入 りたい(特別 養護老人 ホームなど)	わからない	その他	無回答
18～39歳	265	128	33	28	24	－	39	7	6
	100.0	48.3	12.5	10.6	9.1	－	14.7	2.6	2.3
40～64歳	343	169	48	16	21	15	57	7	10
	100.0	49.3	14.0	4.7	6.1	4.4	16.6	2.0	2.9
65～74歳	232	120	23	9	6	30	28	4	12
	100.0	51.7	9.9	3.9	2.6	12.9	12.1	1.7	5.2
75歳以上	290	119	23	9	8	52	36	8	35
	100.0	41.0	7.9	3.1	2.8	17.9	12.4	2.8	12.1
無回答	5	2	－	1	－	－	1	－	1
	100.0	40.0	－	20.0	－	－	20.0	－	20.0

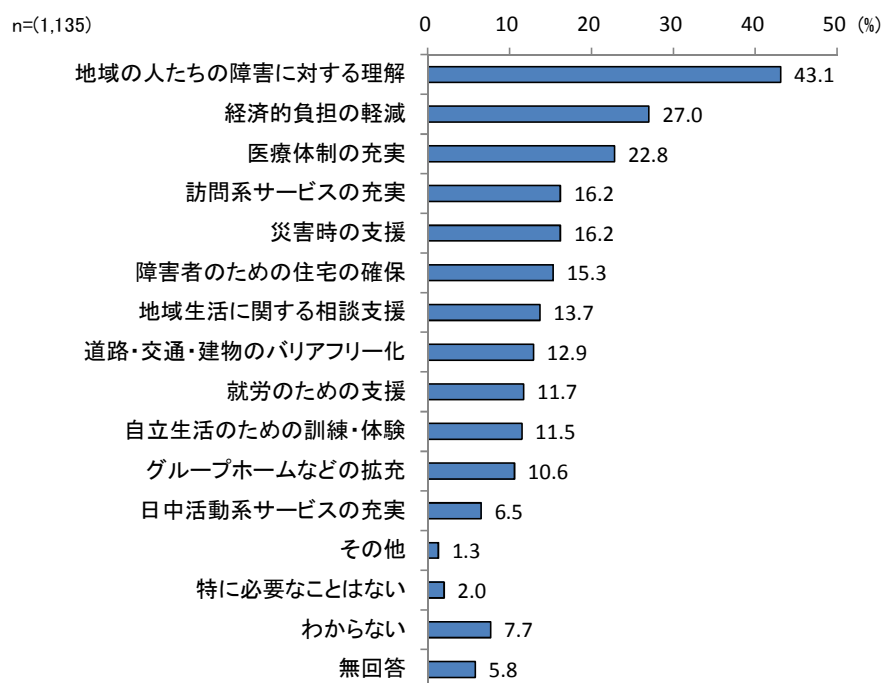
### (3) 地域で生活するために必要なこと

問 53 あなたは、障害のある人が地域で生活していくためには、何が必要だと思いますか。  
(〇は3つまで)

全体では、「地域の人たちの障害に対する理解」が43.1%で最も多く、以下「経済的負担の軽減」が27.0%、「医療体制の充実」が22.8%となっています。

障害種別でみると、知的障害のある方では、「地域の人たちの障害に対する理解」と「グループホームなどの拡充」が、他の障害のある方より多くなっています。一方、精神障害のある方では、「経済的負担の軽減」が多くなっています。

#### ●全体





## ●障害種別

	調査数	地域の人たちの障害に対する理解	地域生活に関する相談支援	訪問系サービスの充実	日中活動系サービスの充実	自立生活のための訓練・体験	グループホームなどの拡充	障害者のための住宅の確保	医療体制の充実	就労のための支援
全 体	1135 100.0	489 43.1	155 13.7	184 16.2	74 6.5	130 11.5	120 10.6	174 15.3	259 22.8	133 11.7
身体障害	772 100.0	297 38.5	86 11.1	128 16.6	37 4.8	70 9.1	61 7.9	105 13.6	197 25.5	60 7.8
知的障害	226 100.0	125 55.3	52 23.0	37 16.4	31 13.7	25 11.1	64 28.3	45 19.9	31 13.7	24 10.6
精神障害	231 100.0	106 45.9	33 14.3	37 16.0	14 6.1	45 19.5	12 5.2	39 16.9	53 22.9	56 24.2
難病	224 100.0	91 40.6	30 13.4	36 16.1	9 4.0	29 12.9	15 6.7	35 15.6	64 28.6	16 7.1
無回答	7 100.0	3 42.9	1 14.3	2 28.6	- -	2 28.6	1 14.3	2 28.6	1 14.3	1 14.3

	調査数	災害時の支援	道路・交通・建物のバリアフリー化	経済的負担の軽減	特に必要なことはない	わからない	その他	無回答
全 体	1135 100.0	184 16.2	146 12.9	306 27.0	23 2.0	87 7.7	15 1.3	66 5.8
身体障害	772 100.0	150 19.4	128 16.6	192 24.9	20 2.6	57 7.4	12 1.6	56 7.3
知的障害	226 100.0	29 12.8	9 4.0	43 19.0	3 1.3	18 8.0	1 0.4	6 2.7
精神障害	231 100.0	21 9.1	18 7.8	85 36.8	1 0.4	23 10.0	4 1.7	6 2.6
難病	224 100.0	42 18.8	31 13.8	66 29.5	3 1.3	13 5.8	3 1.3	16 7.1
無回答	7 100.0	- -	1 14.3	1 14.3	- -	1 14.3	- -	- -

#### (4) 将来希望する被介助者の暮らし方

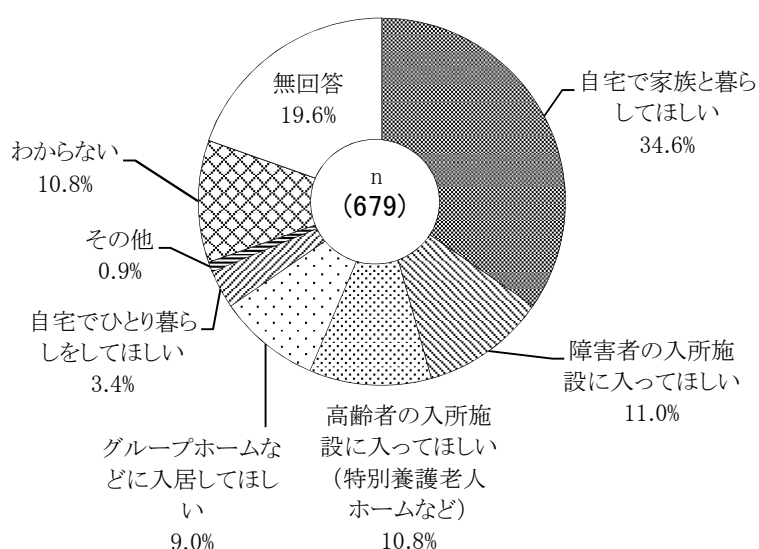
問 54 【主な介助者の方におたずねします。】今あなたが介助をしている人に、将来どのような暮らし方をしてほしいと思いますか。（〇は1つ）

全体では「自宅で家族と暮らしてほしい」が 34.6%で最も多く、以下「障害者の入所施設に入してほしい」が 11.0%、「高齢者の入所施設に入してほしい（特別養護老人ホームなど）」が 10.8%となっています。

障害種別でみると、知的障害のある方では、「グループホームなどに入居してほしい」と「障害者の入所施設に入してほしい」が、他の障害のある方より多くなっています。

年齢別でみると、18～39 歳では「グループホームなどに入居してほしい」と「障害者の入所施設に入してほしい」が、他の年代より多くなっています。75 歳以上では、「高齢者の入所施設に入してほしい（特別養護老人ホームなど）」が多くなっています。

#### ●全体



#### ●障害種別

	調査数	自宅で家族と暮らしてほしい	自宅でひとり暮らしをしてほしい	グループホームなどに入居してほしい	障害者の入所施設に入してほしい	高齢者の入所施設に入してほしい (特別養護老人ホームなど)	わからない	その他	無回答
全 体	679	235	23	61	75	73	73	6	133
	100.0	34.6	3.4	9.0	11.0	10.8	10.8	0.9	19.6
身体障害	487	180	12	22	36	64	57	4	112
	100.0	37.0	2.5	4.5	7.4	13.1	11.7	0.8	23.0
知的障害	164	37	6	40	52	6	14	1	8
	100.0	22.6	3.7	24.4	31.7	3.7	8.5	0.6	4.9
精神障害	104	37	8	8	13	4	11	2	21
	100.0	35.6	7.7	7.7	12.5	3.8	10.6	1.9	20.2
難病	149	58	4	9	16	18	15	1	28
	100.0	38.9	2.7	6.0	10.7	12.1	10.1	0.7	18.8
無回答	5	3	-	1	-	1	-	-	-
	100.0	60.0	-	20.0	-	20.0	-	-	-

## ●年齢別

	調査数	自宅で家族 と暮らしてほ しい	自宅でひとり 暮らしをして ほしい	グループ ホームなど に入居してほ しい	障害者の入 所施設に 入ってほしい	高齢者の入 所施設に 入ってほしい (特別養護老 人ホームな ど)	わからない	その他	無回答
18～39歳	156 100.0	50 32.1	10 6.4	34 21.8	35 22.4	2 1.3	12 7.7	2 1.3	11 7.1
40～64歳	176 100.0	68 38.6	4 2.3	18 10.2	23 13.1	10 5.7	27 15.3	2 1.1	24 13.6
65～74歳	138 100.0	58 42.0	4 2.9	6 4.3	11 8.0	14 10.1	13 9.4	－	32 23.2
75歳以上	206 100.0	58 28.2	5 2.4	3 1.5	6 2.9	46 22.3	21 10.2	2 1.0	65 31.6
無回答	3 100.0	1 33.3	－	－	－	1 33.3	－	－	1 33.3

## ●主な介助者のうち家族・親族の年齢別

	調査数	自宅で家族 と暮らしてほ しい	自宅でひとり 暮らしをして ほしい	グループ ホームなど に入居してほ しい	障害者の入 所施設に 入ってほしい	高齢者の入 所施設に 入ってほしい (特別養護老 人ホームな ど)	わからない	その他	無回答
20歳未満	6 100.0	3 50.0	－	－	－	－	3 50.0	－	－
20代	9 100.0	7 77.8	－	－	－	－	1 11.1	－	1 11.1
30代	19 100.0	12 63.2	－	－	2 10.5	－	2 10.5	－	3 15.8
40代	61 100.0	26 42.6	2 3.3	9 14.8	7 11.5	3 4.9	5 8.2	1 1.6	8 13.1
50代	120 100.0	43 35.8	4 3.3	13 10.8	21 17.5	8 6.7	15 12.5	－	16 13.3
60代	156 100.0	61 39.1	5 3.2	16 10.3	15 9.6	20 12.8	14 9.0	1 0.6	24 15.4
70歳以上	222 100.0	74 33.3	4 1.8	14 6.3	27 12.2	32 14.4	24 10.8	3 1.4	44 19.8
無回答	7 100.0	2 28.6	－	－	1 14.3	1 14.3	1 14.3	－	2 28.6

## 10. 障害のある人に対する理解度について

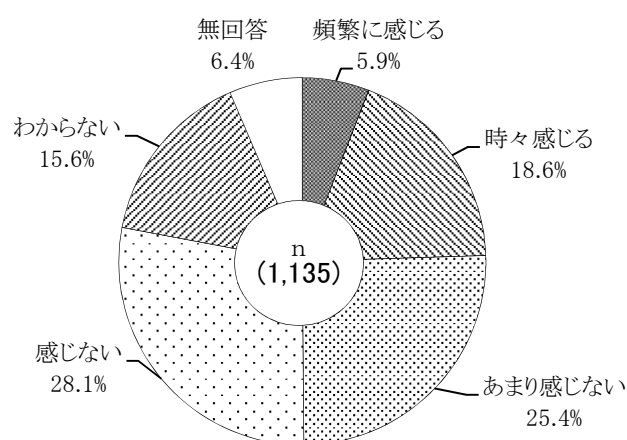
### (1) 日常生活の中で感じる差別の有無

問 55 あなたは、地域で生活をしていて、差別を感じることはありますか。(〇は1つ)

全体では、「頻繁に感じる」が5.9%、「時々感じる」が18.6%となっています。一方、「あまり感じない」は25.4%、「感じない」は28.1%となっています。

障害種別でみると、知的障害のある方、精神障害のある方では、「頻繁に感じる」、「時々感じる」が、他の障害のある方より多くなっています。

#### ●全体



#### ●障害種別

	調査数	頻繁に感じる	時々感じる	あまり感じない	感じない	わからない	無回答
全 体	1135	67	211	288	319	177	73
	100.0	5.9	18.6	25.4	28.1	15.6	6.4
身体障害	772	25	112	209	242	122	62
	100.0	3.2	14.5	27.1	31.3	15.8	8.0
知的障害	226	27	70	53	34	35	7
	100.0	11.9	31.0	23.5	15.0	15.5	3.1
精神障害	231	25	60	44	53	43	6
	100.0	10.8	26.0	19.0	22.9	18.6	2.6
難病	224	10	40	57	62	36	19
	100.0	4.5	17.9	25.4	27.7	16.1	8.5
無回答	7	-	2	1	2	2	-
	100.0	-	28.6	14.3	28.6	28.6	-

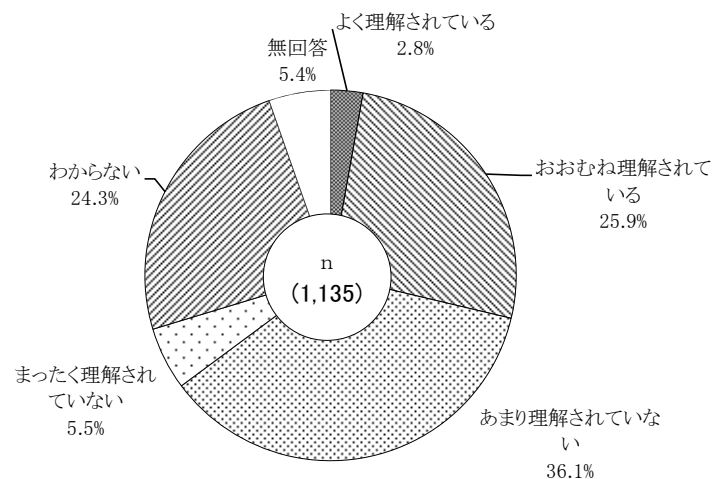
## (2) 障害のある人に対する市民の理解度

問 56 あなたは、障害のある人に対する市民の理解が、どの程度あると感じていますか。(〇は 1 つ)

全体では、「よく理解されている」が 2.8%、「おおむね理解されている」が 25.9%となっています。一方、「あまり理解されていない」は 36.1%、「まったく理解されていない」は 5.5%となっています。

障害種別でみると、障害種別でみると、知的障害のある方、精神障害のある方では、「あまり理解されていない」が、他の障害のある方より多くなっています。

### ●全体



### ●障害種別

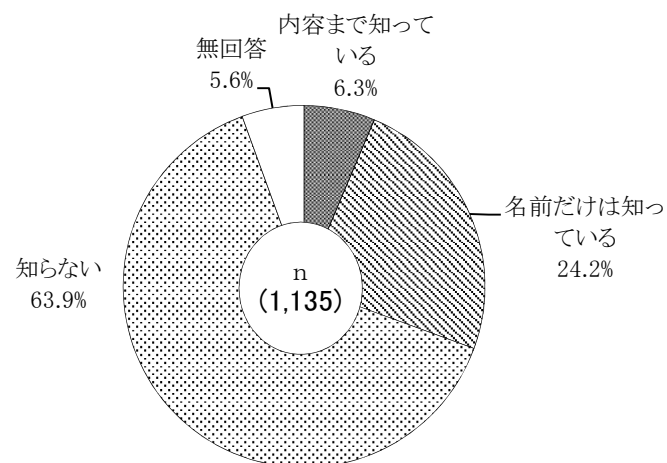
	調査数	よく理解されている	おおむね理解されている	あまり理解されていない	まったく理解されていない	わからない	無回答
全 体	1135	32	294	410	62	276	61
	100.0	2.8	25.9	36.1	5.5	24.3	5.4
身体障害	772	26	225	237	36	196	52
	100.0	3.4	29.1	30.7	4.7	25.4	6.7
知的障害	226	8	49	107	8	47	7
	100.0	3.5	21.7	47.3	3.5	20.8	3.1
精神障害	231	8	34	107	24	52	6
	100.0	3.5	14.7	46.3	10.4	22.5	2.6
難病	224	8	58	81	17	46	14
	100.0	3.6	25.9	36.2	7.6	20.5	6.3
無回答	7	—	2	3	1	1	—
	100.0	—	28.6	42.9	14.3	14.3	—

### (3) 障害者差別解消法の認知

問 57 障害者への差別をなくすことを目的として、平成 28 年 4 月 1 日に「障害者差別解消法」が施行されましたが、このことを知っていますか。(○は 1 つ)

全体では、「内容まで知っている」が 6.3%、「名前だけは知っている」が 24.2%となっています。一方、「知らない」が 63.9%となっています。

#### ●全体



#### ●障害種別

	調査数	内容まで知っている	名前だけは知っている	知らない	無回答
全 体	1135	72	275	725	63
	100.0	6.3	24.2	63.9	5.6
身体障害	772	48	184	486	54
	100.0	6.2	23.8	63.0	7.0
知的障害	226	29	63	127	7
	100.0	12.8	27.9	56.2	3.1
精神障害	231	8	54	164	5
	100.0	3.5	23.4	71.0	2.2
難病	224	10	61	142	11
	100.0	4.5	27.2	63.4	4.9
無回答	7	-	-	7	-
	100.0	-	-	100.0	-

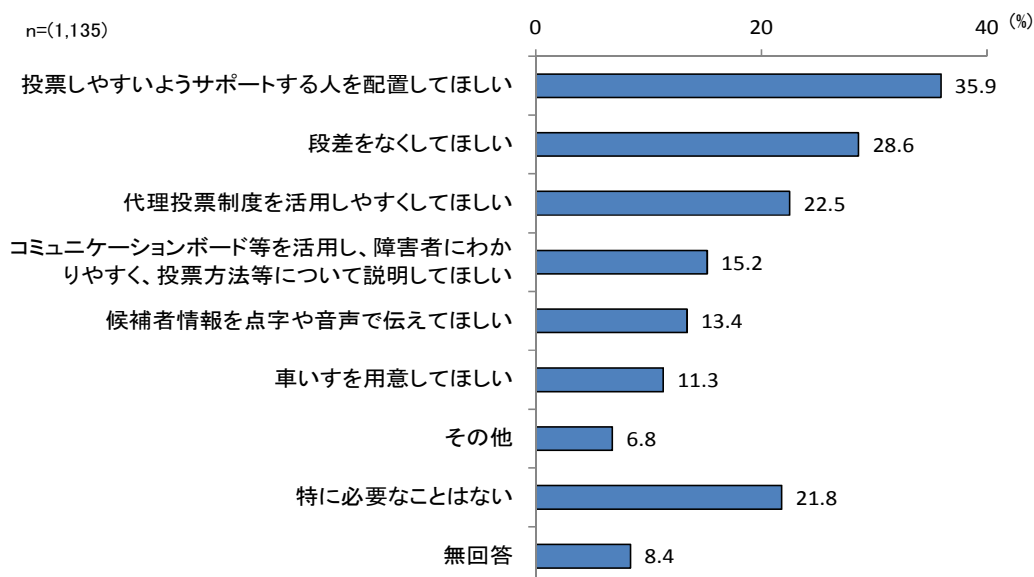
#### (4) 障害者が選挙の投票をしやすいするために必要なこと

問 58 あなたは、障害者が選挙の投票をしやすいために、投票所に何が必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

全体では、「投票しやすいようサポートする人を配置してほしい」が 35.9%で最も多く、以下「段差をなくしてほしい」が 28.6%、「代理投票制度を活用しやすくしてほしい」が 22.5%となっています。

障害種別でみると、知的障害のある方では、「投票しやすいようサポートする人を配置してほしい」が、他の障害のある方より多くなっています。一方、身体障害のある方、難病のある方では「段差をなくしてほしい」が多くなっています。

#### ●全体



#### ●障害種別

	調査数	候補者情報を点字や音声で伝えてほしい	段差をなくしてほしい	車いすを用意してほしい	投票しやすいようサポートする人を配置してほしい	代理投票制度を活用しやすくしてほしい	コミュニケーションボード等を活用し、障害者にわかりやすく、投票方法等について説明してほしい	特に必要なことはない	その他	無回答
全 体	1135	152	325	128	407	255	172	247	77	95
	100.0	13.4	28.6	11.3	35.9	22.5	15.2	21.8	6.8	8.4
身体障害	772	86	260	94	247	163	82	171	49	76
	100.0	11.1	33.7	12.2	32.0	21.1	10.6	22.2	6.3	9.8
知的障害	226	26	26	13	106	52	62	44	19	19
	100.0	11.5	11.5	5.8	46.9	23.0	27.4	19.5	8.4	8.4
精神障害	231	47	60	29	90	60	46	48	16	14
	100.0	20.3	26.0	12.6	39.0	26.0	19.9	20.8	6.9	6.1
難病	224	23	70	31	73	58	25	42	14	18
	100.0	10.3	31.3	13.8	32.6	25.9	11.2	18.8	6.3	8.0
無回答	7	-	1	2	2	2	2	2	-	-
	100.0	-	14.3	28.6	28.6	28.6	28.6	28.6	-	-

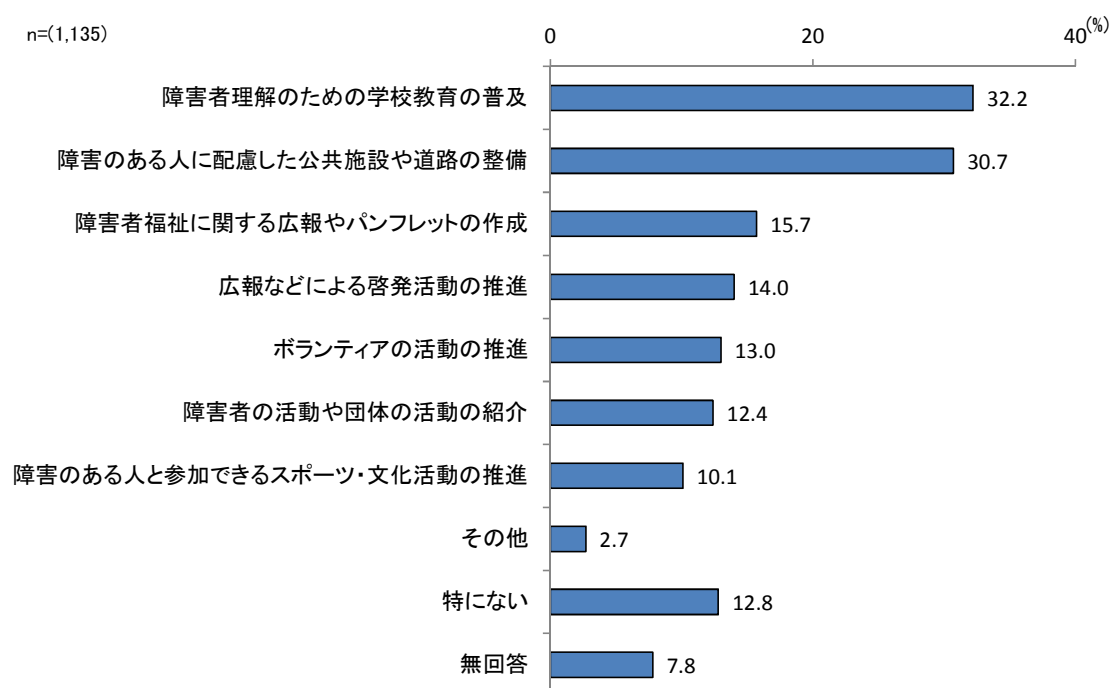
## (5) 障害者理解のため、行政に取り組んでもらいたいこと

問 59 あなたは、障害者に対する理解をより深めるために、どのようなことを行政に取り組んでもらいたいですか。(〇は2つまで)

全体では、「障害者理解のための学校教育の普及」が 32.2%、「障害のある人に配慮した公共施設や道路の整備」が 30.7%と、いずれも3割を超えて多くなっています。

障害種別でみると、身体障害のある方、難病のある方では「障害のある人に配慮した公共施設や道路の整備」が、他の障害のある方より多くなっています。一方、知的障害のある方、精神障害のある方では、「障害者理解のための学校教育の普及」が多くなっています。

### ●全体



### ●障害種別

	調査数	障害者理解のための学校教育の普及	広報などによる啓発活動の推進	障害者の活動や団体の活動の紹介	ボランティアの活動の推進	障害のある人と参加できるスポーツ・文化活動の推進	障害のある人に配慮した公共施設や道路の整備	障害者福祉に関する広報やパンフレットの作成	特にない	その他	無回答
全 体	1135	366	159	141	148	115	349	178	145	31	89
	100.0	32.2	14.0	12.4	13.0	10.1	30.7	15.7	12.8	2.7	7.8
身体障害	772	205	102	75	89	68	270	129	104	17	76
	100.0	26.6	13.2	9.7	11.5	8.8	35.0	16.7	13.5	2.2	9.8
知的障害	226	92	33	45	38	36	49	27	24	9	11
	100.0	40.7	14.6	19.9	16.8	15.9	21.7	11.9	10.6	4.0	4.9
精神障害	231	97	35	33	31	24	62	31	25	9	11
	100.0	42.0	15.2	14.3	13.4	10.4	26.8	13.4	10.8	3.9	4.8
難病	224	68	35	24	25	17	76	41	21	4	19
	100.0	30.4	15.6	10.7	11.2	7.6	33.9	18.3	9.4	1.8	8.5
無回答	7	1	-	2	-	-	1	1	1	-	2
	100.0	14.3	-	28.6	-	-	14.3	14.3	14.3	-	28.6



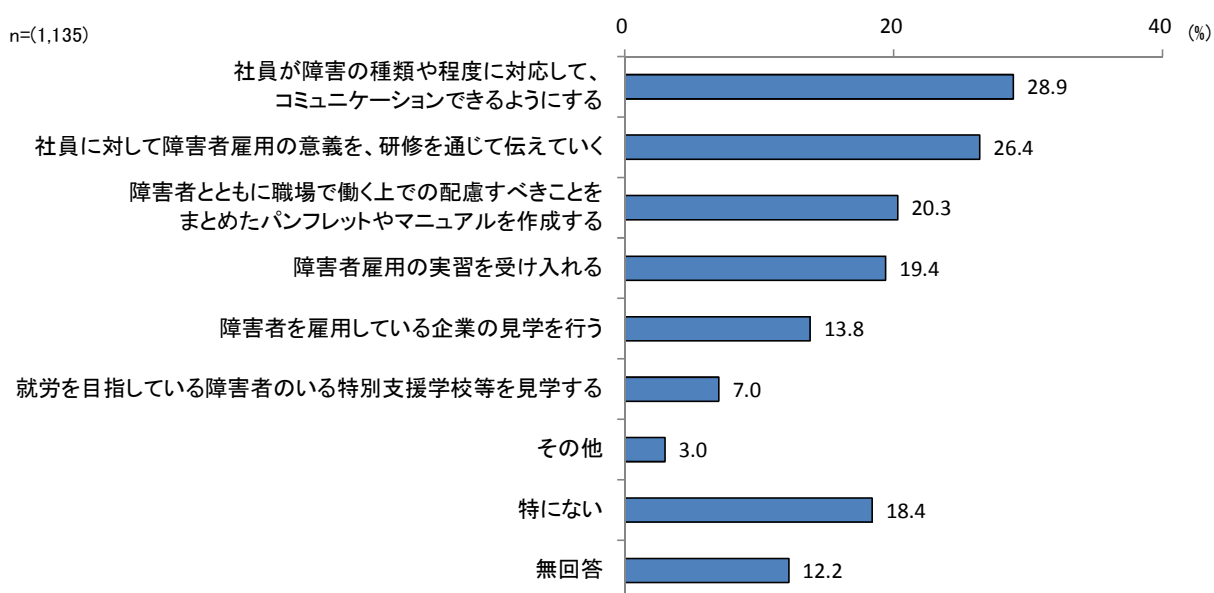
## (6) 障害者理解のため、企業に取り組んでもらいたいこと

問 60 あなたは、障害者に対する理解をより深めるために、どのようなことを企業に取り組んでもらいたいですか。(〇は2つまで)

全体では、「社員が障害の種類や程度に対応して、コミュニケーションできるようにする」が28.9%で最も多く、以下「社員に対して障害者雇用の意義を、研修を通じて伝えていく」が26.4%、「障害者とともに職場で働く上での配慮すべきことをまとめたパンフレットやマニュアルを作成する」が20.3%となっています。

障害種別でみると、知的障害のある方、精神障害のある方では、「社員が障害の種類や程度に対応して、コミュニケーションできるようにする」が、他の障害のある方より多くなっています。

### ●全体



### ●障害種別

	調査数	社員に対して障害者雇用の意義を、研修を通じて伝えていく	就労を目指している障害者のいる特別支援学校等を見学する	障害者を雇用している企業の見学を行う	障害者雇用の実習を受け入れる	社員が障害の種類や程度に対応して、コミュニケーションできるようにする	障害者とともに職場で働く上での配慮すべきことをまとめたパンフレットやマニュアルを作成する	特にない	その他	無回答
全 体	1135	300	80	157	220	328	230	209	34	139
	100.0	26.4	7.0	13.8	19.4	28.9	20.3	18.4	3.0	12.2
身体障害	772	184	44	92	126	189	146	168	21	118
	100.0	23.8	5.7	11.9	16.3	24.5	18.9	21.8	2.7	15.3
知的障害	226	65	25	39	59	82	47	32	8	16
	100.0	28.8	11.1	17.3	26.1	36.3	20.8	14.2	3.5	7.1
精神障害	231	69	20	35	51	87	54	29	9	19
	100.0	29.9	8.7	15.2	22.1	37.7	23.4	12.6	3.9	8.2
難病	224	60	12	26	42	61	37	47	7	31
	100.0	26.8	5.4	11.6	18.8	27.2	16.5	21.0	3.1	13.8
無回答	7	3	-	-	2	1	-	1	1	1
	100.0	42.9	-	-	28.6	14.3	-	14.3	14.3	14.3

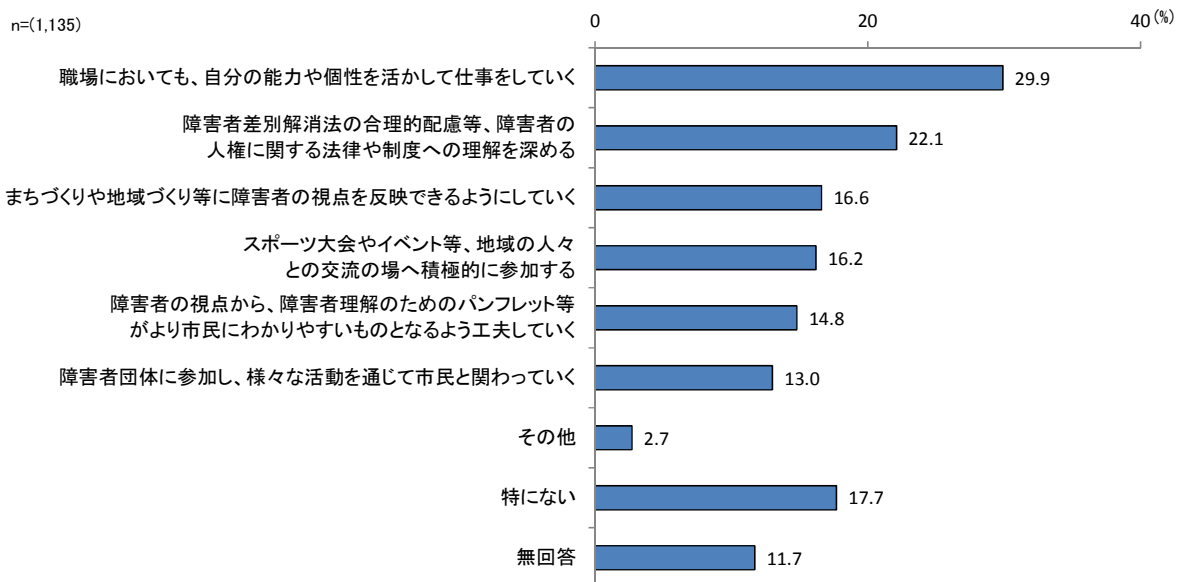
## (7) 障害者理解のため、障害者自身が取り組むべきこと

問 61 障害者への理解を深めるために、障害者自身がどのような取り組みをしていく必要があると思いますか。(〇は2つまで)

全体では、「職場においても、自分の能力や個性を活かして仕事をしていく」が29.9%で最も多く、「障害者差別解消法の合理的配慮等、障害者の人権に関する法律や制度への理解を深める」が22.1%で次いでいます。

障害種別でみると、知的障害のある方では、「スポーツ大会やイベント等、地域の人々との交流の場へ積極的に参加する」が、他の障害のある方より多くなっています。一方、精神障害のある方では、「職場においても、自分の能力や個性を活かして仕事をしていく」が多くなっています。

### ●全体



### ●障害種別

	調査数	障害者差別 解消法の合理的 配慮等、障害者 の人権に関する法律や 制度への理解を深める	スポーツ大会やイベント 等、地域の人々との交流の 場へ積極的に参加する	まちづくりや 地域づくり等に障害者の 視点を反映できるように していく	障害者団体に 参加し、様々な活動 を通じて市民と関わって いく	障害者の視点から、障害 者理解のためのパンフ レット等がより市民にわ かりやすいものとなるよう 工夫していく	職場におい ても、自分の 能力や個性 を活かして仕 事をしていく	特になし	その他	無回答
全 体	1135	251	184	188	147	168	339	201	31	133
	100.0	22.1	16.2	16.6	13.0	14.8	29.9	17.7	2.7	11.7
身体障害	772	155	110	139	83	118	205	152	16	109
	100.0	20.1	14.2	18.0	10.8	15.3	26.6	19.7	2.1	14.1
知的障害	226	54	58	26	41	33	67	36	9	19
	100.0	23.9	25.7	11.5	18.1	14.6	29.6	15.9	4.0	8.4
精神障害	231	60	36	32	35	36	89	29	8	20
	100.0	26.0	15.6	13.9	15.2	15.6	38.5	12.6	3.5	8.7
難病	224	47	33	40	27	31	51	47	9	30
	100.0	21.0	14.7	17.9	12.1	13.8	22.8	21.0	4.0	13.4
無回答	7	2	-	-	-	-	2	2	1	-
	100.0	28.6	-	-	-	-	28.6	28.6	14.3	-

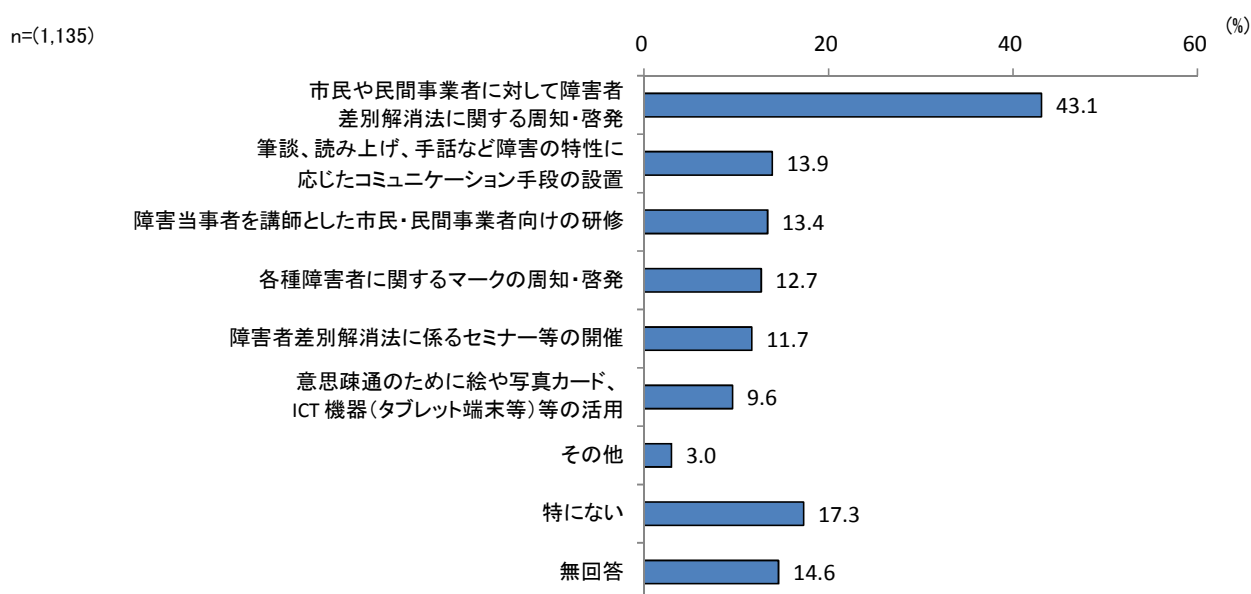
(8) 社会的障壁の除去に向けて合理的配慮を進めていくために必要なこと

問 62 社会的障壁の除去に向けて、合理的配慮を進めていくために必要なことは何だと思われますか。(〇は2つまで)

全体では、「市民や民間事業者に対して障害者差別解消法に関する周知・啓発」が43.1%で最も多く、以下「筆談、読み上げ、手話など障害の特性に応じたコミュニケーション手段の設置」が13.9%、「障害当事者を講師とした市民・民間事業者向けの研修」が13.4%となっています。

障害種別でみると、知的障害のある方、精神障害のある方では「市民や民間事業者に対して障害者差別解消法に関する周知・啓発」が、他の障害のある方より多くなっています。

●全体



●障害種別

	調査数	市民や民間事業者に対して障害者差別解消法に関する周知・啓発	障害者差別解消法に係るセミナー等の開催	障害当事者を講師とした市民・民間事業者向けの研修	筆談、読み上げ、手話など障害の特性に応じたコミュニケーション手段の設置	意思疎通のために絵や写真カード、ICT 機器(タブレット端末等)等の活用	各種障害者に関するマークの周知・啓発	特にない	その他	無回答
全 体	1135	489	133	152	158	109	144	196	34	166
	100.0	43.1	11.7	13.4	13.9	9.6	12.7	17.3	3.0	14.6
身体障害	772	304	73	97	105	60	109	143	20	135
	100.0	39.4	9.5	12.6	13.6	7.8	14.1	18.5	2.6	17.5
知的障害	226	110	41	29	32	32	14	36	11	25
	100.0	48.7	18.1	12.8	14.2	14.2	6.2	15.9	4.9	11.1
精神障害	231	116	31	41	31	31	28	32	6	21
	100.0	50.2	13.4	17.7	13.4	13.4	12.1	13.9	2.6	9.1
難病	224	79	27	29	32	18	31	40	8	40
	100.0	35.3	12.1	12.9	14.3	8.0	13.8	17.9	3.6	17.9
無回答	7	1	2	1	1	-	1	2	-	1
	100.0	14.3	28.6	14.3	14.3	-	14.3	28.6	-	14.3

## 11. サービス利用について

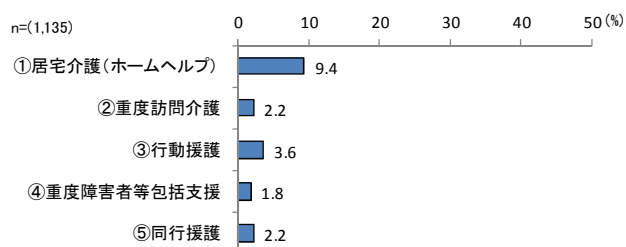
### (1) 訪問系サービスの利用状況・利用意向

問 63 あなたは、次のような訪問系サービスを利用していますか。また今後利用したいと  
いますか。すでに利用している方も、今後利用したいかどうかをお答えください。

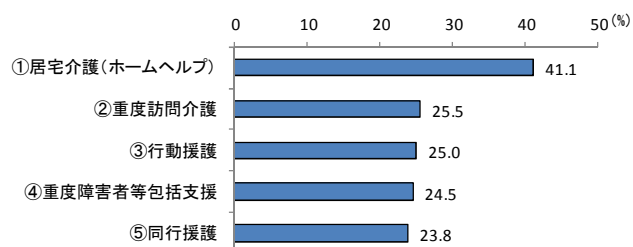
利用しているサービスをみると、「居宅介護（ホームヘルプ）」が9.4%で最も多くなっています。  
利用したいサービスをみると、「居宅介護（ホームヘルプ）」が41.1%で最も多く、以下「重度  
訪問介護」が25.5%、「行動援護」が25.0%となっています。

#### ●全体

##### A. 利用している割合



##### B. 利用したい割合



#### ●障害種別

##### A. 利用している割合

	調査数	①居宅介護 (ホームヘルプ)	②重度訪問 介護	③行動援護	④重度障害 者等包括支 援	⑤同行援護
全 体	1135	107	25	41	20	25
	100.0	9.4	2.2	3.6	1.8	2.2
身体障害	772	89	24	19	17	19
	100.0	11.5	3.1	2.5	2.2	2.5
知的障害	226	14	1	25	3	6
	100.0	6.2	0.4	11.1	1.3	2.7
精神障害	231	15	1	6	2	3
	100.0	6.5	0.4	2.6	0.9	1.3
難病	224	30	5	9	5	9
	100.0	13.4	2.2	4.0	2.2	4.0
無回答	7	1	1	1	-	1
	100.0	14.3	14.3	14.3	-	14.3

## B. 利用したい割合

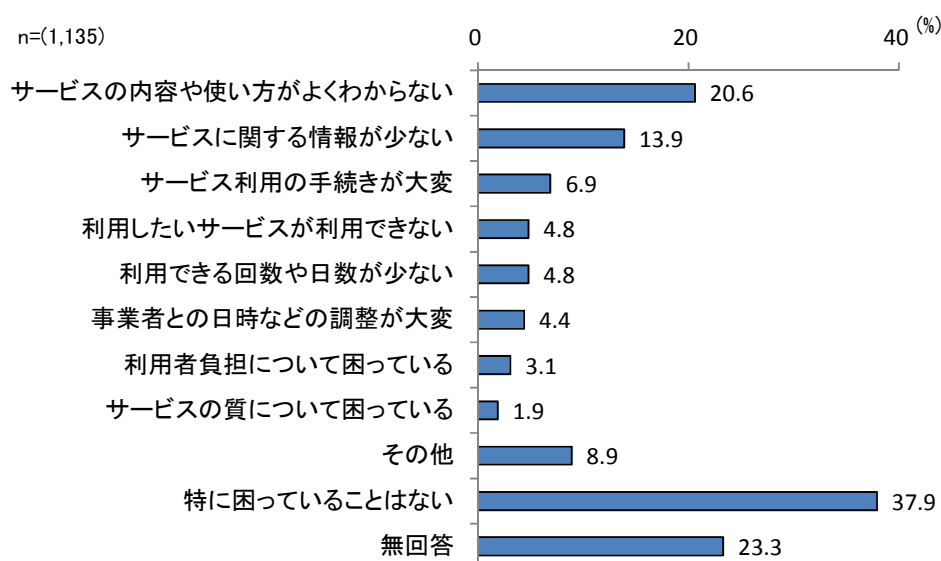
	調査数	①居宅介護 (ホームヘルプ)	②重度訪問 介護	③行動援護	④重度障害 者等包括支 援	⑤同行援護
全 体	1135 100.0	466 41.1	289 25.5	284 25.0	278 24.5	270 23.8
身体障害	772 100.0	353 45.7	216 28.0	163 21.1	209 27.1	201 26.0
知的障害	226 100.0	85 37.6	55 24.3	101 44.7	52 23.0	49 21.7
精神障害	231 100.0	67 29.0	45 19.5	56 24.2	42 18.2	45 19.5
難病	224 100.0	99 44.2	63 28.1	60 26.8	59 26.3	65 29.0
無回答	7 100.0	3 42.9	1 14.3	1 14.3	－ －	1 14.3

## (2) 訪問系サービスを利用する上で困っていること

問 64 あなたは、訪問系サービスの利用に関して困っていることがありますか。(〇はいくつでも)

全体では、訪問系サービスを利用する上で困っていることについて「サービスの内容や使い方がよくわからない」が20.6%で最も多く、次いで「サービスに関する情報が少ない」が13.9%となっています。

### ●全体



### ●障害種別

	調査数	サービスの 内容や使い 方がよくわ からない	サービスに 関する情報 が少ない	利用したい サービスが 利用できない	サービス利 用の手続き が大変	事業者との 日時などの 調整が大変	利用できる回 数や日数が 少ない	サービスの 質について 困っている	利用者負担 について困 っている	特に困って いることは ない	その他	無回答
全 体	1135	234	158	54	78	50	54	22	35	430	101	264
	100.0	20.6	13.9	4.8	6.9	4.4	4.8	1.9	3.1	37.9	8.9	23.3
身体障害	772	146	96	29	46	22	37	16	27	284	68	200
	100.0	18.9	12.4	3.8	6.0	2.8	4.8	2.1	3.5	36.8	8.8	25.9
知的障害	226	55	45	21	21	25	17	5	6	75	22	42
	100.0	24.3	19.9	9.3	9.3	11.1	7.5	2.2	2.7	33.2	9.7	18.6
精神障害	231	49	27	13	19	12	10	2	5	107	19	39
	100.0	21.2	11.7	5.6	8.2	5.2	4.3	0.9	2.2	46.3	8.2	16.9
難病	224	50	32	14	14	10	12	8	8	77	20	51
	100.0	22.3	14.3	6.3	6.3	4.5	5.4	3.6	3.6	34.4	8.9	22.8
無回答	7	3	1	-	2	-	-	-	1	2	-	2
	100.0	42.9	14.3	-	28.6	-	-	-	14.3	28.6	-	28.6

### (3) 日中活動系サービスの利用状況・利用意向

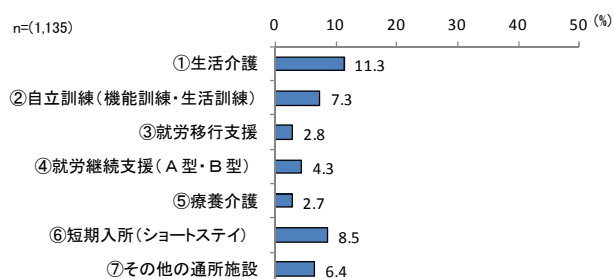
問 65 あなたは、次のような日中活動系サービスを利用していますか。また今後利用したいと思いますか。すでに利用している方も、今後利用したいかどうかをお答えください。

利用しているサービスをみると、「生活介護」が11.3%で最も多く、以下「短期入所（ショートステイ）」が8.5%、「自立訓練（機能訓練・生活訓練）」が7.3%となっています。

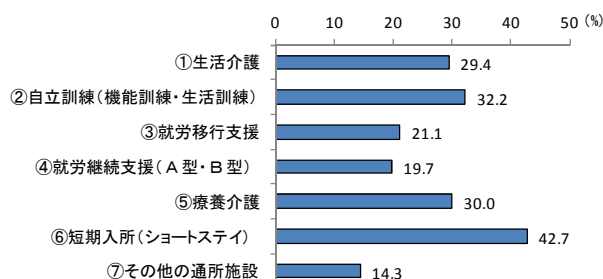
利用したいサービスについては、「短期入所（ショートステイ）」が42.7%で最も多く、以下「自立訓練（機能訓練・生活訓練）」が32.2%、「療養介護」が30.0%となっています。

#### ●全体

##### A. 利用している割合



##### B. 利用したい割合



#### ●障害種別

##### A. 利用している割合

	調査数	①生活介護	②自立訓練 (機能訓練・ 生活訓練)	③就労移行 支援	④就労継続 支援(A型・B 型)	⑤療養介護	⑥短期入所 (ショートステ イ)	⑦その他の 通所施設
全 体	1135	128	83	32	49	31	96	73
	100.0	11.3	7.3	2.8	4.3	2.7	8.5	6.4
身体障害	772	78	70	6	14	30	57	46
	100.0	10.1	9.1	0.8	1.8	3.9	7.4	6.0
知的障害	226	62	18	19	45	2	55	28
	100.0	27.4	8.0	8.4	19.9	0.9	24.3	12.4
精神障害	231	12	5	12	3	3	11	7
	100.0	5.2	2.2	5.2	1.3	1.3	4.8	3.0
難病	224	32	27	3	10	8	18	14
	100.0	14.3	12.1	1.3	4.5	3.6	8.0	6.3
無回答	7	1	-	-	1	-	1	-
	100.0	14.3	-	-	14.3	-	14.3	-

## B. 利用したい割合

	調査数	①生活介護	②自立訓練 (機能訓練・ 生活訓練)	③就労移行 支援	④就労継続 支援(A型・B 型)	⑤療養介護	⑥短期入所 (ショートステ イ)	⑦その他の 通所施設
全 体	1135 100.0	334 29.4	366 32.2	240 21.1	224 19.7	341 30.0	485 42.7	162 14.3
身体障害	772 100.0	238 30.8	240 31.1	122 15.8	109 14.1	262 33.9	338 43.8	112 14.5
知的障害	226 100.0	80 35.4	85 37.6	63 27.9	78 34.5	46 20.4	129 57.1	40 17.7
精神障害	231 100.0	49 21.2	73 31.6	78 33.8	60 26.0	57 24.7	68 29.4	24 10.4
難病	224 100.0	77 34.4	74 33.0	42 18.8	40 17.9	76 33.9	100 44.6	30 13.4
無回答	7 100.0	2 28.6	1 14.3	1 14.3	2 28.6	1 14.3	4 57.1	－ －

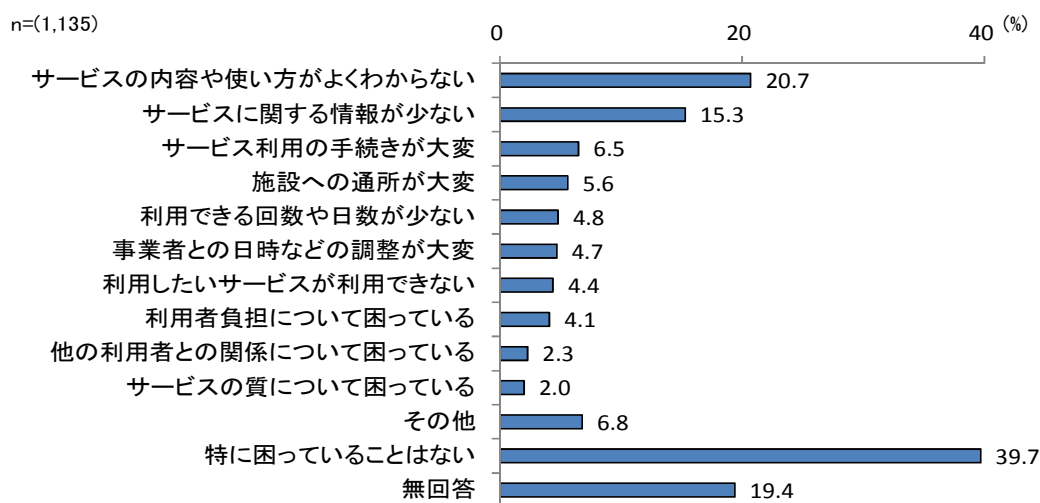


#### (4) 日中活動系サービスを利用する上で困っていること

問 66 あなたは、日中活動系サービスの利用に関して困っていることがありますか。(〇はいくつでも)

全体では、日中活動系サービスを利用する上で困っていることについて「サービスの内容や使い方がよくわからない」が20.7%で最も多く、次いで「サービスに関する情報が少ない」が15.3%となっています。

#### ●全体



#### ●障害種別

	調査数	サービスの 内容や使い 方がよくわ からない	サービスに 関する情報 が少ない	利用したい サービスが 利用できない	サービス利 用の手続き が大変	事業者との 日時などの 調整が大変	利用できる回 数や日数が 少ない	サービスの 質について 困っている	他の利用者 との関係につ いて困ってい る	施設への通 所が大変
全 体	1135 100.0	235 20.7	174 15.3	50 4.4	74 6.5	53 4.7	54 4.8	23 2.0	26 2.3	63 5.6
身体障害	772 100.0	153 19.8	112 14.5	28 3.6	43 5.6	20 2.6	32 4.1	13 1.7	14 1.8	35 4.5
知的障害	226 100.0	39 17.3	38 16.8	19 8.4	21 9.3	29 12.8	21 9.3	6 2.7	10 4.4	25 11.1
精神障害	231 100.0	60 26.0	41 17.7	11 4.8	19 8.2	13 5.6	12 5.2	6 2.6	7 3.0	16 6.9
難病	224 100.0	51 22.8	42 18.8	11 4.9	16 7.1	11 4.9	7 3.1	6 2.7	8 3.6	17 7.6
無回答	7 100.0	3 42.9	1 14.3	-	2 28.6	1 14.3	-	1 14.3	1 14.3	-

	調査数	利用者負担 について困っ ている	特に困ってい ることはない	その他	無回答
全 体	1135 100.0	47 4.1	451 39.7	77 6.8	220 19.4
身体障害	772 100.0	34 4.4	298 38.6	54 7.0	176 22.8
知的障害	226 100.0	9 4.0	88 38.9	13 5.8	26 11.5
精神障害	231 100.0	11 4.8	94 40.7	17 7.4	35 15.2
難病	224 100.0	8 3.6	75 33.5	15 6.7	45 20.1
無回答	7 100.0	-	2 28.6	-	2 28.6

## (5) 居住系サービスの利用状況・利用意向

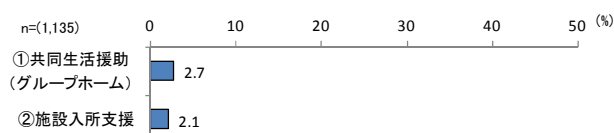
問 67 あなたは、次のような居住系サービスを利用していますか。また今後利用したいと思いますか。すでに利用している方も、今後利用したいかどうかをお答えください。

利用しているサービスをみると、「共同生活援助（グループホーム）」が 2.7%、「施設入所支援」が 2.1%となっています。

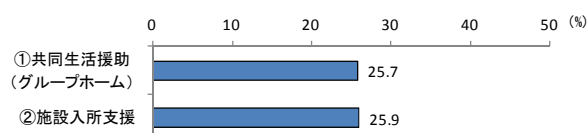
利用したいサービスをみると、「施設入所支援」が 25.9%、「共同生活援助（グループホーム）」が 25.7%となっています。

### ●全体

#### A. 利用している割合



#### B. 利用したい割合



### ●障害種別

#### A. 利用している割合

	調査数	①共同生活援助 (グループホーム)	②施設入所支援
全 体	1135	31	24
	100.0	2.7	2.1
身体障害	772	17	19
	100.0	2.2	2.5
知的障害	226	14	7
	100.0	6.2	3.1
精神障害	231	3	3
	100.0	1.3	1.3
難病	224	6	4
	100.0	2.7	1.8
無回答	7	-	-
	100.0	-	-

#### B. 利用したい割合

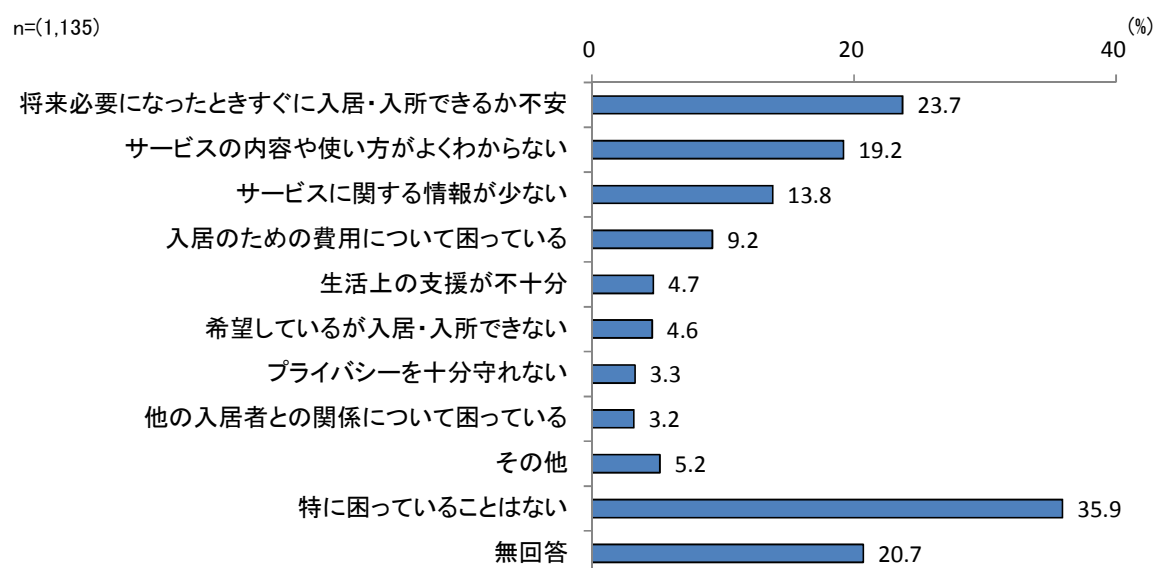
	調査数	①共同生活援助 (グループホーム)	②施設入所支援
全 体	1135	292	294
	100.0	25.7	25.9
身体障害	772	182	198
	100.0	23.6	25.6
知的障害	226	98	83
	100.0	43.4	36.7
精神障害	231	35	40
	100.0	15.2	17.3
難病	224	55	64
	100.0	24.6	28.6
無回答	7	-	1
	100.0	-	14.3

## (6) 居住系サービスを利用する上で困っていること

問 68 あなたは、居住系サービスの利用に関して困っていることがありますか。(〇はいくつでも)

全体では、居住系サービスを利用する上で困っていることについて「将来必要になったときすぐに入居・入所できるか不安」が 23.7%で最も多く、以下「サービスの内容や使い方がよくわからない」が 19.2%、「サービスに関する情報が少ない」が 13.8%となっています。

### ●全体



### ●障害種別

	調査数	サービスの 内容や使い 方がよくわ からない	サービスに 関する情報 が少ない	希望してい るが入居・入 所できない	将来必要に なったとき すぐに入居・入 所できるか 不安	生活上の支 援が不十分	プライバシー を十分守れ ない	他の入居者 との関係につ いて困ってい る	入居のため の費用につ いて困ってい る	特に困ってい ることはない	その他	無回答
全 体	1135	218	157	52	269	53	38	36	104	408	59	235
	100.0	19.2	13.8	4.6	23.7	4.7	3.3	3.2	9.2	35.9	5.2	20.7
身体障害	772	141	97	29	169	34	18	15	71	262	42	185
	100.0	18.3	12.6	3.8	21.9	4.4	2.3	1.9	9.2	33.9	5.4	24.0
知的障害	226	48	48	27	95	18	11	13	23	66	8	31
	100.0	21.2	21.2	11.9	42.0	8.0	4.9	5.8	10.2	29.2	3.5	13.7
精神障害	231	42	29	8	37	6	13	11	19	107	11	37
	100.0	18.2	12.6	3.5	16.0	2.6	5.6	4.8	8.2	46.3	4.8	16.0
難病	224	47	34	10	54	9	8	4	24	71	12	48
	100.0	21.0	15.2	4.5	24.1	4.0	3.6	1.8	10.7	31.7	5.4	21.4
無回答	7	3	2	-	2	-	1	1	1	1	-	2
	100.0	42.9	28.6	-	28.6	-	14.3	14.3	14.3	14.3	-	28.6

## (7) 地域生活支援事業の利用状況・利用意向

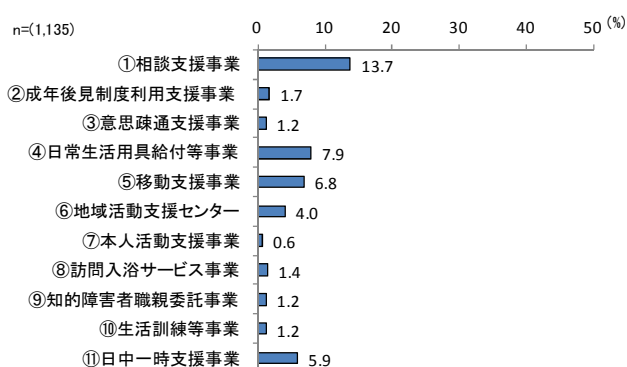
問 69 あなたは、次のようなサービスを利用していますか。また今後利用したいと思いますか。すでに利用している方も、今後利用したいかどうかをお答えください。

利用している地域生活支援事業をみると、「相談支援事業」が13.7%で最も多く、以下「日常生活用具給付等事業」が7.9%、「移動支援事業」が6.8%となっています。

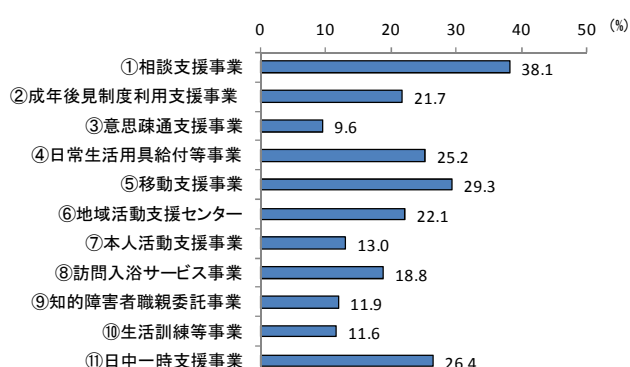
利用したい地域生活支援事業をみると、「相談支援事業」が38.1%で最も多く、以下「移動支援事業」が29.3%、「日中一時支援事業」が26.4%、「日常生活用具給付等事業」が25.2%となっています。

### ●全体

#### A. 利用している割合



#### B. 利用したい割合



### ●障害種別

#### A. 利用している割合

	調査数	①相談	②成年後見 制度利用支 援事業	③意思疎通 支援事業	④日常生活 用具給付等 事業	⑤移動支援 事業	⑥地域活動 支援センター	⑦本人活動 支援事業	⑧訪問入浴 サービス事 業	⑨知的障害 者職親委託 事業	⑩生活訓練 等事業	⑪日中一時 支援事業
全 体	1135	155 100.0	19 13.7	14 1.7	90 1.2	77 7.9	45 6.8	7 4.0	16 0.6	14 1.4	14 1.2	67 5.9
身体障害	772	68 100.0	7 8.8	13 0.9	85 1.7	40 5.2	24 3.1	4 0.5	15 1.9	5 0.6	10 1.3	25 3.2
知的障害	226	90 100.0	9 39.8	1 4.0	9 0.4	41 4.0	21 18.1	3 9.3	1 1.3	11 0.4	8 4.9	50 3.5
精神障害	231	31 100.0	4 13.4	1 1.7	6 0.4	8 2.6	9 3.5	- 3.9	2 0.9	1 0.4	1 0.4	6 2.6
難病	224	32 100.0	1 14.3	1 0.4	22 0.4	18 9.8	12 8.0	1 0.4	4 1.8	1 0.4	4 1.8	10 4.5
無回答	7	1 100.0	- 14.3	- -	- -	1 14.3	1 14.3	- -	- -	- -	- -	- -

## B. 利用したい割合

	調査数	①相談	②成年後見 制度利用支 援事業	③意思疎通 支援事業	④日常生活 用具給付等 事業	⑤移動支援 事業	⑥地域活動 支援センター	⑦本人活動 支援事業	⑧訪問入浴 サービス事 業	⑨知的障害 者職親委託 事業	⑩生活訓練 等事業	⑪日中一時 支援事業
全 体	1135	432	246	109	286	333	251	148	213	135	132	300
	100.0	38.1	21.7	9.6	25.2	29.3	22.1	13.0	18.8	11.9	11.6	26.4
身体障害	772	259	125	79	239	227	142	76	171	69	102	185
	100.0	33.5	16.2	10.2	31.0	29.4	18.4	9.8	22.2	8.9	13.2	24.0
知的障害	226	136	105	21	40	98	84	67	36	62	23	94
	100.0	60.2	46.5	9.3	17.7	43.4	37.2	29.6	15.9	27.4	10.2	41.6
精神障害	231	86	50	23	38	44	54	26	26	23	23	52
	100.0	37.2	21.6	10.0	16.5	19.0	23.4	11.3	11.3	10.0	10.0	22.5
難病	224	97	44	27	72	79	51	32	55	24	32	62
	100.0	43.3	19.6	12.1	32.1	35.3	22.8	14.3	24.6	10.7	14.3	27.7
無回答	7	1	-	-	2	1	-	-	1	1	-	-
	100.0	14.3	-	-	28.6	14.3	-	-	14.3	14.3	-	-

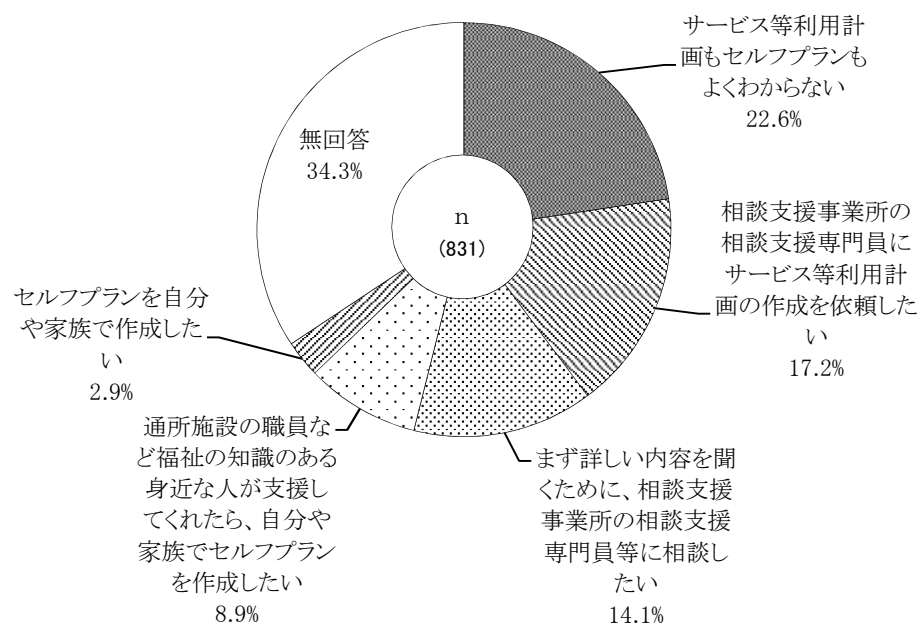
### (8) サービス等利用計画の作成についての意向

問 70 【問 63、65、67、69 にある障害福祉サービスを利用している方や、今後利用したい方にお聞きします】サービス等利用計画の作成について、どのように進めていきたいですか。(〇はひとつ)

全体では、サービス等利用計画の作成についての具体的な意向として「相談支援事業所の相談支援専門員にサービス等利用計画の作成を依頼したい」が 17.2%で最も多く、次いで「まず詳しい内容を聞くために、相談支援事業所の相談支援専門員等に相談したい」が 14.1%となっています。一方、「サービス等利用計画もセルフプランもよくわからない」が 22.6%となっています。

障害種別でみると、知的障害のある方では、「相談支援事業所の相談支援専門員にサービス等利用計画の作成を依頼したい」が、他の障害のある方より多くなっています。

#### ●全体



# ●障害種別

	調査数	相談支援事業所の相談支援専門員にサービス等利用計画の作成を依頼したい	セルフプランを自分や家族で作成したい	通所施設の職員など福祉の知識のある身近な人が支援してくれたら、自分や家族でセルフプランを作成したい	まず詳しい内容を聞くために、相談支援事業所の相談支援専門員等に相談したい	サービス等利用計画もセルフプランもよくわからない	無回答
全 体	831	143	24	74	117	188	285
	100.0	17.2	2.9	8.9	14.1	22.6	34.3
身体障害	550	82	17	48	75	115	213
	100.0	14.9	3.1	8.7	13.6	20.9	38.7
知的障害	197	65	5	23	23	44	37
	100.0	33.0	2.5	11.7	11.7	22.3	18.8
精神障害	162	27	4	9	21	46	55
	100.0	16.7	2.5	5.6	13.0	28.4	34.0
難病	173	29	7	12	19	40	66
	100.0	16.8	4.0	6.9	11.0	23.1	38.2
無回答	5	－	－	－	1	1	3
	100.0	－	－	－	20.0	20.0	60.0

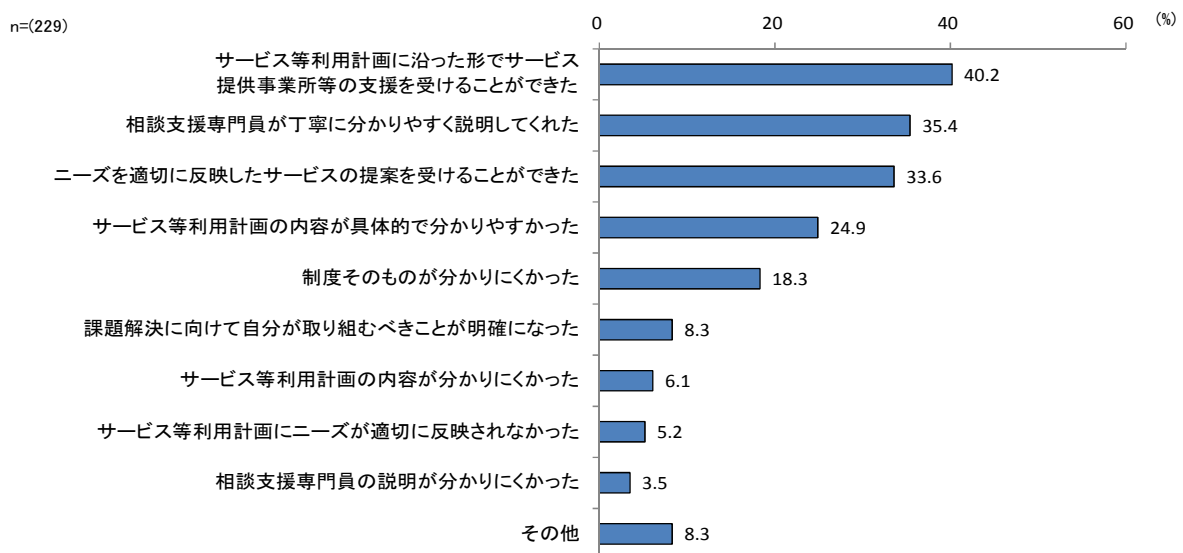
## (9) サービス等利用計画を作成して感じたこと

問 71 【これまでに特定相談支援事業所でサービス等利用計画を作成したことがある方にお聞きします】サービス等利用計画を作成して感じたことはありますか（〇は4つまで）

全体では「サービス等利用計画に沿った形でサービス提供事業所等の支援を受けることができた」が40.2%で最も多く、以下「相談支援専門員が丁寧に分かりやすく説明してくれた」が35.4%、「ニーズを適切に反映したサービスの提案を受けることができた」が33.6%、「サービス等利用計画の内容が具体的で分かりやすかった」が24.9%となっています。一方、「制度そのものが分かりにくかった」は18.3%となっています。

障害種別でみると、知的障害のある方では、「サービス等利用計画に沿った形でサービス提供事業所等の支援を受けることができた」と「サービス等利用計画の内容が具体的で分かりやすかった」が、他の障害のある方より多くなっています。

### ●全体



### ●障害種別

	調査数	ニーズを適切に反映したサービスの提案を受けることができた	サービス等利用計画に沿った形でサービス提供事業所等の支援を受けることができた	サービス等利用計画の内容が具体的で分かりやすかった	相談支援専門員が丁寧に分かりやすく説明してくれた	課題解決に向けて自分が取り組むべきことが明確になった	サービス等利用計画にニーズが適切に反映されなかった	サービス等利用計画の内容が分かりにくかった	相談支援専門員の説明が分かりにくかった	制度そのものが分かりにくかった	その他
全 体	229	77	92	57	81	19	12	14	8	42	19
	100.0	33.6	40.2	24.9	35.4	8.3	5.2	6.1	3.5	18.3	8.3
身体障害	134	48	53	31	45	9	6	8	5	24	13
	100.0	35.8	39.6	23.1	33.6	6.7	4.5	6.0	3.7	17.9	9.7
知的障害	96	36	44	33	36	7	6	5	2	15	6
	100.0	37.5	45.8	34.4	37.5	7.3	6.3	5.2	2.1	15.6	6.3
精神障害	43	12	12	9	16	6	3	5	2	8	5
	100.0	27.9	27.9	20.9	37.2	14.0	7.0	11.6	4.7	18.6	11.6
難病	46	17	23	12	18	1	1	1	1	7	3
	100.0	37.0	50.0	26.1	39.1	2.2	2.2	2.2	2.2	15.2	6.5
無回答	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
	100.0	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-

## (10) 福祉タクシー利用券・自動車燃料券の利用状況

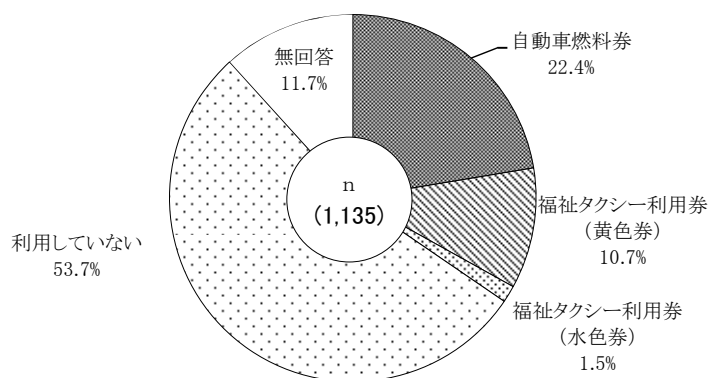
問 72 あなたは、福祉タクシー利用券や自動車燃料券を利用していますか。利用している方は、その種類（券の色）もお答えください。（〇は1つ）

全体では、福祉タクシー利用券・自動車燃料券の利用状況について「自動車燃料券」が 22.4%で最も多く、次いで「福祉タクシー利用券（黄色券）」が 10.7%となっています。

障害種別でみると、身体障害のある方、難病のある方では、「福祉タクシー利用券（黄色券）」が、他の障害より多くなっています。

身体障害の内容別でみると、視覚障害のある方、内部機能障害（免疫機能障害を含む）の方では、「福祉タクシー利用券（黄色券）」が、他の障害のある方に比べて多くなっています。また、内部機能障害（免疫機能障害を含む）の方では、「自動車燃料券」も多くなっています。

### ●全体



### ●障害種別

	調査数	福祉タクシー 利用券(黄色 券)	福祉タクシー 利用券(水色 券)	自動車燃料 券	利用してい ない	無回答
全 体	1135	121	17	254	610	133
	100.0	10.7	1.5	22.4	53.7	11.7
身体障害	772	112	17	200	347	96
	100.0	14.5	2.2	25.9	44.9	12.4
知的障害	226	14	—	65	123	24
	100.0	6.2	—	28.8	54.4	10.6
精神障害	231	12	—	15	179	25
	100.0	5.2	—	6.5	77.5	10.8
難病	224	34	5	67	95	23
	100.0	15.2	2.2	29.9	42.4	10.3
無回答	7	—	—	2	3	2
	100.0	—	—	28.6	42.9	28.6



## ●身体障害の種類別

	調査数	福祉タクシー 利用券(黄色 券)	福祉タクシー 利用券(水色 券)	自動車燃料 券	利用していな い	無回答
肢体不自由	357	42	14	80	176	45
	100.0	11.8	3.9	22.4	49.3	12.6
音声・言語・そしゃく 機能障害	37	4	1	9	18	5
	100.0	10.8	2.7	24.3	48.6	13.5
視覚障害	61	13	2	15	23	8
	100.0	21.3	3.3	24.6	37.7	13.1
聴覚・平衡機能障害	73	4	1	14	46	8
	100.0	5.5	1.4	19.2	63.0	11.0
内部機能障害 (免疫機能障害を含む)	274	52	-	100	93	29
	100.0	19.0	-	36.5	33.9	10.6
無回答	34	6	1	4	15	8
	100.0	17.6	2.9	11.8	44.1	23.5

### (11) 福祉タクシー利用券・自動車燃料券の主な使い道

問 73 【問 72 でいずれかの券を利用している（１～３番）と回答した方にお聞きします】

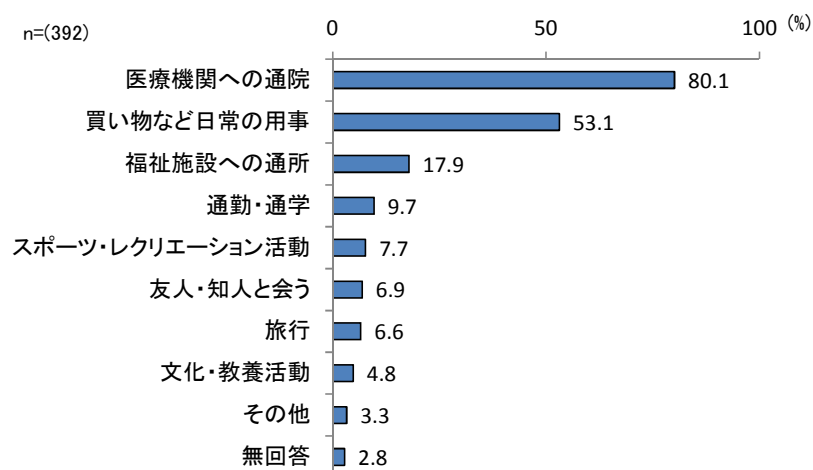
福祉タクシー利用券・自動車燃料券の主な使い道は何ですか。（〇はいくつでも）

全体では、「医療機関への通院」が 80.1%で最も多く、次いで「買い物など日常の用事」が 53.1%となっています。

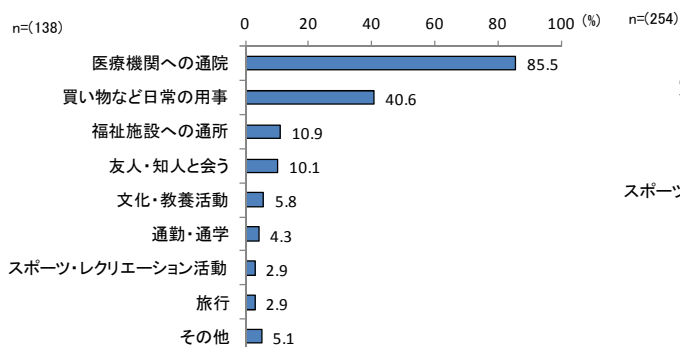
福祉タクシー利用券と自動車燃料券の比較でみると、両者とも「医療機関への通院」、「買い物など日常の用事」、「福祉施設への通所」の順で多くなっています。福祉タクシーでは「医療機関への通院」が８割を超えているのに対して、自動車燃料券は「買い物など日常の用事」や「福祉施設への通所」も比較的多くなっています。

障害種別でみると、身体障害のある方、精神障害のある方、難病のある方では「医療機関への通院」が、知的障害のある方より多くなっています。一方、知的障害のある方では「福祉施設への通所」と「スポーツ・レクリエーション活動」が、他の障害のある方より多くなっています。

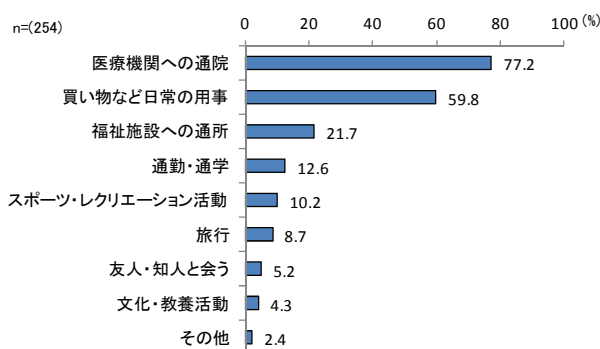
## ●全体



## A. 福祉タクシー利用券の主な使い道



## B. 自動車燃料券の主な使い道



## ●障害種別

### A. 福祉タクシー利用券の主な使い道

	調査数	通勤・通学	福祉施設への通所	医療機関への通院	買い物など日常の用事	文化・教養活動	スポーツ・レクリエーション活動	旅行	友人・知人と会う	その他
全 体	138	6	15	118	56	8	4	4	14	7
	100.0	4.3	10.9	85.5	40.6	5.8	2.9	2.9	10.1	5.1
身体障害	129	4	13	112	52	6	1	1	9	7
	100.0	3.1	10.1	86.8	40.3	4.7	0.8	0.8	7.0	5.4
知的障害	14	2	4	9	6	2	2	3	3	1
	100.0	14.3	28.6	64.3	42.9	14.3	14.3	21.4	21.4	7.1
精神障害	21	1	3	18	11	1	2	1	2	1
	100.0	4.8	14.3	85.7	52.4	4.8	9.5	4.8	9.5	4.8
難病	64	4	7	56	28	3	1	2	2	3
	100.0	6.3	10.9	87.5	43.8	4.7	1.6	3.1	3.1	4.7

### B. 自動車燃料券の主な使い道

	調査数	通勤・通学	福祉施設への通所	医療機関への通院	買い物など日常の用事	文化・教養活動	スポーツ・レクリエーション活動	旅行	友人・知人と会う	その他
全 体	254	32	55	196	152	11	26	22	13	6
	100.0	12.6	21.7	77.2	59.8	4.3	10.2	8.7	5.2	2.4
身体障害	200	24	24	160	118	9	13	12	15	6
	100.0	12.0	12.0	80.0	59.0	4.5	6.5	6.0	7.5	3.0
知的障害	65	12	37	45	37	4	18	11	3	0
	100.0	18.5	56.9	69.2	56.9	6.2	27.7	16.9	4.6	0.0
精神障害	6	0	2	5	6	0	0	0	1	0
	100.0	0.0	33.3	83.3	100.0	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0
難病	42	2	6	37	24	2	2	4	3	0
	100.0	4.8	14.3	88.1	57.1	4.8	4.8	9.5	7.1	0.0

## (12) 自動車燃料券を選ぶ理由

問 74 【問 72 で自動車燃料券を利用している（3 番）と回答した方にお聞きします。】  
福祉タクシー利用券ではなく、自動車燃料券を選んでいる理由は何ですか。  
（〇は 1 つ）

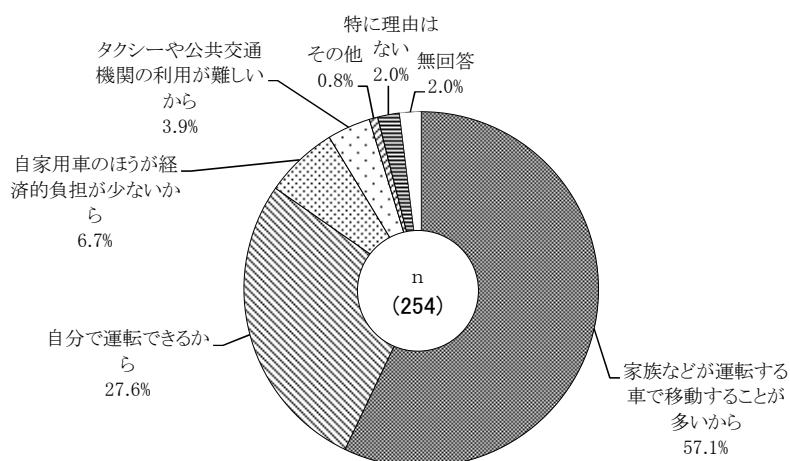
全体では、「家族などが運転する車で移動することが多いから」が 57.1% で最も多く、次いで「自分で運転できるから」が 27.6% となっています。

障害種別でみると、身体障害のある方、難病のある方では、「自分で運転できるから」が、他の障害のある方より多くなっています。一方、知的障害のある方では、「家族などが運転する車で移動することが多いから」が多くなっています。

身体障害の内容別でみると、肢体不自由の方、音声・言語・そしゃく障害のある方では「家族などが運転する車で移動することが多いから」が、他の方よりも多くなっています。

一方、内部機能障害（免疫性機能障害を含む）の方では「自分で運転できるから」が多くなっています。

### ●全体



### ●障害種別

	調査数	自分で運転できるから	家族などが運転する車で移動することが多いから	タクシーや公共交通機関の利用が難しいから	自家用車のほうが経済的負担が少ないから	特に理由は	その他	無回答
全 体	254	70	145	10	17	5	2	5
	100.0	27.6	57.1	3.9	6.7	2.0	0.8	2.0
身体障害	200	68	101	8	13	4	2	4
	100.0	34.0	50.5	4.0	6.5	2.0	1.0	2.0
知的障害	65	1	58	2	3	-	-	1
	100.0	1.5	89.2	3.1	4.6	-	-	1.5
精神障害	15	3	9	-	2	-	-	1
	100.0	20.0	60.0	-	13.3	-	-	6.7
難病	67	22	36	4	2	1	1	1
	100.0	32.8	53.7	6.0	3.0	1.5	1.5	1.5
無回答	2	1	-	-	-	1	-	-
	100.0	50.0	-	-	-	50.0	-	-

## ●身体障害の種類別

	調査数	自分で運転 できるから	家族などが 運転する車 で移動するこ とが多いから	タクシーや公 共交通機関 の利用が難 しいから	自家用車の ほうが経済 的負担が少 ないから	特に理由は ない	その他	無回答
肢体不自由	80	15	56	4	1	1	1	2
	100.0	18.8	70.0	5.0	1.3	1.3	1.3	2.5
音声・言語・そしゃく	9	－	6	2	1	－	－	－
機能障害	100.0	－	66.7	22.2	11.1	－	－	－
視覚障害	15	1	8	4	1	－	1	－
	100.0	6.7	53.3	26.7	6.7	－	6.7	－
聴覚・平衡機能障害	14	2	8	－	3	1	－	－
	100.0	14.3	57.1	－	21.4	7.1	－	－
内部機能障害	100	50	38	1	8	2	－	1
(免疫機能障害を含む)	100.0	50.0	38.0	1.0	8.0	2.0	－	1.0
無回答	4	－	3	－	－	－	－	1
	100.0	－	75.0	－	－	－	－	25.0

## 12. 収入や利用者負担について

### (1) 主な収入源

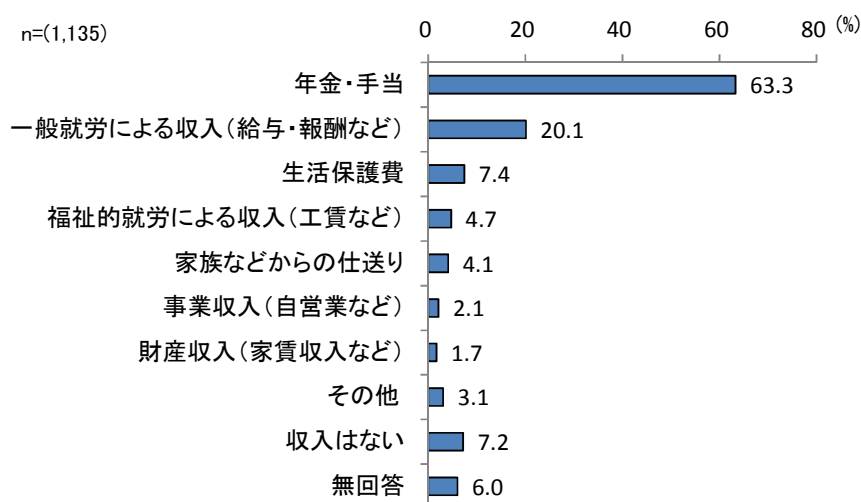
問 75 あなたご本人の主な収入源をお答えください。

(最も金額の多い収入源にひとつだけ○)

全体では、「年金・手当」が63.3%で最も多く、次いで「一般就労による収入（給与・報酬など）」が20.1%となっています。

障害種別でみると、知的障害のある方、精神障害のある方では「一般就労による収入（給与・報酬）」が、他の障害のある方より多くなっています。

#### ●全体



#### ●障害種別

	調査数	一般就労による収入(給与・報酬など)	福祉的就労による収入(工賃など)	事業収入(自営業など)	財産収入(家賃収入など)	年金・手当	生活保護費	家族などからの仕送り	収入はない	その他	無回答
全 体	1135	228	53	24	19	718	84	47	82	35	68
	100.0	20.1	4.7	2.1	1.7	63.3	7.4	4.1	7.2	3.1	6.0
身体障害	772	116	10	20	16	551	46	24	36	20	52
	100.0	15.0	1.3	2.6	2.1	71.4	6.0	3.1	4.7	2.6	6.7
知的障害	226	61	48	1	2	140	14	15	16	4	11
	100.0	27.0	21.2	0.4	0.9	61.9	6.2	6.6	7.1	1.8	4.9
精神障害	231	64	7	3	2	91	35	13	37	11	12
	100.0	27.7	3.0	1.3	0.9	39.4	15.2	5.6	16.0	4.8	5.2
難病	224	37	9	3	4	136	22	9	16	7	17
	100.0	16.5	4.0	1.3	1.8	60.7	9.8	4.0	7.1	3.1	7.6
無回答	7	-	1	-	-	3	3	-	1	-	-
	100.0	-	14.3	-	-	42.9	42.9	-	14.3	-	-

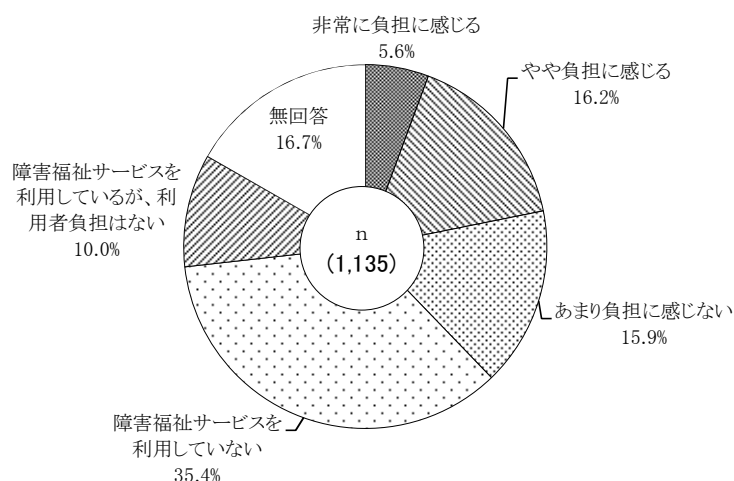
## (2) 障害福祉サービスの利用者負担の負担感

問 76 あなた（や保護者の方）は、障害福祉サービスの利用者負担について、どのように感じていますか。（〇は1つ）

全体では「非常に負担に感じる」が5.6%、「やや負担に感じる」が16.2%となっています。一方、「あまり負担に感じない」が15.9%、「障害福祉サービスを利用しているが、利用者負担はない」が10.0%となっています。

障害種別でみると、知的障害のある方では、「あまり負担に感じない」が、他の障害のある方より多くなっています。

### ●全体



### ●障害種別

	調査数	非常に負担に感じる	やや負担に感じる	あまり負担に感じない	障害福祉サービスを利用していない	障害福祉サービスを利用しているが、利用者負担はない	無回答
全 体	1135	64	184	181	402	114	190
	100.0	5.6	16.2	15.9	35.4	10.0	16.7
身体障害	772	50	119	121	265	68	149
	100.0	6.5	15.4	15.7	34.3	8.8	19.3
知的障害	226	12	43	53	61	38	19
	100.0	5.3	19.0	23.5	27.0	16.8	8.4
精神障害	231	10	45	27	95	22	32
	100.0	4.3	19.5	11.7	41.1	9.5	13.9
難病	224	14	41	39	71	30	29
	100.0	6.3	18.3	17.4	31.7	13.4	12.9
無回答	7	—	2	1	1	1	2
	100.0	—	28.6	14.3	14.3	14.3	28.6

### 13. 市の障害者施策について

#### (1) 市の障害者施策についての満足度

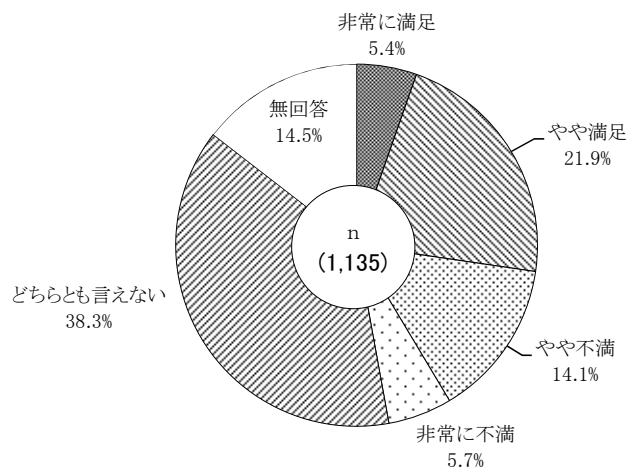
問 77 あなた（や保護者・ご家族の方）は、市の障害者施策について、どのように感じていますか。（○は1つ）

全体では、「非常に満足」が5.4%、「やや満足」が21.9%となっています。

一方、「やや不満」は14.1%、「非常に不満」は5.7%となっています。

障害種別でみると、知的障害のある方、精神障害のある方では、「やや不満」が、身体障害のある方より多くなっています。

#### ●全体



#### ●障害種別

	調査数	非常に満足	やや満足	やや不満	非常に不満	どちらとも言えない	無回答
全 体	1135	61	249	160	65	435	165
	100.0	5.4	21.9	14.1	5.7	38.3	14.5
身体障害	772	43	170	91	47	286	135
	100.0	5.6	22.0	11.8	6.1	37.0	17.5
知的障害	226	11	58	47	12	81	17
	100.0	4.9	25.7	20.8	5.3	35.8	7.5
精神障害	231	11	44	43	15	99	19
	100.0	4.8	19.0	18.6	6.5	42.9	8.2
難病	224	14	52	35	12	81	30
	100.0	6.3	23.2	15.6	5.4	36.2	13.4
無回答	7	-	1	-	1	3	2
	100.0	-	14.3	-	14.3	42.9	28.6

## 14. 自由意見

問 78 障害福祉に関するご意見やご要望、今後利用したい福祉サービスなどありましたら、ご自由にお書きください。（自由記述）

全部で 281 件の意見がありました。

	分 類	件数	%
1	福祉サービス	81	28.8
2	医療・健康	9	3.2
3	生活環境	35	12.5
4	雇用・労働	7	2.5
5	将来について	22	7.8
6	経済事情・経済的支援	14	5.0
7	行政・制度	64	22.8
8	その他	49	17.4

計 281 100

◆意見の概要 ※紙幅の都合により、内容を要約・抜粋している場合があります。

### 1. 福祉サービス

意見	障害の種類	年代	性別	回答者
短期入所の施設がすくないと思う。いざと言う時に使えない。2～3ヶ月前に予約しないとつかえない。車イスでつかえる所があまりない。	身体障害 知的障害	20代	男性	本人
居住系サービスの施設に、将来必要になった時にすぐに入居、入所出来るようにして欲しいと思います。	身体障害	70代	男性	家族
病院がやや遠いのでいつもタクシーを利用していますが、障害者手帳は1割引なのでなんとか半額位になれば良いと思っています。	身体障害	70代	女性	本人
病院に行くのにモノレールやバスでかよっても途中で歩く事になるのでそれが大変なのでタクシー券みたいなものがもらえるならたすかと思っています。	身体障害 精神障害 自立支援医療	70代	男性	不明
もっと障害福祉サービスにこれからも力を入れてほしいと思います。これからもこの様な意向調査をアンケートにより実施していただき、障害について悩んでいる多くの人のために早急に対応してほしい。	身体障害	80代	男性	本人
高齢老人介護に重点してお金をあてているため、本当の障害者（精神、身体、知的）に対しては、援助が足りない。あまりにもバランスが悪く本当の福祉サービスの形が成り立っていない。	精神障害 自立支援医療	40代	男性	不明
精神的な病気は外からわからないので、辛い時が多々ある。今は無理だが、いつか働けるようになりたい。そんな時に役立つ情報、教育を受けたい。	自立支援医療	50代	女性	本人
持家のため一人暮らしをして居ります。長男は八千代市に住み同居してませんので福祉タクシー、自動車燃料券、車いす等毎週介護に自費で通ってきます（土・日曜）。福祉タクシー手続分かりませんので、自費でタクシーで病院（月～金）へ通院、買物等出費大変です。平成20年身障3級認定され、現在歩行困難で体力も落ちヘルパーさんも食事、洗濯、掃除機以外、雑用はお願いできず、お願い出来る範囲を（自費で併せて）少し広げて頂けたらと存じますが、それが精神安定に繋がりたいです。	身体障害	80代	女性	本人



意見	障害の種類	年代	性別	回答者
千葉市は成人向けの短期入所の受け入れる施設が非常に少ない為、緊急時に利用したい時に満員で受け入れが出来ない状態がずっと続いている。いつになったら、この問題に着手して頂けるのでしょうか？介助者は高齢化になり、問題解決が急務である。	知的障害	10代	男性	家族
障害福祉支援、ありがとうございます。お願いがあります。「心身障害者(児)医療費助成受給券」の医療機関への提示制度をやめて、以前に戻していただきたいのです。給付のための手数料は差し引くことになって希望したいです。今後ともよろしく願います。追記 自動車燃料券でのガソリンですが、掛け売りとはいえ、現金購入にくらべてこんなに割高になるのかなと思っています。	身体障害	80代	男性	本人
自動車燃料券はありがたいが、スタンドをさがすのが大変(利用できていた所がなくなったり、取扱いをやめたりして、現在は1カ所しかわからない。市に確認してもよくわからないようだ)使いきっている人は少ないんじゃないかと思う。悪用という事もあるだろうが、多くのスタンドを利用できるようなプリペイドカード等にしてくれると助かる。	身体障害	50代	男性	不明
居宅介護サービスの時間数にできるかぎり制限を付けないでほしい。毎日お風呂に入りたいし、急ぎトイレを頼みたいときに時間数を気にしないといけないのは辛い。	身体障害	20代	男性	本人

## 2. 医療・健康

意見	障害の種類	年代	性別	回答者
リハビリ(筋力向上など)で生活に支障を少なくする様、市の福祉施設に通っていたが、中途半端な内容で、施設の都合で休止が多く短期で退所になり、継続的なケアを希望する。また、介護保険の活用か、医療費の助成(医療行為)か、線引きがわかりづらい。	身体障害	60代	男性	本人
医療費が高いため、通院等外出時(特に車中で)、母親のみでは介助が困難な時が多い中、通院等しています。公共機関の利用はむずかしいため、訪問看護師さんの同行を希望します。ぜひ、市の方での費用の援助をお願いしたいです。	身体障害	20代	男性	家族
毎月の医療費が経済的負担になっています。医療費補助の拡大をして欲しい。	身体障害	40代	男性	本人

## 3. 生活環境

意見	障害の種類	年代	性別	回答者
“障害者に対しての気配りがなさすぎる。”と父の介護をしていた時に感じました。車イスで電車に乗ったときにわざと頭をグイグイ押ししたり、聞こえるように「ジャマなんだよな～」と言ってきたり、障害者の人達が生活しやすい環境ではないと感じました。もっと障害者の人達の声を聞いて改善すべき点だと思います。	自立支援医療	30代	女性	本人
障害者で低所得(非課税)世帯に市営住宅を沢山作って下さい。お願い致します！！	精神障害 自立支援医療	60代	女性	本人
私は身体障害者ですが、電車の優先席で若い人が下を向いてスマホであそんでいて、まあ席をゆずってくれる気はないのであきらめています。それと駅などのエスカレーターは関西では右側に立つのに関東ですと左側です。左マヒの私はいつも遠いエレベーターまであるきます。只一人右側に立っていて後ろで舌うちされた事もあります。	身体障害	70代	男性	本人
駅前や施設の周辺で点字ブロックが自転車や店に並ぶ人達でふさがれている事がある。何とかできないか。	身体障害	60代	女性	本人
公共の施設のトイレをもっと使いやすくした方が良いと思います。トイレが心配で外出しない人も多いです。	自立支援医療	20代	女性	本人
障害者スポーツの種類を限定して(車いすラグビー、車いすバスケットボール)支援するのはいかなものでしょうか。他にも競技はあるのに、なかなか目を向けてもらえないのは残念です。せっかくパラリンピックで障害者のスポーツに目が向けられてきたのに…というところでは。利用できる施設の拡充を期待します。	身体障害	60代	男性	本人
道路を故意に道幅を狭くしています。今のままでは救急車、消防車も通りません。幅はせまく、ジャリ道です。今後、通所やデイケアも使えません。なんとかしてください。お願いします。	身体障害	40代	男性	本人

## 4. 雇用・労働

意見	障害の種類	年代	性別	回答者
自立支援しか受けられない程度の障害を持つ者が働ける所が少なく、非常に困っている。また、緑区には企業が少なく、金銭的にゆゆうがない者にとって、長時間の移動や朝が苦手な者にとって、就労が非常に難しく感じられる。とにかく、就労するにもなかなか就労しにくいと感じることが多い。就労した後の自分をイメージできない事も1つの要因であるのではないかと考えられる。	自立支援医療	20代	女性	不明

意見	障害の種類	年代	性別	回答者
企業側の障害者に対する理解や対策が不十分な気がします。前職では、大きな負担をかかえながら普通のと同じ仕事内容を求められ、辞めたあとトラウマになって残り、今でも人にものを教えてもらうとものすごくきんちょうします。企業で働く人たち(健常者)に、少しでも障害者の気持ちやおかれている状況を理解してほしいです。	精神障害	30代	女性	本人
企業で働く事はもう無理とあきらめています。精神障害があり、人にみられると不安になり、勝手に家に帰ってしまう行動は直りません。その為、就労はできていません。本人に働きたいという思いがあっても、できない現実のカベは大きいです。親なき後の生活が一番心配です。安心して暮らせていける保障があれば…本気になって考えてほしいです。	知的障害	30代	男性	家族

## 5. 将来について

意見	障害の種類	年代	性別	回答者
将来親なき後一人で生活出来ないのでは不安を感じている。親の健康に十分気を配り乍ら、介護が出来る限り努めるつもりで毎日明るく前向きに障害者からも力をもらってお互いに頑張っている。	身体障害 知的障害	50代	女性	家族
親は自分が死んだあとの子どもの幸せな生活を望むのみです。子どもの財産・幸せに生きる権利が守られる社会を望みます。	知的障害 自立支援医療	20代	女性	家族
腰、ひざが悪く歩く事が苦痛ですが、これ以上悪くならない様に通所リハビリをしていますが、年齢と共に不安になります。	身体障害	80代	女性	不明
自立支援医療を受けている3才の息子を介護していますが、将来私達夫婦の亡き後が心配です。	知的障害 精神障害	40代	男性	家族
在宅酸素、車いす利用の生活ですが、現在デイサービスを週2回利用、機械入浴をしています。私も介助者の妻も80才と79才で老々生活です。妻が何とか元気で生活全般を見てくれていて余り先の事は考えてない。	身体障害	80代	男性	不明
自分の体が自分の考える様な動きが出来なくなった時、援助、支援が必ず受けることができることをお願いします。	身体障害	70代	男性	本人

## 6. 経済事情・経済的支援

意見	障害の種類	年代	性別	回答者
とにかく将来お金の面でこまるのではないかと心配です。今の家は20数年前となりの家のもらい火で火事にあい、父が退職金を出して建てたもので家の中の家電やガス器具のお金に自分の年金も利用しているもので。	精神障害 自立支援医療	40代	男性	本人
障害者手当が減ってしまい、更に症状が変わらないのにも関わらず、障害者年金がなくなってしまった。生活は厳しく家族の収入のみに頼っている状態です。何か状況を良くして頂くと嬉しいです。	身体障害	20代	男性	本人
助成が年々なくなったり、減額されたりで先々不安です。	身体障害	60代	男性	本人
経済的支援制度の充実をお願いしたい。	身体障害	90代	女性	家族
何でもお金がかかるので、経済的負担がとても心配です。サービスの利用を我慢してしまい、症状が悪化することも心配です。家族の中でも理解されないこともあったり、又、相談したくても(病気のために)気力が落ちてしまい、なかなかできなかったりします。	精神障害 自立支援医療	50代	女性	不明
年金受給者の負担が多い。低額者への配慮が特に必要。今の社会環境では無理に長生きしたくない。低額者は早く死ねとは思えない。先々に不安だらけで日々暮らして居る。	身体障害	70代	男性	本人

## 7. 行政・制度

意見	障害の種類	年代	性別	回答者
生活介護施設に通所している19才の息子がおります。施設の方々(スタッフ)は、細心の注意を払い、懸命に毎日利用者さんたちの支援に追われています。本当によく面倒を見ていただき、おかげさまで息子は毎日楽しく通っていますが、支援計画や計画相談、その他様々な行事を企画したり、利用者さんの日常的な直接の支援以外のことも多く、ぎりぎりの所でやっているように思えて、相談をもちかけるのもためらうほどです。相談事業所の予約は数ヵ月先と聞きます。新人さんが入っても3ヵ月もたつと、ポロポロと辞めていく人もいます。やはりこれだけ世の中のニーズが多様化しているのですから一人一人違う障害者はおのこと、人が増えてくれることを願います。ただし、人だけでなく“内容のある”人が増えてほしいです。	知的障害	10代	男性	家族

意見	障害の種類	年代	性別	回答者
役所の担当者ですが、常に上から目線で話す。困って相談に伺っているのに規則ばかりで話しが進むどころか一向に前向きにならず、やなことばかり。現実的に困っているのに冷ややかな物言い。結局何も良くなりません！※良い担当者はなかなかいません。	身体障害	70代	女性	不明
6年前に身障手帳の交付を受けた際に等級に見合ったサービス等の説明を受け冊子を頂いたが、それ以来申請書の提出通知が年2回文書でくるだけで、全く市からの働きかけがない。人手が足りないことは十分承知していますが(昔、似た仕事をしていたので)偉そうに福祉施策とまでは言いませんが、せめてサービス状況等参考となる情報を得る手段が欲しい。今回のアンケート調査は、どこまで回答すべきなのか苦慮しました。(答えるべきなのかどうか、特に問63以降の回答欄Bが答えるべき対象なのかよくわからなかった)専門用語の説明はあるものの何を聞きたいのかとまどった。(特に問61, 62)障害の種類・程度は個々異なり生活環境も異なることから、相談体制の周知をお願いしたい。	身体障害	60代	男性	本人
「福祉案内しおり」や「ちば市民便利帳」にはFAX番号記載が乏しいです。政令都市のわりに中身は上記の通り、障がい者に対する対応は不十分だと1番感じます。筆談が苦痛な聴覚障がい者は沢山あります。市職員の対応によって、サービスの利用はする気になるか、なれないかの分かれ目になると思います。	身体障害 自立支援医療	40代	女性	本人
現在、産休・育児休業に入っています。エンゼルヘルパーや保育園などの手続きで困ったことがありました。①連絡先は電話番号のみでした。耳が聞こえないので、電話対応ができかねます。ファックスかメールアドレスを書いてあれば有り難いです。②エンゼルヘルパーは耳が聞こえない人でも大丈夫なのかわかりかねます。エンゼルヘルパーを利用する前に、耳が聞こえなくても大丈夫かと確認する手間が発生します。資料に「手話か筆談対応は可能」の情報を書いてあれば、有り難いです。	身体障害	30代	女性	本人
障害と言っても、目に見えるもの、見えないものがあります。私は内部なので、はた目にはわかりません。自分からそれを言うことはないの、知らない人の方が周りには多いです。それで困った事はありませんが、経済情勢や予算の上で、充実の反対の方向に行くのは困ります。色々な人が安心してらせる市である事が、これからの市の生(行)き方であって欲しいと思います。	身体障害	62代	女性	本人

## 8. その他

意見	障害の種類	年代	性別	回答者
手帳をいただいたことを、あらためて自覚しました。自分のことにとらわれすぎて、社会との関わりを閉ざす生活スタイルになっています。少しずつですが、周りに目が行くようになりました。『何か出来ることあるかなー』と考え出すチャンスになりました。どなたもが、その人なりに幸せに生きられますよう、良い千葉市を作ってくださいませ。ありがとうございました。	身体障害	60代	女性	本人
二人家族で暮しています。息子も精神障害2級です。私は、甲状腺低下症とうつ病、網膜色素変性症で、人にも会いたくない、一人で家にいたいのですが、息子の行動に左右されます。どうしても食事の仕度が出来なくて、毎日夕食は揚げ物などや弁当ですましています。このままではいけないと思いつつ、どうして良いかわかりません。病院通いばかりで、何の為に生きているのか考えることがよくあります。障害者が二人での生活は思った以上に苦しいことがあります。現在看護師さんに週3回入ってもらっていますが、それも苦痛になってきてます。	身体障害 自立支援医療	70代	女性	本人
家族と生活しています。介助、移動、同行など家族が助けてくれていましたが、自立を考えています。障害福祉についてもっと勉強したいと思います。	身体障害	40代	女性	本人
現在は不自由なく自立した生活ができていますので困ってはいませんが、娘家族が転勤で千葉を離れると少し不安はでてくるとは思いますが、安全第一で生活していきたいです。水色タクシー券のことは知りませんでした。今の世の中、障害をもっている勇気をだして外出していかないと、毎日の生活がスムーズにいかなくなります。気持ちを強くもっていかないと生きていけません。	身体障害	60代	女性	本人



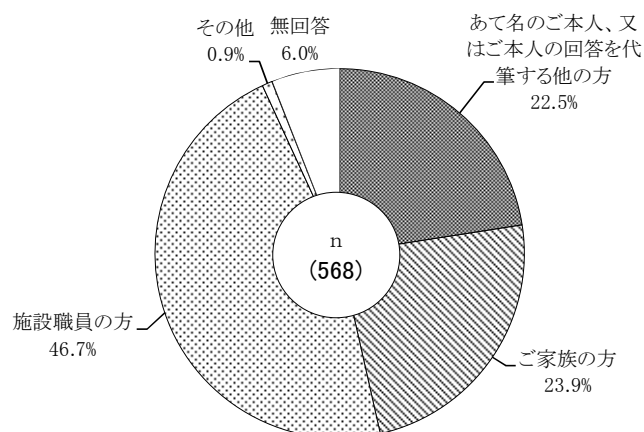
## **Ⅱ 施設に入所している方を対象とした調査**



問 この調査票でご回答いただくのはどなたですか。（〇は1つ）

「施設職員の方」が46.7%で最も多くなっています。

## ●全体



## ●障害種別

	調査数	あて名のご本人、又はご本人の回答を代筆する他の方	ご家族の方	施設職員の方	その他	無回答
全 体	568	128	136	265	5	34
	100.0	22.5	23.9	46.7	0.9	6.0
身体障害	246	92	36	105	-	13
	100.0	37.4	14.6	42.7	-	5.3
知的障害	409	39	127	211	4	28
	100.0	9.5	31.1	51.6	1.0	6.8
精神障害	34	8	5	19	1	1
	100.0	23.5	14.7	55.9	2.9	2.9
難病	43	8	19	14	2	-
	100.0	18.6	44.2	32.6	4.7	-
無回答	12	5	-	7	-	-
	100.0	41.7	-	58.3	-	-

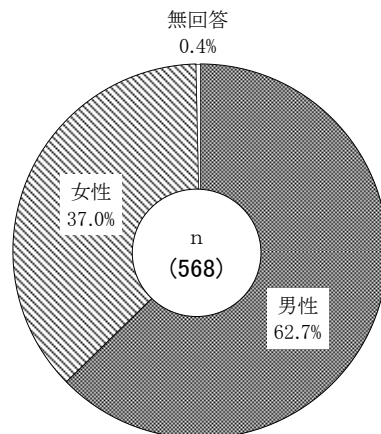
## 1. 本人について

### (1) 性別

問1 あなたの性別をおたずねします。(○は1つ)

「男性」が62.7%、「女性」が37.0%となっています。

#### ●全体



#### ●障害種別

	調査数	男性	女性	無回答
全 体	568	356	210	2
	100.0	62.7	37.0	0.4
身体障害	246	135	109	2
	100.0	54.9	44.3	0.8
知的障害	409	269	139	1
	100.0	65.8	34.0	0.2
精神障害	34	16	18	—
	100.0	47.1	52.9	—
難病	43	30	13	—
	100.0	69.8	30.2	—
無回答	12	2	10	—
	100.0	16.7	83.3	—



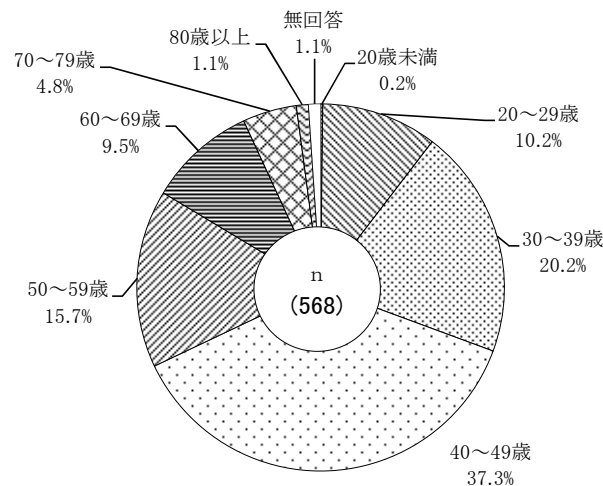
## (2) 年齢

問2 あなたの年齢について、平成29年1月1日現在の年齢をご記入ください。

全体では、「40～49歳」が37.3%で最も多く、以下「30～39歳」が20.2%、「50～59歳」が15.7%となっています。

障害種別でみると、いずれの障害のある方でも、「40～49歳」が多くなっています。

### ●全体



### ●障害種別

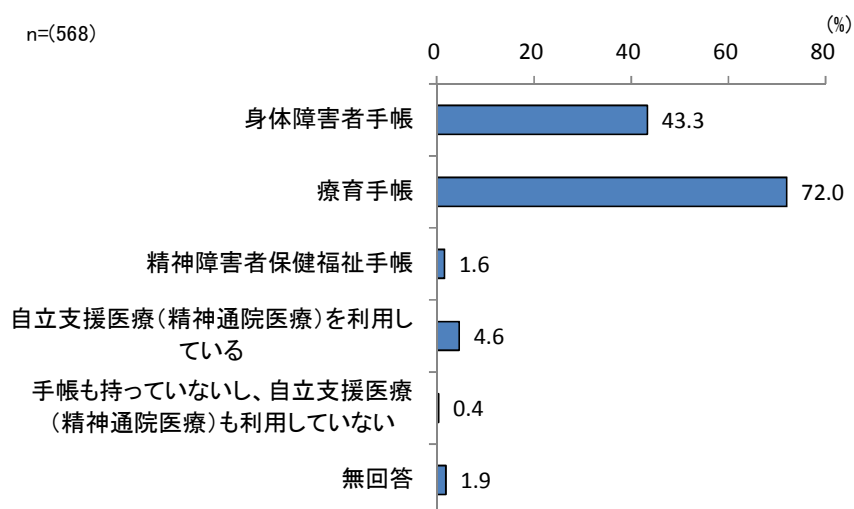
	調査数	20歳未満	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	無回答	平均(歳)
全 体	568 100.0	1 0.2	58 10.2	115 20.2	212 37.3	89 15.7	54 9.5	27 4.8	6 1.1	6 1.1	45.6
身体障害	246 100.0	1 0.4	15 6.1	45 18.3	84 34.1	47 19.1	31 12.6	15 6.1	3 1.2	5 2.0	48.0
知的障害	409 100.0	1 0.2	53 13.0	95 23.2	157 38.4	57 13.9	27 6.6	15 3.7	3 0.7	1 0.2	43.5
精神障害	34 100.0	－	2 5.9	8 23.5	11 32.4	6 17.6	6 17.6	1 2.9	－	－	46.6
難病	43 100.0	－	2 4.7	9 20.9	15 34.9	11 25.6	4 9.3	2 4.7	－	－	46.9
無回答	12 100.0	－	1 8.3	1 8.3	3 25.0	3 25.0	2 16.7	1 8.3	－	1 8.3	51.8

### (3) 障害の種別

問3 あなたがお持ちの手帳の種類と等級、自立支援医療（精神通院医療）の利用をおたずねします。（〇はいくつでも。手帳をお持ちの方は、カッコ内の等級（程度）にも〇印をつけてください。）

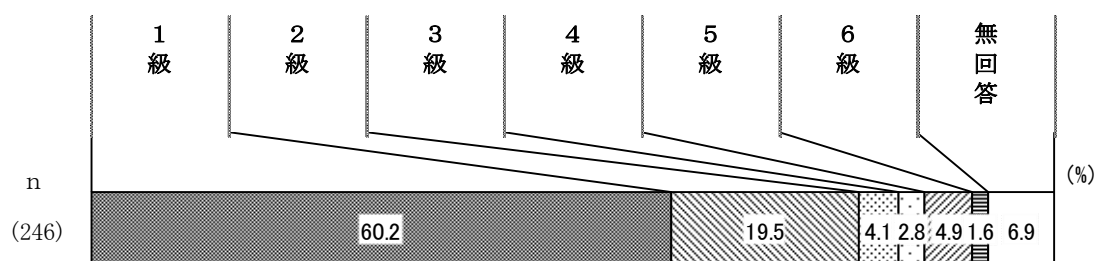
「療育手帳」が72.0%で最も多く、以下「身体障害者手帳」が43.3%、「自立支援医療(精神通院医療)を利用している」が4.6%、「精神障害者保健福祉手帳」が1.6%となっています。

#### ●全体



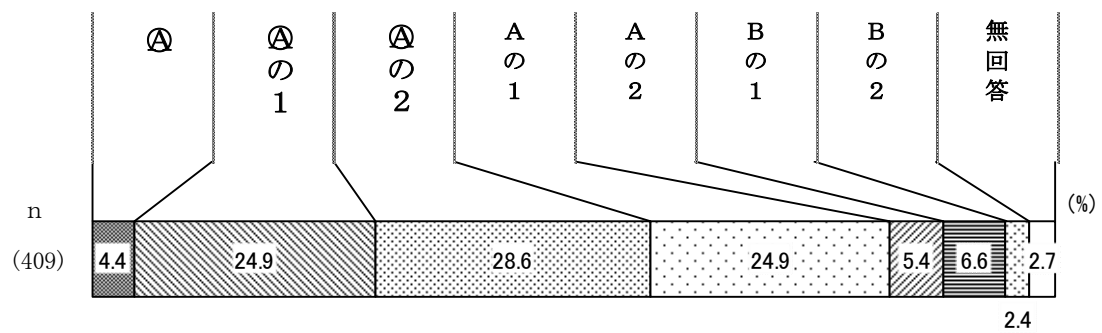
#### ①身体障害者手帳の等級

身体障害者手帳の等級では、「1 級」が60.2%で最も多く、次いで「2 級」が19.5%となっています。



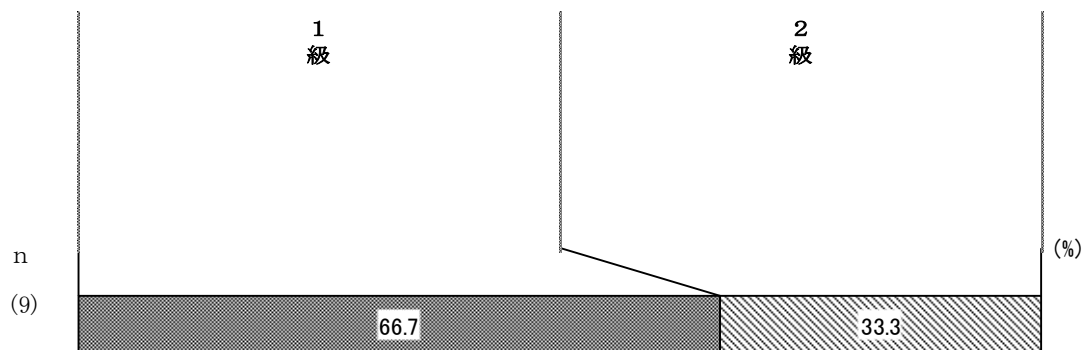
## ② 療育手帳の程度

療育手帳の程度では、「㊤の2」が 28.6%で最も多く、次いで「㊤の1」と「Aの1」が 24.9%となっています。



## ③精神障害者保健福祉手帳の等級

精神障害者保健福祉手帳の等級では、「1級」が 66.7%で最も多くなっています。

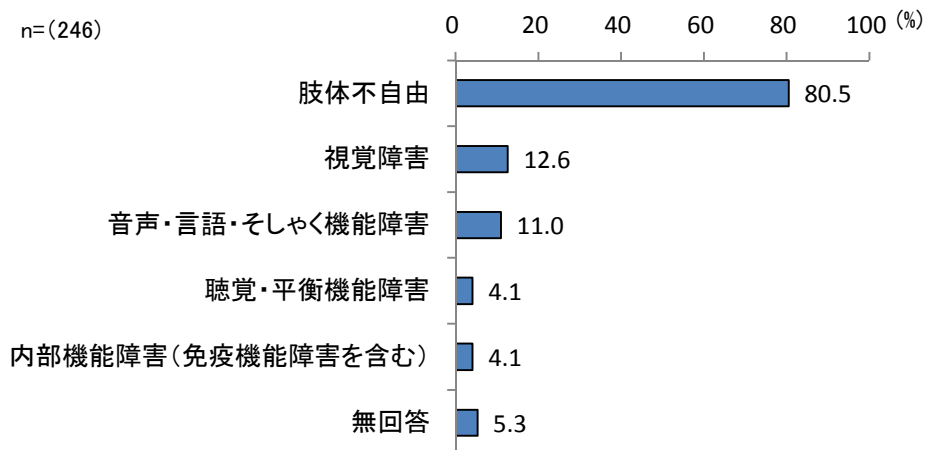


#### (4) 身体障害の部位

問4 身体障害者手帳をお持ちの方におたずねします。障害の種類は何ですか。(〇はいくつでも)

「肢体不自由」が80.5%で最も多く、次いで「視覚障害」が12.6%となっています。

#### ●全体



#### (5) 難病の種類

問5 難病に罹患している方におたずねします。あなたの難病の種類は何ですか。

#### ●国指定の難病の内訳

病名	人数
ダウン症候群	16
結節性硬化症	2
パーキンソン病	2
片側痙攣・片麻痺・てんかん症候群	2
レノックス・ガストー症候群	2
IgA腎症	1
筋ジストロフィー	1
後縦靱帯骨化症	1
脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く)	1
もやもや病	1
合計	29

## 2. 医療機関への受診状況について

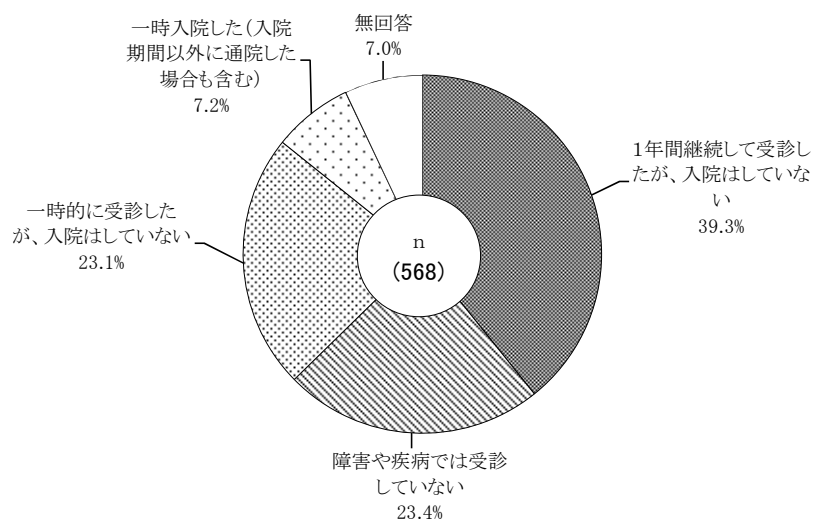
### (1) 医療機関の受診状況

問 6 あなたは最近 1 年間に、障害や疾病が原因で医療機関を受診しましたか。(○は 1 つ)

全体では、「1 年間継続して受診したが、入院はしていない」が 39.3%で最も多く、次いで「障害や疾病では受診していない」が 23.4%となっています。

障害種別でみると、いずれの障害のある方でも、「1 年間継続して受診したが、入院はしていない」が多くなっています。

#### ●全体



#### ●障害種別

	調査数	障害や疾病では受診していない	一時的に受診したが、入院はしていない	1年間継続して受診したが、入院はしていない	一時入院した(入院期間以外に通院した場合も含む)	1年間継続して入院していた	無回答
全 体	568	133	131	223	41	—	40
	100.0	23.4	23.1	39.3	7.2	—	7.0
身体障害	246	63	68	76	24	—	15
	100.0	25.6	27.6	30.9	9.8	—	6.1
知的障害	409	89	84	181	24	—	31
	100.0	21.8	20.5	44.3	5.9	—	7.6
精神障害	34	7	2	21	3	—	1
	100.0	20.6	5.9	61.8	8.8	—	2.9
難病	43	8	11	20	2	—	2
	100.0	18.6	25.6	46.5	4.7	—	4.7
無回答	12	6	2	2	1	—	1
	100.0	50.0	16.7	16.7	8.3	—	8.3

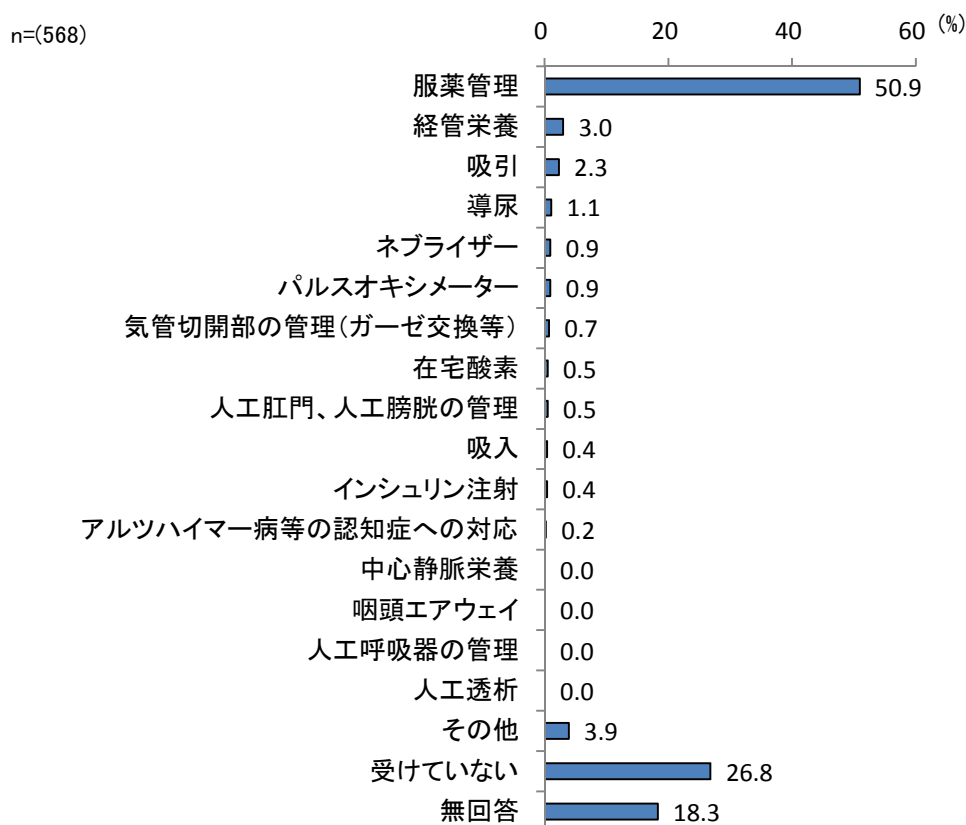
## (2) 医療的ケアの種類

問7 あなたが現在受けている医療的ケアの種類をおたずねします。(〇はいくつでも)

「服薬管理」が50.9%で最も多くなっています。

障害種別でも、いずれの障害のある方でも、「服薬管理」が多くなっています。

### ●全体



## ●障害種別

	調査数	吸引	吸入	経管栄養	中心静脈栄養	導尿	在宅酸素	ネブライザー	咽頭エアウェイ	パルスオキシメーター	気管切開部の管理(ガーゼ交換等)
全 体	568 100.0	13 2.3	2 0.4	17 3.0	－ －	6 1.1	3 0.5	5 0.9	－ －	5 0.9	4 0.7
身体障害	246 100.0	13 5.3	2 0.8	17 6.9	－ －	6 2.4	2 0.8	3 1.2	－ －	5 2.0	4 1.6
知的障害	409 100.0	3 0.7	1 0.2	6 1.5	－ －	1 0.2	1 0.2	1 0.2	－ －	2 0.5	－ －
精神障害	34 100.0	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	1 2.9	－ －
難病	43 100.0	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －
無回答	12 100.0	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	1 8.3	－ －	－ －	－ －

	調査数	人工呼吸器の管理	人工肛門、人工膀胱の管理	アルツハイマー病等の認知症への対応	インシュリン注射	人工透析	服薬管理	その他	受けていない	無回答
全 体	568 100.0	－ －	3 0.5	1 0.2	2 0.4	－ －	289 50.9	22 3.9	152 26.8	104 18.3
身体障害	246 100.0	－ －	3 1.2	1 0.4	1 0.4	－ －	142 57.7	11 4.5	59 24.0	34 13.8
知的障害	409 100.0	－ －	1 0.2	1 0.2	1 0.2	－ －	191 46.7	18 4.4	117 28.6	83 20.3
精神障害	34 100.0	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	13 38.2	3 8.8	11 32.4	9 26.5
難病	43 100.0	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	28 65.1	3 7.0	6 14.0	6 14.0
無回答	12 100.0	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	5 41.7	－ －	5 41.7	1 8.3

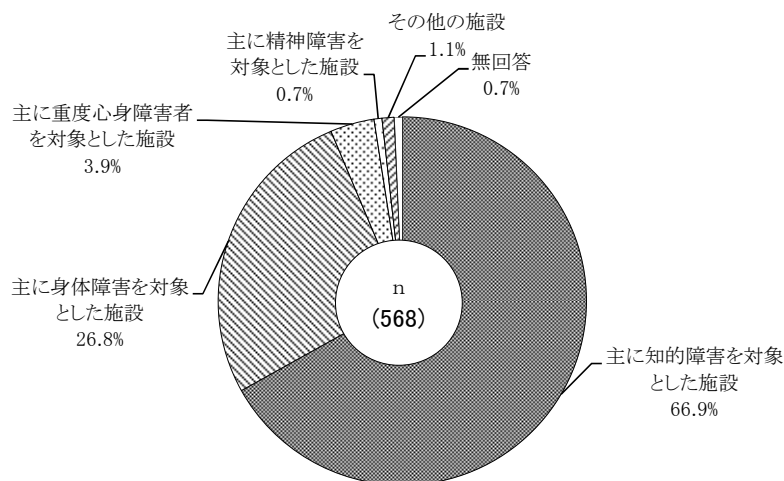
### 3. 施設への入所について

#### (1) 施設の種類

問8 あなたが入所している施設の種類をお聞きます。(○は1つ)

「主に知的障害を対象とした施設」が66.9%で最も多く、次いで「主に身体障害を対象とした施設」が26.8%となっています。

#### ●全体



#### ●障害種別

	調査数	主に身体障害を対象とした施設	主に知的障害を対象とした施設	主に精神障害を対象とした施設	主に重度心身障害者を対象とした施設	その他の施設	無回答
全 体	568	152	380	4	22	6	4
	100.0	26.8	66.9	0.7	3.9	1.1	0.7
身体障害	246	143	77	2	16	5	3
	100.0	58.1	31.3	0.8	6.5	2.0	1.2
知的障害	409	31	365	2	8	1	2
	100.0	7.6	89.2	0.5	2.0	0.2	0.5
精神障害	34	1	31	1	-	1	-
	100.0	2.9	91.2	2.9	-	2.9	-
難病	43	10	32	1	-	-	-
	100.0	23.3	74.4	2.3	-	-	-
無回答	12	5	6	-	-	-	1
	100.0	41.7	50.0	-	-	-	8.3



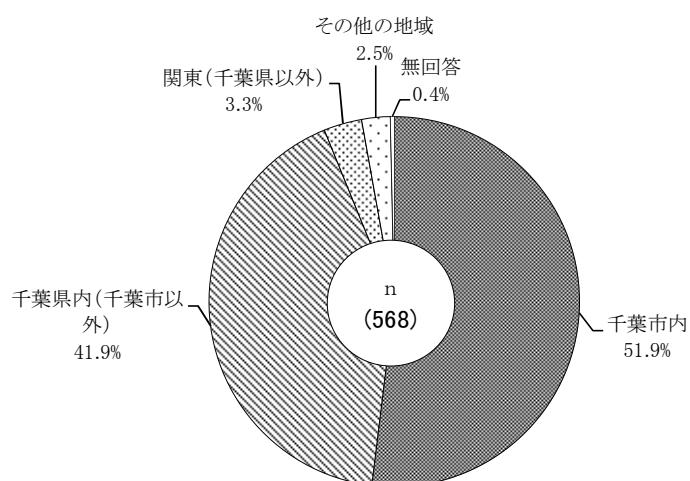
## (2) 施設のある地域

問9 あなたが入所している施設がある地域をお聞きます。(○は1つ)

「千葉市内」が51.9%で最も多く、次いで「千葉県内(千葉市以外)」が41.9%となっています。

障害種別でみると、知的障害のある方、精神障害のある方では、「千葉県内(千葉市以外)」が多くなっています。

### ●全体



### ●障害種別

	調査数	千葉市内	千葉県内(千葉市以外)	関東(千葉県以外)	その他の地域	無回答
全 体	568	295	238	19	14	2
	100.0	51.9	41.9	3.3	2.5	0.4
身体障害	246	155	69	11	10	1
	100.0	63.0	28.0	4.5	4.1	0.4
知的障害	409	179	205	14	10	1
	100.0	43.8	50.1	3.4	2.4	0.2
精神障害	34	10	20	3	1	-
	100.0	29.4	58.8	8.8	2.9	-
難病	43	26	15	1	1	-
	100.0	60.5	34.9	2.3	2.3	-
無回答	12	4	7	-	-	1
	100.0	33.3	58.3	-	-	8.3

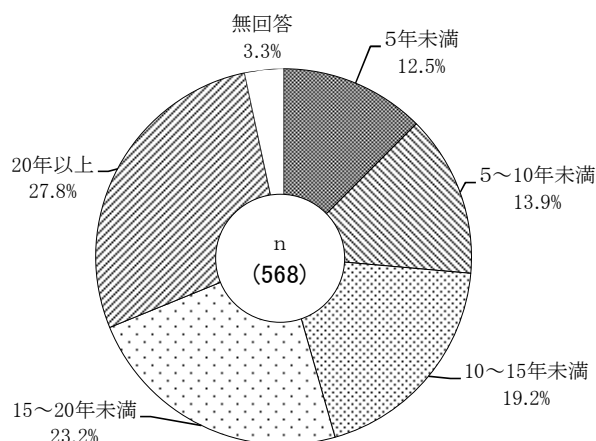
### (3) 施設に入所している期間

問 10 あなたが現在の施設に入所してからの期間をお聞きします。(○は1つ)

全体では、「20年以上」が27.8%で最も多く、以下「15～20年未満」が23.2%、「10～15年未満」が19.2%となっています。

前回調査と比較すると、「20年以上」の方が5.4ポイント、「15～20年未満」の方が5.0ポイント増加し、入所期間が長期化する傾向があります。

#### ●全体



#### ●障害種別

	調査数	5年未満	5～10年未満	10～15年未満	15～20年未満	20年以上	無回答
全 体	568	71	79	109	132	158	19
	100.0	12.5	13.9	19.2	23.2	27.8	3.3
身体障害	246	37	32	43	57	67	10
	100.0	15.0	13.0	17.5	23.2	27.2	4.1
知的障害	409	46	59	79	90	124	11
	100.0	11.2	14.4	19.3	22.0	30.3	2.7
精神障害	34	6	7	5	7	9	—
	100.0	17.6	20.6	14.7	20.6	26.5	—
難病	43	5	4	11	9	13	1
	100.0	11.6	9.3	25.6	20.9	30.2	2.3
無回答	12	1	2	1	3	1	4
	100.0	8.3	16.7	8.3	25.0	8.3	33.3

#### ●経年比較

	調査数	5年未満	5～10年未満	10～15年未満	15～20年未満	20年以上	無回答
今回 (平成28年度)	568	71	79	109	132	158	19
	100.0	12.5	13.9	19.2	23.2	27.8	3.3
	増減	▲1.7	▲0.3	▲1.7	5.0	5.4	1.6
前回 (平成25年度)	598	85	85	175	109	134	10
	100.0	14.2	14.2	29.3	18.2	22.4	1.7

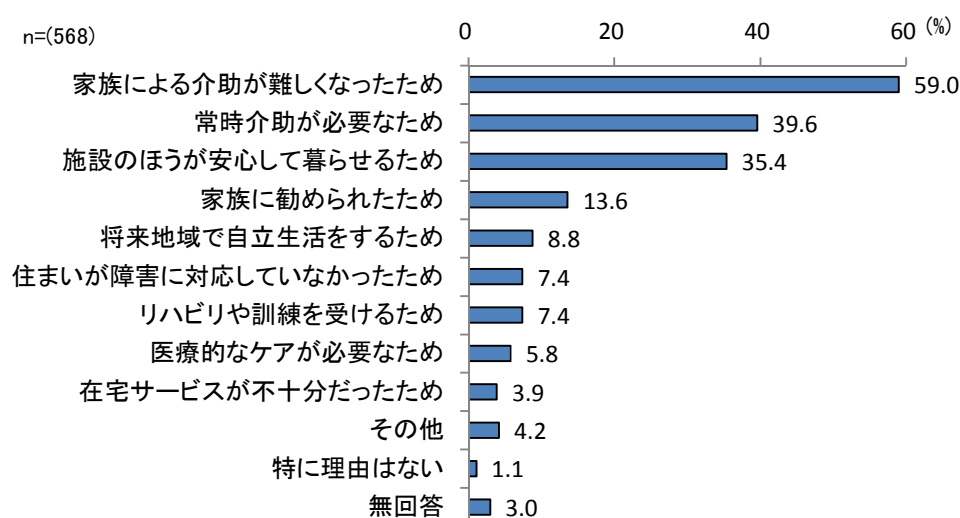
#### (4) 施設に入所した理由

問 11 あなたが現在の施設へ入所することを決めた理由は何ですか。(〇はいくつでも)

全体では、「家族による介助が難しくなったため」が59.0%で最も多く、以下「常時介助が必要なため」が39.6%、「施設のほうが安心して暮らせるため」が35.4%となっています。

障害種別でみると、身体障害のある方では「常時介助が必要なため」が、他の障害のある方より多くなっています。一方、知的障害のある方、精神障害のある方では、「施設のほうが安心して暮らせるため」が多くなっています。

#### ●全体



#### ●障害種別

	調査数	常時介助が必要なため	医療的なケアが必要なため	家族による介助が難しくなったため	在宅サービスが不十分だったため	住まいが障害に対応していなかったため	リハビリや訓練を受けるため	将来地域で自立生活をするため	家族に勧められたため	施設のほうが安心して暮らせるため	特に理由はない	その他	無回答
全 体	568	225	33	335	22	42	42	50	77	201	6	24	17
	100.0	39.6	5.8	59.0	3.9	7.4	7.4	8.8	13.6	35.4	1.1	4.2	3.0
身体障害	246	123	25	150	10	26	26	12	27	77	-	10	8
	100.0	50.0	10.2	61.0	4.1	10.6	10.6	4.9	11.0	31.3	-	4.1	3.3
知的障害	409	139	14	250	16	24	26	40	56	167	6	16	8
	100.0	34.0	3.4	61.1	3.9	5.9	6.4	9.8	13.7	40.8	1.5	3.9	2.0
精神障害	34	13	2	19	3	1	1	5	8	13	2	5	-
	100.0	38.2	5.9	55.9	8.8	2.9	2.9	14.7	23.5	38.2	5.9	14.7	-
難病	43	17	2	27	3	3	4	5	7	16	-	2	-
	100.0	39.5	4.7	62.8	7.0	7.0	9.3	11.6	16.3	37.2	-	4.7	-
無回答	12	4	-	4	-	-	-	1	2	2	-	-	3
	100.0	33.3	-	33.3	-	-	-	8.3	16.7	16.7	-	-	25.0

## 4. 相談や情報入手について

### (1) 日常生活で困っていること

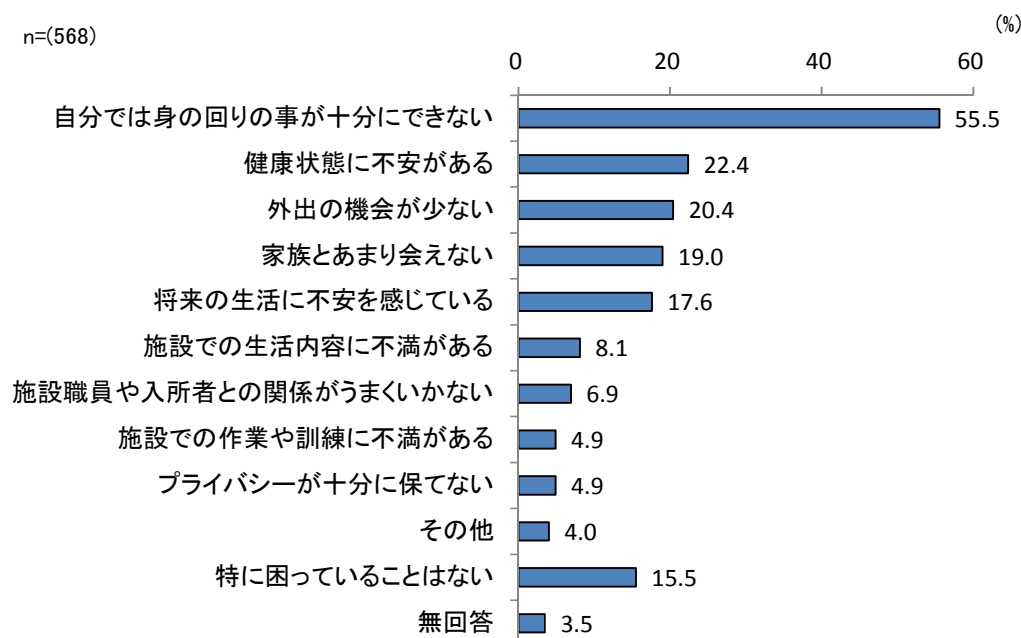
問 12 あなたは、日常生活で困っていることはありますか。(〇はいくつでも)

全体では、「自分では身の回りの事が十分にできない」が55.5%で最も多く、以下「健康状態に不安がある」が22.4%、「外出の機会が少ない」が20.4%、「家族とあまり会えない」が19.0%となっています。

障害種別でみると、精神障害のある方では、「外出の機会が少ない」、「家族とあまり会えない」が、他の障害のある方より多くなっています。

年齢別でみると、「健康状態に不安がある」は65歳以上で比較的多くなっています。

#### ●全体



## ●障害種別

	調査数	自分では身の回りの事が十分にできない	健康状態に不安がある	施設での生活内容に不満がある	施設での作業や訓練に不満がある	プライバシーが十分に保てない	外出の機会が少ない	施設職員や入所者との関係がうまくいかない	家族とあまり会えない	将来の生活に不安を感じている	特に困っていることはない	その他	無回答
全 体	568	315	127	46	28	28	116	39	108	100	88	23	20
	100.0	55.5	22.4	8.1	4.9	4.9	20.4	6.9	19.0	17.6	15.5	4.0	3.5
身体障害	246	144	74	19	13	13	57	16	47	48	35	8	9
	100.0	58.5	30.1	7.7	5.3	5.3	23.2	6.5	19.1	19.5	14.2	3.3	3.7
知的障害	409	226	77	30	15	19	77	24	76	72	66	21	15
	100.0	55.3	18.8	7.3	3.7	4.6	18.8	5.9	18.6	17.6	16.1	5.1	3.7
精神障害	34	18	11	5	2	2	12	3	10	5	4	2	2
	100.0	52.9	32.4	14.7	5.9	5.9	35.3	8.8	29.4	14.7	11.8	5.9	5.9
難病	43	28	14	7	8	4	6	5	7	8	6	4	2
	100.0	65.1	32.6	16.3	18.6	9.3	14.0	11.6	16.3	18.6	14.0	9.3	4.7
無回答	12	1	-	1	-	-	3	1	2	1	5	1	-
	100.0	8.3	-	8.3	-	-	25.0	8.3	16.7	8.3	41.7	8.3	-

## ●年齢別

	調査数	自分では身の回りの事が十分にできない	健康状態に不安がある	施設での生活内容に不満がある	施設での作業や訓練に不満がある	プライバシーが十分に保てない	外出の機会が少ない	施設職員や入所者との関係がうまくいかない	家族とあまり会えない	将来の生活に不安を感じている	特に困っていることはない	その他	無回答
18～29歳	59	30	5	5	2	1	11	2	7	12	7	3	5
	100.0	50.8	8.5	8.5	3.4	1.7	18.6	3.4	11.9	20.3	11.9	5.1	8.5
30～39歳	115	62	18	15	8	6	28	12	24	22	20	6	4
	100.0	53.9	15.7	13.0	7.0	5.2	24.3	10.4	20.9	19.1	17.4	5.2	3.5
40～49歳	212	122	54	12	7	10	40	15	42	41	28	6	6
	100.0	57.5	25.5	5.7	3.3	4.7	18.9	7.1	19.8	19.3	13.2	2.8	2.8
50～59歳	89	47	23	9	10	4	15	5	18	9	21	3	4
	100.0	52.8	25.8	10.1	11.2	4.5	16.9	5.6	20.2	10.1	23.6	3.4	4.5
60～64歳	25	13	3	3	1	2	4	2	4	3	5	1	-
	100.0	52.0	12.0	12.0	4.0	8.0	16.0	8.0	16.0	12.0	20.0	4.0	-
65～69歳	29	20	10	-	-	3	7	-	5	5	3	2	1
	100.0	69.0	34.5	-	-	10.3	24.1	-	17.2	17.2	10.3	6.9	3.4
70～75歳	12	4	5	1	-	1	3	-	4	4	-	2	-
	100.0	33.3	41.7	8.3	-	8.3	25.0	-	33.3	33.3	-	16.7	-
75歳以上	21	13	8	1	-	1	6	3	3	4	3	-	-
	100.0	61.9	38.1	4.8	-	4.8	28.6	14.3	14.3	19.0	14.3	-	-
無回答	6	4	1	-	-	-	2	-	1	-	1	-	-
	100.0	66.7	16.7	-	-	-	33.3	-	16.7	-	16.7	-	-

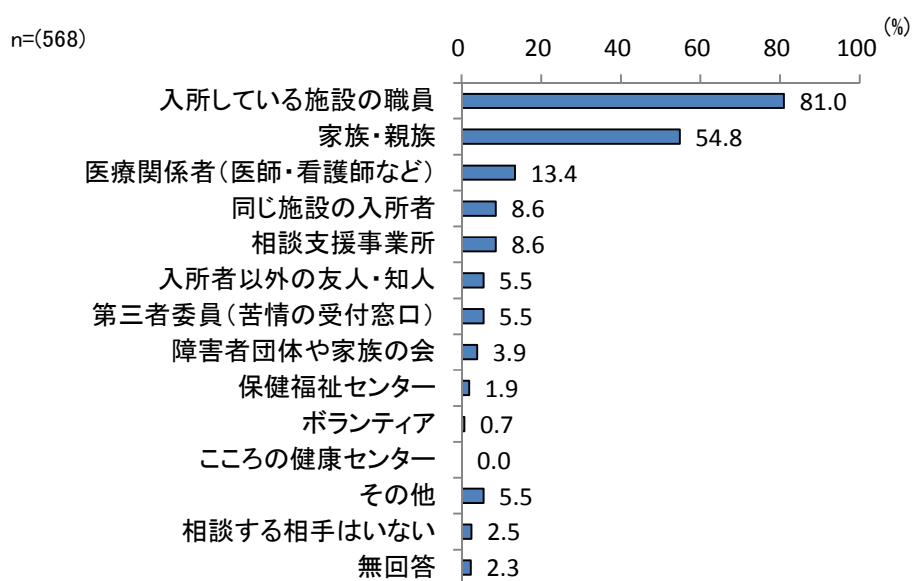
## (2) 困ったときの相談先

問 13 あなた（やご家族の方）が困った時に相談する相手は誰（どこ）ですか。（〇はいくつでも）

全体では、「入所している施設の職員」が81.0%で最も多く、次いで「家族・親族」が54.8%となっています。

障害種別でみると、精神障害のある方では、「医療関係者（医師・看護師など）」が多くなっています。

### ●全体



## ●障害種別

	調査数	家族・親族	同じ施設の 入所者	入所者以外 の友人・知人	相談支援事 業所	入所している 施設の職員	ボランティア	第三者委員 (苦情の受付 窓口)	医療関係者 (医師・看護 師など)	障害者団体 や家族の会	保健福祉セ ンター
全 体	568 100.0	311 54.8	49 8.6	31 5.5	49 8.6	460 81.0	4 0.7	31 5.5	76 13.4	22 3.9	11 1.9
身体障害	246 100.0	150 61.0	20 8.1	17 6.9	28 11.4	194 78.9	4 1.6	12 4.9	41 16.7	12 4.9	5 2.0
知的障害	409 100.0	210 51.3	36 8.8	20 4.9	35 8.6	343 83.9	- -	28 6.8	56 13.7	16 3.9	9 2.2
精神障害	34 100.0	15 44.1	3 8.8	1 2.9	3 8.8	31 91.2	- -	2 5.9	10 29.4	- -	- -
難病	43 100.0	23 53.5	5 11.6	5 11.6	2 4.7	31 72.1	- -	2 4.7	9 20.9	4 9.3	2 4.7
無回答	12 100.0	6 50.0	- -	- -	- -	4 33.3	- -	1 8.3	- -	- -	- -

	調査数	こころの健康 センター	相談する相 手はいない	その他	無回答
全 体	568 100.0	- -	14 2.5	31 5.5	13 2.3
身体障害	246 100.0	- -	6 2.4	9 3.7	8 3.3
知的障害	409 100.0	- -	9 2.2	27 6.6	7 1.7
精神障害	34 100.0	- -	- -	2 5.9	1 2.9
難病	43 100.0	- -	3 7.0	2 4.7	1 2.3
無回答	12 100.0	- -	1 8.3	2 16.7	- -

## 5. 日常生活（施設での生活）について

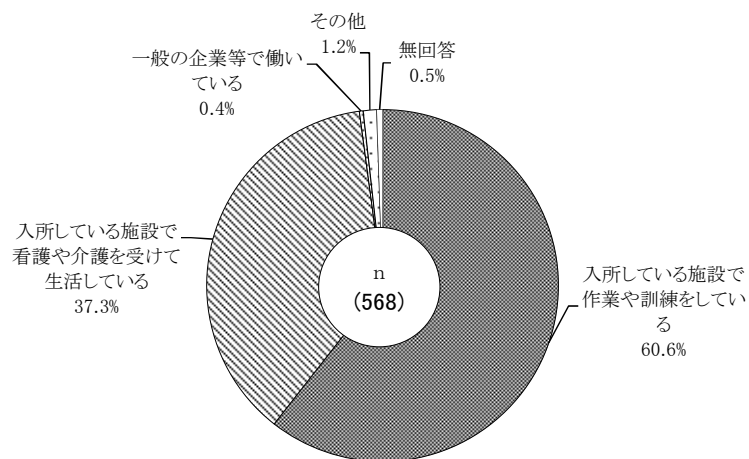
### (1) 日中の過ごし方

問 14 あなたは平日の日中を主にどのように過ごしていますか。(最もあてはまる番号ひとつに○)

全体では、「入所している施設で作業や訓練をしている」が60.6%で最も多く、次いで「入所している施設で看護や介護を受けて生活している」が37.3%となっています。

障害種別でみると、身体障害のある方では、「入所している施設で看護や介護を受けて生活している」が、他の障害のある方より多くなっています。一方、知的障害のある方、精神障害のある方、難病のある方では、「入所している施設で作業や訓練をしている」が身体障害のある方より多くなっています。

#### ●全体



#### ●障害種別

	調査数	入所している施設で看護や介護を受けて生活している	入所している施設で作業や訓練をしている	一般の企業等で働いている	その他	無回答
全 体	568 100.0	212 37.3	344 60.6	2 0.4	7 1.2	3 0.5
身体障害	246 100.0	145 58.9	96 39.0	— —	3 1.2	2 0.8
知的障害	409 100.0	107 26.2	294 71.9	2 0.5	4 1.0	2 0.5
精神障害	34 100.0	6 17.6	26 76.5	1 2.9	1 2.9	— —
難病	43 100.0	17 39.5	26 60.5	— —	— —	— —
無回答	12 100.0	2 16.7	8 66.7	— —	2 16.7	— —

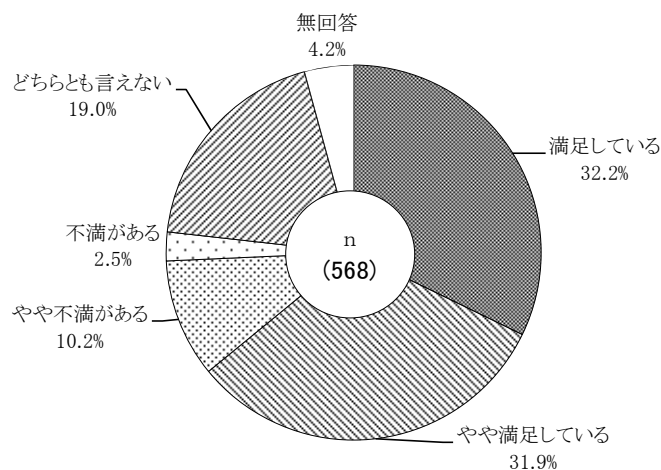


## (2) 施設生活の満足度

問 15 あなたは、現在入所している施設での生活に満足していますか。(○は1つ)

全体では、「満足している」が32.2%、「やや満足している」が31.9%となっています。  
一方、「やや不満がある」は10.2%、「不満がある」は2.5%となっています。

### ●全体



### ●障害種別

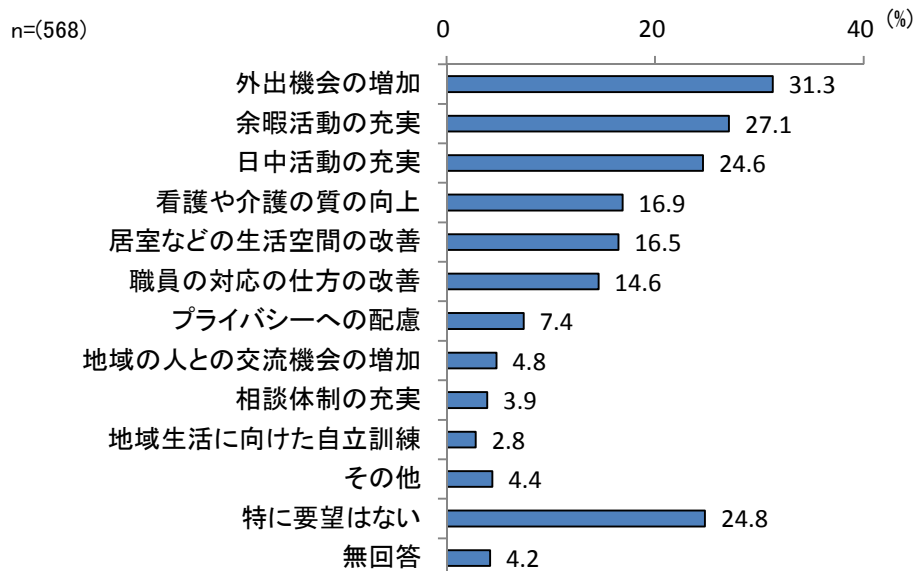
	調査数	満足している	やや満足している	やや不満がある	不満がある	どちらとも言えない	無回答
全 体	568	183	181	58	14	108	24
	100.0	32.2	31.9	10.2	2.5	19.0	4.2
身体障害	246	85	72	27	9	42	11
	100.0	34.6	29.3	11.0	3.7	17.1	4.5
知的障害	409	134	129	37	5	87	17
	100.0	32.8	31.5	9.0	1.2	21.3	4.2
精神障害	34	12	10	6	—	4	2
	100.0	35.3	29.4	17.6	—	11.8	5.9
難病	43	16	13	5	3	6	—
	100.0	37.2	30.2	11.6	7.0	14.0	—
無回答	12	3	3	1	1	3	1
	100.0	25.0	25.0	8.3	8.3	25.0	8.3

### (3) 施設に対する要望

問 16 あなたは、入所している施設に対してどのような要望がありますか。(〇はいくつでも)

全体では、「外出機会の増加」が31.3%で最も多く、以下「余暇活動の充実」が27.1%、「日中活動の充実」が24.6%となっています。

#### ●全体



#### ●障害種別

	調査数	看護や介護 の質の向上	職員の対応 の仕方の改 善	居室などの 生活空間の 改善	プライバシー への配慮	日中活動の 充実	余暇活動の 充実	外出機会の 増加	地域の人と の交流機会 の増加	相談体制の 充実	地域生活に 向けた自立 訓練
全 体	568 100.0	96 16.9	83 14.6	94 16.5	42 7.4	140 24.6	154 27.1	178 31.3	27 4.8	22 3.9	16 2.8
身体障害	246 100.0	56 22.8	37 15.0	33 13.4	21 8.5	64 26.0	60 24.4	85 34.6	20 8.1	12 4.9	6 2.4
知的障害	409 100.0	63 15.4	62 15.2	81 19.8	31 7.6	97 23.7	119 29.1	121 29.6	12 2.9	15 3.7	11 2.7
精神障害	34 100.0	6 17.6	3 8.8	8 23.5	- -	8 23.5	13 38.2	10 29.4	3 8.8	- -	- -
難病	43 100.0	9 20.9	11 25.6	11 25.6	6 14.0	8 18.6	12 27.9	10 23.3	3 7.0	3 7.0	4 9.3
無回答	12 100.0	- -	- -	- -	1 8.3	- -	4 33.3	4 33.3	1 8.3	- -	1 8.3

	調査数	特に要望は ない	その他	無回答
全 体	568 100.0	141 24.8	25 4.4	24 4.2
身体障害	246 100.0	54 22.0	14 5.7	10 4.1
知的障害	409 100.0	108 26.4	18 4.4	17 4.2
精神障害	34 100.0	10 29.4	- -	2 5.9
難病	43 100.0	6 14.0	5 11.6	1 2.3
無回答	12 100.0	2 16.7	1 8.3	1 8.3

#### (4) 自宅に帰る頻度

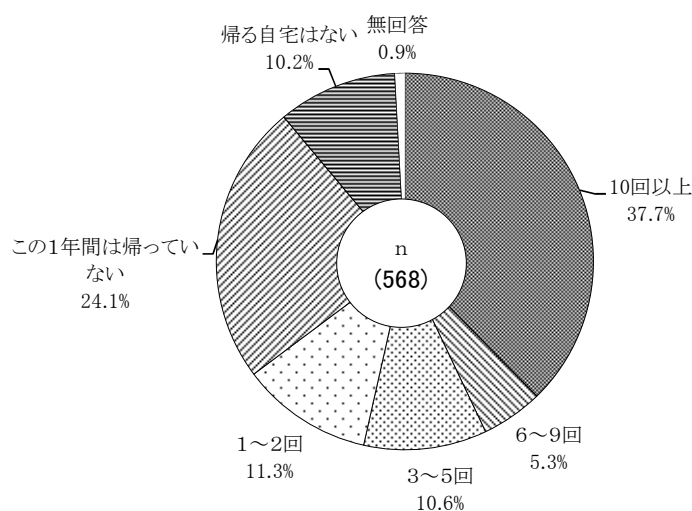
問 17 あなたは、最近1年間、どの位の頻度でご自宅に帰りましたか。(〇は1つ)

全体では、「10回以上」が37.7%で最も多く、次いで「1～2回」が11.3%、「3～5回」が10.6%となっています。一方、「この1年間は帰っていない」は24.1%となっています。

障害種別でみると、知的障害のある方、難病のある方では、「10回以上」が、他の障害のある方より多くなっています。

年齢別でみると、50歳未満では、「10回以上」が、50歳以上に比べて多くなっています。一方、65～69歳、70～75歳では「この1年間は帰っていない」が、他の年代より多くなっています。

#### ●全体



#### ●障害種別

	調査数	10回以上	6～9回	3～5回	1～2回	この1年間は 帰っていない	帰る自宅は ない	無回答
全 体	568	214	30	60	64	137	58	5
	100.0	37.7	5.3	10.6	11.3	24.1	10.2	0.9
身体障害	246	78	12	18	32	77	25	4
	100.0	31.7	4.9	7.3	13.0	31.3	10.2	1.6
知的障害	409	160	27	52	47	83	38	2
	100.0	39.1	6.6	12.7	11.5	20.3	9.3	0.5
精神障害	34	7	4	4	5	7	7	-
	100.0	20.6	11.8	11.8	14.7	20.6	20.6	-
難病	43	22	2	6	4	8	1	-
	100.0	51.2	4.7	14.0	9.3	18.6	2.3	-
無回答	12	1	-	1	1	7	1	1
	100.0	8.3	-	8.3	8.3	58.3	8.3	8.3

## ●年齢別

	調査数	10回以上	6～9回	3～5回	1～2回	この1年間は 帰っていない	帰る自宅は ない	無回答
18～29歳	59 100.0	31 52.5	4 6.8	4 6.8	2 3.4	13 22.0	5 8.5	－
30～39歳	115 100.0	53 46.1	3 2.6	14 12.2	16 13.9	23 20.0	6 5.2	－
40～49歳	212 100.0	101 47.6	17 8.0	31 14.6	17 8.0	33 15.6	11 5.2	2 0.9
50～59歳	89 100.0	17 19.1	3 3.4	4 4.5	17 19.1	30 33.7	16 18.0	2 2.2
60～64歳	25 100.0	4 16.0	2 8.0	4 16.0	－	9 36.0	6 24.0	－
65～69歳	29 100.0	3 10.3	－	2 6.9	4 13.8	15 51.7	5 17.2	－
70～75歳	12 100.0	1 8.3	1 8.3	－	2 16.7	5 41.7	3 25.0	－
75歳以上	21 100.0	3 14.3	－	1 4.8	4 19.0	7 33.3	5 23.8	1 4.8
無回答	6 100.0	1 16.7	－	－	2 33.3	2 33.3	1 16.7	－

## (5) 外出の頻度

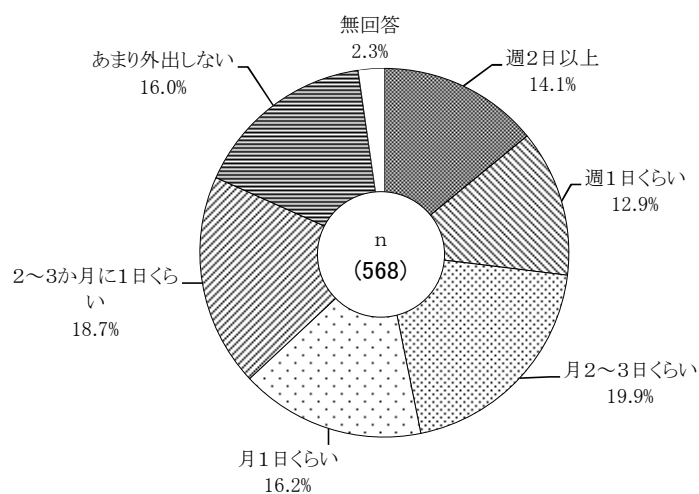
問 18 あなたは、どのくらいの頻度で外出していますか。(〇は1つ)

全体では、「月2～3日くらい」が19.9%で最も多く、次いで「2～3か月に1日くらい」が18.7%となっています。

障害種別でみると、身体障害のある方では「あまり外出しない」が、他の障害のある方より多くなっています。

年齢別でみると、加齢とともに、外出頻度は減少する傾向があります。

## ●全体



## ●障害種別

	調査数	週2日以上	週1日くらい	月2～3日くらい	月1日くらい	2～3か月に1日くらい	あまり外出しない	無回答
全 体	568 100.0	80 14.1	73 12.9	113 19.9	92 16.2	106 18.7	91 16.0	13 2.3
身体障害	246 100.0	25 10.2	31 12.6	44 17.9	39 15.9	47 19.1	55 22.4	5 2.0
知的障害	409 100.0	70 17.1	54 13.2	80 19.6	66 16.1	81 19.8	48 11.7	10 2.4
精神障害	34 100.0	2 5.9	5 14.7	9 26.5	7 20.6	6 17.6	3 8.8	2 5.9
難病	43 100.0	8 18.6	7 16.3	7 16.3	10 23.3	5 11.6	4 9.3	2 4.7
無回答	12 100.0	－ －	1 8.3	2 16.7	1 8.3	2 16.7	6 50.0	－ －

## ●年齢別

	調査数	週2日以上	週1日くらい	月2～3日くらい	月1日くらい	2～3か月に1日くらい	あまり外出しない	無回答
18～39歳	174 100.0	29 16.7	28 16.1	29 16.7	25 14.4	35 20.1	22 12.6	6 3.4
40～64歳	326 100.0	46 14.1	40 12.3	73 22.4	54 16.6	57 17.5	49 15.0	7 2.1
65～74歳	41 100.0	4 9.8	2 4.9	5 12.2	7 17.1	11 26.8	12 29.3	－ －
75歳以上	21 100.0	1 4.8	2 9.5	6 28.6	4 19.0	2 9.5	6 28.6	－ －
無回答	6 100.0	－ －	1 16.7	－ －	2 33.3	1 16.7	2 33.3	－ －

## (6) 外出の目的

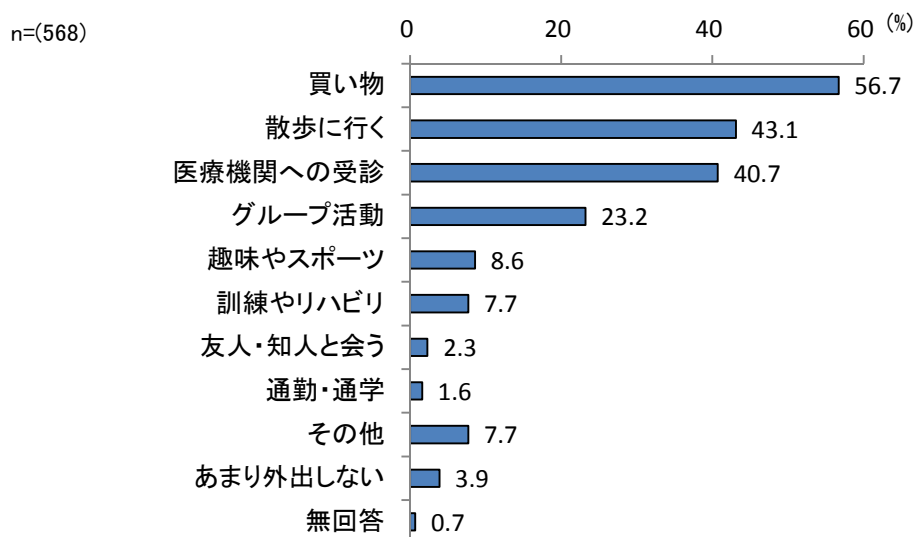
問 19 あなたは、どのような目的で外出することが多いですか。(〇はいくつでも)

全体では「買い物」が56.7%で最も多く、以下、「散歩に行く」が43.1%、「医療機関への受診」が40.7%となっています。

障害種別でみると、知的障害のある方、難病のある方では、「散歩に行く」が他の障害のある方より多くなっています。一方、精神障害のある方では、「買い物」、「医療機関への受診」が多くなっています。

年齢別にみると、64 歳以下は「散歩に行く」が多く、65 歳以上は「医療機関への受診」が比較的多くなっています。

### ●全体



### ●障害種別

	調査数	通勤・通学	訓練やリハビリ	医療機関への受診	買い物	友人・知人と会う	趣味やスポーツ	グループ活動	散歩に行く	あまり外出しない	その他	無回答
全 体	568	9	44	231	322	13	49	132	245	22	44	4
	100.0	1.6	7.7	40.7	56.7	2.3	8.6	23.2	43.1	3.9	7.7	0.7
身体障害	246	2	23	109	125	7	19	65	85	12	14	3
	100.0	0.8	9.3	44.3	50.8	2.8	7.7	26.4	34.6	4.9	5.7	1.2
知的障害	409	9	28	170	240	5	39	93	200	16	35	1
	100.0	2.2	6.8	41.6	58.7	1.2	9.5	22.7	48.9	3.9	8.6	0.2
精神障害	34	-	1	20	25	2	4	5	11	2	2	-
	100.0	-	2.9	58.8	73.5	5.9	11.8	14.7	32.4	5.9	5.9	-
難病	43	-	6	21	23	3	4	11	19	-	1	-
	100.0	-	14.0	48.8	53.5	7.0	9.3	25.6	44.2	-	2.3	-
無回答	12	-	-	2	9	1	-	1	4	-	2	1
	100.0	-	-	16.7	75.0	8.3	-	8.3	33.3	-	16.7	8.3

## ●年齢別

	調査数	通勤・通学	訓練やリハビリ	医療機関への受診	買い物	友人・知人と会う	趣味やスポーツ	グループ活動	散歩に行く	あまり外出しない	その他	無回答
18～39歳	174	5	14	62	88	6	12	31	83	7	14	-
	100.0	2.9	8.0	35.6	50.6	3.4	6.9	17.8	47.7	4.0	8.0	-
40～64歳	326	4	25	137	196	4	29	85	143	12	27	4
	100.0	1.2	7.7	42.0	60.1	1.2	8.9	26.1	43.9	3.7	8.3	1.2
65～74歳	41	-	4	20	21	2	6	12	11	2	2	-
	100.0	-	9.8	48.8	51.2	4.9	14.6	29.3	26.8	4.9	4.9	-
75歳以上	21	-	1	11	14	1	1	3	8	-	1	-
	100.0	-	4.8	52.4	66.7	4.8	4.8	14.3	38.1	-	4.8	-
無回答	6	-	-	1	3	-	1	1	-	1	-	-
	100.0	-	-	16.7	50.0	-	16.7	16.7	-	16.7	-	-

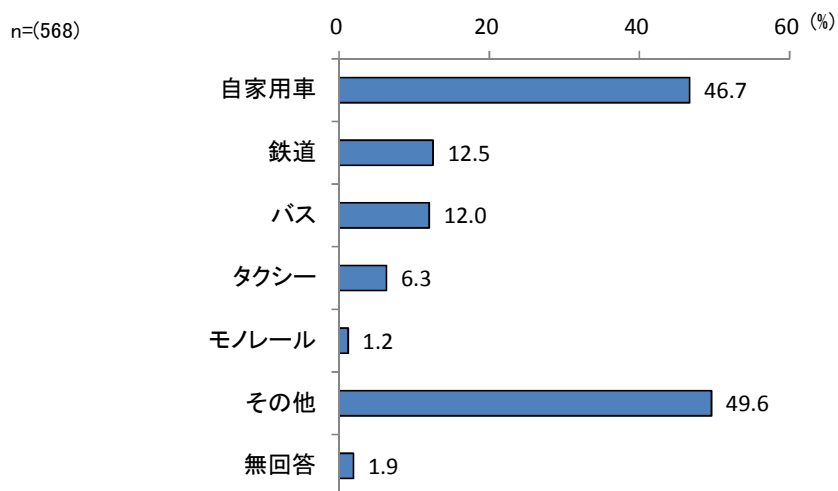
## (7) 外出時の移動手段

問 20 あなたは、外出時の移動手段について、何を利用していますか。(○はいくつでも)

全体では、「その他」を除けば、「自家用車」が 46.7%で最も多く、以下「鉄道」が 12.5%、「バス」が 12.0%となっています。

障害種別でみると、身体障害のある方、知的障害のある方、難病のある方では、「自家用車」が精神障害のある方より多くなっています。

## ●全体



## ●障害種別

	調査数	鉄道	バス	モノレール	タクシー	自家用車	その他	無回答
全 体	568	71	68	7	36	265	282	11
	100.0	12.5	12.0	1.2	6.3	46.7	49.6	1.9
身体障害	246	24	20	3	21	119	112	7
	100.0	9.8	8.1	1.2	8.5	48.4	45.5	2.8
知的障害	409	55	52	4	18	183	216	9
	100.0	13.4	12.7	1.0	4.4	44.7	52.8	2.2
精神障害	34	4	4	-	-	10	22	1
	100.0	11.8	11.8	-	-	29.4	64.7	2.9
難病	43	8	9	1	5	21	20	3
	100.0	18.6	20.9	2.3	11.6	48.8	46.5	7.0
無回答	12	1	2	-	-	3	9	-
	100.0	8.3	16.7	-	-	25.0	75.0	-

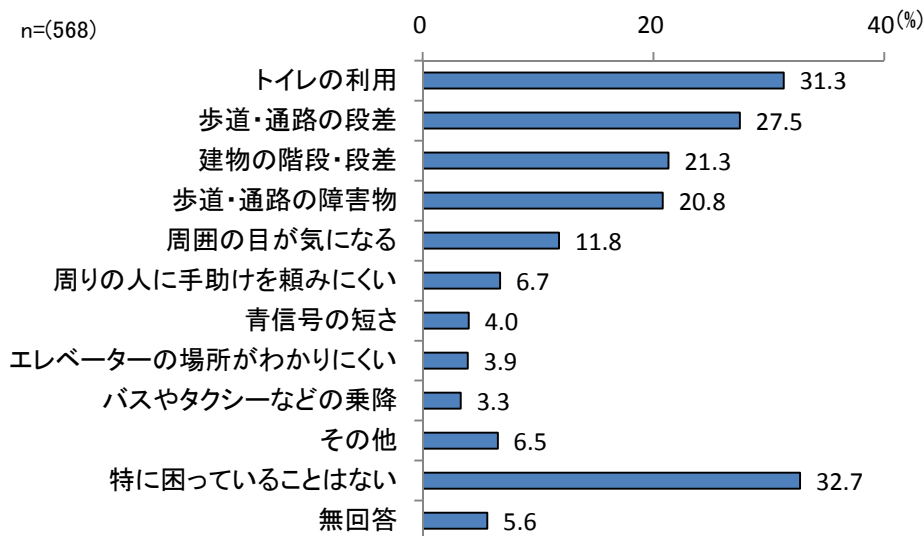
## (8) 外出時に困っていること

問 21 あなたは、外出時に困っていることがありますか。(〇はいくつでも)

全体では、外出時に困っていることについて「トイレの利用」が31.3%で最も多く、以下「歩道・通路の段差」が27.5%、「建物の階段・段差」が21.3%となっています。一方、「特に困っていることはない」は32.7%となっています。

障害種別でみると、身体障害のある方では、「歩道・通路の段差」「建物の階段・段差」「歩道・通路の障害物」が他の障害のある方より多くなっています。

### ●全体



### ●障害種別

	調査数	歩道・通路の 段差	青信号の短 さ	歩道・通路の 障害物	バスやタク シーなどの 乗降	建物の階段・ 段差	エレベーター の場所がわ かりにくい	トイレの利用	周りの人に 手助けを頼 みにくい	周囲の目が 気になる	特に困ってい ることはない	その他	無回答
全 体	568	156	23	118	19	121	22	178	38	67	186	37	32
	100.0	27.5	4.0	20.8	3.3	21.3	3.9	31.3	6.7	11.8	32.7	6.5	5.6
身体障害	246	111	19	88	12	88	13	84	20	21	53	7	13
	100.0	45.1	7.7	35.8	4.9	35.8	5.3	34.1	8.1	8.5	21.5	2.8	5.3
知的障害	409	85	11	57	14	73	16	138	26	58	144	30	24
	100.0	20.8	2.7	13.9	3.4	17.8	3.9	33.7	6.4	14.2	35.2	7.3	5.9
精神障害	34	7	2	4	2	9	3	10	2	4	15	1	3
	100.0	20.6	5.9	11.8	5.9	26.5	8.8	29.4	5.9	11.8	44.1	2.9	8.8
難病	43	9	3	5	4	9	3	18	4	6	8	5	5
	100.0	20.9	7.0	11.6	9.3	20.9	7.0	41.9	9.3	14.0	18.6	11.6	11.6
無回答	12	3	-	2	-	1	-	1	-	1	7	2	-
	100.0	25.0	-	16.7	-	8.3	-	8.3	-	8.3	58.3	16.7	-



## (9) 外出先のトイレに望むこと

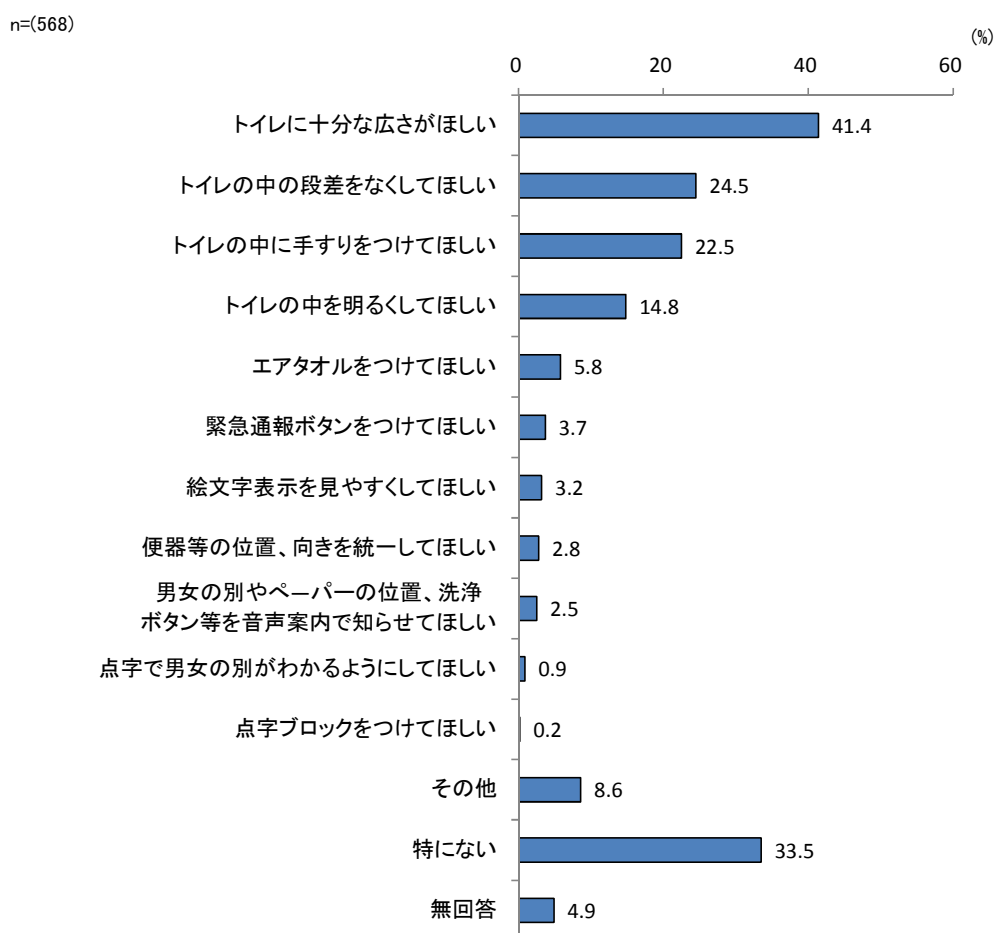
問 22 外出先でのトイレに望むことは何ですか。(〇はいくつでも)

全体では、「トイレに十分な広さがほしい」が41.4%で最も多く、以下「トイレの中の段差をなくしてほしい」が24.5%、「トイレの中に手すりをつけてほしい」が22.5%、「トイレの中を明るくしてほしい」が14.8%となっています。

障害種別でみると、身体障害のある方では、「トイレに十分な広さがほしい」、「トイレの中に手すりをつけてほしい」、「トイレの中の段差をなくしてほしい」が多くなっています。また、精神障害のある方でも、「トイレの中に手すりをつけてほしい」と「トイレに十分な広さがほしい」が多くなっています。

身体障害の種別でみると、肢体不自由の方では、「トイレに十分な広さがほしい」が他より多くなっています。また、肢体不自由の方、視覚障害の方では、「トイレの段差をなくしてほしい」が他の障害の方より多くなっています。

### ●全体



## ●障害種別

	調査数	点字で男女の別がわかるようにしてほしい	男女の別やペーパーの位置、洗浄ボタン等を音声案内で知らせてほしい	絵文字表示を見やすくしてほしい	トイレの中を明るくしてほしい	トイレの中の段差をなくしてほしい	点字ブロックをつけてほしい	便器等の位置、向きを統一してほしい	トイレの中に手すりをつけてほしい	エアタオルをつけてほしい	トイレに十分な広さがほしい
全 体	568 100.0	5 0.9	14 2.5	18 3.2	84 14.8	139 24.5	1 0.2	16 2.8	128 22.5	33 5.8	235 41.4
身体障害	246 100.0	4 1.6	9 3.7	6 2.4	36 14.6	93 37.8	－ －	9 3.7	76 30.9	15 6.1	142 57.7
知的障害	409 100.0	3 0.7	9 2.2	15 3.7	61 14.9	81 19.8	1 0.2	9 2.2	81 19.8	23 5.6	152 37.2
精神障害	34 100.0	－ －	1 2.9	－ －	4 11.8	6 17.6	－ －	1 2.9	10 29.4	－ －	17 50.0
難病	43 100.0	－ －	－ －	5 11.6	5 11.6	10 23.3	－ －	1 2.3	12 27.9	2 4.7	15 34.9
無回答	12 100.0	－ －	－ －	－ －	2 16.7	1 8.3	－ －	－ －	4 33.3	－ －	2 16.7

	調査数	緊急通報ボタンをつけてほしい	特にない	その他	無回答
全 体	568 100.0	21 3.7	190 33.5	49 8.6	28 4.9
身体障害	246 100.0	12 4.9	55 22.4	18 7.3	8 3.3
知的障害	409 100.0	13 3.2	149 36.4	40 9.8	22 5.4
精神障害	34 100.0	2 5.9	13 38.2	－ －	2 5.9
難病	43 100.0	1 2.3	12 27.9	4 9.3	3 7.0
無回答	12 100.0	2 16.7	5 41.7	1 8.3	－ －

## ●身体障害の種類別

	調査数	点字で男女の別がわかるようにしてほしい	男女の別やペーパーの位置、洗浄ボタン等を音声案内で知らせてほしい	絵文字表示を見やすくしてほしい	トイレの中を明るくしてほしい	トイレの中の段差をなくしてほしい	点字ブロックをつけてほしい	便器等の位置、向きを統一してほしい	トイレの中に手すりをつけてほしい	エアタオルをつけてほしい	トイレに十分な広さがほしい
肢体不自由	198 100.0	1 0.5	5 2.5	5 2.5	34 17.2	79 39.9	－ －	9 4.5	66 33.3	13 6.6	121 61.1
音声・言語・そしゃく機能障害	27 100.0	1 3.7	2 7.4	1 3.7	6 22.2	8 29.6	－ －	1 3.7	6 22.2	2 7.4	12 44.4
視覚障害	31 100.0	2 6.5	4 12.9	2 6.5	4 12.9	13 41.9	－ －	1 3.2	11 35.5	2 6.5	14 45.2
聴覚・平衡機能障害	10 100.0	1 10.0	1 10.0	2 20.0	2 20.0	4 40.0	－ －	－ －	6 60.0	－ －	4 40.0
内部機能障害 (免疫機能障害を含む)	10 100.0	－ －	－ －	－ －	－ －	6 60.0	－ －	－ －	3 30.0	－ －	4 40.0
無回答	13 100.0	－ －	－ －	－ －	1 7.7	2 15.4	－ －	－ －	2 15.4	－ －	8 61.5

	調査数	緊急通報ボタンをつけてほしい	特にない	その他	無回答
肢体不自由	198 100.0	10 5.1	39 19.7	17 8.6	8 4.0
音声・言語・そしゃく機能障害	27 100.0	1 3.7	11 40.7	2 7.4	1 3.7
視覚障害	31 100.0	2 6.5	6 19.4	2 6.5	－ －
聴覚・平衡機能障害	10 100.0	－ －	3 30.0	－ －	－ －
内部機能障害 (免疫機能障害を含む)	10 100.0	－ －	2 20.0	－ －	－ －
無回答	13 100.0	1 7.7	5 38.5	－ －	－ －

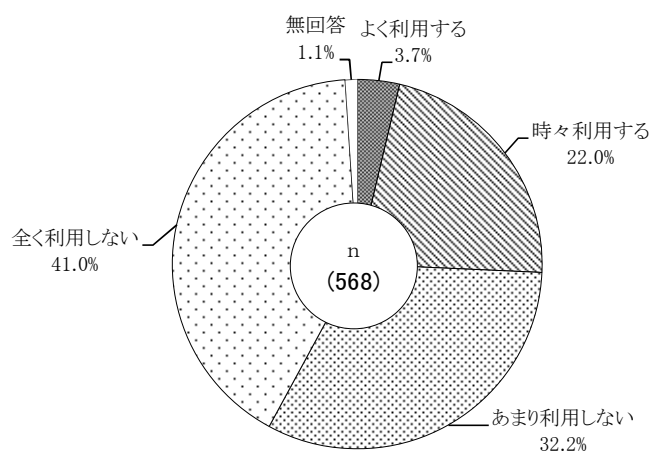
## (10) 公園の利用状況

問 23 あなたは日頃、近くの公園を利用していますか。(○は1つ)

全体では、「よく利用する」が3.7%、「時々利用する」が22.0%となっています。

障害の種別でみると、身体障害のある方では、「よく利用する」、「時々利用する」が他の障害のある方より低くなっています。

### ●全体



### ●障害種別

	調査数	よく利用する	時々利用する	あまり利用しない	全く利用しない	無回答
全 体	568	21	125	183	233	6
	100.0	3.7	22.0	32.2	41.0	1.1
身体障害	246	-	44	88	112	2
	100.0	-	17.9	35.8	45.5	0.8
知的障害	409	20	103	126	155	5
	100.0	4.9	25.2	30.8	37.9	1.2
精神障害	34	1	10	7	15	1
	100.0	2.9	29.4	20.6	44.1	2.9
難病	43	-	13	13	16	1
	100.0	-	30.2	30.2	37.2	2.3
無回答	12	1	1	3	7	-
	100.0	8.3	8.3	25.0	58.3	-

## (11) 公園の利用目的

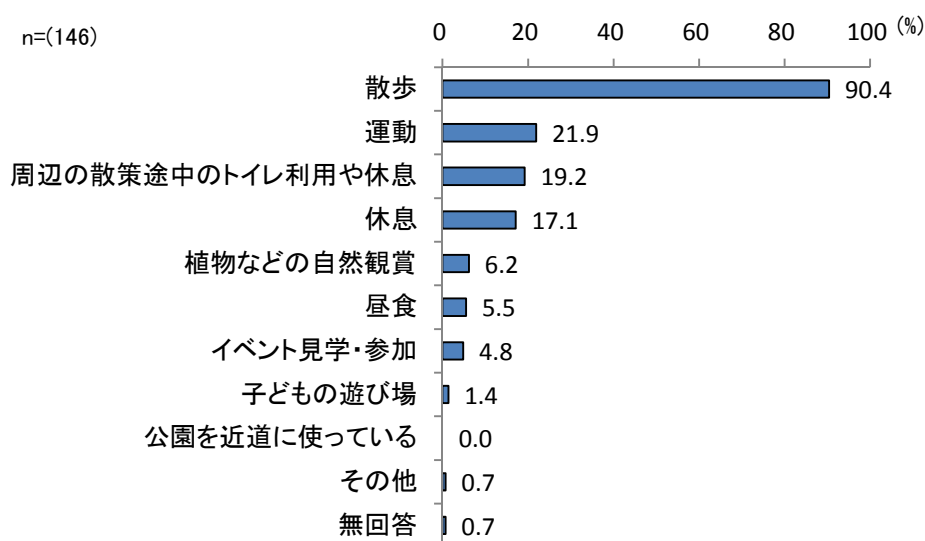
【問 23 で「1. よく利用する」または「2. 時々利用する」に○をつけた方におたずねします】

問 24 あなたが公園を利用する目的は何ですか。(○はいくつでも)

全体では、「散歩」が90.4%で最も多く、以下「運動」、「周辺の散策途中のトイレ利用や休息」が2割前後で続いています。

障害の種別でみると、身体障害のある方では、「運動」が他の障害のある方より低くなっています。

### ●全体



### ●障害種別

	調査数	散歩	運動	休息	植物などの自然観賞	昼食	公園を近道に使っている	周辺の散策途中のトイレ利用や休息	子どもの遊び場	イベント見学・参加	その他	無回答
全 体	146	132	32	25	9	8	-	28	2	7	1	1
	100.0	90.4	21.9	17.1	6.2	5.5	-	19.2	1.4	4.8	0.7	0.7
身体障害	44	39	6	9	-	3	-	10	1	4	-	-
	100.0	88.6	13.6	20.5	-	6.8	-	22.7	2.3	9.1	-	-
知的障害	123	114	28	22	8	8	-	24	2	3	1	1
	100.0	92.7	22.8	17.9	6.5	6.5	-	19.5	1.6	2.4	0.8	0.8
精神障害	11	10	2	-	1	1	-	-	-	-	1	-
	100.0	90.9	18.2	-	9.1	9.1	-	-	-	-	9.1	-
難病	13	11	5	-	1	1	-	1	1	1	-	-
	100.0	84.6	38.5	-	7.7	7.7	-	7.7	7.7	7.7	-	-
無回答	2	2	1	1	1	-	-	1	-	-	-	-
	100.0	100.0	50.0	50.0	50.0	-	-	50.0	-	-	-	-

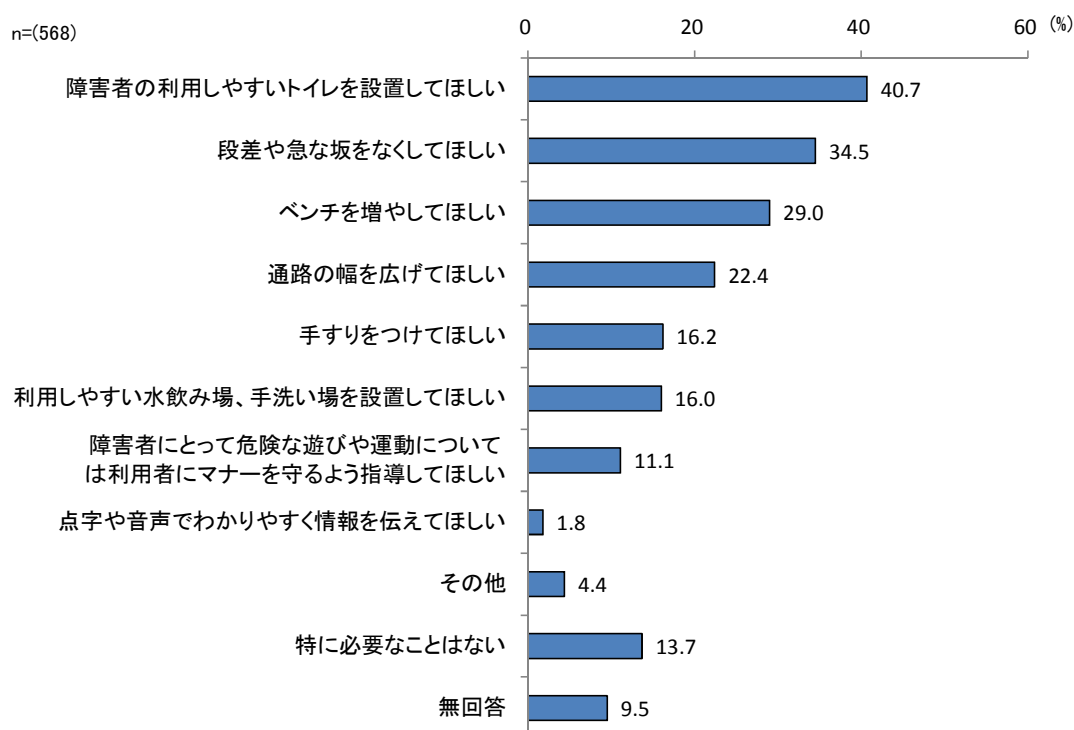
## (12) 障害者の公園利用のために必要なこと

問 25 あなたは、障害者が安心して公園を利用できるようにするために、何が必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

全体では、「障害者の利用しやすいトイレを設置してほしい」が40.7%で最も多く、以下「段差や急な坂をなくしてほしい」が34.5%、「ベンチを増やしてほしい」が29.0%、「通路の幅を広げてほしい」が22.4%となっています。

障害種別でみると、身体障害のある方では、「段差や急な坂をなくしてほしい」、「通路の幅を広げてほしい」が、他の障害のある方より多くなっています。一方、精神障害のある方では、「ベンチを増やしてほしい」が多くなっています。

### ●全体



### ●障害種別

	調査数	通路の幅を広げてほしい	手すりをつけてほしい	段差や急な坂をなくしてほしい	点字や音声でわかりやすく情報を伝えてほしい	障害者の利用しやすいトイレを設置してほしい	障害者にとって危険な遊びや運動については利用者にマナーを守るよう指導してほしい	ベンチを増やしてほしい	利用しやすい水飲み場、手洗い場を設置してほしい	特に必要なことはない	その他	無回答
全 体	568	127	92	196	10	231	63	165	91	78	25	54
	100.0	22.4	16.2	34.5	1.8	40.7	11.1	29.0	16.0	13.7	4.4	9.5
身体障害	246	91	59	127	7	113	38	64	32	20	6	17
	100.0	37.0	24.0	51.6	2.8	45.9	15.4	26.0	13.0	8.1	2.4	6.9
知的障害	409	72	59	116	7	175	35	133	76	63	21	40
	100.0	17.6	14.4	28.4	1.7	42.8	8.6	32.5	18.6	15.4	5.1	9.8
精神障害	34	11	7	14	-	14	-	15	8	5	-	2
	100.0	32.4	20.6	41.2	-	41.2	-	44.1	23.5	14.7	-	5.9
難病	43	4	9	18	2	23	5	22	8	4	1	5
	100.0	9.3	20.9	41.9	4.7	53.5	11.6	51.2	18.6	9.3	2.3	11.6
無回答	12	2	2	2	-	4	-	5	2	2	1	2
	100.0	16.7	16.7	16.7	-	33.3	-	41.7	16.7	16.7	8.3	16.7

## 6. 将来について

### (1) 将来の暮らし方の希望

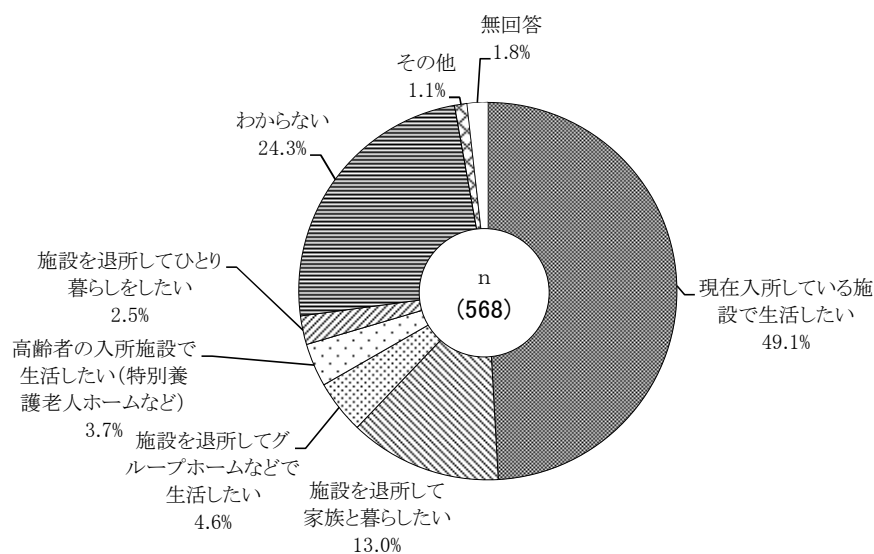
問 26 あなたは将来、どのような暮らし方をしたいと思いますか。(○は1つ)

全体では、「現在入所している施設で生活したい」が49.1%で最も多くなっています。

障害種別でみると、いずれの障害のある方も、「現在入所している施設で生活したい」が最も多くなっています。

年齢別でみると、すべての年代で「現在入所している施設で生活したい」が最も多くなっています。

#### ●全体



#### ●障害種別

	調査数	施設を退所して家族と暮らしたい	施設を退所してひとりで暮らしたい	施設を退所してグループホームなどで生活したい	現在入所している施設で生活したい	高齢者の入所施設で生活したい(特別養護老人ホームなど)	わからない	その他	無回答
全 体	568	74	14	26	279	21	138	6	10
	100.0	13.0	2.5	4.6	49.1	3.7	24.3	1.1	1.8
身体障害	246	43	9	6	120	11	48	3	6
	100.0	17.5	3.7	2.4	48.8	4.5	19.5	1.2	2.4
知的障害	409	39	3	22	209	16	111	1	8
	100.0	9.5	0.7	5.4	51.1	3.9	27.1	0.2	2.0
精神障害	34	4	1	2	16	-	10	-	1
	100.0	11.8	2.9	5.9	47.1	-	29.4	-	2.9
難病	43	7	-	2	24	1	8	1	-
	100.0	16.3	-	4.7	55.8	2.3	18.6	2.3	-
無回答	12	1	1	-	3	-	6	1	-
	100.0	8.3	8.3	-	25.0	-	50.0	8.3	-

## ●年齢別

	調査数	施設を退所して家族と暮らししたい	施設を退所してひとり暮らしをしたい	施設を退所してグループホームなどで生活したい	現在入所している施設で生活したい	高齢者の入所施設で生活したい(特別養護老人ホームなど)	わからない	その他	無回答
18～29歳	59 100.0	6 10.2	3 5.1	5 8.5	23 39.0	1 1.7	17 28.8	2 3.4	2 3.4
30～39歳	115 100.0	14 12.2	1 0.9	4 3.5	60 52.2	1 0.9	33 28.7	－	2 1.7
40～49歳	212 100.0	32 15.1	4 1.9	13 6.1	111 52.4	6 2.8	44 20.8	1 0.5	1 0.5
50～59歳	89 100.0	10 11.2	1 1.1	3 3.4	42 47.2	6 6.7	23 25.8	1 1.1	3 3.4
60～64歳	25 100.0	2 8.0	1 4.0	1 4.0	14 56.0	3 12.0	4 16.0	－	－
65～69歳	29 100.0	7 24.1	2 6.9	－	11 37.9	－	6 20.7	1 3.4	2 6.9
70～75歳	12 100.0	2 16.7	1 8.3	－	5 41.7	2 16.7	2 16.7	－	－
75歳以上	21 100.0	1 4.8	1 4.8	－	11 52.4	2 9.5	5 23.8	1 4.8	－
無回答	6 100.0	－	－	－	2 33.3	－	4 66.7	－	－

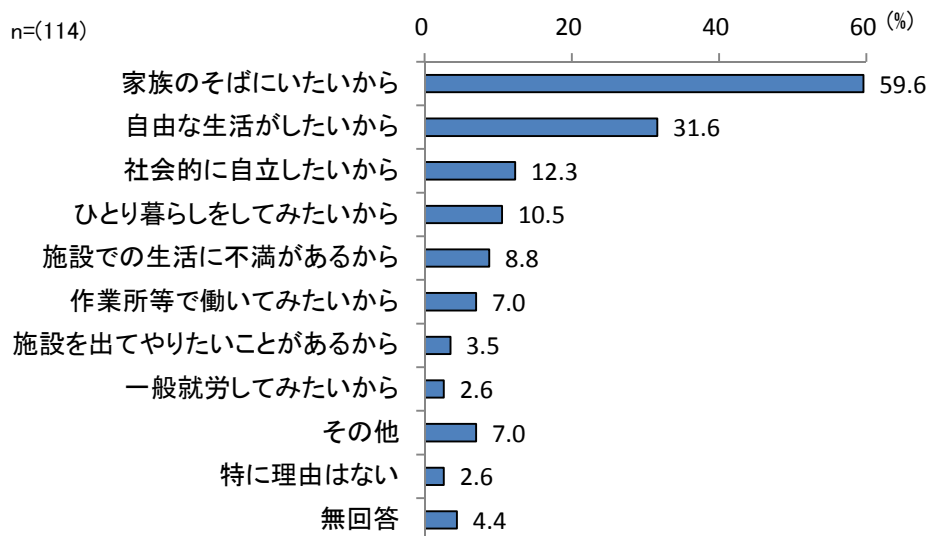
## (2) 施設を退所したい理由

問 27 【問 26 で将来は施設を退所したい（1～3 番）に○をつけた方におたずねします。】  
施設を退所したい理由は何ですか。（○はいくつでも）

全体では「家族のそばにいたいから」が 59.6%で最も多く、次いで「自由な生活がしたいから」が 31.6%となっています。

障害種別でみると、身体障害のある方では、「家族のそばにいたいから」、「自由な生活がしたいから」が他の障害のある方より多くなっています。

## ●全体



## ●障害種別

	調査数	家族のそばにいたいから	ひとり暮らしをしてみたいから	自由な生活がしたいから	社会的に自立したいから	施設を出てやりたいことがあるから	一般就労してみたいから	作業所等で働いてみたいから	施設での生活に不満があるから	特に理由はない	その他	無回答
全 体	114 100.0	68 59.6	12 10.5	36 31.6	14 12.3	4 3.5	3 2.6	8 7.0	10 8.8	3 2.6	8 7.0	5 4.4
身体障害	58 100.0	41 70.7	5 8.6	22 37.9	8 13.8	3 5.2	1 1.7	3 5.2	6 10.3	-	2 3.4	-
知的障害	64 100.0	36 56.3	5 7.8	13 20.3	8 12.5	1 1.6	2 3.1	5 7.8	4 6.3	2 3.1	8 12.5	4 6.3
精神障害	7 100.0	3 42.9	1 14.3	1 14.3	-	-	-	-	-	1 14.3	1 14.3	1 14.3
難病	9 100.0	6 66.7	-	2 22.2	2 22.2	-	-	2 22.2	2 22.2	-	-	1 11.1
無回答	2 100.0	1 50.0	1 50.0	1 50.0	-	-	-	-	-	-	-	-

### (3) 施設で暮らしたい理由

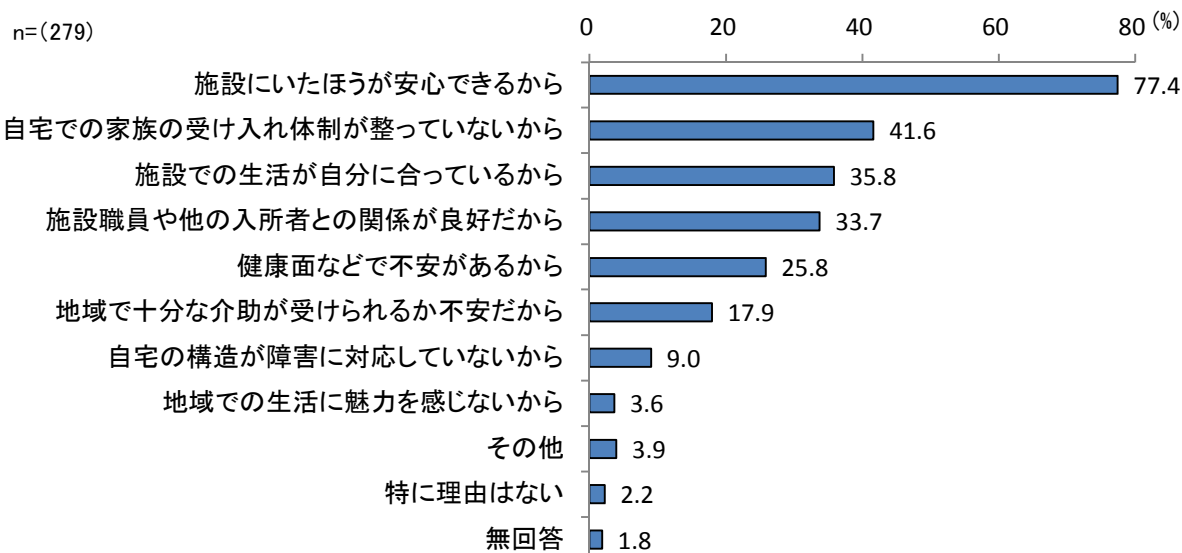
問 28 【問 26 で引き続き施設で生活したい（4 番）に○をつけた方におたずねします。】

今の施設での生活を続けたい理由は何ですか。（○はいくつでも）

全体では「施設にいたほうが安心できるから」が 77.4%で最も多く、以下「自宅での家族の受け入れ体制が整っていないから」が 41.6%、「施設での生活が自分に合っているから」が 35.8%、「施設職員や他の入所者との関係が良好だから」が 33.7%となっています。

障害種別でみると、精神障害のある方では「自宅での家族の受け入れ体制が整っていない」が、他の障害のある方より多くなっています。

## ●全体





## ●障害種別

	調査数	施設にいた ほうが安心で きるから	施設での生 活が自分に 合っているか ら	施設職員や 他の入所者 との関係が 良好だから	健康面など で不安があ るから	自宅での家 族の受け入 れ体制が 整っていない から	自宅の構造 が障害に対 応していない から	地域で十分 な介助が受 けられるか不 安だから	地域での生 活に魅力を感じないから	特に理由は ない	その他	無回答
全 体	279 100.0	216 77.4	100 35.8	94 33.7	72 25.8	116 41.6	25 9.0	50 17.9	10 3.6	6 2.2	11 3.9	5 1.8
身体障害	120 100.0	92 76.7	41 34.2	35 29.2	36 30.0	41 34.2	15 12.5	12 10.0	2 1.7	4 3.3	4 3.3	3 2.5
知的障害	209 100.0	157 75.1	78 37.3	73 34.9	50 23.9	89 42.6	16 7.7	45 21.5	9 4.3	5 2.4	8 3.8	4 1.9
精神障害	16 100.0	10 62.5	6 37.5	6 37.5	6 37.5	9 56.3	1 6.3	2 12.5	- -	- -	1 6.3	1 6.3
難病	24 100.0	19 79.2	8 33.3	13 54.2	8 33.3	11 45.8	2 8.3	5 20.8	3 12.5	- -	2 8.3	- -
無回答	3 100.0	2 66.7	1 33.3	3 100.0	- -	3 100.0	1 33.3	- -	- -	- -	- -	- -

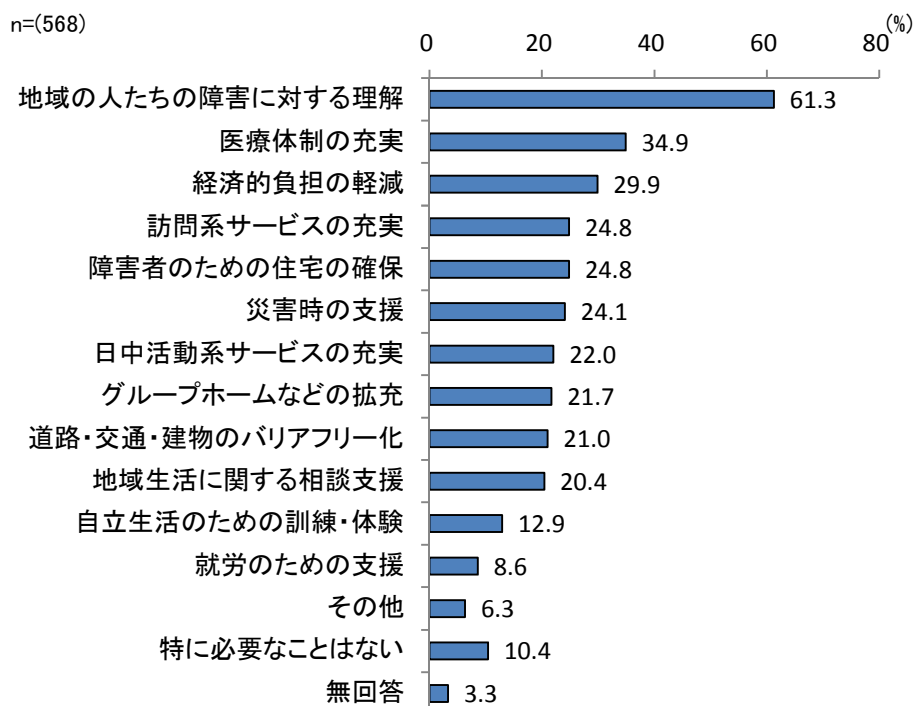
### (4) 地域で生活するために必要なこと

問 29 【全ての方におたずねします。】あなたは、障害のある人が地域で生活していくためには何が必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

全体では、「地域の人たちの障害に対する理解」が61.3%で最も多く、以下「医療体制の充実」が34.9%、「経済的負担の軽減」が29.9%となっています。

障害種別でみると、精神障害のある方では、「医療体制の充実」、「障害者のための住宅の確保」が他の障害のある方より多くなっています。

## ●全体



## ●障害種別

	調査数	地域の人たちの障害に対する理解	地域生活に関する相談支援	訪問系サービスの充実	日中活動系サービスの充実	自立生活のための訓練・体験	グループホームなどの拡充	障害者のための住宅の確保	医療体制の充実	就労のための支援	災害時の支援
全 体	568 100.0	348 61.3	116 20.4	141 24.8	125 22.0	73 12.9	123 21.7	141 24.8	198 34.9	49 8.6	137 24.1
身体障害	246 100.0	144 58.5	56 22.8	83 33.7	51 20.7	34 13.8	46 18.7	58 23.6	97 39.4	21 8.5	54 22.0
知的障害	409 100.0	262 64.1	78 19.1	87 21.3	95 23.2	49 12.0	103 25.2	108 26.4	143 35.0	35 8.6	107 26.2
精神障害	34 100.0	22 64.7	10 29.4	9 26.5	7 20.6	8 23.5	6 17.6	19 55.9	16 47.1	5 14.7	12 35.3
難病	43 100.0	24 55.8	15 34.9	12 27.9	7 16.3	9 20.9	11 25.6	10 23.3	17 39.5	5 11.6	16 37.2
無回答	12 100.0	3 25.0	1 8.3	1 8.3	2 16.7	2 16.7	1 8.3	3 25.0	2 16.7	- -	1 8.3

	調査数	道路・交通・建物のバリアフリー化	経済的負担の軽減	特に必要はない	その他	無回答
全 体	568 100.0	119 21.0	170 29.9	59 10.4	36 6.3	19 3.3
身体障害	246 100.0	78 31.7	74 30.1	17 6.9	9 3.7	10 4.1
知的障害	409 100.0	76 18.6	136 33.3	42 10.3	32 7.8	11 2.7
精神障害	34 100.0	12 35.3	9 26.5	2 5.9	3 8.8	- -
難病	43 100.0	13 30.2	17 39.5	3 7.0	3 7.0	1 2.3
無回答	12 100.0	1 8.3	2 16.7	3 25.0	1 8.3	2 16.7

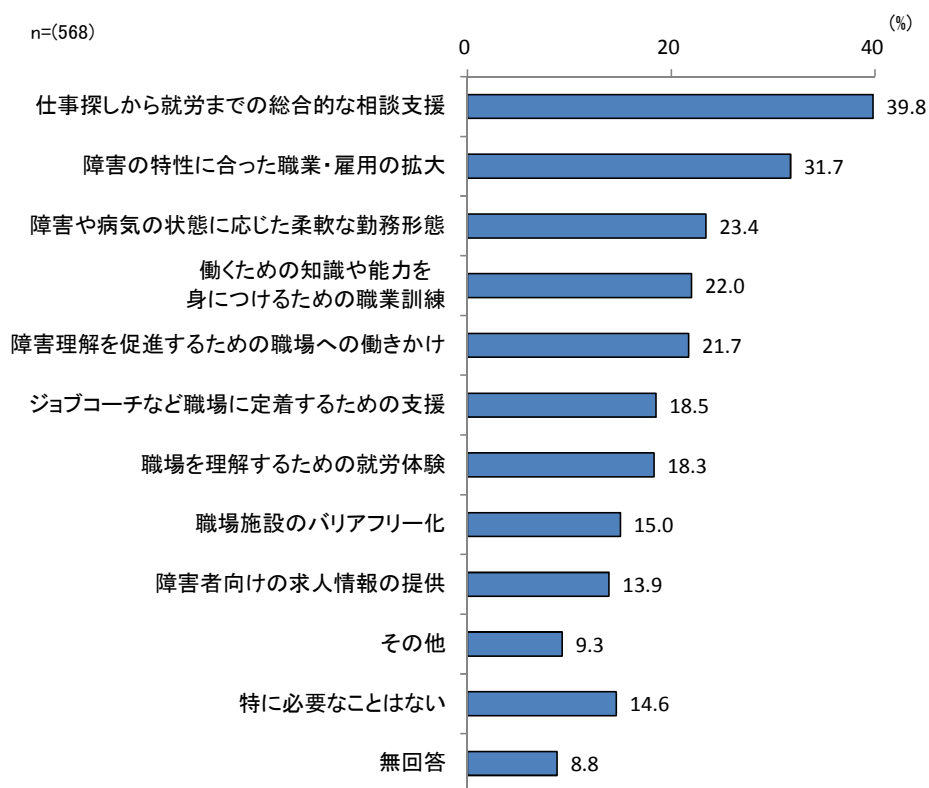
#### (5) 一般就労のために必要な支援

問 30 あなたは、障害のある人が企業などで一般就労するためには、どのような支援が必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

全体では、「仕事探しから就労までの総合的な相談支援」が39.8%で最も多く、以下「障害の特性に合った職業・雇用の拡大」が31.7%、「障害や病気の状態に応じた柔軟な勤務形態」が23.4%、「働くための知識や能力を身につけるための職業訓練」が22.0%となっています。

障害種別でみると、知的障害のある方、難病のある方では「障害の特性に合った職業・雇用の拡大」が他の障害のある方より多くなっています。

#### ●全体



## ●障害種別

	調査数	仕事探しから就労までの総合的な相談支援	働くための知識や能力を身につけるための職業訓練	職場を理解するための就労体験	障害の特性に合った職業・雇用の拡大	障害者向けの求人情報の提供	障害理解を促進するための職場への働きかけ	職場施設のバリアフリー化	障害や病気の状態に応じた柔軟な勤務形態	ジョブコーチなど職場に定着するための支援
全 体	568 100.0	226 39.8	125 22.0	104 18.3	180 31.7	79 13.9	123 21.7	85 15.0	133 23.4	105 18.5
身体障害	246 100.0	102 41.5	61 24.8	44 17.9	71 28.9	43 17.5	50 20.3	53 21.5	49 19.9	37 15.0
知的障害	409 100.0	154 37.7	80 19.6	76 18.6	144 35.2	48 11.7	94 23.0	53 13.0	102 24.9	85 20.8
精神障害	34 100.0	13 38.2	6 17.6	8 23.5	8 23.5	3 8.8	4 11.8	3 8.8	9 26.5	7 20.6
難病	43 100.0	19 44.2	14 32.6	6 14.0	16 37.2	9 20.9	12 27.9	7 16.3	13 30.2	7 16.3
無回答	12 100.0	3 25.0	3 25.0	3 25.0	1 8.3	1 8.3	－ －	2 16.7	5 41.7	3 25.0

	調査数	特に必要はない	その他	無回答
全 体	568 100.0	83 14.6	53 9.3	50 8.8
身体障害	246 100.0	27 11.0	16 6.5	25 10.2
知的障害	409 100.0	60 14.7	45 11.0	40 9.8
精神障害	34 100.0	3 8.8	4 11.8	4 11.8
難病	43 100.0	5 11.6	2 4.7	2 4.7
無回答	12 100.0	3 25.0	1 8.3	1 8.3

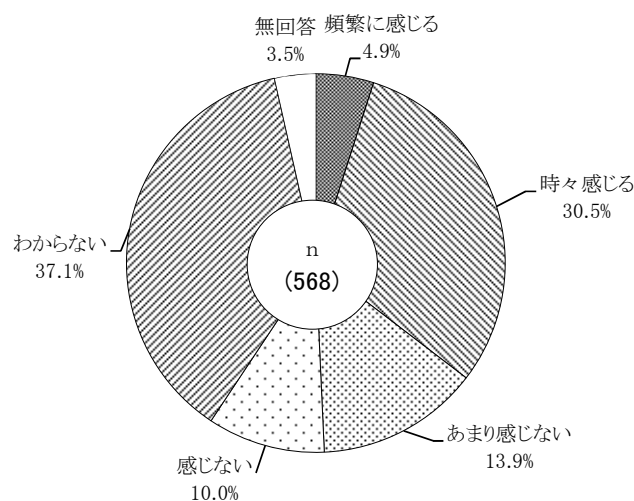
## 7. 障害のある人に対する理解度

### (1) 日常生活の中で感じる差別の有無

問 31 あなたは、ふだんの生活のなかで、差別を感じるがありますか。(○は 1 つ)

全体では、「頻繁に感じる」が 4.9%、「時々感じる」が 30.5%となっています。一方、「あまり感じない」は 13.9%、「感じない」は 10.0%となっています。

#### ●全体



#### ●障害種別

	調査数	頻繁に感じる	時々感じる	あまり感じない	感じない	わからない	無回答
全 体	568	28	173	79	57	211	20
	100.0	4.9	30.5	13.9	10.0	37.1	3.5
身体障害	246	8	81	38	33	78	8
	100.0	3.3	32.9	15.4	13.4	31.7	3.3
知的障害	409	23	122	52	29	167	16
	100.0	5.6	29.8	12.7	7.1	40.8	3.9
精神障害	34	2	6	7	4	14	1
	100.0	5.9	17.6	20.6	11.8	41.2	2.9
難病	43	5	12	6	6	12	2
	100.0	11.6	27.9	14.0	14.0	27.9	4.7
無回答	12	-	4	1	4	3	-
	100.0	-	33.3	8.3	33.3	25.0	-

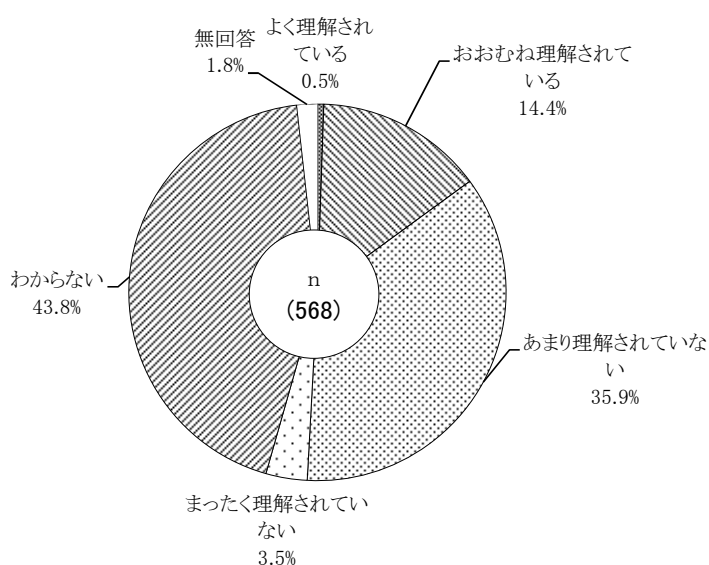
## (2) 障害のある人に対する市民の理解度

問 32 あなたは、障害のある人に対する市民の理解が、どの程度あると感じていますか。(〇は 1 つ)

全体では、「よく理解されている」が 0.5%、「おおむね理解されている」が 14.4%となっています。一方、「あまり理解されていない」は 35.9%、「まったく理解されていない」は 3.5%となっています。

障害種別でみると、精神障害のある方では、「おおむね理解されている」が、他の障害のある方より多くなっています。

### ●全体



### ●障害種別

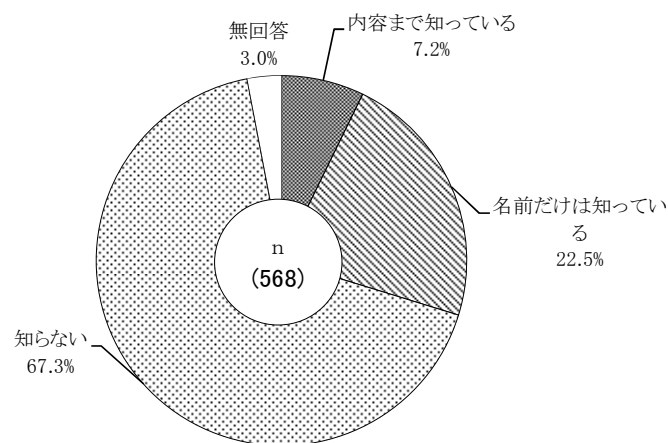
	調査数	よく理解されている	おおむね理解されている	あまり理解されていない	まったく理解されていない	わからない	無回答
全 体	568	3	82	204	20	249	10
	100.0	0.5	14.4	35.9	3.5	43.8	1.8
身体障害	246	2	48	81	6	103	6
	100.0	0.8	19.5	32.9	2.4	41.9	2.4
知的障害	409	2	51	150	17	182	7
	100.0	0.5	12.5	36.7	4.2	44.5	1.7
精神障害	34	—	7	8	—	19	—
	100.0	—	20.6	23.5	—	55.9	—
難病	43	—	7	19	3	14	—
	100.0	—	16.3	44.2	7.0	32.6	—
無回答	12	—	2	4	—	6	—
	100.0	—	16.7	33.3	—	50.0	—

### (3) 障害者差別解消法の認知

問 33 障害者への差別をなくすことを目的として、平成 28 年 4 月 1 日に「障害者差別解消法」が施行されましたが、このことを知っていますか。(〇は 1 つ)

全体では、「内容まで知っている」が 7.2%、「名前だけは知っている」が 22.5%となっています。一方、「知らない」が 67.3%となっています。

#### ●全体



#### ●障害種別

	調査数	内容まで知っている	名前だけは知っている	知らない	無回答
全 体	568	41	128	382	17
	100.0	7.2	22.5	67.3	3.0
身体障害	246	23	69	144	10
	100.0	9.3	28.0	58.5	4.1
知的障害	409	27	81	288	13
	100.0	6.6	19.8	70.4	3.2
精神障害	34	3	2	27	2
	100.0	8.8	5.9	79.4	5.9
難病	43	5	11	26	1
	100.0	11.6	25.6	60.5	2.3
無回答	12	1	2	9	-
	100.0	8.3	16.7	75.0	-

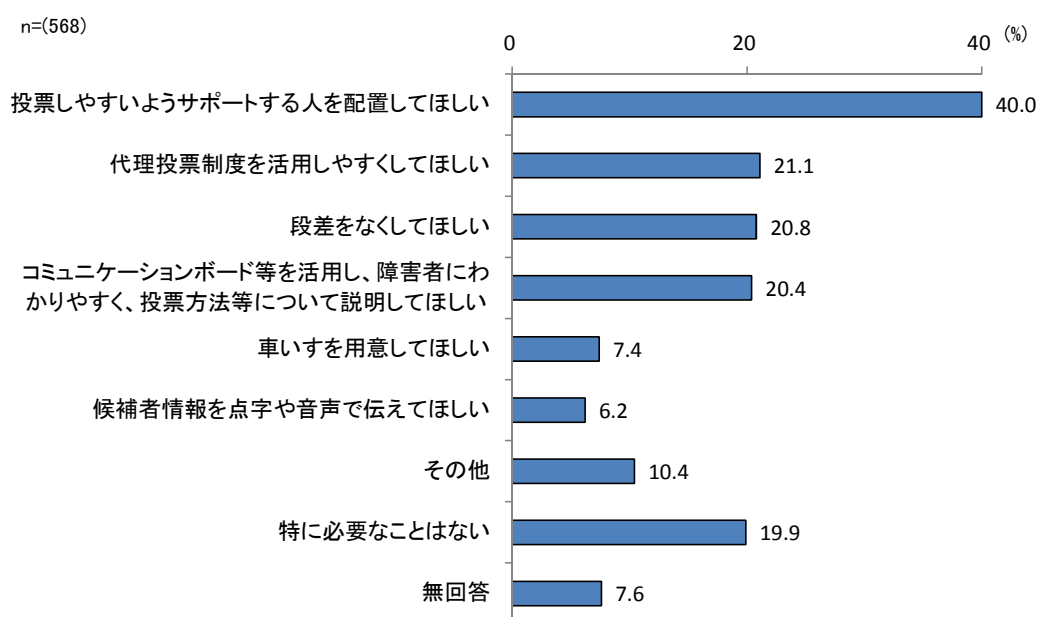
#### (4) 障害者が選挙の投票をしやすくするために必要なこと

問 34 あなたは、障害者が選挙の投票をしやすくするために、投票所に何が必要だと思えますか。(〇はいくつでも)

全体では、「投票しやすいようサポートする人を配置してほしい」が40.0%で最も多く、以下「代理投票制度を活用しやすくしてほしい」が21.1%、「段差をなくしてほしい」が20.8%となっています。

障害種別でみると、身体障害のある方では「段差をなくしてほしい」が、他の障害のある方に比べて多くなっています。

#### ●全体



#### ●障害種別

	調査数	候補者情報を点字や音声で伝えてほしい	段差をなくしてほしい	車いすを用意してほしい	投票しやすいようサポートする人を配置してほしい	代理投票制度を活用しやすくしてほしい	コミュニケーションボード等を活用し、障害者にわかりやすく、投票方法等について説明してほしい	特に必要なことはない	その他	無回答
全 体	568	35	118	42	227	120	116	113	59	43
	100.0	6.2	20.8	7.4	40.0	21.1	20.4	19.9	10.4	7.6
身体障害	246	20	82	18	104	57	60	34	12	23
	100.0	8.1	33.3	7.3	42.3	23.2	24.4	13.8	4.9	9.3
知的障害	409	24	60	32	159	79	79	84	53	33
	100.0	5.9	14.7	7.8	38.9	19.3	19.3	20.5	13.0	8.1
精神障害	34	1	9	5	12	7	8	8	4	4
	100.0	2.9	26.5	14.7	35.3	20.6	23.5	23.5	11.8	11.8
難病	43	2	5	1	17	13	7	5	7	5
	100.0	4.7	11.6	2.3	39.5	30.2	16.3	11.6	16.3	11.6
無回答	12	-	3	-	4	3	-	5	1	1
	100.0	-	25.0	-	33.3	25.0	-	41.7	8.3	8.3



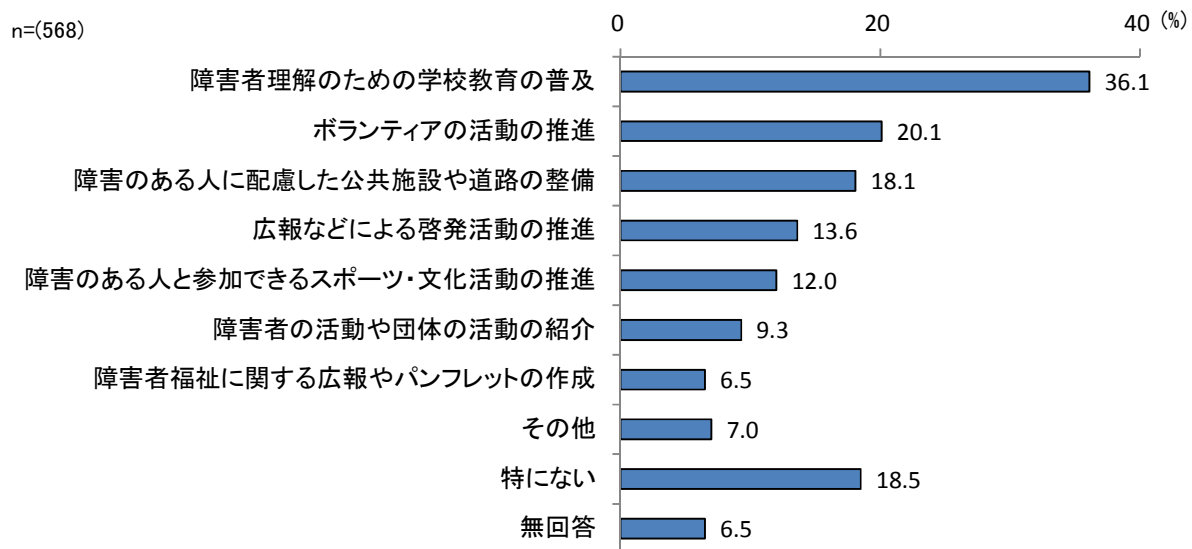
## (5) 障害者理解のため、行政に取り組んでもらいたいこと

問 35 あなたは、障害者に対する理解をより深めるために、どのようなことを行政に取り組んでもらいたいですか。(〇は2つまで)

全体では、「障害者理解のための学校教育の普及」が36.1%で最も多く、以下「ボランティアの活動の推進」が20.1%、「障害のある人に配慮した公共施設や道路の整備」が18.1%となっています。

障害種別でみると、精神障害のある方では、「ボランティアの活動の推進」が多くなっています。

### ●全体



### ●障害種別

	調査数	障害者理解のための学校教育の普及	広報などによる啓発活動の推進	障害者の活動や団体の活動の紹介	ボランティアの活動の推進	障害のある人と参加できるスポーツ・文化活動の推進	障害のある人に配慮した公共施設や道路の整備	障害者福祉に関する広報やパンフレットの作成	特にない	その他	無回答
全 体	568	205	77	53	114	68	103	37	105	40	37
	100.0	36.1	13.6	9.3	20.1	12.0	18.1	6.5	18.5	7.0	6.5
身体障害	246	84	43	21	47	29	49	26	39	8	21
	100.0	34.1	17.5	8.5	19.1	11.8	19.9	10.6	15.9	3.3	8.5
知的障害	409	160	51	42	85	52	68	15	71	37	26
	100.0	39.1	12.5	10.3	20.8	12.7	16.6	3.7	17.4	9.0	6.4
精神障害	34	15	6	2	11	3	3	1	6	2	3
	100.0	44.1	17.6	5.9	32.4	8.8	8.8	2.9	17.6	5.9	8.8
難病	43	21	6	5	13	6	10	3	7	1	-
	100.0	48.8	14.0	11.6	30.2	14.0	23.3	7.0	16.3	2.3	-
無回答	12	-	1	-	2	2	5	-	4	1	1
	100.0	-	8.3	-	16.7	16.7	41.7	-	33.3	8.3	8.3

## (6) 障害者理解のため、企業に取り組んでもらいたいこと

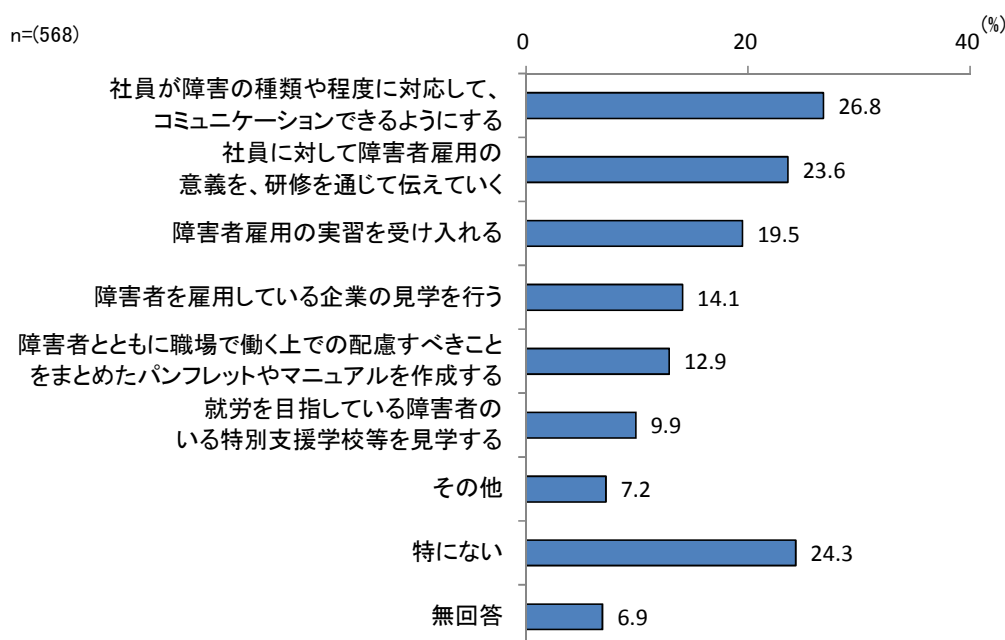
問 36 あなたは、障害者に対する理解をより深めるために、どのようなことを企業に取り組んでもらいたいですか。(〇は2つまで)

全体では、「社員が障害の種類や程度に対応して、コミュニケーションできるようにする」が26.8%で最も多く、以下「社員に対して障害者雇用の意義を、研修を通じて伝えていく」が23.6%、「障害者雇用の実習を受け入れる」が19.5%となっています。

障害種別でみると、身体障害のある方では、「社員が障害の種類や程度に対応して、コミュニケーションできるようにする」が、他の障害のある方より多くなっています。

一方、精神障害のある方では、「障害者雇用の実習を受け入れる」が多くなっています。

### ●全体



### ●障害種別

	調査数	社員に対して障害者雇用の意義を、研修を通じて伝えていく	就労を目指している障害者のいる特別支援学校等を見学する	障害者を雇用している企業の見学を行う	障害者雇用の実習を受け入れる	社員が障害の種類や程度に対応して、コミュニケーションできるようにする	障害者とともに職場で働く上での配慮すべきことをまとめたパンフレットやマニュアルを作成する	特にない	その他	無回答
全 体	568 100.0	134 23.6	56 9.9	80 14.1	111 19.5	152 26.8	73 12.9	138 24.3	41 7.2	39 6.9
身体障害	246 100.0	64 26.0	21 8.5	35 14.2	47 19.1	77 31.3	31 12.6	61 24.8	14 5.7	15 6.1
知的障害	409 100.0	94 23.0	43 10.5	60 14.7	88 21.5	100 24.4	52 12.7	92 22.5	33 8.1	31 7.6
精神障害	34 100.0	6 17.6	5 14.7	3 8.8	10 29.4	8 23.5	4 11.8	10 29.4	1 2.9	2 5.9
難病	43 100.0	19 44.2	3 7.0	14 32.6	12 27.9	6 14.0	4 9.3	9 20.9	1 2.3	1 2.3
無回答	12 100.0	2 16.7	1 8.3	2 16.7	1 8.3	2 16.7	1 8.3	5 41.7	1 8.3	1 8.3

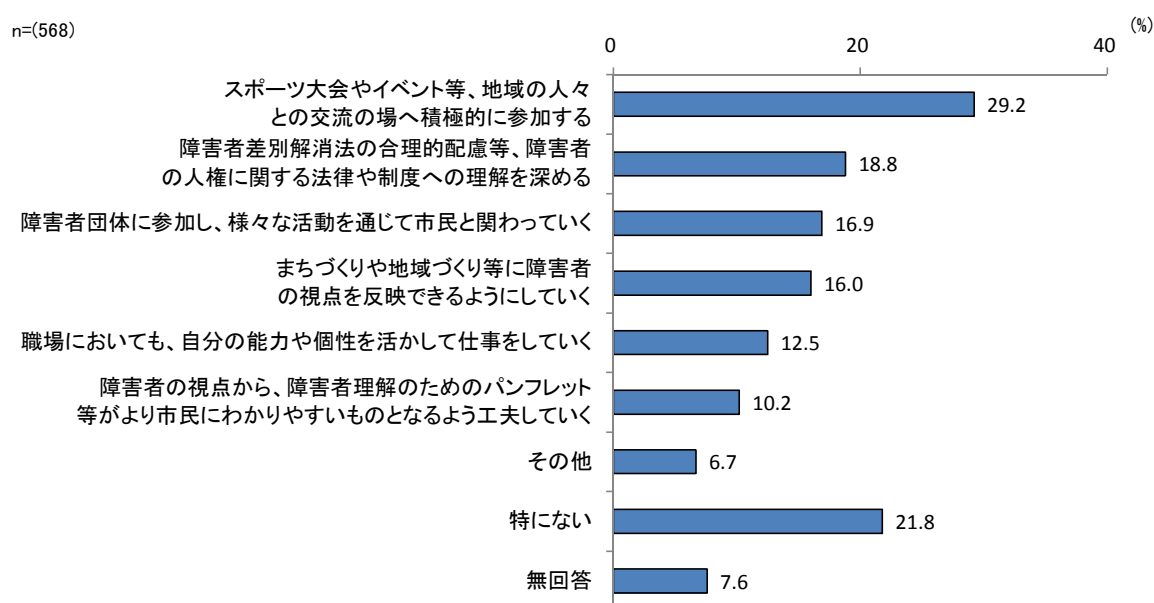
## (7) 障害者理解のため、障害者自身が取り組むべきこと

問 37 障害者への理解を深めるために、障害者自身がどのような取り組みをしていく必要があると思いますか。(○は2つまで)

全体では、「スポーツ大会やイベント等、地域の人々との交流の場へ積極的に参加する」が29.2%で最も多く、次いで「障害者差別解消法の合理的配慮等、障害者の人権に関する法律や制度への理解を深める」が18.8%となっています。

障害種別でみると、身体障害のある方では、「障害者差別解消法の合理的配慮等、障害者の人権に関する法律や制度への理解を深める」が、他の障害のある方より多くなっています。

### ●全体



### ●障害種別

	調査数	障害者差別解消法の合理的配慮等、障害者の人権に関する法律や制度への理解を深める	スポーツ大会やイベント等、地域の人々との交流の場へ積極的に参加する	まちづくりや地域づくり等に障害者の視点を反映できるようにしていく	障害者団体に参加し、様々な活動を通じて市民と関わっていく	障害者の視点から、障害者理解のためのパンフレット等がより市民にわかりやすいものとなるよう工夫していく	職場においても、自分の能力や個性を活かして仕事をしていく	特にない	その他	無回答
全 体	568	107	166	91	96	58	71	124	38	43
	100.0	18.8	29.2	16.0	16.9	10.2	12.5	21.8	6.7	7.6
身体障害	246	61	70	42	38	31	24	49	13	18
	100.0	24.8	28.5	17.1	15.4	12.6	9.8	19.9	5.3	7.3
知的障害	409	65	125	68	71	35	57	87	31	33
	100.0	15.9	30.6	16.6	17.4	8.6	13.9	21.3	7.6	8.1
精神障害	34	5	7	7	5	5	6	8	2	1
	100.0	14.7	20.6	20.6	14.7	14.7	17.6	23.5	5.9	2.9
難病	43	7	15	10	12	4	5	8	1	4
	100.0	16.3	34.9	23.3	27.9	9.3	11.6	18.6	2.3	9.3
無回答	12	-	3	1	2	2	-	5	1	1
	100.0	-	25.0	8.3	16.7	16.7	-	41.7	8.3	8.3

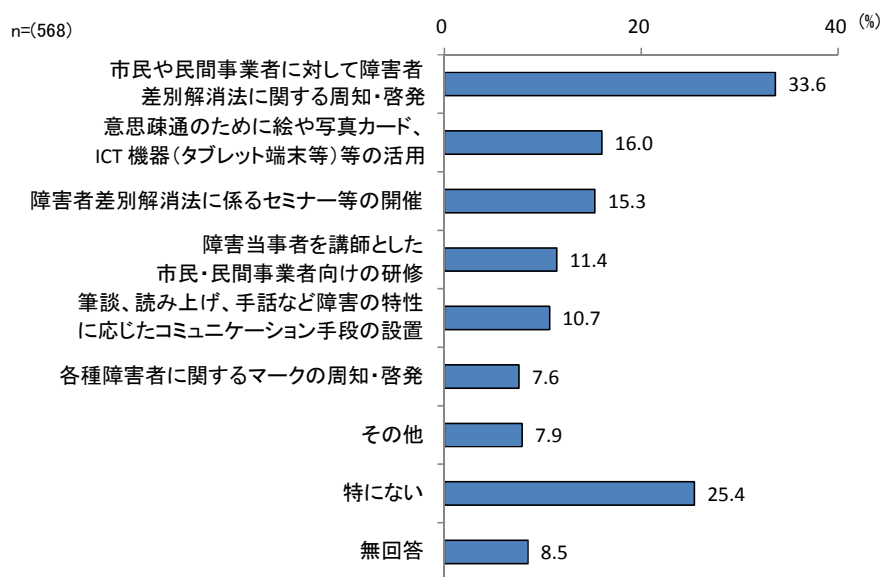
(8) 社会的障壁の除去に向けて合理的配慮を進めていくために必要なこと

問 38 社会的障壁の除去に向けて、合理的配慮を進めていくために必要なことは何だと思われますか。(〇は2つまで)

全体では、「市民や民間事業者に対して障害者差別解消法に関する周知・啓発」が 33.6%で最も多く、以下「意思疎通のために絵や写真カード、ICT 機器(タブレット端末等)等の活用」が 16.0%、「障害者差別解消法に係るセミナー等の開催」が 15.3%となっています。

障害種別でみると、精神障害のある方では、「障害者差別解消法に係るセミナー等の開催」が、他の障害のある方より多くなっています。

●全体



●障害種別

	調査数	市民や民間事業者に対して障害者差別解消法に関する周知・啓発	障害者差別解消法に係るセミナー等の開催	障害当事者を講師とした市民・民間事業者向けの研修	筆談、読み上げ、手話など障害の特性に応じたコミュニケーション手段の設置	意思疎通のために絵や写真カード、ICT 機器(タブレット端末等)等の活用	各種障害者に関するマークの周知・啓発	特にない	その他	無回答
全 体	568	191	87	65	61	91	43	144	45	48
	100.0	33.6	15.3	11.4	10.7	16.0	7.6	25.4	7.9	8.5
身体障害	246	78	38	28	32	43	19	66	12	21
	100.0	31.7	15.4	11.4	13.0	17.5	7.7	26.8	4.9	8.5
知的障害	409	150	63	46	41	66	30	92	39	36
	100.0	36.7	15.4	11.2	10.0	16.1	7.3	22.5	9.5	8.8
精神障害	34	11	8	6	2	5	-	10	3	3
	100.0	32.4	23.5	17.6	5.9	14.7	-	29.4	8.8	8.8
難病	43	16	3	5	9	10	6	8	2	2
	100.0	37.2	7.0	11.6	20.9	23.3	14.0	18.6	4.7	4.7
無回答	12	1	-	2	2	-	-	6	1	2
	100.0	8.3	-	16.7	16.7	-	-	50.0	8.3	16.7

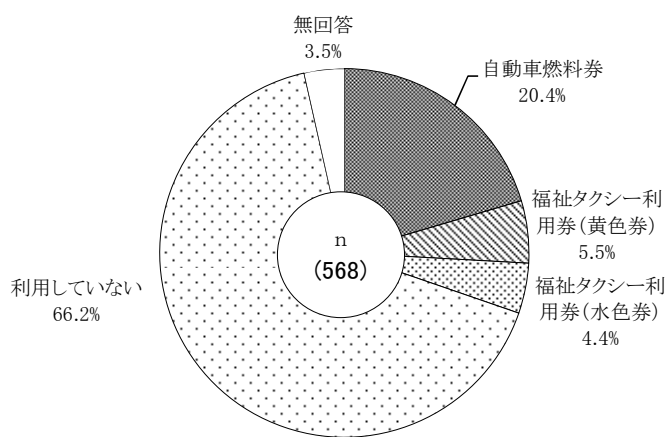
## 8. サービス利用について

### (1) 福祉タクシー利用券・自動車燃料券の利用状況

問 39 あなたは、福祉タクシー利用券や自動車燃料券を利用していますか。利用している方は、その種類（券の色）もお答えください。（〇は1つ）

全体では、「自動車燃料券」が20.4%、次いで「福祉タクシー利用券（黄色券）」が5.5%となっています。

#### ●全体



#### ●障害種別

	調査数	福祉タクシー利用券(黄色券)	福祉タクシー利用券(水色券)	自動車燃料券	利用していない	無回答
全 体	568	31	25	116	376	20
	100.0	5.5	4.4	20.4	66.2	3.5
身体障害	246	10	24	41	160	11
	100.0	4.1	9.8	16.7	65.0	4.5
知的障害	409	23	2	97	272	15
	100.0	5.6	0.5	23.7	66.5	3.7
精神障害	34	2	-	3	29	-
	100.0	5.9	-	8.8	85.3	-
難病	43	3	1	17	20	2
	100.0	7.0	2.3	39.5	46.5	4.7
無回答	12	-	-	1	11	-
	100.0	-	-	8.3	91.7	-

## (2) 福祉タクシー利用券・自動車燃料券の主な使い道

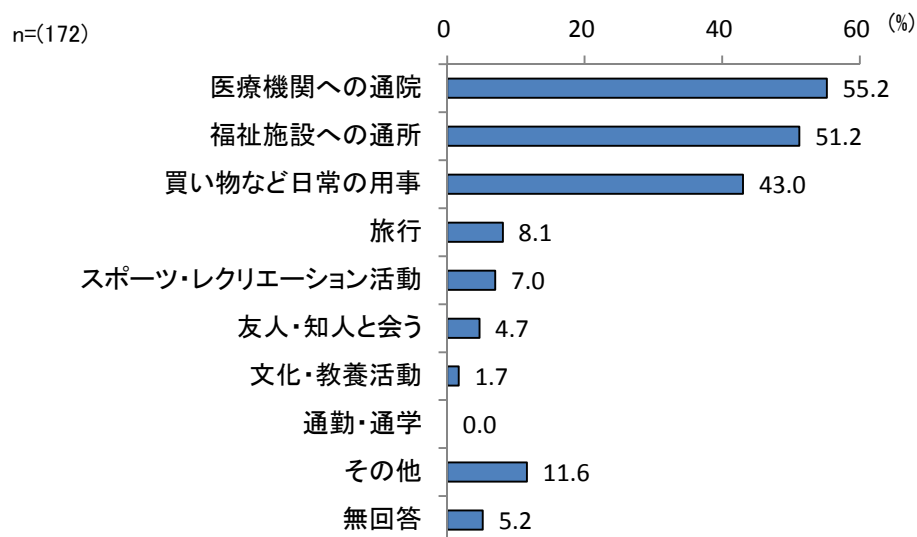
問 40 【問 39 でいずれかの券を利用している（1～3 番）と回答した方にお聞きします】  
福祉タクシー利用券・自動車燃料券の主な使い道は何ですか。（〇はいくつでも）

全体では、「医療機関への通院」が 55.2%、「福祉施設への通所」が 51.2% と、いずれも 5 割を超えています。また、「買い物など日常の用事」も 43.0%と多くなっています。

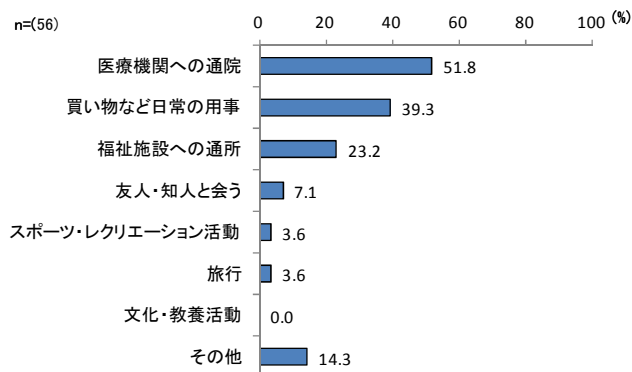
障害種別でみると、知的障害のある方では「福祉施設への通所」が、他の障害のある方より多くなっています。

福祉タクシー券では、「医療機関への通院」、「買い物など日常の用事」、「福祉施設への通所」の順で多いのに対して、自動車燃料券では、「福祉施設への通所」、「医療機関への通院」、「買い物など日常の用事」の順で多くなっています。

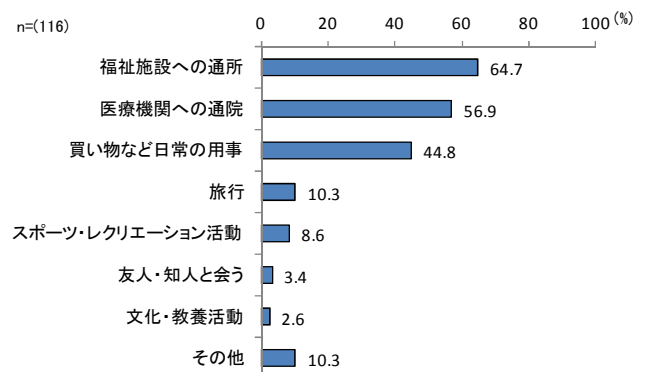
### ●全体



### A. 福祉タクシーの主な使い道



### B. 自動車燃料券の主な使い道



## ●障害種別

### A. 福祉タクシーの主な使い道

	調査数	通勤・通学	福祉施設への通所	医療機関への通院	買い物などの日常の用事	文化・教養活動	スポーツ・レクリエーション活動	旅行	友人・知人との会う	その他
全 体	56 100.0	- -	13 23.2	29 51.8	22 39.3	- -	2 3.6	2 3.6	4 7.1	8 14.3
身体障害	34 100.0	- -	2 5.9	20 58.8	16 47.1	- -	1 2.9	1 2.9	3 8.8	3 8.8
知的障害	25 100.0	- -	12 48.0	11 44.0	7 28.0	- -	1 4.0	1 4.0	1 4.0	6 24.0
精神障害	2 100.0	- -	1 50.0	1 50.0	- -	- -	- -	- -	- -	1 50.0
難病	2 100.0	- -	- -	2 100.0	1 50.0	- -	1 50.0	- -	- -	- -

### B. 自動車燃料券の主な使い道

	調査数	通勤・通学	福祉施設への通所	医療機関への通院	買い物などの日常の用事	文化・教養活動	スポーツ・レクリエーション活動	旅行	友人・知人との会う	その他
全 体	116 100.0	- -	75 64.7	66 56.9	52 44.8	3 2.6	10 8.6	12 10.3	4 3.4	12 10.3
身体障害	41 100.0	- -	19 46.3	24 58.5	18 43.9	1 2.4	6 14.6	4 9.8	3 7.3	2 4.9
知的障害	97 100.0	- -	65 67.0	58 59.8	43 44.3	3 3.1	9 9.3	10 10.3	1 1.0	11 11.3
精神障害	3 100.0	- -	2 66.7	3 100.0	2 66.7	- -	- -	- -	1 33.3	1 33.3
難病	19 100.0	- -	10 52.6	13 68.4	9 47.4	1 5.3	2 10.5	2 10.5	1 5.3	3 15.8

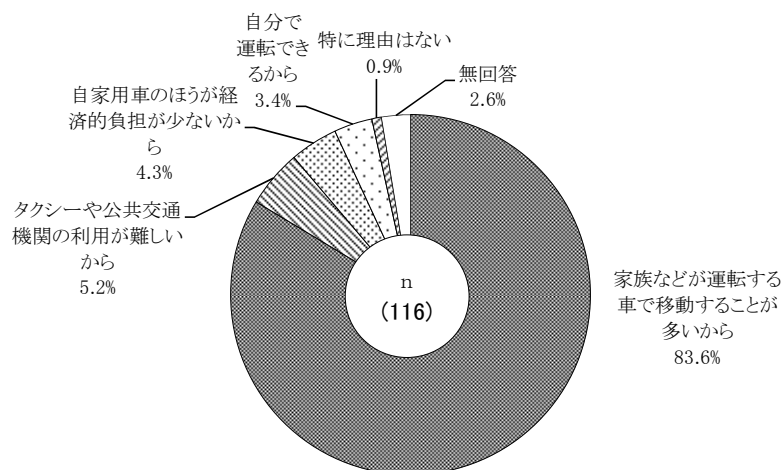
### (3) 自動車燃料券を選ぶ理由

問 41 【問 39 で自動車燃料券を利用している（3番）と回答した方にお聞きします。】

福祉タクシー利用券ではなく、自動車燃料券を選んでいる理由は何ですか。（〇は1つ）

全体では、「家族などが運転する車で移動することが多いから」が83.6%で最も多くなっています。

#### ●全体



#### ●障害種別

	調査数	自分で運転できるから	家族などが運転する車で移動することが多いから	タクシーや公共交通機関の利用が難しいから	自家用車のほうが経済的負担が少ないから	特に理由はない	その他	無回答
全 体	116	4	97	6	5	1	-	3
	100.0	3.4	83.6	5.2	4.3	0.9	-	2.6
身体障害	41	1	35	1	3	1	-	-
	100.0	2.4	85.4	2.4	7.3	2.4	-	-
知的障害	97	4	80	6	4	-	-	3
	100.0	4.1	82.5	6.2	4.1	-	-	3.1
精神障害	3	1	2	-	-	-	-	-
	100.0	33.3	66.7	-	-	-	-	-
難病	17	2	13	1	-	-	-	1
	100.0	11.8	76.5	5.9	-	-	-	5.9
無回答	1	-	1	-	-	-	-	-
	100.0	-	100.0	-	-	-	-	-



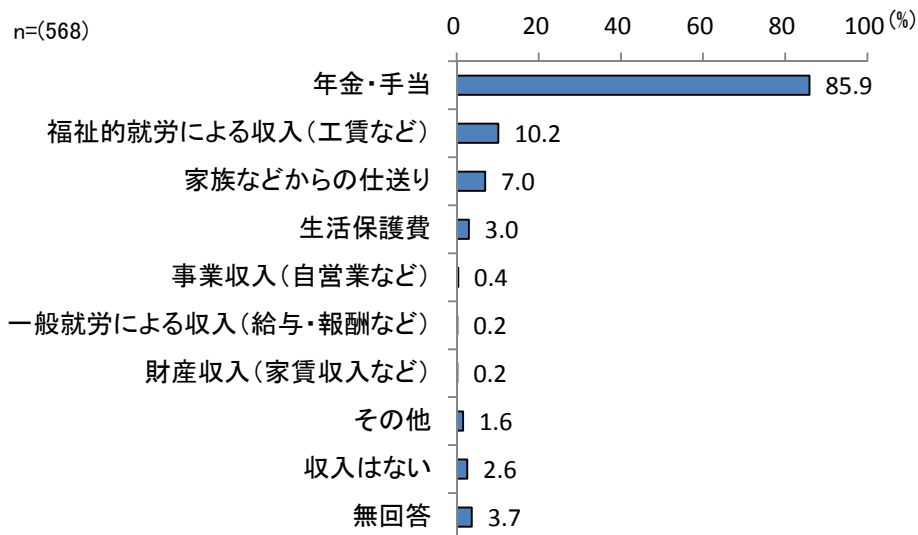
## 9. 収入について

### (1) 主な収入源

問 42 あなたご本人の主な収入源をお答えください。

全体では、「年金・手当」が85.9%で最も多くなっています。

#### ●全体



#### ●障害種別

	調査数	一般就労による収入(給与・報酬など)	福祉的就労による収入(工賃など)	事業収入(自営業など)	財産収入(家賃収入など)	年金・手当	生活保護費	家族などからの仕送り	収入はない	その他	無回答
全 体	568	1	58	2	1	488	17	40	15	9	21
	100.0	0.2	10.2	0.4	0.2	85.9	3.0	7.0	2.6	1.6	3.7
身体障害	246	1	27	2	-	204	11	24	4	5	7
	100.0	0.4	11.0	0.8	-	82.9	4.5	9.8	1.6	2.0	2.8
知的障害	409	-	36	1	1	367	5	18	10	6	18
	100.0	-	8.8	0.2	0.2	89.7	1.2	4.4	2.4	1.5	4.4
精神障害	34	-	8	1	-	31	2	-	1	1	-
	100.0	-	23.5	2.9	-	91.2	5.9	-	2.9	2.9	-
難病	43	-	8	-	-	37	-	5	-	-	1
	100.0	-	18.6	-	-	86.0	-	11.6	-	-	2.3
無回答	12	-	1	-	-	7	1	2	1	-	1
	100.0	-	8.3	-	-	58.3	8.3	16.7	8.3	-	8.3

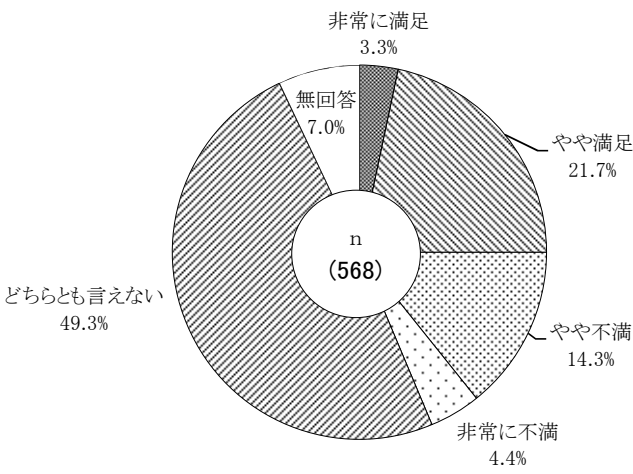
10. 市の障害者施策について

(1) 市の障害者施策についての満足度

問 43 あなたは、行政の障害者施策について、どのように感じていますか。(〇は1つ)

全体では、「非常に満足」が3.3%、「やや満足」が21.7%となっています。  
一方、「やや不満」は14.3%、「非常に不満」は4.4%となっています。  
障害種別でみると、精神障害のある方では、「やや満足」が、他の障害のある方より多くなっています。

●全体



●障害種別

	調査数	非常に満足	やや満足	やや不満	非常に不満	どちらとも言えない	無回答
全 体	568	19	123	81	25	280	40
	100.0	3.3	21.7	14.3	4.4	49.3	7.0
身体障害	246	8	56	29	14	126	13
	100.0	3.3	22.8	11.8	5.7	51.2	5.3
知的障害	409	14	90	58	17	197	33
	100.0	3.4	22.0	14.2	4.2	48.2	8.1
精神障害	34	2	11	4	1	16	-
	100.0	5.9	32.4	11.8	2.9	47.1	-
難病	43	1	12	8	1	19	2
	100.0	2.3	27.9	18.6	2.3	44.2	4.7
無回答	12	-	2	1	-	7	2
	100.0	-	16.7	8.3	-	58.3	16.7

## 1 1. 自由意見

問 44 障害福祉に関するご意見やご要望、今後利用したい福祉サービスなどありましたら、ご自由にお書きください。（自由記述）

全部で 79 件の意見がありました。

	分 類	件数	%
1	施設サービス	33	41.8
2	福祉サービス	16	20.3
3	医療・健康	2	2.5
4	将来について	7	8.9
5	経済事情・経済的支援	1	1.3
6	行政・制度	10	12.6
7	その他	10	12.6

計 79 100

◆意見の概要 ※紙幅の都合により、内容を要約・抜粋している場合があります。

### 1. 施設サービス

意見	障害の種類	年代	性別	回答者
入所の施設が少なく、重い障害の方が大変困っています。グループホームでは、やっていけない人達の事をもっと考えて、入所の施設を作って欲しい。	知的障害	40代	男性	家族
障害者に対して、ノーマライゼーションを金科玉条の如く述べたて、地域で生活する事を正当化する筋があるが、全くの真違いである。世間から離れて静かに生活したい者も多くいる事を行政は知ってほしい。そうした意味で、施設を建設し、手厚い援助を求む。	身体障害 知的障害	30代	男性	家族
入所施設（入所支援）を希望する道がないのだから、グループホーム新設に、事業者が着手しやすくすべき。運営費助成がきびしすぎるのではないですか。グループホームへの道がない人が多い。緊急時の短期入所を断られると聞く。そういう人はロングステイで埋まっているからと嘆いています。親もとでくらしている重度の人がいる家庭には大きな問題では？	身体障害 知的障害	40代	男性	家族
障害者の為に、また高齢者の特別養護老人ホームをたくさん建ててほしい。グループホームを行政が建ててほしい。	身体障害 知的障害	40代	女性	家族
国は自立支援、地域での生活をと言いますが様々な事状を考えますと、施設での生活以外になかなか考えられません。施設が古くなり、生活に不便を感じています。施設整備への補助を考えていただきたいと思います。	知的障害	30代	男性	家族

意見	障害の種類	年代	性別	回答者
知的障害者施設を減らし、グループホームに移行する政策が行われていますが、社会の受け入れ体制は、本当に整っているのでしょうか。グループホームを建設しようとしても、地元住民の大反対に合うケースが多々あります。「グループホームで、地元で溶けこんで暮らす」というのは、非常に耳あたりが良いですが、今の日本では単なる理想論なのではないでしょうか。また、障害者家族の側も、突然「グループホームに移れ」と言われてもそれがどういう物で、どんな暮らしをしているのか、将来はどうなるのかなど非常にとまどいます。現在、運営しているグループホームの見学をできるようにするなど、県や市は障害者も、受け入れる社会も、安心してグループホームを作っていけるようもっと積極的に動いてほしいです。	知的障害	40代	男性	家族

## 2. 福祉サービス

意見	障害の種類	年代	性別	回答者
窓口の方の勉強不足を感じます。住んでいる地域での相談がしやすくなりますように。	知的障害	40代	女性	家族
福祉タクシーをよく利用しているものですが障害者同伴でのるのが当たり前ですが子供の用事で施設に行く場合で気軽に利用できると助かるのですが…（施設より呼出しでタクシーを利用する時）（自動車燃料券利用の人は同伴関係ない様で不公平な気がします）	知的障害	40代	男性	家族
自立しての生活が希望ですが、親が生きている間は家で一緒に生活ができることをのぞみます。現在は両親がそろっているので、何かことがあった時にも対応していけてますが、いざという時の泊りができる福祉サービスの実施ができるようになってほしい。	知的障害	20代	男性	家族

## 3. 医療・健康

意見	障害の種類	年代	性別	回答者
病院にいられる期間は法律で定められているとはいえ、もう少しリハビリをすれば先が見えて来るという所で退院させられてしまい、もどかしい所があります。その後のリハビリの出来る所を紹介してほしいと思います。希望は失いたくないのです。	身体障害	50代	男性	家族

## 4. 将来について

意見	障害の種類	年代	性別	回答者
親なきあと、残された子供が、どの様に生活して行くか、昔と違い兄弟が少なく、一人っ子が多いので、とても心配。	身体障害 知的障害	40代	女性	家族
今47才で後見人の問題について。後見人に問題が時々でてますが兄弟がいなかったり親も高齢になり心配になります。とりあえずは今お世話になっている施設が後見人の役目をして下さる様にするのが良いと考えられます。その子を知ってて、一ぱん安心できると思います。そういうシステムになる様にしたいと思います。	身体障害 知的障害	40代	不明	不明

## 5. 経済事情・経済的支援

意見	障害の種類	年代	性別	回答者
障害者の就労を支援して下さい。	知的障害	20代	男性	家族

## 6. 行政・制度

意見	障害の種類	年代	性別	回答者
もうすこしトイレの洋式をふやしてほしい。かいだんをすくなくしてほしい。エレベーターをふやしてほしい。	身体障害	30代	女性	本人
車イスで病院やお店を利用する時、段差があったり、入りにくさを感じる所もあるので、もっとバリアフリー化が進んでいって生活しやすくなるようになったら良いと思います。	身体障害	40代	女性	本人
役所に提出の書類はわかりやすく、簡単にしていただきたいです。親の高齢化に伴い、文章の理解が困難になり、その都度、出掛けての提出がむずかしくなってくると思うのです。	知的障害	40代	男性	家族
区役所の窓口は障害者の事を理解している人が少ないし、知識がない職員が多い。ただ事務的にやっているという感じで不愉快！	知的障害	30代	男性	家族

## 7. その他

意見	障害の種類	年代	性別	回答者
地域で生活をするためには、自分達の体制を整えるばかりではなく、その定住する地域の障害者に対する、理解度を持っていただくことが欠かせないと思います。なぜこのような行動をとってしまうのか等、理解があるていど出来ないと、対応も思いつかないからです。ただこちらがたよってしまうだけではなく、相互の理解度を上げるために、障害者も、地域も互いに考え、知る必要があると思います。	知的障害	40代	男性	不明
世の中が、障害者に対して、理解を深め、あたたかい気持で、見守ってくれることを切に切に願っています。	知的障害	20代	男性	家族



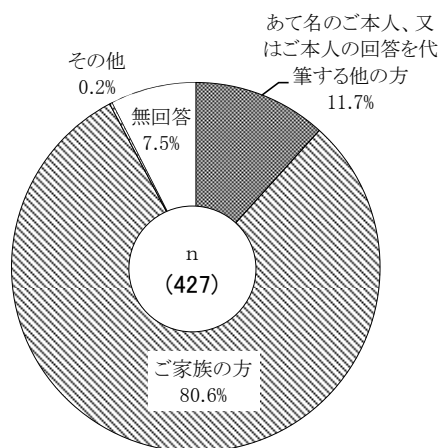
### **Ⅲ 18 歳未満の方と保護者の方を対象とした調査**





問 この調査票でご回答いただくのはどなたですか。（〇は1つ）

「ご家族の方」が80.6%となっています。



## ●障害種別

	調査数	あて名のご本人、又はご本人の回答を代筆する他の方	ご家族の方	その他	無回答
全 体	427 100.0	50 11.7	344 80.6	1 0.2	32 7.5
身体障害	239 100.0	33 13.8	186 77.8	1 0.4	19 7.9
知的障害	264 100.0	19 7.2	226 85.6	— —	19 7.2
精神障害	12 100.0	2 16.7	10 83.3	— —	— —
難病	143 100.0	13 9.1	119 83.2	— —	11 7.7
無回答	3 100.0	1 33.3	— —	— —	2 66.7

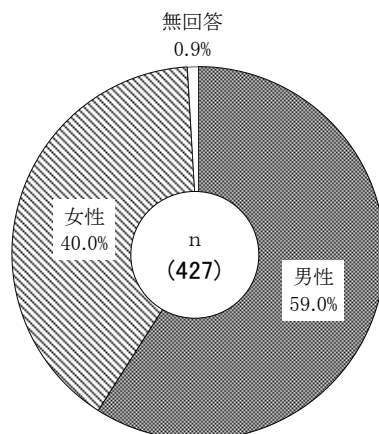
## 1. 本人について

### (1) 性別

問1 あなたの性別をおたずねします。(〇は1つ)

「男性」が59.0%、「女性」が40.0%となっています。

#### ●全体



#### ●障害種別

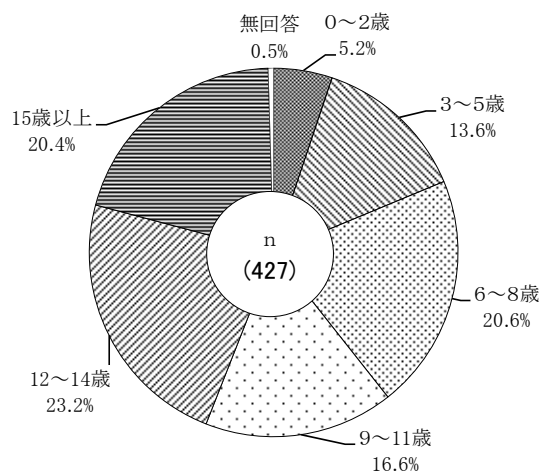
	調査数	男性	女性	無回答
全 体	427 100.0	252 59.0	171 40.0	4 0.9
身体障害	239 100.0	134 56.1	104 43.5	1 0.4
知的障害	264 100.0	167 63.3	95 36.0	2 0.8
精神障害	12 100.0	7 58.3	5 41.7	— —
難病	143 100.0	72 50.3	70 49.0	1 0.7
無回答	3 100.0	— —	1 33.3	2 66.7

## (2) 年齢

問2 あなたの年齢について、平成29年1月1日現在の年齢をご記入ください。

全体では、「12～14歳」が23.2%で最も多く、以下「6～8歳」が20.6%、「15歳以上」が20.4%となっています。

### ●全体



### ●障害種別

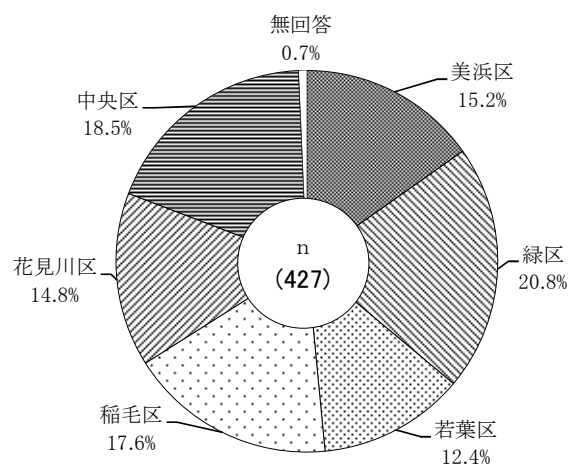
	調査数	0～2歳	3～5歳	6～8歳	9～11歳	12～14歳	15歳以上	無回答	平均(歳)
全 体	427	22	58	88	71	99	87	2	10.1
	100.0	5.2	13.6	20.6	16.6	23.2	20.4	0.5	
身体障害	239	19	36	51	40	51	42	—	9.5
	100.0	7.9	15.1	21.3	16.7	21.3	17.6	—	
知的障害	264	5	32	51	49	68	59	—	10.6
	100.0	1.9	12.1	19.3	18.6	25.8	22.3	—	
精神障害	12	1	—	—	—	3	8	—	14.1
	100.0	8.3	—	—	—	25.0	66.7	—	
難病	143	12	26	31	22	30	22	—	9.1
	100.0	8.4	18.2	21.7	15.4	21.0	15.4	—	
無回答	3	—	—	—	—	—	1	2	16.0
	100.0	—	—	—	—	—	33.3	66.7	

### (3) 居住区

問3 あなたのお住まいの区をおたずねします。(〇は1つ)

「緑区」が 20.8%で最も多く、以下「中央区」が 18.5%、「稲毛区」が 17.6%となっています。

#### ●全体



#### ●障害種別

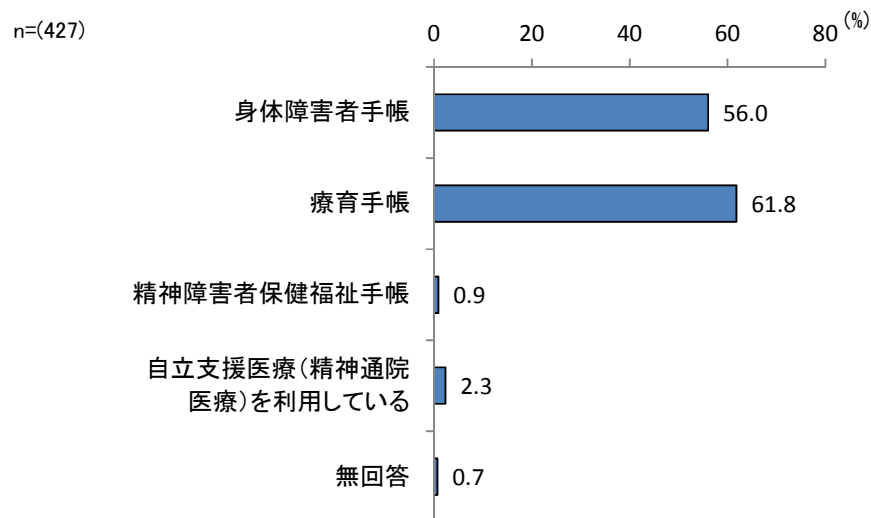
	調査数	中央区	花見川区	稲毛区	若葉区	緑区	美浜区	無回答
全 体	427 100.0	79 18.5	63 14.8	75 17.6	53 12.4	89 20.8	65 15.2	3 0.7
身体障害	239 100.0	42 17.6	28 11.7	42 17.6	28 11.7	61 25.5	38 15.9	— —
知的障害	264 100.0	48 18.2	49 18.6	43 16.3	33 12.5	45 17.0	45 17.0	1 0.4
精神障害	12 100.0	2 16.7	6 50.0	2 16.7	1 8.3	— —	1 8.3	— —
難病	143 100.0	27 18.9	23 16.1	20 14.0	19 13.3	29 20.3	25 17.5	— —
無回答	3 100.0	— —	— —	— —	1 33.3	— —	— —	2 66.7

#### (4) 障害の種別

問4 あなたがお持ちの手帳の種類と等級、自立支援医療（精神通院医療）の利用をおたずねします。（〇はいくつでも。手帳をお持ちの方は、カッコ内の等級（程度）にも〇印をつけてください。）

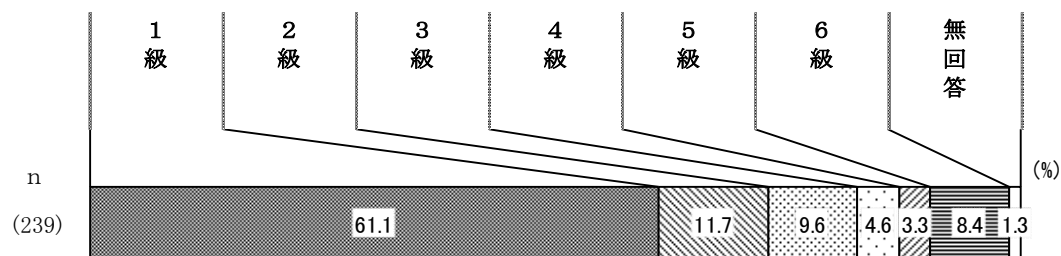
「療育手帳」が61.8%で最も多く、以下「身体障害者手帳」が56.0%、「自立支援医療(精神通院医療)を利用している」が2.3%、「精神障害者保健福祉手帳」が0.9%となっています。

#### ●全体



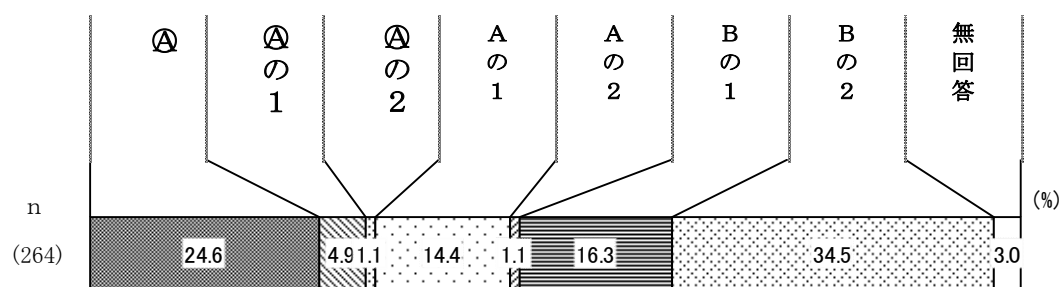
### ① 身体障害者手帳の等級

身体障害者手帳の等級では、「1 級」が 61.1%で最も多く、次いで「2 級」が 11.7%となっています。



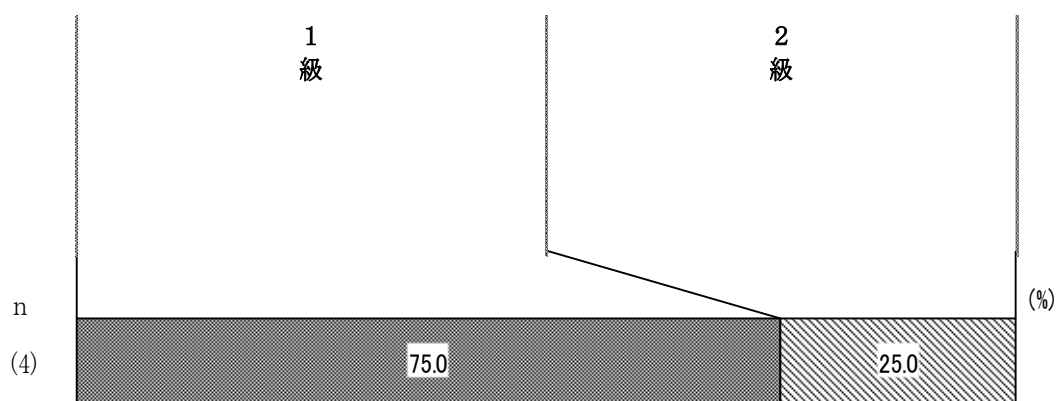
### ② 療育手帳の程度

療育手帳の程度では、「Bの2」が 34.5%で最も多く、次いで「㊤」が 24.6%となっています。



### ③ 精神障害者保健福祉手帳の等級

精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方は4名で、そのうち3名が「1 級」となっています。

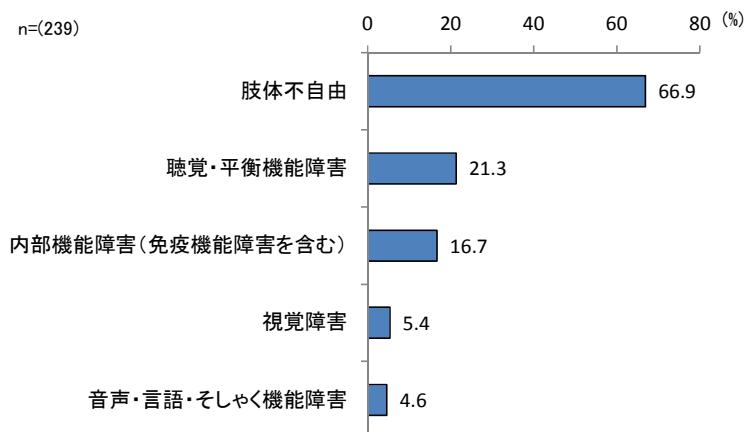


## (5) 身体障害の部位

問5 身体障害者手帳をお持ちの方におたずねします。障害の種類は何ですか。(〇はいくつでも)

「肢体不自由」が66.9%で最も多く、次いで「聴覚・平衡機能障害」が21.3%となっています。

### ●全体



## (6) 難病の種類

問6 難病に罹患している方におたずねします。あなたの難病の種類は何ですか。

### ●国指定の難病の内訳

病名	人数	病名	人数
ダウン症候群	27	神経線維腫症	1
ウエスト症候群	8	心室中隔欠損を伴う肺動脈閉鎖症	1
筋ジストロフィー	7	正常圧水頭症	1
レット症候群	5	脊髄空洞症	1
左心低形成症候群	3	脊髄性筋萎縮症	1
脊髄髄膜瘤	3	全身型若年性特発性関節炎	1
多脾症候群	3	総排泄腔外反症	1
チャージ症候群	3	多発性硬化症／視神経脊髄炎	1
プラダー・ウィリ症候群	3	単心室症	1
先天性ミオパチー	2	胆道閉鎖症	1
総動脈幹遺残症	2	突発性難聴	1
ソトス症候群	2	ドラベ症候群	1
特発性両側性感音難聴	2	尿素サイクル異常症	1
ファロー四徴症	2	肺静脈閉塞症／肺毛細血管腫症	1
片側痙攣・片麻痺・てんかん症候群	2	表皮水疱症	1
ライソゾーム病	2	副腎白質ジストロフィー	1
両側性小耳症・外耳道閉鎖症	2	網膜色素変性症	1
両大血管右室起始症	2	優性遺伝形式をとる遺伝性難聴	1
アイカルディ症候群	1	劣性遺伝形式をとる遺伝性難聴	1
ウィリアムズ症候群	1	レノックス・ガストー症候群	1
CFC 症候群	1		
紫斑病性腎炎	1		

合計 104

## 2. 医療機関への受診状況について

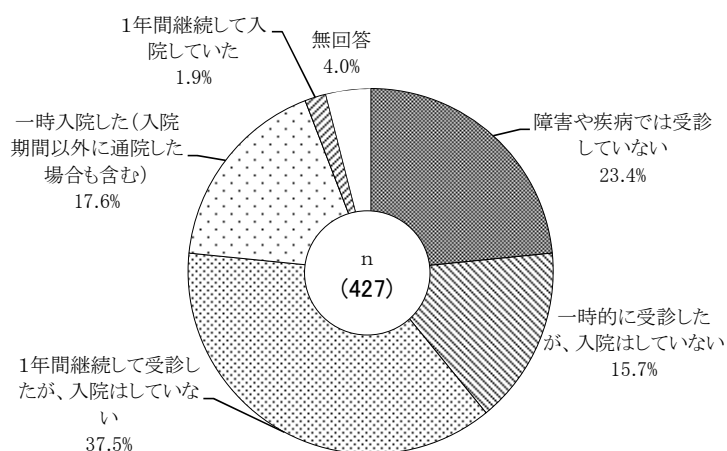
### (1) 医療機関の受診状況

問7 あなたは最近1年間に、障害や疾病が原因で医療機関を受診しましたか。(〇は1つ)

全体では、「1年間継続して受診したが、入院はしていない」が37.5%で最も多く、次いで「障害や疾病では受診していない」が23.4%となっています。

障害種別でみると、身体障害のある方、難病のある方では「1年間継続して受診したが、入院はしていない」が知的障害の方より多くなっています。一方、知的障害のある方では、「障害や疾病では受診していない」が、他の障害のある方より多くなっています。

#### ●全体



#### ●障害種別

	調査数	障害や疾病では受診していない	一時的に受診したが、入院はしていない	1年間継続して受診したが、入院はしていない	一時入院した(入院期間以外に通院した場合も含む)	1年間継続して入院していた	無回答
全 体	427	100	67	160	75	8	17
	100.0	23.4	15.7	37.5	17.6	1.9	4.0
身体障害	239	19	28	112	66	8	6
	100.0	7.9	11.7	46.9	27.6	3.3	2.5
知的障害	264	87	52	88	24	3	10
	100.0	33.0	19.7	33.3	9.1	1.1	3.8
精神障害	12	2	2	4	2	—	2
	100.0	16.7	16.7	33.3	16.7	—	16.7
難病	143	11	17	68	43	3	1
	100.0	7.7	11.9	47.6	30.1	2.1	0.7
無回答	3	—	—	1	—	—	2
	100.0	—	—	33.3	—	—	66.7

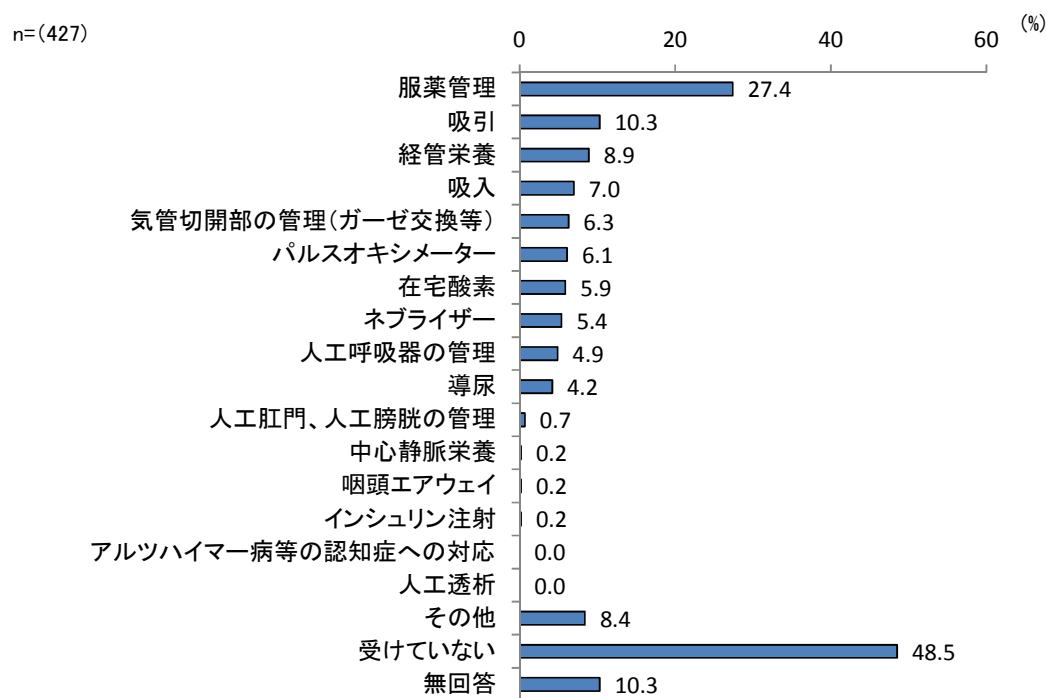


## (2) 医療的ケアの種類

問8 あなたが現在受けている医療的ケアの種類をおたずねします。(〇はいくつでも)

全体では、医療的ケアの種類について「服薬管理」が27.4%で最も多く、以下「吸引」が10.3%、「経管栄養」8.9%となっています。

### ●全体



# ●障害種別

	調査数	吸引	吸入	経管栄養	中心静脈栄養	導尿	在宅酸素	ネブライザー	咽頭エアーウェイ	パルスオキシメーター	気管切開部の管理 (ガーゼ交換等)
全 体	427 100.0	44 10.3	30 7.0	38 8.9	1 0.2	18 4.2	25 5.9	23 5.4	1 0.2	26 6.1	27 6.3
身体障害	239 100.0	43 18.0	24 10.0	38 15.9	1 0.4	18 7.5	25 10.5	19 7.9	1 0.4	26 10.9	27 11.3
知的障害	264 100.0	13 4.9	11 4.2	11 4.2	-	7 2.7	5 1.9	12 4.5	-	7 2.7	6 2.3
精神障害	12 100.0	1 8.3	1 8.3	-	-	-	-	-	-	-	-
難病	143 100.0	25 17.5	13 9.1	21 14.7	-	11 7.7	15 10.5	12 8.4	-	12 8.4	16 11.2
無回答	3 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

	調査数	人工呼吸器の管理	人工肛門、人工膀胱の管理	アルツハイマー病等の認知症への対応	インシュリン注射	人工透析	服薬管理	その他	受けていない	無回答
全 体	427 100.0	21 4.9	3 0.7	-	1 0.2	-	117 27.4	36 8.4	207 48.5	44 10.3
身体障害	239 100.0	21 8.8	3 1.3	-	1 0.4	-	87 36.4	26 10.9	94 39.3	13 5.4
知的障害	264 100.0	5 1.9	2 0.8	-	1 0.4	-	62 23.5	15 5.7	146 55.3	31 11.7
精神障害	12 100.0	-	-	-	-	-	7 58.3	1 8.3	3 25.0	1 8.3
難病	143 100.0	12 8.4	1 0.7	-	1 0.7	-	53 37.1	18 12.6	58 40.6	2 1.4
無回答	3 100.0	-	-	-	-	-	1 33.3	-	-	2 66.7

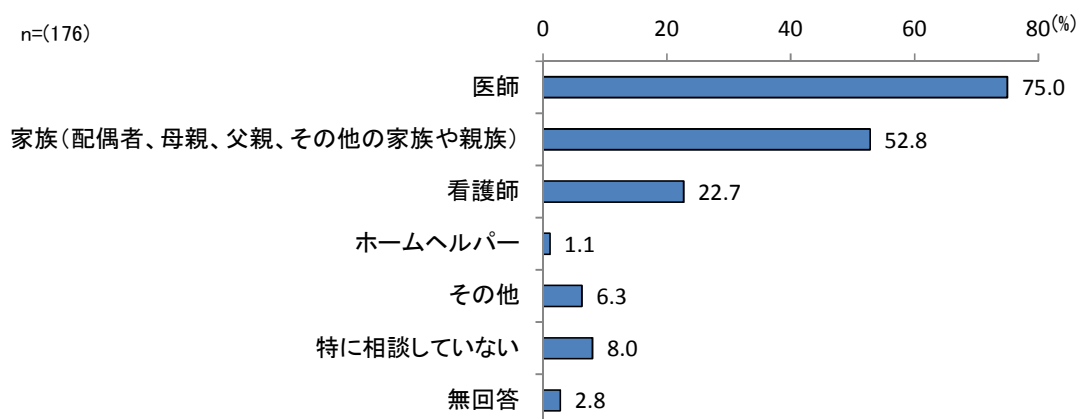
### (3) 医療的ケアについての相談相手

#### 問9 【問8で1～17番に○をつけた方におたずねします。】

医療的ケアについて、誰かに相談をしていますか。(○はいくつでも)

全体では、「医師」が75.0%で最も多く、以下「家族(配偶者、母親、父親、その他の家族や親族)」が52.8%、「看護師」が22.7%となっています。

#### ●全体



#### ●障害種別

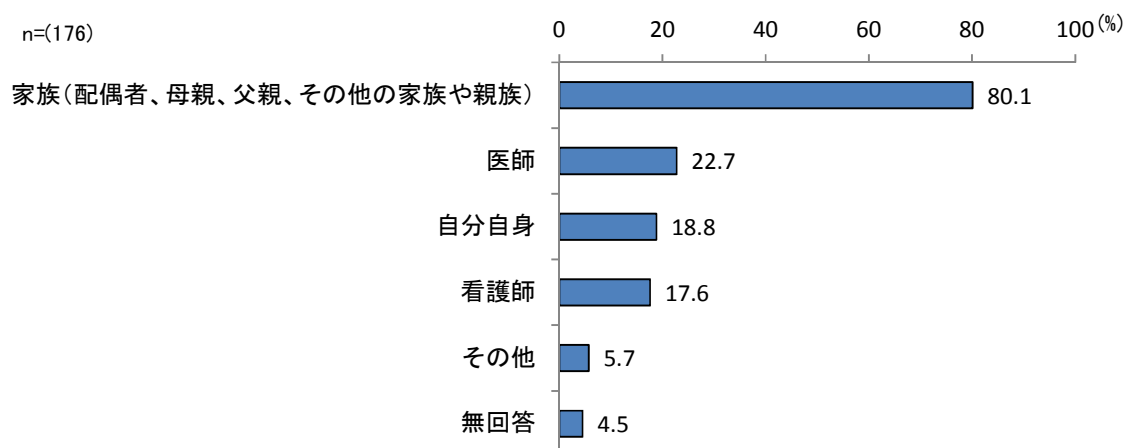
	調査数	家族(配偶者、母親、父親、その他の家族や親族)	医師	看護師	ホームヘルパー	その他	特に相談していない	無回答
全 体	176 100.0	93 52.8	132 75.0	40 22.7	2 1.1	11 6.3	14 8.0	5 2.8
身体障害	132 100.0	67 50.8	98 74.2	34 25.8	1 0.8	10 7.6	11 8.3	3 2.3
知的障害	87 100.0	48 55.2	66 75.9	12 13.8	1 1.1	4 4.6	6 6.9	2 2.3
精神障害	8 100.0	6 75.0	4 50.0	1 12.5	－	1 12.5	－	－
難病	83 100.0	42 50.6	66 79.5	19 22.9	1 1.2	5 6.0	8 9.6	2 2.4
無回答	1 100.0	－	1 100.0	－	－	－	－	－

#### (4) 医療的ケアを行っている人

問 10 現在、医療的ケアを行っている人は誰ですか。 (〇はいくつでも)

全体では、「家族(配偶者、母親、父親、その他の家族や親族)」が80.1%で最も多く、以下「医師」が22.7%、「自分自身」が18.8%となっています。

##### ●全体



##### ●障害種別

	調査数	自分自身	家族(配偶者、母親、父親、その他の家族や親族)	医師	看護師	その他	無回答
全 体	176 100.0	33 18.8	141 80.1	40 22.7	31 17.6	10 5.7	8 4.5
身体障害	132 100.0	20 15.2	107 81.1	25 18.9	26 19.7	10 7.6	6 4.5
知的障害	87 100.0	15 17.2	74 85.1	18 20.7	12 13.8	3 3.4	3 3.4
精神障害	8 100.0	— —	6 75.0	3 37.5	1 12.5	1 12.5	— —
難病	83 100.0	12 14.5	69 83.1	18 21.7	14 16.9	5 6.0	5 6.0
無回答	1 100.0	1 100.0	— —	— —	— —	— —	— —

## （５）医療型短期入所の認知と必要性

問 11 障害者総合支援法に基づく障害福祉サービスとして、医療的ケアが必要な重度の障害がある方について、介助者の病気やその他の理由により、介助が難しくなった場合に、一時的に施設（病院・診療所等）が利用できる事業「医療型短期入所」があります。

（１）あなたは「医療型短期入所」のことを知っていますか。（○は１つ）

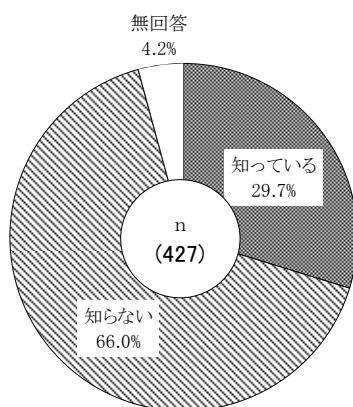
（２）あなたは「医療型短期入所」の必要性を感じていますか。（○は１つ）

### （１）認知

全体では、「知っている」が 29.7%、「知らない」は 66.0%となっています。

障害種別でみると、身体障害のある方、難病のある方では「知っている」が、他の障害の方より多くなっています。

#### ●全体

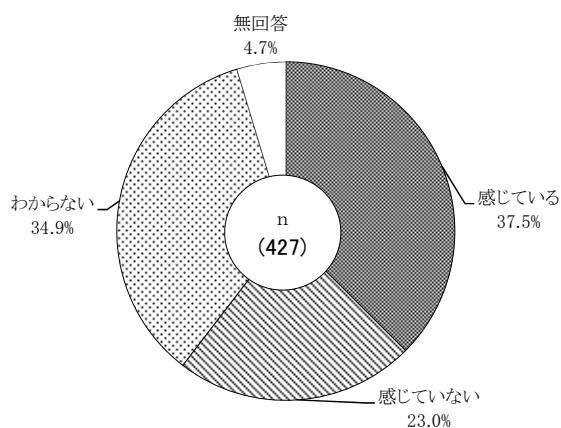


### （２）必要性

全体では、「感じている」が 37.5%、「感じていない」が 23.0% となっています。

障害種別でみると、身体障害の方と難病の方では、「感じている」が知的障害のある方より多くなっています。

#### ●全体



## ●障害種別

(1) 「医療型短期入所」の認知

	調査数	知っている	知らない	無回答
全 体	427	127	282	18
	100.0	29.7	66.0	4.2
身体障害	239	100	133	6
	100.0	41.8	55.6	2.5
知的障害	264	65	186	13
	100.0	24.6	70.5	4.9
精神障害	12	3	9	－
	100.0	25.0	75.0	－
難病	143	62	77	4
	100.0	43.4	53.8	2.8
無回答	3	－	3	－
	100.0	－	100.0	－

(2) 「医療型短期入所」の必要性

調査数	感じている	感じていない	わからない	無回答
427	160	98	149	20
100.0	37.5	23.0	34.9	4.7
239	113	49	69	8
100.0	47.3	20.5	28.9	3.3
264	96	61	92	15
100.0	36.4	23.1	34.8	5.7
12	6	3	3	－
100.0	50.0	25.0	25.0	－
143	63	32	43	5
100.0	44.1	22.4	30.1	3.5
3	1	－	2	－
100.0	33.3	－	66.7	－

## ●身体障害者手帳の等級別

(1) 「医療型短期入所」の認知

	調査数	知っている	知らない	無回答
1 級	146	81	62	3
	100.0	55.5	42.5	2.1
2 級	28	6	21	1
	100.0	21.4	75.0	3.6
3 級	23	5	16	2
	100.0	21.7	69.6	8.7
4 級	11	3	8	－
	100.0	27.3	72.7	－
5 級	8	1	7	－
	100.0	12.5	87.5	－
6 級	20	3	17	－
	100.0	15.0	85.0	－
無回答	3	1	2	－
	100.0	33.3	66.7	－

(2) 「医療型短期入所」の必要性

調査数	感じている	感じていない	わからない	無回答
146	92	17	33	4
100.0	63.0	11.6	22.6	2.7
28	7	9	11	1
100.0	25.0	32.1	39.3	3.6
23	7	8	6	2
100.0	30.4	34.8	26.1	8.7
11	2	5	4	－
100.0	18.2	45.5	36.4	－
8	1	1	5	1
100.0	12.5	12.5	62.5	12.5
20	3	8	9	－
100.0	15.0	40.0	45.0	－
3	1	1	1	－
100.0	33.3	33.3	33.3	－

## ●療養手帳の等級別

(1) 「医療型短期入所」の認知

	調査数	知っている	知らない	無回答
マルA	65	26	38	1
	100.0	40.0	58.5	1.5
マルAの1	13	3	9	1
	100.0	23.1	69.2	7.7
マルAの2	3	－	3	－
	100.0	－	100.0	－
Aの1	38	7	29	2
	100.0	18.4	76.3	5.3
Aの2	3	1	2	－
	100.0	33.3	66.7	－
Bの1	43	10	29	4
	100.0	23.3	67.4	9.3
Bの2	91	14	72	5
	100.0	15.4	79.1	5.5
無回答	8	4	4	－
	100.0	50.0	50.0	－

(2) 「医療型短期入所」の必要性

調査数	感じている	感じていない	わからない	無回答
65	42	7	14	2
100.0	64.6	10.8	21.5	3.1
13	3	5	4	1
100.0	23.1	38.5	30.8	7.7
3	－	－	3	－
100.0	－	－	100.0	－
38	14	8	14	2
100.0	36.8	21.1	36.8	5.3
3	1	－	2	－
100.0	33.3	－	66.7	－
43	14	16	9	4
100.0	32.6	37.2	20.9	9.3
91	18	22	45	6
100.0	19.8	24.2	49.5	6.6
8	4	3	1	－
100.0	50.0	37.5	12.5	－

## ●障害の重複別

(1) 「医療型短期入所」の認知

	調査数	知っている	知らない	無回答
身体のみ	159 100.0	61 38.4	93 58.5	5 3.1
知的のみ	179 100.0	27 15.1	140 78.2	12 6.7
精神のみ	- -	- -	- -	- -
身体+知的	74 100.0	36 48.6	37 50.0	1 1.4
身体+精神	1 100.0	1 100.0	- -	- -
知的+精神	6 100.0	- -	6 100.0	- -
身体+知的+精神	5 100.0	2 40.0	3 60.0	- -
無回答	3 100.0	- -	3 100.0	- -

(2) 「医療型短期入所」の必要性

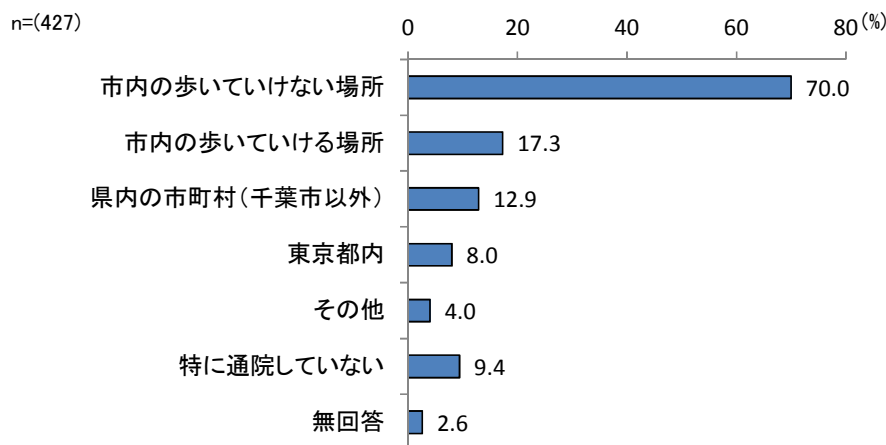
調査数	感じている	感じていない	わからない	無回答
159 100.0	63 39.6	36 22.6	55 34.6	5 3.1
179 100.0	45 25.1	47 26.3	75 41.9	12 6.7
- -	- -	- -	- -	- -
74 100.0	45 60.8	12 16.2	14 18.9	3 4.1
1 100.0	- -	1 100.0	- -	- -
6 100.0	1 16.7	2 33.3	3 50.0	- -
5 100.0	5 100.0	- -	- -	- -
3 100.0	1 33.3	- -	2 66.7	- -

## (6) 通院先の所在地

問 12 あなたの「医療」についておたずねします。あなたはどこの病院や診療所に通院していますか。(〇はいくつでも)

全体では、「市内の歩いていけない場所」が70.0%で最も多くなっています。

### ●全体



### ●障害種別

	調査数	市内の 歩いて いける場 所	市内の 歩いて いけない 場所	県内の 市町村 (千葉市 以外)	東京都 内	その他	特に通 院してい ない	無回答
全 体	427 100.0	74 17.3	299 70.0	55 12.9	34 8.0	17 4.0	40 9.4	11 2.6
身体障害	239 100.0	27 11.3	189 79.1	35 14.6	32 13.4	11 4.6	6 2.5	4 1.7
知的障害	264 100.0	52 19.7	176 66.7	33 12.5	6 2.3	9 3.4	35 13.3	8 3.0
精神障害	12 100.0	1 8.3	10 83.3	5 41.7	1 8.3	— —	— —	— —
難病	143 100.0	13 9.1	111 77.6	19 13.3	17 11.9	14 9.8	3 2.1	3 2.1
無回答	3 100.0	2 66.7	2 66.7	1 33.3	— —	— —	— —	— —



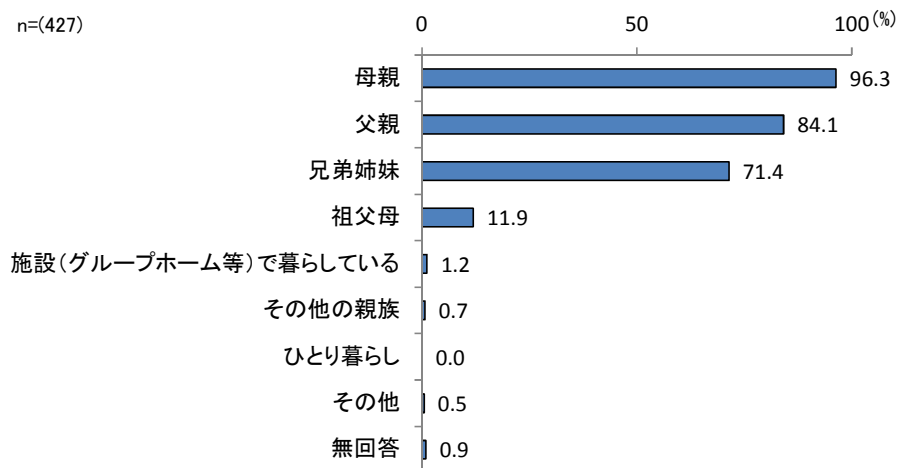
### 3. 家族や介助者について

#### (1) 同居者

問 13 あなたは、どなたと一緒に暮らしていますか。(〇はいくつでも)

全体では、「母親」が96.3%で最も多く、以下「父親」が84.1%、「兄弟姉妹」が71.4%となっています。

#### ●全体



#### ●障害種別

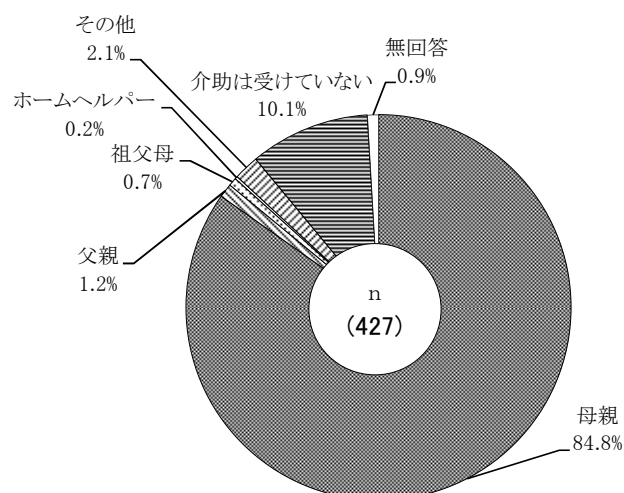
	調査数	母親	父親	兄弟姉妹	祖父母	その他の親族	施設(グループホーム等)で暮らしている	ひとり暮らし	その他	無回答
全 体	427 100.0	411 96.3	359 84.1	305 71.4	51 11.9	3 0.7	5 1.2	－	2 0.5	4 0.9
身体障害	239 100.0	228 95.4	206 86.2	166 69.5	26 10.9	1 0.4	5 2.1	－	1 0.4	2 0.8
知的障害	264 100.0	255 96.6	216 81.8	194 73.5	33 12.5	2 0.8	2 0.8	－	1 0.4	3 1.1
精神障害	12 100.0	11 91.7	8 66.7	5 41.7	1 8.3	－	－	－	－	－
難病	143 100.0	139 97.2	126 88.1	104 72.7	17 11.9	1 0.7	1 0.7	－	1 0.7	1 0.7
無回答	3 100.0	3 100.0	3 100.0	3 100.0	1 33.3	－	－	－	－	－

## (2) 主な介助者

問 14 あなたへの介助について、主な介助者はどなたですか。(○は1つ)

全体では、「母親」が84.8%で最も多くなっています。

### ●全体



### ●障害種別

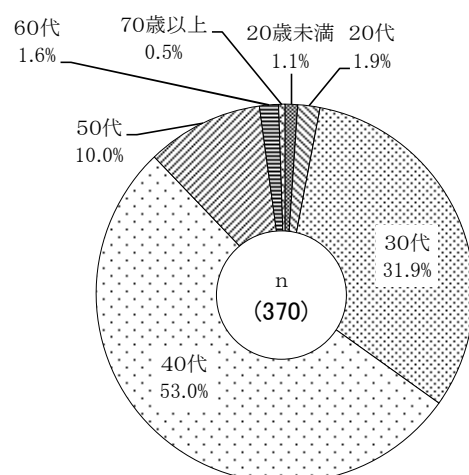
	調査数	母親	父親	兄弟姉妹	祖父母	その他の親族	ホームヘルパー	ボランティア	介助は受けていない	その他	無回答
全 体	427	362	5	-	3	-	1	-	43	9	4
	100.0	84.8	1.2	-	0.7	-	0.2	-	10.1	2.1	0.9
身体障害	239	206	5	-	1	-	-	-	17	8	2
	100.0	86.2	2.1	-	0.4	-	-	-	7.1	3.3	0.8
知的障害	264	227	1	-	3	-	1	-	25	4	3
	100.0	86.0	0.4	-	1.1	-	0.4	-	9.5	1.5	1.1
精神障害	12	10	-	-	1	-	1	-	-	-	-
	100.0	83.3	-	-	8.3	-	8.3	-	-	-	-
難病	143	130	1	-	-	-	-	-	9	2	1
	100.0	90.9	0.7	-	-	-	-	-	6.3	1.4	0.7
無回答	3	2	-	-	-	-	-	-	1	-	-
	100.0	66.7	-	-	-	-	-	-	33.3	-	-

### (3) 主な介助者の年齢

問 15 【問 14 で主な介助者が家族・親族（１～５ 番）に○をつけた方におたずねします。】  
 主な介助者の方の年齢をお答えください。（○は１つ）

全体では、「40代」が53.0%で最も多く、次いで「30代」が31.9%となっています。

#### ●全体



#### ●障害種別

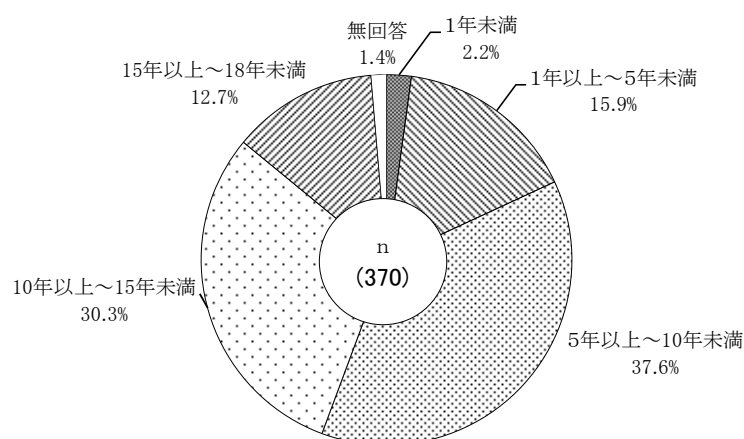
	調査数	20歳未満	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上
全 体	370	4	7	118	196	37	6	2
	100.0	1.1	1.9	31.9	53.0	10.0	1.6	0.5
身体障害	212	3	5	71	108	20	4	1
	100.0	1.4	2.4	33.5	50.9	9.4	1.9	0.5
知的障害	231	2	4	69	126	25	4	1
	100.0	0.9	1.7	29.9	54.5	10.8	1.7	0.4
精神障害	11	—	—	3	4	3	1	—
	100.0	—	—	27.3	36.4	27.3	9.1	—
難病	131	2	2	39	71	15	—	2
	100.0	1.5	1.5	29.8	54.2	11.5	—	1.5
無回答	2	—	—	—	1	1	—	—
	100.0	—	—	—	50.0	50.0	—	—

#### (4) 主な介助者の介助継続年数

問 16 【問 14 で主な介助者が家族・親族（１～５ 番）に○をつけた方におたずねします。】  
 主な介助者の介助継続年数をお答えください。（○は１つ）

全体では、「５年以上～１０ 年未満」が 37.6%で最も多く、以下「１０ 年以上～１５ 年未満」が 30.3%、「１ 年以上～５ 年未満」が 15.9%となっています。

#### ●全体



#### ●障害種別

	調査数	1年未満	1年以上 ～5年未 満	5年以上 ～10年 未満	10年以 上～15 年未満	15年以 上～18 年未満	無回答
全 体	370 100.0	8 2.2	59 15.9	139 37.6	112 30.3	47 12.7	5 1.4
身体障害	212 100.0	6 2.8	40 18.9	79 37.3	59 27.8	25 11.8	3 1.4
知的障害	231 100.0	2 0.9	32 13.9	84 36.4	77 33.3	34 14.7	2 0.9
精神障害	11 100.0	– –	1 9.1	1 9.1	4 36.4	5 45.5	– –
難病	131 100.0	2 1.5	29 22.1	54 41.2	31 23.7	14 10.7	1 0.8
無回答	2 100.0	– –	– –	1 50.0	1 50.0	– –	– –

#### (5) 主な介助者が困っていること

問 17 【問 14 で主な介助者が家族・親族（１～５ 番）に○をつけた方におたずねします。】  
主な介助者が困っていることは何ですか。（○はいくつでも）

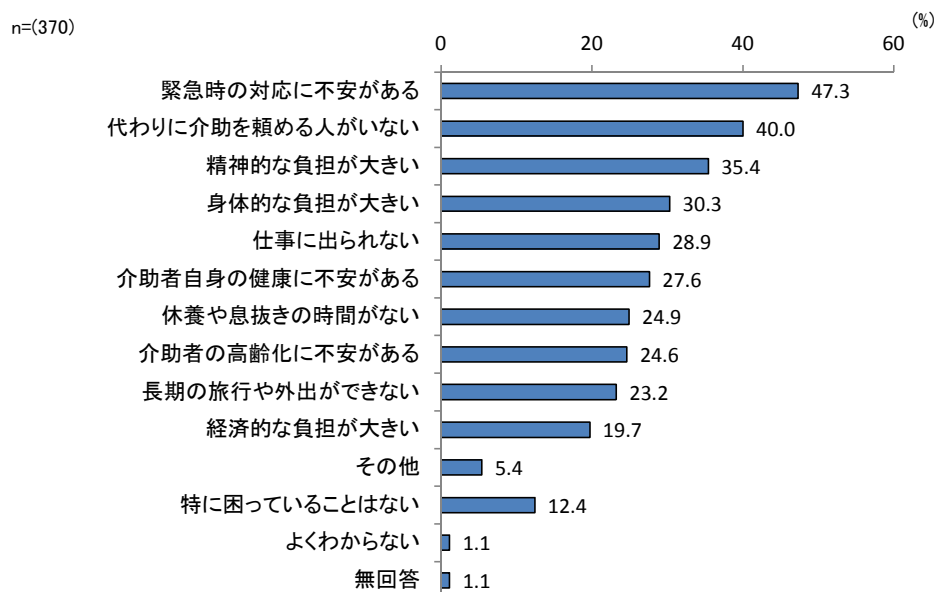
全体では、「緊急時の対応に不安がある」が 47.3%で最も多く、以下「代わりに介助を頼める人がいない」が 40.0%、「精神的な負担が大きい」が 35.4%、「身体的な負担が大きい」が 30.3%、「仕事に出られない」が 28.9%となっています。

障害種別でみると、身体障害のある方では、「身体的な負担が大きい」が他の障害のある方より多くなっています。一方、知的障害のある方では、「精神的な負担が大きい」が多くなっています。

介助者の年齢別でみると、50 代では、「介助者自身の健康に不安がある」、「介助者の高齢化に不安がある」、「代わりに介助を頼める人がいない」「緊急時の対応に不安がある」が、他の年代より多くなっています。

なお、前回調査と比較すると、「介助者の高齢化に不安がある」「代わりに介助を頼める人がいない」が、今回の調査では増加しています。

#### ●全体



## ●障害種別

	調査数	介助者自身の健康に不安がある	介助者の高齢化に不安がある	代わりに介助を頼める人がいない	緊急時の対応に不安がある	身体的な負担が大きい	精神的な負担が大きい	経済的な負担が大きい	仕事に出られない	長期の旅行や外出ができない	休養や息抜きの時間がない
全 体	370 100.0	102 27.6	91 24.6	148 40.0	175 47.3	112 30.3	131 35.4	73 19.7	107 28.9	86 23.2	92 24.9
身体障害	212 100.0	64 30.2	48 22.6	93 43.9	105 49.5	91 42.9	73 34.4	44 20.8	71 33.5	53 25.0	53 25.0
知的障害	231 100.0	66 28.6	64 27.7	95 41.1	110 47.6	63 27.3	93 40.3	44 19.0	66 28.6	52 22.5	67 29.0
精神障害	11 100.0	6 54.5	6 54.5	6 54.5	7 63.6	7 63.6	10 90.9	4 36.4	2 18.2	1 9.1	5 45.5
難病	131 100.0	38 29.0	30 22.9	52 39.7	62 47.3	45 34.4	44 33.6	28 21.4	43 32.8	34 26.0	25 19.1
無回答	2 100.0	-	1 50.0	-	-	-	-	-	-	-	-

	調査数	特に困っていることはない	よくわからない	その他	無回答
全 体	370 100.0	46 12.4	4 1.1	20 5.4	4 1.1
身体障害	212 100.0	19 9.0	2 0.9	10 4.7	3 1.4
知的障害	231 100.0	28 12.1	3 1.3	15 6.5	1 0.4
精神障害	11 100.0	-	-	-	-
難病	131 100.0	14 10.7	1 0.8	9 6.9	-
無回答	2 100.0	1 50.0	-	-	-

## ●介助者の年齢別

	調査数	介助者自身の健康に不安がある	介助者の高齢化に不安がある	代わりに介助を頼める人がいない	緊急時の対応に不安がある	身体的な負担が大きい	精神的な負担が大きい	経済的な負担が大きい	仕事に出られない	長期の旅行や外出ができない	休養や息抜きの時間がない
全 体	370 100.0	102 27.6	91 24.6	148 40.0	175 47.3	112 30.3	131 35.4	73 19.7	107 28.9	86 23.2	92 24.9
20歳未満	4 100.0	1 25.0	1 25.0	1 25.0	2 50.0	2 50.0	1 25.0	1 25.0	1 25.0	1 25.0	1 25.0
20代	7 100.0	1 14.3	-	1 14.3	3 42.9	-	1 14.3	1 14.3	1 14.3	1 14.3	-
30代	118 100.0	27 22.9	18 15.3	44 37.3	50 42.4	34 28.8	52 44.1	30 25.4	33 28.0	24 20.3	37 31.4
40代	196 100.0	56 28.6	46 23.5	80 40.8	97 49.5	65 33.2	69 35.2	33 16.8	64 32.7	50 25.5	45 23.0
50代	37 100.0	15 40.5	20 54.1	20 54.1	20 54.1	8 21.6	7 18.9	6 16.2	8 21.6	8 21.6	6 16.2
60代	6 100.0	2 33.3	4 66.7	2 33.3	3 50.0	3 50.0	1 16.7	2 33.3	-	2 33.3	3 50.0
70歳以上	2 100.0	-	2 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-

	調査数	特に困っていることはない	よくわからない	その他	無回答
全 体	370 100.0	46 12.4	4 1.1	20 5.4	4 1.1
20歳未満	4 100.0	1 25.0	- -	- -	- -
20代	7 100.0	2 28.6	- -	- -	- -
30代	118 100.0	19 16.1	3 2.5	8 6.8	- -
40代	196 100.0	22 11.2	1 0.5	9 4.6	3 1.5
50代	37 100.0	1 2.7	- -	3 8.1	- -
60代	6 100.0	1 16.7	- -	- -	1 16.7
70歳以上	2 100.0	- -	- -	- -	- -

## ●経年比較

	調査数	介助者自身の健康に不安がある	介助者の高齢化に不安がある	代わりに介助を頼める人がいない	緊急時の対応に不安がある	身体的な負担が大きい	精神的な負担が大きい	経済的な負担が大きい	仕事に出られない	長期の旅行や外出ができない
今回 (平成28年度)	370 100.0	102 27.6	91 24.6	148 40.0	175 47.3	112 30.3	131 35.4	73 19.7	107 28.9	86 23.2
	増減	0.5	6.4	4.0	▲3.4	▲0.8	▲2.6	0.1	▲3.4	▲1.9
前回 (平成25年度)	347 100.0	94 27.1	63 18.2	125 36.0	176 50.7	108 31.1	132 38.0	68 19.6	112 32.3	87 25.1

	調査数	特に困っていることはない	よくわからない	その他	無回答
今回 (平成28年度)	370 100.0	46 12.4	4 1.1	20 5.4	4 1.1
	増減	0.9	▲1.2	1.7	▲0.3
前回 (平成25年度)	347 100.0	40 11.5	8 2.3	13 3.7	5 1.4

## 4. 相談や情報入手について

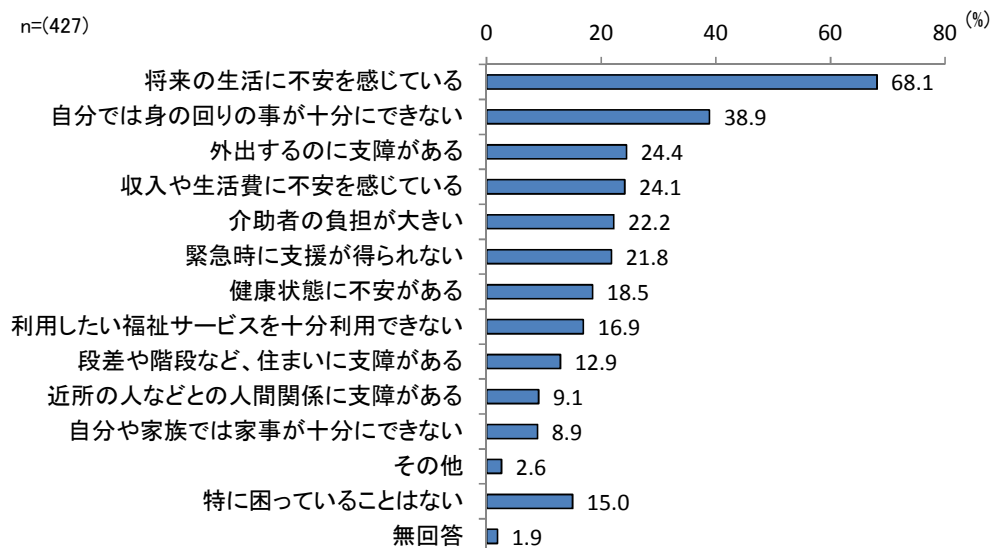
### (1) 日常生活で困っていること

問 18 あなた（や保護者・ご家族の方）は、日常生活で困っていることはありますか。（〇は  
いくつでも）

全体では、「将来の生活に不安を感じている」が68.1%で最も多く、以下「自分では身の回りの事が十分にできない」が38.9%、「外出するのに支障がある」が24.4%、「収入や生活費に不安を感じている」が24.1%となっています。

障害種別でみると、身体障害のある方では「外出するのに支障がある」が、他の障害のある方より多くなっています。一方、知的障害のある方では、「自分では身の回りの事が十分にできない」が多くなっています。

#### ●全体





## ●障害種別

	調査数	自分では身の回りの事が十分にできない	自分や家族では家事が十分にできない	健康状態に不安がある	介助者の負担が大きい	段差や階段など、住まいに支障がある	外出するのに支障がある	利用したい福祉サービスを十分利用できない	収入や生活費に不安を感じている	緊急時に支援が得られない	近所の人などとの人間関係に支障がある
全 体	427 100.0	166 38.9	38 8.9	79 18.5	95 22.2	55 12.9	104 24.4	72 16.9	103 24.1	93 21.8	39 9.1
身体障害	239 100.0	92 38.5	19 7.9	58 24.3	68 28.5	54 22.6	70 29.3	43 18.0	60 25.1	53 22.2	17 7.1
知的障害	264 100.0	117 44.3	30 11.4	45 17.0	59 22.3	30 11.4	58 22.0	49 18.6	70 26.5	62 23.5	32 12.1
精神障害	12 100.0	6 50.0	3 25.0	5 41.7	6 50.0	2 16.7	2 16.7	3 25.0	4 33.3	4 33.3	3 25.0
難病	143 100.0	48 33.6	6 4.2	36 25.2	36 25.2	24 16.8	34 23.8	28 19.6	33 23.1	29 20.3	11 7.7
無回答	3 100.0	1 33.3	－ －	1 33.3	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －

	調査数	将来の生活に不安を感じている	特に困っていることはない	その他	無回答
全 体	427 100.0	291 68.1	64 15.0	11 2.6	8 1.9
身体障害	239 100.0	155 64.9	34 14.2	7 2.9	7 2.9
知的障害	264 100.0	198 75.0	31 11.7	6 2.3	1 0.4
精神障害	12 100.0	9 75.0	1 8.3	－ －	－ －
難病	143 100.0	93 65.0	25 17.5	3 2.1	1 0.7
無回答	3 100.0	1 33.3	1 33.3	－ －	－ －

## (2) 困った時の相談先

問 19 あなた（や保護者）が困った時に相談する相手は誰（どこ）ですか。

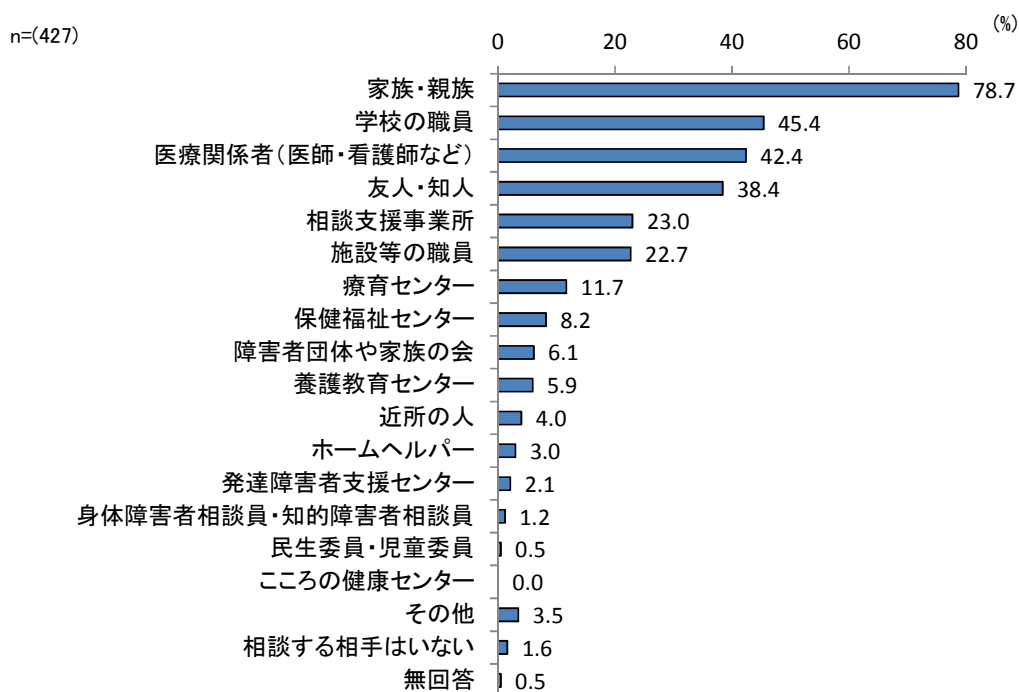
（〇はいくつでも）

全体では、「家族・親族」が78.7%で最も多く、以下「学校の職員」が45.4%、「医療関係者(医師・看護師など)」が42.4%、「友人・知人」が38.4%となっています。

障害種別でみると、身体障害のある方、難病のある方では、「医療関係者(医師・看護師など)」が、知的障害のある方より多くなっています。一方、知的障害のある方では、「学校の職員」が、他の障害のある方より多くなっています。

なお、前回調査と比較すると、今回の調査では「医療関係者(医師・看護師など)」が増加しています。

### ●全体



## ●障害種別

	調査数	家族・親族	友人・知人	近所の人	相談支援事業所	ホームヘルパー	施設等の職員	医療関係者(医師・看護師など)	障害者団体や家族の会	学校の職員	養護教育センター
全 体	427 100.0	336 78.7	164 38.4	17 4.0	98 23.0	13 3.0	97 22.7	181 42.4	26 6.1	194 45.4	25 5.9
身体障害	239 100.0	194 81.2	96 40.2	9 3.8	47 19.7	11 4.6	44 18.4	131 54.8	15 6.3	85 35.6	7 2.9
知的障害	264 100.0	200 75.8	105 39.8	12 4.5	71 26.9	7 2.7	71 26.9	91 34.5	19 7.2	140 53.0	22 8.3
精神障害	12 100.0	9 75.0	3 25.0	- -	5 41.7	1 8.3	4 33.3	6 50.0	- -	7 58.3	2 16.7
難病	143 100.0	118 82.5	52 36.4	3 2.1	21 14.7	5 3.5	23 16.1	75 52.4	10 7.0	47 32.9	7 4.9
無回答	3 100.0	3 100.0	1 33.3	- -	- -	- -	- -	2 66.7	- -	1 33.3	- -

	調査数	民生委員・児童委員	身体障害者相談員・知的障害者相談員	保健福祉センター	療育センター	発達障害者支援センター	こころの健康センター	相談する相手はいない	その他	無回答
全 体	427 100.0	2 0.5	5 1.2	35 8.2	50 11.7	9 2.1	- -	7 1.6	15 3.5	2 0.5
身体障害	239 100.0	- -	1 0.4	22 9.2	26 10.9	2 0.8	- -	3 1.3	6 2.5	1 0.4
知的障害	264 100.0	2 0.8	4 1.5	22 8.3	35 13.3	8 3.0	- -	5 1.9	12 4.5	2 0.8
精神障害	12 100.0	1 8.3	- -	1 8.3	1 8.3	- -	- -	- -	1 8.3	- -
難病	143 100.0	- -	1 0.7	14 9.8	15 10.5	1 0.7	- -	3 2.1	2 1.4	1 0.7
無回答	3 100.0	- -	- -	- -	1 33.3	- -	- -	- -	1 33.3	- -

## ●経年比較

	調査数	家族・親族	友人・知人	近所の人	相談支援事業所	ホームヘルパー	施設等の職員	医療関係者(医師・看護師など)	障害者団体や家族の会	学校の職員	養護教育センター
今回 (平成28年度)	427 100.0	336 78.7	164 38.4	17 4.0	98 23.0	13 3.0	97 22.7	181 42.4	26 6.1	194 45.4	25 5.9
増減		▲2.0	▲3.2	▲0.3	18.2	▲0.5	1.4	11.4	▲2.4	2.2	
前回 (平成25年度)	461 100.0	372 80.7	192 41.6	20 4.3	22 4.8	16 3.5	98 21.3	143 31.0	39 8.5	199 43.2	

	調査数	民生委員・児童委員	身体障害者相談員・知的障害者相談員	保健福祉センター	療育センター	発達障害者支援センター	こころの健康センター	相談する相手はいない	その他	無回答
今回 (平成28年度)	427 100.0	2 0.5	5 1.2	35 8.2	50 11.7	9 2.1	- -	7 1.6	15 3.5	2 0.5
増減		▲0.8	▲2.1	▲3.7		▲1.8	▲0.2	0.5	▲0.6	▲0.8
前回 (平成25年度)	461 100.0	6 1.3	15 3.3	55 11.9		18 3.9	1 0.2	1 0.2	19 4.1	6 1.3

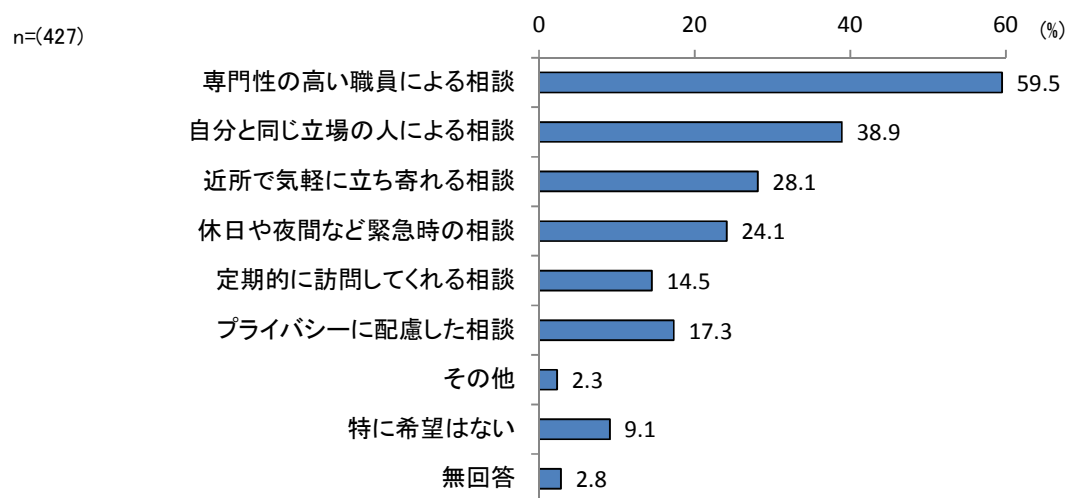
### (3) 希望する相談制度

問 20 あなた（や保護者・ご家族の方）は、どのような相談制度があれば、より便利だと思いますか。（〇はいくつでも）

全体では、「専門性の高い職員による相談」が59.5%で最も多く、以下「自分と同じ立場の人による相談」が38.9%、「近所で気軽に立ち寄れる相談」が28.1%、「休日や夜間など緊急時の相談」が24.1%となっています。

障害種別でみると、知的障害のある方では、「近所で気軽に立ち寄れる相談」が、他の障害のある方より多くなっています。

#### ●全体



#### ●障害種別

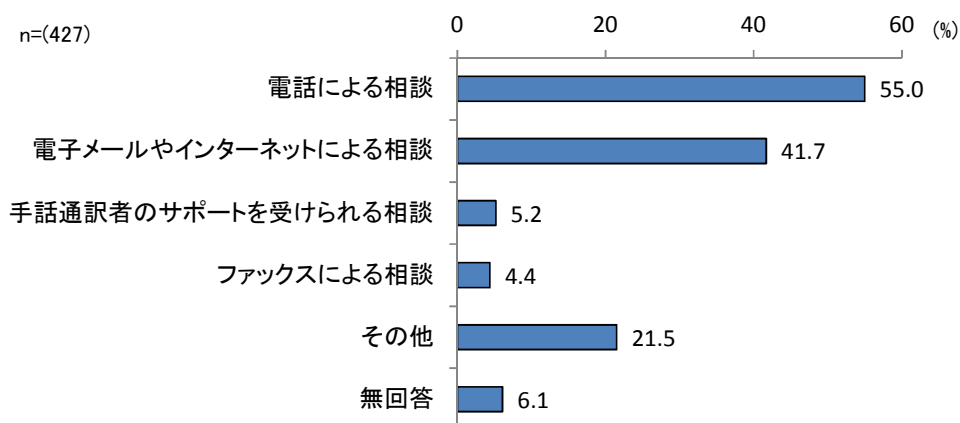
	調査数	近所で気軽に立ち寄れる相談	休日や夜間など緊急時の相談	専門性の高い職員による相談	自分と同じ立場の人による相談	定期的に訪問してくれる相談	プライバシーに配慮した相談	特に希望はない	その他	無回答
全 体	427	120	103	254	166	62	74	39	10	12
	100.0	28.1	24.1	59.5	38.9	14.5	17.3	9.1	2.3	2.8
身体障害	239	60	59	145	96	36	33	23	7	8
	100.0	25.1	24.7	60.7	40.2	15.1	13.8	9.6	2.9	3.3
知的障害	264	83	66	160	103	39	50	16	7	8
	100.0	31.4	25.0	60.6	39.0	14.8	18.9	6.1	2.7	3.0
精神障害	12	4	7	7	4	1	3	-	-	2
	100.0	33.3	58.3	58.3	33.3	8.3	25.0	-	-	16.7
難病	143	32	30	84	48	21	20	16	4	5
	100.0	22.4	21.0	58.7	33.6	14.7	14.0	11.2	2.8	3.5
無回答	3	2	1	1	-	1	-	1	-	-
	100.0	66.7	33.3	33.3	-	33.3	-	33.3	-	-

#### (4) 相談しやすい方法

問 21 あなた（や保護者・ご家族の方）は、どのような相談方法が相談しやすいですか。（〇はいくつでも）

全体では、「電話による相談」が 55.0%で最も多く、次いで「電子メールやインターネットによる相談」が 41.7%となっています。

##### ●全体



##### ●障害種別

	調査数	電話による相談	電子メールやインターネットによる相談	ファックスによる相談	手話通訳者のサポートを受けられる相談	その他	無回答
全 体	427 100.0	235 55.0	178 41.7	19 4.4	22 5.2	92 21.5	26 6.1
身体障害	239 100.0	120 50.2	101 42.3	14 5.9	22 9.2	47 19.7	15 6.3
知的障害	264 100.0	154 58.3	115 43.6	11 4.2	2 0.8	60 22.7	16 6.1
精神障害	12 100.0	6 50.0	4 33.3	－ －	－ －	4 33.3	1 8.3
難病	143 100.0	69 48.3	62 43.4	5 3.5	10 7.0	30 21.0	8 5.6
無回答	3 100.0	2 66.7	－ －	－ －	－ －	2 66.7	－ －

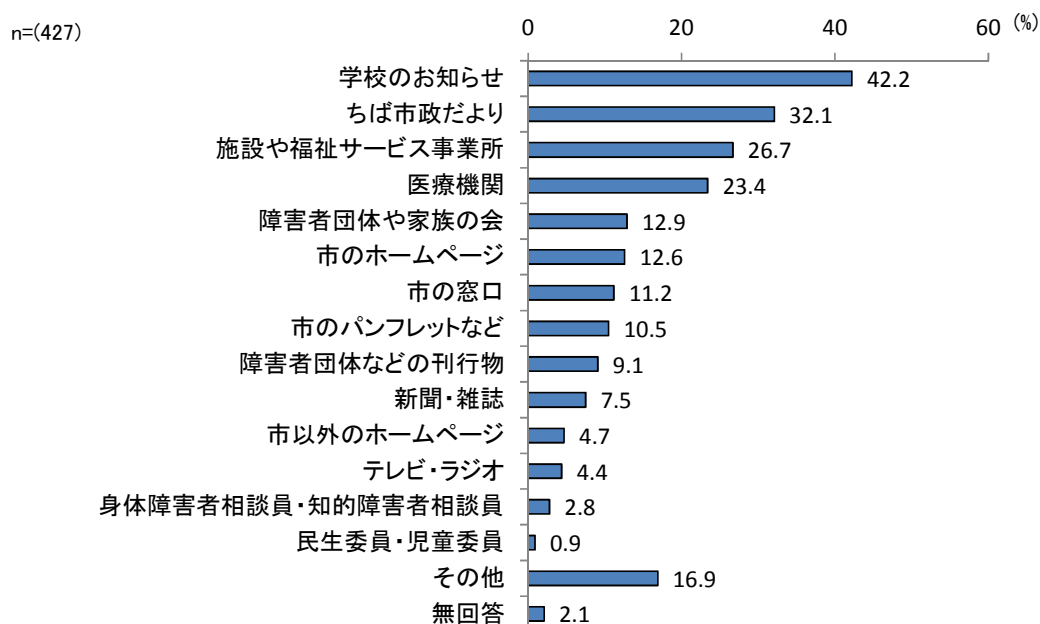
## (5) 福祉情報の入手先

問 22 あなた（や保護者・ご家族の方）は、福祉に関する情報を、どこから知ることが多いですか。（〇はいくつでも）

全体では、「学校のお知らせ」が42.2%で最も多く、以下「ちば市政だより」が32.1%、「施設や福祉サービス事務所」が26.7%、「医療機関」が23.4%となっています。

障害種別でみると、身体障害のある方、難病のある方では、「医療機関」が知的障害のある方より多くなっています。一方、知的障害のある方では、「学校のお知らせ」、「施設や福祉サービス事務所」が他の障害のある方より多くなっています。

### ●全体



# ●障害種別

	調査数	ちば市 政だより	市のパ ンフレッ トなど	障害者 団体な どの刊 行物	学校の お知らせ	市の ホーム ページ	市以外 のホー ムペー ジ	新聞・雑 誌	テレビ・ ラジオ	施設や 福祉サ ービス 事業所	医療機 関
全 体	427 100.0	137 32.1	45 10.5	39 9.1	180 42.2	54 12.6	20 4.7	32 7.5	19 4.4	114 26.7	100 23.4
身体障害	239 100.0	63 26.4	21 8.8	21 8.8	81 33.9	28 11.7	6 2.5	12 5.0	5 2.1	47 19.7	75 31.4
知的障害	264 100.0	95 36.0	30 11.4	26 9.8	135 51.1	36 13.6	16 6.1	28 10.6	15 5.7	86 32.6	46 17.4
精神障害	12 100.0	2 16.7	2 16.7	1 8.3	6 50.0	－ －	－ －	1 8.3	－ －	5 41.7	2 16.7
難病	143 100.0	40 28.0	14 9.8	8 5.6	48 33.6	20 14.0	7 4.9	8 5.6	4 2.8	30 21.0	48 33.6
無回答	3 100.0	1 33.3	－ －	1 33.3	1 33.3	－ －	－ －	－ －	－ －	1 33.3	－ －

	調査数	障害者 団体や 家族の 会	民生委 員・児童 委員	身体障 害者相 談員・知 的障害 者相談 員	市の窓 口	その他	無回答
全 体	427 100.0	55 12.9	4 0.9	12 2.8	48 11.2	72 16.9	9 2.1
身体障害	239 100.0	30 12.6	1 0.4	5 2.1	31 13.0	59 24.7	4 1.7
知的障害	264 100.0	38 14.4	3 1.1	9 3.4	24 9.1	37 14.0	7 2.7
精神障害	12 100.0	3 25.0	－ －	2 16.7	3 25.0	1 8.3	1 8.3
難病	143 100.0	24 16.8	1 0.7	4 2.8	13 9.1	22 15.4	1 0.7
無回答	3 100.0	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －

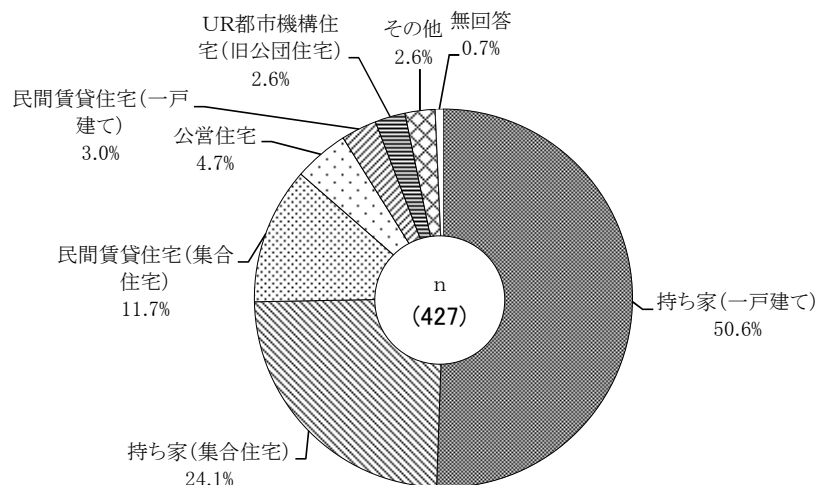
## 5. 暮らしについて

### (1) 住まいの種類

問 23 あなたのお住まいの種類をお聞きます。(○は1つ)

全体では、「持ち家(一戸建て)」が50.6%で最も多く、次いで「持ち家(集合住宅)」が24.1%となっています。

#### ●全体



#### ●障害種別

	調査数	持ち家 (一戸建て)	持ち家 (集合住宅)	民間賃貸住宅 (一戸建て)	民間賃貸住宅 (集合住宅)	公営住宅	UR都市 機構住宅(旧公 団住宅)	グルー プホーム	その他	無回答
全 体	427 100.0	216 50.6	103 24.1	13 3.0	50 11.7	20 4.7	11 2.6	- -	11 2.6	3 0.7
身体障害	239 100.0	118 49.4	56 23.4	7 2.9	28 11.7	14 5.9	5 2.1	- -	8 3.3	3 1.3
知的障害	264 100.0	130 49.2	69 26.1	9 3.4	30 11.4	12 4.5	6 2.3	- -	7 2.7	1 0.4
精神障害	12 100.0	6 50.0	1 8.3	1 8.3	2 16.7	1 8.3	1 8.3	- -	- -	- -
難病	143 100.0	73 51.0	36 25.2	4 2.8	17 11.9	5 3.5	4 2.8	- -	3 2.1	1 0.7
無回答	3 100.0	2 66.7	- -	- -	- -	- -	1 33.3	- -	- -	- -



## (2) 住まいについて困っていること

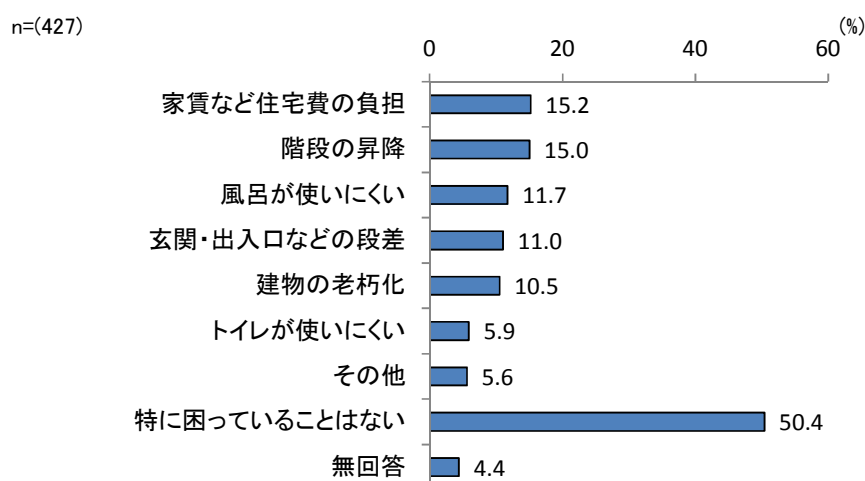
問 24 あなた（や保護者の方）は、住まいについて困っていることがありますか。（〇はいくつでも）

全体では、住まいについて困っていることについて「家賃など住宅費の負担」が 15.2%で最も多く、次いで「階段の昇降」が 15.0%となっています。

障害種別でみると、身体障害のある方と難病のある方では「階段の昇降」が、他の障害のある方より多くなっています。

身体障害の種別でみると、肢体不自由の方では、「階段の昇降」、「玄関・出入口などの段差」、「風呂が使いにくい」が、他の障害のある方より多くなっています。

### ●全体



### ●障害種別

	調査数	階段の昇降	玄関・出入口などの段差	風呂が使いにくい	トイレが使いにくい	建物の老朽化	家賃など住宅費の負担	特に困っていることはない	その他	無回答
全 体	427	64	47	50	25	45	65	215	24	19
	100.0	15.0	11.0	11.7	5.9	10.5	15.2	50.4	5.6	4.4
身体障害	239	55	46	45	21	22	41	94	15	13
	100.0	23.0	19.2	18.8	8.8	9.2	17.2	39.3	6.3	5.4
知的障害	264	36	17	25	12	34	39	139	16	12
	100.0	13.6	6.4	9.5	4.5	12.9	14.8	52.7	6.1	4.5
精神障害	12	-	1	2	1	5	1	4	-	1
	100.0	-	8.3	16.7	8.3	41.7	8.3	33.3	-	8.3
難病	143	30	19	24	9	8	20	67	8	5
	100.0	21.0	13.3	16.8	6.3	5.6	14.0	46.9	5.6	3.5
無回答	3	1	-	-	-	-	-	2	-	-
	100.0	33.3	-	-	-	-	-	66.7	-	-

## ●身体障害の種類別

	調査数	階段の 昇降	玄関・出 入口な どの段 差	風呂が 使いにく い	トイレが 使いにく い	建物の 老朽化	家賃な ど住宅 費の負 担	特に 困ってい ることは ない	その他	無回答
全 体	427 100.0	64 15.0	47 11.0	50 11.7	25 5.9	45 10.5	65 15.2	215 50.4	24 5.6	19 4.4
肢体不自由	160 100.0	51 31.9	45 28.1	44 27.5	21 13.1	16 10.0	24 15.0	47 29.4	12 7.5	8 5.0
音声・言語・そしゃく 機能障害	11 100.0	5 45.5	2 18.2	2 18.2	－ －	－ －	3 27.3	4 36.4	1 9.1	－ －
視覚障害	13 100.0	2 15.4	2 15.4	2 15.4	1 7.7	3 23.1	5 38.5	5 38.5	－ －	－ －
聴覚・平衡機能障害	51 100.0	7 13.7	2 3.9	2 3.9	－ －	5 9.8	12 23.5	20 39.2	5 9.8	6 11.8
内部機能障害 (免疫機能障害を含む)	40 100.0	4 10.0	4 10.0	3 7.5	－ －	－ －	8 20.0	27 67.5	1 2.5	1 2.5

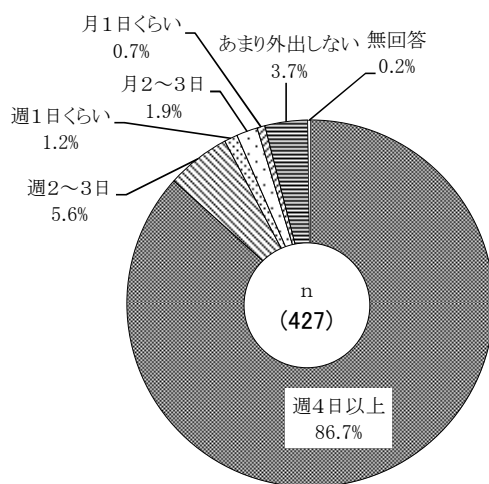
### (3) 外出の頻度

問 25 あなたは、どのくらいの頻度で外出していますか。(○は1つ)

全体では、「週4日以上」が86.7%で最も多くなっています。

年齢別でみると、0～2歳では「週4日以上」が他の年齢に比べて低くなっています。

## ●全体



## ●障害種別

	調査数	週4日以上	週2～3日	週1日くらい	月2～3日	月1日くらい	あまり外出しない	無回答
全 体	427 100.0	370 86.7	24 5.6	5 1.2	8 1.9	3 0.7	16 3.7	1 0.2
身体障害	239 100.0	195 81.6	20 8.4	5 2.1	7 2.9	3 1.3	8 3.3	1 0.4
知的障害	264 100.0	241 91.3	7 2.7	2 0.8	2 0.8	1 0.4	10 3.8	1 0.4
精神障害	12 100.0	11 91.7	－ －	－ －	－ －	－ －	1 8.3	－ －
難病	143 100.0	118 82.5	12 8.4	5 3.5	4 2.8	－ －	4 2.8	－ －
無回答	3 100.0	2 66.7	－ －	－ －	1 33.3	－ －	－ －	－ －

## ●年齢別

	調査数	週4日以上	週2～3日	週1日くらい	月2～3日	月1日くらい	あまり外出しない	無回答
全 体	427 100.0	370 86.7	24 5.6	5 1.2	8 1.9	3 0.7	16 3.7	1 0.2
0～2歳	22 100.0	11 50.0	8 36.4	－ －	1 4.5	－ －	2 9.1	－ －
3～5歳	58 100.0	47 81.0	6 10.3	2 3.4	2 3.4	－ －	－ －	1 1.7
6～8歳	88 100.0	81 92.0	3 3.4	1 1.1	1 1.1	1 1.1	1 1.1	－ －
9～11歳	71 100.0	66 93.0	2 2.8	－ －	－ －	－ －	3 4.2	－ －
12～14歳	99 100.0	94 94.9	1 1.0	－ －	1 1.0	1 1.0	2 2.0	－ －
15歳以上	87 100.0	69 79.3	4 4.6	2 2.3	3 3.4	1 1.1	8 9.2	－ －

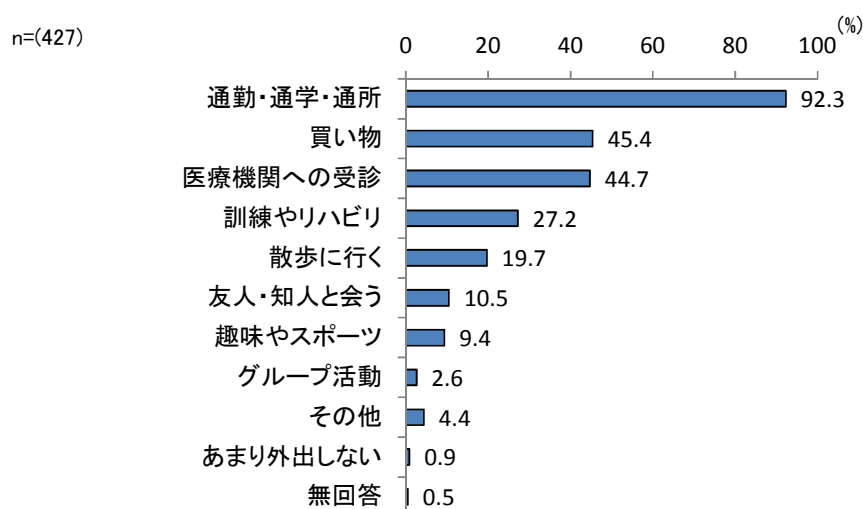
#### (4) 外出の目的

問 26 あなたは、どのような目的で外出することが多いですか。(〇はいくつでも)

全体では、「通勤・通学・通所」が92.3%で最も多く、以下「買い物」が45.4%、「医療機関への受診」が44.7%、「訓練やリハビリ」が27.2%となっています。

障害種別でみると、身体障害のある方、難病のある方では「医療機関への受診」が、知的障害のある方より多くなっています。また、身体障害のある方では、「訓練やリハビリ」が他の障害のある方より多くなっています。

#### ●全体



#### ●障害種別

	調査数	通勤・通学・通所	訓練やリハビリ	医療機関への受診	買い物	友人・知人と会う	趣味やスポーツ	グループ活動	散歩に行く	あまり外出しない	その他	無回答
全 体	427	394	116	191	194	45	40	11	84	4	19	2
	100.0	92.3	27.2	44.7	45.4	10.5	9.4	2.6	19.7	0.9	4.4	0.5
身体障害	239	214	93	135	103	31	17	3	37	2	4	2
	100.0	89.5	38.9	56.5	43.1	13.0	7.1	1.3	15.5	0.8	1.7	0.8
知的障害	264	249	65	104	123	20	29	10	60	3	15	1
	100.0	94.3	24.6	39.4	46.6	7.6	11.0	3.8	22.7	1.1	5.7	0.4
精神障害	12	11	5	8	7	2	3	-	1	1	-	-
	100.0	91.7	41.7	66.7	58.3	16.7	25.0	-	8.3	8.3	-	-
難病	143	127	43	77	63	16	10	1	24	1	1	1
	100.0	88.8	30.1	53.8	44.1	11.2	7.0	0.7	16.8	0.7	0.7	0.7
無回答	3	3	1	3	3	-	-	-	1	-	-	-
	100.0	100.0	33.3	100.0	100.0	-	-	-	33.3	-	-	-

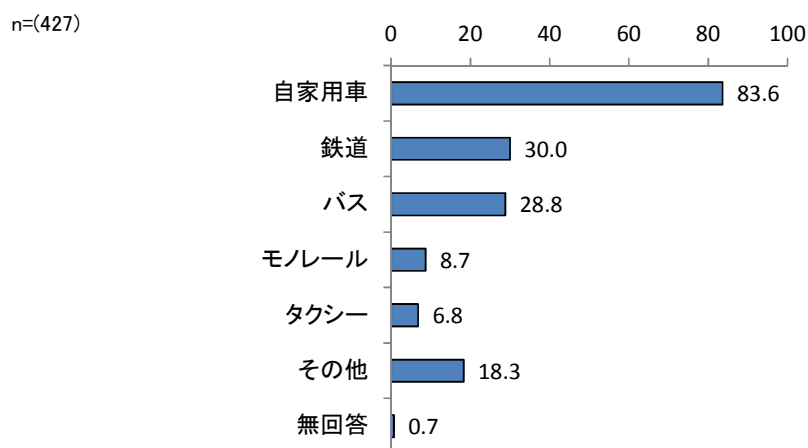
## (5) 外出時の移動手段

問 27 あなたは、外出時の移動手段について、何を利用していますか。(〇はいくつでも)

全体では、「自家用車」が 83.6%で最も多く、以下、「鉄道」が 30.0%、「バス」が 28.8%となっています。

障害種別でみると、知的障害のある方では、「鉄道」、「バス」が他の障害のある方より多くなっています。

### ●全体



### ●障害種別

	調査数	鉄道	バス	モノレール	タクシー	自家用車	その他	無回答
全 体	427	128	123	37	29	357	78	3
	100.0	30.0	28.8	8.7	6.8	83.6	18.3	0.7
身体障害	239	59	49	13	19	203	29	3
	100.0	24.7	20.5	5.4	7.9	84.9	12.1	1.3
知的障害	264	82	84	26	16	223	56	1
	100.0	31.1	31.8	9.8	6.1	84.5	21.2	0.4
精神障害	12	4	7	—	2	9	1	—
	100.0	33.3	58.3	—	16.7	75.0	8.3	—
難病	143	38	33	7	8	126	17	1
	100.0	26.6	23.1	4.9	5.6	88.1	11.9	0.7
無回答	3	2	2	1	—	3	—	—
	100.0	66.7	66.7	33.3	—	100.0	—	—

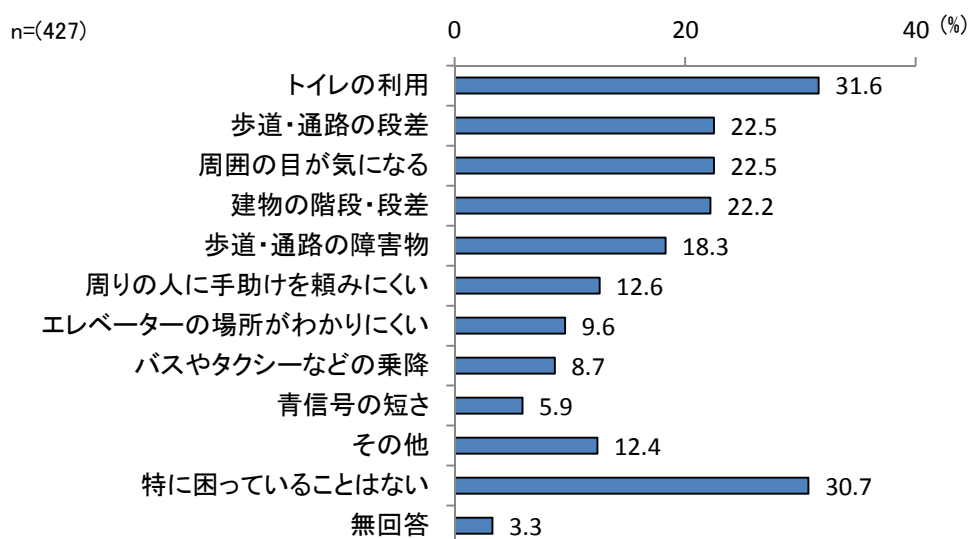
## (6) 外出時に困っていること

問 28 あなたは、外出時に困っていることがありますか。(〇はいくつでも)

全体では、外出するときに困っていることについて「トイレの利用」が 31.6%で最も多く、以下「歩道・通路の段差」と「周囲の目が気になる」が 22.5%、「建物の階段・段差」が 22.2%、「歩道・道路の障害物」が 18.3%となっています。

障害種別でみると、身体障害のある方では、「トイレの利用」、「歩道・通路の段差」、「建物の階段・段差」、「歩道・道路の障害物」が他の障害のある方より多くなっています。

### ●全体



### ●障害種別

	調査数	歩道・通路の段差	青信号の長さ	歩道・通路の障害物	バスやタクシーなどの乗降	建物の階段・段差	エレベーターの場所がわかりにくい	トイレの利用	周りの人に手助けを頼みにくい	周囲の目が気になる	特に困っていることはない	その他	無回答
全 体	427	96	25	78	37	95	41	135	54	96	131	53	14
	100.0	22.5	5.9	18.3	8.7	22.2	9.6	31.6	12.6	22.5	30.7	12.4	3.3
身体障害	239	89	19	70	30	81	32	93	27	50	56	30	8
	100.0	37.2	7.9	29.3	12.6	33.9	13.4	38.9	11.3	20.9	23.4	12.6	3.3
知的障害	264	46	15	36	24	50	23	80	38	66	79	31	8
	100.0	17.4	5.7	13.6	9.1	18.9	8.7	30.3	14.4	25.0	29.9	11.7	3.0
精神障害	12	3	2	3	4	3	2	4	3	3	1	2	1
	100.0	25.0	16.7	25.0	33.3	25.0	16.7	33.3	25.0	25.0	8.3	16.7	8.3
難病	143	44	6	32	16	36	20	53	12	25	40	16	3
	100.0	30.8	4.2	22.4	11.2	25.2	14.0	37.1	8.4	17.5	28.0	11.2	2.1
無回答	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-
	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-

## (7) 外出先のトイレに望むこと

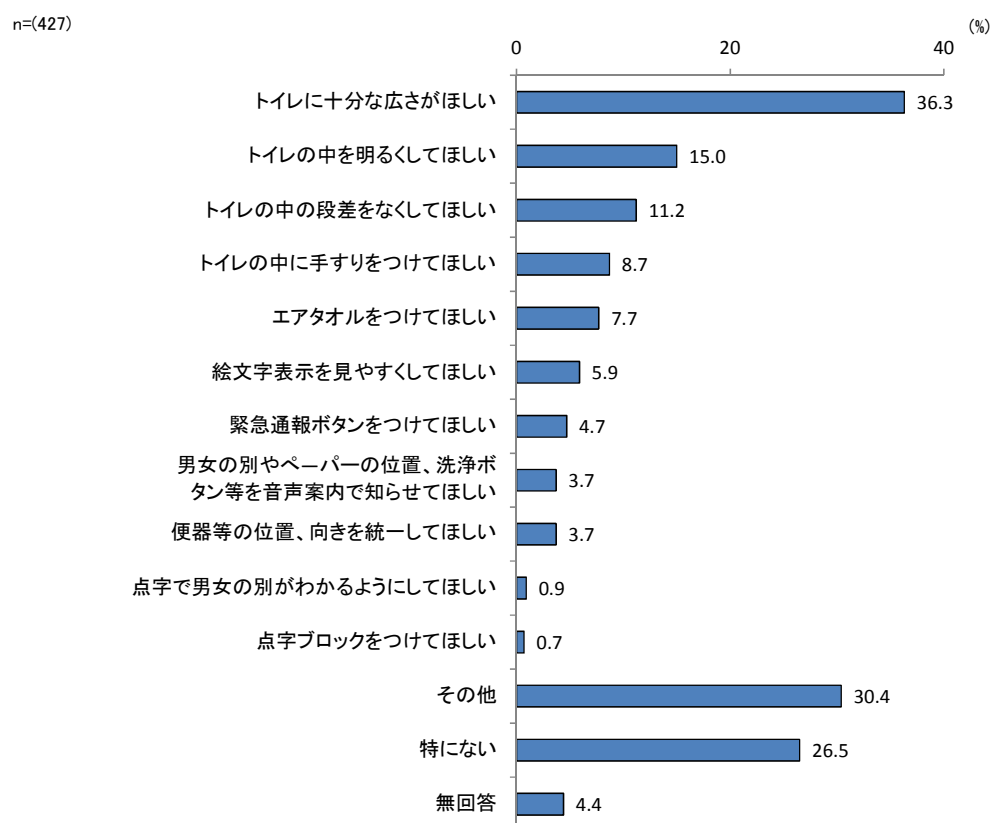
問 29 外出先のトイレに望むことは何ですか。(〇はいくつでも)

全体では、「トイレに十分な広さがほしい」が36.3%で最も多く、以下「トイレの中を明るくしてほしい」が15.0%、「トイレの中の段差をなくしてほしい」が11.2%となっています。

障害種別でみると、身体障害のある方、難病のある方では、「トイレに十分な広さがほしい」、「トイレの中の段差をなくしてほしい」が、知的障害のある方より多くなっています。

身体障害の種別でみると、肢体不自由の方では、「トイレに十分な広さがほしい」が他の障害のある方より多くなっています。また、肢体不自由の方、内部機能障害（免疫機能障害を含む）の方では、「トイレの中の段差をなくしてほしい」が、他より多くなっています。

### ●全体



## ●障害種別

	調査数	点字で男女の別がわかるようにしてほしい	男女の別やペーパーの位置、洗浄ボタン等を音声案内で知らせほしい	絵文字表示を見やすくしてほしい	トイレの中を明るくしてほしい	トイレの中の段差をなくしてほしい	点字ブロックをつけてほしい	便器等の位置、向きを統一してほしい	トイレの中に手すりをつけてほしい	エアタオルをつけてほしい	トイレに十分な広さしてほしい
全 体	427 100.0	4 0.9	16 3.7	25 5.9	64 15.0	48 11.2	3 0.7	16 3.7	37 8.7	33 7.7	155 36.3
身体障害	239 100.0	4 1.7	6 2.5	11 4.6	33 13.8	36 15.1	3 1.3	7 2.9	29 12.1	17 7.1	102 42.7
知的障害	264 100.0	－ －	10 3.8	19 7.2	43 16.3	24 9.1	－ －	11 4.2	15 5.7	22 8.3	92 34.8
精神障害	12 100.0	－ －	－ －	1 8.3	1 8.3	－ －	－ －	－ －	1 8.3	1 8.3	5 41.7
難病	143 100.0	1 0.7	－ －	7 4.9	17 11.9	20 14.0	－ －	3 2.1	7 4.9	10 7.0	62 43.4
無回答	3 100.0	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	1 33.3	－ －	－ －

	調査数	緊急通報ボタンをつけてほしい	特にない	その他	無回答
全 体	427 100.0	20 4.7	113 26.5	130 30.4	19 4.4
身体障害	239 100.0	15 6.3	52 21.8	77 32.2	12 5.0
知的障害	264 100.0	8 3.0	66 25.0	91 34.5	10 3.8
精神障害	12 100.0	－ －	3 25.0	4 33.3	2 16.7
難病	143 100.0	7 4.9	35 24.5	46 32.2	5 3.5
無回答	3 100.0	－ －	2 66.7	－ －	－ －



## ●身体障害種別

	調査数	点字で 男女の 別がわ かるよ うにし てほし い	男女の 別やベ ーパー の位置、 洗浄ボタ ン等を音 声案内 で知ら せてほし い	絵文字 表示を 見やすく してほし い	トイレの 中を明る くしてほ しい	トイレの 中の段 差をなく してほし い	点字ブ ロックを つけて ほしい	便器等 の位置、 向きを統 一してほ しい	トイレの 中に手 すりをつ けてほし い	エアタ オルをつ けてほし い	トイレに 十分な 広さが ほしい
全 体	427 100.0	4 0.9	16 3.7	25 5.9	64 15.0	48 11.2	3 0.7	16 3.7	37 8.7	33 7.7	155 36.3
肢体不自由	160 100.0	－ －	1 0.6	3 1.9	21 13.1	28 17.5	－ －	2 1.3	25 15.6	11 6.9	93 58.1
音声・言語・そしゃく 機能障害	11 100.0	－ －	－ －	1 9.1	3 27.3	1 9.1	－ －	－ －	－ －	1 9.1	6 54.5
視覚障害	13 100.0	4 30.8	4 30.8	－ －	2 15.4	4 30.8	3 23.1	4 30.8	3 23.1	－ －	4 30.8
聴覚・平衡機能障害	51 100.0	－ －	1 2.0	9 17.6	6 11.8	3 5.9	－ －	－ －	－ －	3 5.9	8 15.7
内部機能障害 (免疫機能障害を含む)	40 100.0	－ －	－ －	－ －	4 10.0	6 15.0	－ －	1 2.5	2 5.0	4 10.0	11 27.5

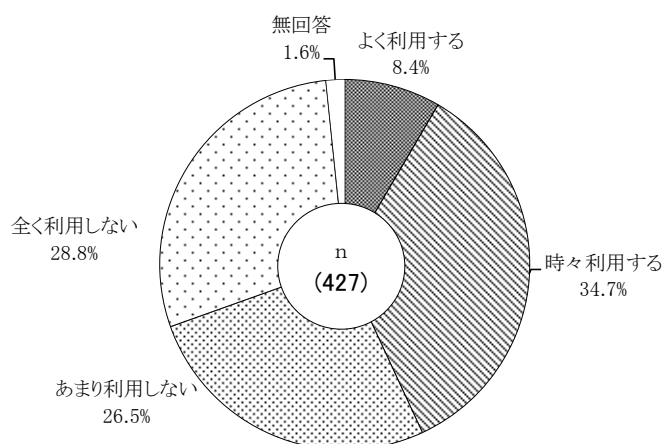
	調査数	緊急通 報ボタン をつけて ほしい	特にな い	その他	無回答
全 体	427 100.0	20 4.7	113 26.5	130 30.4	19 4.4
肢体不自由	160 100.0	9 5.6	15 9.4	70 43.8	3 1.9
音声・言語・そしゃく 機能障害	11 100.0	－ －	2 18.2	4 36.4	－ －
視覚障害	13 100.0	－ －	－ －	6 46.2	－ －
聴覚・平衡機能障害	51 100.0	3 5.9	20 39.2	9 17.6	8 15.7
内部機能障害 (免疫機能障害を含む)	40 100.0	3 7.5	17 42.5	5 12.5	2 5.0

## (8) 公園の利用状況

問 30 あなたは日頃、近くの公園を利用していますか。(○は1つ)

全体では、「よく利用する」が8.4%、「時々利用する」が34.7%となっています。

### ●全体



### ●障害種別

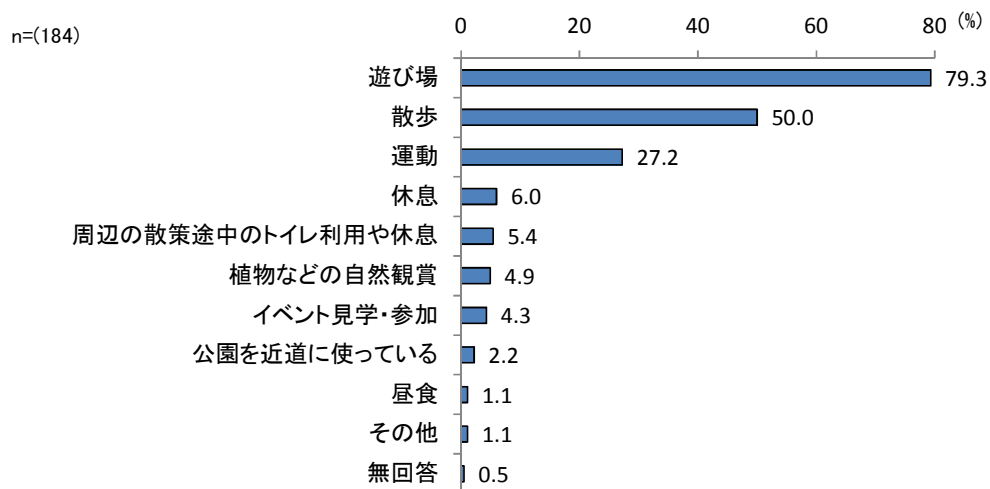
	調査数	よく利用 する	時々利 用する	あまり利 用しない	全く利用 しない	無回答
全 体	427 100.0	36 8.4	148 34.7	113 26.5	123 28.8	7 1.6
身体障害	239 100.0	15 6.3	80 33.5	60 25.1	80 33.5	4 1.7
知的障害	264 100.0	26 9.8	98 37.1	68 25.8	69 26.1	3 1.1
精神障害	12 100.0	1 8.3	3 25.0	2 16.7	5 41.7	1 8.3
難病	143 100.0	15 10.5	43 30.1	39 27.3	44 30.8	2 1.4
無回答	3 100.0	－ －	1 33.3	2 66.7	－ －	－ －

## (9) 公園の利用目的

問31 【問30で「1. よく利用する」または「2. 時々利用する」に○をつけた方におたずねします】あなたが公園を利用する目的は何ですか。(○はいくつでも)

全体では、「遊び場」が79.3%で最も多く、以下「散歩」が50.0%、「運動」が27.2%となっています。

### ●全体



### ●障害種別

	調査数	散歩	運動	休息	植物などの自然観賞	昼食	公園を近道に使っている	周辺の散策途中のトイレ利用や休息	遊び場	イベント見学・参加	その他	無回答
全 体	184 100.0	92 50.0	50 27.2	11 6.0	9 4.9	2 1.1	4 2.2	10 5.4	146 79.3	8 4.3	2 1.1	1 0.5
身体障害	95 100.0	51 53.7	26 27.4	4 4.2	6 6.3	1 1.1	2 2.1	2 2.1	65 68.4	1 1.1	2 2.1	1 1.1
知的障害	124 100.0	63 50.8	35 28.2	8 6.5	4 3.2	1 0.8	3 2.4	9 7.3	105 84.7	7 5.6	-	-
精神障害	4 100.0	2 50.0	2 50.0	-	-	-	-	-	3 75.0	-	-	-
難病	58 100.0	28 48.3	11 19.0	3 5.2	2 3.4	-	2 3.4	1 1.7	45 77.6	2 3.4	2 3.4	-
無回答	1 100.0	-	-	-	-	-	-	-	1 100.0	-	-	-

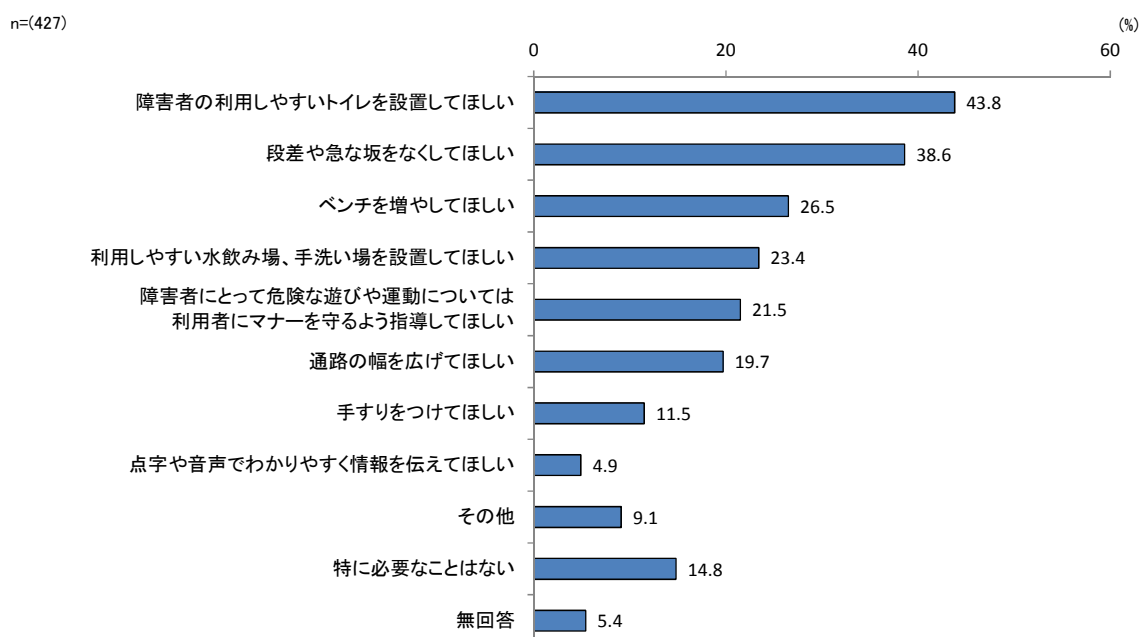
## (10) 障害者の公園利用のために必要なこと

問 32 あなたは、障害者が安心して公園を利用できるようにするために、何が必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

全体では、「障害者の利用しやすいトイレを設置してほしい」が43.8%で最も多く、以下「段差や急な坂をなくしてほしい」が38.6%、「ベンチを増やしてほしい」が26.5%、「利用しやすい水飲み場、手洗い場を設置してほしい」が23.4%となっています。

障害種別でみると、身体障害のある方、難病のある方では、「段差や急な坂をなくしてほしい」が知的障害のある方より多くなっています。

### ●全体



# ●障害種別

	調査数	通路の幅を広げてほしい	手すりをつけてほしい	段差や急な坂をなくしてほしい	点字や音声でわかりやすく情報を伝えてほしい	障害者の利用しやすいトイレを設置してほしい	障害者にとって危険な遊びや運動については利用者にマナーを守るよう指導してほしい	ベンチを増やしてほしい	利用しやすい水飲み場、手洗い場を設置してほしい	特に必要なことはない	その他	無回答
全 体	427 100.0	84 19.7	49 11.5	165 38.6	21 4.9	187 43.8	92 21.5	113 26.5	100 23.4	63 14.8	39 9.1	23 5.4
身体障害	239 100.0	58 24.3	34 14.2	120 50.2	14 5.9	110 46.0	49 20.5	64 26.8	43 18.0	32 13.4	17 7.1	11 4.6
知的障害	264 100.0	46 17.4	25 9.5	92 34.8	8 3.0	123 46.6	55 20.8	71 26.9	63 23.9	35 13.3	29 11.0	13 4.9
精神障害	12 100.0	4 33.3	3 25.0	5 41.7	2 16.7	7 58.3	1 8.3	7 58.3	3 25.0	1 8.3	1 8.3	1 8.3
難病	143 100.0	35 24.5	15 10.5	63 44.1	5 3.5	62 43.4	30 21.0	41 28.7	29 20.3	17 11.9	10 7.0	8 5.6
無回答	3 100.0	1 33.3	- -	1 33.3	- -	1 33.3	- -	2 66.7	2 66.7	- -	- -	- -

## 6. 災害対策について

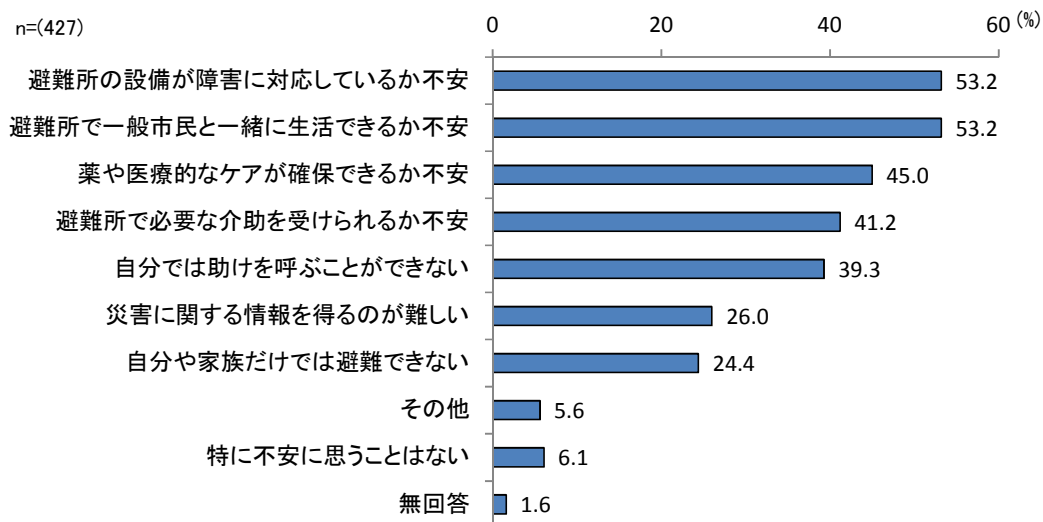
### (1) 災害時に不安に思うこと

問 33 あなた（や保護者・ご家族の方）は、地震などの災害が起きた時について、どのようなことを不安に思いますか。（〇はいくつでも）

全体では、「避難所の設備が障害に対応しているか不安」と「避難所で一般市民と一緒に生活できるか不安」がいずれも 53.2%の同率で最も多く、以下「薬や医療的なケアが確保できるか不安」が 45.0%、「避難所で必要な介助を受けられるか不安」が 41.2%、「自分では助けを呼ぶことができない」が 39.3%となっています。

障害種別でみると、身体障害のある方、難病の方では、「薬や医療的なケアが確保できるか不安」が、知的障害のある方より多くなっています。一方、知的障害のある方では、「避難所で一般市民と一緒に生活できるか不安」、「自分では助けを呼ぶことができない」が、他の障害のある方より多くなっています。

#### ●全体



# ●障害種別

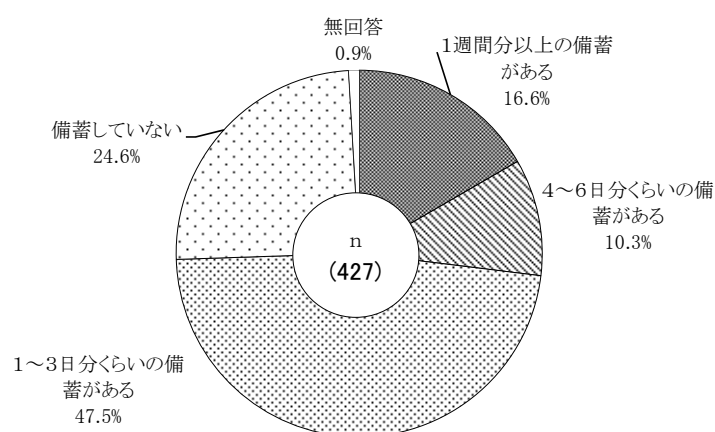
	調査数	自分や 家族だ けでは 避難で きない	自分 では 助け を呼ぶ ことが でき ない	災害に 関する 情報を 得るの が難し い	避難所 の設備 が障害 に対応 してい るか不 安	避難所 で必要 な介助 を受け られる か不安	避難所 で一般 市民と 一緒に 生活で きるか 不安	薬や医 療的な ケアが 確保で きるか 不安	特に不 安に思 うこと はない	その他	無回答
全 体	427 100.0	104 24.4	168 39.3	111 26.0	227 53.2	176 41.2	227 53.2	192 45.0	26 6.1	24 5.6	7 1.6
身体障害	239 100.0	65 27.2	79 33.1	62 25.9	144 60.3	108 45.2	109 45.6	129 54.0	11 4.6	15 6.3	3 1.3
知的障害	264 100.0	65 24.6	122 46.2	71 26.9	143 54.2	112 42.4	169 64.0	105 39.8	15 5.7	16 6.1	4 1.5
精神障害	12 100.0	5 41.7	7 58.3	6 50.0	8 66.7	7 58.3	6 50.0	9 75.0	- -	2 16.7	- -
難病	143 100.0	35 24.5	49 34.3	30 21.0	82 57.3	64 44.8	67 46.9	85 59.4	9 6.3	5 3.5	2 1.4
無回答	3 100.0	- -	- -	- -	1 33.3	2 66.7	- -	2 66.7	- -	- -	- -

## (2) 災害発生に備えた備蓄状況

問 34 あなたは、災害発生に備えて、避難生活に必要な物資（薬や装具等）を、備蓄していますか。（○は1つ）

「1～3日分くらいの備蓄がある」が47.5%で最も多く、次いで「1週間分以上の備蓄がある」が16.6%となっています。一方、「備蓄していない」は24.6%となっています。

### ●全体



### ●障害種別

	調査数	1週間分以上の備蓄がある	4～6日分くらいの備蓄がある	1～3日分くらいの備蓄がある	備蓄していない	無回答
全 体	427	71	44	203	105	4
	100.0	16.6	10.3	47.5	24.6	0.9
身体障害	239	53	30	100	54	2
	100.0	22.2	12.6	41.8	22.6	0.8
知的障害	264	39	24	137	62	2
	100.0	14.8	9.1	51.9	23.5	0.8
精神障害	12	5	2	2	3	—
	100.0	41.7	16.7	16.7	25.0	—
難病	143	34	17	59	31	2
	100.0	23.8	11.9	41.3	21.7	1.4
無回答	3	—	2	—	1	—
	100.0	—	66.7	—	33.3	—



### (3) 災害に対する備え

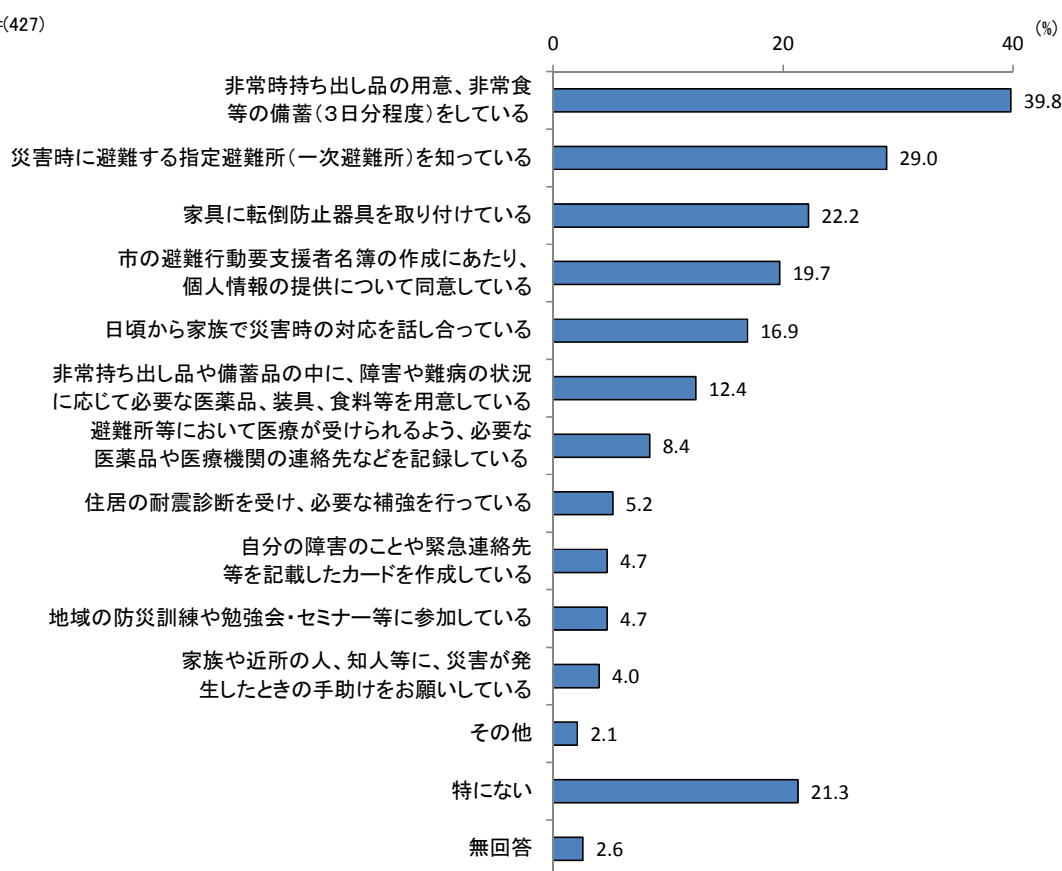
問 35 あなたは、災害に対してどのような備えをしていますか。(〇はいくつでも)

全体では、「非常時持ち出し品の用意、非常食等の備蓄(3日分程度)」をしている」が39.8%で最も多く、以下「災害時に避難する指定避難所(一次避難所)を知っている」が29.0%、「家具に転倒防止器具を取り付けている」が22.2%となっています。

障害種別でみると、知的障害のある方では、「災害時に避難する指定避難所(一次避難所)を知っている」と「非常時持ち出し品の用意、非常食等の備蓄(3日分程度)」をしている」が他の障害のある方より多くなっています。

#### ●全体

n=(427)



# ●障害種別

	調査数	日頃から家族で災害時の対応を話合っている	非常時持ち出し品の用意、非常食等の備蓄(3日分程度)をしている	非常持ち出し品や備蓄品の中に、障害の状況に応じて必要な医薬品、装具、食料等を用意している	避難所等において医療が受けられるよう、必要な医薬品や医療機関の連絡先などを記録している	家族や近所の人、知人等に、災害が発生したときの手助けをお願いしている	自分の障害のことや緊急連絡先等を記載したカードを作成している	市の避難行動要支援者名簿の作成にあたり、個人情報提供について同意している	家具に転倒防止器具を取り付けている	住居の耐震診断を受け、必要な補強を行っている	災害時に避難する指定避難所(一次避難所)を知っている
全 体	427 100.0	72 16.9	170 39.8	53 12.4	36 8.4	17 4.0	20 4.7	84 19.7	95 22.2	22 5.2	124 29.0
身体障害	239 100.0	42 17.6	86 36.0	41 17.2	24 10.0	12 5.0	11 4.6	59 24.7	53 22.2	10 4.2	61 25.5
知的障害	264 100.0	43 16.3	114 43.2	27 10.2	22 8.3	11 4.2	14 5.3	56 21.2	60 22.7	15 5.7	87 33.0
精神障害	12 100.0	3 25.0	4 33.3	2 16.7	4 33.3	2 16.7	3 25.0	6 50.0	1 8.3	- -	5 41.7
難病	143 100.0	19 13.3	53 37.1	21 14.7	11 7.7	6 4.2	5 3.5	33 23.1	33 23.1	8 5.6	31 21.7
無回答	3 100.0	- -	1 33.3	- -	- -	- -	- -	- -	1 33.3	- -	1 33.3

	調査数	地域の防災訓練や勉強会・セミナー等に参加している	特にない	その他	無回答
全 体	427 100.0	20 4.7	91 21.3	9 2.1	11 2.6
身体障害	239 100.0	8 3.3	47 19.7	6 2.5	7 2.9
知的障害	264 100.0	16 6.1	55 20.8	8 3.0	6 2.3
精神障害	12 100.0	- -	2 16.7	1 8.3	1 8.3
難病	143 100.0	6 4.2	32 22.4	1 0.7	5 3.5
無回答	3 100.0	1 33.3	- -	- -	- -

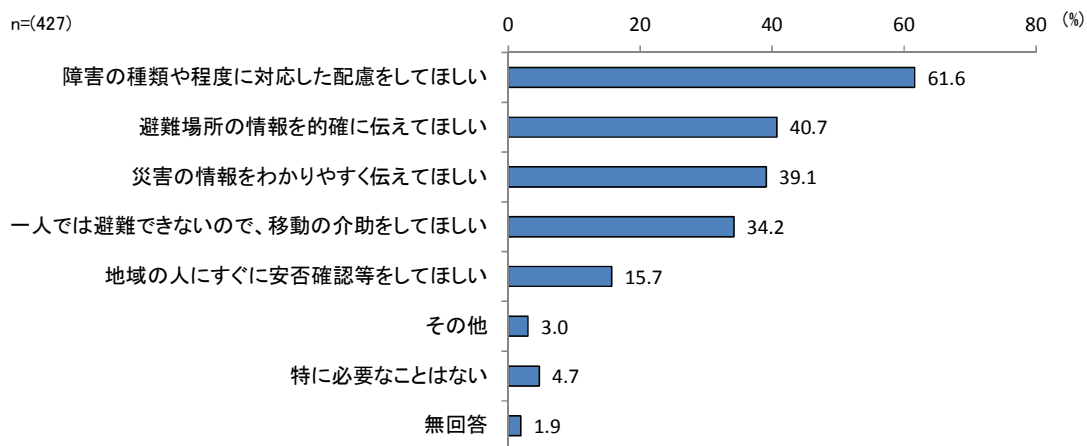
#### (4) 災害で避難する場合に必要な支援

問 36 あなたは、災害で避難する場合に、どのような支援をしてほしいですか。(〇はいくつでも)

全体では、「障害の種類や程度に対応した配慮をしてほしい」が61.6%で最も多く、以下「避難場所の情報を的確に伝えてほしい」が40.7%、「災害の情報をわかりやすく伝えてほしい」が39.1%となっています。

障害種別でみると、身体障害のある方では、「一人では避難できないので、移動の介助をしてほしい」が、他の障害より多くなっています。一方、知的障害のある方では、「避難場所の情報を的確に伝えてほしい」が多くなっています。

#### ●全体



#### ●障害種別

	調査数	一人では避難できないので、移動の介助をしてほしい	災害の情報をわかりやすく伝えてほしい	障害の種類や程度に対応した配慮をしてほしい	地域の人にすぐに安否確認等をしてほしい	避難場所の情報を的確に伝えてほしい	特に必要なことはない	その他	無回答
全 体	427	146	167	263	67	174	20	13	8
	100.0	34.2	39.1	61.6	15.7	40.7	4.7	3.0	1.9
身体障害	239	97	92	144	31	88	9	6	6
	100.0	40.6	38.5	60.3	13.0	36.8	3.8	2.5	2.5
知的障害	264	88	96	174	50	117	11	8	6
	100.0	33.3	36.4	65.9	18.9	44.3	4.2	3.0	2.3
精神障害	12	7	4	9	1	5	—	1	—
	100.0	58.3	33.3	75.0	8.3	41.7	—	8.3	—
難病	143	50	46	83	21	48	13	6	1
	100.0	35.0	32.2	58.0	14.7	33.6	9.1	4.2	0.7
無回答	3	1	1	1	—	2	—	—	—
	100.0	33.3	33.3	33.3	—	66.7	—	—	—

## 7. 療育・保育について

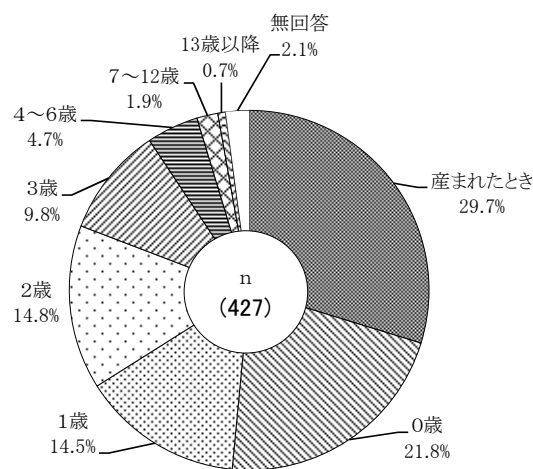
### (1) 障害に気づいた時期

問 37 保護者・ご家族の方が、あて名のお子さんの障害に気づいたのはいつですか。(〇は1つ)

全体では、「産まれたとき」が29.7%で最も多く、次いで「0歳」が21.8%となっている。

障害種別でみると、身体障害のある方、難病のある方では、「産まれたとき」が、他の障害のある方より多くなっています。

#### ●全体



#### ●障害種別

	調査数	産まれたとき	0歳	1歳	2歳	3歳	4～6歳	7～12歳	13歳以降	無回答
全 体	427	127	93	62	63	42	20	8	3	9
	100.0	29.7	21.8	14.5	14.8	9.8	4.7	1.9	0.7	2.1
身体障害	239	94	72	28	21	9	6	2	2	5
	100.0	39.3	30.1	11.7	8.8	3.8	2.5	0.8	0.8	2.1
知的障害	264	64	47	40	49	35	15	7	1	6
	100.0	24.2	17.8	15.2	18.6	13.3	5.7	2.7	0.4	2.3
精神障害	12	3	4	-	3	1	1	-	-	-
	100.0	25.0	33.3	-	25.0	8.3	8.3	-	-	-
難病	143	68	38	11	10	5	4	2	1	4
	100.0	47.6	26.6	7.7	7.0	3.5	2.8	1.4	0.7	2.8
無回答	3	1	-	-	-	1	-	-	-	1
	100.0	33.3	-	-	-	33.3	-	-	-	33.3

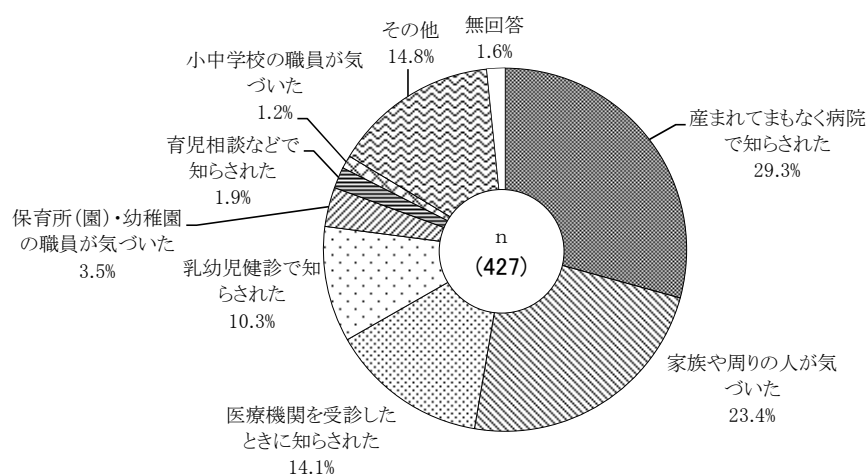
## (2) 障害に気づいたきっかけ

問 38 保護者・ご家族の方が、あて名のお子さんの障害に気づいたきっかけは何ですか。(〇は1つ)

全体では、「産まれてまもなく病院で知らされた」が29.3%で最も多く、次いで「家族や周りの人が気づいた」が23.4%となっています。

障害種別でみると、身体障害のある方、難病のある方では、「産まれてまもなく病院で知らされた」が、他の障害のある方より多くなっています。一方、知的障害のある方では、「家族や周りの人が気づいた」が多くなっています。

### ●全体



### ●障害種別

	調査数	産まれてまもなく病院で知らされた	家族や周りの人が気づいた	乳幼児健診で知らされた	医療機関を受診したときに知らされた	育児相談などで知らされた	保育所(園)・幼稚園の職員が気づいた	小中学校の職員が気づいた	その他	無回答
全 体	427	125	100	44	60	8	15	5	63	7
	100.0	29.3	23.4	10.3	14.1	1.9	3.5	1.2	14.8	1.6
身体障害	239	89	42	14	46	1	1	—	42	4
	100.0	37.2	17.6	5.9	19.2	0.4	0.4	—	17.6	1.7
知的障害	264	71	69	35	22	7	15	5	34	6
	100.0	26.9	26.1	13.3	8.3	2.7	5.7	1.9	12.9	2.3
精神障害	12	4	2	3	1	—	—	—	2	—
	100.0	33.3	16.7	25.0	8.3	—	—	—	16.7	—
難病	143	68	22	5	24	—	1	—	20	3
	100.0	47.6	15.4	3.5	16.8	—	0.7	—	14.0	2.1
無回答	3	1	1	—	1	—	—	—	—	—
	100.0	33.3	33.3	—	33.3	—	—	—	—	—

### (3) 療育・保育について困っていること

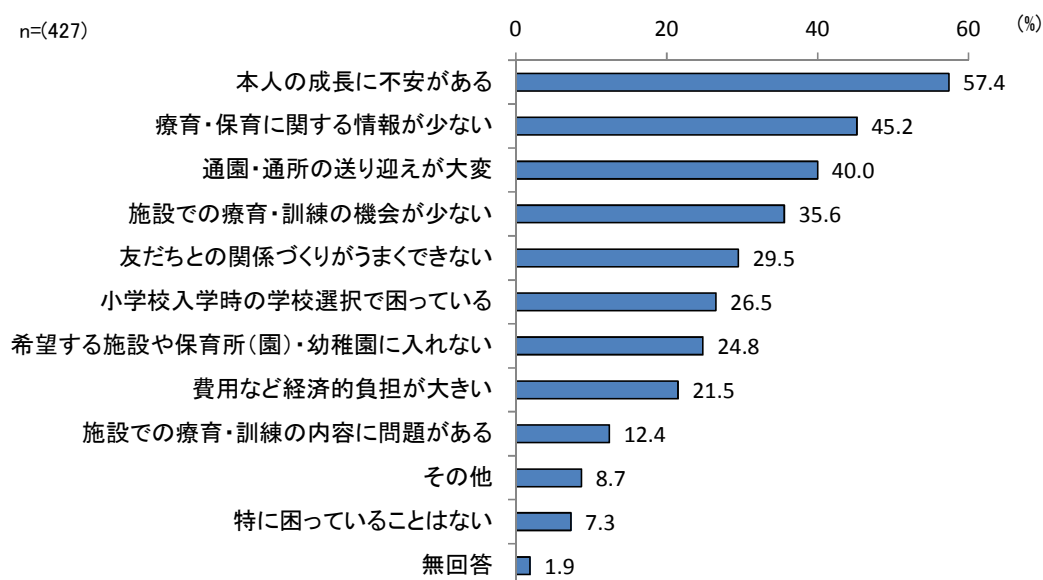
問 39 保護者・ご家族の方が、あて名のお子さんの療育・保育について困っている（または以前に困ったことがある）ことはありますか。（〇はいくつでも）

全体では、「本人の成長に不安がある」が57.4%で最も多く、以下「療育・保育に関する情報が少ない」が45.2%、「通園・通所の送り迎えが大変」が40.0%、「施設での療育・訓練の機会が少ない」が35.6%となっています。

障害種別でみると、知的障害のある方では、「本人の成長に不安がある」、「療育・保育に関する情報が少ない」、「施設での療育・訓練の機会が少ない」が他の障害のある方より多くなっています。

年齢別でみると、0～2歳、3～5歳、6～8歳では、「療育・保育に関する情報が少ない」が他の年代より多くなっています。また、6～8歳、9～11歳では「施設での療育・訓練の機会が少ない」が他の年代より多くなっています。

#### ●全体



## ●障害種別

	調査数	療育・保育に関する情報が少ない	希望する施設や保育所(園)・幼稚園に入れない	施設での療育・訓練の機会が少ない	施設での療育・訓練の内容に問題がある	本人の成長に不安がある	友だちとの関係づくりがうまくできない	通園・通所の送り迎えが大変	費用など経済的負担が大きい	小学校入学時の学校選択で困っている	特に困っていることはない	その他	無回答
全 体	427 100.0	193 45.2	106 24.8	152 35.6	53 12.4	245 57.4	126 29.5	171 40.0	92 21.5	113 26.5	31 7.3	37 8.7	8 1.9
身体障害	239 100.0	92 38.5	57 23.8	69 28.9	25 10.5	127 53.1	38 15.9	94 39.3	51 21.3	54 22.6	21 8.8	22 9.2	5 2.1
知的障害	264 100.0	139 52.7	66 25.0	114 43.2	41 15.5	160 60.6	97 36.7	111 42.0	56 21.2	69 26.1	13 4.9	21 8.0	4 1.5
精神障害	12 100.0	7 58.3	2 16.7	4 33.3	3 25.0	8 66.7	3 25.0	4 33.3	2 16.7	2 16.7	- -	1 8.3	- -
難病	143 100.0	58 40.6	38 26.6	42 29.4	20 14.0	80 55.9	34 23.8	50 35.0	30 21.0	40 28.0	9 6.3	11 7.7	1 0.7
無回答	3 100.0	1 33.3	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	1 33.3	2 66.7	- -	- -

## ●年齢別

	調査数	療育・保育に関する情報が少ない	希望する施設や保育所(園)・幼稚園に入れない	施設での療育・訓練の機会が少ない	施設での療育・訓練の内容に問題がある	本人の成長に不安がある	友だちとの関係づくりがうまくできない	通園・通所の送り迎えが大変	費用など経済的負担が大きい	小学校入学時の学校選択で困っている	特に困っていることはない	その他	無回答
全 体	427 100.0	193 45.2	106 24.8	152 35.6	53 12.4	245 57.4	126 29.5	171 40.0	92 21.5	113 26.5	31 7.3	37 8.7	8 1.9
0～2歳	22 100.0	13 59.1	4 18.2	7 31.8	3 13.6	13 59.1	2 9.1	10 45.5	5 22.7	6 27.3	1 4.5	4 18.2	- -
3～5歳	58 100.0	30 51.7	20 34.5	21 36.2	8 13.8	35 60.3	14 24.1	24 41.4	14 24.1	33 56.9	1 1.7	6 10.3	- -
6～8歳	88 100.0	46 52.3	21 23.9	41 46.6	10 11.4	58 65.9	29 33.0	42 47.7	26 29.5	26 29.5	4 4.5	8 9.1	1 1.1
9～11歳	71 100.0	29 40.8	15 21.1	31 43.7	11 15.5	40 56.3	22 31.0	26 36.6	17 23.9	14 19.7	8 11.3	5 7.0	2 2.8
12～14歳	99 100.0	45 45.5	27 27.3	31 31.3	11 11.1	53 53.5	34 34.3	39 39.4	17 17.2	20 20.2	8 8.1	6 6.1	3 3.0
15歳以上	87 100.0	29 33.3	19 21.8	21 24.1	10 11.5	46 52.9	25 28.7	30 34.5	13 14.9	13 14.9	8 9.2	8 9.2	2 2.3

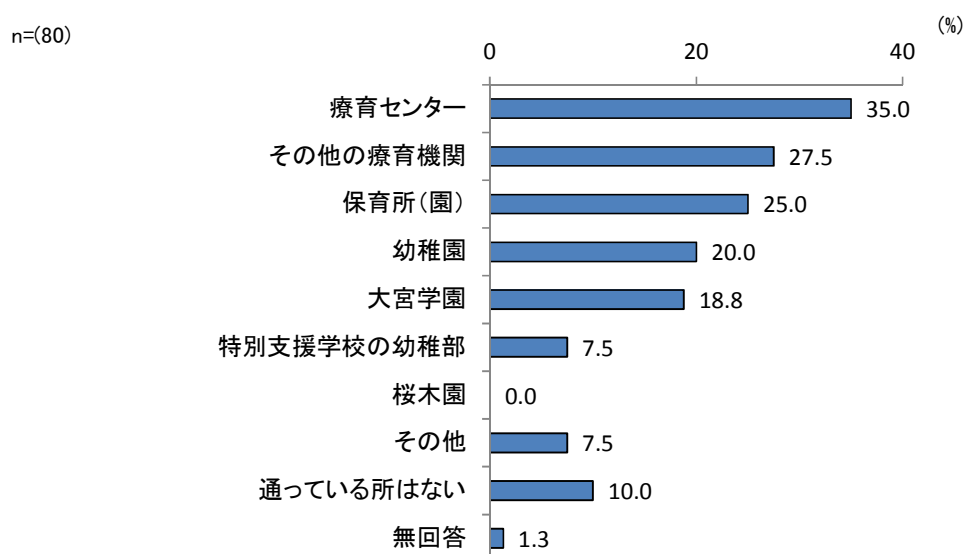
#### (4) 現在通っているところ（小学校入学前）

問 40 【あなた（あて名のお子さん）が小学校入学前の方におたずねします。】あなたが現在通っているところがありますか。（〇はいくつでも）

全体では、「療育センター」が35.0%で最も多く、以下「その他の療育機関」が27.5%、「保育所（園）」が25.0%となっています。

障害種別でみると、知的障害のある方では、「保育所（園）」、「その他の療育機関」が他の障害のある方より多くなっています。

#### ●全体



#### ●障害種別

	調査数	保育所 (園)	幼稚園	特別支 援学校 の幼稚 部	療育セ ンター	大宮学 園	桜木園	その他 の療育 機関	通ってい る所は ない	その他	無回答
全 体	80 100.0	20 25.0	16 20.0	6 7.5	28 35.0	15 18.8	-	22 27.5	8 10.0	6 7.5	1 1.3
身体障害	55 100.0	8 14.5	10 18.2	6 10.9	20 36.4	7 12.7	-	9 16.4	8 14.5	3 5.5	1 1.8
知的障害	37 100.0	16 43.2	7 18.9	-	14 37.8	10 27.0	-	15 40.5	1 2.7	4 10.8	-
精神障害	1 100.0	-	1 100.0	-	1 100.0	-	-	-	-	-	-
難病	38 100.0	5 13.2	6 15.8	1 2.6	13 34.2	6 15.8	-	7 18.4	7 18.4	2 5.3	1 2.6
無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-



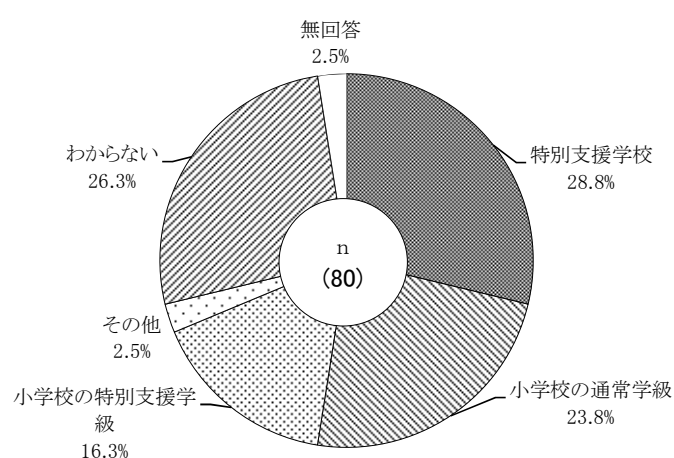
## (5) 小学校入学時の希望

問 41 【あなた（あて名のお子さん）が小学校入学前の方におたずねします。】あなたが小学校（小学部）に入学するとき、どの学校・学級に通わせたいと思いますか。（○は1つ）

全体では、「特別支援学校」が 28.8%で最も多く、以下「小学校の通常学級」が 23.8%、「小学校の特別支援学級」が 16.3%となっています。

障害種別でみると、知的障害のある方では、「小学校の通常学級」、「小学校の特別支援学級」が他の障害のある方より多くなっています。

### ●全体



### ●障害種別

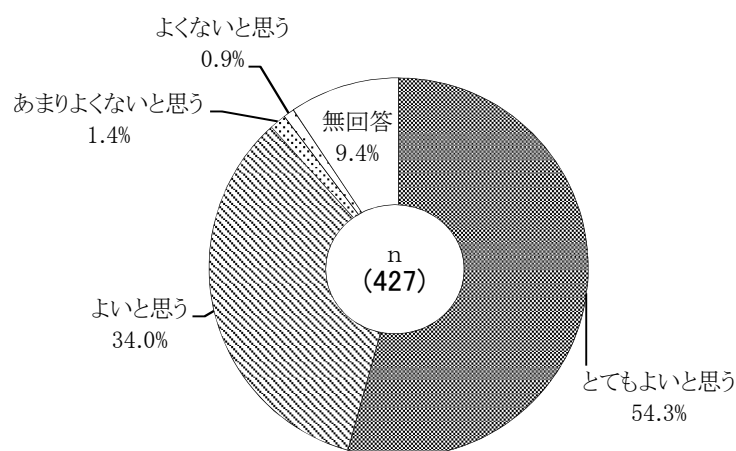
	調査数	小学校の通常学級	小学校の特別支援学級	特別支援学校	わからない	その他	無回答
全 体	80 100.0	19 23.8	13 16.3	23 28.8	21 26.3	2 2.5	2 2.5
身体障害	55 100.0	10 18.2	5 9.1	21 38.2	15 27.3	2 3.6	2 3.6
知的障害	37 100.0	9 24.3	9 24.3	9 24.3	10 27.0	— —	— —
精神障害	1 100.0	1 100.0	— —	— —	— —	— —	— —
難病	38 100.0	6 15.8	6 15.8	14 36.8	9 23.7	2 5.3	1 2.6
無回答	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —

(6) 子どもの支援に関する情報が小学校に提供されることについて

問 42 【保護者の方におたずねします。】療育・保育から小学校に入学する際に、保護者の同意があった場合、お子さんの支援に関する情報が小学校に提供されることについてどう思いますか。(〇は1つ)

全体では、「とてもよいと思う」が54.3%、「よいと思う」が34.0%となっています。  
障害種別でみると、いずれの種別でも、「とてもよいと思う」が多くなっています。

●全体



●障害種別

	調査数	とてもよいと思う	よいと思う	あまりよくないと思う	よくないと思う	無回答
全 体	427	232	145	6	4	40
	100.0	54.3	34.0	1.4	0.9	9.4
身体障害	239	132	79	3	2	23
	100.0	55.2	33.1	1.3	0.8	9.6
知的障害	264	138	96	4	2	24
	100.0	52.3	36.4	1.5	0.8	9.1
精神障害	12	7	2	—	—	3
	100.0	58.3	16.7	—	—	25.0
難病	143	70	53	3	3	14
	100.0	49.0	37.1	2.1	2.1	9.8
無回答	3	1	1	—	—	1
	100.0	33.3	33.3	—	—	33.3

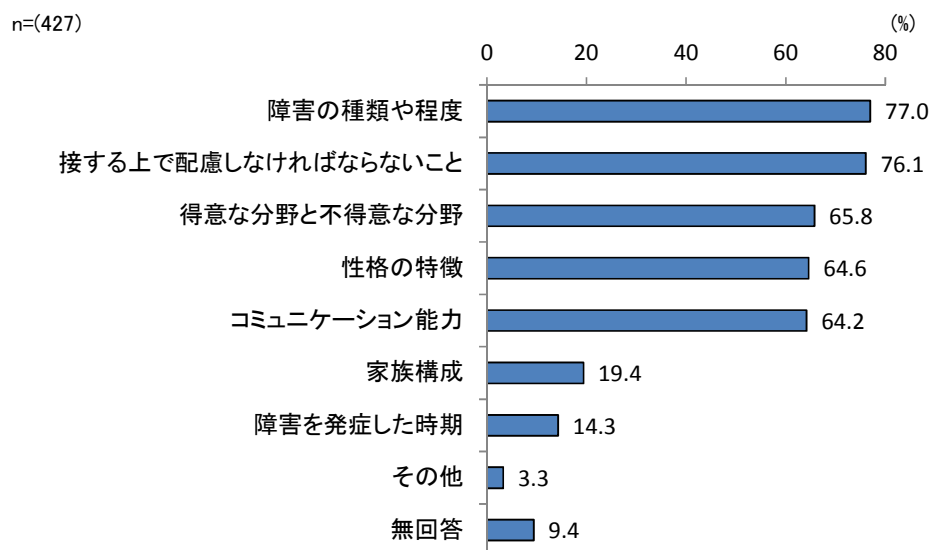
## (7) 小学校に提供されるとよい情報

問 43 【保護者の方におたずねします。】療育・保育から小学校に入学する際に、保護者の同意があった場合、お子さんの支援についてのどのような情報が小学校に提供されるとよいと思いますか。(〇はいくつでも)

全体では、「障害の種類や程度」が77.0%で最も多く、以下「接する上で配慮しなければならないこと」が76.1%、「得意な分野と不得意な分野」が65.8%、「性格の特徴」が64.6%、「コミュニケーション能力」が64.2%となっています。

障害種別でみると、知的障害のある方では、「得意な分野と不得意な分野」、「性格の特徴」、「コミュニケーション能力」が他の障害のある方より多くなっています。

### ●全体



### ●障害種別

	調査数	障害の種類や程度	性格の特徴	得意な分野と不得意な分野	コミュニケーション能力	接する上で配慮しなければならないこと	家族構成	障害を発症した時期	その他	無回答
全 体	427	329	276	281	274	325	83	61	14	40
	100.0	77.0	64.6	65.8	64.2	76.1	19.4	14.3	3.3	9.4
身体障害	239	192	133	140	134	178	46	36	9	22
	100.0	80.3	55.6	58.6	56.1	74.5	19.2	15.1	3.8	9.2
知的障害	264	203	195	193	194	212	59	42	10	25
	100.0	76.9	73.9	73.1	73.5	80.3	22.3	15.9	3.8	9.5
精神障害	12	8	6	7	6	8	1	2	2	3
	100.0	66.7	50.0	58.3	50.0	66.7	8.3	16.7	16.7	25.0
難病	143	113	78	84	77	100	20	13	3	14
	100.0	79.0	54.5	58.7	53.8	69.9	14.0	9.1	2.1	9.8
無回答	3	1	1	1	1	-	-	-	-	1
	100.0	33.3	33.3	33.3	33.3	-	-	-	-	33.3

## 8. 学校・教育について

問 4 4 ～ 5 2 は、在学中の方のみ対象（小学校入学前・学校卒業後の場合は回答不要）

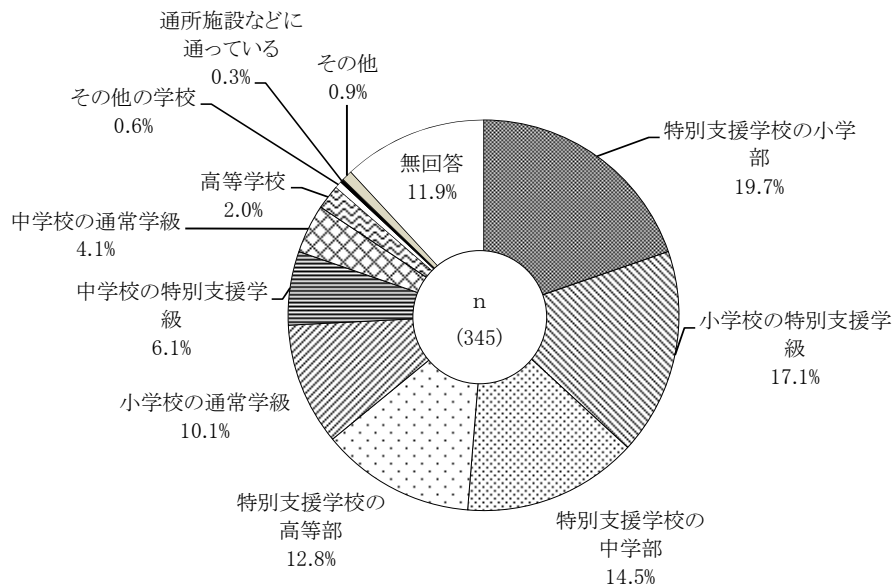
### （1）現在通っているところ（在学中）

問 44 あなたは、主にどの学校・学級等に通っていますか。（〇は1つ）

全体では、「特別支援学校の小学部」が 19.7%で最も多く、以下「小学校の特別支援学級」が 17.1%、「特別支援学校の中学部」が 14.5%、「特別支援学校の高等部」が 12.8%となっています。

障害種別でみると、身体障害のある方では、「特別支援学校の小学部」が他の障害より多くなっています。一方、知的障害のある方では、「小学校の特別支援学級」が多くなっています。

#### ●全体



## ●障害種別

	調査数	小学校 の通常 学級	小学校 の特別 支援学 級	特別支 援学校 の小学 部	中学校 の通常 学級	中学校 の特別 支援学 級	特別支 援学校 の中学 部	高等学 校	特別支 援学校 の高等 部	その他 の学校	通所施 設など に通っ ている
全 体	345 100.0	35 10.1	59 17.1	68 19.7	14 4.1	21 6.1	50 14.5	7 2.0	44 12.8	2 0.6	1 0.3
身体障害	184 100.0	26 14.1	8 4.3	53 28.8	11 6.0	2 1.1	34 18.5	6 3.3	18 9.8	－ －	1 0.5
知的障害	227 100.0	12 5.3	56 24.7	42 18.5	4 1.8	21 9.3	34 15.0	－ －	31 13.7	2 0.9	1 0.4
精神障害	11 100.0	－ －	2 18.2	－ －	－ －	－ －	2 18.2	－ －	5 45.5	－ －	－ －
難病	105 100.0	13 12.4	17 16.2	22 21.0	8 7.6	2 1.9	14 13.3	1 1.0	13 12.4	－ －	1 1.0
無回答	1 100.0	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	1 100.0	－ －	－ －	－ －

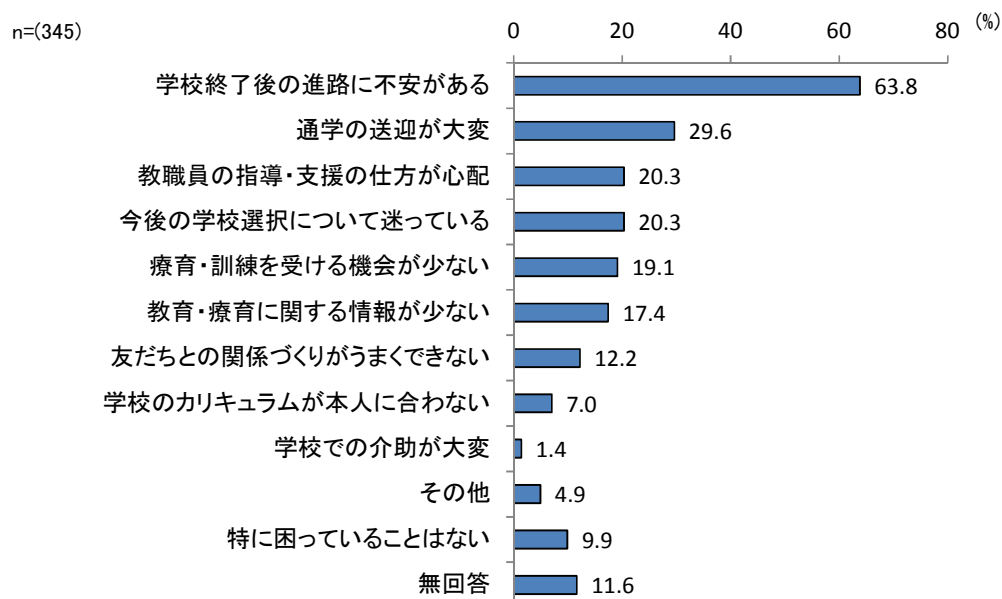
	調査数	どこにも 通って いない	その他	無回答
全 体	345 100.0	－ －	3 0.9	41 11.9
身体障害	184 100.0	－ －	2 1.1	23 12.5
知的障害	227 100.0	－ －	1 0.4	23 10.1
精神障害	11 100.0	－ －	－ －	2 18.2
難病	105 100.0	－ －	1 1.0	13 12.4
無回答	1 100.0	－ －	－ －	－ －

## (2) 学校・教育について困っていること

問 45 あなた（や保護者・ご家族の方）は、学校や教育について、どのようなことで困っていますか。（〇はいくつでも）

全体では、「学校終了後の進路に不安がある」が 63.8%で最も多く、次いで「通学の送迎が大変」が 29.6%となっています。

### ●全体



### ●障害種別

	調査数	教育・療育に関する情報が少ない	学校での介助が大変	通学の送迎が大変	教職員の指導・支援の仕方が心配	学校のカリキュラムが本人に合わない	友だちとの関係づくりがうまくできない	療育・訓練を受ける機会が少ない	今後の学校選択について迷っている	学校終了後の進路に不安がある	特に困っていることはない	その他	無回答
全 体	345	60	5	102	70	24	42	66	70	220	34	17	40
	100.0	17.4	1.4	29.6	20.3	7.0	12.2	19.1	20.3	63.8	9.9	4.9	11.6
身体障害	184	19	4	62	30	9	15	27	29	109	18	8	26
	100.0	10.3	2.2	33.7	16.3	4.9	8.2	14.7	15.8	59.2	9.8	4.3	14.1
知的障害	227	52	4	70	52	18	29	59	55	165	17	13	19
	100.0	22.9	1.8	30.8	22.9	7.9	12.8	26.0	24.2	72.7	7.5	5.7	8.4
精神障害	11	-	-	2	4	1	2	2	1	10	-	-	1
	100.0	-	-	18.2	36.4	9.1	18.2	18.2	9.1	90.9	-	-	9.1
難病	105	15	1	31	21	5	15	21	21	65	9	5	12
	100.0	14.3	1.0	29.5	20.0	4.8	14.3	20.0	20.0	61.9	8.6	4.8	11.4
無回答	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-

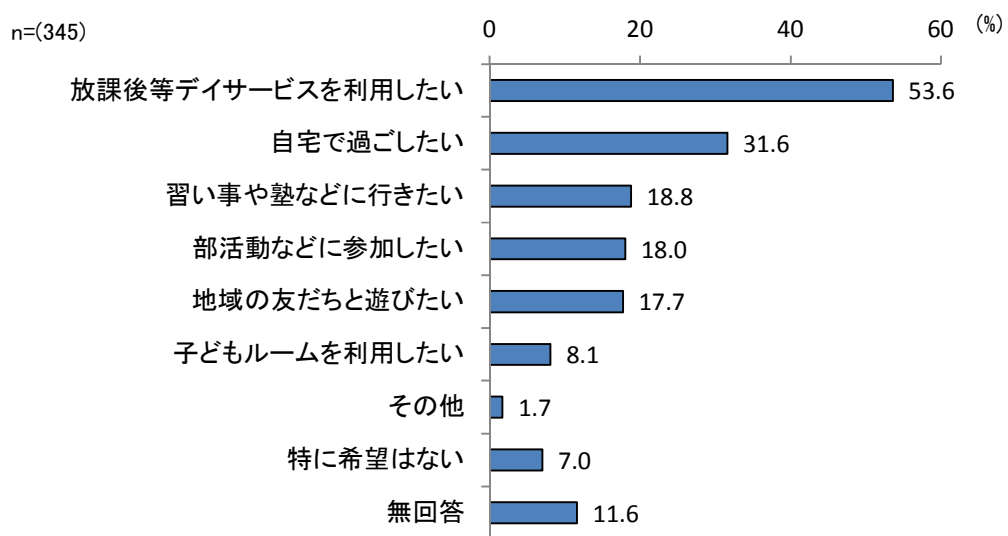
### (3) 放課後や夏休みの過ごし方

問 46 あなた（や保護者・ご家族の方）は、放課後や夏休みなどの過ごし方について、どのような希望をお持ちですか。（〇はいくつでも）

全体では「放課後等デイサービスを利用したい」が 53.6%で最も多く、以下「自宅で過ごしたい」が 31.6%、「習い事や塾などに行きたい」が 18.8%、「部活動などに参加したい」が 18.0%、「地域の友だちと遊びたい」が 17.7%となっています。

障害種別でみると、知的障害のある方では、「放課後等デイサービスを利用したい」が他の障害のある方より多くなっています。

#### ●全体



#### ●障害種別

	調査数	自宅で 過ごした い	地域の 友だちと 遊びた い	放課後 等デイ サービ スを利用 したい	子ども ルーム を利用し たい	部活動 などに 参加した い	習い事 や塾な どに行き たい	特に希 望はな い	その他	無回答
全 体	345 100.0	109 31.6	61 17.7	185 53.6	28 8.1	62 18.0	65 18.8	24 7.0	6 1.7	40 11.6
身体障害	184 100.0	63 34.2	27 14.7	85 46.2	9 4.9	31 16.8	28 15.2	19 10.3	4 2.2	24 13.0
知的障害	227 100.0	71 31.3	40 17.6	150 66.1	22 9.7	39 17.2	44 19.4	7 3.1	4 1.8	21 9.3
精神障害	11 100.0	4 36.4	— —	6 54.5	— —	1 9.1	— —	1 9.1	— —	1 9.1
難病	105 100.0	37 35.2	16 15.2	49 46.7	9 8.6	14 13.3	18 17.1	12 11.4	2 1.9	12 11.4
無回答	1 100.0	1 100.0	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —

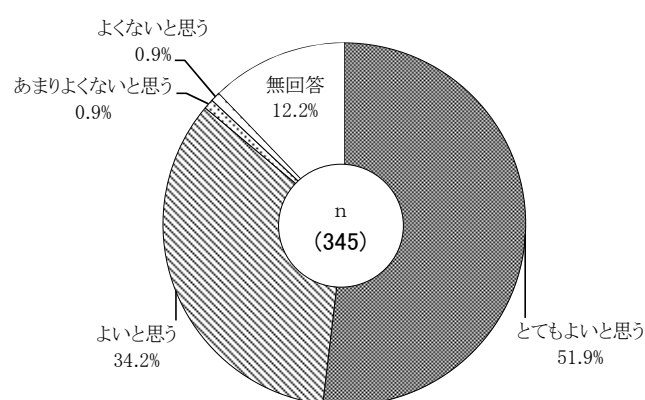
#### (4) 子どもの支援に関する情報が中学校に提供されることについて

問 47 【保護者の方におたずねします。】小学校から中学校に入学する際に、保護者の同意があった場合、お子さんの支援に関する情報が中学校に提供されることについてどう思いますか。(〇は1つ)

全体では、「とてもよいと思う」が51.9%、「よいと思う」が34.2%となっています。

障害種別でみると、いずれの種別でも、「とてもよいと思う」、「よいと思う」が多くなっています。

#### ●全体



#### ●障害種別

	調査数	とてもよいと思う	よいと思う	あまりよいと思う	よくないと思う	無回答
全 体	345	179	118	3	3	42
	100.0	51.9	34.2	0.9	0.9	12.2
身体障害	184	96	60	3	1	24
	100.0	52.2	32.6	1.6	0.5	13.0
知的障害	227	120	82	1	2	22
	100.0	52.9	36.1	0.4	0.9	9.7
精神障害	11	8	2	—	—	1
	100.0	72.7	18.2	—	—	9.1
難病	105	45	41	3	2	14
	100.0	42.9	39.0	2.9	1.9	13.3
無回答	1	—	—	—	—	1
	100.0	—	—	—	—	100.0



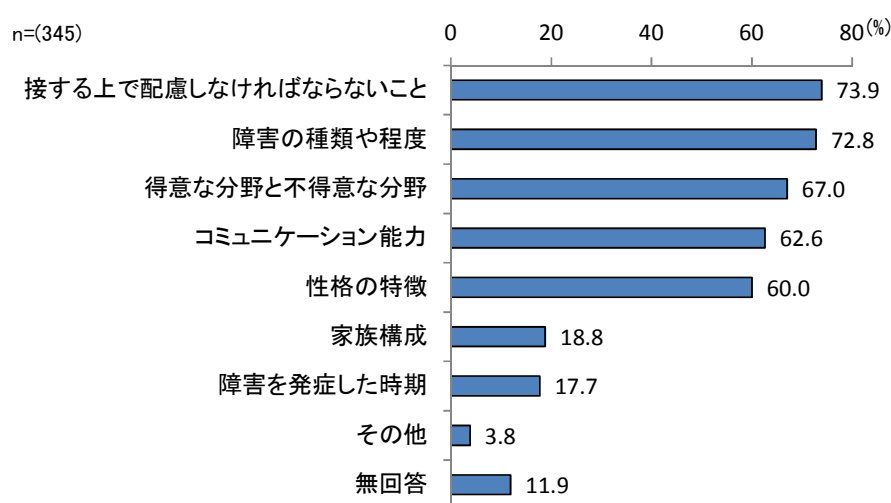
## (5) 中学校に提供されるとよい情報

問 48 【保護者の方におたずねします。】小学校から中学校に入学する際に、保護者の同意があった場合、お子さんの支援についてのどのような情報が中学校に提供されるとよいと思いますか。(〇はいくつでも)

全体では、「接する上で配慮しなければならないこと」が 73.9%で最も多く、以下「障害の種類や程度」が 72.8%、「得意な分野と不得意な分野」が 67.0%となっている。

障害種別でみると、知的障害のある方では、「得意な分野と不得意な分野」、「性格の特徴」、「コミュニケーション能力」が他の障害のある方より多くなっています。

### ●全体



### ●障害種別

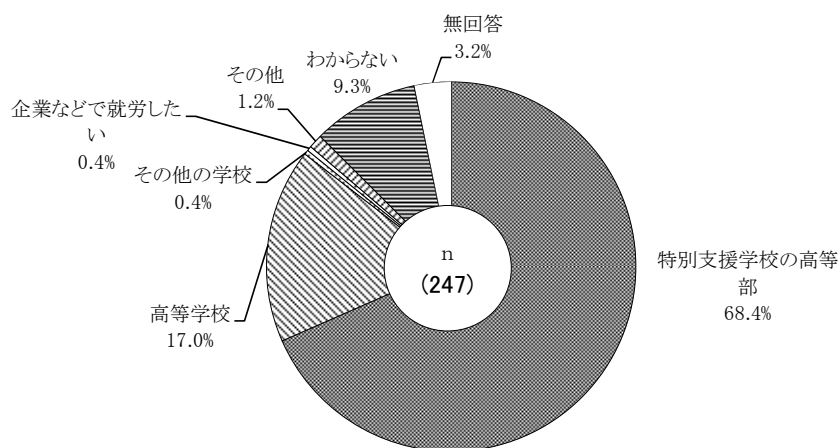
	調査数	障害の種類や程度	性格の特徴	得意な分野と不得意な分野	コミュニケーション能力	接する上で配慮しなければならないこと	家族構成	障害を発症した時期	その他	無回答
全 体	345	251	207	231	216	255	65	61	13	41
	100.0	72.8	60.0	67.0	62.6	73.9	18.8	17.7	3.8	11.9
身体障害	184	138	92	103	95	129	39	32	9	24
	100.0	75.0	50.0	56.0	51.6	70.1	21.2	17.4	4.9	13.0
知的障害	227	171	159	178	169	180	47	46	9	21
	100.0	75.3	70.0	78.4	74.4	79.3	20.7	20.3	4.0	9.3
精神障害	11	9	7	7	6	7	1	2	2	1
	100.0	81.8	63.6	63.6	54.5	63.6	9.1	18.2	18.2	9.1
難病	105	74	55	62	60	76	17	15	3	14
	100.0	70.5	52.4	59.0	57.1	72.4	16.2	14.3	2.9	13.3
無回答	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0

## (6) 中学校卒業後の希望進路

問 49 【小学校（小学部）・中学校（中学部）に通っている方におたずねします。】あなたは、中学校卒業後、どのような進路を希望していますか。（○は1つ）

全体では、「特別支援学校の高等部」が68.4%で最も多くなっています。

### ●全体



### ●障害種別

	調査数	高等学校	特別支援学校の高等部	その他の学校	障害福祉サービス事業所(通所施設など)に通いたい	企業などで就労したい	わからない	その他	無回答
全 体	247	42	169	1	—	1	23	3	8
	100.0	17.0	68.4	0.4	—	0.4	9.3	1.2	3.2
身体障害	134	30	93	—	—	1	8	1	1
	100.0	22.4	69.4	—	—	0.7	6.0	0.7	0.7
知的障害	169	14	126	1	—	—	18	3	7
	100.0	8.3	74.6	0.6	—	—	10.7	1.8	4.1
精神障害	4	—	3	—	—	—	1	—	—
	100.0	—	75.0	—	—	—	25.0	—	—
難病	76	20	49	—	—	—	4	—	3
	100.0	26.3	64.5	—	—	—	5.3	—	3.9
無回答	—	—	—	—	—	—	—	—	—

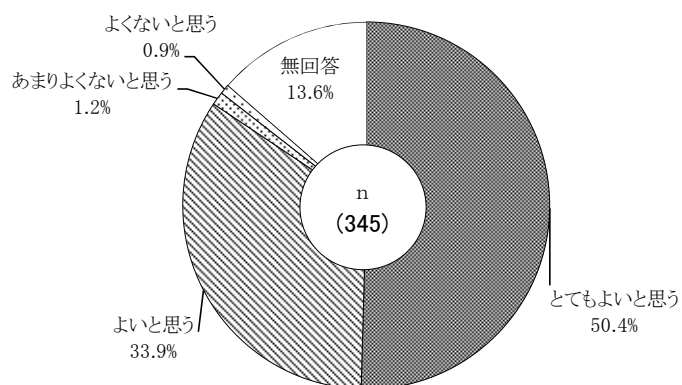
(7)子どもの支援に関する情報が高等学校に提供されることについて

問 50 【保護者の方におたずねします。】中学校から高等学校（高等部）に入学する際に、保護者の同意があった場合、お子さんの支援に関する情報が高等学校（高等部）に提供されることについてどう思いますか。（○は1つ）

全体では、「とてもよいと思う」が50.4%、「よいと思う」が33.9%となっています。

障害種別でみると、いずれの種別でも、「とてもよいと思う」、「よいと思う」が多くなっています。

●全体



●障害種別

	調査数	とてもよいと思う	よいと思う	あまりよくないと思う	よくないと思う	無回答
全 体	345	174	117	4	3	47
	100.0	50.4	33.9	1.2	0.9	13.6
身体障害	184	99	57	3	1	24
	100.0	53.8	31.0	1.6	0.5	13.0
知的障害	227	114	83	2	3	25
	100.0	50.2	36.6	0.9	1.3	11.0
精神障害	11	8	2	—	—	1
	100.0	72.7	18.2	—	—	9.1
難病	105	46	36	3	3	17
	100.0	43.8	34.3	2.9	2.9	16.2
無回答	1	—	—	—	—	1
	100.0	—	—	—	—	100.0

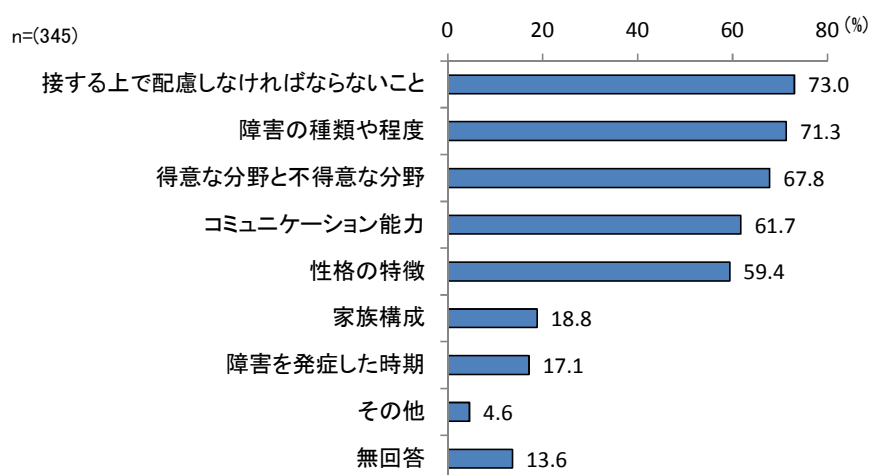
## (8) 高等学校に提供されるとよい情報

問51 【保護者の方におたずねします。】中学校から高等学校（高等部）に入学する際に、保護者の同意があった場合、お子さんの支援についてのどのような情報が高等学校（高等部）に提供されるとよいと思いますか。（〇はいくつでも）

全体では、「接する上で配慮しなければならないこと」が73.0%で最も多く、以下「障害の種類や程度」が71.3%、「得意な分野と不得意な分野」が67.8%となっている。

障害種別でみると、知的障害のある方では、「得意な分野と不得意な分野」、「性格の特徴」、「コミュニケーション能力」が他の障害のある方より多くなっています。

### ●全体



### ●障害種別

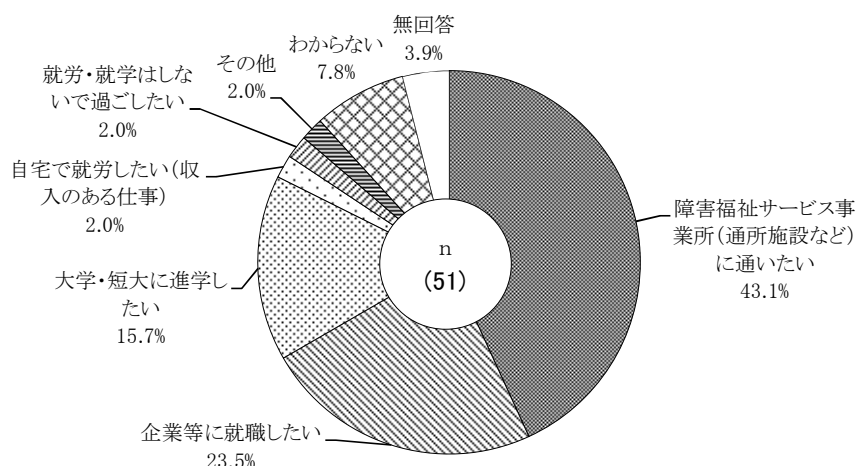
	調査数	障害の種類や程度	性格の特徴	得意な分野と不得意な分野	コミュニケーション能力	接する上で配慮しなければならないこと	家族構成	障害を発症した時期	その他	無回答
全 体	345	246	205	234	213	252	65	59	16	47
	100.0	71.3	59.4	67.8	61.7	73.0	18.8	17.1	4.6	13.6
身体障害	184	138	93	106	93	131	38	32	12	25
	100.0	75.0	50.5	57.6	50.5	71.2	20.7	17.4	6.5	13.6
知的障害	227	168	158	178	167	178	48	45	11	24
	100.0	74.0	69.6	78.4	73.6	78.4	21.1	19.8	4.8	10.6
精神障害	11	9	7	7	5	8	1	2	2	1
	100.0	81.8	63.6	63.6	45.5	72.7	9.1	18.2	18.2	9.1
難病	105	72	57	63	59	74	18	15	5	17
	100.0	68.6	54.3	60.0	56.2	70.5	17.1	14.3	4.8	16.2
無回答	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0

## (9) 学校卒業後の進路希望

問 52 【高等学校（高等部）に通っている方におたずねします。】あなたは、学校卒業後、どのような進路を希望していますか。（○は1つ）

全体では「障害福祉サービス事業所（通所施設など）に通いたい」が 43.1%で最も多く、以下「企業等に就職したい」が 23.5%、「大学・短大に進学したい」が 15.7%となっています。

### ●全体



### ●障害種別

	調査数	企業等に就職したい	大学・短大に進学したい	専門学校などに通いたい	障害者高等技術専門学校などに通いたい	障害福祉サービス事業所(通所施設など)に通いたい	自宅で就労したい(収入のある仕事)	就労・就学はしないで過ごしたい	わからない	その他	無回答
全 体	51 100.0	12 23.5	8 15.7	- -	- -	22 43.1	1 2.0	1 2.0	4 7.8	1 2.0	2 3.9
身体障害	24 100.0	1 4.2	8 33.3	- -	- -	10 41.7	1 4.2	1 4.2	2 8.3	1 4.2	- -
知的障害	31 100.0	11 35.5	- -	- -	- -	16 51.6	- -	- -	2 6.5	- -	2 6.5
精神障害	5 100.0	2 40.0	- -	- -	- -	3 60.0	- -	- -	- -	- -	- -
難病	14 100.0	3 21.4	2 14.3	- -	- -	6 42.9	1 7.1	1 7.1	- -	1 7.1	- -
無回答	1 100.0	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	1 100.0	- -	- -

## 9. 日中活動・就労について

問53、54は、学校卒業後の方のみ対象（小学校入学前・在学中の場合は、回答不要）

### （1）日中の過ごし方

問53 あなたは、平日の日中を主にどのように過ごしていますか。（最もあてはまるものにひとつだけ○）

### （2）一般就労のために必要な支援

問54 あなたは、障害のある人が企業などで一般就労するためには、どのような支援が必要だと思いますか。（○はいくつでも）

（1）日中の過ごし方、（2）一般就労のために必要な支援、に関する設問については、学校卒業後の方のみを対象にしたことにより、回答者数が少なかったため、結果については省略いたします。

## 10. 運動やスポーツについて

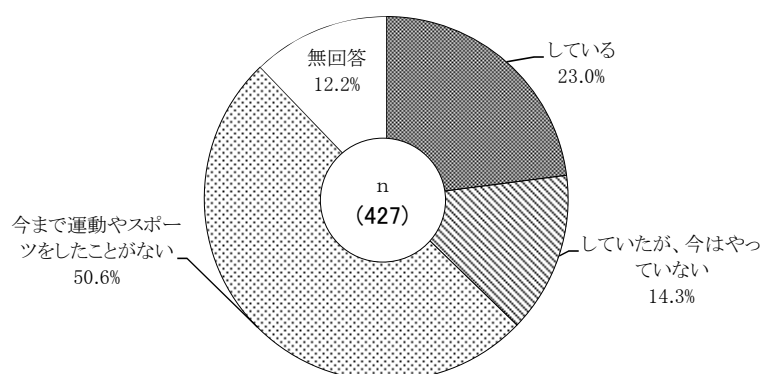
### (1) 運動やスポーツの実施状況

問 55 あなたは、運動やスポーツをしていますか。(学校に通っている方は、学校の授業を除く)

全体では、「している」が23.0%、「していたが、今はやっていない」が14.3%となっています。一方、「今まで運動やスポーツをしたことがない」は50.6%となっています。

障害種別でみると、知的障害のある方では、「している」が他の障害のある方より多くなっています。

#### ●全体



#### ●障害種別

	調査数	している	していたが、今はやっていない	今まで運動やスポーツをしたことがない	無回答
全 体	427 100.0	98 23.0	61 14.3	216 50.6	52 12.2
身体障害	239 100.0	50 20.9	28 11.7	130 54.4	31 13.0
知的障害	264 100.0	66 25.0	40 15.2	133 50.4	25 9.5
精神障害	12 100.0	1 8.3	4 33.3	5 41.7	2 16.7
難病	143 100.0	25 17.5	13 9.1	79 55.2	26 18.2
無回答	3 100.0	2 66.7	— —	1 33.3	— —

## (2) 運動やスポーツの実施頻度

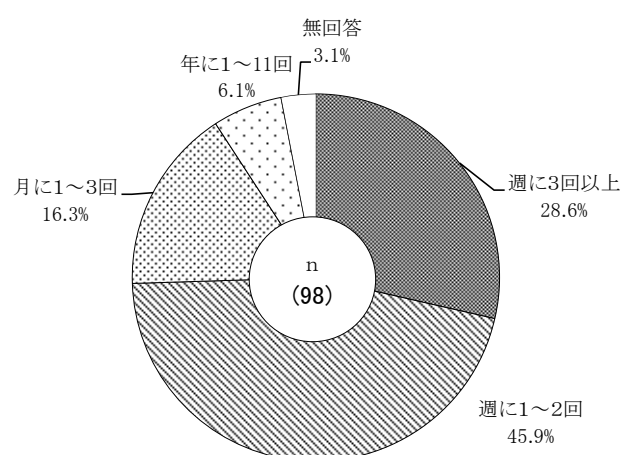
問 56 【問 55 で「1. している」に○をつけた方におたずねします】

あなたは、どのくらいの頻度で運動やスポーツをしていますか。

全体では、「週に 1～2 回」が 45.9%で最も多く、次いで「週に 3 回以上」が 28.6%となっています。

障害種別でみると、身体障害のある方、難病のある方では、「週に 3 回以上」が知的障害のある方より多くなっています。一方、知的障害のある方では「週に 1～2 回」が他の障害のある方より多くなっています。

### ●全体



### ●障害種別

	調査数	週に3回以上	週に1～2回	月に1～3回	年に1～11回	無回答
全 体	98	28	45	16	6	3
	100.0	28.6	45.9	16.3	6.1	3.1
身体障害	50	17	19	8	5	1
	100.0	34.0	38.0	16.0	10.0	2.0
知的障害	66	13	33	15	2	3
	100.0	19.7	50.0	22.7	3.0	4.5
精神障害	1	—	—	1	—	—
	100.0	—	—	100.0	—	—
難病	25	9	10	6	—	—
	100.0	36.0	40.0	24.0	—	—
無回答	2	2	—	—	—	—
	100.0	100.0	—	—	—	—



### (3)実施している（していた）運動やスポーツの種目

問 57 【問 55 で「1. している」または「2. していたが、今はやっていない」に○をつけた方におたずねします】

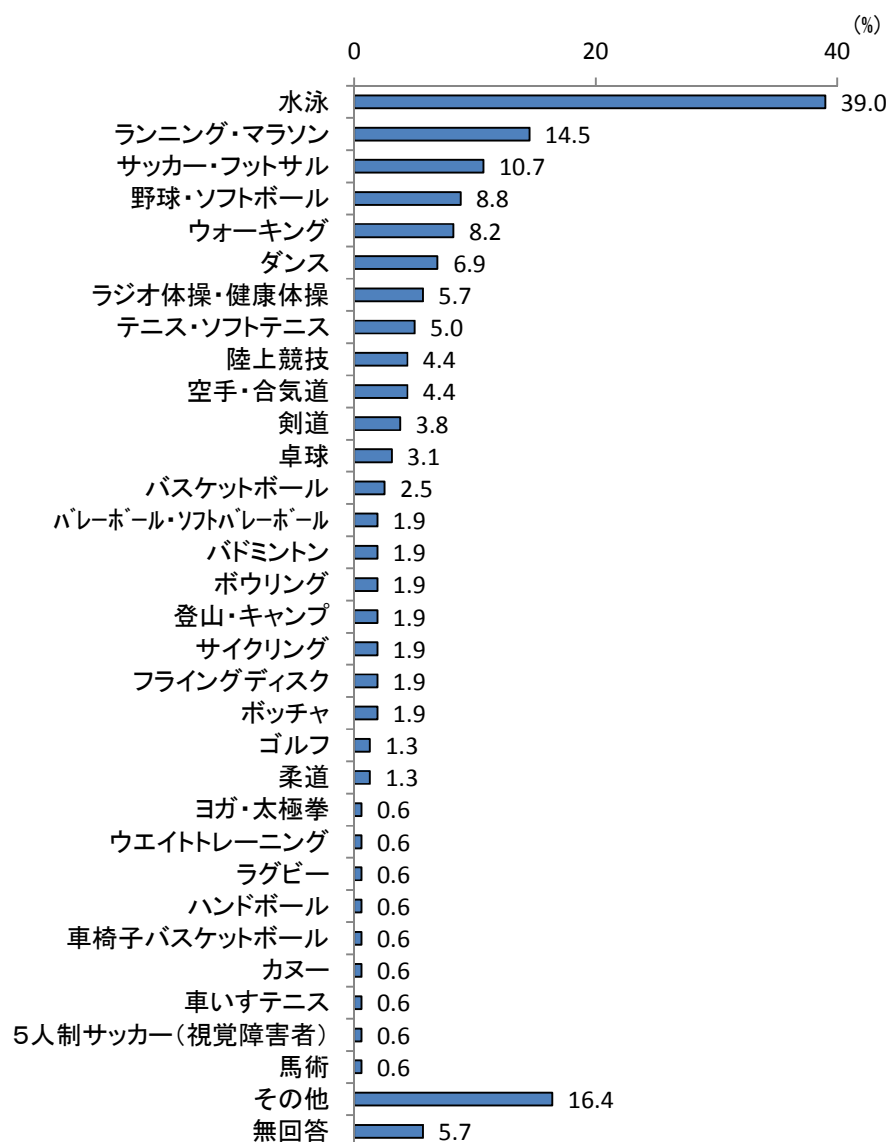
あなたが行っている(行っていた)運動やスポーツの種目は何か。(あてはまるものすべてに○)

全体では、「水泳」が 39.0%で最も多く、以下「ランニング・マラソン」が 14.5%、「サッカー・フットサル」が 10.7%となっています。

障害種別でみると、知的障害のある方では「水泳」、「ランニング・マラソン」が他の障害のある方より多くなっています。

#### ●全体

n=(159)



## ●障害種別

	調査数	ウォーキング	ランニング・マラソン	ラジオ体操・健康体操	ヨガ・太極拳	ウエイトトレーニング	ダンス	水泳	ゴルフ	野球・ソフトボール	サッカー・フットサル	ラグビー
全 体	159 100.0	13 8.2	23 14.5	9 5.7	1 0.6	1 0.6	11 6.9	62 39.0	2 1.3	14 8.8	17 10.7	1 0.6
身体障害	78 100.0	7 9.0	5 6.4	3 3.8	- -	1 1.3	3 3.8	26 33.3	- -	9 11.5	9 11.5	1 1.3
知的障害	106 100.0	11 10.4	19 17.9	8 7.5	1 0.9	- -	11 10.4	43 40.6	2 1.9	6 5.7	12 11.3	- -
精神障害	5 100.0	2 40.0	- -	1 20.0	- -	- -	2 40.0	1 20.0	- -	- -	2 40.0	- -
難病	38 100.0	3 7.9	3 7.9	2 5.3	- -	- -	5 13.2	16 42.1	1 2.6	6 15.8	4 10.5	- -
無回答	2 100.0	- -	- -	1 50.0	- -	- -	- -	1 50.0	- -	1 50.0	- -	- -

	調査数	バスケットボール	陸上競技	バレーボール・ソフトバレーボール	ハンドボール	テニス・ソフトテニス	バドミントン	卓球	柔道	剣道	空手・合気道	ボウリング
全 体	159 100.0	4 2.5	7 4.4	3 1.9	1 0.6	8 5.0	3 1.9	5 3.1	2 1.3	6 3.8	7 4.4	3 1.9
身体障害	78 100.0	- -	4 5.1	2 2.6	1 1.3	4 5.1	2 2.6	4 5.1	1 1.3	2 2.6	3 3.8	1 1.3
知的障害	106 100.0	4 3.8	4 3.8	1 0.9	- -	4 3.8	2 1.9	1 0.9	1 0.9	4 3.8	5 4.7	2 1.9
精神障害	5 100.0	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	1 20.0	1 20.0	- -
難病	38 100.0	1 2.6	2 5.3	1 2.6	- -	4 10.5	1 2.6	2 5.3	1 2.6	2 5.3	2 5.3	1 2.6
無回答	2 100.0	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -

	調査数	登山・キャンプ	サイクリング	車椅子バスケットボール	フライングディスク	カヌー	車いすテニス	5人制サッカー(視覚障害者)	馬術	ボッチャ	その他	無回答
全 体	159 100.0	3 1.9	3 1.9	1 0.6	3 1.9	1 0.6	1 0.6	1 0.6	1 0.6	3 1.9	26 16.4	9 5.7
身体障害	78 100.0	1 1.3	- -	1 1.3	1 1.3	- -	1 1.3	1 1.3	1 1.3	2 2.6	14 17.9	6 7.7
知的障害	106 100.0	2 1.9	3 2.8	1 0.9	3 2.8	1 0.9	- -	- -	- -	2 1.9	16 15.1	4 3.8
精神障害	5 100.0	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
難病	38 100.0	1 2.6	1 2.6	- -	2 5.3	1 2.6	- -	- -	- -	1 2.6	4 10.5	1 2.6
無回答	2 100.0	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	1 50.0

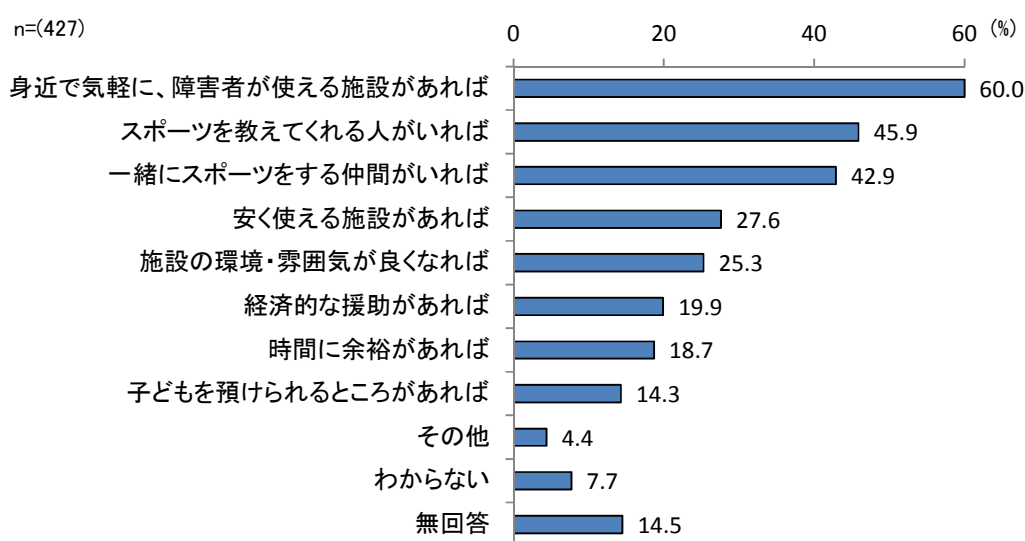
#### (4) 障害者がスポーツ活動をより多く行うために必要なこと

問 58 今後、障害のある方がスポーツ活動を、より多く行うためには、どのようになればいいと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

全体では、「身近で気軽に、障害者が使える施設があれば」が60.0%で最も多く、以下「スポーツを教えてくれる人がいれば」が45.9%、「一緒にスポーツをする仲間がいれば」が42.9%となっています。

障害種別でみると、知的障害のある方では、「スポーツを教えてくれる人がいれば」、「一緒にスポーツをする仲間がいれば」が他の障害のある方より多くなっています。

#### ●全体



#### ●障害種別

	調査数	身近で気軽に、障害者が使える施設があれば	安く使える施設があれば	一緒にスポーツをする仲間がいれば	子どもを預けられるところがあれば	スポーツを教えてくれる人がいれば	施設的环境・雰囲気が良くなれば	時間に余裕があれば	経済的な援助があれば	わからない	その他	無回答
全 体	427	256	118	183	61	196	108	80	85	33	19	62
	100.0	60.0	27.6	42.9	14.3	45.9	25.3	18.7	19.9	7.7	4.4	14.5
身体障害	239	139	64	94	28	94	54	35	35	27	10	36
	100.0	58.2	26.8	39.3	11.7	39.3	22.6	14.6	14.6	11.3	4.2	15.1
知的障害	264	168	72	123	46	140	72	59	66	12	15	33
	100.0	63.6	27.3	46.6	17.4	53.0	27.3	22.3	25.0	4.5	5.7	12.5
精神障害	12	3	1	4	2	3	-	2	2	3	1	4
	100.0	25.0	8.3	33.3	16.7	25.0	-	16.7	16.7	25.0	8.3	33.3
難病	143	83	35	48	14	52	30	24	21	15	3	29
	100.0	58.0	24.5	33.6	9.8	36.4	21.0	16.8	14.7	10.5	2.1	20.3
無回答	3	2	1	1	-	-	1	1	-	-	-	-
	100.0	66.7	33.3	33.3	-	-	33.3	33.3	-	-	-	-

## (5) スポーツをしない理由

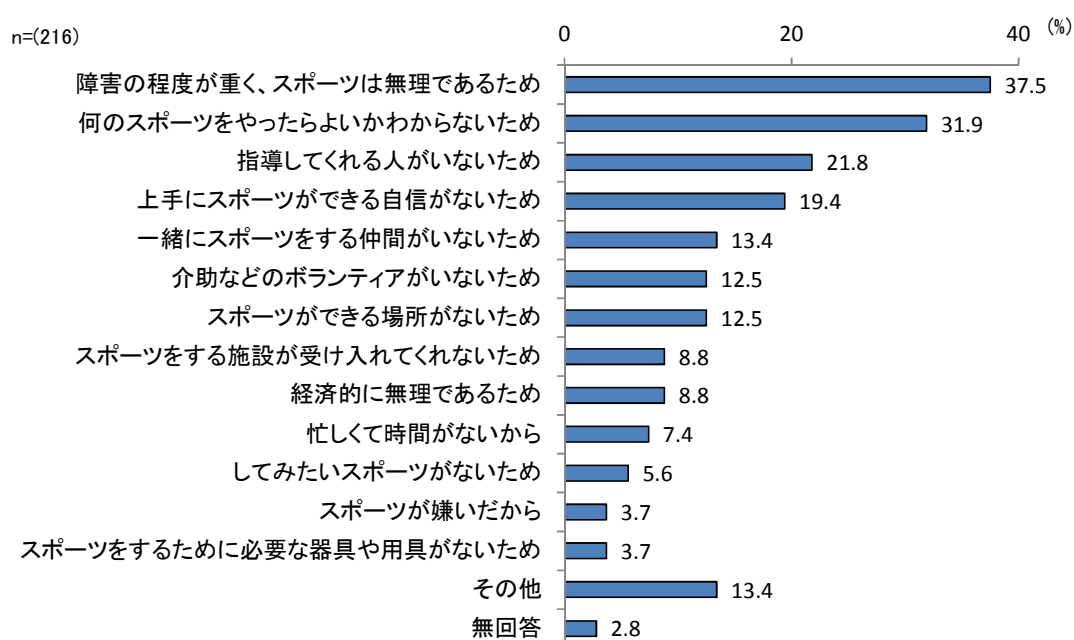
問 59 【問 55 で「3. 今まで運動やスポーツをしたことがない」に○を付けた方におたずねします】

あなたがスポーツをしない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

全体では、「障害の程度が重く、スポーツは無理であるため」が37.5%で最も多く、以下「何のスポーツをやったらよいかわからないため」が31.9%、「指導してくれる人がいないため」が21.8%となっています。

障害種別でみると、身体障害のある方、難病のある方では、「障害の程度が重く、スポーツは無理であるため」が多くなっています。一方、知的障害のある方では、「指導してくれる人がいないため」が、他の障害のある方より多くなっています。

### ●全体



## ●障害種別

	調査数	スポーツ ができる 場所が ないた め	スポーツ をする施 設が受 け入れ てくれ ないた め	指導し てくれ る人が いない ため	上手に スポーツ ができ る自信 がない ため	スポーツ をする ために 必要の 器具や 用具が ないた め	経済的 に無理 である ため	一緒に スポーツ をする 仲間に いない ため	介助な どのボ ランティア がない ため	障害の 程度が 重く、 スポー ツは無 理であ るため	何のス ポーツ をやっ たらよ いかわ からない ため
全 体	216 100.0	27 12.5	19 8.8	47 21.8	42 19.4	8 3.7	19 8.8	29 13.4	27 12.5	81 37.5	69 31.9
身体障害	130 100.0	11 8.5	8 6.2	18 13.8	13 10.0	3 2.3	4 3.1	11 8.5	13 10.0	69 53.1	37 28.5
知的障害	133 100.0	19 14.3	14 10.5	35 26.3	32 24.1	5 3.8	16 12.0	20 15.0	19 14.3	44 33.1	43 32.3
精神障害	5 100.0	－ －	－ －	1 20.0	1 20.0	－ －	1 20.0	1 20.0	1 20.0	2 40.0	1 20.0
難病	79 100.0	6 7.6	4 5.1	7 8.9	8 10.1	1 1.3	1 1.3	5 6.3	8 10.1	40 50.6	26 32.9
無回答	1 100.0	－ －	－ －	－ －	1 100.0	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	1 100.0

	調査数	してみ たいス ポーツ がない ため	スポー ツが嫌 いだか ら	忙しく て時間 がない から	その他	無回答
全 体	216 100.0	12 5.6	8 3.7	16 7.4	29 13.4	6 2.8
身体障害	130 100.0	4 3.1	2 1.5	4 3.1	15 11.5	3 2.3
知的障害	133 100.0	8 6.0	7 5.3	12 9.0	18 13.5	3 2.3
精神障害	5 100.0	－ －	1 20.0	－ －	1 20.0	－ －
難病	79 100.0	－ －	2 2.5	4 5.1	10 12.7	3 3.8
無回答	1 100.0	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －

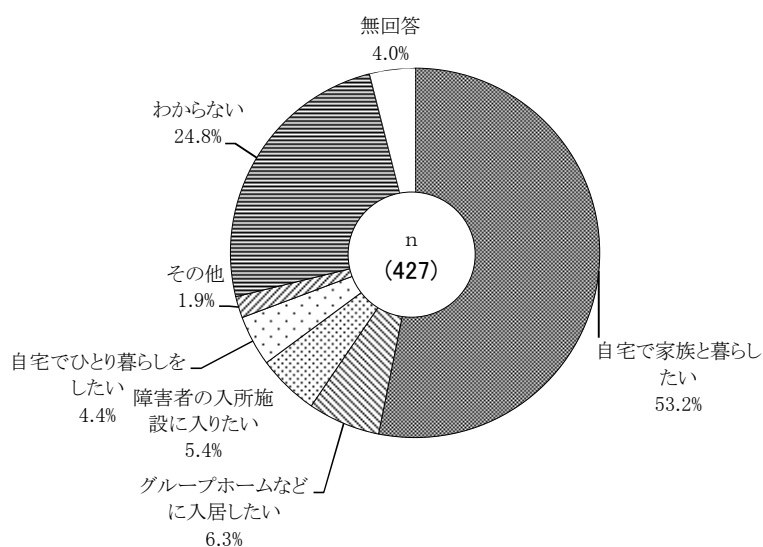
## 1 1. 将来について

### (1) 将来の暮らし方の希望

問 60 あなたは将来、どのような暮らし方をしたいと思いますか。(〇は1つ)

全体では、「自宅で家族と暮らしたい」が53.2%で最も多くなっています。

#### ●全体



#### ●障害種別

	調査数	自宅で家族と暮らしたい	自宅でひとり暮らしをしたい	グループホームなどに入居したい	障害者の入所施設に入りたい	わからない	その他	無回答
全 体	427	227	19	27	23	106	8	17
	100.0	53.2	4.4	6.3	5.4	24.8	1.9	4.0
身体障害	239	129	15	7	13	59	5	11
	100.0	54.0	6.3	2.9	5.4	24.7	2.1	4.6
知的障害	264	134	7	26	17	64	6	10
	100.0	50.8	2.7	9.8	6.4	24.2	2.3	3.8
精神障害	12	7	—	1	1	2	—	1
	100.0	58.3	—	8.3	8.3	16.7	—	8.3
難病	143	79	7	4	4	45	—	4
	100.0	55.2	4.9	2.8	2.8	31.5	—	2.8
無回答	3	2	—	—	—	1	—	—
	100.0	66.7	—	—	—	33.3	—	—

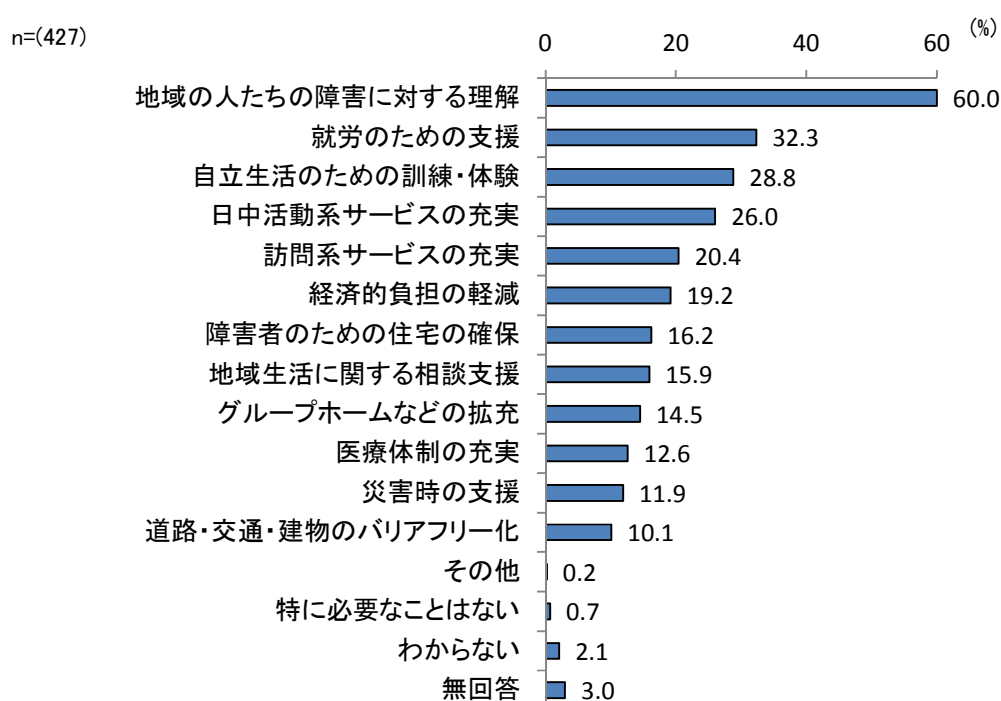
## (2) 地域で生活するために必要なこと

問 61 あなた（や保護者・ご家族の方）は、障害のある人が地域で生活していくためには、何が必要だと思いますか。（〇は3つまで）

全体では、「地域の人たちの障害に対する理解」が60.0%で最も多く、以下「就労のための支援」が32.3%、「自立生活のための訓練・体験」が28.8%となっています。

障害種別でみると、身体障害のある方、難病のある方では、「医療体制の充実」が知的障害のある方より多くなっています。一方、知的障害のある方では、「自立生活のための訓練・体験」、「グループホームなどの拡充」が、他の障害のある方より多くなっています。

### ●全体



## ●障害種別

	調査数	地域の 人たちの 障害に 対する 理解	地域生 活に関 する相 談支援	訪問系 サービ スの充 実	日中活 動系 サービ スの充 実	自立生 活のた めの訓 練・体 験	グルー プホー ムなど の拡充	障害者 のため の住宅 の確保	医療体 制の充 実	就労の ための 支援	災害時 の支援	道路・交 通・建物 のバリア フリー化
全 体	100.0	256 60.0	68 15.9	87 20.4	111 26.0	123 28.8	62 14.5	69 16.2	54 12.6	138 32.3	51 11.9	43 10.1
身体障害	239 100.0	133 55.6	31 13.0	64 26.8	67 28.0	45 18.8	27 11.3	34 14.2	45 18.8	59 24.7	33 13.8	42 17.6
知的障害	264 100.0	169 64.0	49 18.6	44 16.7	82 31.1	92 34.8	55 20.8	45 17.0	24 9.1	89 33.7	25 9.5	9 3.4
精神障害	12 100.0	9 75.0	3 25.0	3 25.0	4 33.3	3 25.0	2 16.7	3 25.0	1 8.3	3 25.0	- -	1 8.3
難病	143 100.0	81 56.6	18 12.6	35 24.5	38 26.6	39 27.3	18 12.6	20 14.0	28 19.6	49 34.3	17 11.9	18 12.6
無回答	3 100.0	1 33.3	1 33.3	- -	- -	3 100.0	- -	- -	- -	1 33.3	- -	- -

	調査数	経済的 負担の 軽減	特に必 要なこと はない	わから ない	その他	無回答
全 体	100.0	82 19.2	3 0.7	9 2.1	1 0.2	13 3.0
身体障害	239 100.0	53 22.2	2 0.8	6 2.5	- -	8 3.3
知的障害	264 100.0	43 16.3	1 0.4	3 1.1	1 0.4	8 3.0
精神障害	12 100.0	1 8.3	- -	- -	- -	1 8.3
難病	143 100.0	28 19.6	2 1.4	4 2.8	- -	1 0.7
無回答	3 100.0	1 33.3	- -	- -	- -	- -

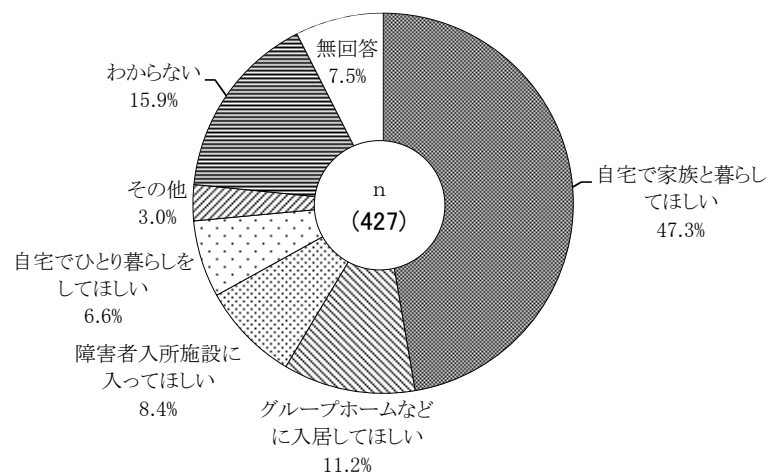


### (3) 将来希望する被介助者の暮らし方

問 62 【主な介助者の方におたずねします。】今あなたが介助をしている人に、将来どのような暮らし方をしてほしいと思いますか。（〇は1つ）

全体では「自宅で家族と暮らしてほしい」が 47.3%で最も多く、以下「グループホームなどに入居してほしい」が 11.2%、「障害者入所施設に入してほしい」が 8.4%となっています。

#### ●全体



#### ●障害種別

	調査数	自宅で家族と暮らしてほしい	自宅でひとり暮らしをしてほしい	グループホームなどに入居してほしい	障害者入所施設に入してほしい	わからない	その他	無回答
全 体	427	202	28	48	36	68	13	32
	100.0	47.3	6.6	11.2	8.4	15.9	3.0	7.5
身体障害	239	125	20	14	21	34	9	16
	100.0	52.3	8.4	5.9	8.8	14.2	3.8	6.7
知的障害	264	110	13	45	26	46	8	16
	100.0	41.7	4.9	17.0	9.8	17.4	3.0	6.1
精神障害	12	4	1	2	3	2	-	-
	100.0	33.3	8.3	16.7	25.0	16.7	-	-
難病	143	79	13	9	10	21	6	5
	100.0	55.2	9.1	6.3	7.0	14.7	4.2	3.5
無回答	3	2	-	-	-	-	-	1
	100.0	66.7	-	-	-	-	-	33.3

## ●年齢別

	調査数	自宅で家族 と暮らしてほ しい	自宅でひとり 暮らしをして ほしい	グループ ホームなど に入居してほ しい	障害者入所 施設に入っ てほしい	わからない	その他	無回答
0～2歳	22 100.0	15 68.2	1 4.5	－ －	1 4.5	4 18.2	－ －	1 4.5
3～5歳	58 100.0	31 53.4	4 6.9	1 1.7	3 5.2	16 27.6	－ －	3 5.2
6～8歳	88 100.0	43 48.9	6 6.8	8 9.1	3 3.4	19 21.6	4 4.5	5 5.7
9～11歳	71 100.0	34 47.9	2 2.8	7 9.9	3 4.2	14 19.7	3 4.2	8 11.3
12～14歳	99 100.0	42 42.4	11 11.1	12 12.1	12 12.1	13 13.1	3 3.0	6 6.1
15歳以上	87 100.0	35 40.2	4 4.6	20 23.0	14 16.1	2 2.3	3 3.4	9 10.3
無回答	2 100.0	2 100.0	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －

## ●主な介助者のうち家族・親族の年齢別

	調査数	自宅で家族 と暮らしてほ しい	自宅でひとり 暮らしをして ほしい	グループ ホームなど に入居してほ しい	障害者入所 施設に入っ てほしい	わからない	その他	無回答
20歳未満	4 100.0	2 50.0	－ －	－ －	－ －	1 25.0	1 25.0	－ －
20代	7 100.0	5 71.4	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	2 28.6
30代	118 100.0	63 53.4	9 7.6	6 5.1	8 6.8	23 19.5	5 4.2	4 3.4
40代	196 100.0	97 49.5	13 6.6	28 14.3	14 7.1	33 16.8	6 3.1	5 2.6
50代	37 100.0	12 32.4	5 13.5	10 27.0	7 18.9	1 2.7	－ －	2 5.4
60代	6 100.0	3 50.0	－ －	1 16.7	2 33.3	－ －	－ －	－ －
70歳以上	2 100.0	2 100.0	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －
無回答	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －

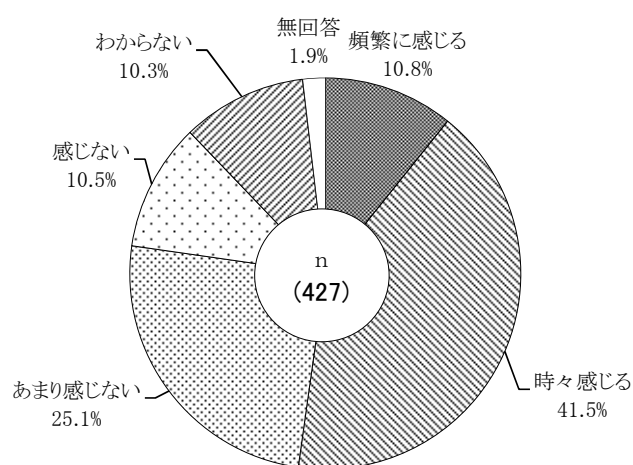
## 12. 障害のある人に対する理解度について

### (1) 日常生活の中で感じる差別の有無

問 63 あなたは、地域で生活をしていて、差別を感じることはありますか。(○は1つ)

全体では、「頻繁に感じる」が10.8%、「時々感じる」が41.5%となっています。一方、「あまり感じない」は25.1%、「感じない」は10.5%となっています。

#### ●全体



#### ●障害種別

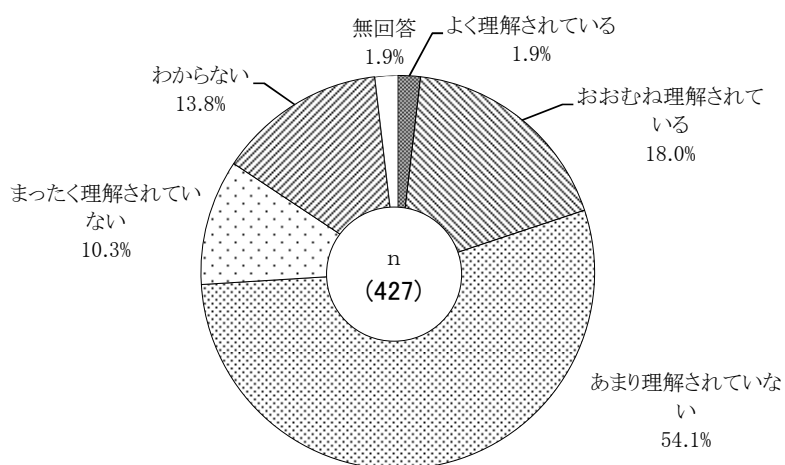
	調査数	頻繁に感じる	時々感じる	あまり感じない	感じない	わからない	無回答
全 体	427	46	177	107	45	44	8
	100.0	10.8	41.5	25.1	10.5	10.3	1.9
身体障害	239	27	97	60	27	23	5
	100.0	11.3	40.6	25.1	11.3	9.6	2.1
知的障害	264	29	115	67	19	30	4
	100.0	11.0	43.6	25.4	7.2	11.4	1.5
精神障害	12	2	5	1	1	3	-
	100.0	16.7	41.7	8.3	8.3	25.0	-
難病	143	16	50	46	17	12	2
	100.0	11.2	35.0	32.2	11.9	8.4	1.4
無回答	3	-	2	-	1	-	-
	100.0	-	66.7	-	33.3	-	-

## (2) 障害のある人に対する市民の理解度

問 64 あなたは、障害のある人に対する市民の理解が、どの程度あると感じていますか。(〇は1つ)

全体では、「よく理解されている」が1.9%、「おおむね理解されている」が18.0%となっています。一方、「あまり理解されていない」は54.1%、「まったく理解されていない」は10.3%となっています。

### ●全体



### ●障害種別

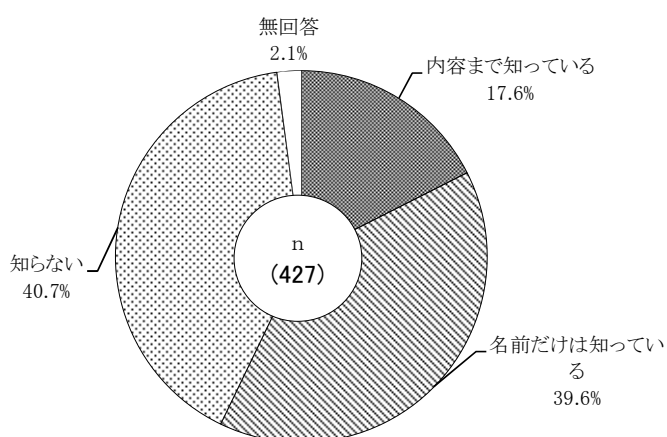
	調査数	よく理解されている	おおむね理解されている	あまり理解されていない	まったく理解されていない	わからない	無回答
全 体	427	8	77	231	44	59	8
	100.0	1.9	18.0	54.1	10.3	13.8	1.9
身体障害	239	4	41	130	22	38	4
	100.0	1.7	17.2	54.4	9.2	15.9	1.7
知的障害	264	4	49	146	31	29	5
	100.0	1.5	18.6	55.3	11.7	11.0	1.9
精神障害	12	1	3	3	2	3	-
	100.0	8.3	25.0	25.0	16.7	25.0	-
難病	143	4	24	77	14	23	1
	100.0	2.8	16.8	53.8	9.8	16.1	0.7
無回答	3	1	1	1	-	-	-
	100.0	33.3	33.3	33.3	-	-	-

### (3) 障害者差別解消法の認知

問 65 障害者への差別をなくすことを目的として、平成 28 年 4 月 1 日に「障害者差別解消法」が施行されましたが、このことを知っていますか。(〇は 1 つ)

全体では、「内容まで知っている」が 17.6%、「名前だけは知っている」が 39.6%となっています。一方、「知らない」が 40.7%となっています。

#### ●全体



#### ●障害種別

	調査数	内容まで知っている	名前だけは知っている	知らない	無回答
全 体	427	75	169	174	9
	100.0	17.6	39.6	40.7	2.1
身体障害	239	44	90	101	4
	100.0	18.4	37.7	42.3	1.7
知的障害	264	52	106	100	6
	100.0	19.7	40.2	37.9	2.3
精神障害	12	3	4	5	-
	100.0	25.0	33.3	41.7	-
難病	143	22	58	61	2
	100.0	15.4	40.6	42.7	1.4
無回答	3	1	-	2	-
	100.0	33.3	-	66.7	-

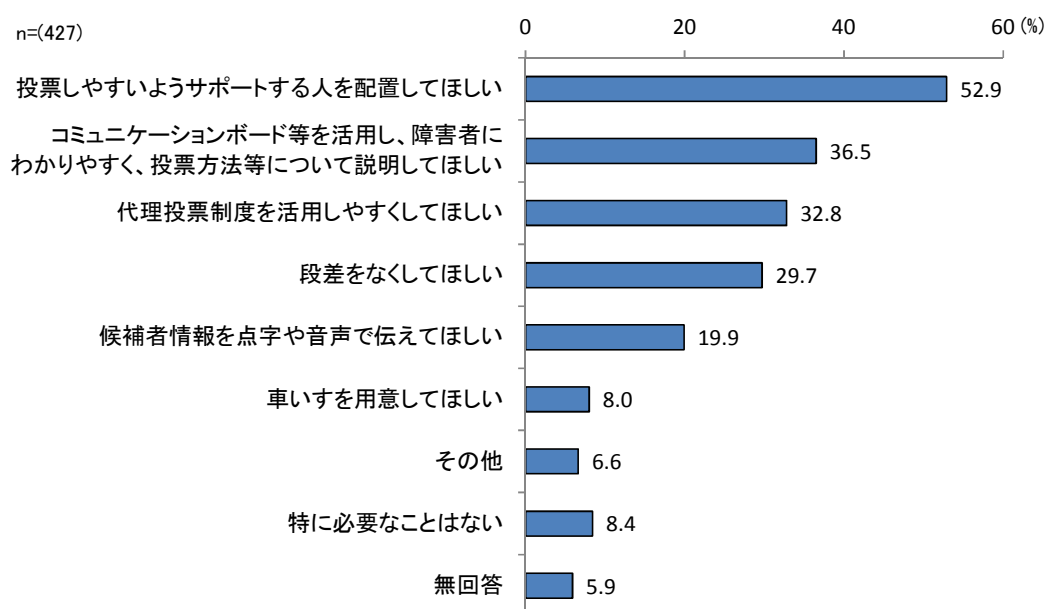
#### (4) 障害者が選挙の投票をしやすくするために必要なこと

問 66 あなたは、障害者が選挙の投票をしやすくするために、投票所に何が必要だと思えますか。(〇はいくつでも)

全体では、「投票しやすいようサポートする人を配置してほしい」が52.9%で最も多く、以下「コミュニケーションボード等を活用し、障害者にわかりやすく、投票方法等について説明してほしい」が36.5%、「代理投票制度を活用しやすくしてほしい」が32.8%となっています。

障害種別でみると、身体障害のある方、難病のある方では、「段差をなくしてほしい」が知的障害のある方より多くなっています。一方、知的障害のある方では、「投票しやすいようサポートする人を配置してほしい」、「コミュニケーションボード等を活用し、障害者にわかりやすく、投票方法等について説明してほしい」が、他の障害のある方より多くなっています。

#### ●全体



## ●障害種別

	調査数	候補者 情報を 点字や 音声で 伝えて ほしい	段差を なくして ほしい	車いす を用意し てほしい	投票し やすい ようサ ポートす る人を配 置してほ しい	代理投 票制度 を活用し やすくし てほしい	コミュニ ケーショ ンボード 等を活 用し、障 害者に わかり やすく、 投票方 法等に ついて 説明して ほしい	特に必 要なこと はない	その他	無回答
全 体	427 100.0	85 19.9	127 29.7	34 8.0	226 52.9	140 32.8	156 36.5	36 8.4	28 6.6	25 5.9
身体障害	239 100.0	47 19.7	94 39.3	19 7.9	113 47.3	77 32.2	69 28.9	22 9.2	17 7.1	14 5.9
知的障害	264 100.0	52 19.7	62 23.5	20 7.6	152 57.6	95 36.0	108 40.9	17 6.4	17 6.4	17 6.4
精神障害	12 100.0	2 16.7	1 8.3	1 8.3	7 58.3	7 58.3	6 50.0	- -	- -	1 8.3
難病	143 100.0	28 19.6	52 36.4	7 4.9	72 50.3	46 32.2	42 29.4	20 14.0	8 5.6	5 3.5
無回答	3 100.0	- -	1 33.3	- -	1 33.3	1 33.3	- -	1 33.3	- -	- -

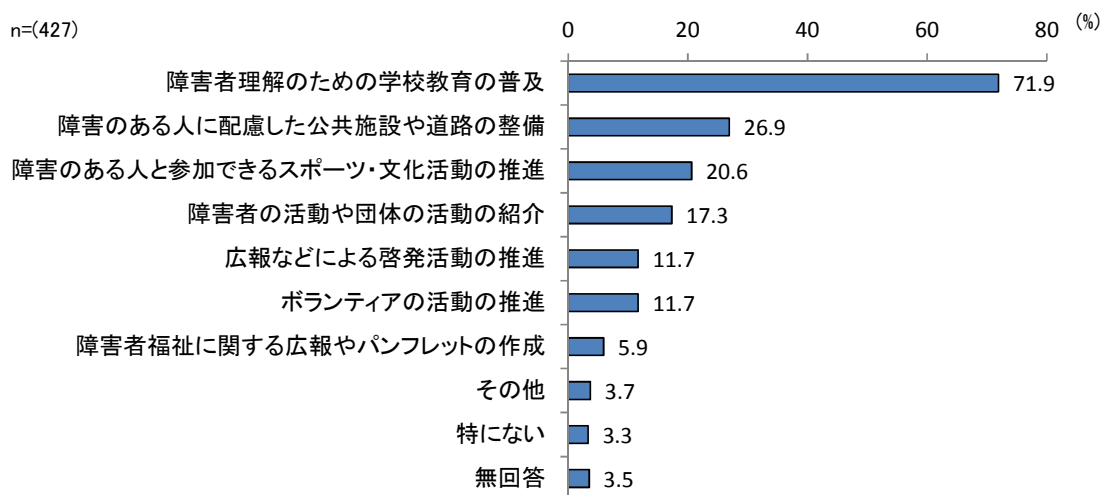
### (5) 障害者理解のため、行政に取り組んでもらいたいこと

問 67 あなたは、障害者に対する理解をより深めるために、どのようなことを行政に取り組んでもらいたいですか。(〇は2つまで)

全体では、「障害者理解のための学校教育の普及」が71.9%で最も多く、次いで「障害のある人に配慮した公共施設や道路の整備」が26.9%となっています。

障害種別でみると、身体障害のある方、難病のある方では「障害のある人に配慮した公共施設や道路の整備」が、他の障害のある方より多くなっています。

## ●全体



## ●障害種別

	調査数	障害者理解のための学校教育の普及	広報などによる啓発活動の推進	障害者の活動や団体の活動の紹介	ボランティアの活動の推進	障害のある人と参加できるスポーツ・文化活動の推進	障害のある人に配慮した公共施設や道路の整備	障害者福祉に関する広報やパンフレットの作成	特にな	その他	無回答
全 体	427 100.0	307 71.9	50 11.7	74 17.3	50 11.7	88 20.6	115 26.9	25 5.9	14 3.3	16 3.7	15 3.5
身体障害	239 100.0	164 68.6	20 8.4	32 13.4	31 13.0	54 22.6	83 34.7	15 6.3	7 2.9	8 3.3	7 2.9
知的障害	264 100.0	206 78.0	40 15.2	55 20.8	27 10.2	51 19.3	53 20.1	18 6.8	7 2.7	11 4.2	9 3.4
精神障害	12 100.0	8 66.7	1 8.3	2 16.7	3 25.0	2 16.7	1 8.3	— —	1 8.3	1 8.3	1 8.3
難病	143 100.0	101 70.6	10 7.0	25 17.5	16 11.2	20 14.0	57 39.9	7 4.9	7 4.9	6 4.2	3 2.1
無回答	3 100.0	1 33.3	— —	1 33.3	— —	1 33.3	— —	1 33.3	— —	— —	— —

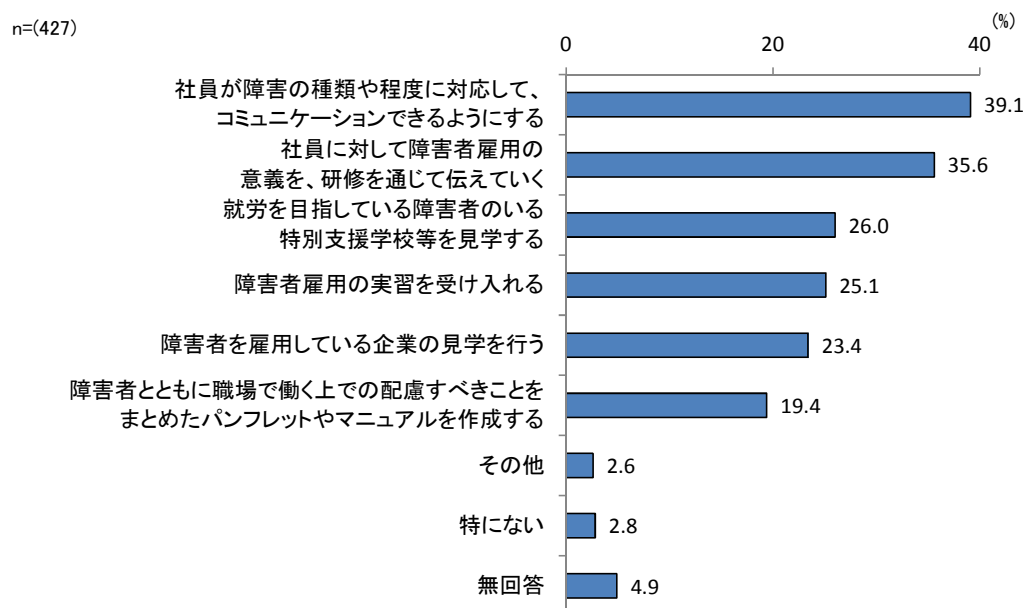
### (6) 障害者理解のため、企業に取り組んでもらいたいこと

問 68 あなたは、障害者に対する理解をより深めるために、どのようなことを企業に取り組んでもらいたいですか。(〇は2つまで)

全体では、「社員が障害の種類や程度に対応して、コミュニケーションできるようにする」が39.1%で最も多く、以下「社員に対して障害者雇用の意義を、研修を通じて伝えていく」が35.6%、「就労を目指している障害者のいる特別支援学校等を見学する」が26.0%となっています。

障害種別でみると、知的障害のある方では、「社員が障害の種類や程度に対応して、コミュニケーションできるようにする」が、他の障害のある方より多くなっています。

## ●全体





## ●障害種別

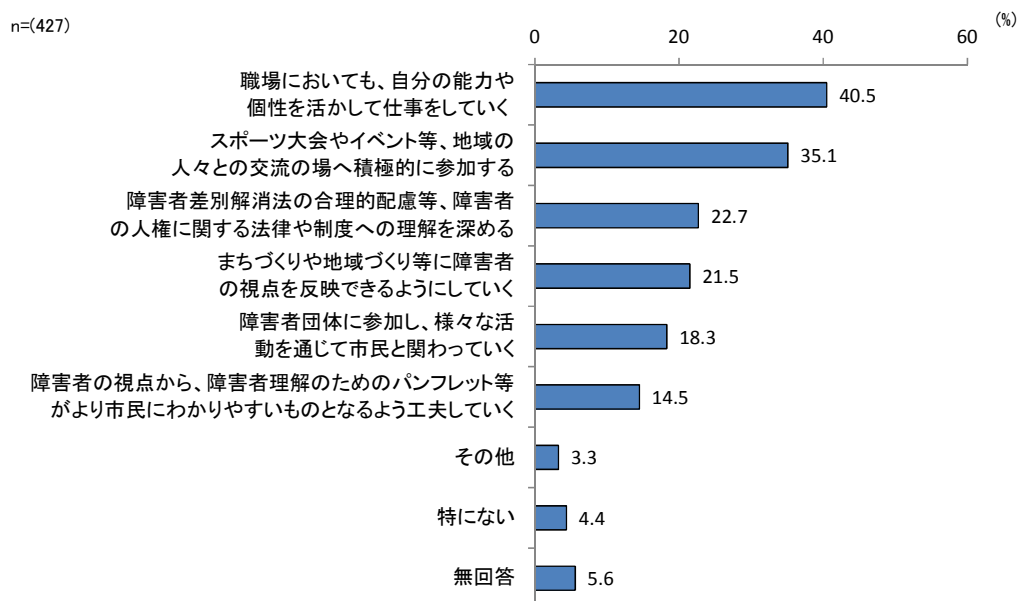
	調査数	社員に対して障害者雇用の意義を、研修を通じて伝えていく	就労を目指している障害者のいる特別支援学校等を見学する	障害者を雇用している企業の見学を行う	障害者雇用の実習を受け入れる	社員が障害の種類や程度に対応して、コミュニケーションできるようにする	障害者とともに職場で働く上での配慮すべきことをまとめたパンフレットやマニュアルを作成する	特にな	その他	無回答
全 体	427 100.0	152 35.6	111 26.0	100 23.4	107 25.1	167 39.1	83 19.4	12 2.8	11 2.6	21 4.9
身体障害	239 100.0	82 34.3	66 27.6	55 23.0	61 25.5	83 34.7	38 15.9	11 4.6	6 2.5	12 5.0
知的障害	264 100.0	93 35.2	72 27.3	57 21.6	69 26.1	116 43.9	57 21.6	2 0.8	8 3.0	14 5.3
精神障害	12 100.0	4 33.3	4 33.3	4 33.3	1 8.3	2 16.7	1 8.3	—	2 16.7	2 16.7
難病	143 100.0	51 35.7	39 27.3	36 25.2	38 26.6	56 39.2	19 13.3	8 5.6	2 1.4	5 3.5
無回答	3 100.0	— —	— —	2 66.7	— —	2 66.7	1 33.3	— —	— —	— —

### (7) 障害者理解のため、障害者自身が取り組むべきこと

問 69 障害者への理解を深めるために、障害者自身がどのような取り組みをしていく必要があると思いますか。(〇は2つまで)

全体では、「職場においても、自分の能力や個性を活かして仕事をしていく」が40.5%で最も多く、次いで「スポーツ大会やイベント等、地域の人々との交流の場へ積極的に参加する」が35.1%となっています。

## ●全体



# ●障害種別

	調査数	障害者差別解消法の合理的配慮等、障害者の人権に関する法律や制度への理解を深める	スポーツ大会やイベント等、地域の人々との交流の場へ積極的に参加する	まちづくりや地域づくりに障害者の視点を反映できるようにしていく	障害者団体に参加し、様々な活動を通じて市民と関わっていく	障害者の視点から、障害者理解のためのパンフレット等がより市民にわかりやすいものとなるよう工夫していく	職場においても、自分の能力や個性を活かして仕事をしていく	特にな	その他	無回答
全 体	427 100.0	97 22.7	150 35.1	92 21.5	78 18.3	62 14.5	173 40.5	19 4.4	14 3.3	24 5.6
身体障害	239 100.0	51 21.3	85 35.6	60 25.1	43 18.0	33 13.8	81 33.9	14 5.9	7 2.9	16 6.7
知的障害	264 100.0	66 25.0	99 37.5	55 20.8	57 21.6	39 14.8	101 38.3	7 2.7	9 3.4	14 5.3
精神障害	12 100.0	4 33.3	2 16.7	2 16.7	3 25.0	2 16.7	4 33.3	- -	1 8.3	1 8.3
難病	143 100.0	31 21.7	54 37.8	33 23.1	25 17.5	17 11.9	54 37.8	11 7.7	1 0.7	8 5.6
無回答	3 100.0	- -	3 100.0	- -	- -	1 33.3	1 33.3	- -	- -	- -

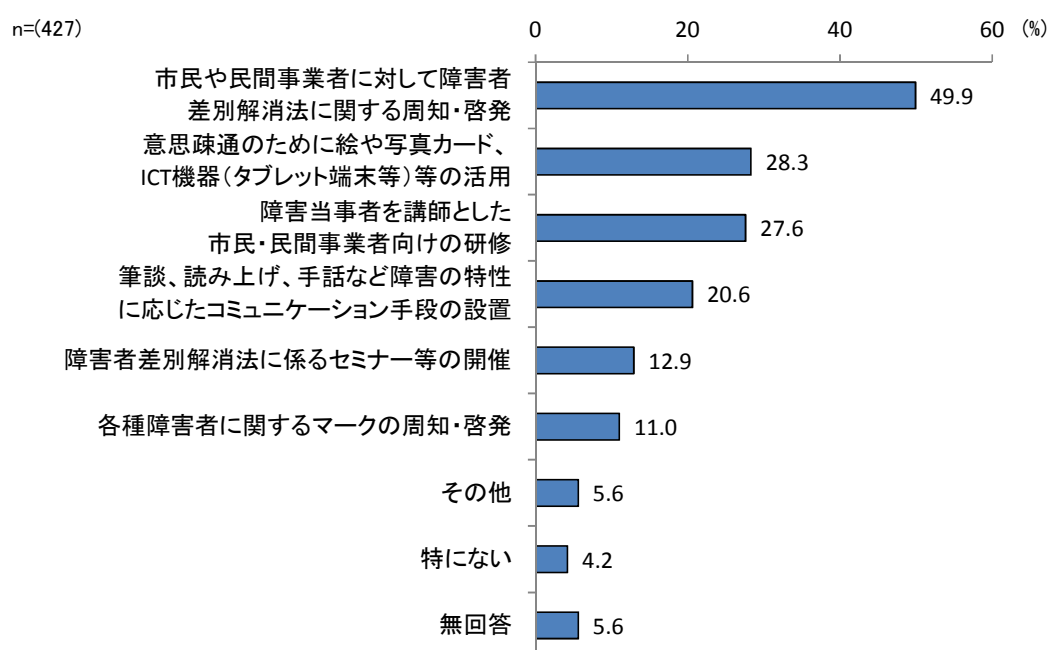
(8) 社会的障壁の除去に向けて合理的配慮を進めていくために必要なこと

問 70 社会的障壁の除去に向けて、合理的配慮を進めていくために必要なことは何だと思われますか。(〇は2つまで)

全体では、「市民や民間事業者に対して障害者差別解消法に関する周知・啓発」が49.9%で最も多く、以下「意思疎通のために絵や写真カード、ICT機器(タブレット端末等)等の活用」が28.3%、「障害当事者を講師とした市民・民間事業者向けの研修」が27.6%となっています。

障害種別でみると、知的障害のある方では「意思疎通のために絵や写真カード、ICT機器(タブレット端末等)等の活用」が他の障害のある方より多くなっています。

●全体



# ●障害種別

	調査数	市民や 民間事 業者に 対して障 害者差 別解消 法に関 する周 知・啓発	障害者 差別解 消法に 係るセ ミナー 等の開 催	障害当 事者を 講師と した市 民・民 間事 業者 向け の研 修	筆談、読 み上げ、 手話な ど障害 の特性 に応じ たコ ミュ ニケー ション 手段 の設 置	意思疎 通のた めに絵 や写真 カード、 ICT機 器（タ ブレッ ト端末 等）等 の活用	各種障 害者に 関する マーク の周知・ 啓発	特にな い	その他	無回答
全 体	427 100.0	213 49.9	55 12.9	118 27.6	88 20.6	121 28.3	47 11.0	18 4.2	24 5.6	24 5.6
身体障害	239 100.0	116 48.5	27 11.3	63 26.4	55 23.0	54 22.6	27 11.3	15 6.3	13 5.4	16 6.7
知的障害	264 100.0	141 53.4	39 14.8	81 30.7	41 15.5	86 32.6	25 9.5	4 1.5	17 6.4	13 4.9
精神障害	12 100.0	8 66.7	3 25.0	5 41.7	1 8.3	－ －	－ －	－ －	2 16.7	1 8.3
難病	143 100.0	76 53.1	17 11.9	35 24.5	29 20.3	35 24.5	18 12.6	10 7.0	5 3.5	8 5.6
無回答	3 100.0	1 33.3	－ －	－ －	1 33.3	1 33.3	1 33.3	－ －	－ －	－ －

### 13. サービス利用について

#### (1) 訪問系サービスの利用状況・利用意向

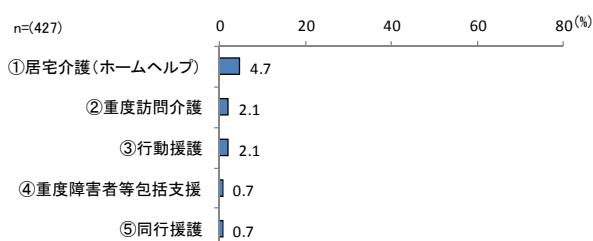
問 71 あなたは、次のような訪問系サービスを利用していますか。また今後利用したいと  
いますか。すでに利用している方も、今後利用したいかどうかをお答えください。

利用しているサービスをみると、「居宅介護（ホームヘルプ）」が 4.7%で最も多くなっています。

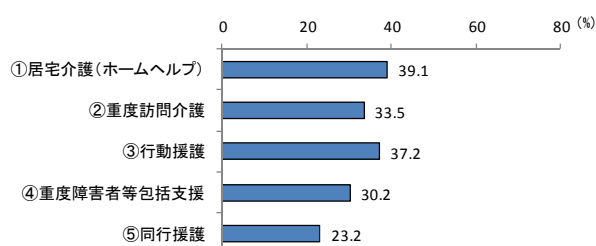
利用したいサービスをみると、「居宅介護（ホームヘルプ）」が 39.1%で最も多く、以下「行動  
援護」が37.2%、「重度訪問介護」が33.5%となっています。

#### ●全体

##### A. 利用している割合



##### B. 利用したい割合



#### ●障害種別

##### A. 利用している割合

	調査数	①居宅 介護 (ホーム ヘルプ)	②重度 訪問介 護	③行動 援護	④重度 障害者 等包括 支援	⑤同行 援護
全 体	427	20	9	9	3	3
	100.0	4.7	2.1	2.1	0.7	0.7
身体障害	239	18	8	2	3	3
	100.0	7.5	3.3	0.8	1.3	1.3
知的障害	264	10	4	8	-	1
	100.0	3.8	1.5	3.0	-	0.4
精神障害	12	1	-	1	-	-
	100.0	8.3	-	8.3	-	-
難病	143	9	5	1	2	1
	100.0	6.3	3.5	0.7	1.4	0.7
無回答	3	-	-	-	-	-
	100.0	-	-	-	-	-

##### B. 利用したい割合

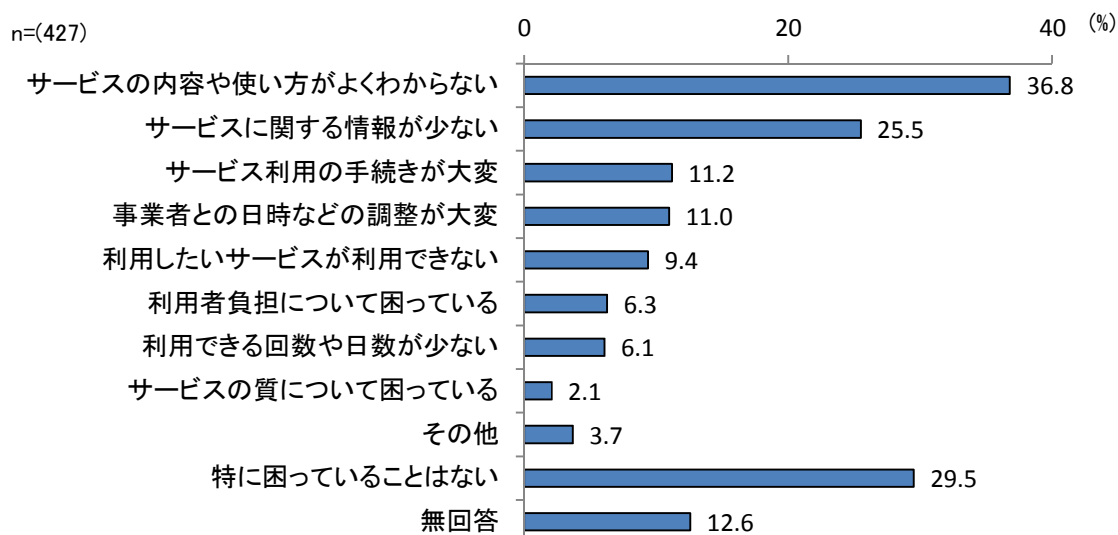
	調査数	①居宅 介護 (ホーム ヘルプ)	②重度 訪問介 護	③行動 援護	④重度 障害者 等包括 支援	⑤同行 援護
全 体	427	167	143	159	129	99
	100.0	39.1	33.5	37.2	30.2	23.2
身体障害	239	104	104	72	89	58
	100.0	43.5	43.5	30.1	37.2	24.3
知的障害	264	111	89	127	79	64
	100.0	42.0	33.7	48.1	29.9	24.2
精神障害	12	4	8	6	6	3
	100.0	33.3	66.7	50.0	50.0	25.0
難病	143	58	56	46	53	36
	100.0	40.6	39.2	32.2	37.1	25.2
無回答	3	-	-	-	-	-
	100.0	-	-	-	-	-

## (2) 訪問系サービスを利用する上で困っていること

問 72 あなたは、訪問系サービスの利用に関して困っていることがありますか。(〇はいくつでも)

全体では、「サービスの内容や使い方がよくわからない」が36.8%で最も多く、次いで「サービスに関する情報が少ない」が25.5%となっています。

### ●全体



### ●障害種別

	調査数	サービスの 内容や使 い方が よくわ からない	サー ビスに 関する 情報 が少 ない	利用 した いサ ービ スが 利用 でき ない	サー ビス 利用 の手 続 き が 大 変	事業 者 と の 日 時 な ど の 調 整 が 大 変	利用 で き る 回 数 や 日 数 が 少 な い	サー ビス の 質 に つ い て 困 っ て い る	利用 者 負 担 に つ い て 困 っ て い る	特 に 困 っ て い る こ と は な い	その他	無回答
全 体	427	157	109	40	48	47	26	9	27	126	16	54
	100.0	36.8	25.5	9.4	11.2	11.0	6.1	2.1	6.3	29.5	3.7	12.6
身体障害	239	87	70	24	29	31	18	8	16	60	10	31
	100.0	36.4	29.3	10.0	12.1	13.0	7.5	3.3	6.7	25.1	4.2	13.0
知的障害	264	108	69	23	32	32	14	6	21	73	7	28
	100.0	40.9	26.1	8.7	12.1	12.1	5.3	2.3	8.0	27.7	2.7	10.6
精神障害	12	3	1	2	2	4	1	1	2	-	-	4
	100.0	25.0	8.3	16.7	16.7	33.3	8.3	8.3	16.7	-	-	33.3
難病	143	48	40	12	15	17	8	4	10	46	5	16
	100.0	33.6	28.0	8.4	10.5	11.9	5.6	2.8	7.0	32.2	3.5	11.2
無回答	3	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	100.0	66.7	33.3	-	-	-	-	-	-	-	-	33.3

### (3) 日中活動系サービスの利用状況・利用意向

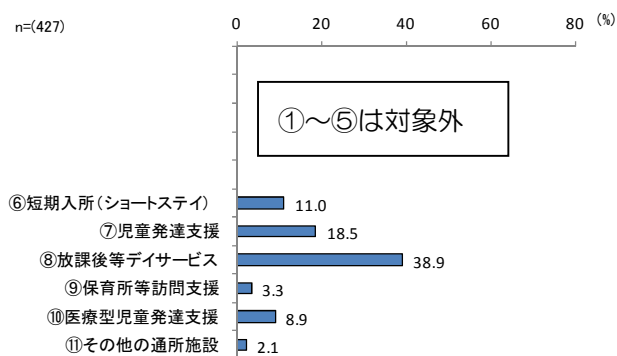
問 73 あなたは、次のような日中活動系サービスを利用していますか。また今後利用したいと思いますか。すでに利用している方も、今後利用したいかどうかをお答えください。

利用しているサービスをみると、「放課後等デイサービス」が38.9%で最も多く、以下「児童発達支援」が18.5%、「短期入所（ショートステイ）」が11.0%となっています。

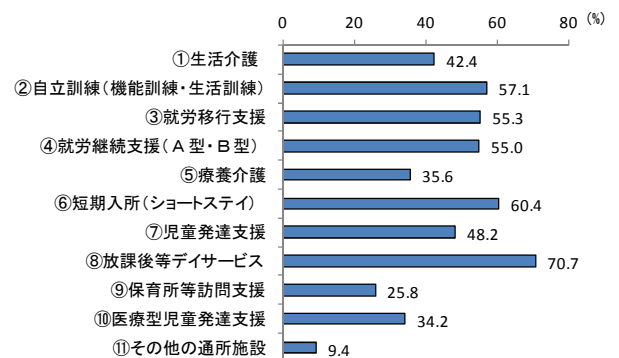
利用したいサービスについては、「放課後等デイサービス」が70.7%で最も多く、以下「短期入所（ショートステイ）」が60.4%、「自立訓練（機能訓練・生活訓練）」が57.1%となっています。

#### ●全体

##### A. 利用している割合



##### B. 利用したい割合



#### ●障害種別

##### A. 利用している割合

	調査数	⑥短期入所（ショートステイ）	⑦児童発達支援	⑧放課後等デイサービス	⑨保育所等訪問支援	⑩医療型児童発達支援	⑪その他の通所施設
全 体	427	47	79	166	14	38	9
	100.0	11.0	18.5	38.9	3.3	8.9	2.1
身体障害	239	34	32	75	7	32	5
	100.0	14.2	13.4	31.4	2.9	13.4	2.1
知的障害	264	26	56	132	10	16	5
	100.0	9.8	21.2	50.0	3.8	6.1	1.9
精神障害	12	2	2	7	-	1	1
	100.0	16.7	16.7	58.3	-	8.3	8.3
難病	143	19	20	46	3	16	3
	100.0	13.3	14.0	32.2	2.1	11.2	2.1
無回答	3	-	1	-	-	-	-
	100.0	-	33.3	-	-	-	-

## B. 利用したい割合

	調査数	①生活 介護	②自立 訓練(機 能訓練・ 生活訓 練)	③就労 移行支 援	④就労 継続支 援(A 型・B 型)	⑤療養 介護	⑥短期 入所 (ショー トステ イ)	⑦児童 発達支 援	⑧放課 後等デ イサービ ス	⑨保育 所等訪 問支援	⑩医療 型児童 発達支 援	⑪その 他の通 所施設
全 体	427 100.0	181 42.4	244 57.1	236 55.3	235 55.0	152 35.6	258 60.4	206 48.2	302 70.7	110 25.8	146 34.2	40 9.4
身体障害	239 100.0	107 44.8	121 50.6	108 45.2	103 43.1	99 41.4	145 60.7	108 45.2	154 64.4	61 25.5	92 38.5	26 10.9
知的障害	264 100.0	124 47.0	173 65.5	160 60.6	174 65.9	92 34.8	171 64.8	141 53.4	214 81.1	66 25.0	91 34.5	20 7.6
精神障害	12 100.0	6 50.0	6 50.0	2 16.7	6 50.0	5 41.7	10 83.3	5 41.7	9 75.0	1 8.3	3 25.0	1 8.3
難病	143 100.0	66 46.2	79 55.2	70 49.0	74 51.7	68 47.6	89 62.2	68 47.6	93 65.0	41 28.7	61 42.7	17 11.9
無回答	3 100.0	1 33.3	2 66.7	2 66.7	1 33.3	1 33.3	2 66.7	1 33.3	2 66.7	1 33.3	1 33.3	- -

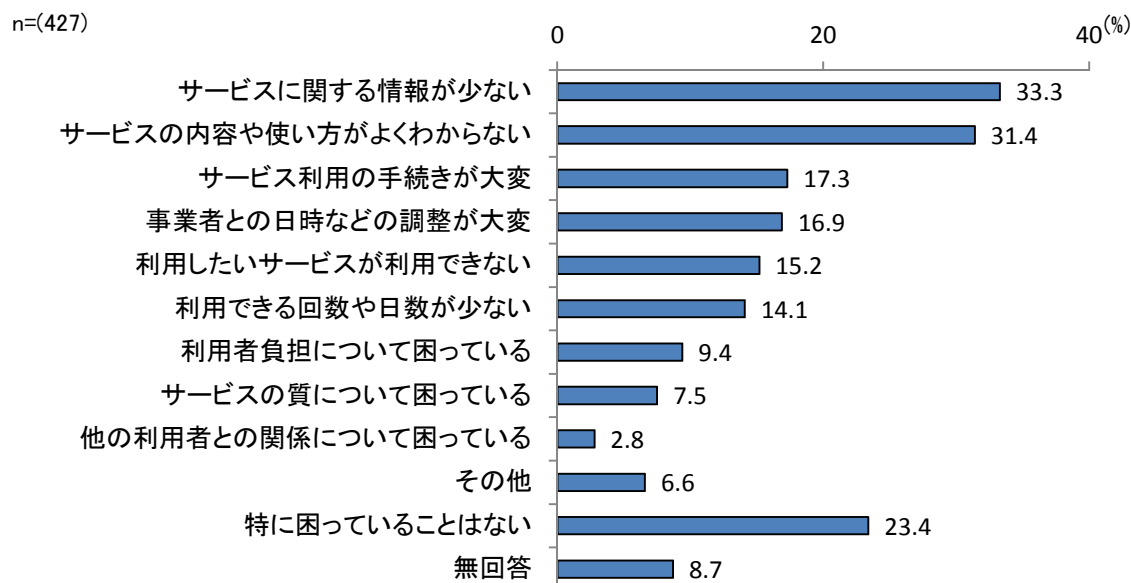


#### (4) 日中活動系サービスを利用する上で困っていること

問 74 あなたは、日中活動系サービスの利用に関して困っていることがありますか。(〇はいくつでも)

全体では、「サービスに関する情報が少ない」が 33.3%、「サービスの内容や使い方がよくわからない」が 31.4%と、いずれも3割を超えています。

##### ●全体



##### ●障害種別

	調査数	サービスの 内容や使 い方が よくわ からない	サービ スに関 する情 報が少 ない	利用し たいサー ビスが 利用で きない	サービ ス利用 の手続 きが大 変	事業者 との日 時など の調整 が大変	利用で きる回 数や日 数が少 ない	サービ スの質 について 困って いる	他の利 用者と の関係 について 困って いる	利用者 負担に ついて 困って いる	特に 困って いるこ とはな い	その他	無回答
全 体	427	134	142	65	74	72	60	32	12	40	100	28	37
	100.0	31.4	33.3	15.2	17.3	16.9	14.1	7.5	2.8	9.4	23.4	6.6	8.7
身体障害	239	67	78	28	37	42	33	21	6	22	56	17	24
	100.0	28.0	32.6	11.7	15.5	17.6	13.8	8.8	2.5	9.2	23.4	7.1	10.0
知的障害	264	90	100	48	51	49	42	20	10	27	53	17	19
	100.0	34.1	37.9	18.2	19.3	18.6	15.9	7.6	3.8	10.2	20.1	6.4	7.2
精神障害	12	1	3	3	3	5	1	1	-	2	1	-	2
	100.0	8.3	25.0	25.0	25.0	41.7	8.3	8.3	-	16.7	8.3	-	16.7
難病	143	43	45	21	19	21	19	13	2	14	37	7	13
	100.0	30.1	31.5	14.7	13.3	14.7	13.3	9.1	1.4	9.8	25.9	4.9	9.1
無回答	3	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	100.0	66.7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	33.3

## (5) 居住系サービスの利用状況・利用意向

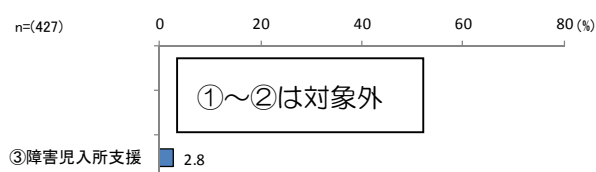
問 75 あなたは、次のような居住系サービスを利用していますか。また今後利用したいと思いますか。すでに利用している方も、今後利用したいかどうかをお答えください。

利用しているサービスをみると、「障害児入所支援」が2.8%となっています。

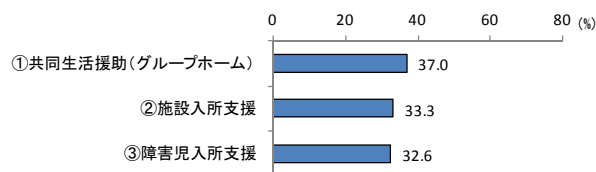
利用したいサービスをみると、「共同生活援助（グループホーム）」が37.0%で最も多く、以下「施設入所支援」が33.3%、「障害児入所支援」が32.6%となっています。

### ●全体

#### A. 利用している割合



#### B. 利用したい割合



### ●障害種別

#### A. 利用している割合

	調査数	③障害児入所支援
全 体	427	12
	100.0	2.8
身体障害	239	9
	100.0	3.8
知的障害	264	7
	100.0	2.7
精神障害	12	1
	100.0	8.3
難病	143	6
	100.0	4.2
無回答	3	-
	100.0	-

#### B. 利用したい割合

	調査数	①共同生活援助（グループホーム）	②施設入所支援	③障害児入所支援
全 体	427	158	142	139
	100.0	37.0	33.3	32.6
身体障害	239	77	77	79
	100.0	32.2	32.2	33.1
知的障害	264	120	103	99
	100.0	45.5	39.0	37.5
精神障害	12	8	7	8
	100.0	66.7	58.3	66.7
難病	143	49	46	51
	100.0	34.3	32.2	35.7
無回答	3	1	1	1
	100.0	33.3	33.3	33.3

## (6) 地域生活支援事業の利用状況・利用意向

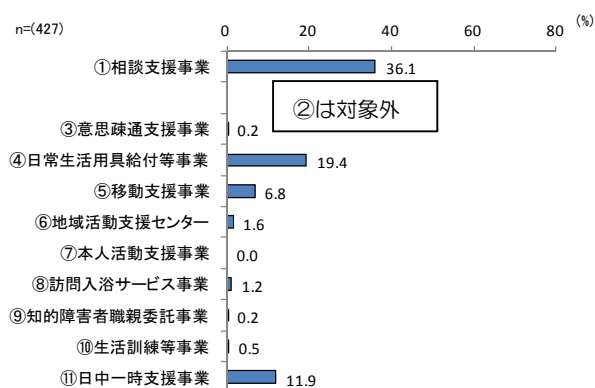
問 76 あなたは、次のようなサービスを利用していますか。また今後利用したいと思いますか。すでに利用している方も、今後利用したいかどうかをお答えください。

利用している地域生活支援事業をみると、「相談支援事業」が36.1%で最も多く、以下「日常生活用具給付等事業」が19.4%、「日中一時支援事業」が11.9%となっています。

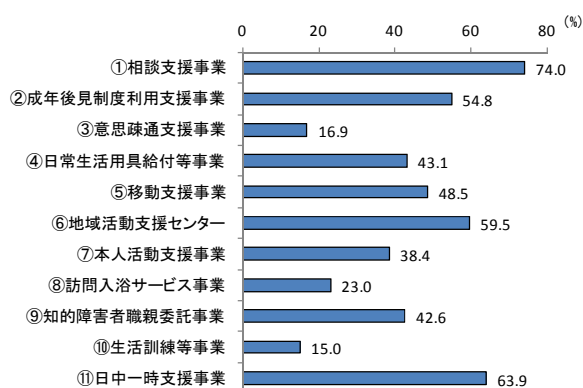
利用したい地域生活支援事業をみると、「相談支援事業」が74.0%で最も多く、以下「日中一時支援事業」が63.9%、「地域活動支援センター」が59.5%となっています。

### ●全体

#### A. 利用している割合



#### B. 利用したい割合



### ●障害種別

#### A. 利用している割合

	調査数	①相談支援事業	③意思疎通支援事業	④日常生活用具給付等事業	⑤移動支援事業	⑥地域活動支援センター	⑦本人活動支援事業	⑧訪問入浴サービス事業	⑨知的障害者職親委託事業	⑩生活訓練等事業	⑪日中一時支援事業
全 体	427	154	1	83	29	7	-	5	1	2	51
	100.0	36.1	0.2	19.4	6.8	1.6	-	1.2	0.2	0.5	11.9
身体障害	239	89	1	83	19	3	-	5	-	2	24
	100.0	37.2	0.4	34.7	7.9	1.3	-	2.1	-	0.8	10.0
知的障害	264	101	-	35	22	7	-	4	1	1	39
	100.0	38.3	-	13.3	8.3	2.7	-	1.5	0.4	0.4	14.8
精神障害	12	4	-	1	3	-	-	1	-	-	4
	100.0	33.3	-	8.3	25.0	-	-	8.3	-	-	33.3
難病	143	45	1	32	8	-	-	3	-	1	11
	100.0	31.5	0.7	22.4	5.6	-	-	2.1	-	0.7	7.7
無回答	3	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	100.0	33.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-

## B. 利用したい割合

	調査数	①相談 支援事 業	②成年 後見制 度利用 支援事 業	③意思 疎通支 援事業	④日常 生活用 具給付 等事業	⑤移動 支援事 業	⑥地域 活動支 援セン ター	⑦本人 活動支 援事業	⑧訪問 入浴 サービ ス事業	⑨知的 障害者 職親委 託事業	⑩生活 訓練等 事業	⑪日中 一時支 援事業
全 体	427 100.0	316 74.0	234 54.8	72 16.9	184 43.1	207 48.5	254 59.5	164 38.4	98 23.0	182 42.6	64 15.0	273 63.9
身体障害	239 100.0	167 69.9	108 45.2	52 21.8	142 59.4	132 55.2	129 54.0	58 24.3	80 33.5	49 20.5	38 15.9	149 62.3
知的障害	264 100.0	214 81.1	171 64.8	31 11.7	98 37.1	134 50.8	174 65.9	139 52.7	55 20.8	160 60.6	42 15.9	190 72.0
精神障害	12 100.0	6 50.0	3 25.0	1 8.3	5 41.7	8 66.7	8 66.7	4 33.3	2 16.7	5 41.7	1 8.3	9 75.0
難病	143 100.0	105 73.4	72 50.3	28 19.6	72 50.3	69 48.3	76 53.1	45 31.5	41 28.7	48 33.6	19 13.3	89 62.2
無回答	3 100.0	2 66.7	2 66.7	1 33.3	1 33.3	1 33.3	1 33.3	1 33.3	－ －	1 33.3	－ －	1 33.3

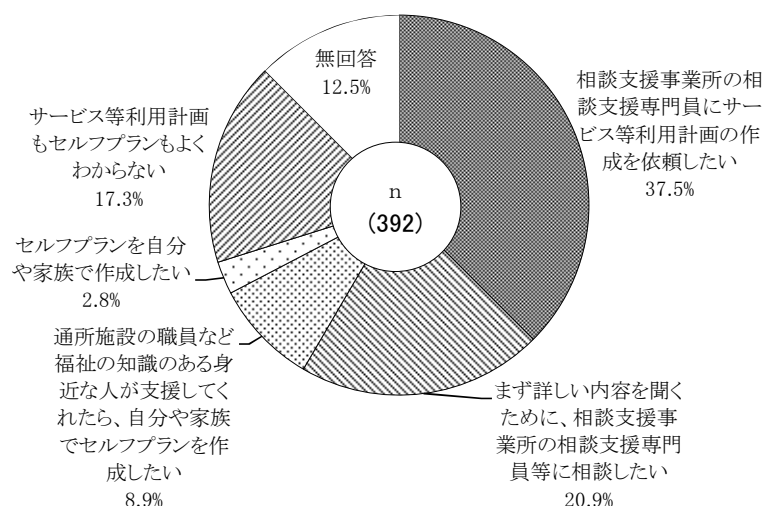
## (7) サービス等利用計画の作成についての意向

問 77 【問 71、73、75、76 にある障害福祉サービスを利用している方や、今後利用したい方にお聞きします】サービス等利用計画の作成について、どのように進めていきたいですか。(〇はひとつ)

全体では、「相談支援事業所の相談支援専門員にサービス等利用計画の作成を依頼したい」が37.5%で最も多く、次いで「まず詳しい内容を聞くために、相談支援事業所の相談支援専門員等に相談したい」が20.9%となっています。一方、「サービス等利用計画もセルフプランもよくわからない」が17.3%となっています。

障害種別でみると、知的障害のある方では、「相談支援事業所の相談支援専門員にサービス等利用計画の作成を依頼したい」が、他の障害のある方より多くなっています。

### ●全体



### ●障害種別

	調査数	相談支援事業所の相談支援専門員にサービス等利用計画の作成を依頼したい	セルフプランを自分や家族で作成したい	通所施設の職員など福祉の知識のある身近な人が支援してくれたら、自分や家族でセルフプランを作成したい	まず詳しい内容を聞くために、相談支援事業所の相談支援専門員等に相談したい	サービス等利用計画もセルフプランもよくわからない	無回答
全 体	392	147	11	35	82	68	49
	100.0	37.5	2.8	8.9	20.9	17.3	12.5
身体障害	216	78	4	21	44	41	28
	100.0	36.1	1.9	9.7	20.4	19.0	13.0
知的障害	252	106	7	24	53	33	29
	100.0	42.1	2.8	9.5	21.0	13.1	11.5
精神障害	10	6	-	1	1	-	2
	100.0	60.0	-	10.0	10.0	-	20.0
難病	129	42	5	8	28	32	14
	100.0	32.6	3.9	6.2	21.7	24.8	10.9
無回答	2	-	-	-	1	1	-
	100.0	-	-	-	50.0	50.0	-

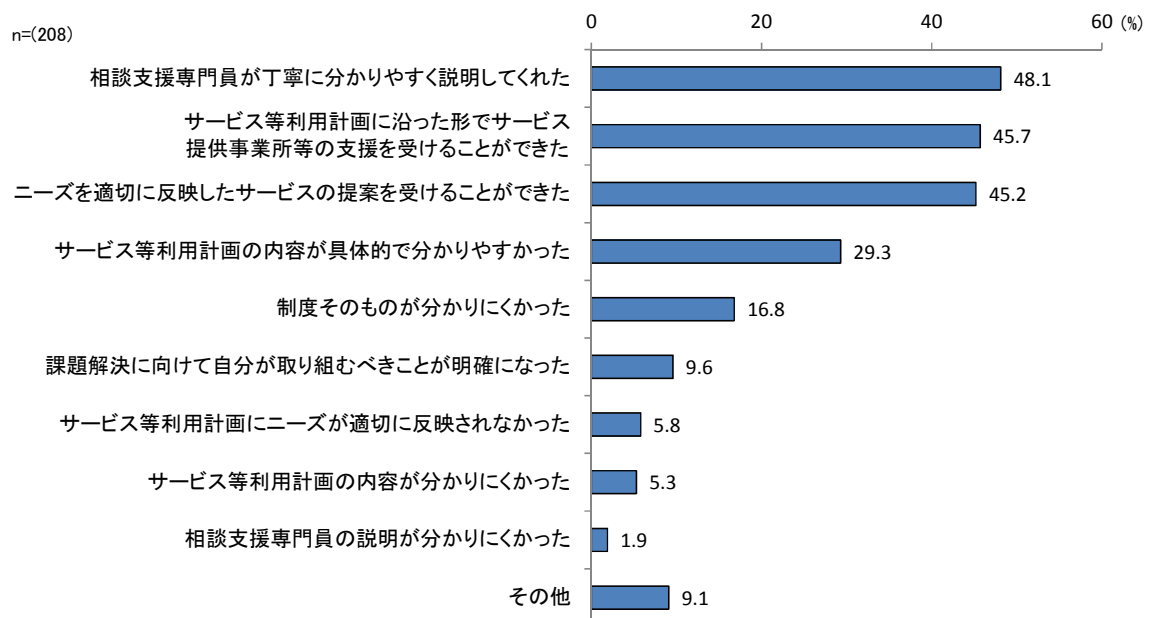
## (8) サービス等利用計画を作成して感じたこと

問 78 【これまでに特定相談支援事業所でサービス等利用計画を作成したことがある方にお聞きします】 サービス等利用計画を作成して感じたことはありますか（〇は4つまで）

全体では、「相談支援専門員が丁寧に分かりやすく説明してくれた」が48.1%で最も多く、以下、「サービス等利用計画に沿った形でサービス提供事業所等の支援を受けることができた」が45.7%、「ニーズを適切に反映したサービスの提案を受けることができた」が45.2%となっています。一方、「制度そのものが分かりにくかった」は16.8%となっています。

障害種別でみると、知的障害のある方では、「相談支援専門員が丁寧に分かりやすく説明してくれた」が、他の障害のある方より多くなっています。

### ●全体



# ●障害種別

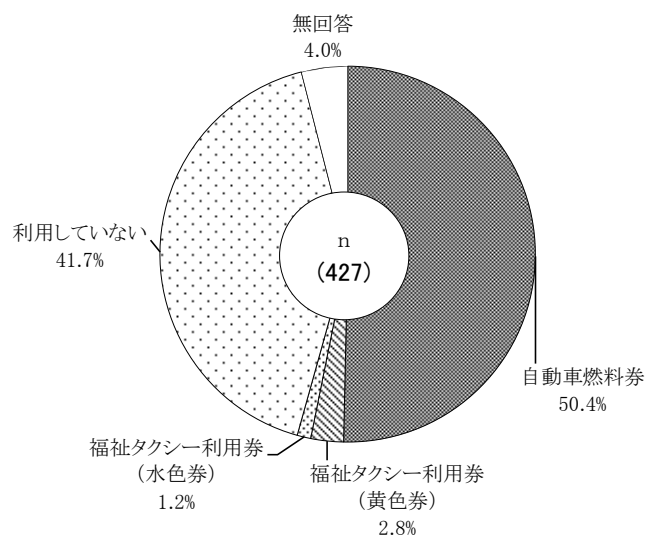
	調査数	ニーズを適切に反映したサービスの提案を受けることができた	サービス等利用計画に沿った形でサービス提供事業所等の支援を受けることができた	サービス等利用計画の内容が具体的に分かりやすかった	相談支援専門員が丁寧に分かりやすく説明してくれた	課題解決に向けて自分と取り組むべきことが明確になった	サービス等利用計画にニーズが適切に反映されなかった	サービス等利用計画の内容が分かりにくかった	相談支援専門員の説明が分かりにくかった	制度そのものが分かりにくかった	その他
全 体	208 100.0	94 45.2	95 45.7	61 29.3	100 48.1	20 9.6	12 5.8	11 5.3	4 1.9	35 16.8	19 9.1
身体障害	114 100.0	48 42.1	51 44.7	28 24.6	49 43.0	9 7.9	6 5.3	9 7.9	3 2.6	24 21.1	10 8.8
知的障害	145 100.0	70 48.3	67 46.2	52 35.9	82 56.6	19 13.1	8 5.5	5 3.4	4 2.8	18 12.4	11 7.6
精神障害	4 100.0	－ －	1 25.0	1 25.0	1 25.0	1 25.0	－ －	－ －	－ －	2 50.0	1 25.0
難病	62 100.0	20 32.3	26 41.9	18 29.0	28 45.2	4 6.5	1 1.6	5 8.1	1 1.6	14 22.6	3 4.8
無回答	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －

# (9) 福祉タクシー利用券・自動車燃料券の利用状況

問 79 あなたは、福祉タクシー利用券や自動車燃料券を利用していますか。利用している方は、その種類（券の色）もお答えください。（〇は1つ）

全体では、「自動車燃料券」が50.4%で最も多くなっています。

## ●全体



## ●障害種別

	調査数	福祉タクシー利用券(黄色券)	福祉タクシー利用券(水色券)	自動車燃料券	利用していない	無回答
全 体	427 100.0	12 2.8	5 1.2	215 50.4	178 41.7	17 4.0
身体障害	239 100.0	7 2.9	5 2.1	162 67.8	58 24.3	7 2.9
知的障害	264 100.0	8 3.0	1 0.4	114 43.2	130 49.2	11 4.2
精神障害	12 100.0	1 8.3	1 8.3	6 50.0	4 33.3	— —
難病	143 100.0	3 2.1	1 0.7	91 63.6	43 30.1	5 3.5
無回答	3 100.0	— —	— —	1 33.3	2 66.7	— —



## (10) 福祉タクシー利用券・自動車燃料券の主な使い道

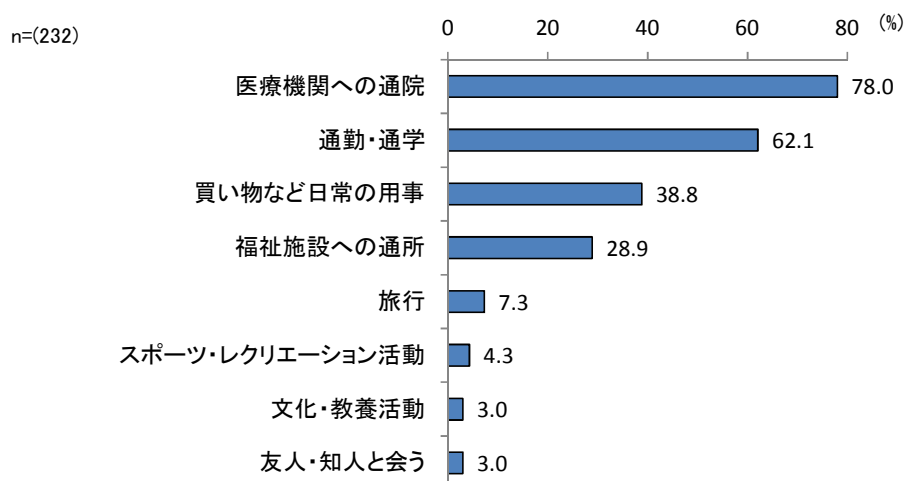
問 80 【問 79 でいずれかの券を利用している（1～3番）と回答した方にお聞きします】  
福祉タクシー利用券・自動車燃料券の主な使い道は何ですか。（〇はいくつでも）

全体では、「医療機関への通院」が 78.0%で最も多く、次いで「通勤・通学」が 62.1%となっています。

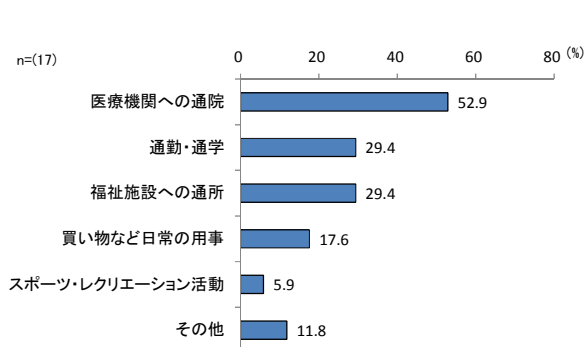
また、「医療機関への通院」、「通勤・通学」ともに自動車燃料券の使用が特に多くなっています。

障害種別でみると、身体障害のある方、難病のある方では「医療機関への通院」が、知的障害のある方より多くなっています。一方、知的障害のある方では「買い物など日常の用事」が、他の障害のある方より多くなっています。

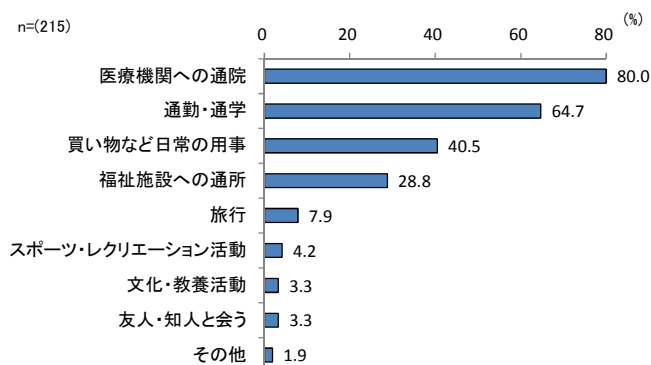
### ●全体



### A. 福祉タクシーの主な使い道



### B. 自動車燃料券の主な使い道



## ●障害種別

### A. 福祉タクシーの主な使い道

	調査数	通勤・通学	福祉施設への通所	医療機関への通院	買い物など日常の用事	文化・教養活動	スポーツ・レクリエーション活動	旅行	友人・知人と会う	その他
全 体	17 100.0	5 29.4	5 29.4	9 52.9	3 17.6	－ －	1 5.9	－ －	－ －	2 11.8
身体障害	12 100.0	2 16.7	3 25.0	8 66.7	2 16.7	－ －	6 50.0	－ －	－ －	2 16.7
知的障害	9 100.0	4 44.4	4 44.4	4 44.4	2 22.2	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －
精神障害	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －
難病	3 100.0	－ －	2 66.7	2 66.7	1 33.3	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －

### B. 自動車燃料券の主な使い

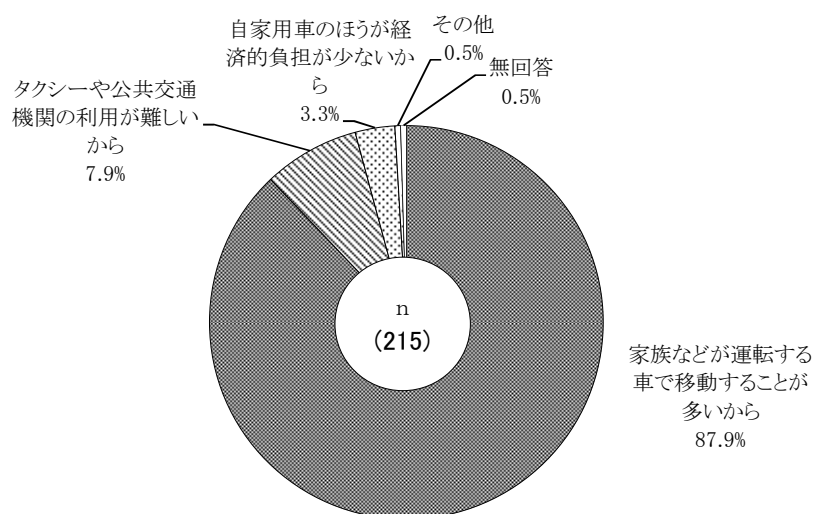
	調査数	通勤・通学	福祉施設への通所	医療機関への通院	買い物など日常の用事	文化・教養活動	スポーツ・レクリエーション活動	旅行	友人・知人と会う	その他
全 体	215 100.0	139 64.7	62 28.8	172 80.0	87 40.5	7 3.3	9 4.2	17 7.9	7 3.3	4 1.9
身体障害	162 100.0	102 63.0	45 27.8	139 85.8	56 34.6	3 1.9	5 3.1	9 5.6	6 3.7	3 1.9
知的障害	114 100.0	78 68.4	33 28.9	82 71.9	57 50.0	5 4.4	7 6.1	14 12.3	2 1.8	3 2.6
精神障害	8 100.0	2 25.0	1 12.5	5 62.5	4 50.0	－ －	－ －	－ －	1 12.5	－ －
難病	92 100.0	53 57.6	26 28.3	77 83.7	31 33.7	3 3.3	3 3.3	7 7.6	3 3.3	3 3.3

# (11) 自動車燃料券を選ぶ理由

問 81 【問 79 で自動車燃料券を利用している（3 番）と回答した方にお聞きします。】  
福祉タクシー利用券ではなく、自動車燃料券を選んでいる理由は何ですか。  
（○は 1 つ）

全体では、「家族などが運転する車で移動することが多いから」が 87.9%で最も多くなっています。

## ●全体



## ●障害種別

	調査数	家族などが運転する車で移動することが多いから	タクシーや公共交通機関の利用が難しいから	自家用車のほうが経済的負担が少ないから	特に理由はない	その他	無回答
全 体	215 100.0	189 87.9	17 7.9	7 3.3	- -	1 0.5	1 0.5
身体障害	162 100.0	144 88.9	13 8.0	4 2.5	- -	1 0.6	- -
知的障害	114 100.0	97 85.1	11 9.6	4 3.5	- -	1 0.9	1 0.9
精神障害	6 100.0	4 66.7	1 16.7	1 16.7	- -	- -	- -
難病	91 100.0	80 87.9	7 7.7	4 4.4	- -	- -	- -
無回答	1 100.0	1 100.0	- -	- -	- -	- -	- -

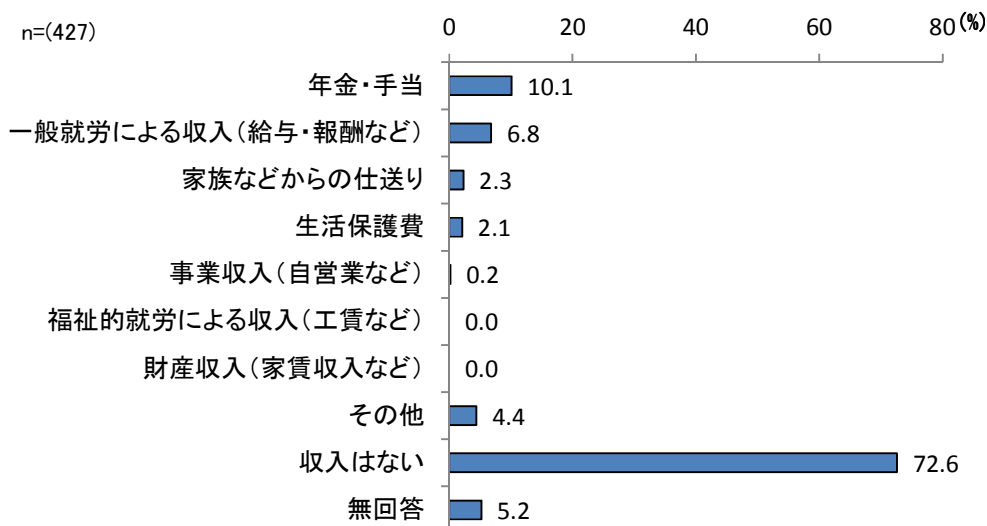
## 14. 収入や利用者負担について

### (1) 主な収入源

問 82 あなたご本人の主な収入源をお答えください。(〇は3つまで)

全体では、「収入はない」が72.6%で最も多くなっています。

#### ●全体



#### ●障害種別

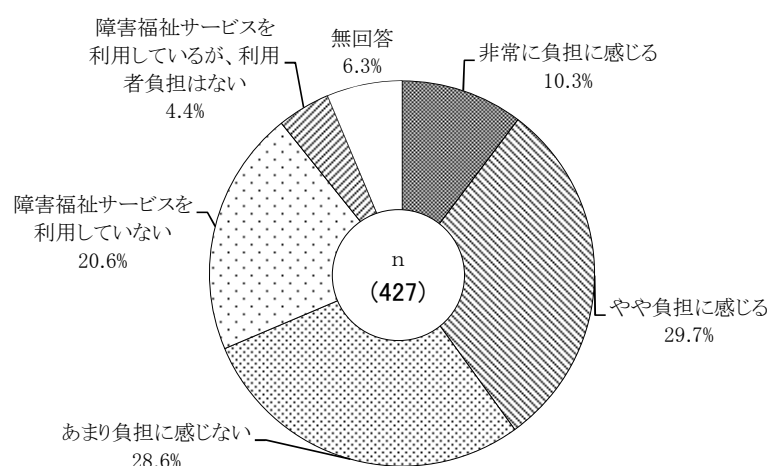
	調査数	一般就労による収入(給与・報酬など)	福祉的就労による収入(工賃など)	事業収入(自営業など)	財産収入(家賃収入など)	年金・手当	生活保護費	家族などからの仕送り	収入はない	その他	無回答
全 体	427 100.0	29 6.8	— —	1 0.2	— —	43 10.1	9 2.1	10 2.3	310 72.6	19 4.4	22 5.2
身体障害	239 100.0	20 8.4	— —	1 0.4	— —	31 13.0	5 2.1	5 2.1	171 71.5	7 2.9	9 3.8
知的障害	264 100.0	15 5.7	— —	1 0.4	— —	25 9.5	6 2.3	7 2.7	190 72.0	13 4.9	17 6.4
精神障害	12 100.0	1 8.3	— —	— —	— —	4 33.3	3 25.0	— —	4 33.3	2 16.7	2 16.7
難病	143 100.0	14 9.8	— —	— —	— —	11 7.7	1 0.7	3 2.1	109 76.2	2 1.4	6 4.2
無回答	3 100.0	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	3 100.0	— —	— —

## (2) 障害福祉サービスの利用者負担の負担感

問 83 あなた（や保護者の方）は、障害福祉サービスの利用者負担について、どのように感じていますか。（〇は1つ）

全体では「非常に負担に感じる」が 10.3%、「やや負担に感じる」が 29.7%となっています。一方、「あまり負担に感じない」が 28.6%となっています。

### ●全体



### ●障害種別

	調査数	非常に負担に感じる	やや負担に感じる	あまり負担に感じない	障害福祉サービスを利用していない	障害福祉サービスを利用しているが、利用者負担はない	無回答
全 体	427	44	127	122	88	19	27
	100.0	10.3	29.7	28.6	20.6	4.4	6.3
身体障害	239	25	79	65	44	12	14
	100.0	10.5	33.1	27.2	18.4	5.0	5.9
知的障害	264	31	72	86	47	12	16
	100.0	11.7	27.3	32.6	17.8	4.5	6.1
精神障害	12	2	3	2	1	2	2
	100.0	16.7	25.0	16.7	8.3	16.7	16.7
難病	143	16	37	42	31	7	10
	100.0	11.2	25.9	29.4	21.7	4.9	7.0
無回答	3	—	1	—	2	—	—
	100.0	—	33.3	—	66.7	—	—

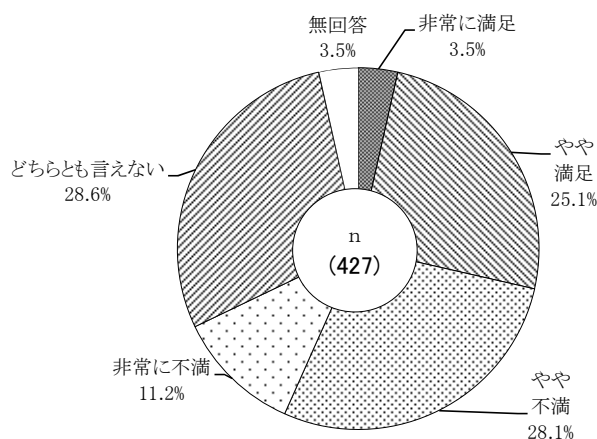
## 15. 市の障害者施策について

### (1) 市の障害者施策についての満足感

問 84 あなた（や保護者・ご家族の方）は、市の障害者施策について、どのように感じていますか。（○は1つ）

全体では、「非常に満足」が3.5%、「やや満足」が25.1%となっています。  
一方、「やや不満」は28.1%、「非常に不満」は11.2%となっています。

#### ●全体



#### ●障害種別

	調査数	非常に満足	やや満足	やや不満	非常に不満	どちらとも言えない	無回答
全 体	427 100.0	15 3.5	107 25.1	120 28.1	48 11.2	122 28.6	15 3.5
身体障害	239 100.0	7 2.9	57 23.8	75 31.4	23 9.6	69 28.9	8 3.3
知的障害	264 100.0	10 3.8	74 28.0	68 25.8	36 13.6	66 25.0	10 3.8
精神障害	12 100.0	— —	4 33.3	3 25.0	— —	3 25.0	2 16.7
難病	143 100.0	5 3.5	30 21.0	41 28.7	19 13.3	44 30.8	4 2.8
無回答	3 100.0	1 33.3	1 33.3	— —	— —	1 33.3	— —

## 16. 自由意見

問 85 障害福祉に関するご意見やご要望、今後利用したい福祉サービスなどありましたら、ご自由にお書きください。（自由記述）

全部で214件の意見がありました。

	分 類	件数	%
1	福祉サービス	49	22.9
2	医療・健康	9	4.2
3	生活環境	10	4.7
4	療育・教育	29	13.6
5	将来について	24	11.2
6	経済事情・経済的支援	14	6.5
7	行政・制度	60	28.0
8	その他	19	8.9

計 214 100

◆意見の概要 ※紙幅の都合により、内容を要約・抜粋している場合があります。

### 1. 福祉サービス

意見	障害の種類	年齢	性別	回答者
母子家庭のため、母親はフルタイム（8時30分～17時15分）で働いています。今はデイサービス、日中一時支援、移動支援、ショートステイを組み合わせ利用し、子の介助と仕事をなんとか両立していますが、残業や出張などは他の人並みにはできず、職場の配慮を受けています。今、子どもは中学生ですが、高等部を卒業後、どんな生活になるか不安です。日中は作業所などで過ごせても、児童のような放課後デイサービスは利用できず、子どもが一人で留守番することもできず、母親は今の仕事を続けられなくなってしまうのではないかと思います。入所施設やグループホームが卒業の時に見つかるかどうかわかりません。成人用にも夕方まで預ってくれるサービスができないでしょうか。	知的障害	14	男性	家族
学校卒業後に通える生活介護してくれる施設等をふやしてほしいです。それと、1日の預かる時間が短いので、働ける時間がいまよりも少なくなり、今後の生活に不安を感じています。卒業後も放課後デイサービスみたいに預かってくれるところなどあったらいいなと思ってます。どうぞよろしくお願いします。	知的障害	16	男性	家族
お泊まり保育みたいな、障害の程度により泊まり会ができたらうれしいです。家の中だけだと、保護者もストレスがたまり犯罪行為にならないように。	知的障害	17	男性	家族

意見	障害の種類	年齢	性別	回答者
差別解消法施行以降、サービス利用の敷居がかなり低くなった印象があります。しかし、従前の状況からサービス利用をあきらめていた方々も多くあります。そういった方々に対し現況どのようなサービス利用が可能なのかをアピールしていくことが重要かと思います。	身体障害 知的障害	4	男性	家族
福祉タクシー等、もっと安く利用できる様にしてほしい。保護者の体調不良等、安心して預けられる病院(ショートステイ)を増やしてほしい。	身体障害	3	女性	家族
送迎サービスを充実させて頂きたい。特別支援学校は遠方にあり、登下校は親の付き添いが必要です。下校時は放課後デイの利用で自宅へ遅い時間になるが帰宅可能。ただし、登校時は親の付き添いが必須となるのが(多くの)現状だと思います。他の兄弟の世話がある中で、学校又はスクールバスのバス停へ付き添うのは簡単ではありません。朝の送迎サービスをお願いしたいと切に願います。学校卒業後に利用する様々な事業所も、毎日のことなので送迎サービスがあることが望まれます。送迎について、利用者負担額が利用しやすい設定だと助かります。	知的障害	13	男性	家族
日常生活用具でおむつを支給していただいていると、ごみ袋の支給もあり助かっていますが、新生児が一番数が多く、年を経る毎に枚数が少なくなるのは何故だろうと思います。おむつの大きさも大人に近づくといくぶん大きくなるし、むしろ枚数を増やすべきなのでは、と思います。また、重度の障害があり医療ケアもたくさんあると、その分ゴミも増えるので、そのへんも考慮していただけるとありがたいです。	身体障害	8	男性	家族
移動支援を以前利用していましたが、支援内容のわくが少ない為、利用する機会が少ない。家族(保護者)が高齢のため、通院の移動支援は今後負担が多いので考えていただければと思います。	知的障害 自立支援医療	16	男性	本人
利用したいサービスが定員がいっぱいで受けられない。必要な時にサービスを受けたいのに、待機になってしまい受けられない。福祉サービスの充実を望みます。よろしく願いいたします。	知的障害	12	男性	家族
バスや電車で定期でなくスイカで一回ずつ支払う場合、障害手帳を見せて半額処理をしてもらわなければならない。予め、手帳の綴を反映したスイカならとても便利なのと思う。子供が一人で通学する時、毎回運転手さんに手帳を見せるのは大変。	身体障害	10	女性	家族
重度の短期入所ができる施設が少ない。介護者が病気や身内の不幸などのとき、何ヶ月も前から予約していなければ短期入所ができない現状を改善してほしい。	身体障害 知的障害	15	女性	家族
ガソリン給油券の金額を増やしてほしい→あつという間に無くなってしまう。税金、公共料金(保護者が払っている)、乗り物の割引(電車等)、障害者手当の収入限度額が低く設定されているので、わずかな差で、もらえる人とももらえない人の(収入の)逆転が起きると思うので公平にしてもらいたい。プライバシーを守る強化対策(町内会の人にも知られる可能性が有る。)受けられる手当などの説明を分かりやすくしてほしい。→もっと皆が受けられる工夫をしてもらいたい。(収入制限とかがネック)障害者用用具・器具が高すぎる。(機種が少ないのも残念)	身体障害 知的障害	9	男性	家族
放課後デイサービスの利用日数が、改定されて減りました。本人も家の中で過ごすよりも、サービス事業所で過ごすことを楽しみにしていたので、納得できません。また、家族の仕事にも影響が出ます。日数が減った分、こどもルームを利用しろとのことですが、こどもルームでは、障害に配慮した対応が不十分だと思います。障害児の居る親は世間からの視線も気にしています。その上、仕事まで制限をかけられるのでしょうか？家の中では常に介護や介助ばかりで、社会に出て、1人で自分の仕事をがんばる充実感を味わうこともできずに、子供を預けられないと働けません。普通の子は成長すればお留守番できますが、障害児は成長しても無理です。これでは改悪です。何のための改定でしょうか？誰のためですか？	知的障害	11	男性	家族



## 2. 医療・健康

意見	障害の種類	年齢	性別	回答者
医療的ケアが必要な児童・生徒の放課後デイサービスの充実を図って欲しいです。	身体障害 知的障害	12	女性	不明
スクールメディカルサポートについて、遠足や校外学習先でも看護師を派遣し医療ケア児のサポートをお願いしたい。医療ケア児（導尿）が幼稚園、保育園、小学校で医療ケアをサポートしてもらえるサービスを導入してほしい。（週5日＋土曜日）	身体障害	6	女性	家族
健常の人とは違い、通院が多く必要となります。自動車の燃料券のようなバラムキではなく、障害者用の受給券にし、医療費の負担を軽減してほしい。救急など自閉には負担のかかることなので、医療機関にも勉強して、対策を考えてほしい。	知的障害	7	男性	家族
医療的ケアのある障害児者は災害時、非常時においては最弱者なので、災害時のシミュレーション等をしてもらいたいです。避難所は近所にあっても到底行くことも、そこで過ごすこともできません。子供も体格は小さい方ですが、高2で27.8kgになってきて、1人でお風呂に入れることも多く、なかなか大変になってきたので、入浴のサービスの相談をしたいと思っています。頼りにしている短期入所先が流行性の病気で一時的に閉鎖になったりすると、他にアテがないのでとてもへこみます。短期入所のベッドをもっと増やしてもらいたいです。ヘルパー事業所に痰の吸引をお願いしていましたが、はっきりは言われませんでした。が事業所さんの事情で打ち切られてしまいました。理解のある事業所さんが増えるように、市からも呼び掛けてもらいたいです。	身体障害	17	男性	不明
同行援護を、通勤・通学にも認めて欲しい。特別支援学校で、吸引が必要な子は、母親がずっと学校にいて吸引しなくてはいけないそうですが、なんとかありませんか？訪問看護を学校へも可にするなど…。小学生以上の発達支援がほしいです。	身体障害	6	男性	家族
医療ケアがある障害者（児）の施設でデイサービスを増やしてほしい。	身体障害	6	男性	家族

## 3. 生活環境

意見	障害の種類	年齢	性別	回答者
公園の遊具利用時、順番待ちになったりすると、きちんと列になっていないと利用が難しいので、次に使いたい人はここに並ぶといった決まりと標示がほしいです。例えばブランコなど。すべり台は逆走防止など。ラインや足丸があるだけで理解が容易になります。	知的障害	7	男性	家族
スーパーやお店で車イス駐車場に健常者が平気で停めていることが多く困る。トイレも小さい子のオムツ替えに時間がかかって、なかなか出てこなく、車イスで使う人は他のトイレは使えないので待つしかなく困る。	身体障害	13	女性	本人
車イス用トイレ表示のあるトイレは手すりの付いた、自分でトイレへ移動出来る人のものがほとんどで、身長150～160cm位の人がオムツを替える為に横になるベッドが設置されている公共施設があまりにも少ないと思う（今は折りたたみの簡易ベッドがあるので、ぜひ設置してほしい）。車イス利用者イコール自分で車イスを漕いで移動出来る人との固定概念からのトイレで、横にならないとトイレが出来ない人もいる事をもっと知ってもらいたい。	身体障害	14	男性	家族
駅に障害者用ベンチがほしい（雨にぬれない場所）。電車に乗っている時、事故や遅れる時は字幕で知らせるシステムがほしい（ホームにもほしい）。	身体障害	12	男性	家族

#### 4. 療育・教育

意見	障害の種類	年齢	性別	回答者
・学校と保護者の間に入ってくれる相談機関が欲しい。・療育を受けられる公的施設を増やして欲しい。・学校の補助の先生の数を増やして欲しい。	知的障害	9	男性	家族
中学卒業後の進路の選択の幅をもっと広げて欲しい。高等特別支援学校をもっと増やして欲しい。入学希望者を学力のみでふるいにかけないで欲しい。いろいろな方面(福祉・農業等)の専門学校を設立もしくは門戸を開いて欲しい。	知的障害	12	男性	家族
現在、療育センターを利用しています。今後の就学を考えた際、養護学校に通うことになると思うが、選択する数もないし近くにもないため、送迎等を考えると不安。送迎バス等の充実を切に希望。もっと障がい児が利用選択できる学校や施設を増やしてほしい。	身体障害	2	女性	家族
受けたい療育が空きがなく、受けられません。指導員を増やしてほしい。言語指導員が少なすぎる。	知的障害	2	女性	不明
軽度の知的障害や自閉症スペクトラム障害の幼少期の診断から療育まで全ての段階において、場・人員ともに圧倒的に不足しています。人員配置や医療機関の発達障害外来設置の推進など改善を希望します。	知的障害	7	男性	家族
支援学級に通っています(小5女子)。入学時にでも、説明会等で支援学級についての説明(こんなふうに指導している、どういう子ども達がいるなど)を入学する子どもと親に知識として話をしてほしいです。子ども(1年生など、小さい子)の無邪気な質問に娘が答えに困ることが多々あります。「どうして(支援)学級にいるの?」など。ちなみに今まで入学説明会で、支援学級に関する説明を受けたことはありません。知っているのと知らないのでは、やはり違うと思います。	知的障害	11	女性	家族
子どもの進学に関する情報は共有していいと思います。サマリーみたいなもので療育センター→小学校→中学校…へと、提供してほしいです。学校だけでなく、本人をとりまく環境が情報を共有して(病院とか、施設とか)くれたらなー。タクシーがロンドンタクシーみたいにかんたんに車いすでも乗り降りできるといいのと思います。福祉タクシーじゃなく、ふつうのタクシーで誰でも同じ料金で使える…。	身体障害 知的障害	11	女性	家族
子どもは小4です。中学生になったら放課後等デイサービスを使いたいと思っていますが、新規にできてもすぐいっぱい、大きくなってからは入りづらい状況です。軽度の子は特に入りづらいです。ダウン症で軽度の知的障害ですが、福祉は重度の方や身体障害に重点をおいているように思えます。軽度の障害、自閉症のように一見障害があると見えない人に対する福祉も必要です。学校教育において、もっとインクルーシブを進めてほしい。障害に対する理解を深めることで、社会がよくなると思う。	知的障害	9	女性	不明

#### 5. 将来について

意見	障害の種類	年齢	性別	回答者
保護者が亡くなった後の人生をどう過ごしていくのかの見通しが、保護者が亡くなる前についてほしい。	知的障害	16	女性	家族
まだ本人が小学生という事もあり、将来の事などまだ正直何も考えていなかったのも、障害福祉に関して初めて聞くものばかりでした。親が居なくなった時、本人がどうやって生活をしていくのか、私が元気なうちに考えておく必要があると改めて感じました。(母記入)	知的障害	12	女性	家族
学校卒業後の通所施設の職員を増やして、利用者が希望の所へ通所できる様にしてほしいです。	身体障害 知的障害	16	男性	不明
高校を卒業した後の受け入れ先があるのか心配です。情報提供の場や相談の場を作してほしいです。よろしくお願いします。	知的障害	14	男性	家族
障害を持つ子供の親として不安なことは、「親が亡くなったら、子供は大丈夫なのか」ということを常に不安に思っています。目先のサービスよりも長期的に本人及び家族がサポートを受けれたらと思います。	身体障害	8	男性	家族

## 6. 経済事情・経済的支援

意見	障害の種類	年齢	性別	回答者
わが子だけに関してですが、重複障害を持っているのですが、それぞれの障害はかるいのです。だが、病院に行く回数も多く、単一障害の重い子には特別手当はあるのに、小さい障害が重なっている子には手当がなく、経済的に不安です。かるい障害が3つ以上でも重なると手当ができるとうれしいです。	身体障害 知的障害	13	男性	家族
人工内耳への補助を経済的にしてほしい。補聴器は補助して人工内耳になると全て自己負担は苦しい。60～100万(片耳)するし、保険も高い。電池代も毎日かかる。今は親が働いて支払うことができるが、私が死んだら障害のあるこの子が支払うことができずに、音を失ってしまうと不安だらけ。お願いします。支援が始まりますように！！	身体障害	11	女性	家族
リハビリや手術などでの施設入所を含め、入所時の特別児童扶養手当などが中止になることに疑問を感じます。入所中に面会に行きますし、外泊もします。外泊時のオムツ等は自己負担ですし、施設への支払いもあります。経済的に負担なので、リハビリ目的の入所をあきらめる方も現実にあります。現在、家庭の事情で施設入所していますが、とても大変になりました。	身体障害	12	女性	不明
障害福祉サービスの利用者負担金の上限をもう少し段階をつけてほしい。親の収入が上がるとほぼ全ての上限が急に上がり、福祉手当もなくなり、急に負担が増えるのは大変困る。(収入↑といっても単身赴任手当によるもので、家庭では逆に支出が増えてしまう状況下で、障害関係の利用料や医療費など一度に負担となると、日常生活を切り詰めてはならない)	身体障害	12	男性	家族

## 7. 行政・制度

意見	障害の種類	年齢	性別	回答者
障害者が社会生活を円滑に送ることができるよう、学校や職場への働きかけが必要である。具体的には、施設面の整備(バリアフリー)を含めた受け入れ体制を整えられるよう、調整役となっていたきたい。病気や障害があっても自立した生活ができること、成人後は納税者となれることが目標である。保護者が仕事に復帰できないでいるケースも多いのではないだろうか。障害の程度に応じ、本人や家族が自立に近づけるよう、町や施設の整備、介助要員の確保に努めていただきたい。	身体障害	14	女性	本人
もっと区役所の窓口担当の方のレベルUPをしてほしい。区役所内での情報共有ができていない。どの家庭に障害者がいるのか区役所ではわかっているのだから、災害時の対応の仕方や色々な情報を発信してほしい(区役所側から)。こちらから問い合わせしないと情報がない。障害を持っている人も嫌な思いすることなく、健常者と同じ生活ができる市にしてほしい。	身体障害 知的障害	12	男性	家族
新しい情報を知る機会がない。困ったと思った時に、その事を役所に相談してから知るのではなく、障害福祉の最新情報がその都度知る事の出来る広報誌などがあるとわかりやすい。(知らずに利用出来ないサービス等が無い様に)	知的障害	8	男性	家族
手続きがバラバラでめんどろ、手間がかかる。こちらから聞かないとわからないサービスだらけでは、意味がない。	身体障害 知的障害	7	男性	家族
障害があるとわかって療育手帳を交付された時に、どんなサービスが受けられるのか分からなかった。最近まで税金が控除されることも知らず、5年分遡って手続きをしました。受けられえるサービスを案内して頂けるとうれしいです。	知的障害	16	女性	不明
障害児に対してのスポーツ教室を開催してほしい。学校などでサッカー教室などあるが、もっと他のスポーツがあればよいと思います。	知的障害	13	男性	家族
千葉市では今後、重度肢体不自由の方が入所したり、デイで通ったりする施設を造る予定は無いとききました。様々な利用者負担が増えてもよいので、大きな受け入れ施設をつくってくれるとありがたい。予算不足であるのなら、利用者の負担額が増えるのは納得できるので、目先の金銭負担の軽減よりも、将来が明るく展望できる事を望む。	身体障害	11	男性	家族

意見	障害の種類	年齢	性別	回答者
<p>肢体不自由児が入浴サービスを受けられる入浴専門の福祉サービス事業所を作れないでしょうか。自宅の風呂ではせまい上シャワーベッドもおけず、また居宅介護の方がみえても、親が結局いれることが多いのが現状です。中学生になると体格が親より大きくなったりして、苦勞しております。生活介護で入浴サービスを実施している事業所に、就学児も利用できるサービスが出来れば簡単だと思うのですが…。</p>	<p>身体障害 知的障害</p>	14	男性	家族

## 8. その他

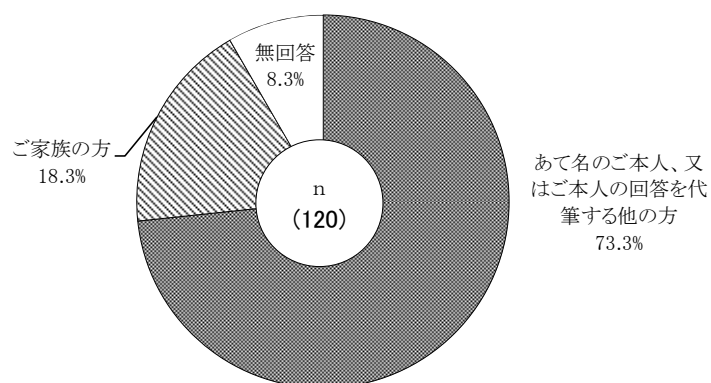
意見	障害の種類	年齢	性別	回答者
<p>“QOL”という言葉介護・介助するようになって初めて耳にし、意味を知りました。「障害をもっている人だから…」と、これを目指さなければ！という風な話をしてくる方もいらっしゃいます。「予後が不安だから」とか「先がないから」というような見方で接する事業者や従事者の方もまだ多く見うけます。「全ての人の人と同じように…」は、まだ遠い道なのだと思いますが、理解を深めたり、その人に思いをはせるなど、「興味をもつ」「知ろう」とする気持ちが失われることのないように願いたいと日々思う次第です。</p>	<p>身体障害 知的障害</p>	3	女性	家族
<p>胸を張って生きて欲しいと思います。一瞬一瞬に喜びを感じながら、人の負い目を感じることなく生活してもらえればと。なので、まわりの理解は不可欠です。</p>	<p>知的障害</p>	6	男性	家族

#### **IV 発達障害のある方を対象とした調査**



問 この調査票でご回答いただくのはどなたですか。(〇は1つ)

「あて名のご本人、又はご本人の回答を代筆する他の方」が73.3%、「ご家族の方」が18.3%となっています。

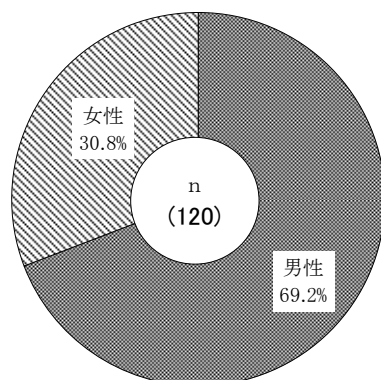


## 1. 本人について

### (1) 性別

問1 あなたの性別をおたずねします。(〇は1つ)

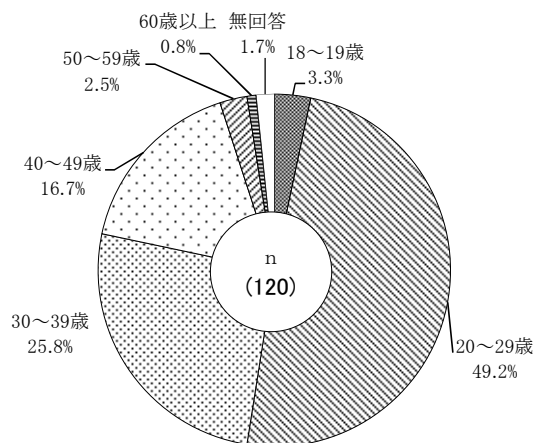
「男性」が69.2%、「女性」が30.8%となっています。



## (2) 年齢

問2 あなたの年齢について、平成29年1月1日現在の年齢をご記入ください。

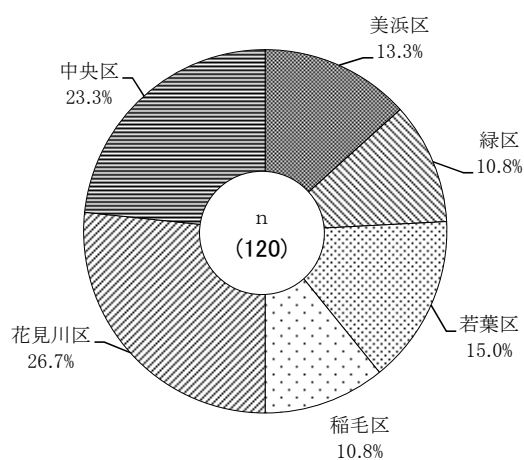
「20～29歳」が49.2%で最も多く、以下「30～39歳」が25.8%、「40～49歳」が16.7%となっています。



## (3) 居住区

問3 あなたのお住まいの区をおたずねします。(〇は1つ)

「花見川区」が26.7%で最も多く、以下「中央区」が23.3%、「若葉区」が15.0%となっています。

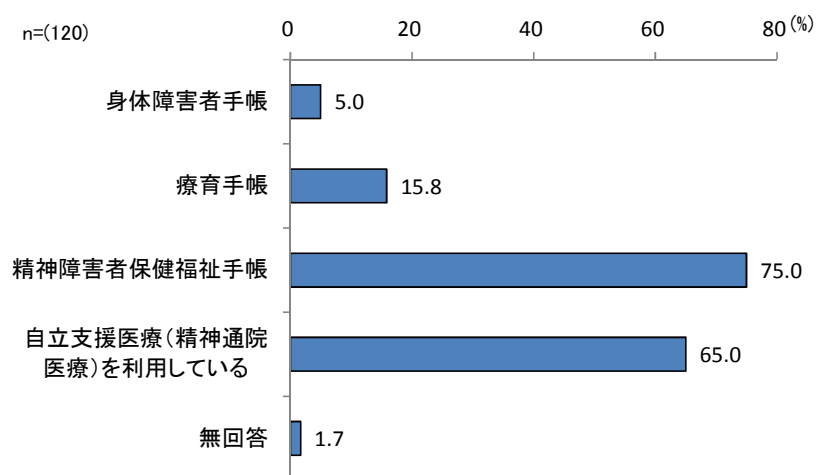




#### (4) 障害の種別

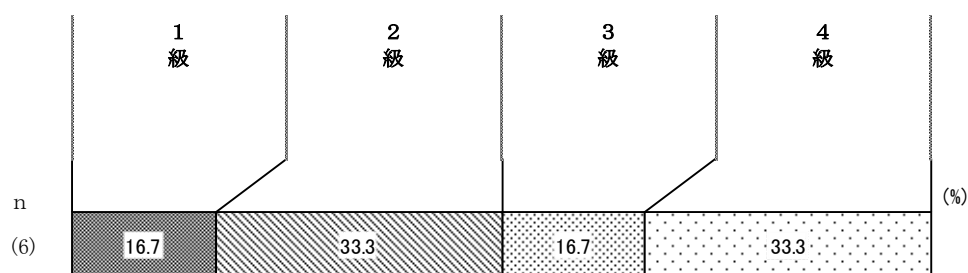
問4 あなたがお持ちの手帳の種類と等級、自立支援医療（精神通院医療）の利用をおたずねします。（○はいくつでも。手帳をお持ちの方は、カッコ内の等級（程度）にも○印をつけてください。）

「精神障害者保健福祉手帳」が 75.0%で最も多く、次いで「自立支援医療(精神通院医療)を利用している」が65.0%となっています。



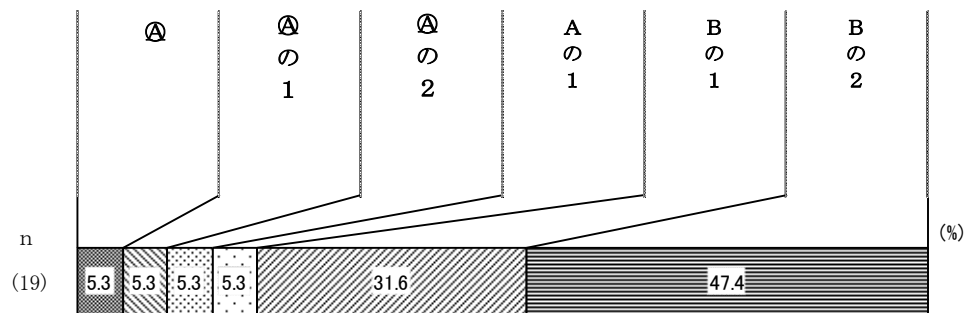
##### ①身体障害者手帳の等級

身体障害者手帳の等級では、「2級」、「4級」が33.3%となっています。



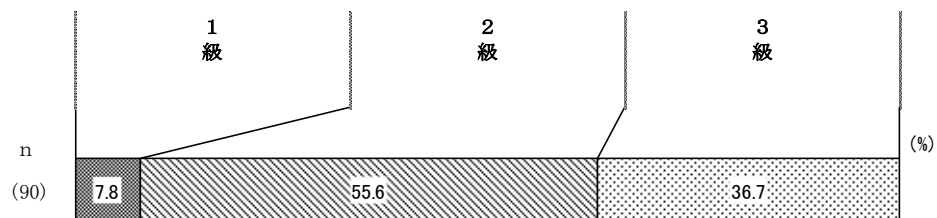
## ②療育手帳の程度

療育手帳の程度では、「Bの2」が47.4%で最も多く、次いで「Bの1」が31.6%となっています。



## ③精神障害者保健福祉手帳の等級

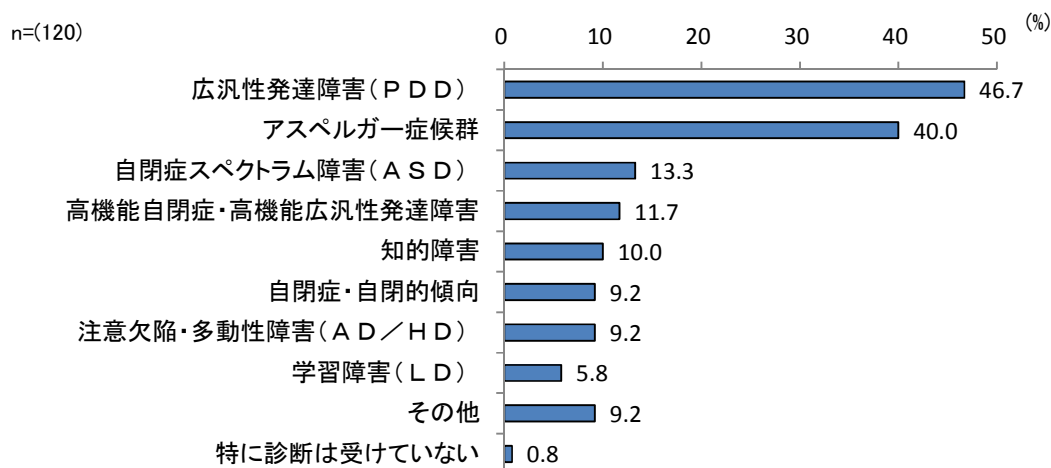
精神障害者保健福祉手帳の等級では、「2級」が55.6%で最も多く、次いで「3級」が36.7%となっています。



## (5) 発達障害の種類

問5 あなたが受けている最新の診断名をお聞きます。(〇はいくつでも)

「広汎性発達障害(PDD)」が46.7%で最も多く、次いで「アスペルガー症候群」が40.0%となっています。



## (6) 難病の種類

問6 難病に罹患している方におたずねします。あなたの難病の種類は何ですか。

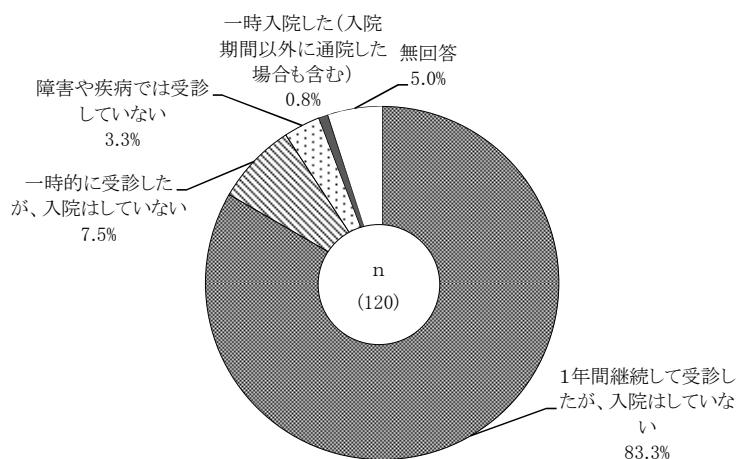
「国の指定する特定疾患」の方が1名です。(クローン病)

## 2. 医療機関への受診状況について

### (1) 医療機関の受診状況

問7 あなたは最近1年間に、障害や疾病が原因で医療機関を受診しましたか。(〇は1つ)

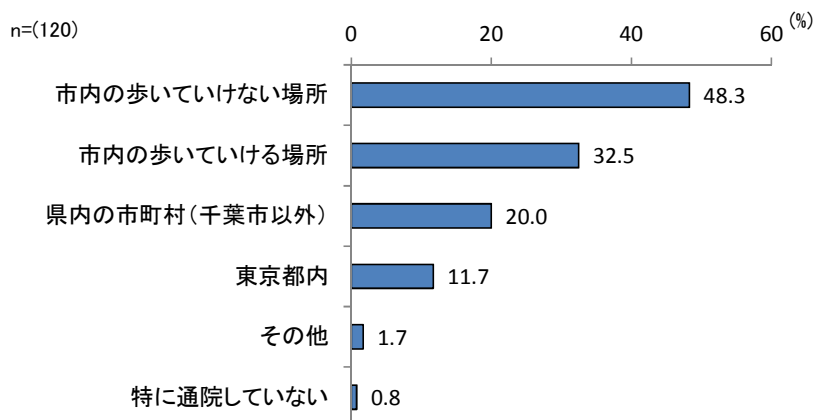
「1年間継続して受診したが、入院はしていない」が83.3%で最も多くなっています。



### (2) 通院先の所在地

問8 あなたの「医療」についておたずねします。あなたはどこの病院に通院していますか。(〇はいくつでも)

「市内の歩いていけない場所」が48.3%で最も多く、次いで「市内の歩いていける場所」が32.5%となっています。

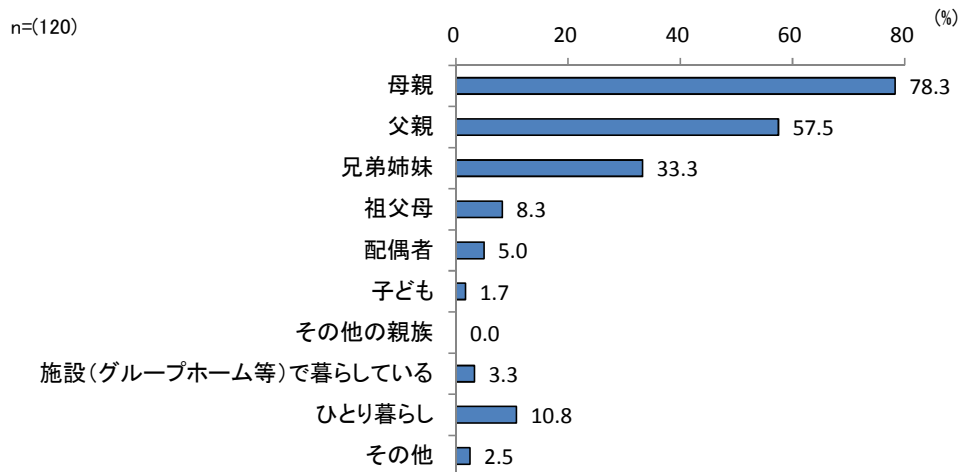


### 3. 家族や介助者について

#### (1) 同居者

問9 あなたは、どなたと一緒に暮らしていますか。(〇はいくつでも)

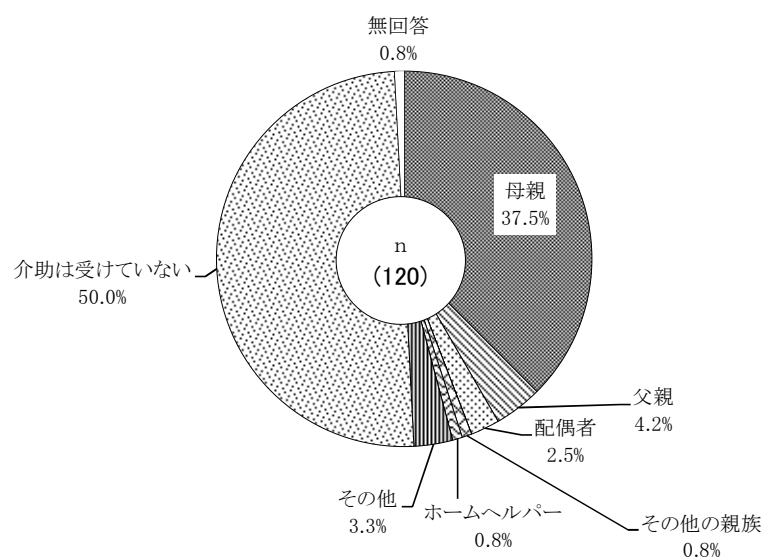
「母親」が78.3%で最も多く、以下「父親」が57.5%、「兄弟姉妹」が33.3%となっています。



#### (2) 主な介助者

問10 あなたへの介助について、主な介助者はどなたですか。(〇は1つ)

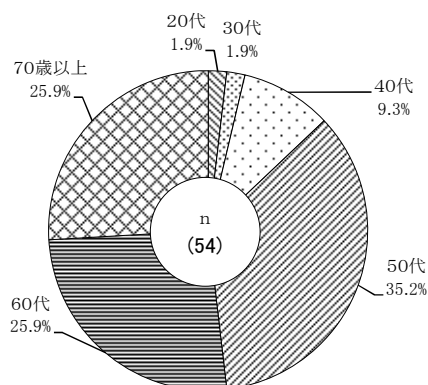
主な介助者では「母親」が37.5%で最も多くなっています。



### (3) 主な介助者の年齢

問 11 【問 10 で主な介助者が家族・親族（１～７番）に○をつけた方におたずねします。】  
主な介助者の年齢をお答えください。（○は１つ）

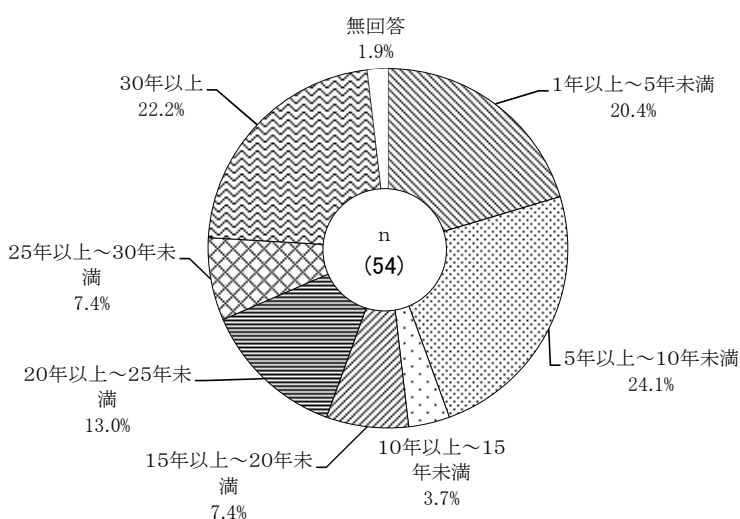
「50代」が35.2%で最も多く、以下「60代」、「70歳以上」が25.9%となっています。



### (4) 主な介助者の介助継続年数

問 12 【問 10 で主な介助者が家族・親族（１～７番）に○をつけた方におたずねします。】  
主な介助者の介助継続年数をお答えください。（○は１つ）

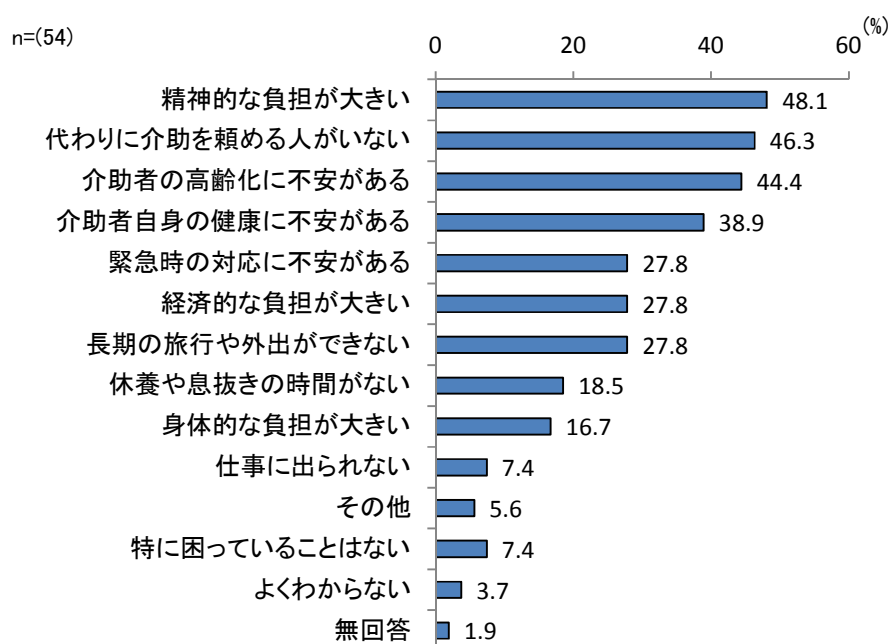
「5年以上～10年未満」が24.1%で最も多く、以下「30年以上」が22.2%、「1年以上～5年未満」が20.4%となっています。



#### (5) 主な介護者が困っていること

問 13 【問 10 で主な介護者が家族・親族（１～７番）に○をつけた方におたずねします。】  
主な介護者が困っていることは何ですか。（○はいくつでも）

「精神的な負担が大きい」が 48.1%、「代わりに介護を頼める人がいない」が 46.3%、「介護者の高齢化に不安がある」が 44.4%と、いずれも 4 割を超えています。また、「介護者自身の健康に不安がある」も 38.9%と多くなっています。

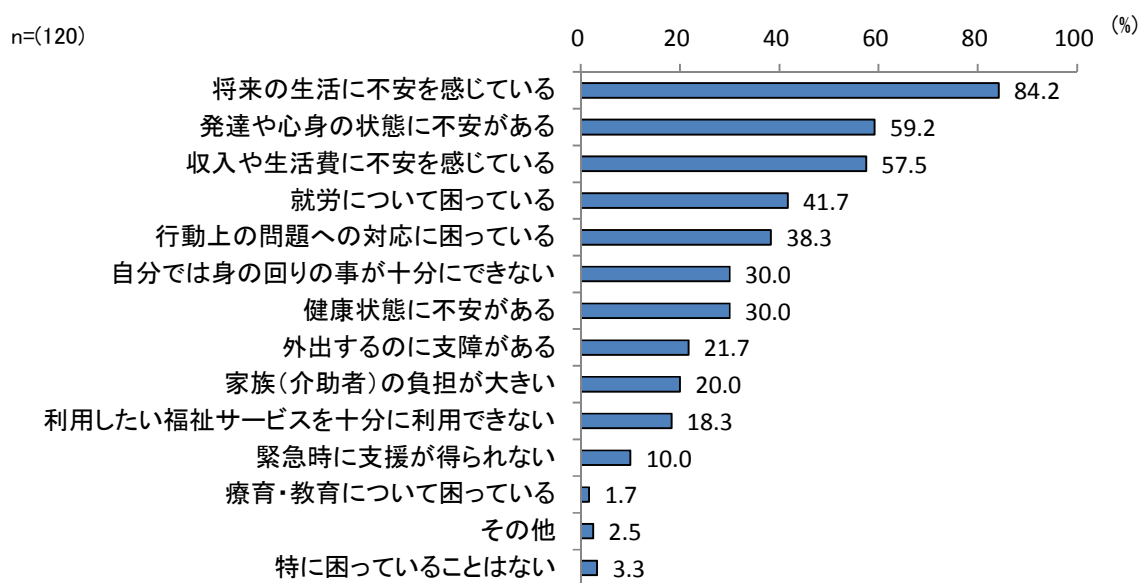


## 4. 相談や情報入手について

### (1) 日常生活で困っていること

問 14 あなた（やご家族の方）は、日常生活で困っていることはありますか。（〇はいくつでも）

「将来の生活に不安を感じている」が 84.2%で最も多く、以下「発達や心身の状態に不安がある」が 59.2%、「収入や生活費に不安を感じている」が 57.5%、「就労について困っている」が 41.7%となっています。

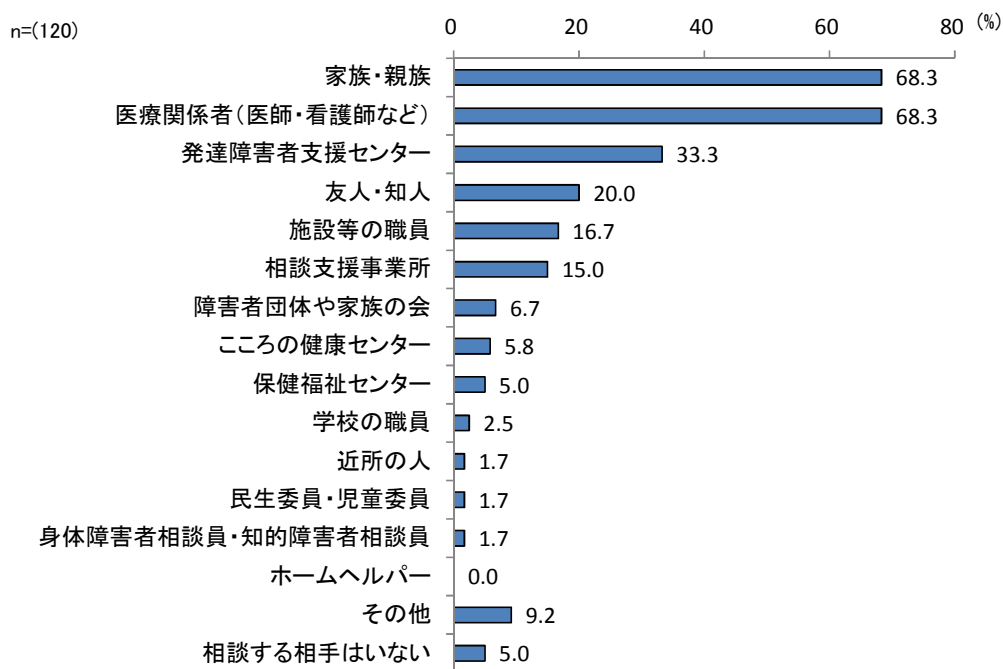




## (2) 困った時の相談先

問 15 あなた（やご家族の方）が困った時に相談する相手は誰（どこ）ですか。（〇はいくつでも）

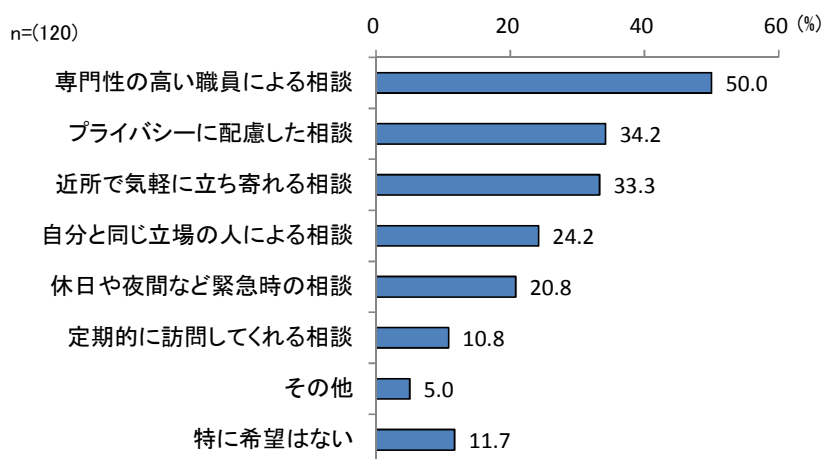
「家族・親族」、「医療関係者(医師・看護師など)」が68.3%で最も多く、次いで「発達障害者支援センター」が33.3%となっています。



### (3) 希望する相談制度

問 16 あなた（やご家族の方）は、どのような相談制度があれば、より便利だと思いますか。  
（○はいくつでも）

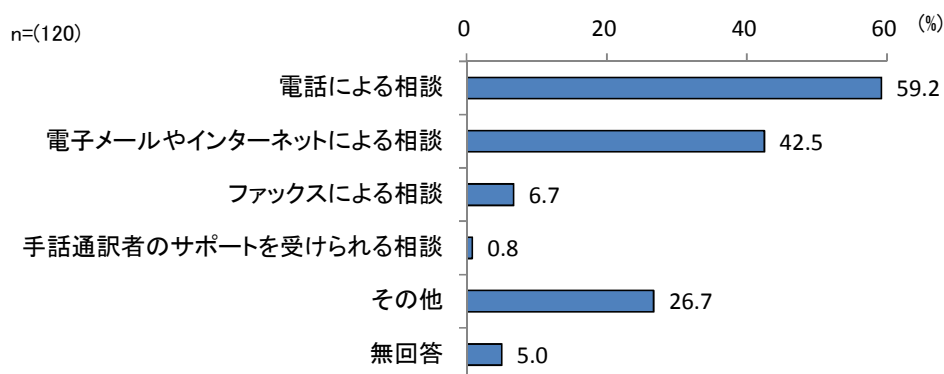
「専門性の高い職員による相談」が 50.0%で最も多く、以下「プライバシーに配慮した相談」が 34.2%、「近所で気軽に立ち寄れる相談」が 33.3%となっています。



### (4) 相談しやすい方法

問 17 あなた（やご家族の方）は、どのような相談方法が相談しやすいですか。  
（○はいくつでも）

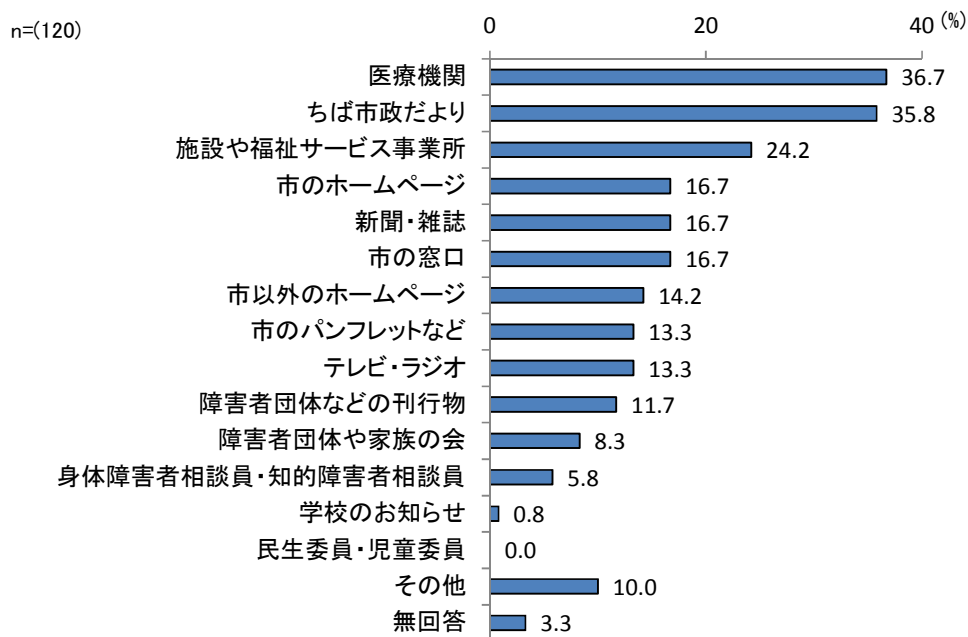
「電話による相談」が 59.2%で最も多く、次いで「電子メールやインターネットによる相談」が 42.5%となっています。



### (5) 福祉情報の入手先

問 18 あなた（やご家族の方）は、福祉に関する情報を、どこから知ることが多いですか。（〇はいくつでも）

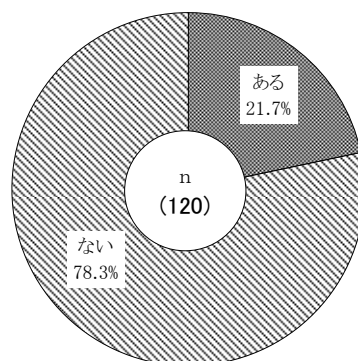
「医療機関」が36.7%、「ちば市政だより」が35.8%と、いずれも3割を超えています。また、「施設や福祉サービス事業所」も24.2%と多くなっています。



### (6) 商品購入やサービス利用におけるトラブルの経験

問 19 あなたは、商品の購入やサービスの利用にあたって、トラブルになったことがありますか。（〇は1つ）

「ある」が21.7%、「ない」が78.3%となっています。

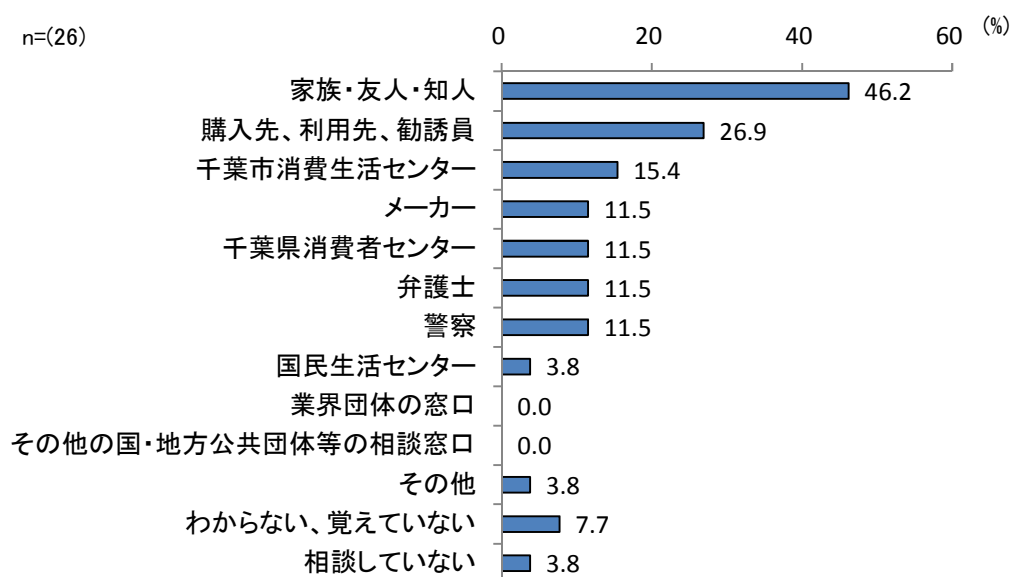


(7) 商品購入やサービス利用におけるトラブルの相談先

問 20 【問 19 で「1. ある」に○をつけた方におたずねします。】

あなたは、どこに（誰に）相談しましたか。（○はいくつでも）

「家族・友人・知人」が 46.2%で最も多く、以下「購入先、利用先、勧誘員」が 26.9%、「千葉市消費生活センター」が 15.4%となっています。

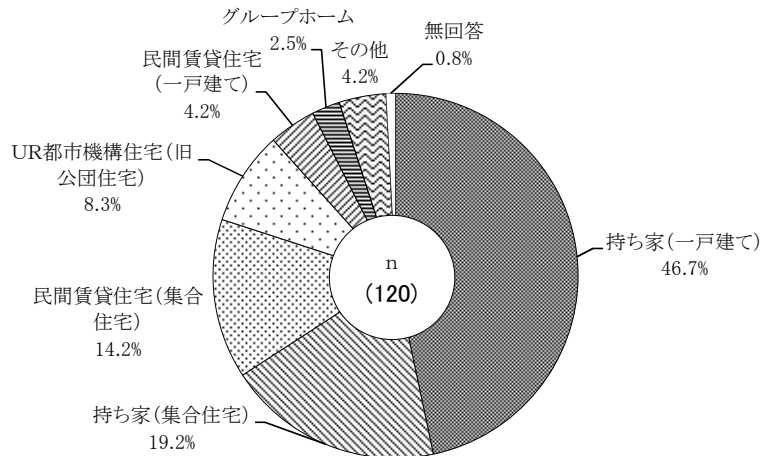


## 5. 暮らしについて

### (1) 住まいの種類

問 21 あなたのお住まいの種類をお聞きます。(○は1つ)

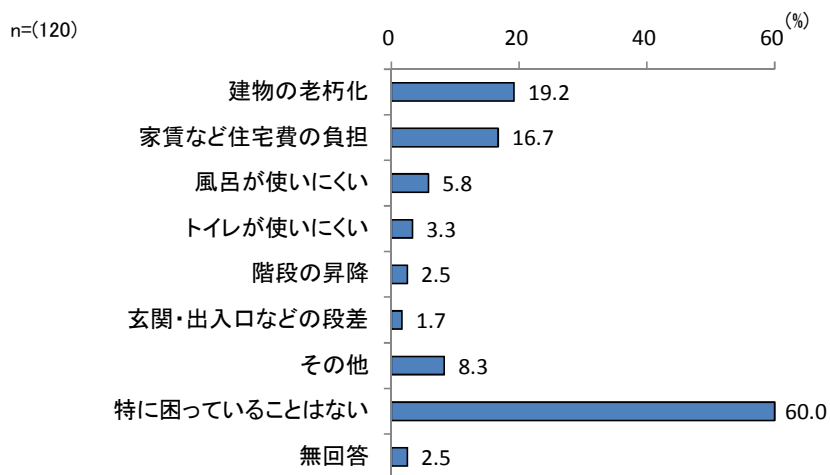
「持ち家(一戸建て)」が46.7%で最も多く、次いで「持ち家(集合住宅)」が19.2% となっています。



### (2) 住まいについて困っていること

問 22 あなたは、住まいについて困っていることがありますか。(○はいくつでも)

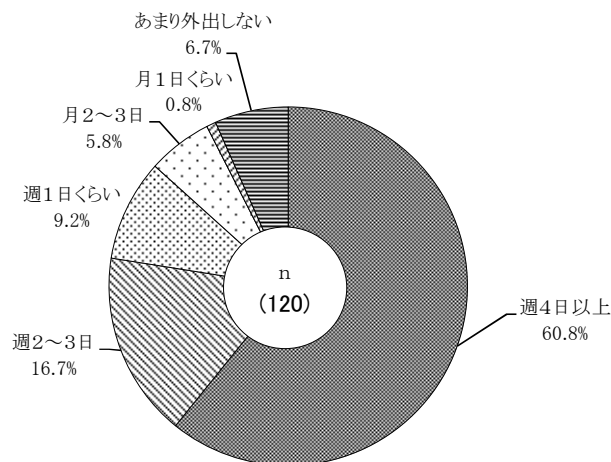
住まいについて困っていることについては「建物の老朽化」が19.2%で最も多く、次いで「家賃など住居費の負担」が16.7% となっています。



### (3) 外出の頻度

問 23 あなたは、どのくらいの頻度で外出していますか。(○は1つ)

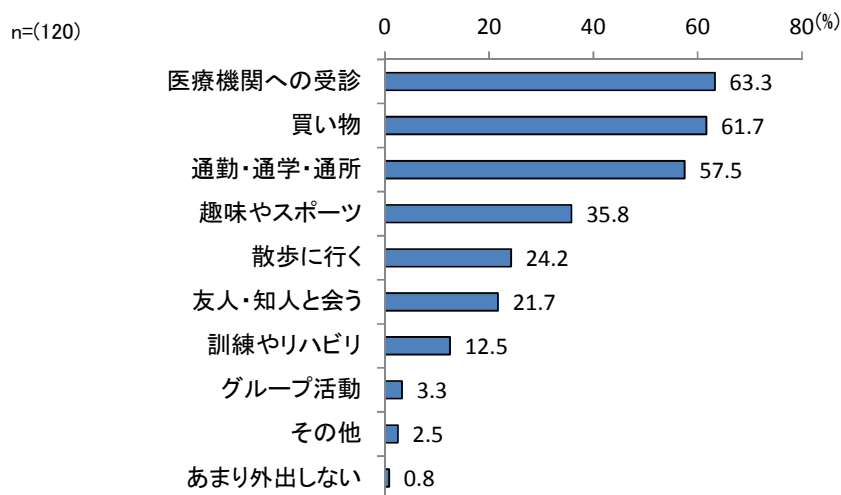
「週4日以上」が60.8%で最も多く、次いで「週2～3日」が16.7%となっています。



### (4) 外出の目的

問 24 あなたは、どのような目的で外出することが多いですか。(○はいくつでも)

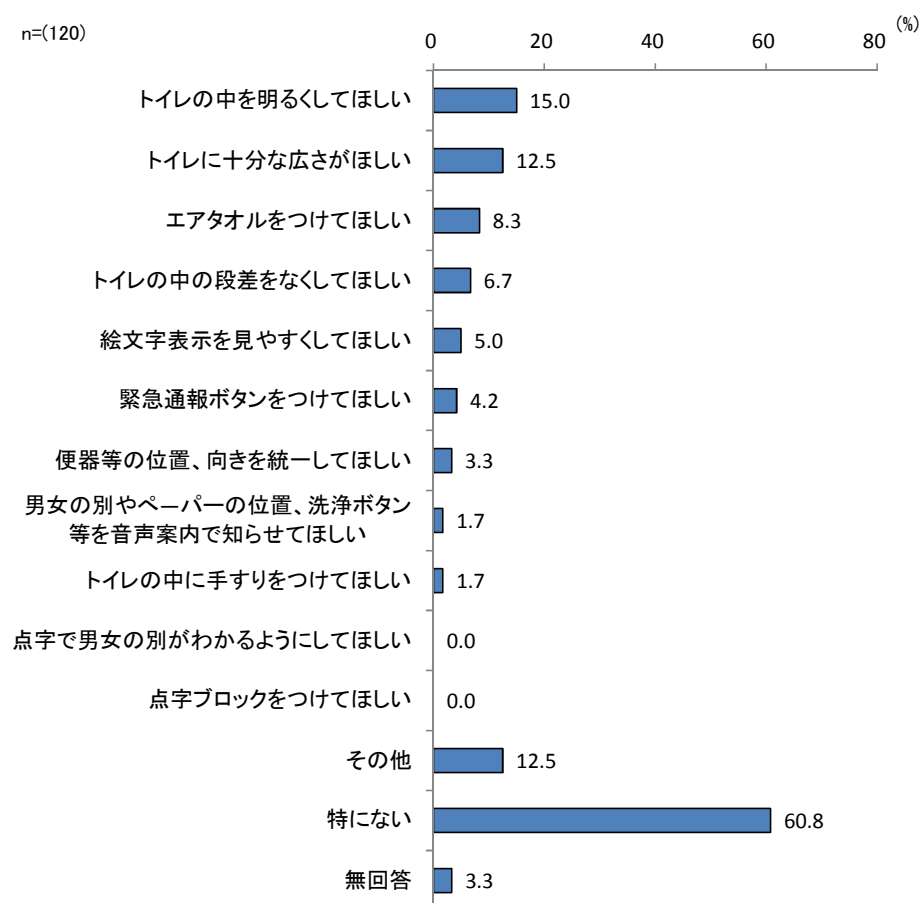
「医療機関への受診」が63.3%、「買い物」が61.7%、「通勤・通学・通所」が57.5%と、いずれも6割前後を占めています。



## (5) 外出先のトイレに望むこと

問 25 外出先のトイレに望むことは何ですか。(〇はいくつでも)

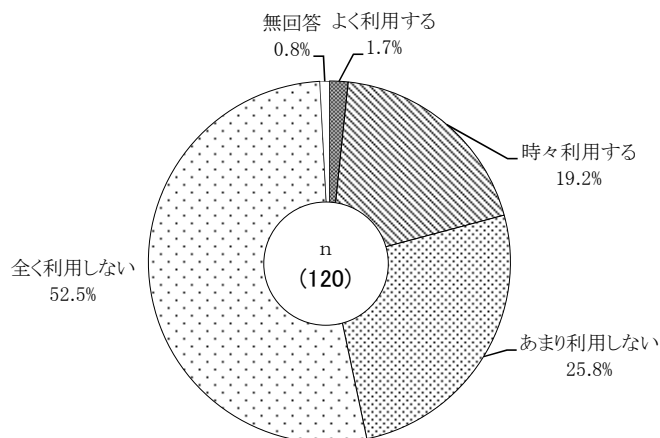
外出先のトイレに望むことについては、「トイレの中を明るくしてほしい」が 15.0%、「トイレに十分な広さがほしい」が 12.5%となっています。



## (6) 公園の利用状況

問 26 あなたは日頃、近くの公園を利用していますか。(○は1つ)

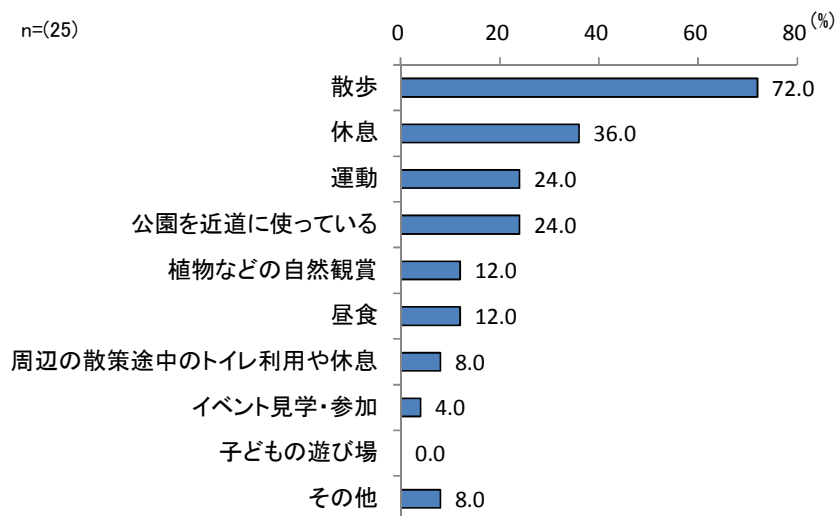
「よく利用する」が 1.7%、「時々利用する」が 19.2%となっています。



## (7) 公園の利用目的

問 27 問 26 で「1. よく利用する」または「2. 時々利用する」に○をつけた方におたずねします】あなたが公園を利用する目的は何ですか。(○はいくつでも)

「散歩」が 72.0%で最も多く、以下「休息」が 36.0%、「運動」、「公園を近道に使っている」が 24.0%となっています。

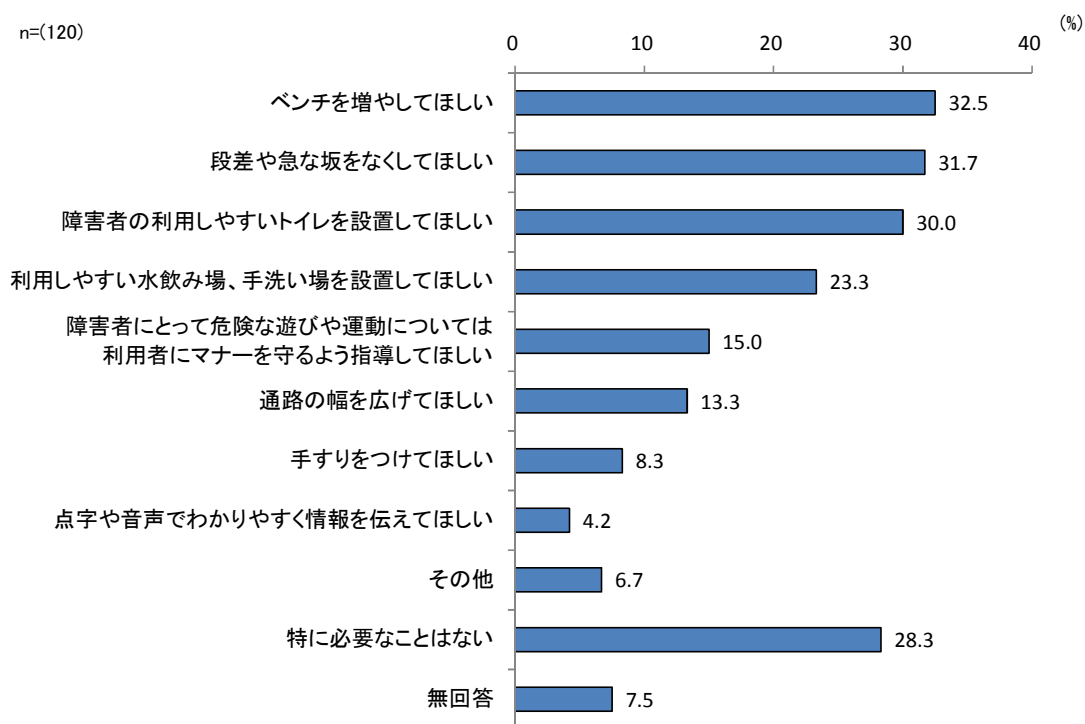




## (8) 障害者の公園利用のために必要なこと

問 28 あなたは、障害者が安心して公園を利用できるようにするために、何が必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

「ベンチを増やしてほしい」が32.5%、「段差や急な坂をなくしてほしい」が31.7%、「障害者の利用しやすいトイレを設置してほしい」が30.0%と、いずれも3割を超えています。

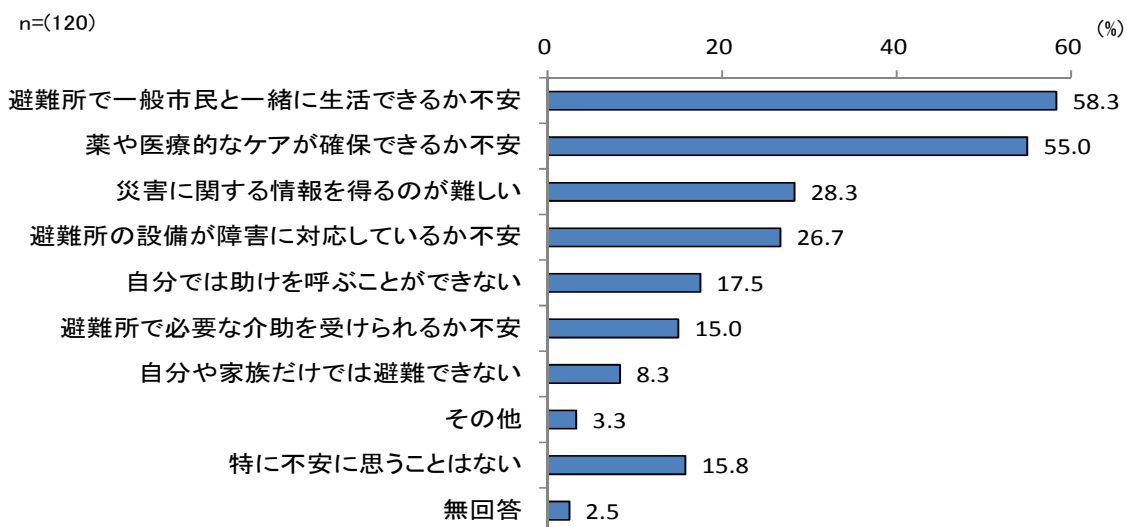


## 6. 災害対策について

### (1) 災害時に不安に思うこと

問 29 あなたは、地震などの災害が起きた時について、どのようなことを不安に思いますか。  
(○はいくつでも)

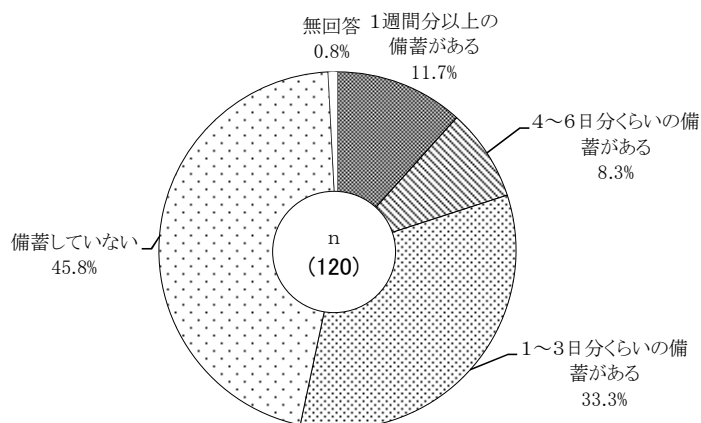
「避難所で一般市民と一緒に生活できるか不安」が58.3%、「薬や医療的なケアが確保できるか不安」が55.0%で、いずれも5割を超えています。



### (2) 災害発生に備えた備蓄状況

問 30 あなたは、災害発生に備えて、避難生活に必要な物資（薬や装具等）を、備蓄していますか。(○は1つ)

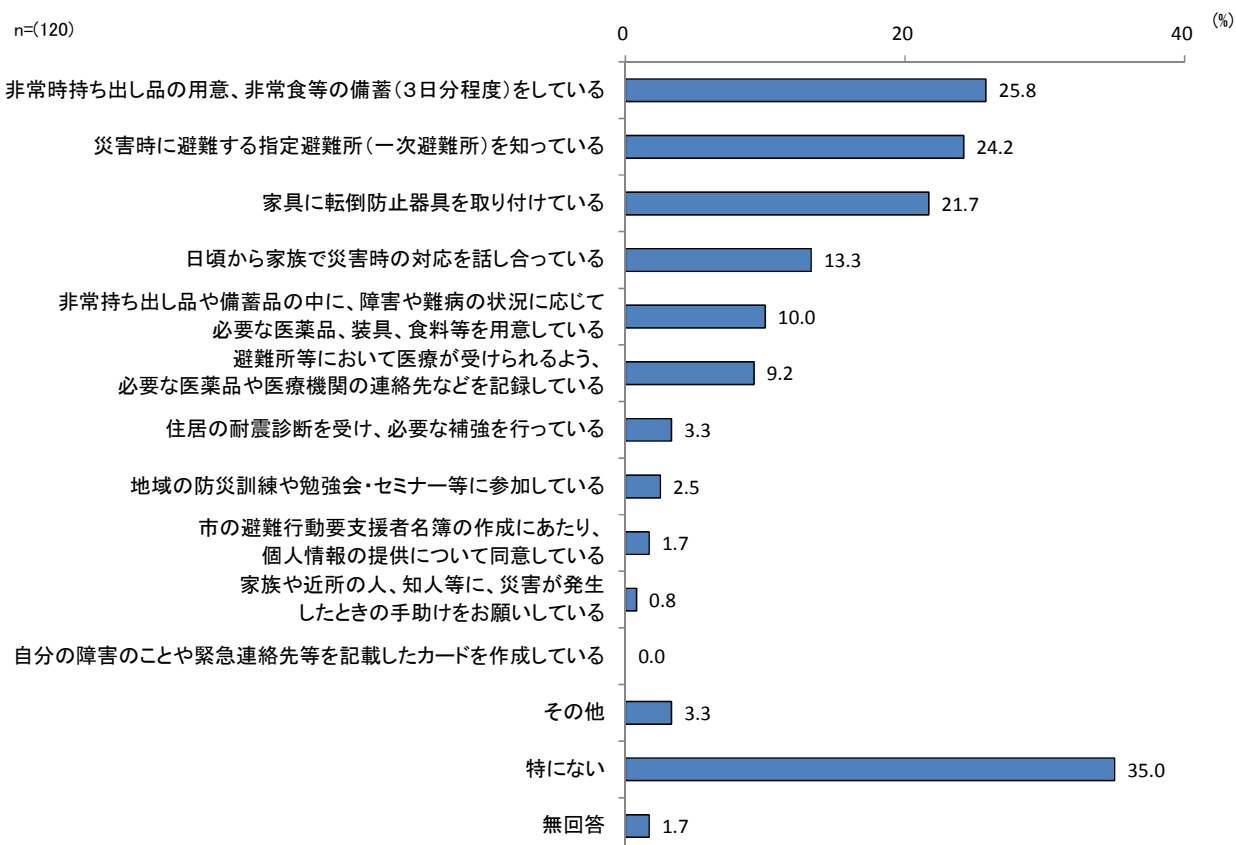
「1～3日分くらいの備蓄がある」が33.3%で最も多く、次いで「1週間分以上の備蓄がある」が11.7%となっています。一方、「備蓄していない」は45.8%となっています。



### (3) 災害に対する備え

問 31 あなたは、災害に対してどのような備えをしていますか。(〇はいくつでも)

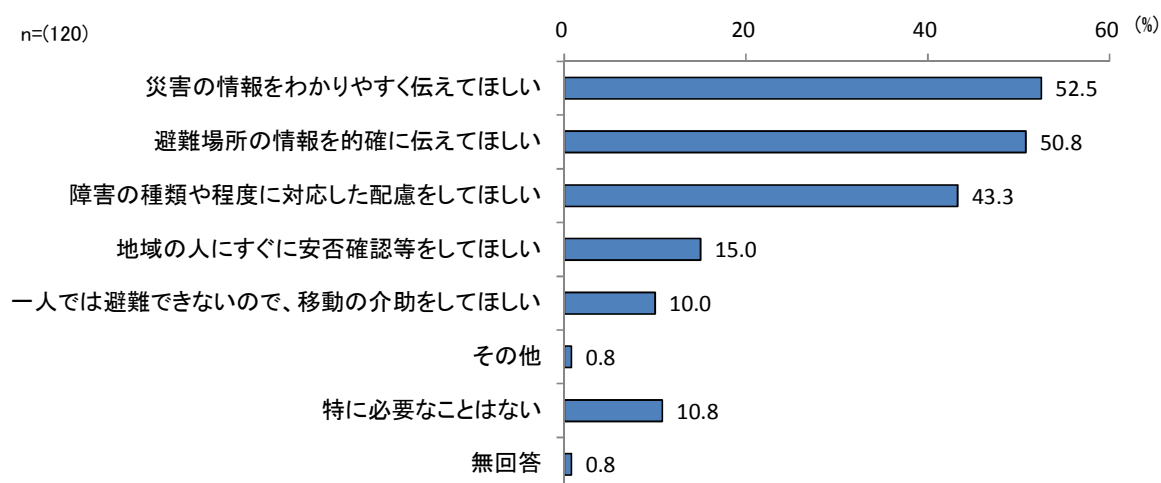
「非常時持ち出し品の用意、非常食等の備蓄(3日分程度)」をしている」が25.8% 「災害時に避難する指定避難所(一次避難所)を知っている」が24.2%、「家具に転倒防止器具を取り付けている」が21.7%と、いずれも2割を超えています。



#### (4) 災害で避難する場合に必要な支援

問 32 あなたは、災害で避難する場合に、どのような支援をしてほしいですか。(〇はいくつでも)

全体では、「災害の情報をわかりやすく伝えてほしい」が 52.5%、「避難場所の情報を的確に伝えてほしい」が 50.8%と、いずれも5割を超えています。また、「障害の種類や程度に対応した配慮をしてほしい」も 43.3%と多くなっています。

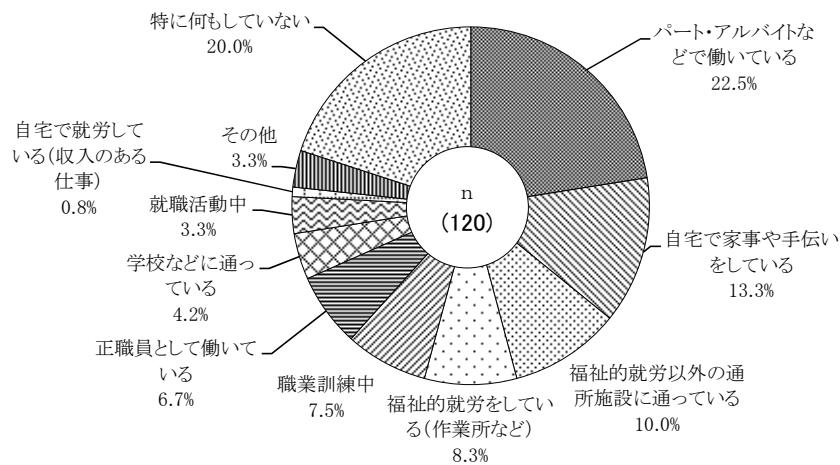


## 7. 日中活動・就労について

### (1) 日中の過ごし方

問 33 あなたは、平日の日中を主にどのように過ごしていますか。(最もあてはまる番号ひとつに○)

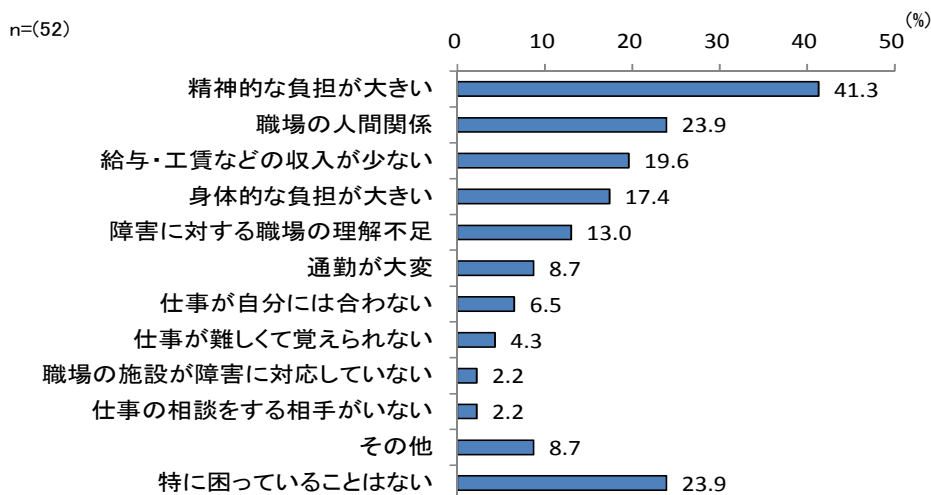
「パート・アルバイトなどで働いている」が 22.5%で最も多く、以下「自宅で家事や手伝いをしている」が 13.3%、「福祉的就労以外の通所施設に通っている」が 10.0%となっています。



### (2) 仕事上で困っていること

問 34 【問 33 で働いている(1～4番)に○をつけた方におたずねします。】あなたが仕事上で困っていることはなんですか。(○は3つまで)

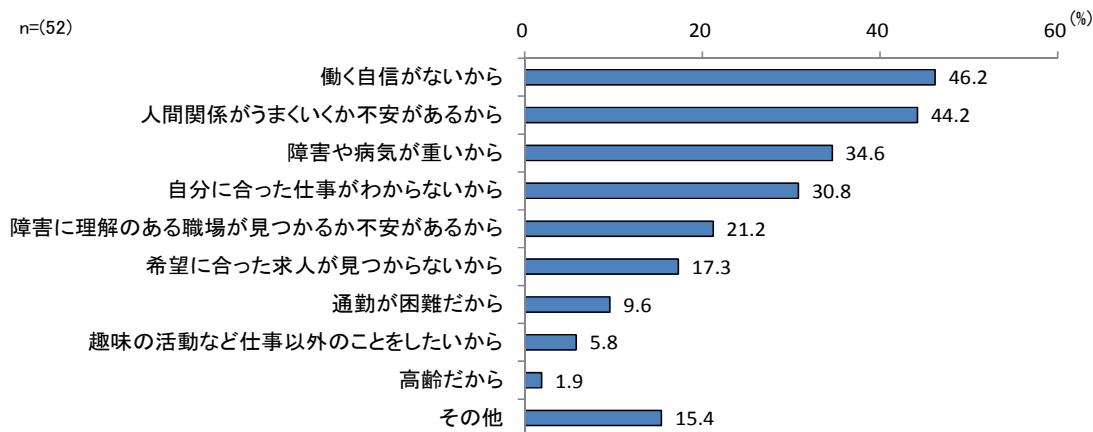
「精神的な負担が大きい」が 41.3%で最も多く、以下「職場の人間関係」が 23.9%、「給与・工賃などの収入が少ない」が 19.6%となっています。



### (3) 働いていない理由

問 35 【問 33 で働いていない（5～7 番）に○をつけた方におたずねします。】あなたが働いていない理由はなんですか。（○は3つまで）

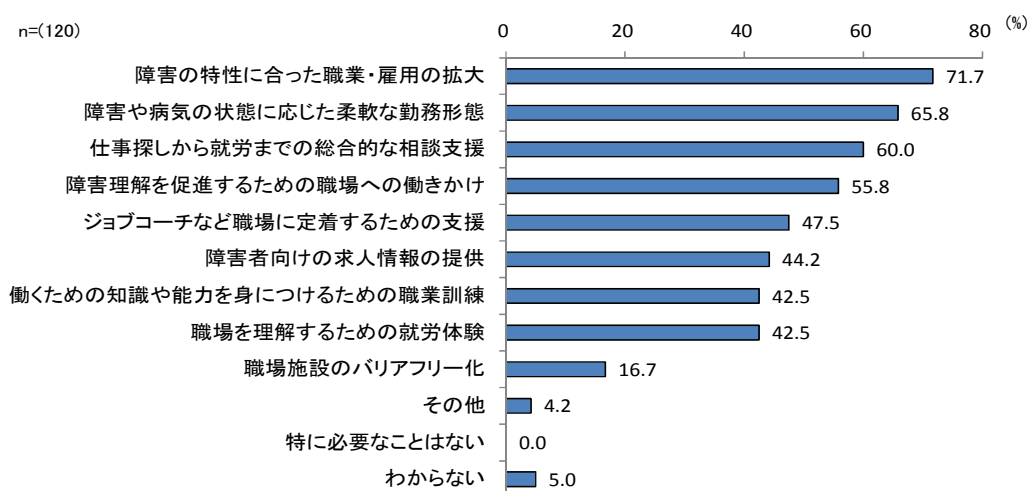
「働く自信がないから」が 46.2%、「人間関係がうまくいか不安があるから」が 44.2%と、いずれも4割を超えています。また、「障害や病気が重いから」も 34.6%と多くなっています。



### (4) 一般就労のために必要な支援

問 36 【すべての方におたずねします。】あなたは、障害のある人が、企業などで一般就労するためには、どのような支援が必要だと思いますか。（○はいくつでも）

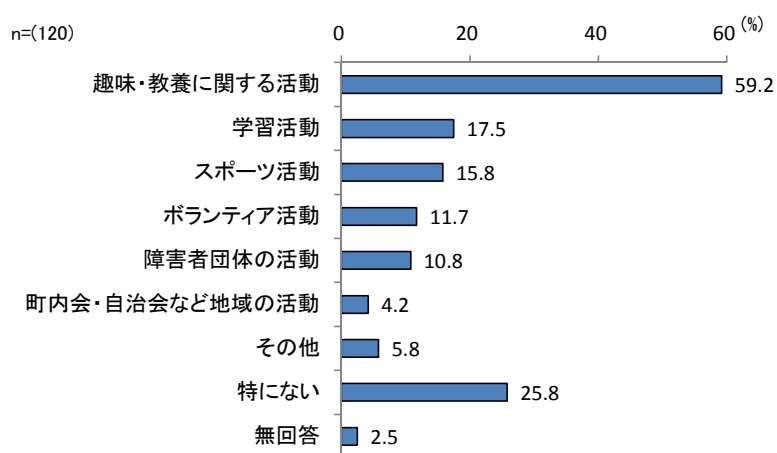
「障害の特性に合った職業・雇用の拡大」が 71.7%で最も多く、以下「障害や病気の状態に応じた柔軟な勤務形態」が 65.8%、「仕事探しから就労までの総合的な相談支援」が 60.0%となっています。



#### (5) 今後取り組みたい活動

問 37 あなたは今後、どのような活動に取り組みたいと思いますか。すでに取り組んでいる方は、今後も取り組みたいかどうかをお答えください。(〇はいくつでも)

「趣味・教養に関する活動」が 59.2%で最も多く、以下「学習活動」が 17.5%、「スポーツ活動」が 15.8%となっています。

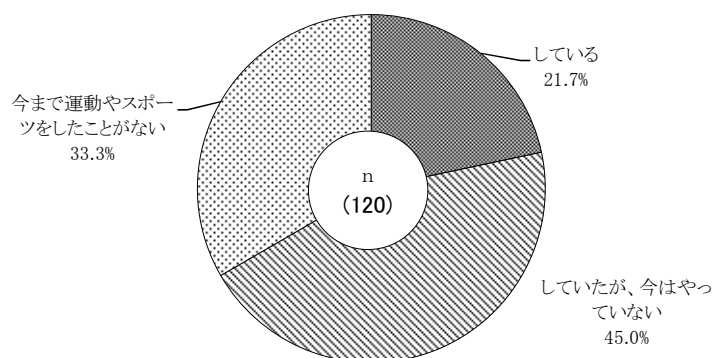


## 8. 運動やスポーツについて

### (1) 運動やスポーツの実施状況

問 38 あなたは、運動やスポーツをしていますか。(学校に通っている方は、学校の授業を除く)

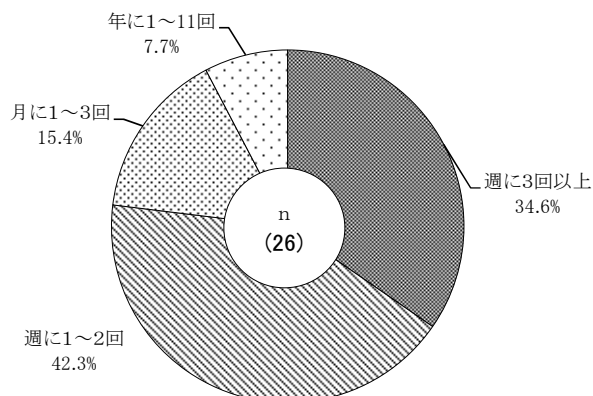
「している」が21.7%、「していたが、今はやっていない」が45.0%となっています。一方、「今まで運動やスポーツをしたことがない」は33.3%となっています。



### (2) 運動やスポーツの実施頻度

問 39 【問 38 で「1. している」に○をつけた方におたずねします】  
あなたは、どのくらいの頻度で運動やスポーツをしていますか。

「週に1～2回」が42.3%で最も多く、次いで「週に3回以上」が34.6%となっています。



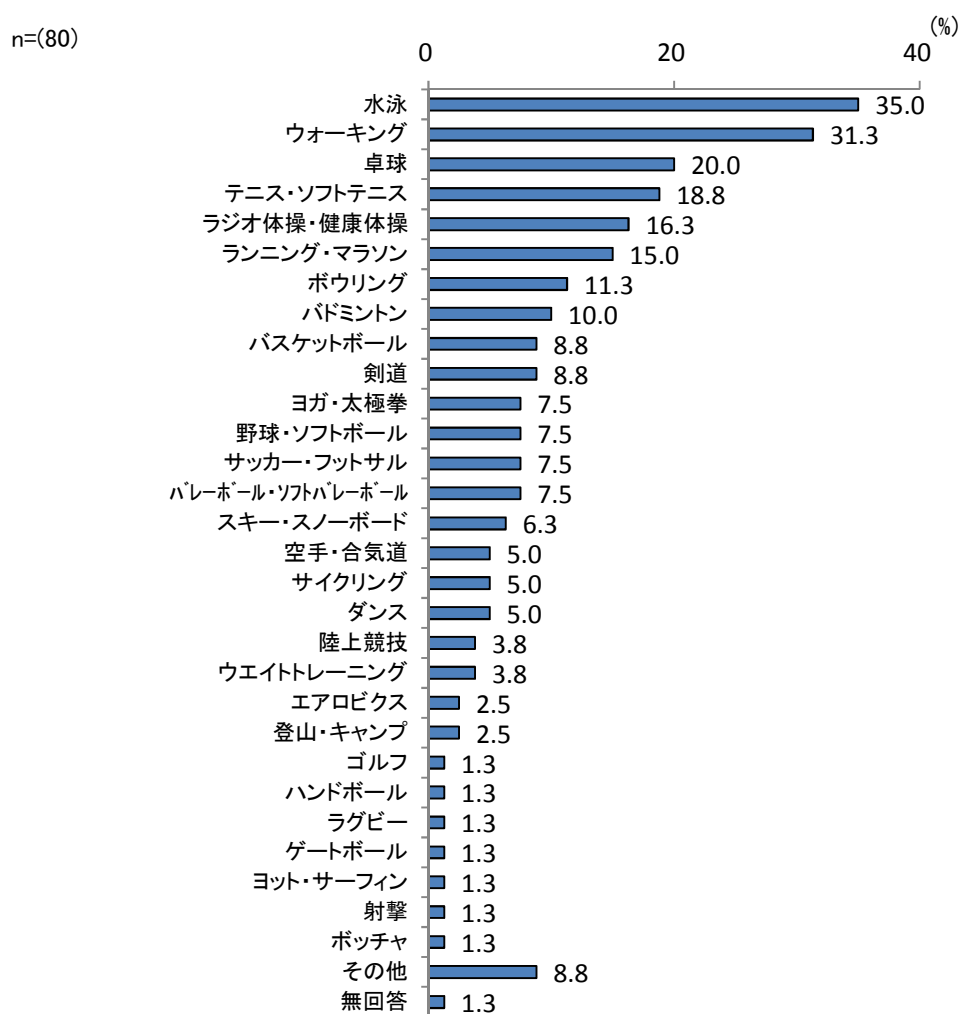


(3) 実施している（していた）運動やスポーツの種目

問 40 【問 38 で「1. している」または「2. していたが、今はやっていない」に○をつけた方におたずねします】

あなたが行っている(行っていた)運動やスポーツの種目は何か。(あてはまるものすべてに○)

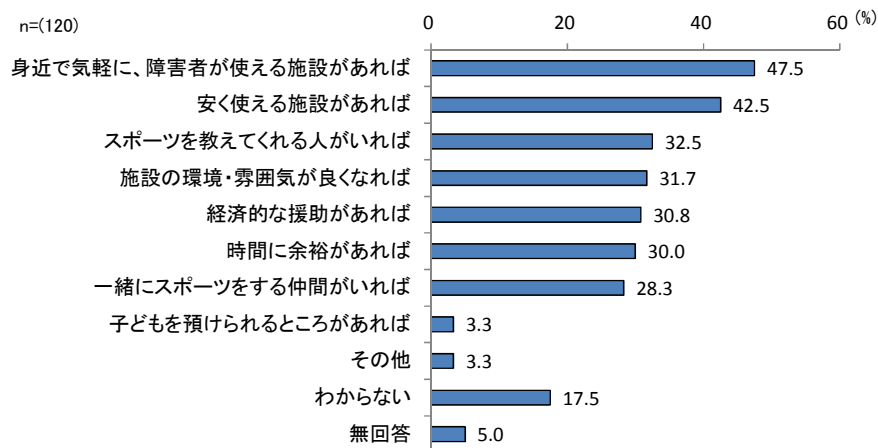
「水泳」が 35.0%で最も多く、以下「ウォーキング」が 31.3%、「卓球」が 20.0%、「テニス・ソフトテニス」が 18.8%となっています。



#### (4) 障害者がスポーツ活動をより多く行うために必要なこと

問 41 今後、障害のある方がスポーツ活動を、より多く行うためには、どのようになればいいと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

「身近で気軽に、障害者が使える施設があれば」が 47.5%で最も多く、以下「安く使える施設があれば」が 42.5%、「スポーツを教えてくれる人がいれば」が 32.5%となっています。

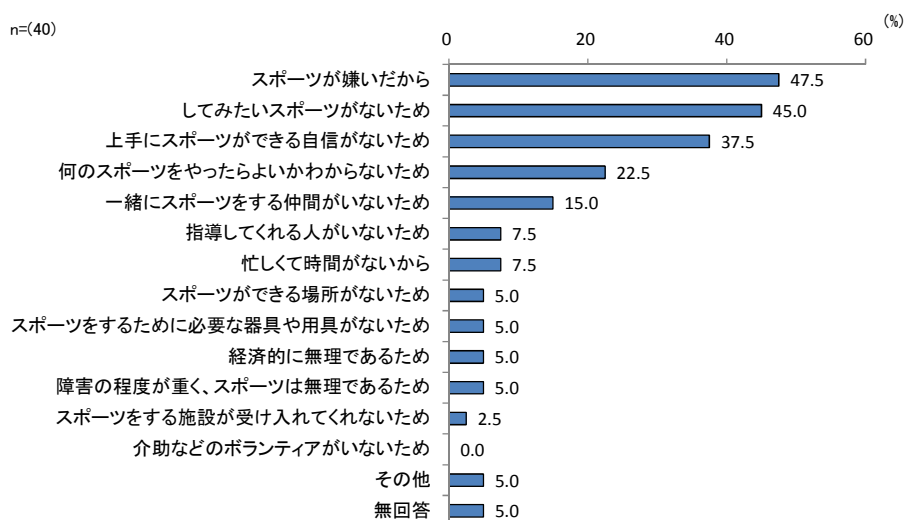


#### (5) スポーツをしない理由

問 42 【問 38 で「3. 今まで運動やスポーツをしたことがない」に○を付けた方におたずねします】

あなたがスポーツをしない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

「スポーツが嫌いだから」が 47.5%で最も多く、以下「してみたいスポーツがないため」が 45.0%、「上手にスポーツができる自信がないため」が 37.5%となっています。

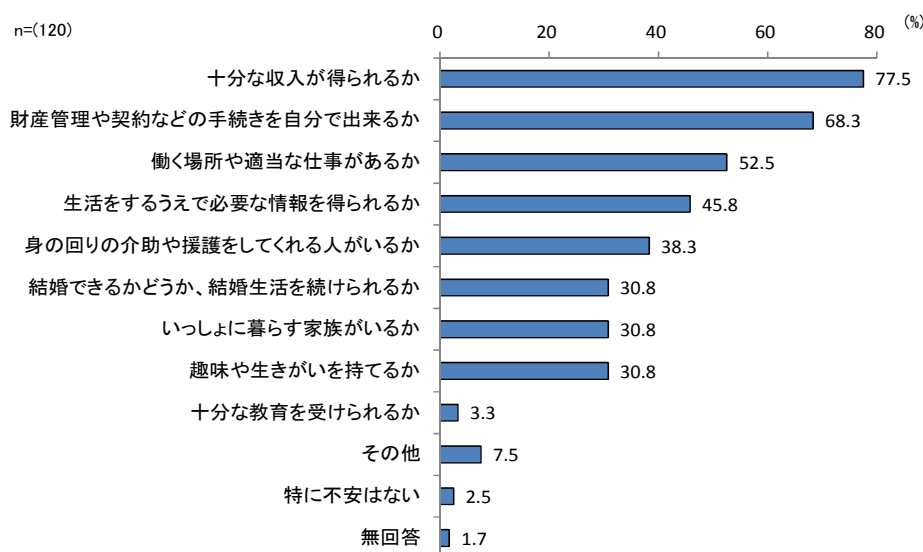


## 9. 将来について

### (1) 親なき後の生活の不安

問 43 あなたは、親なき後の生活を考えたとき、どのような不安がありますか。(〇はいくつでも)

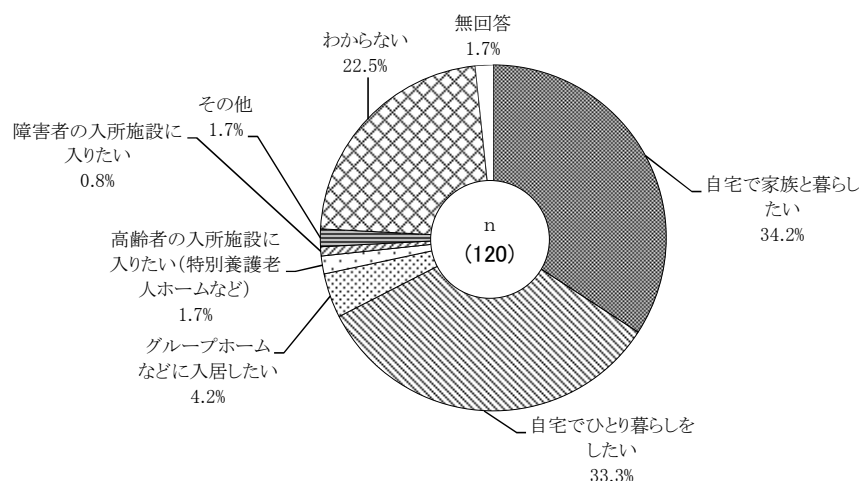
「十分な収入が得られるか」が 77.5%で最も多く、以下「財産管理や契約などの手続きを自分で出来るか」が 68.3%、「働く場所や適当な仕事があるか」が 52.5%、「生活するうえで必要な情報を得られるか」が 45.8%となっています。



### (2) 将来の暮らし方の希望

問 44 あなたは将来、どのような暮らし方をしたいと思いますか。(〇は1つ)

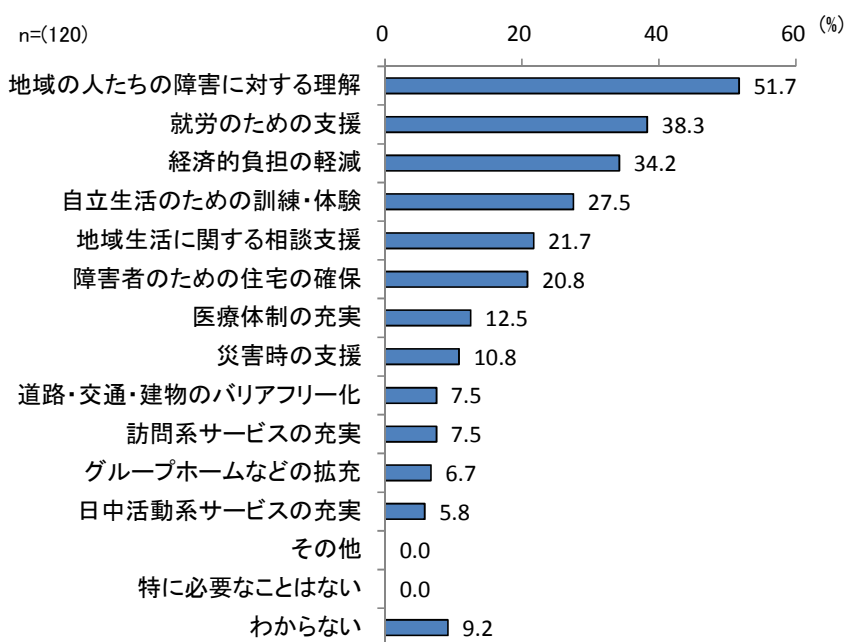
「自宅で家族と暮らしたい」が 34.2%、「自宅でひとり暮らしをしたい」が 33.3%と、いずれも3割を超えています。



### (3) 地域で生活するために必要なこと

問 45 あなたは、障害のある人が地域で生活していくためには、何が必要だと思いますか。  
(〇は3つまで)

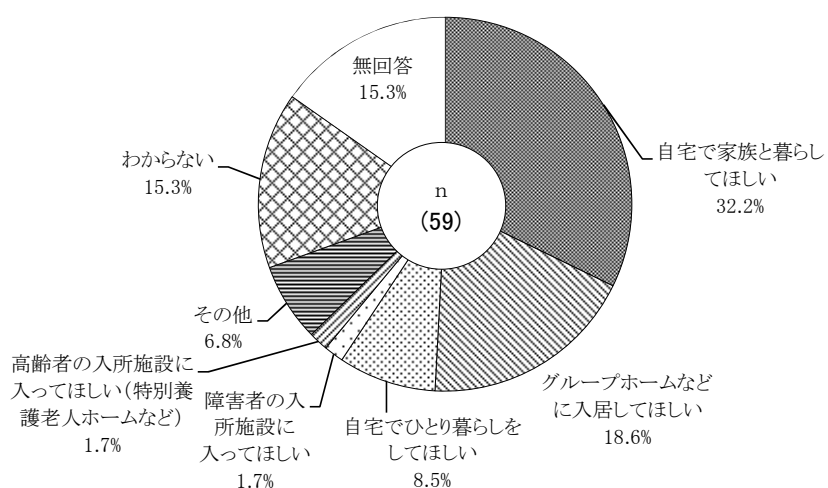
「地域の人たちの障害に対する理解」が51.7%で最も多く、以下「就労のための支援」が38.3%、「経済的負担の軽減」が34.2%、「自立生活のための訓練・体験」が27.5%となっています。



#### (4) 将来希望する被介助者の暮らし方

問 46 【主な介助者の方におたずねします。】今あなたが介助をしている人に、将来どのような暮らし方をしてほしいと思いますか。（〇は1つ）

「自宅で家族と暮らしてほしい」が 32.2%で最も多く、次いで「グループホームなどに入居してほしい」が 18.6%となっています。

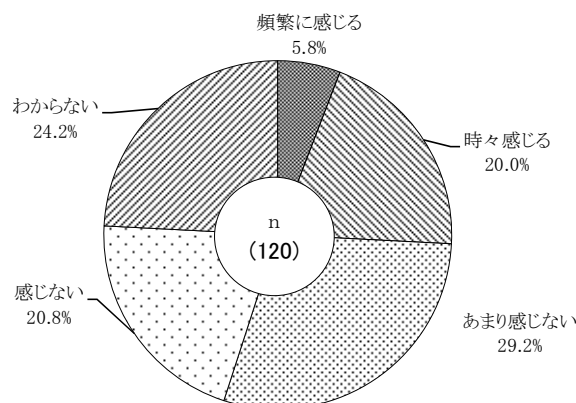


## 10. 障害のある人に対する理解度について

### (1) 日常生活の中で感じる差別の有無

問 47 あなたは、地域で生活をしていて、差別を感じることはありますか。(○は1つ)

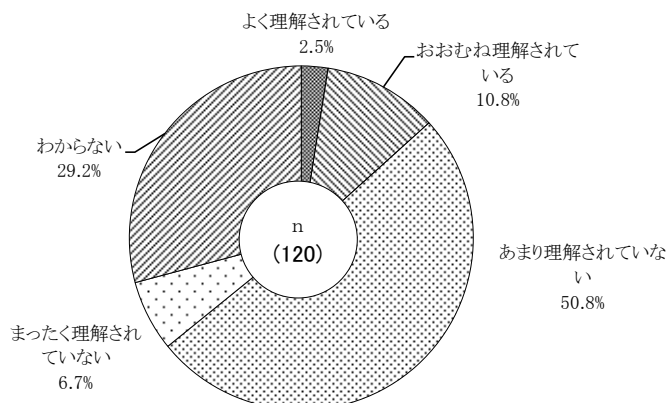
「頻繁に感じる」が5.8%、「時々感じる」が20.0%となっています。一方、「あまり感じない」は29.2%、「感じない」は20.8%となっています。



### (2) 障害のある人に対する市民の理解度

問 48 あなたは、障害のある人に対する市民の理解が、どの程度あると感じていますか。(○は1つ)

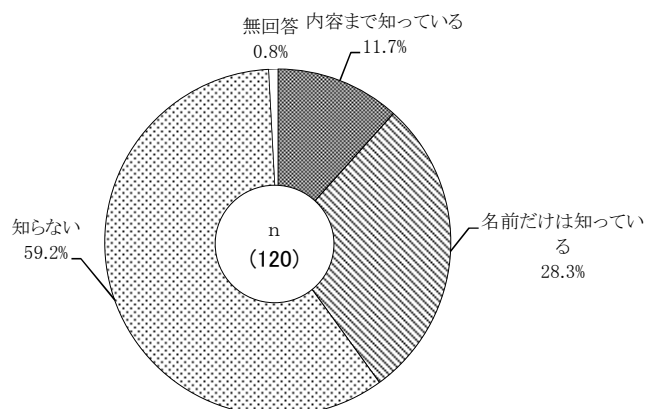
「よく理解されている」が2.5%、「おおむね理解されている」が10.8%となっています。一方、「あまり理解されていない」は50.8%、「まったく理解されていない」は6.7%となっています。



### (3) 障害者差別解消法の認知

問 49 障害者への差別をなくすことを目的として、平成 28 年 4 月 1 日に「障害者差別解消法」が施行されましたが、このことを知っていますか。(〇は 1 つ)

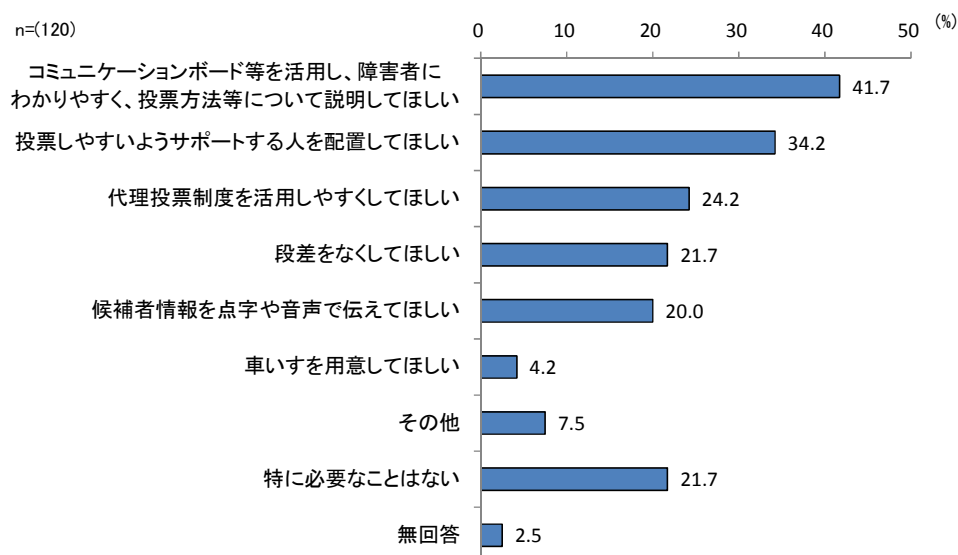
「内容まで知っている」が 11.7%、「名前だけは知っている」が 28.3%となっています。一方、「知らない」が 59.2%となっています。



### (4) 障害者が選挙の投票をしやすくするために必要なこと

問 50 あなたは、障害者が選挙の投票をしやすくするために、投票所に何が必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

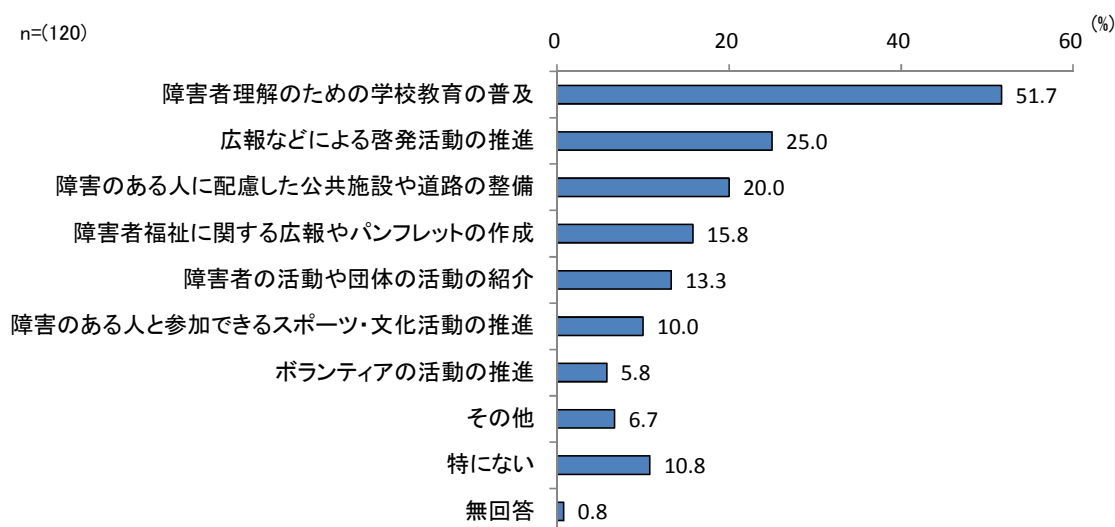
「コミュニケーションボード等を活用し、障害者にわかりやすく、投票方法等について説明してほしい」が 41.7%で最も多く、以下「投票しやすいようサポートする人を配置してほしい」が 34.2%、「代理投票制度を活用しやすくしてほしい」が 24.2%となっています。



(5) 障害者理解のため、行政に取り組んでもらいたいこと

問 51 あなたは、障害者に対する理解をより深めるために、どのようなことを行政に取り組んでもらいたいですか。(〇は2つまで)

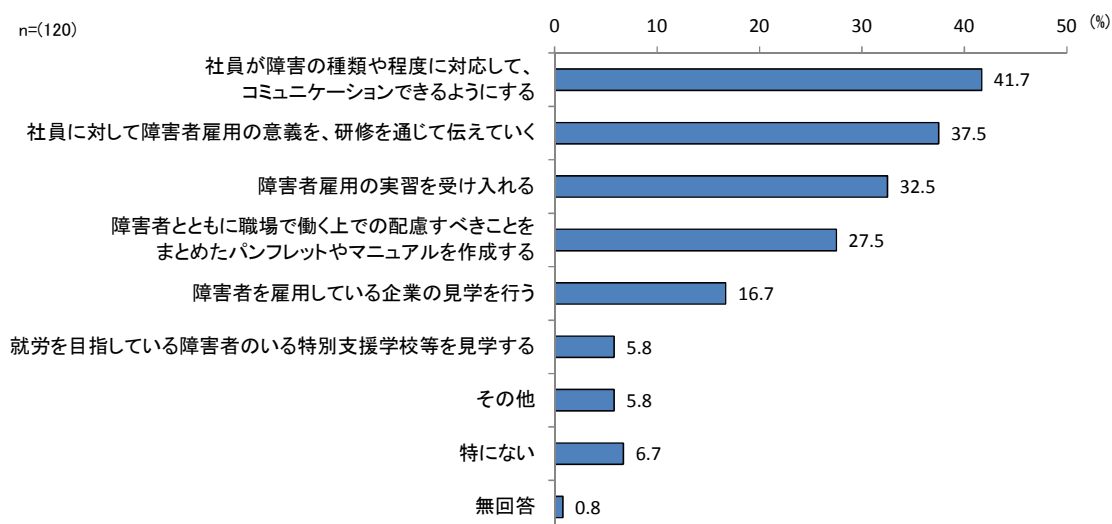
「障害者理解のための学校教育の普及」が 51.7%で最も多く、以下「広報などによる啓発活動の推進」が 25.0%、「障害のある人に配慮した公共施設や道路の整備」が 20.0%となっています。



(6) 障害者理解のため、企業に取り組んでもらいたいこと

問 52 あなたは、障害者に対する理解をより深めるために、どのようなことを企業に取り組んでもらいたいですか。(〇は2つまで)

「社員が障害の種類や程度に対応して、コミュニケーションできるようにする」が 41.7%で最も多く、以下「社員に対して障害者雇用の意義を、研修を通じて伝えていく」が 37.5%、「障害者雇用の実習を受け入れる」が 32.5%となっています。

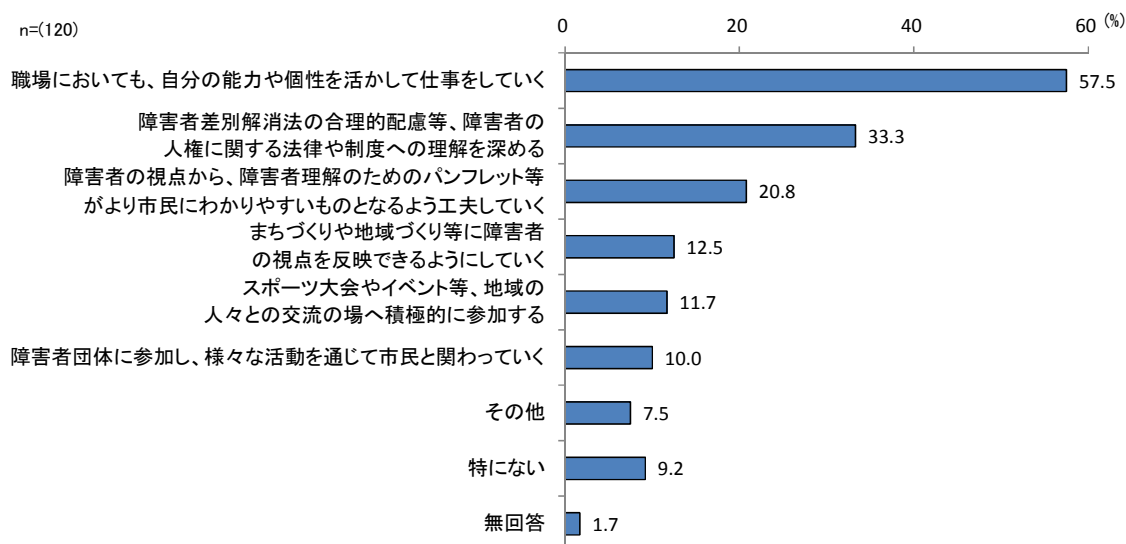




## (7) 障害者理解のため、障害者自身が取り組むべきこと

問 53 障害者への理解を深めるために、障害者自身がどのような取り組みをしていく必要があると思いますか。(〇は2つまで)

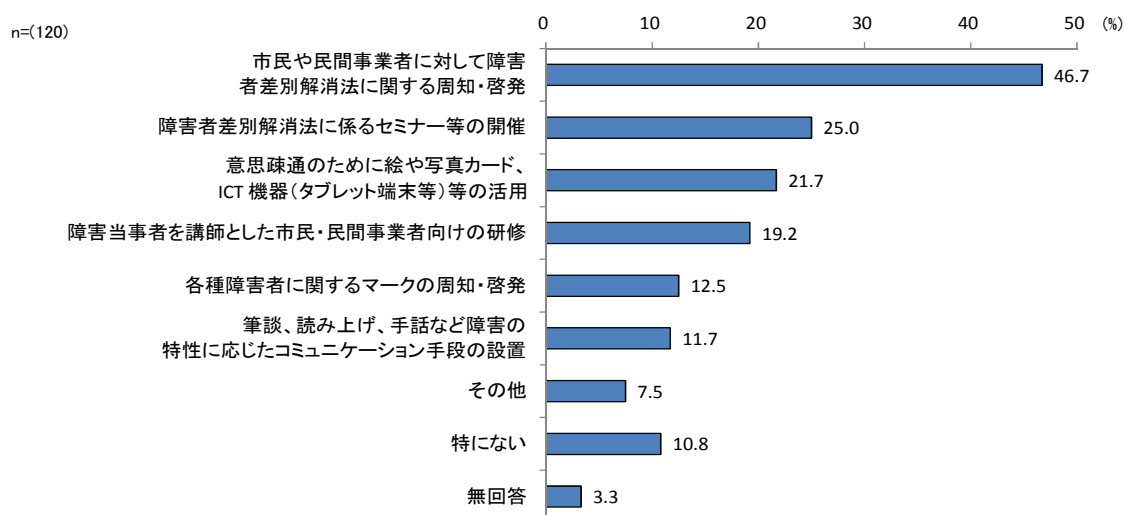
「職場においても、自分の能力や個性を活かして仕事をしていく」が 57.5%で最も多く、次いで「障害者差別解消法の合理的配慮等、障害者の人権に関する法律や制度への理解を深める」が 33.3%となっています。



## (8) 社会的障壁の除去に向けて合理的配慮を進めていくために必要なこと

問 54 社会的障壁の除去に向けて、合理的配慮を進めていくために必要なことは何だと思われますか。(〇は2つまで)

「市民や民間事業者に対して障害者差別解消法に関する周知・啓発」が 46.7%で最も多く、以下「障害者差別解消法に係るセミナー等の開催」が 25.0%、「意思疎通のために絵や写真カード、ICT機器(タブレット端末等)等の活用」が 21.7%となっています。



## 1 1. サービス利用について

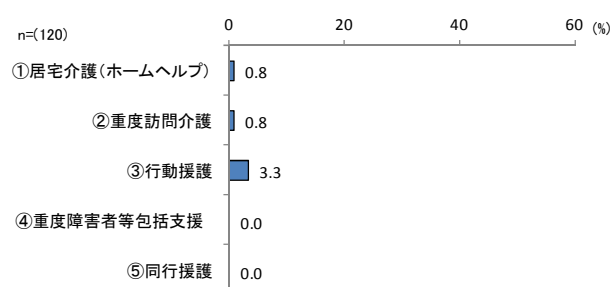
### (1) 訪問系サービスの利用状況・利用意向

問 55 あなたは、次のような訪問系サービスを利用していますか。また今後利用したいと  
いますか。すでに利用している方も、今後利用したいかどうかをお答えください。

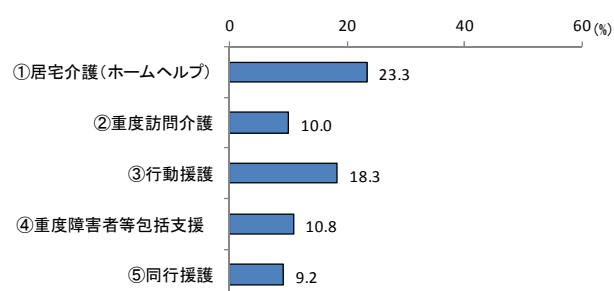
利用しているサービスをみると、「行動援護」が3.3%となっています。

利用したいサービスをみると、「居宅介護（ホームヘルプ）」が23.3%、「行動援護」が18.3%  
となっています。

#### A. 利用している割合



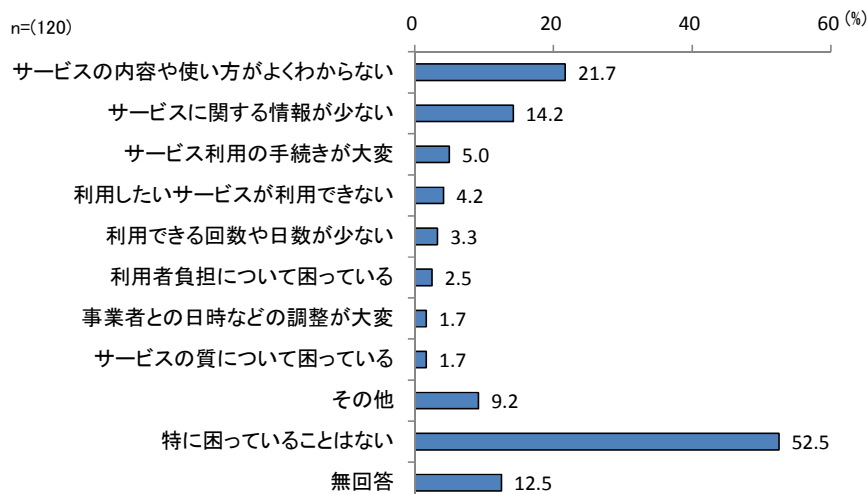
#### B. 利用したい割合



### (2) 訪問系サービスを利用する上で困っていること

問 56 あなたは、訪問系サービスの利用に関して困っていることがありますか。(〇はいくつ  
でも)

訪問系サービスを利用する上で困っていることについては、「サービスの内容や使い方がよくわ  
からない」が21.7%で最も多く、次いで「サービスに関する情報が少ない」が14.2%となってい  
ます。



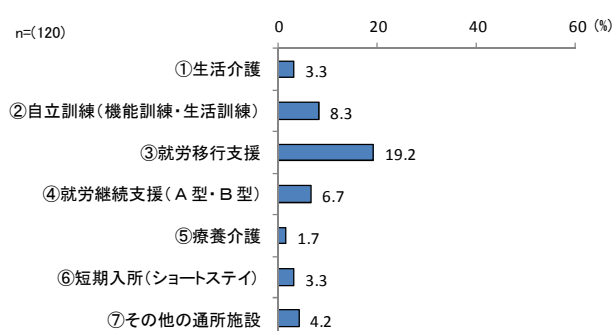
### (3) 日中活動系サービスの利用状況・利用意向

問 57 あなたは、次のような日中活動系サービスを利用していますか。また今後利用したいと思いますか。すでに利用している方も、今後利用したいかどうかをお答えください。

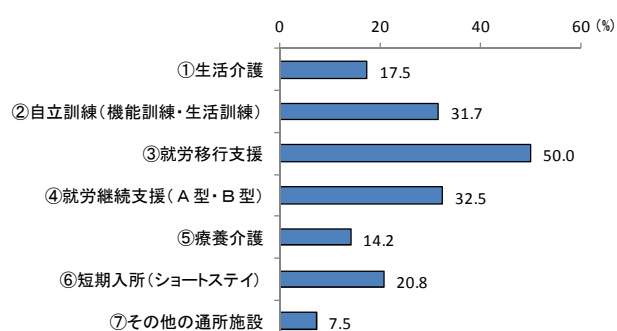
利用しているサービスをみると、「就労移行支援」が19.2%で最も多く、以下「自立訓練（機能訓練・生活訓練）」が8.3%、「就労継続支援（A型・B型）」が6.7%となっています。

利用したいサービスについてみると、「就労移行支援」が50.0%で最も多く、以下「就労継続支援（A型・B型）」が32.5%、「自立訓練（機能訓練・生活訓練）」が31.7%となっています。

#### A. 利用している割合



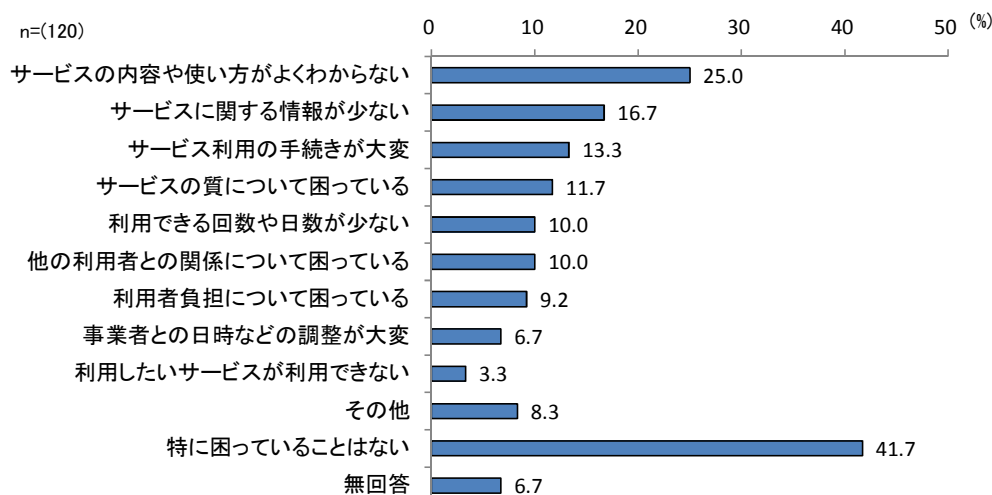
#### B. 利用したい割合



### (4) 日中活動系サービスを利用する上で困っていること

問 58 あなたは、日中活動系サービスの利用に関して困っていることがありますか。（〇はいくつでも）

日中活動系サービスを利用する上で困っていることについては、「サービスの内容や使い方がよくわからない」が25.0%で最も多く、以下「サービスに関する情報が少ない」が16.7%、「サービス利用の手続きが大変」が13.3%となっています。



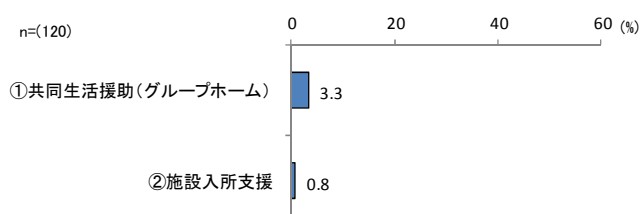
## (5) 居住系サービスの利用状況・利用意向

問 59 あなたは、次のような居住系サービスを利用していますか。また今後利用したいと思いますか。すでに利用している方も、今後利用したいかどうかをお答えください。

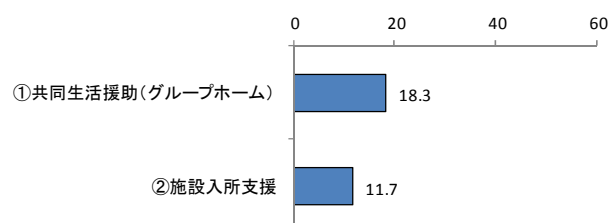
利用しているサービスをみると、「共同生活援助（グループホーム）」が 3.3%、「施設入所支援」が 0.8% となっています。

利用したいサービスをみると、「共同生活援助（グループホーム）」が 18.3%、「施設入所支援」が 11.7%となっています。

### A. 利用している割合



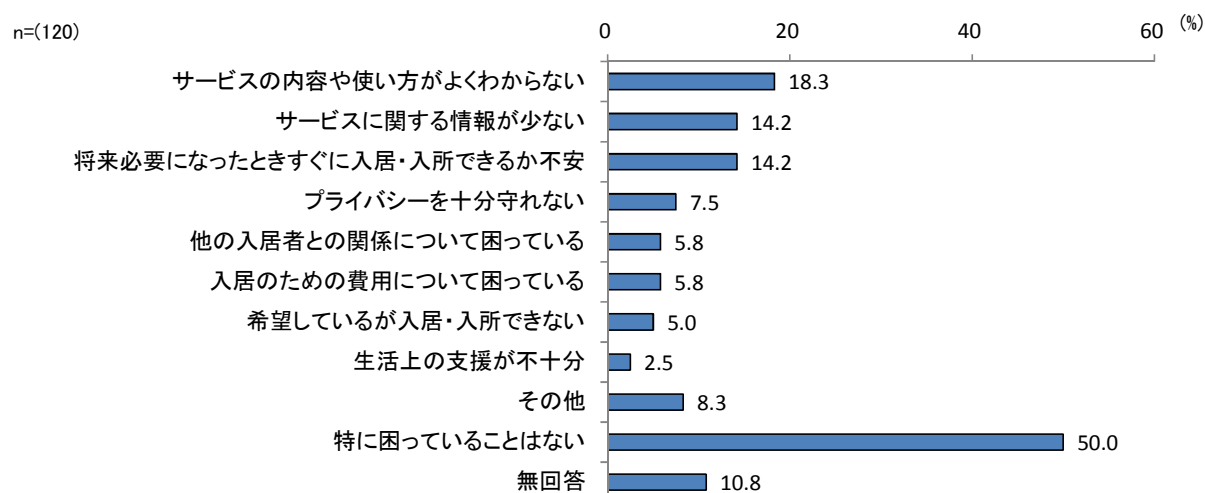
### B. 利用したい割合



## (6) 居住系サービスを利用する上で困っていること

問 60 あなたは、居住系サービスの利用に関して困っていることがありますか。(〇はいくつでも)

居住系サービスを利用する上で困っていることについては、「サービスの内容や使い方がよくわからない」が 18.3%で最も多く、以下「サービスに関する情報が少ない」、「将来必要になったときすぐに入居・入所できるか不安」が 14.2%となっています。



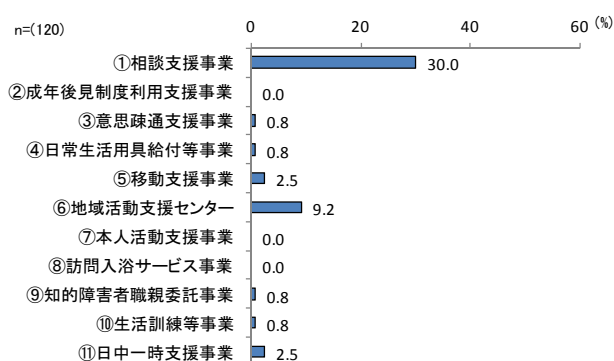
## (7) 地域生活支援事業の利用状況・利用意向

問 61 あなたは、次のようなサービスを利用していますか。また今後利用したいと思いますか。すでに利用している方も、今後利用したいかどうかをお答えください。

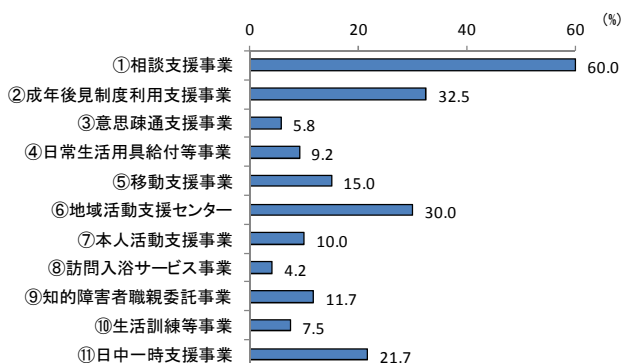
利用している地域生活支援事業をみると、「相談支援事業」が30.0%で最も多く、次いで「地域活動支援センター」が9.2%となっています。

利用したい地域生活支援事業をみると、「相談支援事業」が60.0%で最も多く、以下「成年後見制度利用支援事業」が32.5%、「地域活動支援センター」が30.0%となっています。

### A. 利用している割合



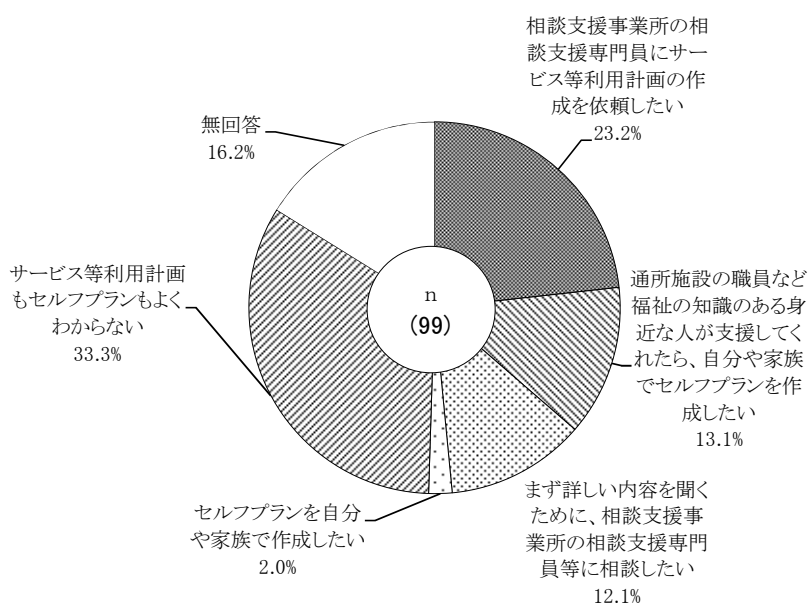
### B. 利用したい割合



(8) サービス等利用計画の作成についての意向

問 62 【問 55、57、59、61 にある障害福祉サービスを利用している方や、今後利用したい方にお聞きします】サービス等利用計画の作成について、どのように進めていきたいですか。(〇はひとつ)

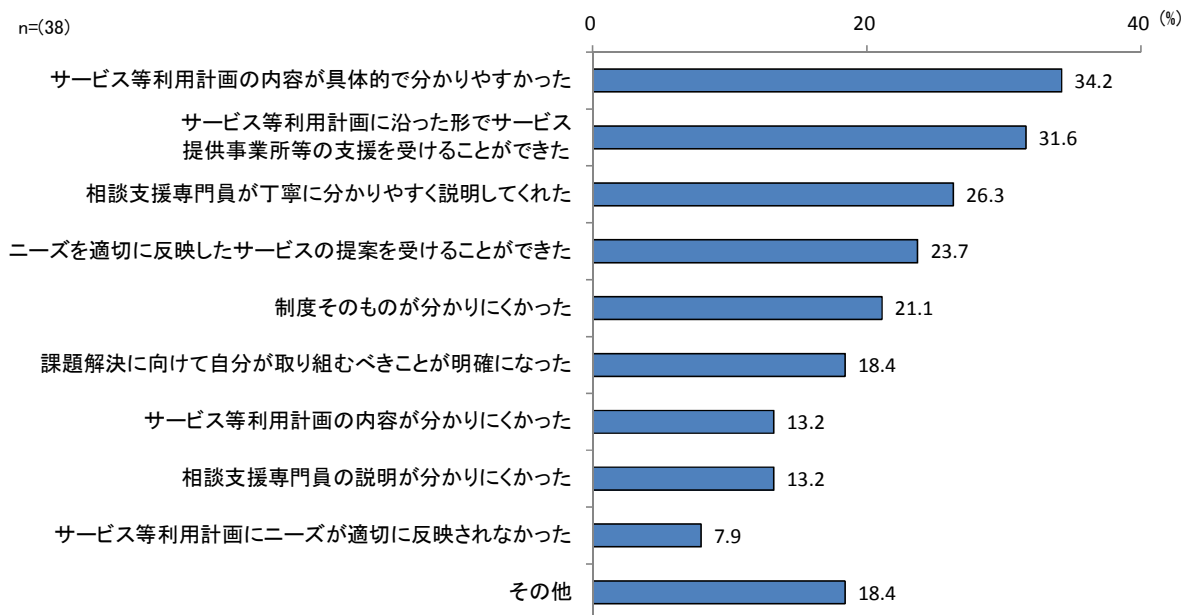
サービス等利用計画の作成についての意向については、「相談支援事業所の相談支援専門員にサービス等利用計画の作成を依頼したい」が23.2%で最も多く、以下、「通所施設の職員など福祉の知識のある身近な人が支援してくれたら、自分や家族でセルフプランを作成したい」が13.1%、「まず詳しい内容を聞くために、相談支援事業所の相談支援専門員等に相談したい」が12.1%となっています。



(9) サービス等利用計画を作成して感じたこと

問 63 【これまでに特定相談支援事業所でサービス等利用計画を作成したことがある方にお聞きします】 サービス等利用計画を作成して感じたことはありますか（○は4つまで）

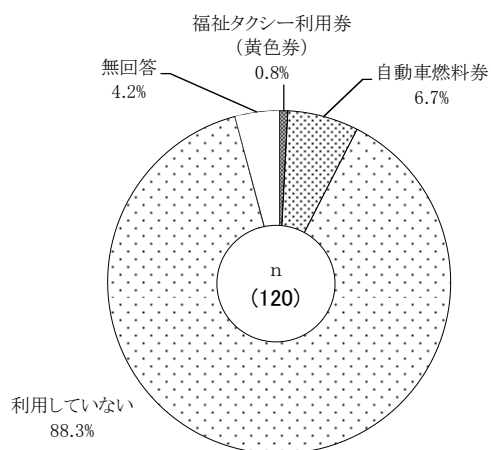
「サービス等利用計画の内容が具体的で分かりやすかった」が 34.2%で最も多く、以下「サービス等利用計画に沿った形でサービス提供事業所等の支援を受けることができた」が 31.6%、「相談支援専門員が丁寧に分かりやすく説明してくれた」が 26.3%、「ニーズを適切に反映したサービスの提案を受けることができた」が 23.7%となっています。



(10) 福祉タクシー利用券・自動車燃料券の利用状況

問 64 あなたは、福祉タクシー利用券や自動車燃料券を利用していますか。利用している方は、その種類（券の色）もお答えください。（〇は1つ）

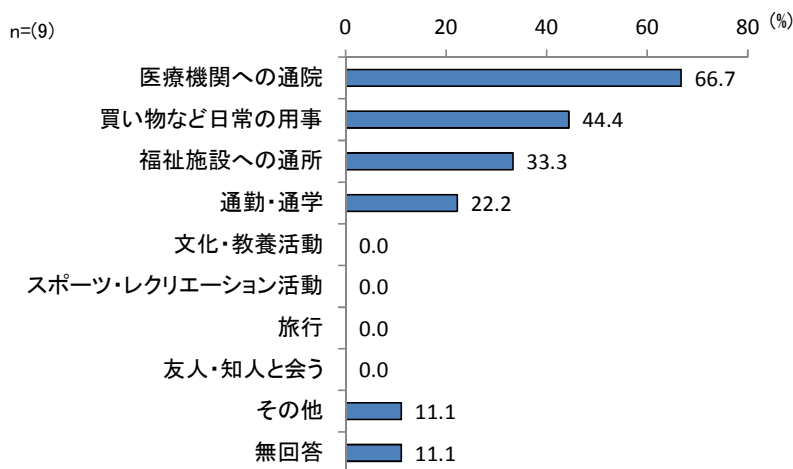
「自動車燃料券」が6.7%となっています。一方、「利用していない」は88.3%となっています。



(11) 福祉タクシー利用券・自動車燃料券の主な使い道

問 65 【問 64 でいずれかの券を利用している（1～3番）と回答した方にお聞きします】  
福祉タクシー利用券・自動車燃料券の主な使い道は何ですか。（〇はいくつでも）

「医療機関への通院」が66.7%で最も多く、次いで「買い物など日常の用事」が44.4%となっています。





(12) 自動車燃料券を選ぶ理由

問 66 【64 で自動車燃料券を利用している（3 番）と回答した方にお聞きします。】

福祉タクシー利用券ではなく、自動車燃料券を選んでいる理由は何ですか。

（○は 1 つ）

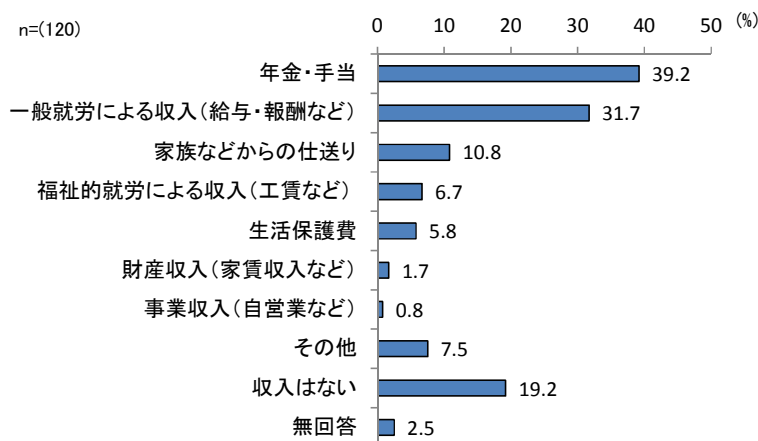
「家族などが運転する車で移動することが多いから」が 100.0%となっています。

## 1 2. 収入や利用者負担について

### (1) 主な収入源

問67 あなたご本人の主な収入源をお答えください。(〇は3つまで)

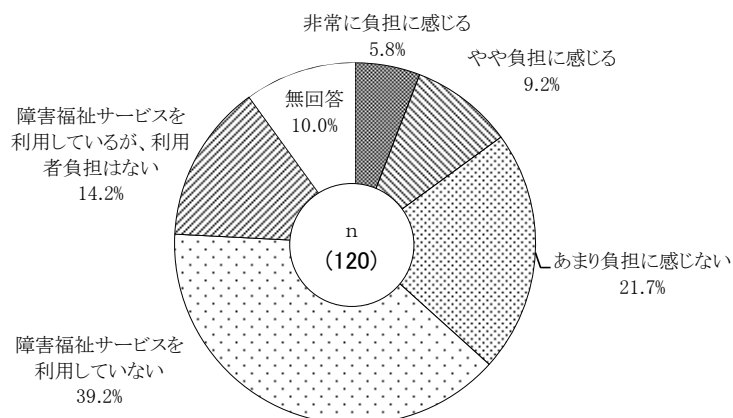
「年金・手当」が39.2%で最も多く、次いで「一般就労による収入(給与・報酬など)」が31.7%となっています。



### (2) 障害福祉サービスの 利用者負担の負担感

問68 あなた(やご家族の方)は、障害福祉サービスの利用者負担について、どのように感じていますか。(〇は1つ)

「非常に負担に感じる」が5.8%、「やや負担に感じる」が9.2%となっています。一方、「あまり負担に感じない」が21.7%となっています。



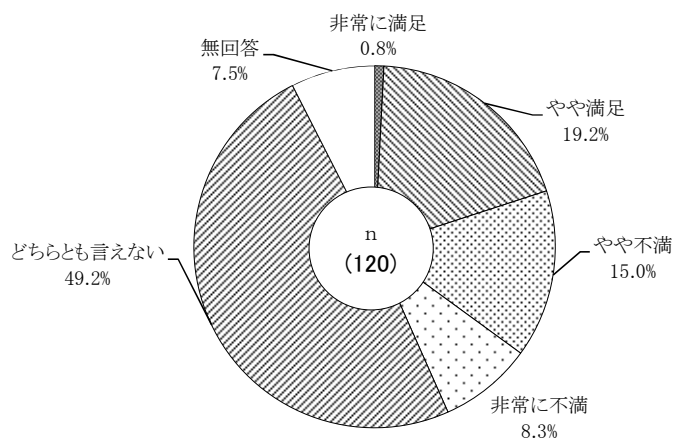
### 13. 市の障害者施策について

#### (1) 市の障害者施策についての満足感

問 69 あなた（やご家族の方）は、市の障害者施策について、どのように感じていますか。  
（○は1つ）

「非常に満足」が0.8%、「やや満足」が19.2%となっています。また、「どちらとも言えない」が49.2%を占めています。

一方、「やや不満」は15.0%、「非常に不満」は8.3%となっています。



## 14. 自由意見

問 70 障害福祉に関するご意見やご要望、今後利用したい福祉サービスなどありましたら、ご自由にお書きください。（自由記述）

全部で 43 件の意見がありました。

	分 類	件数	%
1	福祉サービス	17	39.5
2	医療・健康	1	2.3
3	生活環境	8	18.6
4	雇用・就労	5	11.6
5	将来について	0	0.0
6	経済事情・経済的支援	2	4.7
7	行政・制度	2	4.7
8	その他	8	18.6

計 43 100

◆意見の概要 ※紙幅の都合により、内容を要約・抜粋している場合があります。

### 1. 福祉サービス

意見	最新の診断名	年代	性別	回答者
自分がどのような福祉サービスを受けられるのかわからない。福祉サービスは障害が重くない人は利用できるものがあるのかわからない。	高機能自閉症・高機能広汎性発達障害 自閉症スペクトラム障害 アスペルガー症候群	20代	男性	本人
特定相談支援事業所が少なく、自分が利用できたところも職員2人で180ケースほどを担当しているとのことで、十分に相談の機会を持てず、こちらの配慮事項も理解されない。そのため日常生活や家族関係に関する悩みを相談する適切な場がなく、大変困っており、体調にも影響している。	広汎性発達障害	20代	男性	本人
日常や仕事の困りごとをすぐ相談にのってくれるサービス（支援センターを利用しているが現状は1ヶ月に2回）話し相手になって欲しい。	自閉症スペクトラム障害 広汎性発達障害 注意欠陥・多動性障害	40代	女性	不明

意見	最新の診断名	年代	性別	回答者
同じような立場の介助者が地域で気軽に話しができるような場があったら案内してほしい。その場合、政治や宗教団体とは無縁のものであってほしい。また、介助の仕方や質を高められるよう勉強できる機会があれば案内してほしい。(郵送で)	広汎性発達障害	20代	男性	本人

## 2. 医療・健康

意見	最新の診断名	年代	性別	回答者
「障害」は、まず可能な限りその障害を「解決」「取りのぞく」ことに向けて、行政を含め社会・国全体で取りくんでゆくべき事象であると考えている。米国で公共医療費の負担の「解決策」として「健康法」の社会的推進—社会全体としての健身の為の具体的方法(運動・食養)の実践を推進した結果、具体的成果をおさめたという。この例に倣い、医療健身業界を中心として「助けてあげる」福祉から「解決する」福祉へとカジを切るべきだと考える。そのために、「医療」も「健身」も「西洋」のそれのみならず、「東洋」のそれも、大いに利用できるよう、具体的な施策の早期実施を願っている。人間の心身も「お助け」よりも「カイゼン」「解決」の時代であると確信している。	広汎性発達障害	40代	男性	本人

## 3. 生活環境

意見	最新の診断名	年代	性別	回答者
親が亡くなったあと、手帳や年金の更新をひとりではできずとても不安。書類をそろえる、コピーを取る、窓口への交通はひとりではむずかしい。手帳の更新だけで3度出向かなければならない。駅からも区役所からも離れている。先天性の障害で一生変わらないのに1~2年で更新が必要というのは変。親が高齢の人だけでも永続認定にしてください。親が亡くなったあとは生活保護を受けなければならないかもしれず、それにはかなり安い家賃の家に住んでいないといけないらしいので、今住居さがして悩んでいる。施設に入れば安心だけど発達障害者は感覚過敏があるので、人とは暮らせない。ぜひ障害者がひとり暮らししてもいい部屋をつくってほしい。かなり自立して生活できる人に場所提供するだけでいいのでお願いします。	広汎性発達障害	30代	女性	本人

## 4. 雇用・就労

意見	最新の診断名	年代	性別	回答者
現在就労支援の事業所に通っていますが、アルバイトが禁止もしくはアルバイトをしても少しだけと言われています。税金で通わせてもらっているのは分かりますが、上限をいくらまでと決めてでもアルバイトをしてもよいようにしてほしいです。本人の収入がないと本人も事業所をやめて(収入がないため)少しでも収入のあるアルバイトにはしてしまいます。就労支援の事業所に行ける年数を増やしてほしいです。	広汎性発達障害 アスペルガー症候群	20代	女性	家族
障害に対する理解を職場でもっとしてほしい。賃金が安くて生活ができない。障害者割引も、もっといろんなものに適用してほしい。自殺する人がどんどん増える。	自閉症スペクトラム障害 注意欠陥・多動性障害 学習障害	20代	女性	本人

## 6. 経済事情・経済的支援

意見	最新の診断名	年代	性別	回答者
障害者枠で働きました。給料は悪くないし楽しく働いたりすることもできましたが、一応障害者ですが仕事をする能力が高いのもっと給料がもらえたり活やくできる職場はないかなと思います(月給手どり16万、ボーナス15万くらいです)。悪い金額ではないですが将来が不安です。契約社員ばかりで正社員がありません。	広汎性発達障害	30代	女性	本人
両親も還暦を過ぎて自分も三十路に達したものの、自分の収入は自立できる程ではなく、増えるあてもない。職場では良くしてもらっているが、しょせんパートの上障害もあり、今以上の仕事を任せてもらえる見込みはない。転職も考えてはいるが上手く行くとは思えない。このままだと数年内に経済的に破綻して現在の生活は続けられなくなる。このような状況の為、収入が絶対的に不足した時どうしたら良いのか、何か状況の改善に繋がるような事はないか相談したいが、どこに相談して良いか判らない。	アスペルガー症候群 自閉症・自閉的傾向	30代	男性	本人

## 7. 行政・制度

意見	最新の診断名	年代	性別	回答者
公共料金について。①バス運賃の割引 現行では、手帳呈示で半額となっているが、横浜市と同様に数千円の支払いで定期券のように利用できるとありがたいです。②千葉モノレール運賃の割引 現行では、一部を除きIC乗車券利用時の割引がないので、全員を対象にIC乗車券利用時でも割引可能になるとありがたい。③JR旅客運賃の割引 現行では、精神障害が対象外となっているので、今後対象になるとありがたい。上記②、③は障害者差別解消法に基づき、一律とみなしてほしいです。	広汎性発達障害	40代	男性	本人
市発行の「障害者福祉のあんない」は、手帳の所持者全員に郵送で配布すべきだと思います。年度が変わる度、市役所や保健福祉センターに自力で歩くor車いすで行って取りにいける人(私は自力)はいいのですが、障害が重い人や介助者の仕事の都合ですぐに取りにいけない人もいますから、そこは一考願います。	広汎性発達障害	30代	男性	本人

## 8. その他

意見	最新の診断名	年代	性別	回答者
漢字にふりがなをつけるだけでは解説がわかりづらいので、説明をもっとわかりやすく表記してほしいです。	アスペルガー症候群	30代	女性	本人

**V 発達障害のある 18 歳未満の方と**

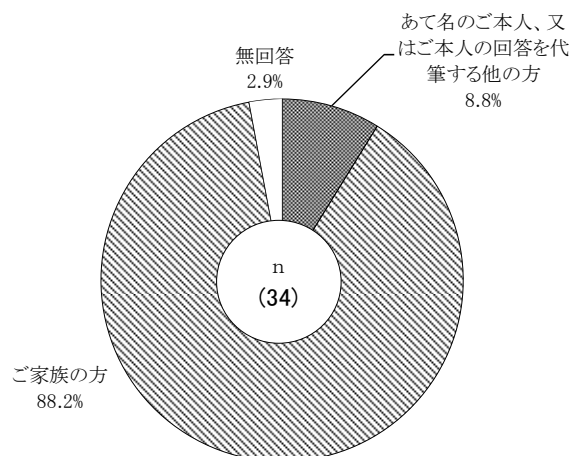
**その保護者の方を対象とした調査**





問 この調査票でご回答いただくのはどなたですか。（〇は1つ）

「ご家族の方」が88.2%となっています。

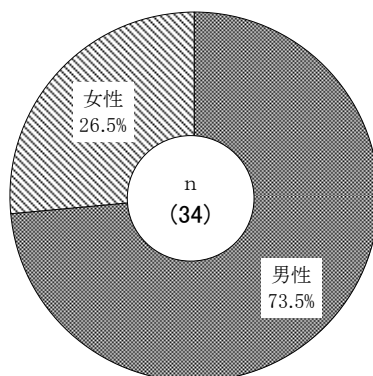


## 1. 本人について

### (1) 性別

問1 あなたの性別をおたずねします。（〇は1つ）

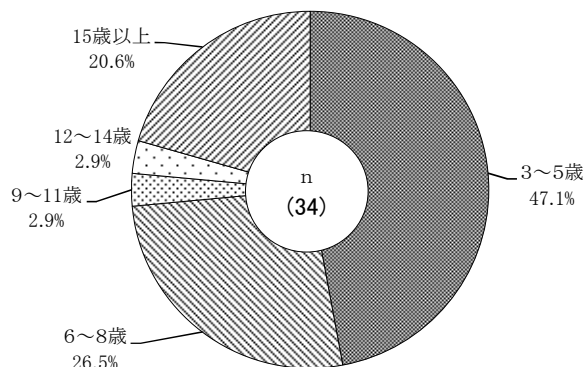
「男性」が73.5%、「女性」が26.5%となっています。



## (2) 年齢

問2 あなたの年齢について、平成29年1月1日現在の年齢をご記入ください。

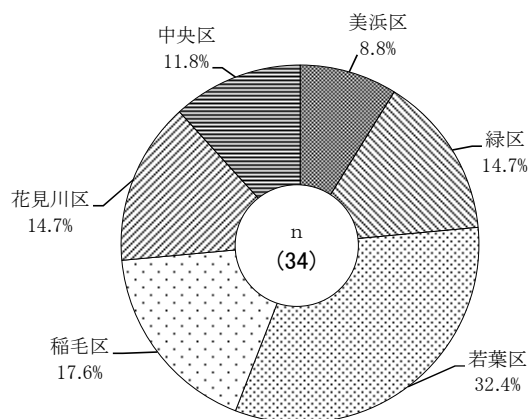
「3～5歳」が47.1%で最も多く、次いで「6～8歳」が26.5%となっています。



## (3) 居住区

問3 あなたのお住まいの区をおたずねします。(○は1つ)

「若葉区」が32.4%で最も多く、以下「稲毛区」が17.6%、「花見川区」、「緑区」が14.7%となっています。

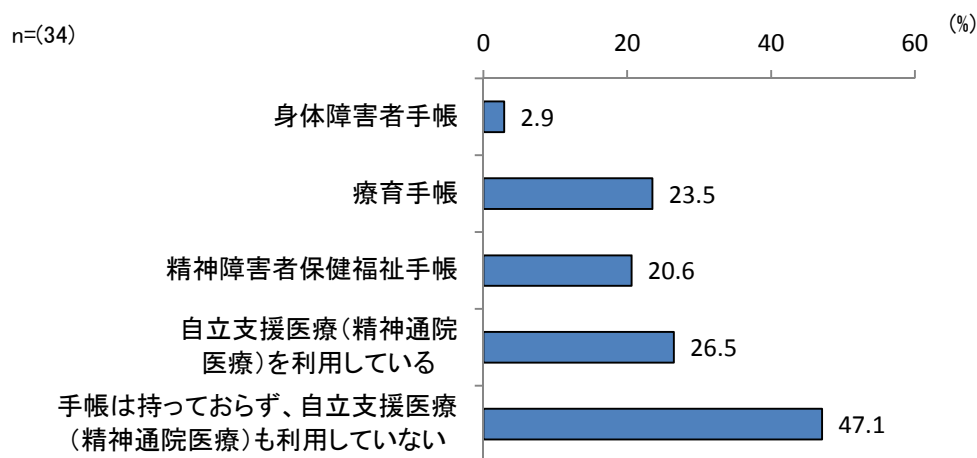


#### (4) 障害の種別

問4 あなたがお持ちの手帳の種類と等級、自立支援医療（精神通院医療）の利用をおたずねします。（〇はいくつでも。手帳をお持ちの方は、カッコ内の等級（程度）にも〇印をつけてください。）

「自立支援医療（精神通院医療）を利用している」が 26.5%で最も多く、以下、「療育手帳」が 23.5%、「精神障害者保健福祉手帳」が 20.6%となっています。

#### ●全体



#### ●年齢別

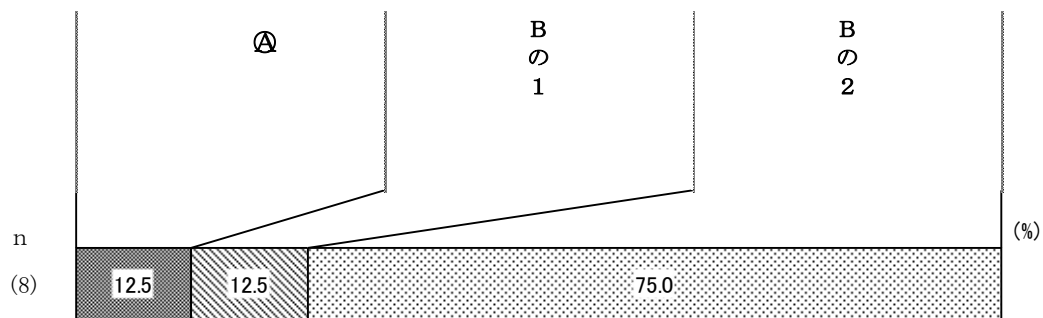
	調査数	身体障害者手帳	療育手帳	精神障害者保健福祉手帳	自立支援医療(精神通院医療)を利用している	手帳は持っておらず、自立支援医療(精神通院医療)も利用していない
全 体	34 100.0	1 2.9	8 23.5	7 20.6	9 26.5	16 47.1
0～2歳	- -	- -	- -	- -	- -	- -
3～5歳	16 100.0	- -	4 25.0	1 6.3	1 6.3	11 68.8
6～8歳	9 100.0	- -	1 11.1	1 11.1	2 22.2	5 55.6
9～11歳	1 100.0	1 100.0	- -	- -	1 100.0	- -
12～14歳	1 100.0	- -	- -	1 100.0	- -	- -
15歳以上	7 100.0	- -	3 42.9	4 57.1	5 71.4	- -

① 身体障害者手帳の等級

身体障害者手帳の等級では、「2級」が1名となっています。

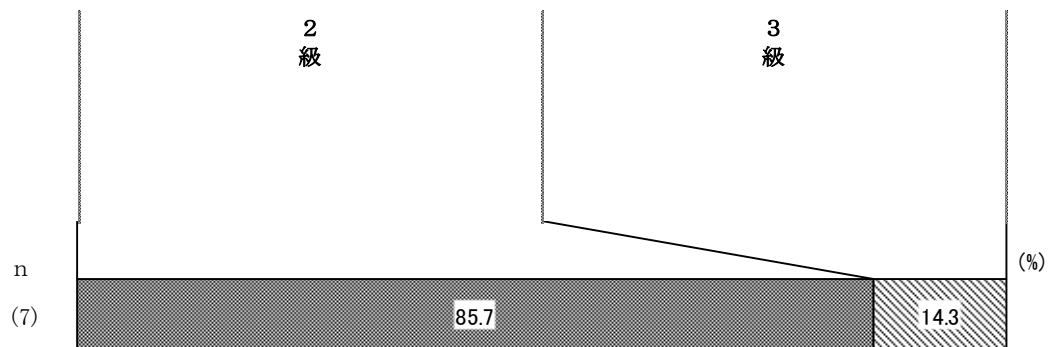
② 療育手帳の程度

療育手帳の程度をお持ちの方は8名で、そのうち「Bの2」が6名となっています。



③ 精神障害者保健福祉手帳の等級

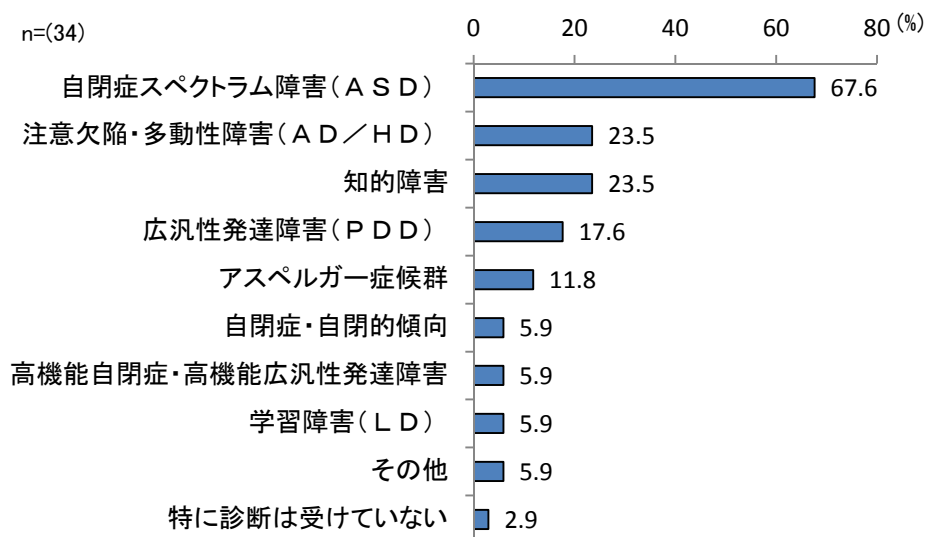
精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方は7名で、そのうち6名が「2級」となっています。



#### (5) 発達障害の種類

問5 あなたが受けている最新の診断名をお聞きます。(〇はいくつでも)

「自閉症スペクトラム障害 (ASD)」が67.6%で最も多くなっています。



#### (6) 難病の種類

問6 難病に罹患している方におたずねします。あなたの難病の種類は次のどちらですか。(〇は1つ)

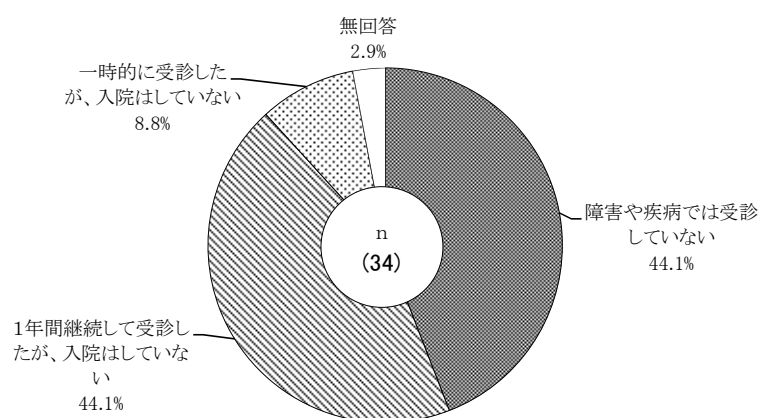
回答者は0名となっています。

## 2. 医療機関への受診状況について

### (1) 医療機関の受診状況

問7 あなたは最近1年間に、障害や疾病が原因で医療機関を受診しましたか。(〇は1つ)

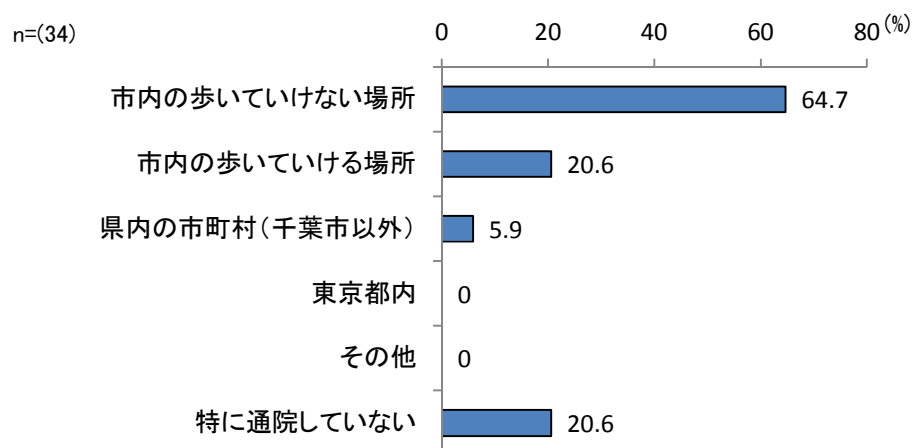
「1年間継続して受診したが、入院はしていない」と「障害や疾病では受診していない」が44.1%となっています。



### (2) 通院先の所在地

問8 あなたの「医療」についておたずねします。あなたはどこの病院に通院していますか。(〇はいくつでも)

「市内の歩いていけない場所」が64.7%で最も多くなっています。

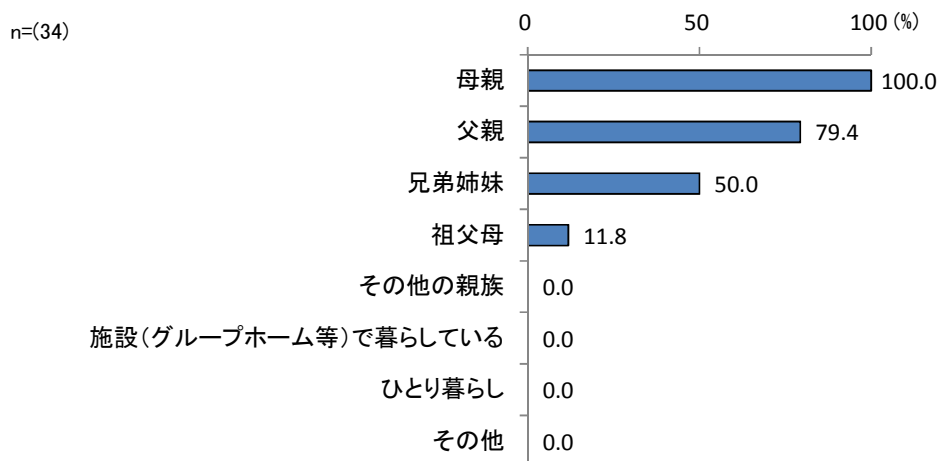


### 3. 家族や介助者について

#### (1) 同居者

問9 あなたは、どなたと一緒に暮らしていますか。(〇はいくつでも)

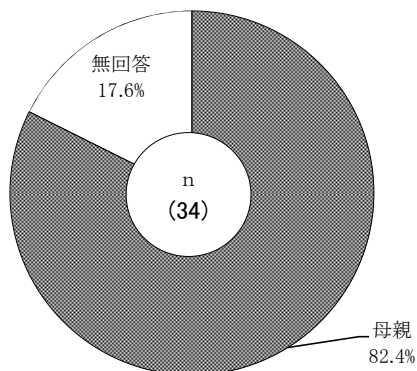
「母親」が100.0%で最も多く、以下「父親」が79.4%、「兄弟姉妹」が50.0%となっています。



#### (2) 主な介助者

問10 あなたへの介助について、主な介助者はどなたですか。(〇は1つ)

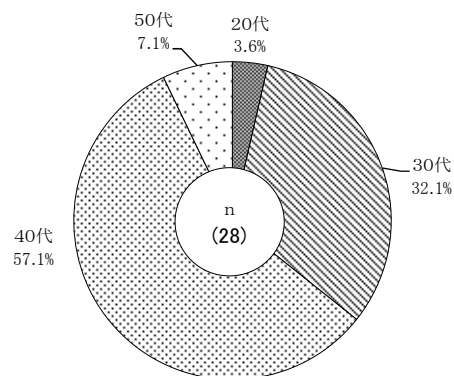
「母親」が82.4%となっています。



### (3) 主な介助者の年齢

問 11 【問 10で主な介助者が家族・親族（1～5 番）に○をつけた方におたずねします。】  
主な介助者の年齢をお答えください。（○は1つ）

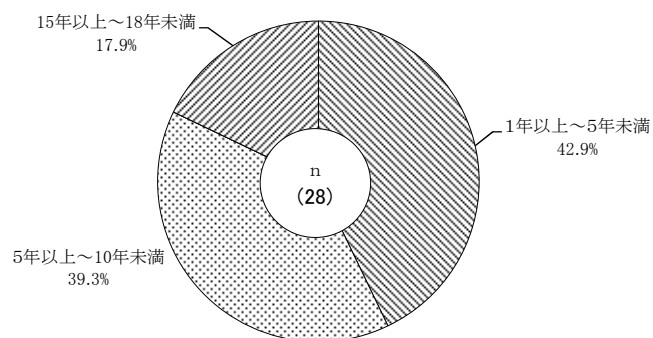
「40代」が57.1%で最も多く、次いで「30代」が32.1%となっています。



### (4) 主な介助者の介助継続年数

問 12 【問 10で主な介助者が家族・親族（1～5 番）に○をつけた方におたずねします。】  
主な介助者の介助継続年数をお答えください。（○は1つ）

「1年以上～5年未満」が42.9%、「5年以上～10年未満」が39.3%と、いずれも4割前後となっています。





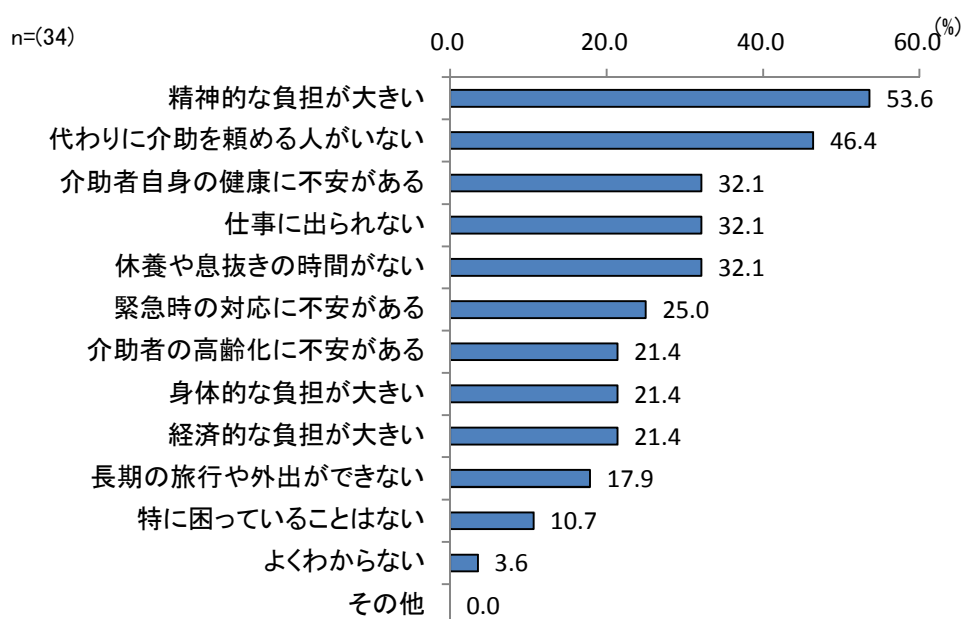
## (5) 主な介助者が困っていること

問 13 【問 10 で主な介助者が家族・親族（1～5 番）に○をつけた方におたずねします。  
主な介助者が困っていることは何ですか。（○はいくつでも）

「精神的な負担が大きい」が 53.6%で最も多く、次いで「代わりに介助を頼める人がいない」が 46.4%となっています。

なお、前回調査と比較すると、「代わりに介助を頼める人がいない」が、今回の調査では増加しています。

## ●全体



## ●経年比較

	調査数	介助者自身の健康に不安がある	介助者の高齢化に不安がある	代わりに介助を頼める人がいない	緊急時の対応に不安がある	身体的な負担が大きい	精神的な負担が大きい	経済的な負担が大きい
今回 (平成28年度)	28 100.0	9 32.1	6 21.4	13 46.4	7 25.0	6 21.4	15 53.6	6 21.4
増減		▲6.8	▲4.7	7.5	▲19.4	▲0.8	▲2.0	▲11.9
前回 (平成25年度)	18 100.0	7 38.9	3 16.7	7 38.9	8 44.4	4 22.2	10 55.6	6 33.3

	調査数	仕事に出られない	長期の旅行や外出ができない	休養や息抜きの時間がない	特に困っていることはない	よくわからない	その他
今回 (平成28年度)	28 100.0	9 32.1	5 17.9	9 32.1	3 10.7	1 3.6	0
増減		4.3	1.2	▲12.3	▲0.4	▲2.0	▲5.6
前回 (平成25年度)	18 100.0	5 27.8	3 16.7	8 44.4	2 11.1	1 5.6	1 5.6

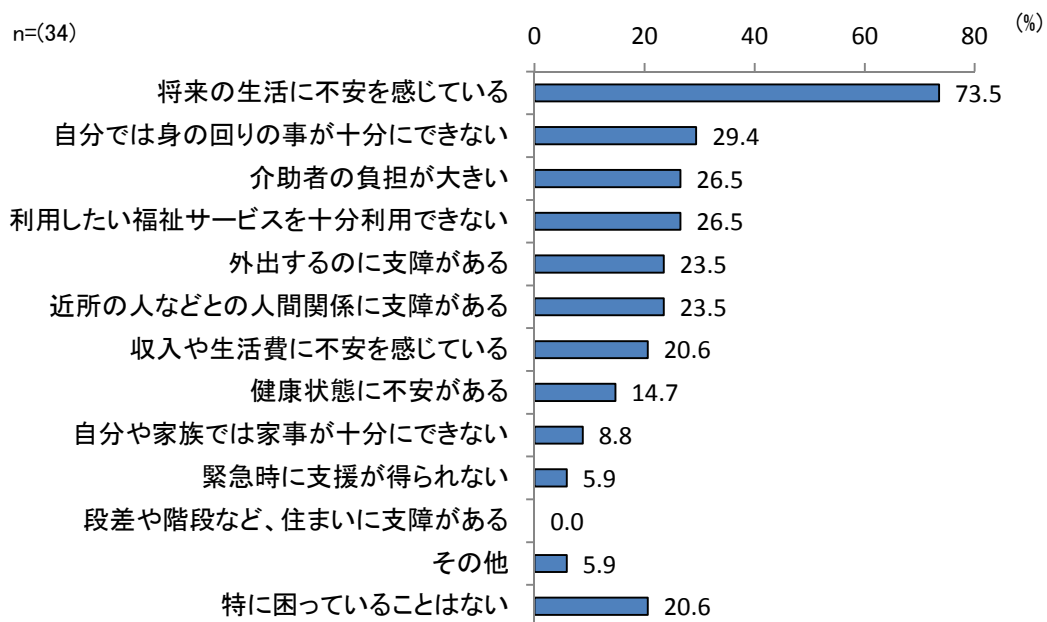
## 4. 相談や情報入手について

### (1) 日常生活で困っていること

問 14 あなた（や保護者・ご家族の方）は、日常生活で困っていることはありますか。  
（〇はいくつでも）

「将来の生活に不安を感じている」が 73.5%で最も多く、以下「自分では身の回りの事が十分にできない」が 29.4%、「介助者の負担が大きい」、「利用したい福祉サービスを十分利用できない」が 26.5%となっています。

なお、前回調査と比較すると、「将来の生活に不安を感じている」が増加しています。



### ●経年比較

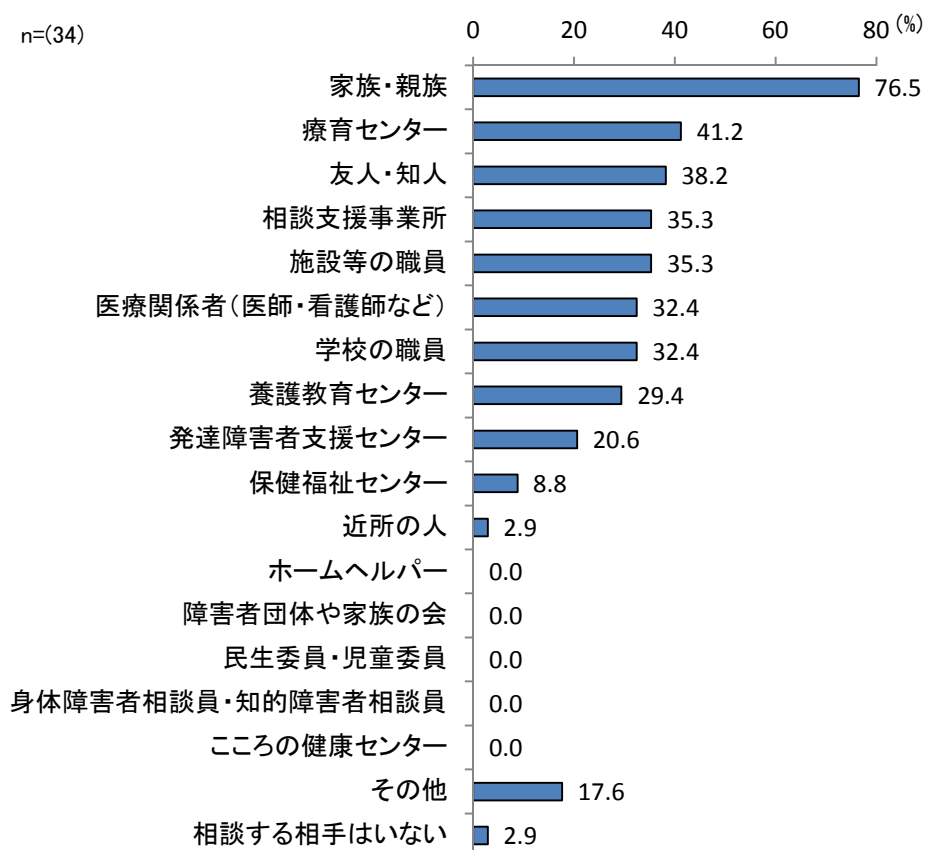
	調査数	自分では身の回りの事が十分にできない	自分や家族では家事が十分にできない	健康状態に不安がある	介助者の負担が大きい	段差や階段など、住まいに支障がある	外出するのに支障がある
今回 (平成28年度)	34 100.0	10 29.4	3 8.8	5 14.7	9 26.5	0 0.0	8 23.5
増減		1.4	▲3.2	▲1.3	2.6	10.0	▲8.5
前回 (平成25年度)	25 100.0	7 28.0	3 12.0	4 16.0	6 24.0	0 0.0	8 32.0

	調査数	利用したい福祉サービスを十分利用できない	収入や生活費に不安を感じている	緊急時に支援が得られない	近所の人などとの人間関係に支障がある	将来の生活に不安を感じている	特に困っていることはない	その他
今回 (平成28年度)	34 100.0	9 26.5	7 20.6	2 5.9	8 23.5	25 73.5	7 20.6	2 5.9
増減		▲1.5	▲7.4	▲10.1	3.5	13.5	8.6	1.9
前回 (平成25年度)	25 100.0	7 28.0	7 28.0	4 16.0	5 20.0	15 60.0	3 12.0	1 4.0

## (2) 困った時の相談先

問 15 あなた（や保護者）が困った時に相談する相手は誰（どこ）ですか。  
（〇はいくつでも）

「家族・親族」が76.5%で最も多く、次いで「療育センター」が41.2%となっています。  
なお、前回調査と比較すると、今回の調査では「家族・親族」が増加しています。



## ●経年比較

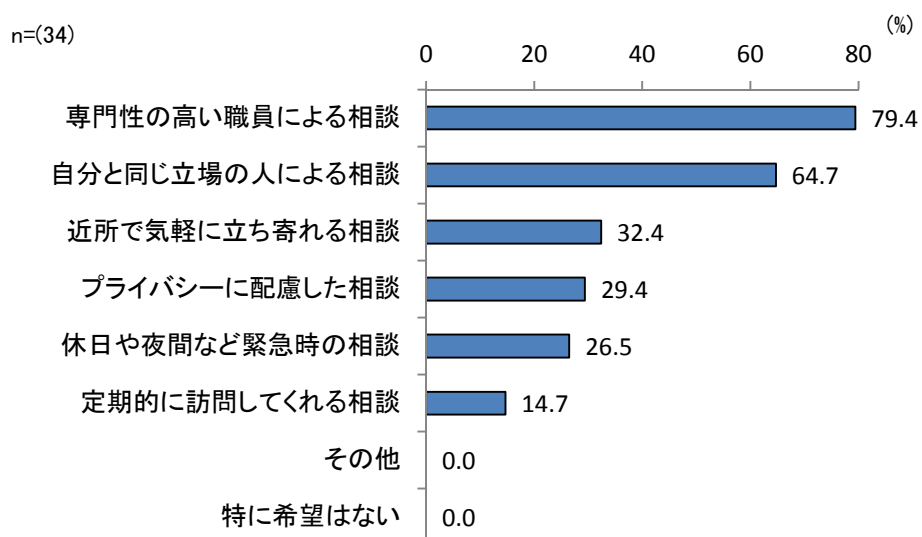
	調査数	家族・親族	友人・知人	近所の人	相談支援事業所	ホームヘルパー	施設等の職員	医療関係者(医師・看護師など)	障害者団体や家族の会	学校の職員
今回 (平成28年度)	34	26	13	1	12	0	12	11	0	11
	100.0	76.5	38.2	2.9	35.3	0.0	35.3	32.4	0.0	32.4
増減		12.5	6.2	2.9	27.3	0.0	7.3	4.4	▲12.0	12.4
前回 (平成25年度)	25	18	8	0	2	0	7	7	3	5
	100.0	64.0	32.0	0.0	8.0	0.0	28.0	28.0	12.0	20.0

	調査数	養護教育センター	民生委員・児童委員	身体障害者相談員・知的障害者相談員	保健福祉センター	療育センター	発達障害者支援センター	こころの健康センター	相談する相手はいない	その他
今回 (平成28年度)	34	10	0	0	3	14	7	0	1	6
	100.0	29.4	0.0	0.0	8.8	41.2	20.6	0.0	2.9	17.6
増減			0.0	0.0	4.8		▲3.4	10.0	▲9.1	1.6
前回 (平成25年度)	25		0	0	1		6	0	3	4
	100.0		0.0	0.0	4.0		24.0	0.0	12.0	16.0

### (3) 希望する相談制度

問16 あなた（や保護者・ご家族の方）は、どのような相談制度があれば、より便利だと思いますか。（〇はいくつでも）

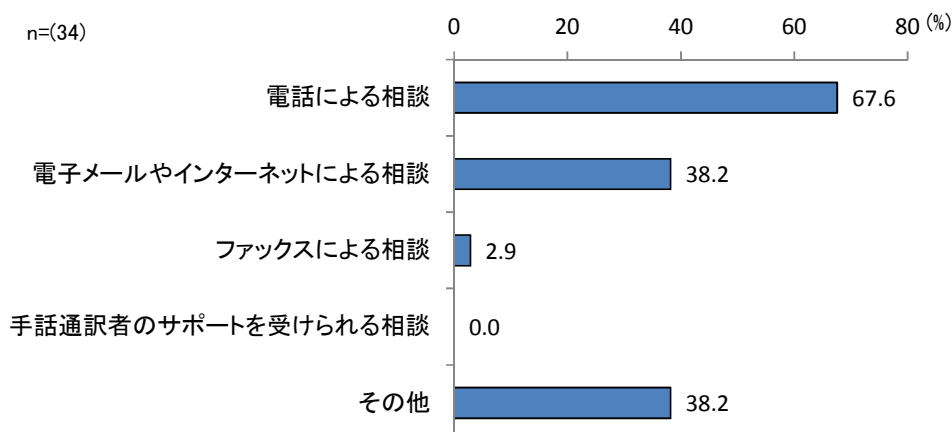
「専門性の高い職員による相談」が 79.4%で最も多く、次いで「自分と同じ立場の人による相談」が 64.7%となっています。



### (4) 相談しやすい方法

問17 あなた（やご家族の方）は、どのような相談方法が相談しやすいですか。（〇はいくつでも）

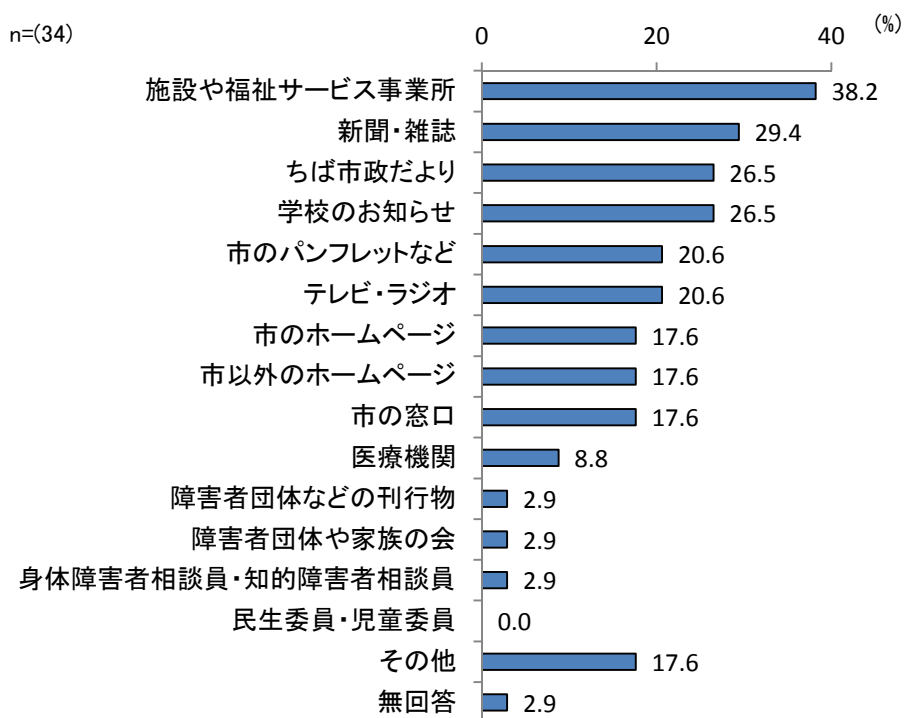
「電話による相談」が 67.6%で最も多く、次いで「電子メールやインターネットによる相談」が 38.2%となっています。



## (5) 福祉情報の入手先

問18 あなた（や保護者・ご家族の方）は、福祉に関する情報を、どこから知ることが多いですか。（〇はいくつでも）

「施設や福祉サービス事務所」が38.2%で最も多く、次いで「新聞・雑誌」が29.4%となっています。

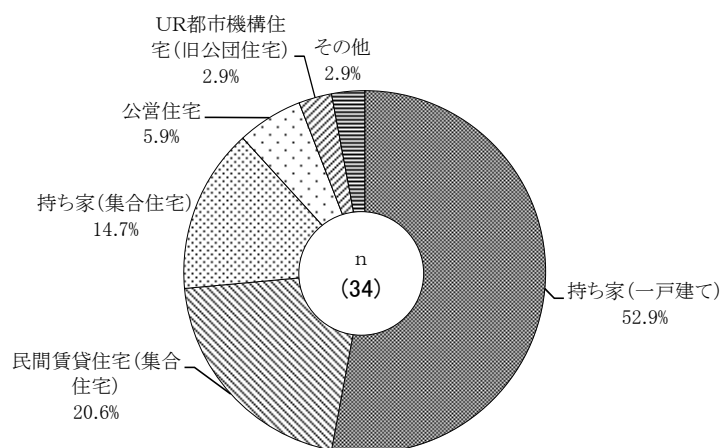


## 5. 暮らしについて

### (1) 住まいの種類

問 19 あなたのお住まいの種類をお聞きます。(○は1つ)

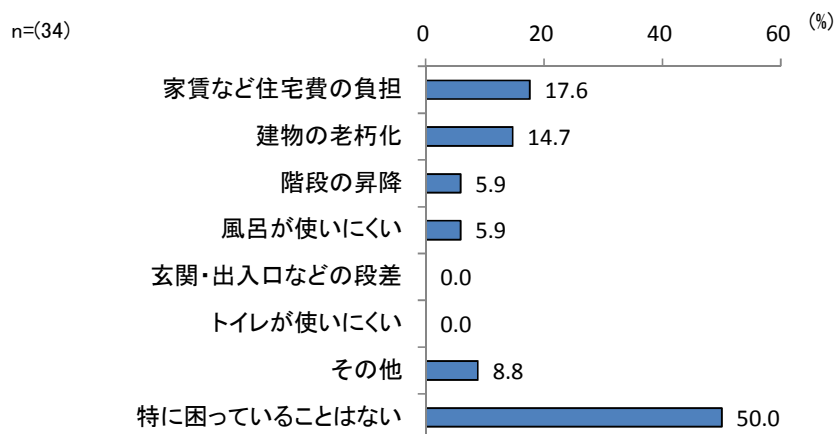
「持ち家(一戸建て)」が 52.9%で最も多く、次いで「民間賃貸住宅(集合住宅)」が 20.6%となっています。



### (2) 住まいについて困っていること

問 20 あなた(や保護者の方)には、住まいについて困っていることがありますか。(○はいくつでも)

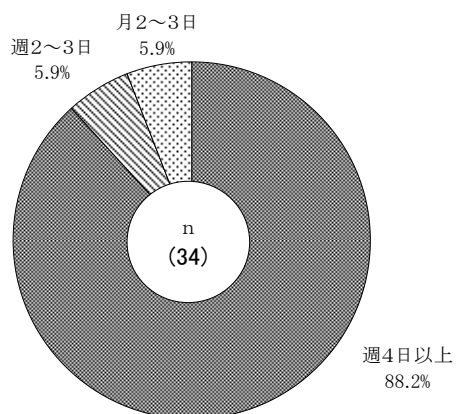
住まいについて困っていることについては「家賃など住宅費の負担」が 17.6%で最も多く、次いで「建物の老朽化」が 14.7%となっています。



### (3) 外出の頻度

問 21 あなたは、どのくらいの頻度で外出していますか。(○は1つ)

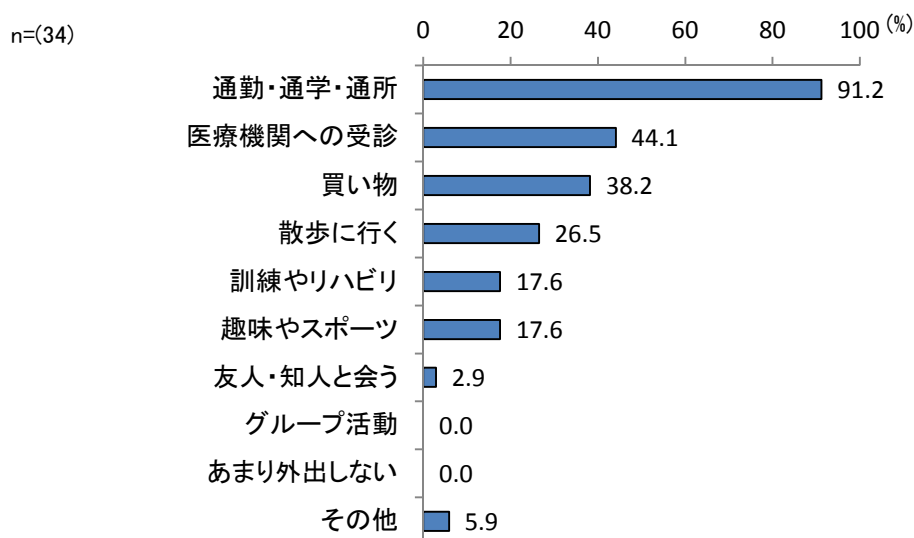
「週4日以上」が88.2%で最も多くなっています。



### (4) 外出の目的

問 22 あなたは、どのような目的で外出することが多いですか。(○はいくつでも)

「通勤・通学・通所」が91.2%で最も多く、以下「医療機関への受診」が44.1%、「買い物」が38.2%となっています。

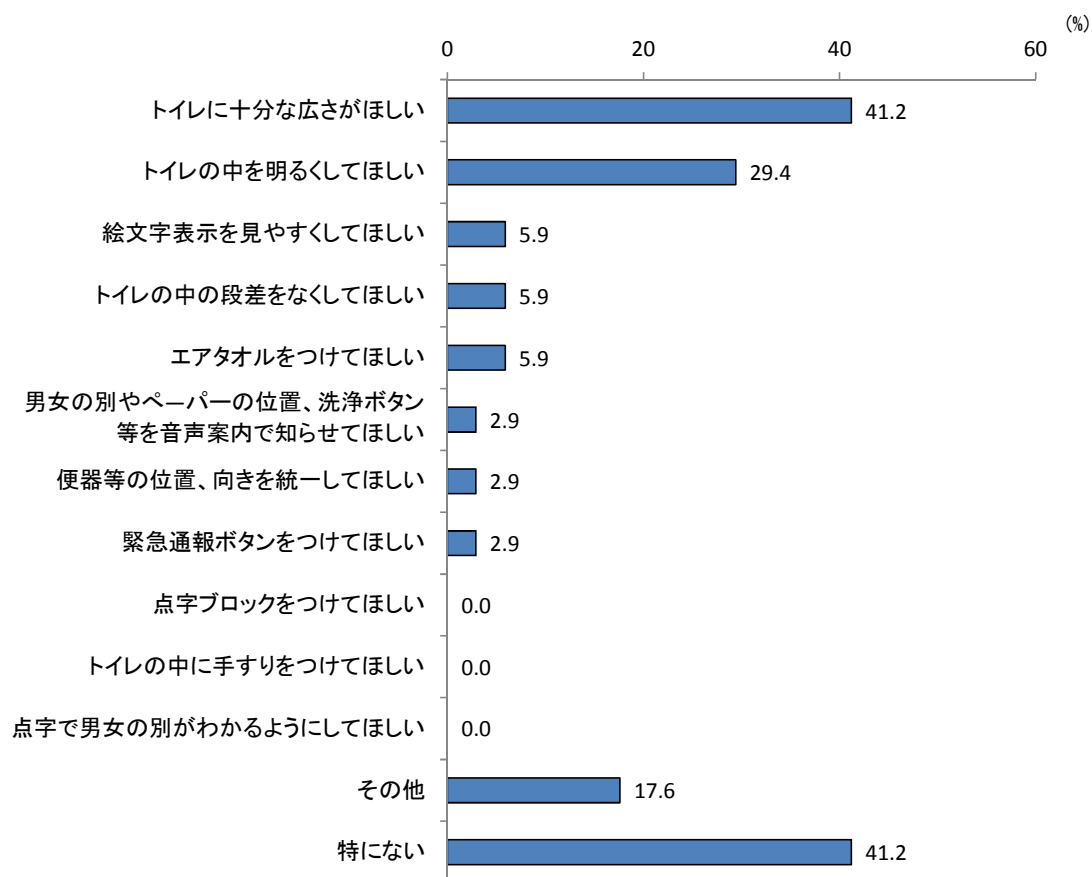


## (5) 外出先のトイレに望むこと

問23 外出先のトイレに望むことは何ですか。(〇はいくつでも)

外出先のトイレに望むことについては「トイレに十分な広さがほしい」が 41.2%で最も多く、次いで「トイレの中を明るくしてほしい」が 29.4%となっています。

n=(34)

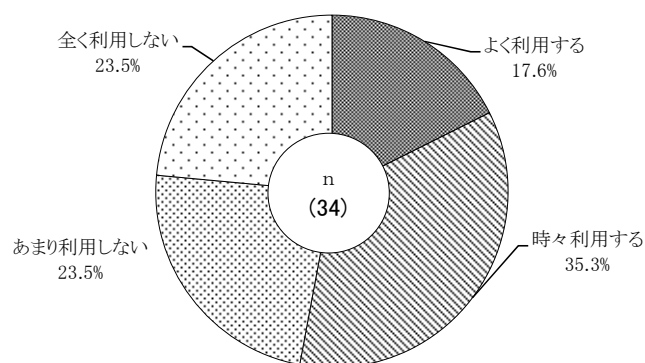




## （６）公園の利用状況

問24 あなたは日頃、近くの公園を利用していますか。（○は１つ）

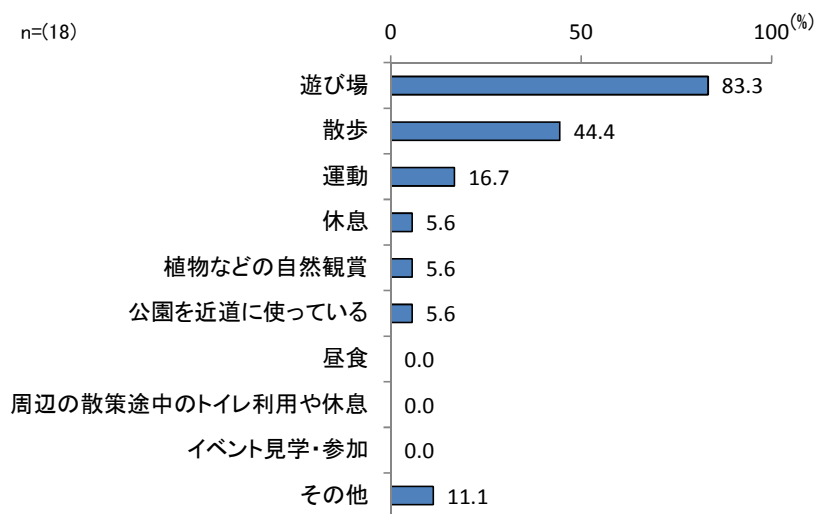
「よく利用する」が 17.6%、「時々利用する」が 35.3%となっています。



## （７）公園の利用目的

問25 問24で「１．よく利用する」または「２．時々利用する」に○をつけた方におたずねします】あなたが公園を利用する目的は何ですか。（○はいくつでも）

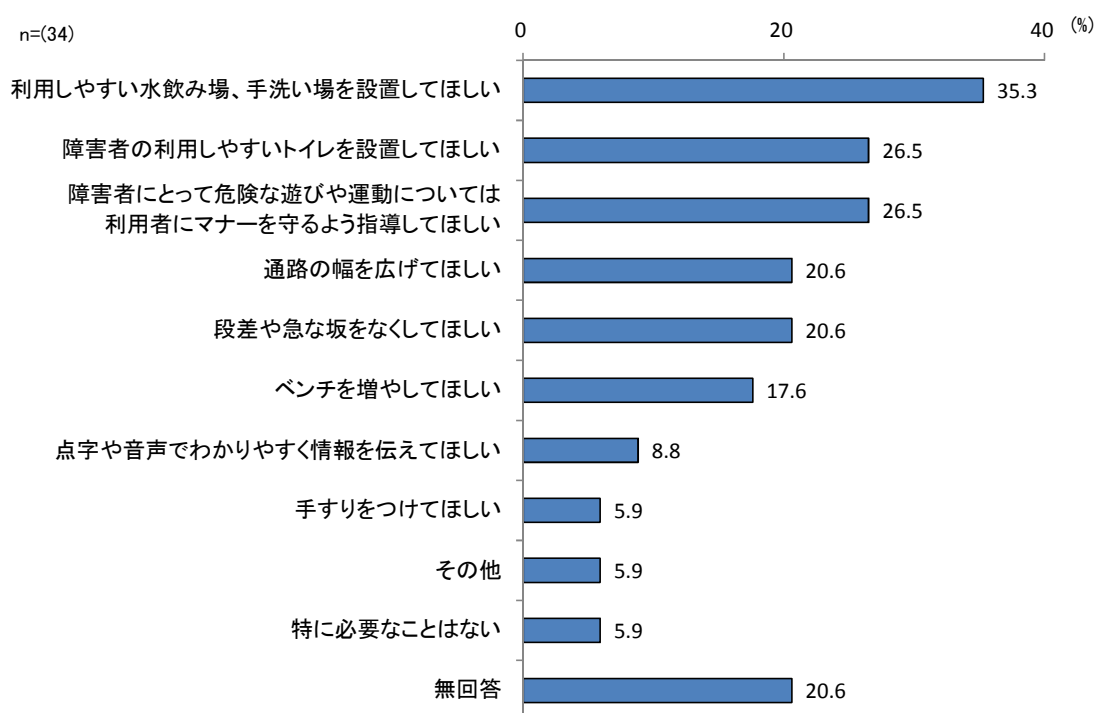
「遊び場」が 83.3%で最も多く、次いで「散歩」が 44.4%となっています。



## (8) 障害者の公園利用のために必要なこと

問26 あなたは、障害者が安心して公園を利用できるようにするために、何が必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

「利用しやすい水飲み場、手洗い場を設置してほしい」が35.3%で最も多く、次いで「障害者の利用しやすいトイレを設置してほしい」と「障害者にとって危険な遊びや運動については利用者にマナーを守るよう指導してほしい」が26.5%となっています。

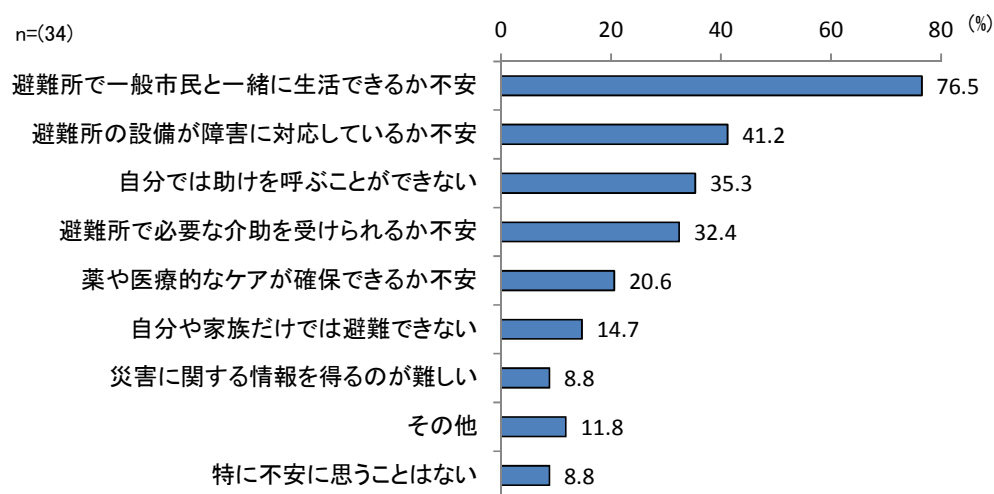


## 6. 災害対策について

### (1) 災害時に不安に思うこと

問27 あなた（や保護者・ご家族の方）は、地震などの災害が起きた時について、どのようなことを不安に思いますか。（〇はいくつでも）

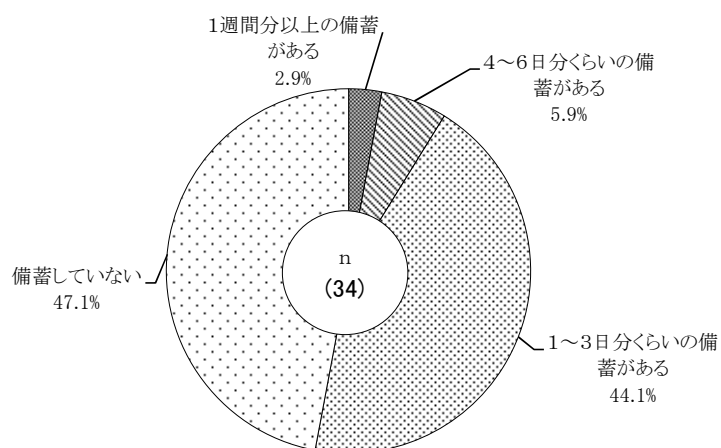
「避難所で一般市民と一緒に生活できるか不安」が 76.5%で最も多く、以下「避難所の設備が障害に対応しているか不安」が 41.2%、「自分では助けを呼ぶことができない」が 35.3%となっています。



## (2) 災害発生に備えた備蓄状況

問28 あなたは、災害発生に備えて、避難生活に必要な物資（薬や装具等）を、備蓄していますか。（○は1つ）

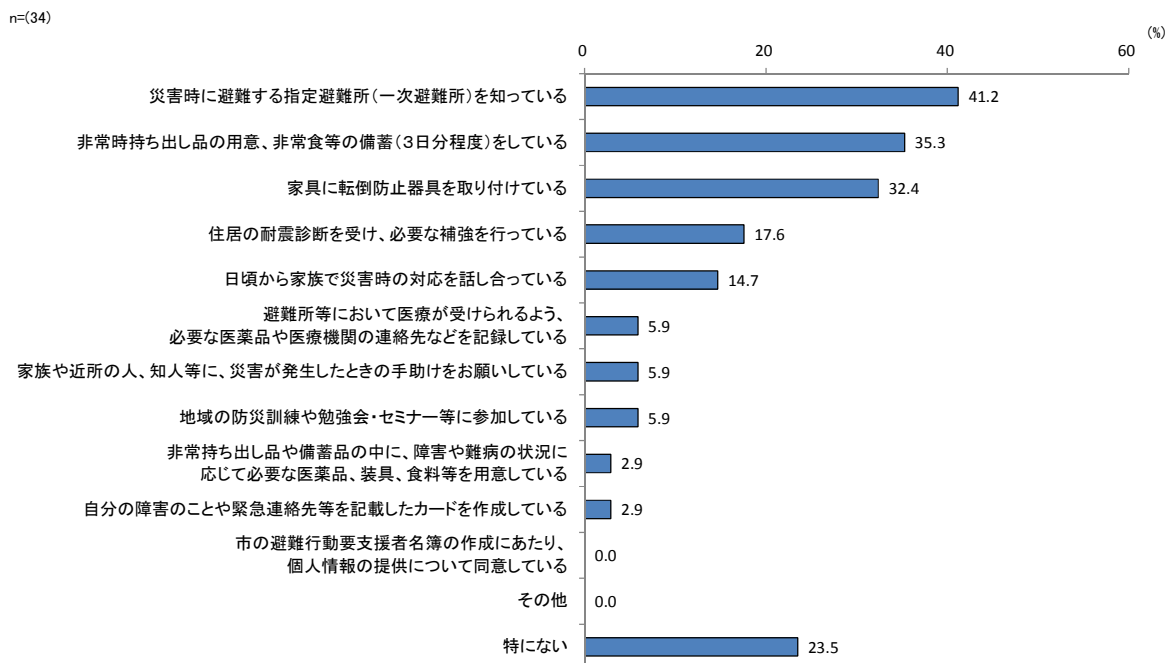
「1～3日分くらいの備蓄がある」が44.1%で最も多くなっています。



### (3) 災害に対する備え

問 29 あなたは、災害に対してどのような備えをしていますか。(〇はいくつでも)

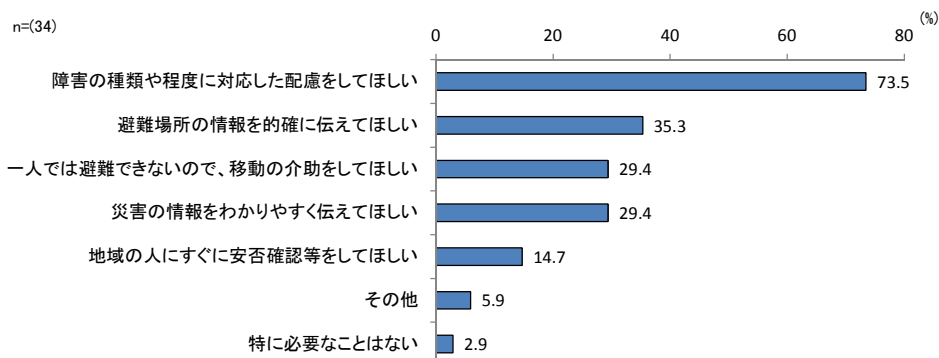
「災害時に避難する指定避難所（一次避難所）を知っている」が 41.2%で最も多く、以下「非常時持ち出し品の用意、非常食等の備蓄（3 日分程度）」をしている」が 35.3%、「家具に転倒防止器具を取り付けている」が 32.4% となっています。



### (4) 災害で避難する場合に必要な支援

問 30 あなたは、災害で避難する場合に、どのような支援をしてほしいですか。(〇はいくつでも)

「障害の種類や程度に対応した配慮をしてほしい」が 73.5%で最も多く、次いで「避難場所の情報を的確に伝えてほしい」が 35.3%となっています。

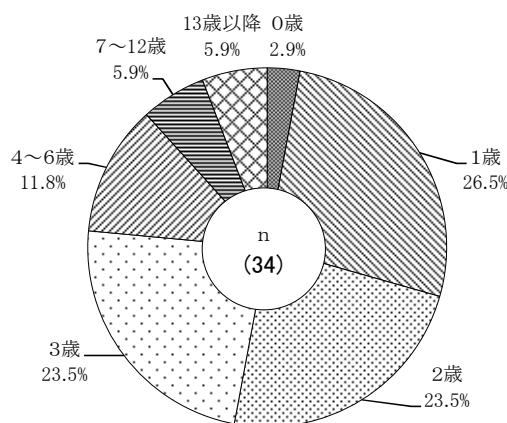


## 7. 療育・保育について

### (1) 障害に気づいた時期

問 31 保護者・ご家族の方が、あて名のお子さんの障害に気づいたのはいつですか。  
(○は1つ)

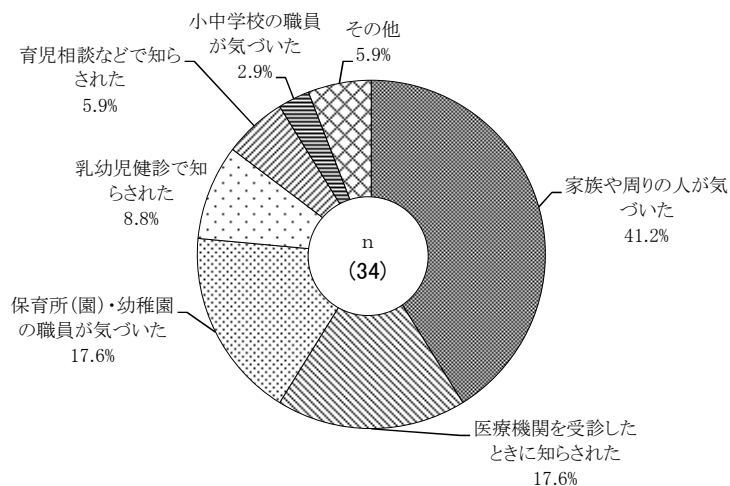
「1歳」が26.5%、「2歳」、「3歳」が23.5%と、いずれも2割を超えています。



### (2) 障害に気づいたきっかけ

問 32 保護者・ご家族の方が、あて名のお子さんの障害に気づいたきっかけは何ですか。(○は1つ)

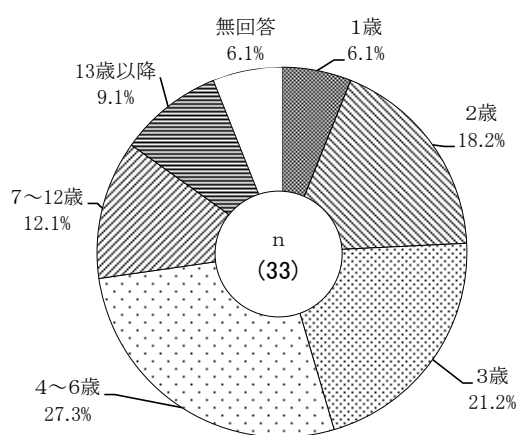
「家族や周りの人が気づいた」が41.2%で最も多く、次いで「医療機関を受診したときに知らされた」、「保育所(園)・幼稚園の職員が気づいた」が17.6%となっています。



### (3) 診断・判定を受けた年齢

問 33 【医師による診断名が出ている方（問5で特に診断は受けていない（9番）に○をつけなかった方）におたずねします。】あなたが、診断・判定を受けたのは何歳の時ですか。（○は1つ）

「4～6 歳」が 27.3%で最も多く、以下「3歳」が 21.2%、「2歳」が 18.2%となっています。



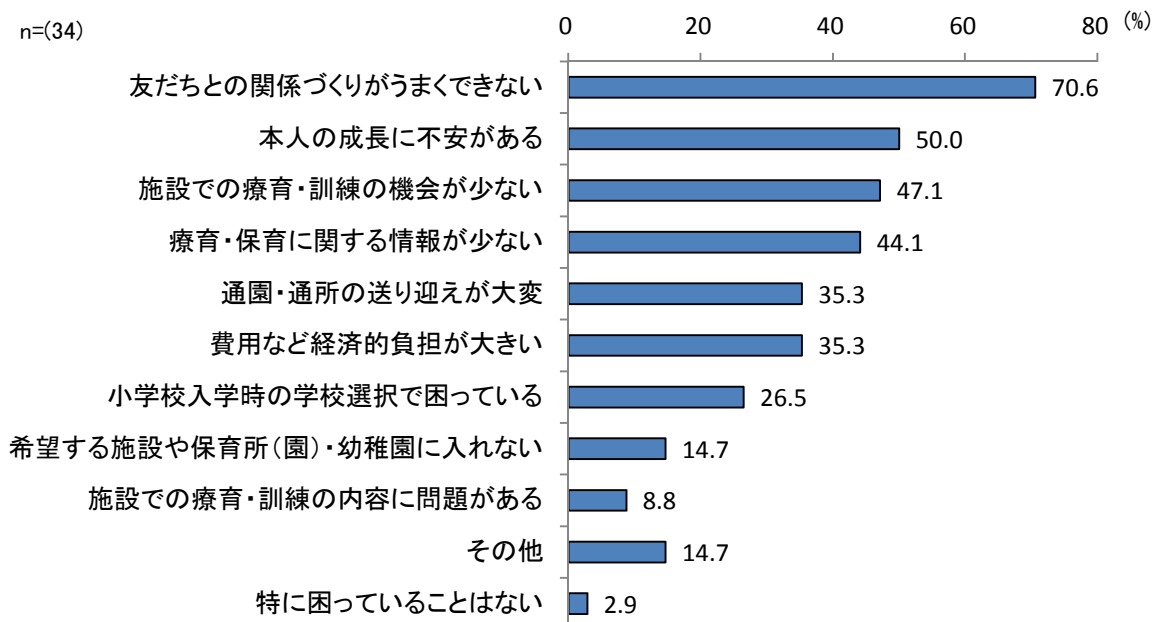
#### (4) 療育・保育について困っていること

問 34 保護者・ご家族の方が、あて名のお子さんの療育・保育について困っている（または以前に困ったことがある）ことはありますか。（〇はいくつでも）

「友だちとの関係づくりがうまくできない」が 70.6%で最も多く、以下「本人の成長に不安がある」が 50.0%「施設での療育・訓練の機会が少ない」が 47.1%となっています。

年齢別でみると、3～5歳、6～8歳では、「友だちとの関係づくりがうまくできない」が他の年代より多くなっています。また、6～8歳では「療育・保育に関する情報が少ない」が他の年代より多くなっています。

前回調査と比較すると、今回「友だちとの関係づくりがうまくできない」が増加し、その一方、「本人の成長に不安がある」は減少しています。





# ●年齢別

	調査数	療育・保育に関する情報が少ない	希望する施設や保育所(園)・幼稚園に入れない	施設での療育・訓練の機会が少ない	施設での療育・訓練の内容に問題がある	本人の成長に不安がある	友だちとの関係づくりがうまくできない
全 体	34 100.0	15 44.1	5 14.7	16 47.1	3 8.8	17 50.0	24 70.6
0～2歳	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
3～5歳	16 100.0	6 37.5	1 6.3	6 37.5	1 6.3	8 50.0	12 75.0
6～8歳	9 100.0	6 66.7	3 33.3	7 77.8	2 22.2	6 66.7	7 77.8
9～11歳	1 100.0	1 100.0	- -	1 100.0	- -	- -	1 100.0
12～14歳	1 100.0	- -	- -	- -	- -	1 100.0	1 100.0
15歳以上	7 100.0	2 28.6	1 14.3	2 28.6	- -	2 28.6	3 42.9

	調査数	通園・通所の送り迎えが大変	費用など経済的負担が大きい	小学校入学時の学校選択で困っている	特に困っていることはない	その他
全 体	34 100.0	12 35.3	12 35.3	9 26.5	1 2.9	5 14.7
0～2歳	- -	- -	- -	- -	- -	- -
3～5歳	16 100.0	3 18.8	3 18.8	6 37.5	1 6.3	1 6.3
6～8歳	9 100.0	6 66.7	5 55.6	3 33.3	- -	2 22.2
9～11歳	1 100.0	1 100.0	- -	- -	- -	- -
12～14歳	1 100.0	- -	1 100.0	- -	- -	- -
15歳以上	7 100.0	2 28.6	3 42.9	- -	- -	2 28.6

## ●経年比較

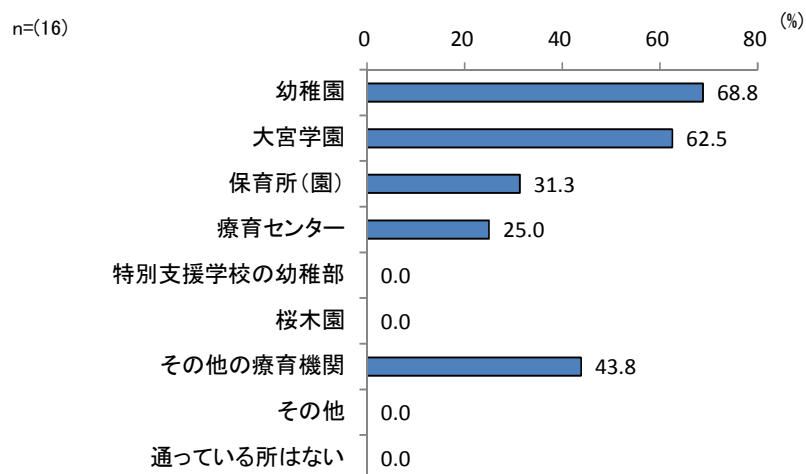
	調査数	療育・保育に関する情報が少ない	希望する施設や保育所(園)・幼稚園に入れない	施設での療育・訓練の機会が少ない	施設での療育・訓練の内容に問題がある	本人の成長に不安がある	友だちとの関係づくりがうまくできない
今回 (平成28年度)	34 100.0	15 44.1	5 14.7	16 47.1	3 8.8	17 50.0	24 70.6
	増減	▲7.9	5.3	11.1	▲11.2	▲26.0	14.6
前回 (平成25年度)	25 100.0	13 52.0	5 20.0	9 36.0	5 20.0	19 76.0	14 56.0

	調査数	通園・通所の送り迎えが大変	費用など経済的負担が大きい	小学校入学時の学校選択で困っている	特に困っていることはない	その他
今回 (平成28年度)	34 100.0	12 35.3	12 35.3	9 26.5	1 2.9	5 14.7
	増減	15.3	73	10.5	▲1.1	▲1.3
前回 (平成25年度)	25 100.0	5 20.0	7 28.0	4 16.0	1 4.0	4 16.0

(5) 現在通っているところ（小学校入学前）

問 35 【あなた（あて名のお子さん）が小学校入学前の方におたずねします。】あなたが現在通っているところがありますか。（〇はいくつでも）

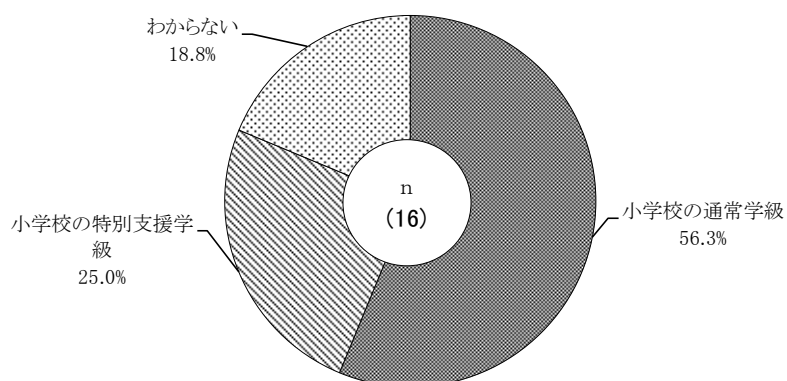
「幼稚園」が68.8%、「大宮学園」が62.5% と、いずれも6割を超えています。



(6) 小学校入学時の希望

問 36 【あなた（あて名のお子さん）が小学校入学前の方におたずねします。】あなたが小学校（小学部）に入学するとき、どの学校・学級に通わせたいと思いますか。（〇は1つ）

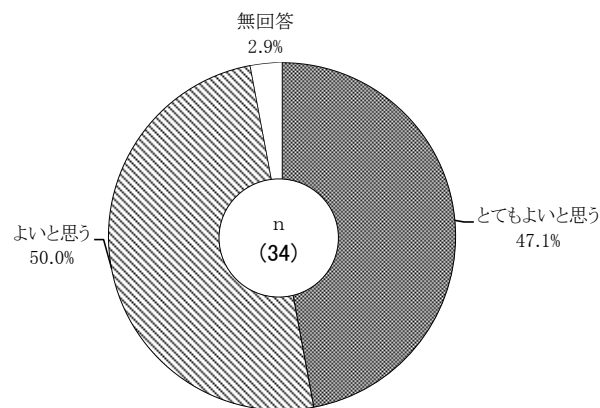
「小学校の通常学級」が56.3%で最も多く、次いで「小学校の特別支援学級」が25.0%となっています。



(7) 子どもの支援に関する情報が小学校に提供されることについて

問 37 【保護者の方におたずねします。】療育・保育から小学校に入学する際に、保護者の同意があった場合、お子さんの支援に関する情報が小学校に提供されることについてどう思いますか。(〇は1つ)

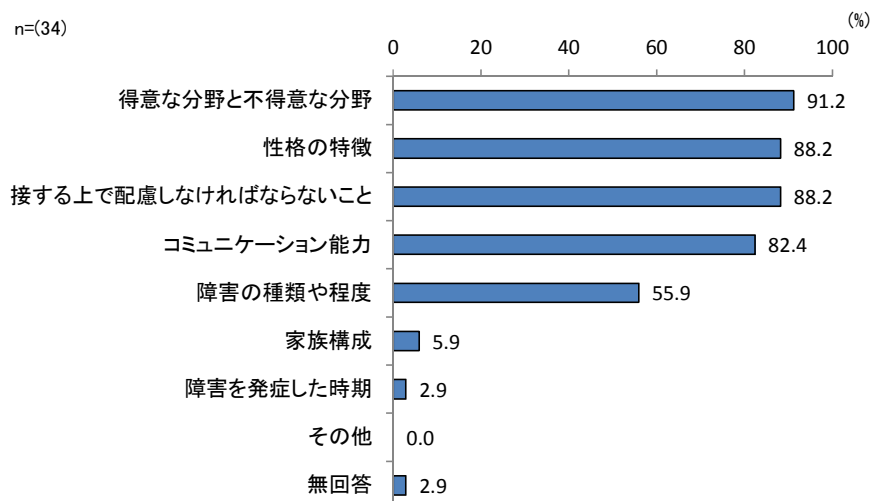
「とてもよいと思う」が47.1%、「よいと思う」が50.0%となっています。



(8) 小学校に提供されるとよい情報

問 38 【保護者の方におたずねします。】療育・保育から小学校に入学する際に、保護者の同意があった場合、お子さんの支援についてのどのような情報が小学校に提供されるとよいと思いますか。(〇はいくつでも)

「得意な分野と不得意な分野」が91.2%、「性格の特徴」、「接する上で配慮しなければならないこと」が88.2%と、いずれも9割前後を占めています。また、「コミュニケーション能力」も82.4%と多くなっています。

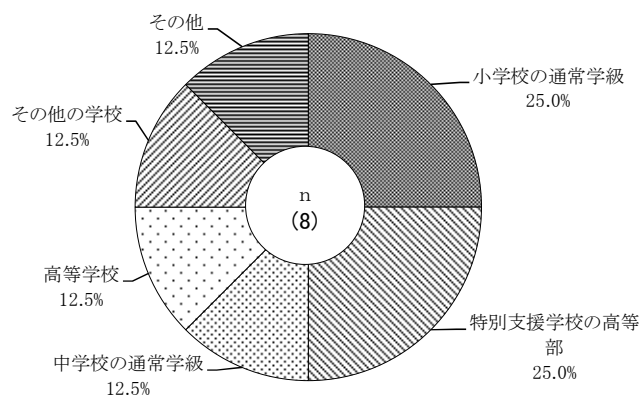


## 8. 学校・教育について

### (1) 現在通っているところ（在学中）

問 39 あなたは、主にどの学校・学級等に通っていますか。（〇は1つ）

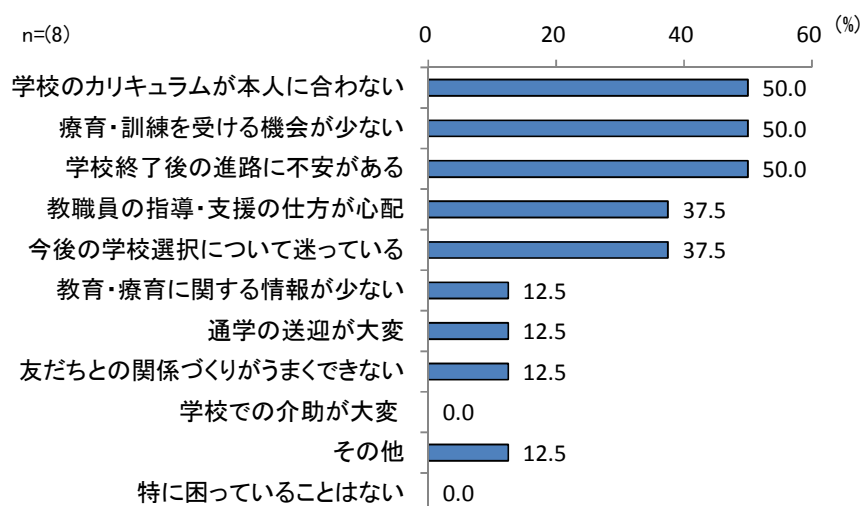
「小学校の通常学級」、「特別支援学校の高等部」が、いずれも 25.0%となっています。



## (2) 学校・教育について困っていること

問 40 あなた（や保護者・ご家族の方）は、学校や教育について、どのようなことで困っていますか。（〇はいくつでも）

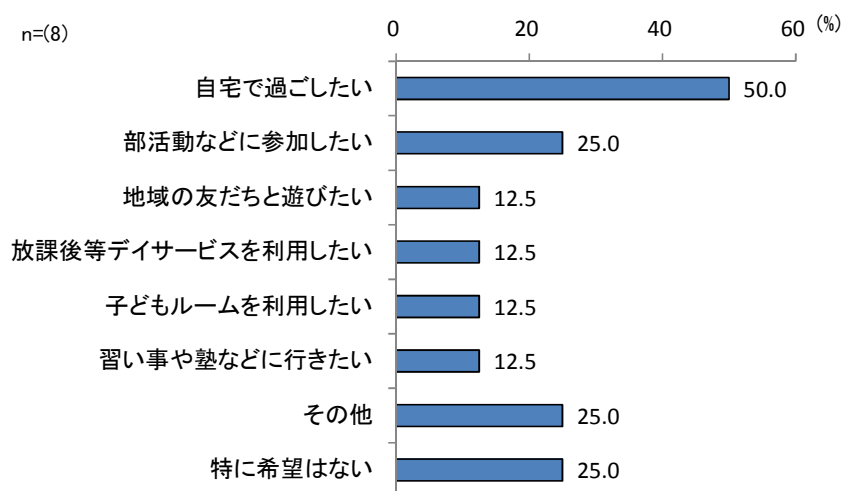
「学校のカリキュラムが本人には合わない」、「療育・訓練を受ける機会が少ない」、「学校終了後の進路に不安がある」が、いずれも 50.0% と多くなっています。



## (3) 放課後や夏休みの過ごし方

問 41 あなた（や保護者・ご家族の方）は、放課後や夏休みなどの過ごし方について、どのような希望をお持ちですか。（〇はいくつでも）

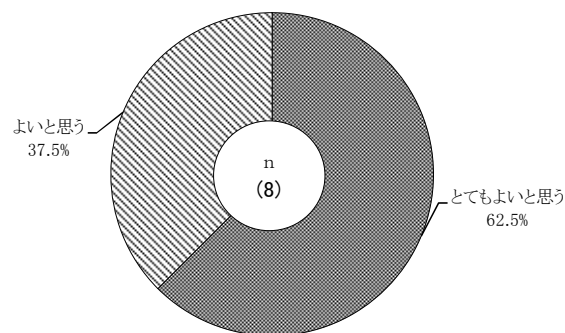
「自宅で過ごしたい」が 50.0% で最も多く、次いで「部活動などに参加したい」が 25.0% となっています。



(4) 子どもの支援に関する情報が中学校に提供されることについて

問 42 【保護者の方におたずねします。】小学校から中学校に入学する際に、保護者の同意があった場合、お子さんの支援に関する情報が中学校に提供されることについてどう思いますか。(○は1つ)

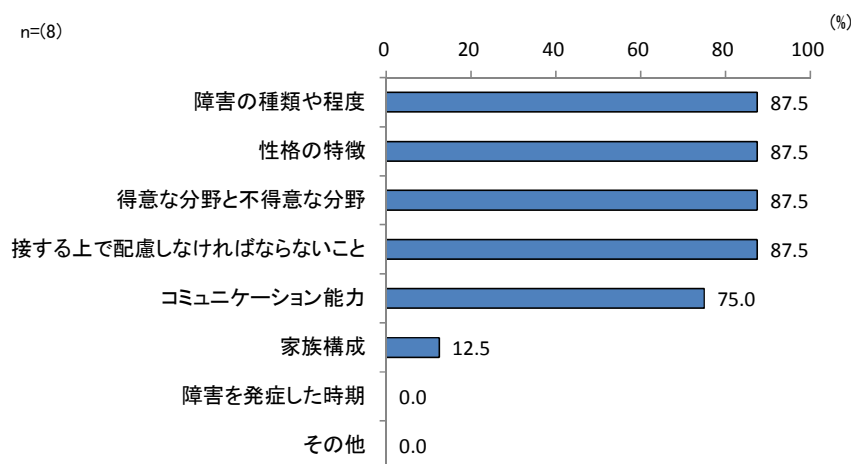
「とてもよいと思う」が62.5%、「よいと思う」が37.5%となっています。



(5) 中学校に提供されるとよい情報

問 43 【保護者の方におたずねします。】小学校から中学校に入学する際に、保護者の同意があった場合、お子さんの支援についてのどのような情報が中学校に提供されるとよいと思いますか。(○はいくつでも)

「障害の種類や程度」、「性格の特徴」、「得意な分野と不得意な分野」、「接する上で配慮しなければならないこと」が、いずれも 87.5% となっています。



(6) 中学校卒業後の進路希望

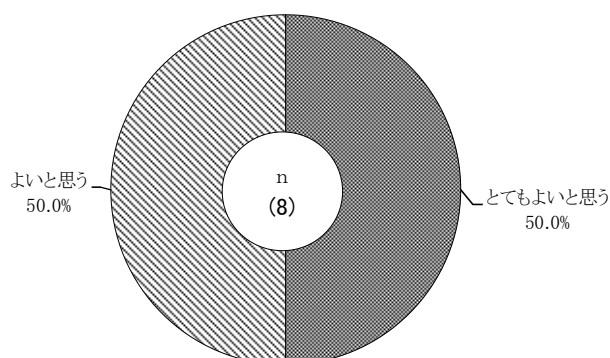
問 44 【小学校（小学部）・中学校（中学部）に通っている方におたずねします。】あなたは、中学校卒業後、どのような進路を希望していますか。（〇は1つ）

回答者数が少なかったため、結果については省略いたします。

(7) 子どもの支援に関する情報が高等学校に提供されることについて

問 45 【保護者の方におたずねします。】中学校から高等学校（高等部）に入学する際に、保護者の同意があった場合、お子さんの支援に関する情報が高等学校（高等部）に提供されることについてどう思いますか。（〇は1つ）

「とてもよいと思う」が50.0%、「よいと思う」が50.0%となっています。

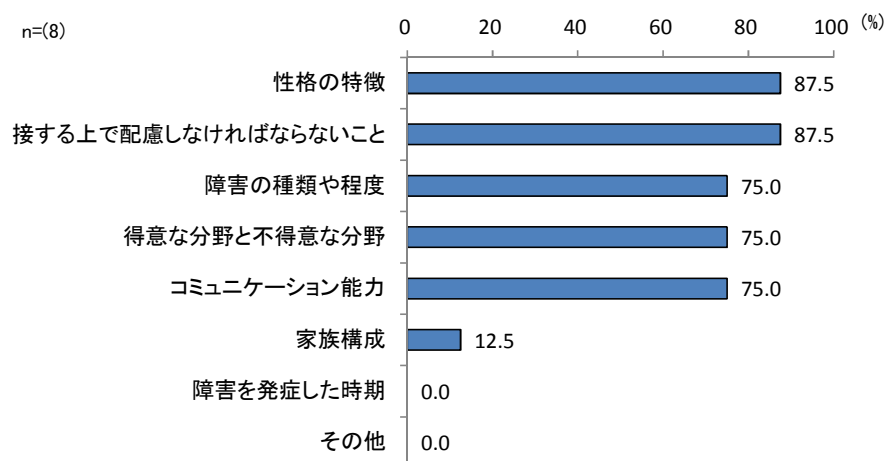




#### (8) 高等学校に提供されるとよい情報

問 46 【保護者の方におたずねします。】中学校から高等学校（高等部）に入学する際に、保護者の同意があった場合、お子さんの支援についてのどのような情報が高等学校（高等部）に提供されるとよいと思いますか。（〇はいくつでも）

「性格の特徴」、「接する上で配慮しなければならないこと」が 87.5% と多くなっています。



#### (9) 学校卒業後の進路希望

問 47 【高等学校（高等部）に通っている方におたずねします。】あなたは、学校卒業後、どのような進路を希望していますか。（〇は1つ）

高等学校（高等部）在学中の方のみを対象にしたことにより、回答者数が少なかったため、結果については省略いたします。

## 9. 日中活動・就労について

問48、49は、学校卒業後の方のみ対象（小学校入学前・在学中の場合は、回答不要）

### （1）日中の過ごし方

問48 あなたは、平日の日中を主にどのように過ごしていますか。（最もあてはまるものにひとつだけ○）

### （2）一般就労のために必要な支援

問49 あなたは、障害のある人が企業などで一般就労するためには、どのような支援が必要だと思いますか。（○はいくつでも）

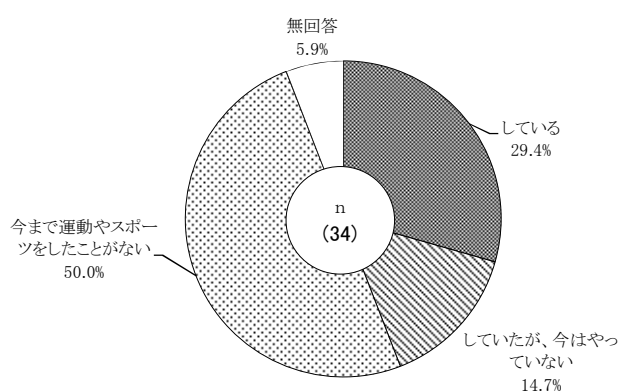
（1）日中の過ごし方、（2）一般就労のために必要な支援、に関する設問については、学校卒業後の方のみを対象にしたことにより、回答者数が少なかったため、結果については省略いたします。

## 10. 運動やスポーツについて

### (1) 運動やスポーツの実施状況

問 50 あなたは、運動やスポーツをしていますか。（学校に通っている方は、学校の授業を除く）

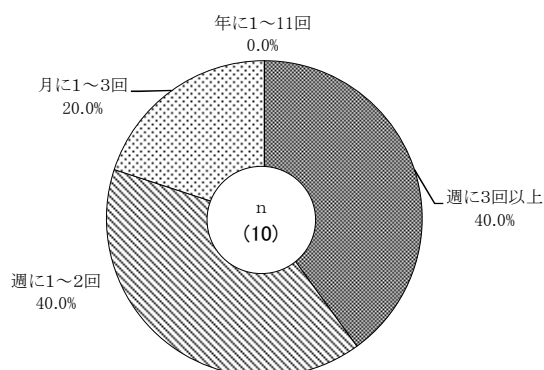
「している」が 29.4%、「していたが、今はやっていない」が 14.7%となっています。



### (2) 運動やスポーツの実施頻度

問 51 【問 50 で「1. している」に○をつけた方におたずねします】  
あなたは、どのくらいの頻度で運動やスポーツをしていますか。

「週に3回以上」、「週に1～2回」がいずれも 40.0%となっています。

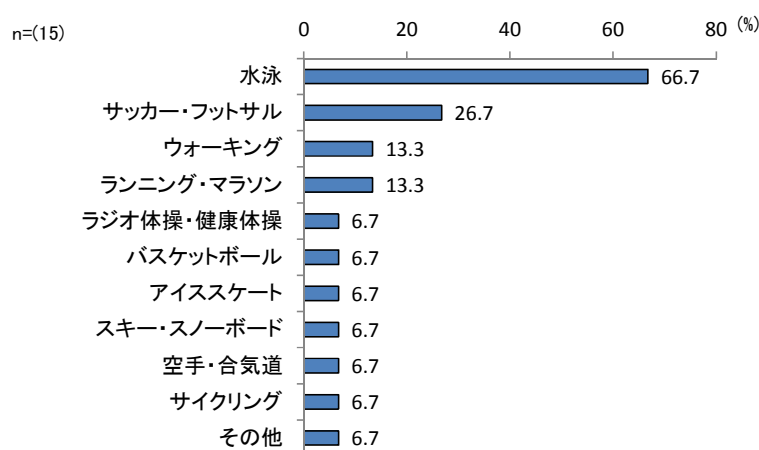


### (3)実施している（していた）運動やスポーツの種目

問 52 【問 50 で「1. している」または「2. していたが、今はやっていない」に○をつけた方におたずねします】

あなたが行っている(行っていた)運動やスポーツの種目は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

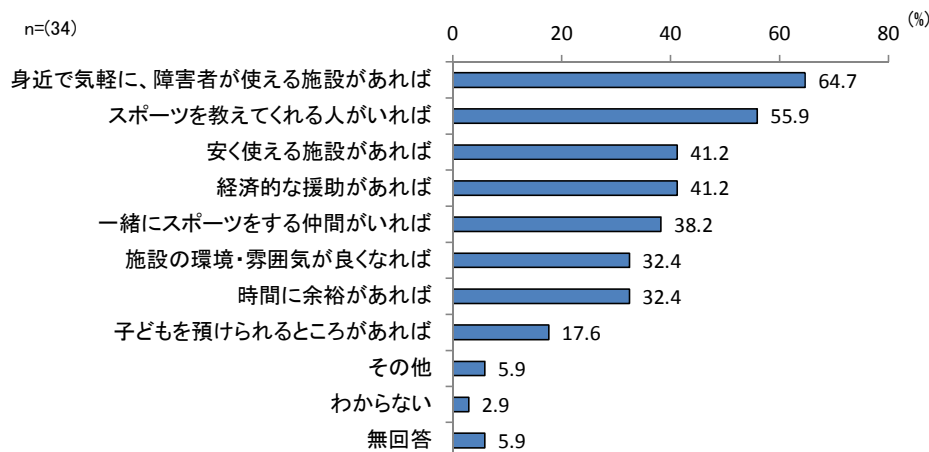
「水泳」が66.7%で最も多く、次いで「サッカー・フットサル」が26.7%となっています。



### (4) 障害者がスポーツ活動をより多く行うために必要なこと

問 53 今後、障害のある方がスポーツ活動を、より多く行うためには、どのようになればいいと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

「身近で気軽に、障害者が使える施設があれば」が64.7%で最も多く、以下「スポーツを教えてくれる人がいれば」が55.9%、「安く使える施設があれば」と「経済的な援助があれば」が41.2%となっています。

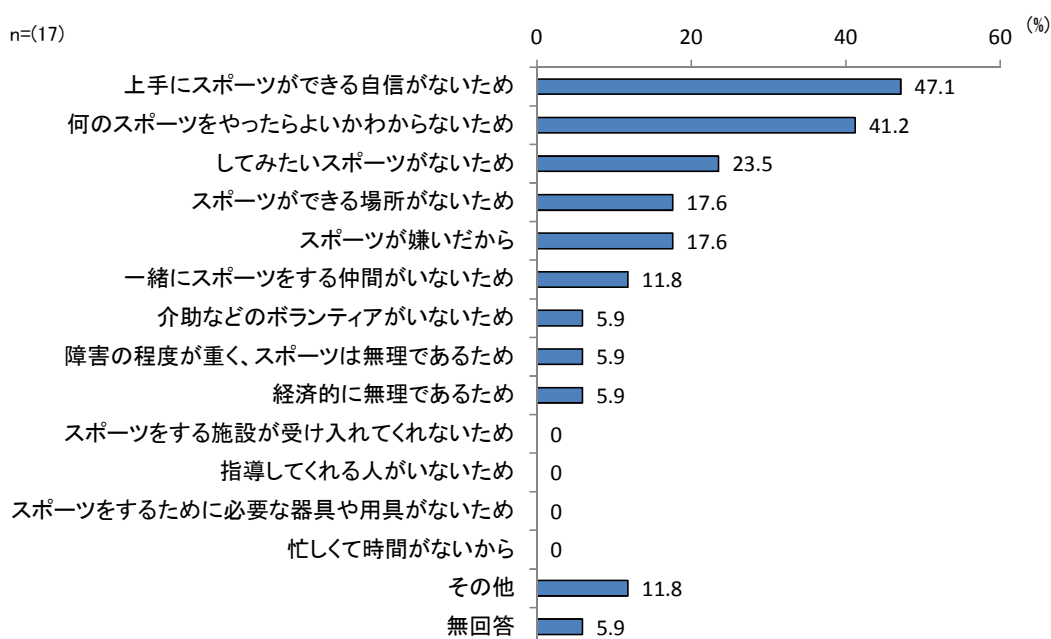


(5) スポーツをしない理由

問 54 【問 50 で「3. 今まで運動やスポーツをしたことがない」に○を付けた方におたずねします】

あなたがスポーツをしない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

「上手にスポーツができる自信がないため」が47.1%、「何のスポーツをやったらよいかわからないため」が41.2%と、いずれも4割を超えています。

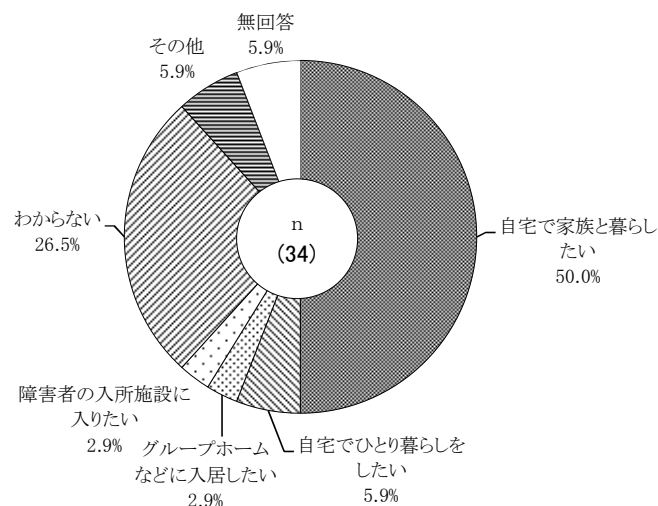


## 1 1. 将来について

### (1) 将来の暮らし方の希望

問 55 あなたは将来、どのような暮らし方をしたいと思いますか。(〇は1つ)

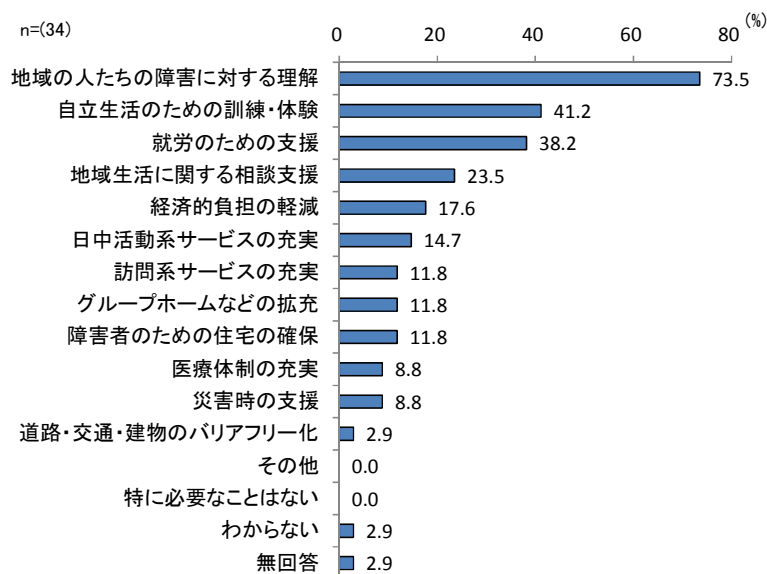
「自宅で家族と暮らしたい」が50.0%で最も多くなっています。



### (2) 地域で生活するために必要なこと

問 56 あなたは、障害のある人が地域で生活していくためには、何が必要だと思いますか。(〇は3つまで)

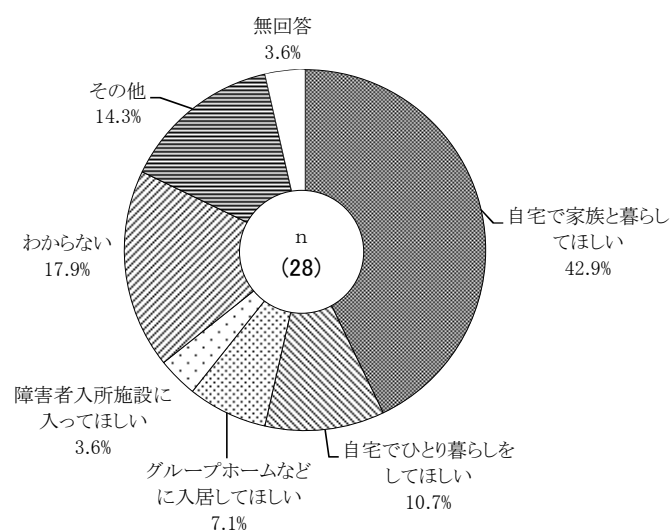
「地域の人たちの障害に対する理解」が73.5%で最も多く、以下「自立生活のための訓練・体験」が41.2%、「就労のための支援」が38.2%となっています。



### (3) 将来希望する被介助者の暮らし方

問 57 【主介助者の方におたずねします。】今あなたが介助をしている人に、将来どのような暮らし方をしてほしいと思いますか。（〇は1つ）

「自宅で家族と暮らしてほしい」が42.9%で最も多くなっています。

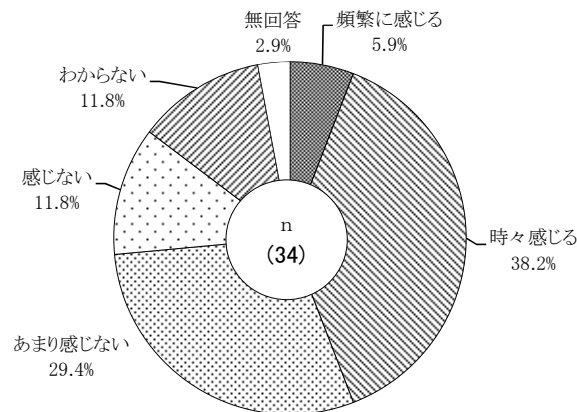


## 12. 障害のある人に対する理解度について

### (1) 日常生活の中で感じる差別の有無

問 58 あなたは地域で生活をしていて、差別を感じることはありますか。(○は1つ)

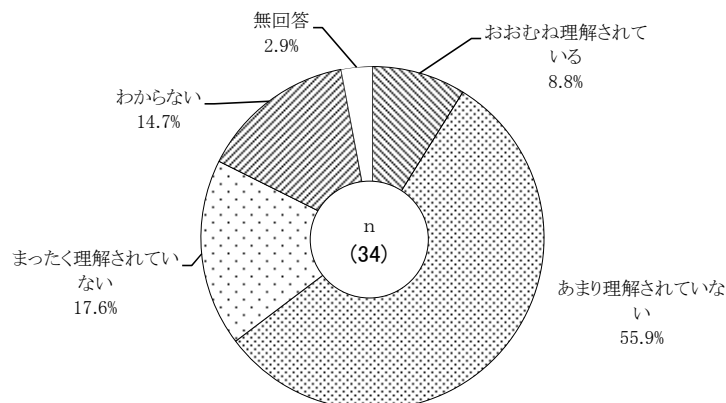
「頻繁に感じる」が5.9%、「時々感じる」が38.2%となっています。一方、「あまり感じない」は29.4%、「感じない」は11.8%となっています。



### (2) 障害のある人に対する市民の理解度

問 59 あなたは、障害のある人に対する市民の理解が、どの程度あると感じていますか。(○は1つ)

「おおむね理解されている」が8.8%となっています。一方、「あまり理解されていない」は55.9%、「まったく理解されていない」は17.6%となっています。

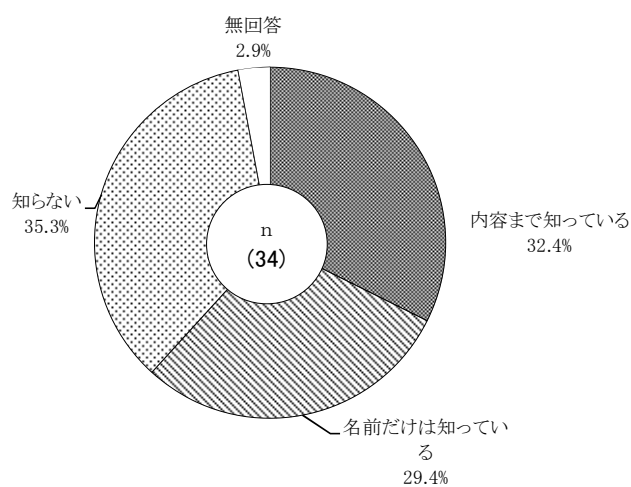




### (3) 障害者差別解消法の認知

問 60 障害者への差別をなくすことを目的として、平成 28 年 4 月 1 日に「障害者差別解消法」が施行されましたが、このことを知っていますか。(〇は 1 つ)

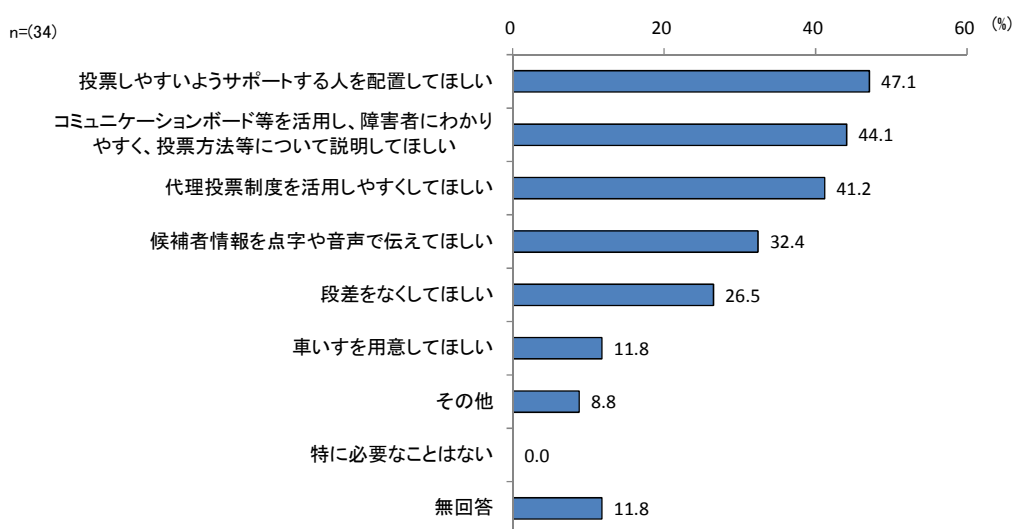
「内容まで知っている」が 32.4%、「名前だけは知っている」が 29.4%となっています。一方、「知らない」が 35.3%となっています。



#### (4) 障害者が選挙の投票をしやすくするために必要なこと

問 61 あなたは、障害者が選挙の投票をしやすくするために、投票所に何が必要だと思えますか。(〇はいくつでも)

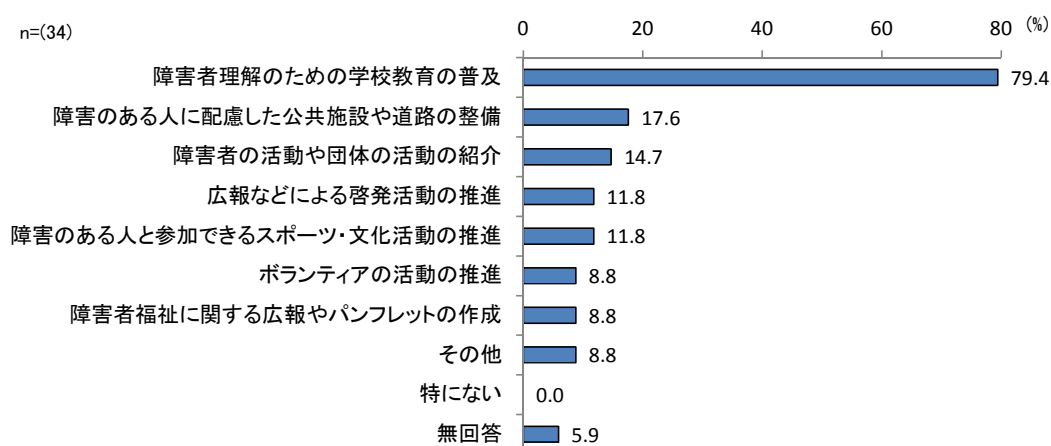
「投票しやすいようサポートする人を配置してほしい」が 47.1%、「コミュニケーションボード等を活用し、障害者にわかりやすく、投票方法等について説明してほしい」が 44.1%、「代理投票制度を活用しやすくしてほしい」が 41.2%と、いずれも4割を超えています。



#### (5) 障害者理解のため、行政に取り組んでもらいたいこと

問 62 あなたは、障害者に対する理解をより深めるために、どのようなことを行政に取り組んでもらいたいですか。(〇は2つまで)

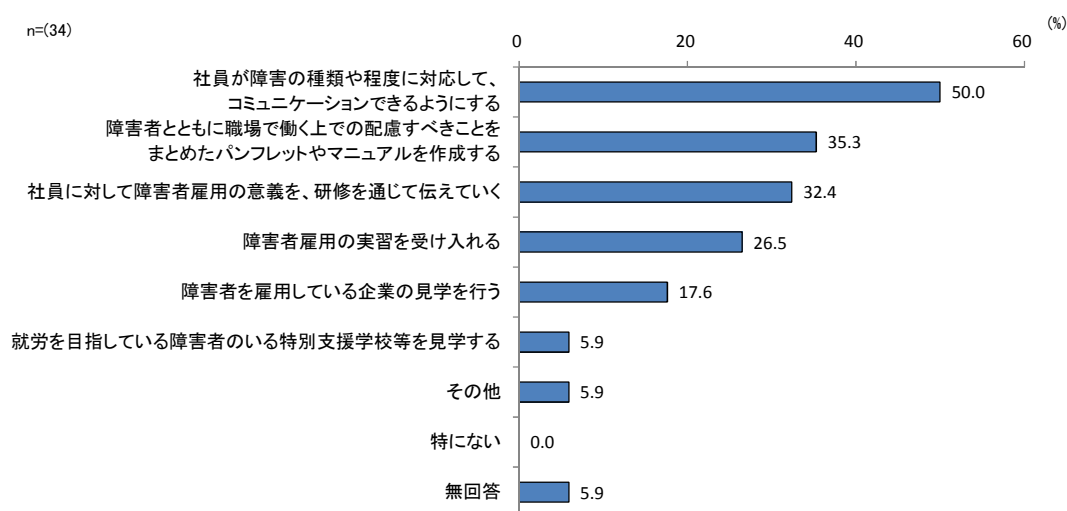
「障害者理解のための学校教育の普及」が 79.4%で最も多くなっています。



## （６）障害者理解のため、企業に取り組んでもらいたいこと

問 63 あなたは、障害者に対する理解をより深めるために、どのようなことを企業に取り組んでもらいたいですか。（〇は２つまで）

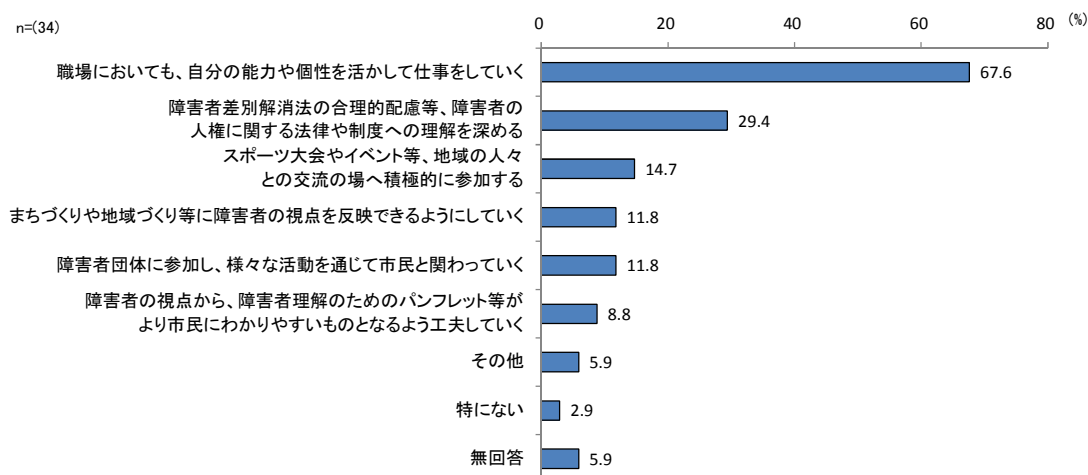
「社員が障害の種類や程度に対応して、コミュニケーションできるようにする」が 50.0%で最も多く、以下「障害者とともに職場で働く上での配慮すべきことをまとめたパンフレットやマニュアルを作成する」が 35.3%、「社員に対して障害者雇用の意義を、研修を通じて伝えていく」が 32.4%となっています。



## （７）障害者理解のため、障害者自身に取り組むべきこと

問 64 あなたは、障害者に対する理解をより深めるために、どのようなことを企業に取り組んでもらいたいですか。（〇は２つまで）

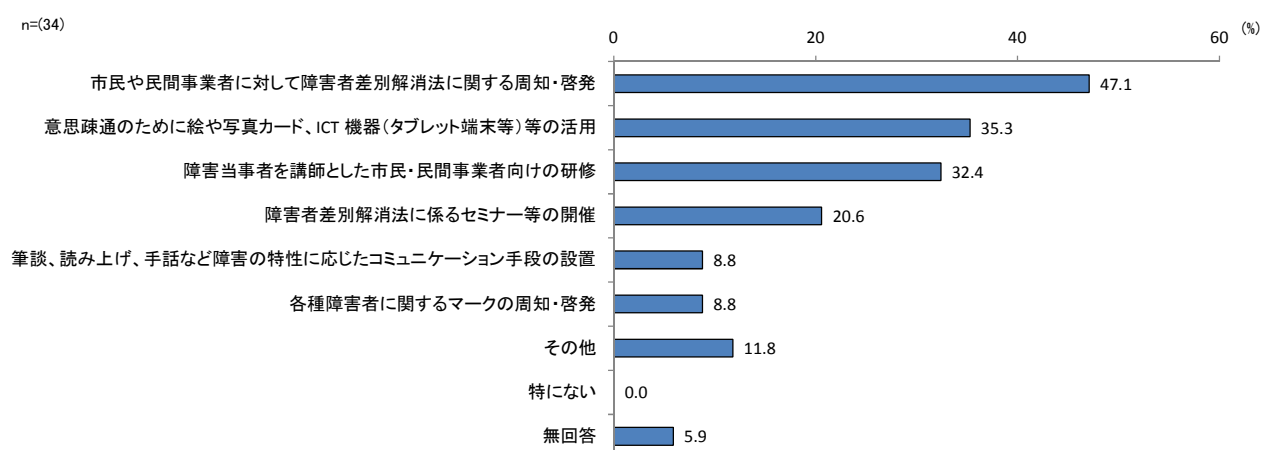
「職場においても、自分の能力や個性を活かして仕事をしていく」が 67.6%で最も多く、次いで「障害者差別解消法の合理的配慮等、障害者の人権に関する法律や制度への理解を深める」が 29.4%となっています。



(8) 社会的障壁の除去に向けて合理的配慮を進めていくために必要なこと

問 65 社会的障壁の除去に向けて、合理的配慮を進めていくために必要なことは何だと思われますか。(〇は2つまで)

「市民や民間事業者に対して障害者差別解消法に関する周知・啓発」が47.1%で最も多く、以下「意思疎通のために絵や写真カード、ICT機器(タブレット端末等)等の活用」が35.3%、「障害当事者を講師とした市民・民間事業者向けの研修」が32.4%となっています。



### 13. サービス利用について

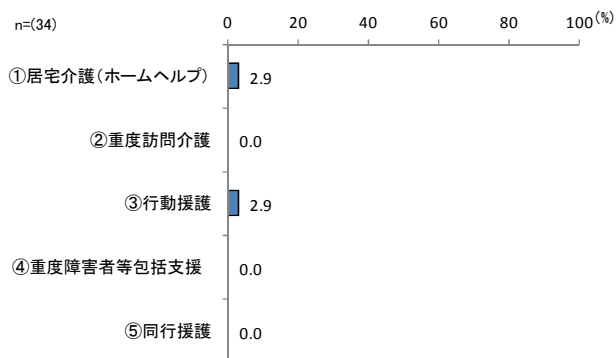
#### (1) 訪問系サービスの利用状況・利用意向

問 66 あなたは、次のような訪問系サービスを利用していますか。また今後利用したいと  
いますか。すでに利用している方も、今後利用したいかどうかをお答えください。

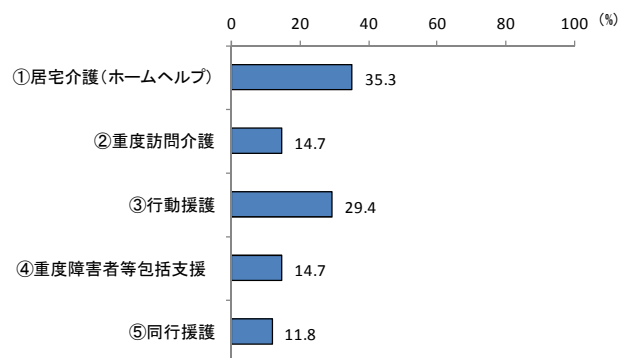
利用しているサービスをみると、「居宅介護（ホームヘルプ）」、「行動援護」が2.9%となっています。

利用したいサービスをみると、「居宅介護（ホームヘルプ）」が35.3%で最も多く、以下「行動援護」が29.4%、「重度訪問介護」、「重度障害者等包括支援」が14.7%となっています。

#### A. 現在の利用状況



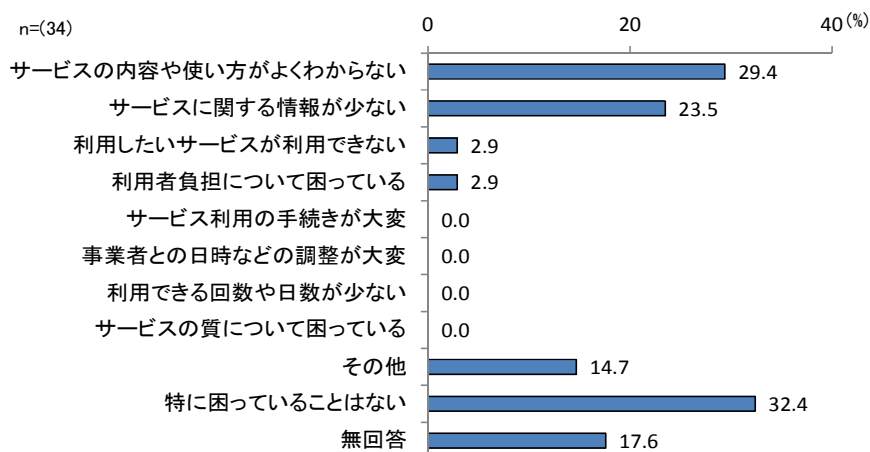
#### B. 今後の利用希望



#### (2) 訪問系サービスを利用する上で困っていること

問 67 あなたは、訪問系サービスの利用に関して困っていることがありますか。(〇はいくつ  
でも)

「サービスの内容や使い方がよくわからない」が29.4%で最も多く、次いで「サービスに関する情報が少ない」が23.5%となっています。



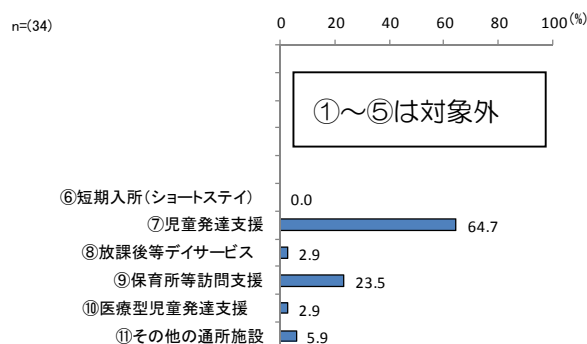
### (3) 日中活動系サービスの利用状況・利用意向

問 68 あなたは、次のような日中活動系サービスを利用していますか。また今後利用したいと思いますか。すでに利用している方も、今後利用したいかどうかをお答えください。

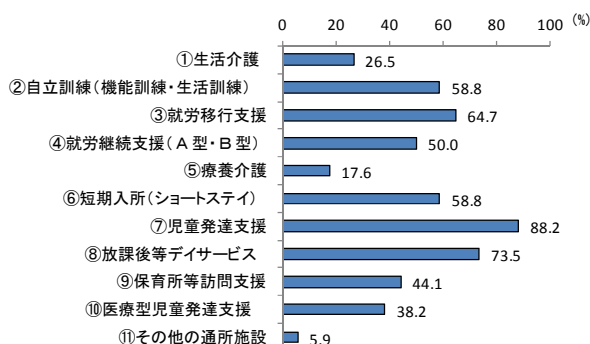
利用しているサービスをみると、「児童発達支援」が64.7%で最も多く、次いで「保育所等訪問支援」が23.5%となっています。

利用したいサービスについては、「児童発達支援」が88.2%で最も多く、以下「放課後等デイサービス」が73.5%、「就労移行支援」が64.7%となっています。

#### A. 現在の利用状況



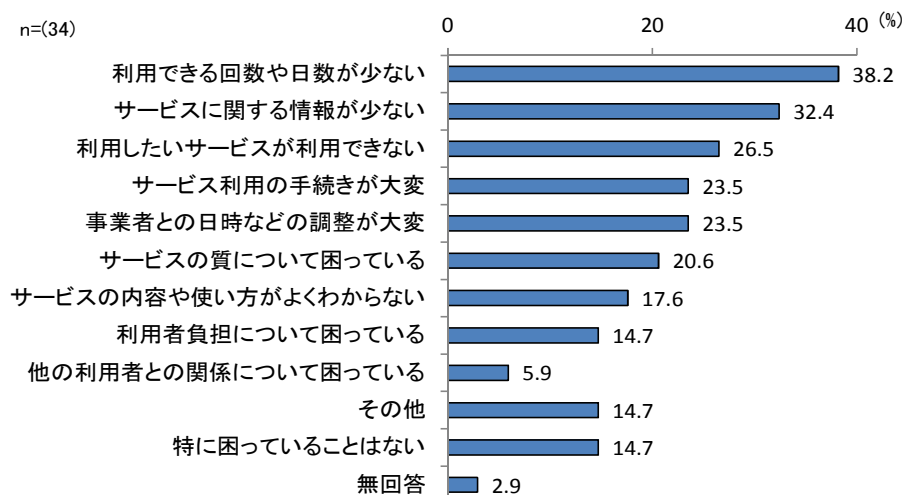
#### B. 今後の利用希望



### (4) 日中活動系サービスを利用する上で困っていること

問 69 あなたは、日中活動系サービスの利用に関して困っていることがありますか。(〇はいくつでも)

「利用できる回数や日数が少ない」が38.2%で最も多く、次いで「サービスに関する情報が少ない」が32.4%となっています。

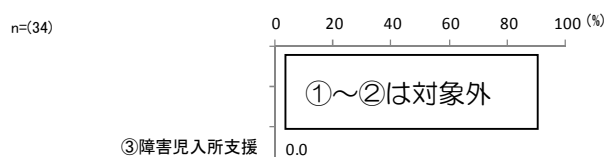


## (5) 居住系サービスの利用状況・利用意向

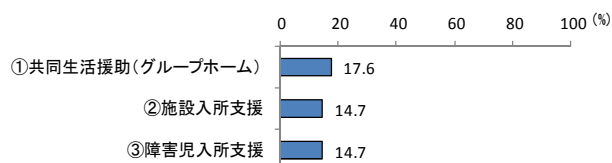
問 70 あなたは、次のような居住系サービスを利用していますか。また今後利用したいと思いますか。すでに利用している方も、今後利用したいかどうかをお答えください。

利用したいサービスをみると、「共同生活援助（グループホーム）」が 17.6%で最も多く、以下「施設入所支援」、「障害児入所支援」が 14.7%となっています。

### A. 現在の利用状況



### B. 今後の利用希望

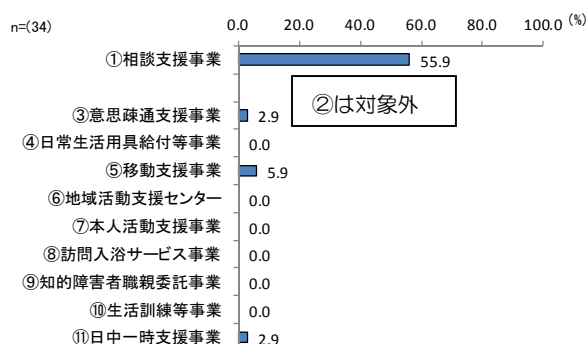


## (6) 地域生活支援事業の利用状況・利用意向

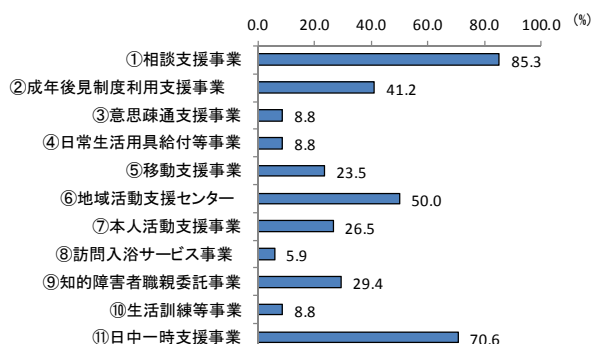
問 71 あなたは、次のようなサービスを利用していますか。また今後利用したいと思いますか。すでに利用している方も、今後利用したいかどうかをお答えください。

利用している地域生活支援事業をみると、「相談支援事業」が 55.9%で最も多くなっています。利用したい地域生活支援事業をみると、「相談支援事業」が 85.3%で最も多く、以下「日中一時支援事業」70.6%、「地域活動支援センター」が 50.0%となっています。

### A. 現在の利用状況



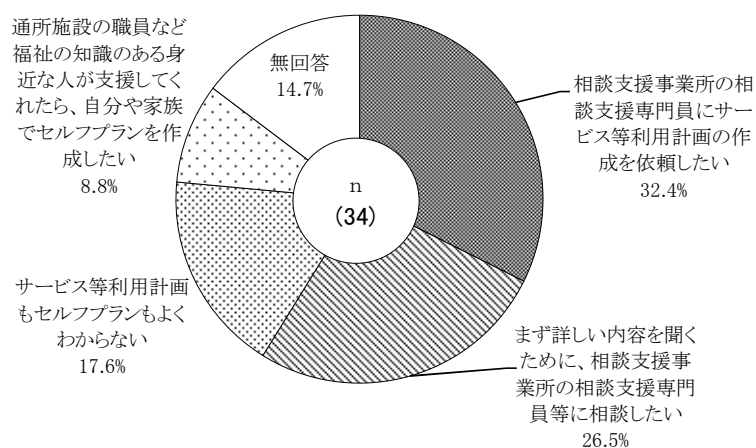
### B. 今後の利用希望



(7) サービス等利用計画の作成についての意向

問 72 【問 66、68、70、71 にある障害福祉サービスを利用している方や、今後利用したい方にお聞きます】サービス等利用計画の作成について、どのように進めていきたいですか。(〇はひとつ)

「相談支援事業所の相談支援専門員にサービス等利用計画の作成を依頼したい」が 32.4%で最も多く、次いで「まず詳しい内容を聞くために、相談支援事業所の相談支援専門員等に相談したい」が 26.5%となっています。一方、「サービス等利用計画もセルフプランもよくわからない」が 17.6%となっています。

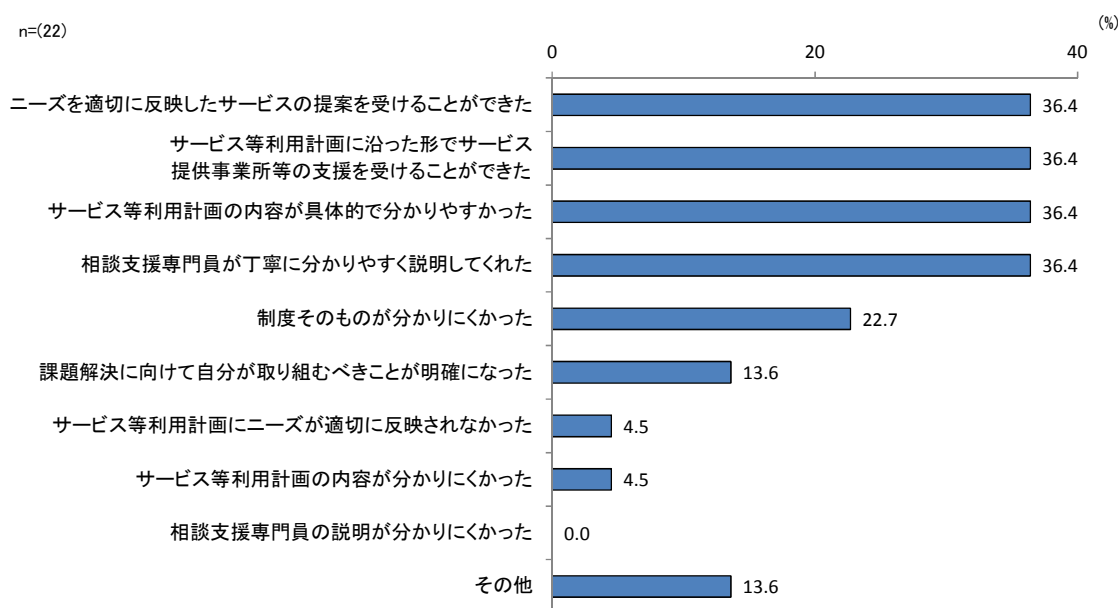




## (8) サービス等利用計画を作成して感じたこと

問 73 【これまでに特定相談支援事業所でサービス等利用計画を作成したことがある方にお聞きします】サービス等利用計画を作成して感じたことはありますか（〇は4つまで）

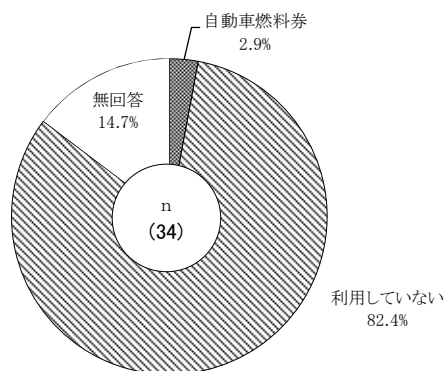
「ニーズを適切に反映したサービスの提案を受けることができた」、「サービス等利用計画に沿った形でサービス提供事業所等の支援を受けることができた」、「サービス等利用計画の内容が具体的に分かりやすかった」、「相談支援専門員が丁寧に分かりやすく説明してくれた」が、いずれも36.4%となっています。一方、「制度そのものが分かりにくかった」は22.7%となっています。



## (9) 福祉タクシー利用券・自動車燃料券の利用状況

問 74 あなたは、福祉タクシー利用券や自動車燃料券を利用していますか。利用している方は、その種類（券の色）もお答えください。（〇は1つ）

「利用していない」が82.4%で最も多くなっています。



(10) 福祉タクシー利用券・自動車燃料券の主な使い道

問 75 【問 74 でいずれかの券を利用している（1～3 番）と回答した方にお聞きします】  
福祉タクシー利用券・自動車燃料券の主な使い道は何ですか。（○はいくつでも）

(11) 自動車燃料券を選んでいる理由

問 76 【問 74 で自動車燃料券を利用している（3 番）と回答した方にお聞きします。】  
福祉タクシー利用券ではなく、自動車燃料券を選んでいる理由は何ですか。  
（○は 1 つ）

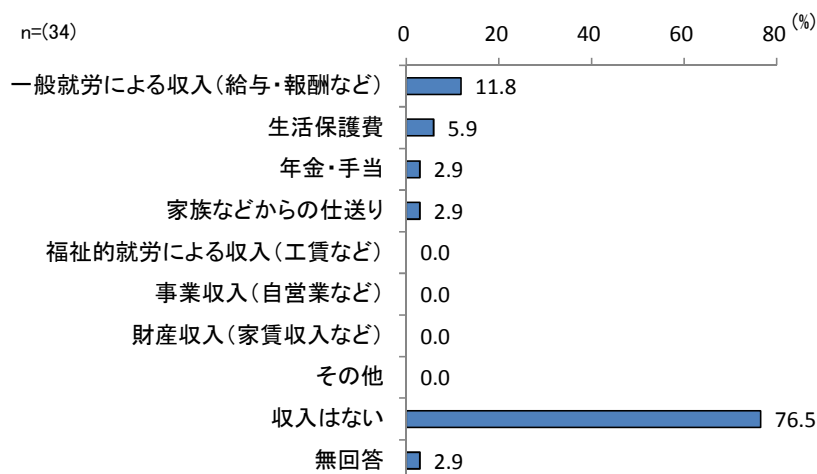
（10）福祉タクシー利用券・自動車燃料券の主な使い道、（11）自動車燃料券を選んでいる理由、に関する設問については、回答者が少なかったため、結果は省略させていただきます。

## 1 4. 収入や利用者負担について

### (1) 主な収入源

問 77 あなたご本人の主な収入源をお答えください。(〇は3つまで)

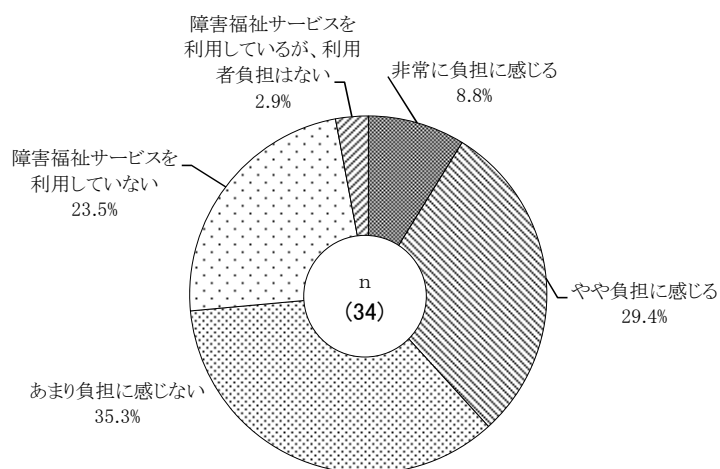
「収入はない」が 76.5%で最も多くなっています。



### (2) 障害福祉サービスの利用者負担の負担感

問 78 あなた(や保護者の方)は、障害福祉サービスの利用者負担について、どのように感じていますか。(〇は1つ)

「非常に負担に感じる」が 8.8%、「やや負担に感じる」が 29.4%となっています。一方、「あまり負担に感じない」が 35.3% となっています。



# 15. 市の障害者施策について

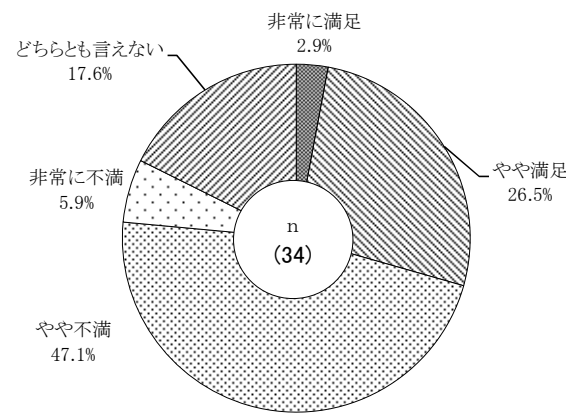
## (1) 市の障害者施策についての満足度

問 79 あなた（や保護者・ご家族の方）は、市の障害者施策について、どのように感じていますか。（○は1つ）

「非常に満足」が2.9%、「やや満足」が26.5%となっています。一方、「やや不満」は47.1%、「非常に不満」は5.9%となっています。

前回調査結果と比較すると、「やや満足」、「やや不満」が増加し、その一方、「非常に不満」は減少しています。

### ●全体



### ●経年比較

	調査数	非常に満足	やや満足	やや不満	非常に不満	どちらとも言えない	無回答
今回	34	1	9	16	2	6	0
(平成28年度)	100.0	2.9	26.5	47.1	5.9	17.6	0.0
(増減)		2.9	22.5	19.1	▲22.1	▲18.4	▲4.0
前回	25	0	1	7	7	9	1
(平成25年度)	100.0	0.0	4.0	28.0	28.0	36.0	4.0

## 16. 自由意見

問 80 障害福祉に関するご意見やご要望、今後利用したい福祉サービスなどありましたら、ご自由にお書きください。（自由記述）

全部で 15 件の意見がありました。

	分 類	件数	%
1	福祉サービス	7	46.7
2	医療・健康	0	0.0
3	生活環境	0	0.0
4	雇用・就労	5	33.3
5	将来について	1	6.7
6	経済事情・経済的支援	0	0.0
7	行政・制度	2	13.3
8	その他	0	0.0

計 15 100

◆意見の概要 ※紙幅の都合により、内容を要約・抜粋している場合があります。

### 1. 福祉サービス

意見	最新の診断名	年齢	性別	回答者
放課後等デイサービスの質が事業所によって差がある。発達障害への世間の理解度がまだまだ低く、人間関係の構築が困難。学校の先生の理解も低い。もっと学習してほしい。	注意欠陥・多動性障害	6	男性	家族
放課後等デイサービスや児童発達支援事業所が増えていますが、実際に利用してみると利用者にはバラつきがあったり、そこで働いているスタッフや、療育の内容の質があまり良くない所が多いと思います。もっと専門的な知識や経験のある人材の育成に、行政が力を入れて欲しいと思います。利用したくても、利用出来ない当事者がたくさん居ます。	アスペルガー症候群 自閉症スペクトラム障害	5	男性	家族
全体的に内容・サービス共に情報が少なく、その情報すら、わかりにくい。もっと積極的に情報を開示して、本人や保護者に伝わるようにしてほしい。	広汎性発達障害 自閉症スペクトラム障害 知的障害	4	女性	家族

#### 4. 雇用・就労

意見	最新の診断名	年齢	性別	回答者
知的には遅れのない発達障害の子どもへの支援を増やして欲しい。放課後等デイサービスをさがしているが、こまかな利用者設定がされていないため、子ども自身が違和感を感じてしまう。知的な遅れがなく、見た目にもわからないため、普通学級で支援を受けられなく、もどかしい。通常学級の指導員の人数を増やして欲しい。低学年からの不登校児へのケア、通所できる居場所が欲しい。感覚過敏の子どもへの配慮、LDの子どもへのタブレット導入等もっともっと柔軟に対応して欲しい。そのような子どもたちの理解と支援の勉強を教員に行って欲しい。療養センターは就学と同時に卒業となってしまう。成人するまで、幼児の頃から長期に渡ってつながれる場所が欲しい。	注意欠陥・多動性障害 自閉症スペクトラム障害	6	女性	家族
義務教育が心配でありません。授業を抜けずにすむよう放課後通級にしていきたい、教育現場の先生方に障害への理解を持っていただきたい、指導員を増員していただきたい。「みんなの学校」を市主催で上映し先生方に観ていただきたい、専門家のいる放課後等デイの枠を広げていただきたい、入学後も療育センターでの療育を継続していただきたい、などいろいろあります。毎日必死です。何卒よろしく願いいたします。	注意欠陥・多動性障害 自閉症スペクトラム障害	6	男性	家族
小学生になってからも、療育センター的な施設を増やしてほしい。	注意欠陥・多動性障害 自閉症スペクトラム障害 知的障害	6	女性	家族

#### 5. 将来について

意見	最新の診断名	年齢	性別	回答者
目にみえない障害に関しても、福祉を充実させてほしい。地域理解が全く進んでいないこと、経済的負担が大きすぎる、介助者(親)は介助・支援が生活の中心であり、働く意志はあっても現実的に難しいこと、将来の見通しが全くたない不安を常に抱えていることを考えてほしい。せめて各窓口の対応だけでも、差別的態度をやめることから、地域理解の第一歩が始まると思う。	自閉症・自閉的傾向アスペルガー症候群 自閉症スペクトラム障害 広汎性発達障害 アスペルガー症候群	15	女性	本人

#### 7. 行政・制度

意見	最新の診断名	年齢	性別	回答者
幼稚園を選ぶ際に、それぞれの幼稚園のこれまでの受け入れ体制や、受け入れ実績を教えてもらいたかったです。	注意欠陥・多動性障害 自閉症スペクトラム障害	6	男性	家族
知的レベルがグレーや軽度のため、療育手帳や手当がうけられない。グレーであるなら、なおさら社会にでるための支援(療育等)が必要になるので金せん面で不満を感じる。(交通費、駐車場代)また療育先への送迎が大変なことも多くある。仕事や兄妹がいるとなおさら。	注意欠陥・多動性障害 自閉症・自閉的傾向 自閉症スペクトラム障害 広汎性発達障害	6	男性	家族

## **VI サービス事業者の方を**

### **対象とした調査**



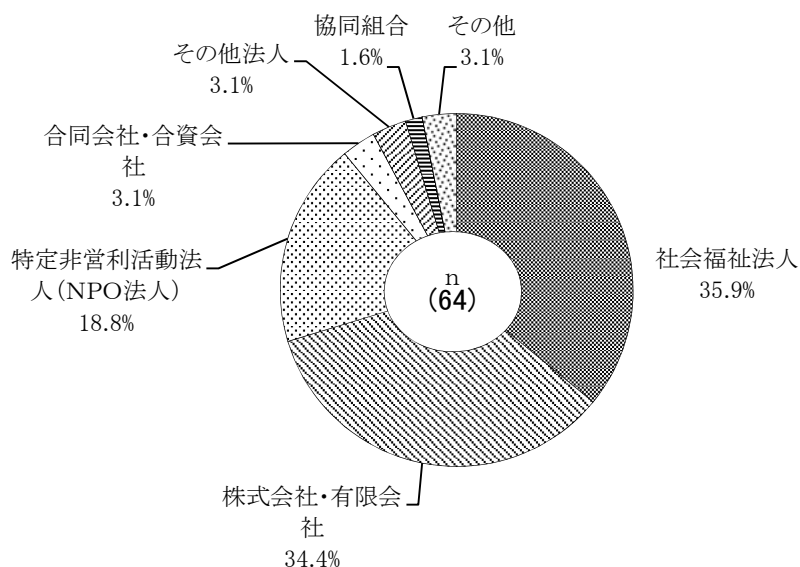


## 1. 事業所について

### (1) 経営主体

問1 貴事業所の経営主体は何ですか。(〇は1つ)

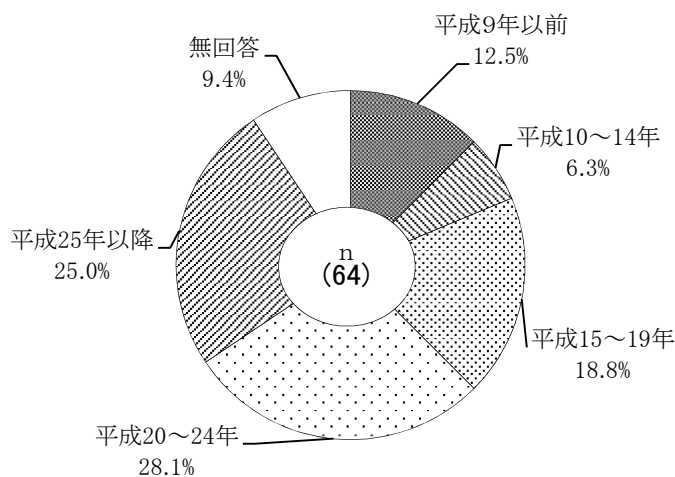
「社会福祉法人」が35.9%、「株式会社・有限会社」が34.4%となっています。



### (2) 開業年

問2 貴事業所の開業年はいつですか

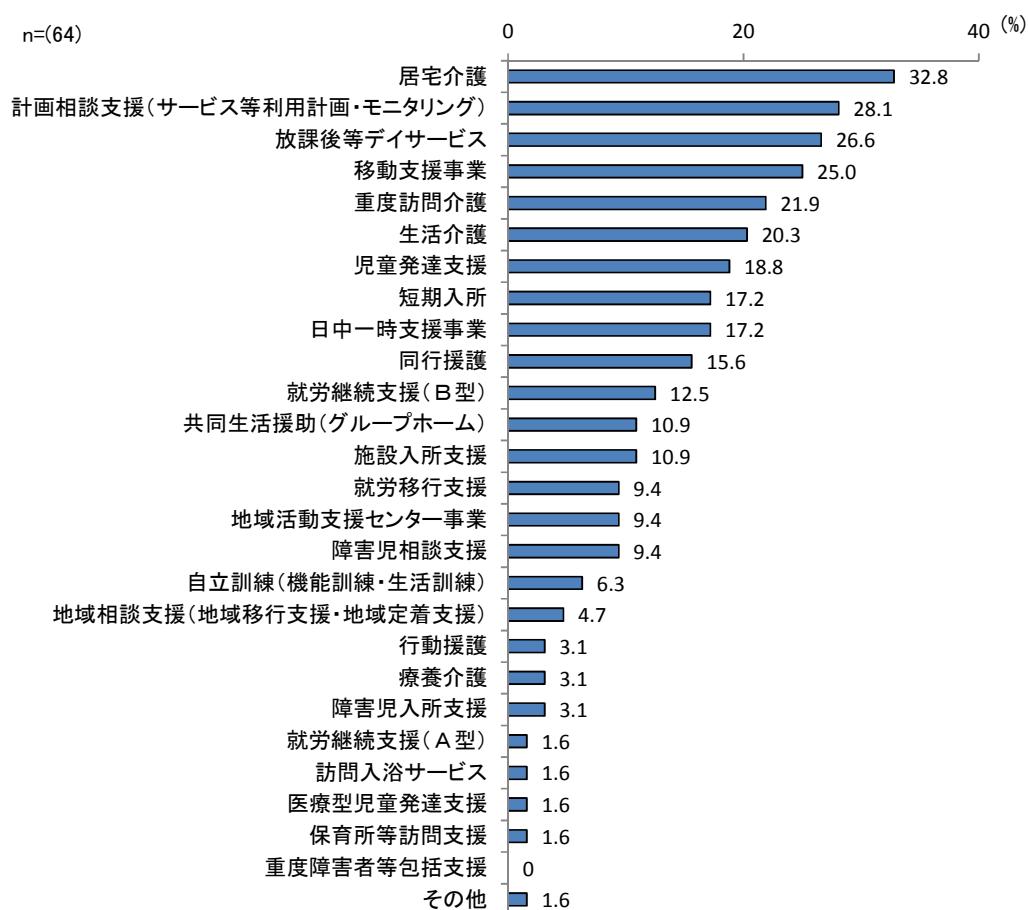
「平成 20～24 年」が28.1%で最も多く、以下「平成 25 年以降」が25.0%、「平成 15～19 年」が18.8%となっています。



### (3) 提供しているサービス

問3 貴事業所で提供している障害福祉サービス、児童福祉法に基づく障害児サービス等は何ですか。ただし、介護保険サービスは除きます。(〇はいくつでも)

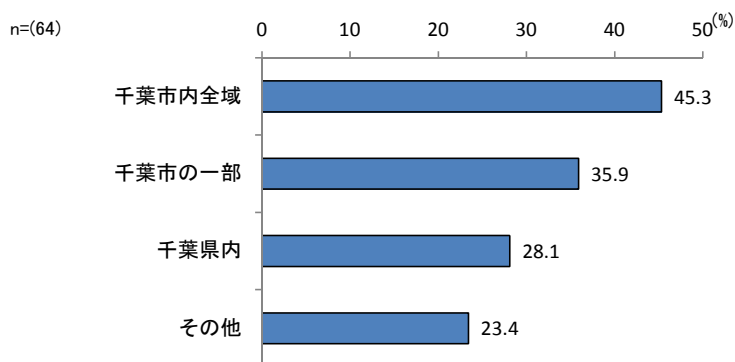
「居宅介護」が32.8%と最も多く、以下「計画相談支援(サービス等利用計画・モニタリング)」が28.1%、「放課後等デイサービス」が26.6%、「移動支援事業」が25.0%となっています。



#### (4) 事業展開エリア

問4 貴事業所が事業を展開しているエリア（サービス利用対象者がお住まいの範囲）はどこですか。（〇はいくつでも）

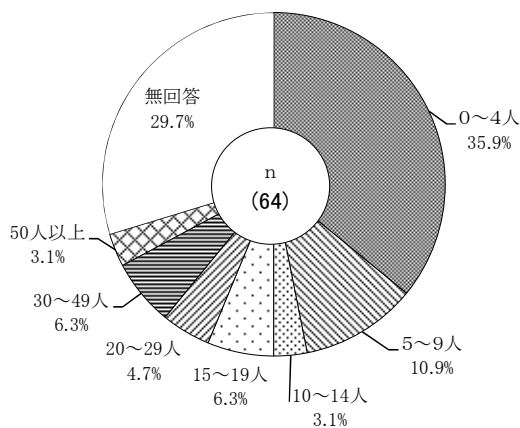
「千葉市内全域」が45.3%と最も多く、次いで「千葉市の一部」が35.9%となっています。



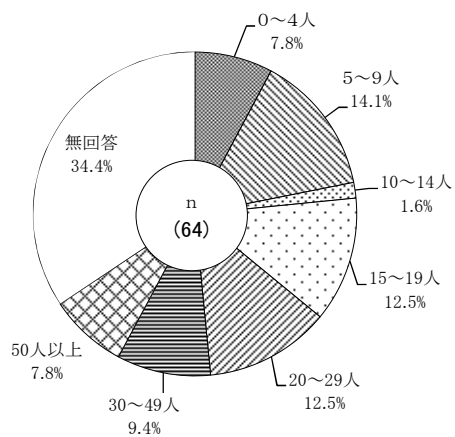
#### (5) サービス利用者

問5 貴事業所で提供しているサービスを利用されている方は何人ですか。  
障害別にお答えください。（平成29年1月1日時点の人数）  
重複障害の方については主たる障害についてご回答ください。

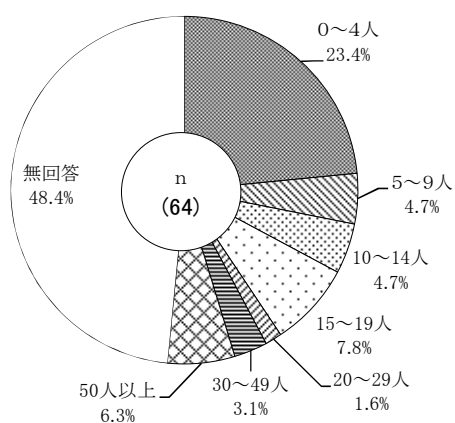
身体障害者では、「0～4人」が35.9%と最も多くなっています。



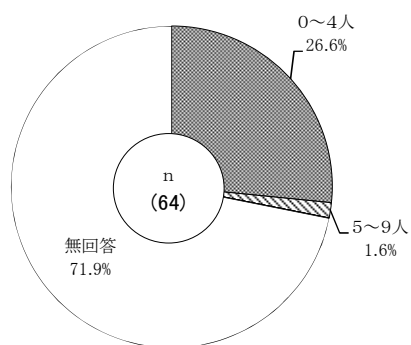
知的障害者では、「5～9人」が14.1%と最も多くなっています。



精神障害者では、「0～4人」が23.4%と最も多くなっています。



難病患者では、「0～4人」が26.6%と最も多くなっています。

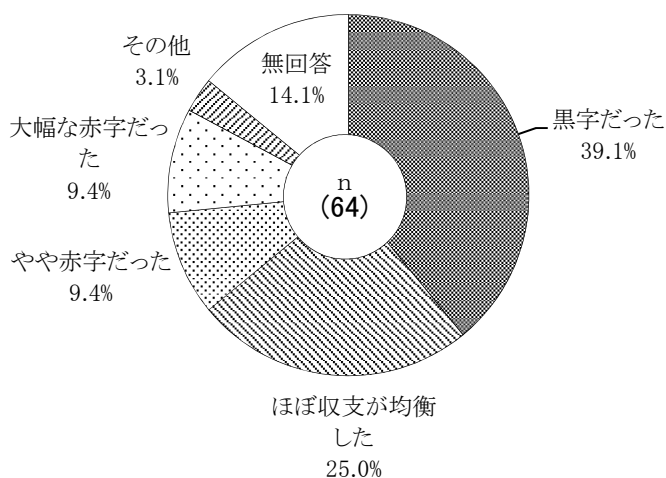


(6) 平成 27 年度事業収支状況

問 6 貴運営法人及び貴事業所の平成 27 年度の事業収支状況はいかがでしたか。  
(○は各 1 つ)

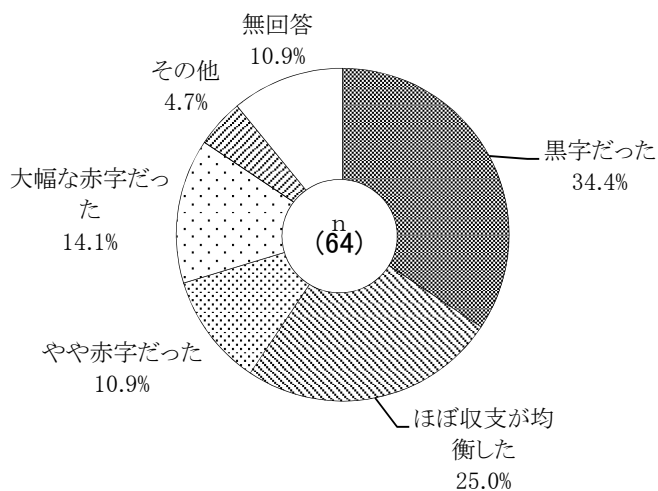
【運営法人（介護保険サービス事業所等含む）の収支状況】

「黒字だった」が 39.1%、「ほぼ収支が均衡した」が 25.0%となっています。一方、「やや赤字だった」と「大幅な赤字だった」が 9.4%となっています。



【障害福祉サービス等事業所の収支状況】

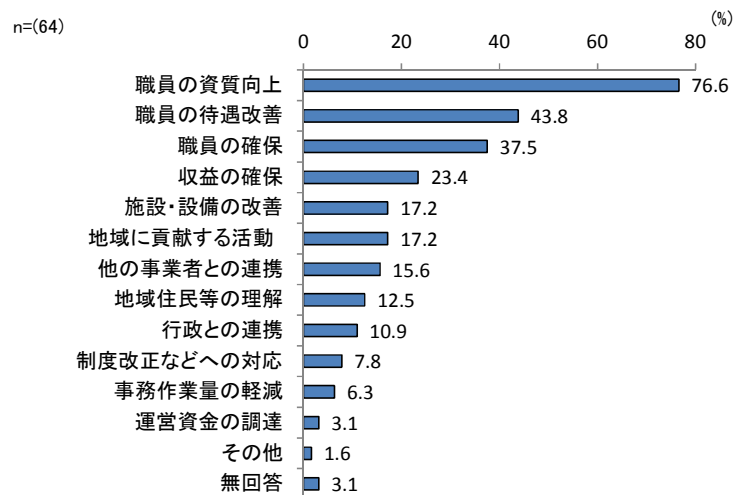
「黒字だった」が 34.4%、「ほぼ収支が均衡した」が 25.0%となっています。一方、「やや赤字だった」が 10.9%、「大幅な赤字だった」が 14.1%となっています。



## (7) 経営上の重視点

問7 貴事業所では経営上何を重視していますか。(〇は3つまで)

「職員の資質向上」が76.6%と最も多く、次いで「職員の待遇改善」が43.8%、「職員の確保」が37.5%、「収益の確保」が23.4%となっています。



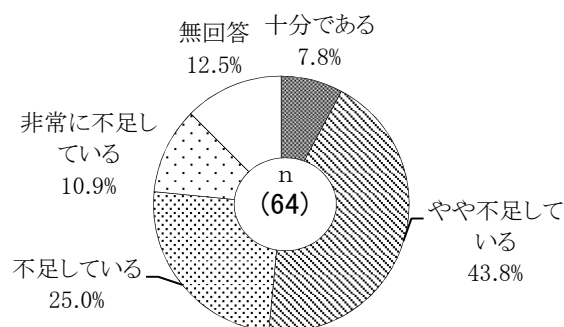
## 2. 職員について

### (1) 職員の充足状況

問8 貴運営法人及び貴事業所では業務量に対する職員（人手）の充足具合はいかがですか。  
(〇はそれぞれ1つ)

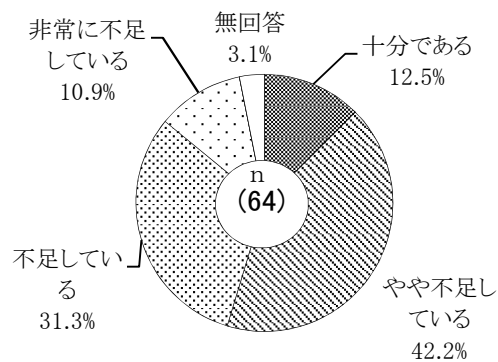
#### 【運営法人（介護保険サービス事業所等も含む）の職員充足状況】

「十分である」は7.8%となっています。一方、「やや不足している」が43.8%と最も多く、これに「不足している」の25.0%と「非常に不足している」の10.9%を合わせると、「不足状況にある」が79.7%と8割近くを占めています。



【障害福祉サービス等事業所の職員充足状況】

「十分である」は12.5%となっています。一方、「やや不足している」が42.2%と最も多く、これに「不足している」の31.3%と、「非常に不足している」の10.9%を合わせた《不足状況にある》は84.4%となっています。



(2) 運営法人／採用者数／常勤職員

問9 貴運営法人及び貴事業所の職員について、平成28年1月1日から平成28年12月31日までの過去1年間の採用者数と離職者数は何人でしたか

【運営法人（介護保険サービス事業所等分も含む）の採用者・離職者数】

(平均人数)	採用者数	離職者数	離職した勤務年数	
			1年未満	3年未満
常勤職員	7.6人	6.8人	4.3人	3.6人
非常勤職員	9.3人	5.6人	3.3人	4.2人

【障害福祉サービス等事業所の採用者・離職者数】

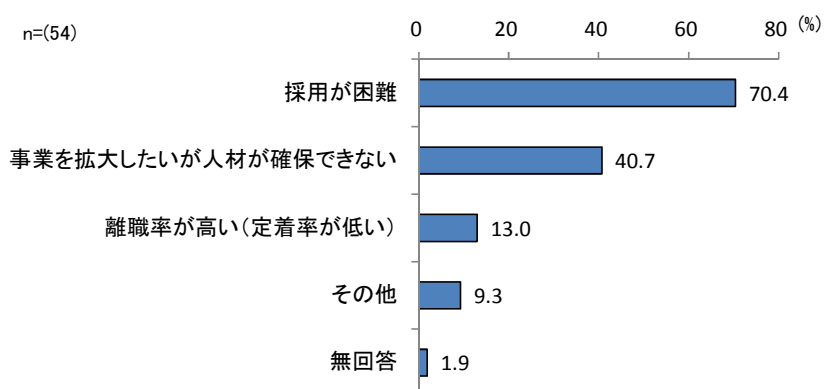
(平均人数)	採用者数	離職者数	離職した勤務年数	
			1年未満	3年未満
常勤職員	1.8人	1.2人	0.9人	1.1人
非常勤職員	3.6人	1.6人	1.5人	1.2人

### (3) 不足理由

【問8の障害福祉サービス等事業所の職員充足状況で、「2 やや不足している」、「3 不足している」、「4 非常に不足している」と回答した事業所にお聞きします。】

問10 不足と感じる理由について教えてください。(〇は2つまで)

「採用が困難」が70.4%と最も多く、次いで「事業を拡大したいが人材が確保できない」が40.7%となっています。

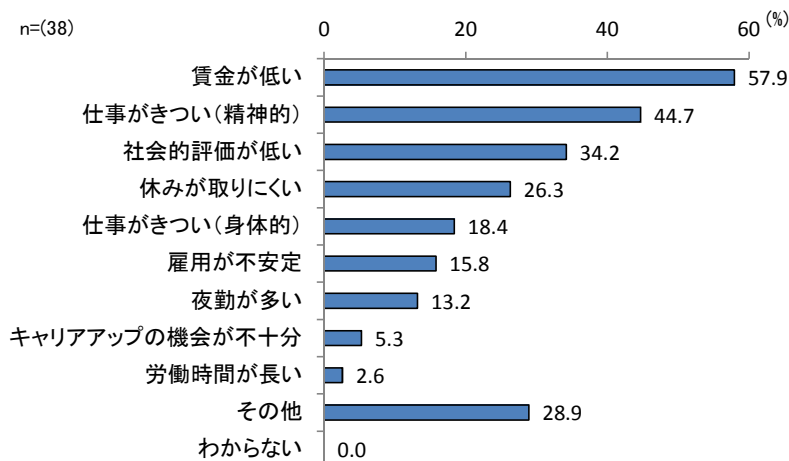


### (4) 採用が困難な原因

【問10で、「2 採用が困難」と回答した事業所にお聞きします。】

問11 採用が困難な原因はどこにあると思いますか。(〇は4つまで)

「賃金が低い」が57.9%と最も多く、以下「仕事がきつい(精神的)」が44.7%、「社会的評価が低い」が34.2%となっています。



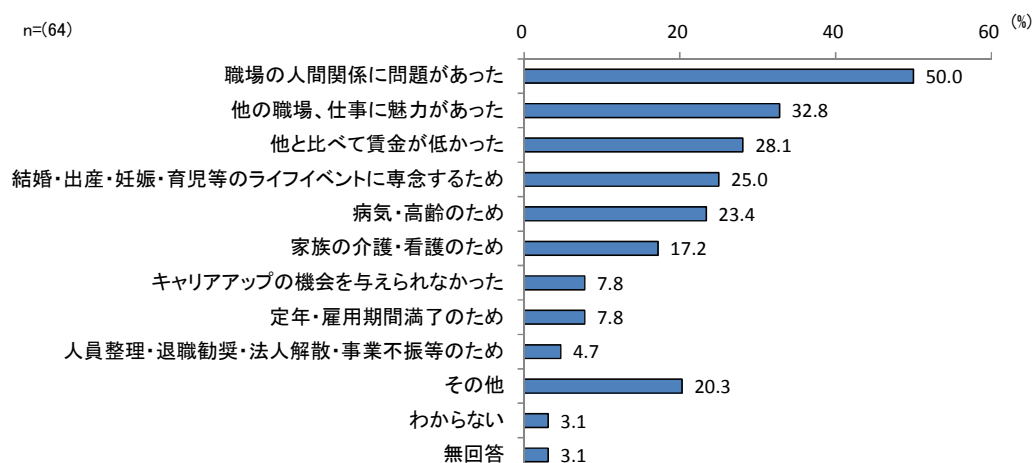


## (5) 職員が離職する原因

【全ての事業所にお聞きします。】

問 12 貴事業所では、職員が離職する原因はどこにあると思いますか。(〇は4つまで)

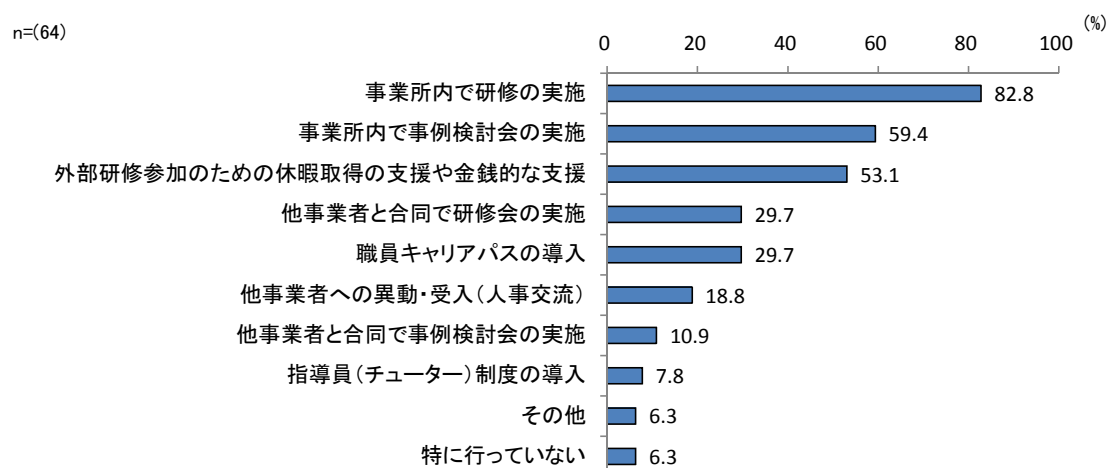
「職場の人間関係に問題があった」が 50.0%で最も多く、以下「他の職場、仕事に魅力があった」が 32.8%、「他と比べて賃金が低かった」が 28.1%、「結婚・出産・妊娠・育児等のライフイベントに専念するため」が 25.0%となっています。



## (6) 人材育成のための取り組み

問 13 貴事業所では人材育成のためにどのような取り組みをしていますか。(〇はいくつでも)

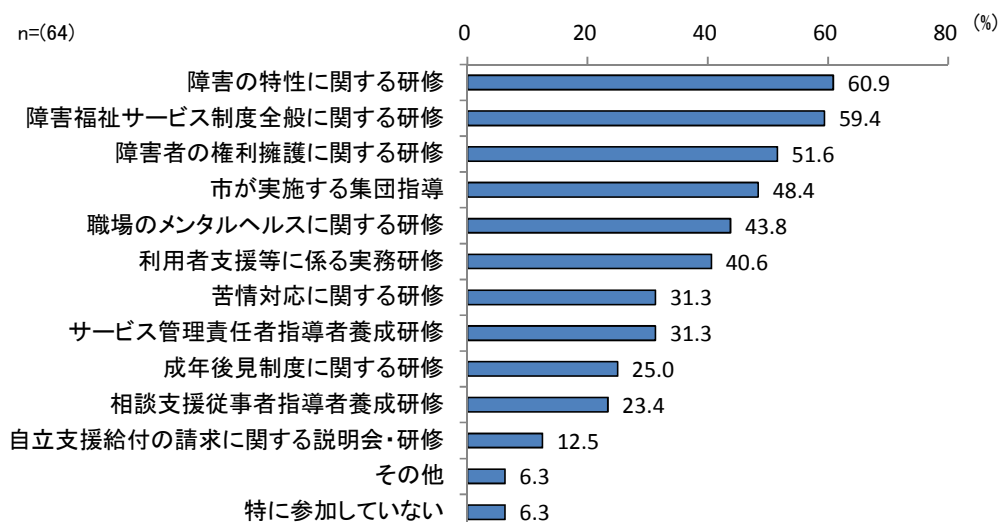
「事業所内で研修の実施」が 82.8%と最も多く、以下「事業所内で事例検討会の実施」が 59.4%、「外部研修参加のための休暇取得の支援や金銭的な支援」が 53.1%、「他事業者と合同で研修会の実施」と「職員キャリアパスの導入」が 29.7%となっています。



# (7) 過去1年間の職員の参加した研修

問 14 貴事業所の職員は過去1年間にどのような研修に参加しましたか。(〇はいくつでも)

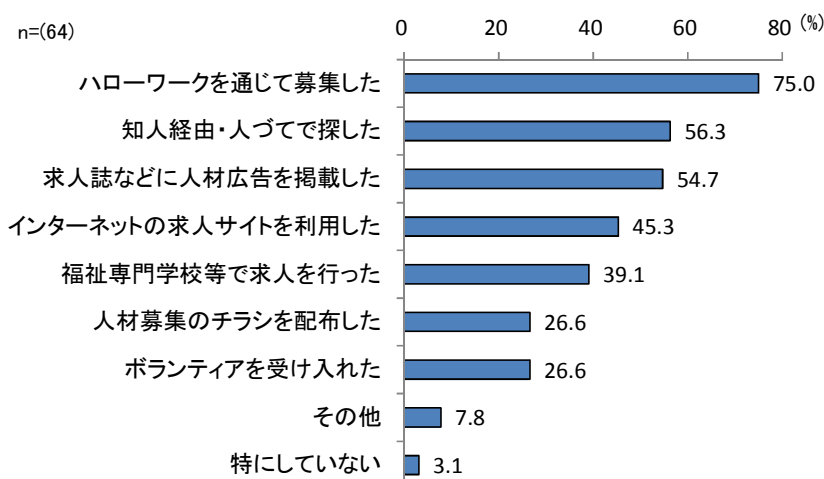
「障害の特性に関する研修」が60.9%で最も多く、以下「障害福祉サービス制度全般に関する研修」が59.4%、「障害者の権利擁護に関する研修」が51.6%、「市が実施する集団指導」が48.4%となっています。



# (8) 人材確保のための取り組み

問 15 貴事業所では、人材確保のためにどのような取り組みをしていますか。(〇はいくつでも)

「ハローワークを通じて募集した」が75.0%で最も多く、以下「知人経由・人づてで探した」が56.3%、「求人誌などに人材広告を掲載した」が54.7%、「インターネットの求人サイトを利用した」が45.3%となっています。

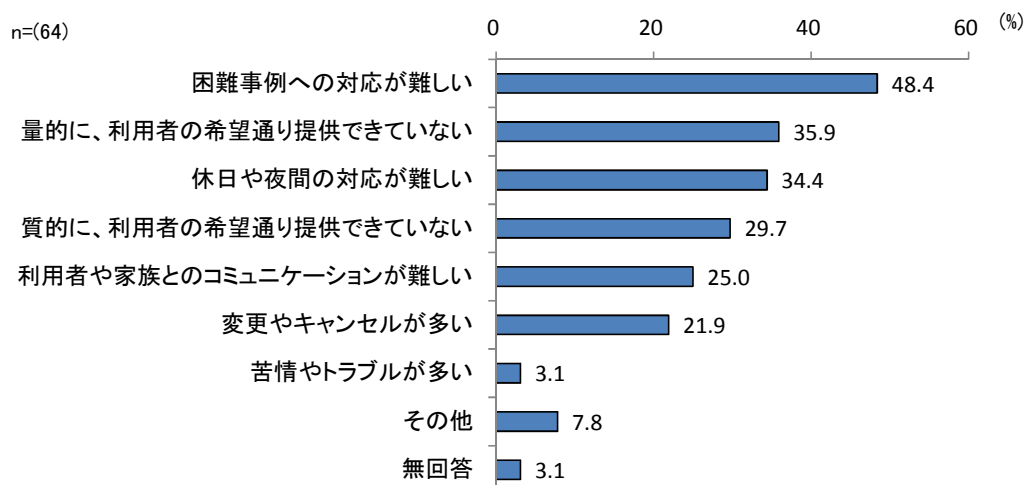


### 3. サービス提供について

#### (1) サービスを提供する上での課題

問 16 貴事業所では、サービスを提供する上で、どのようなことが課題となっていますか。  
(〇は3つまで)

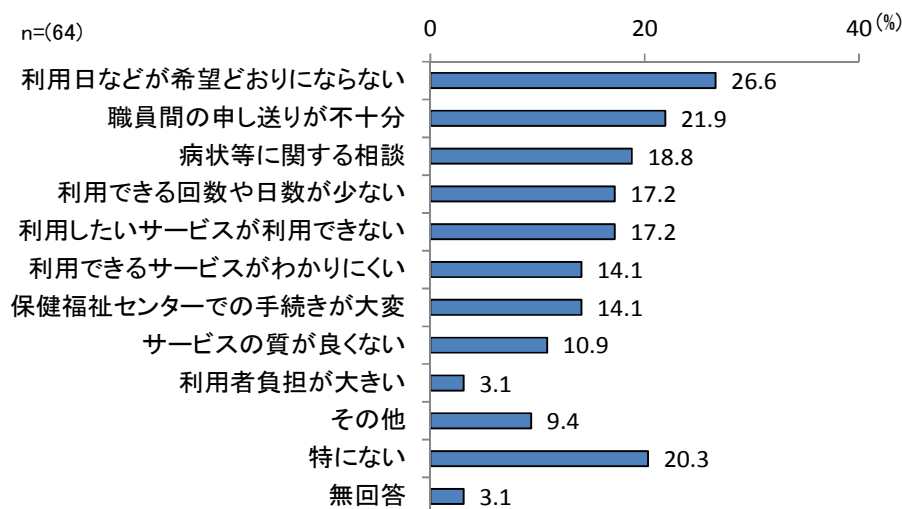
「困難事例への対応が難しい」が 48.4%で最も多く、以下「量的に、利用者の希望通り提供できていない」が 35.9%、「休日や夜間の対応が難しい」が 34.4%となっています。



#### (2) サービス利用についての利用者や家族からの相談や苦情

問 17 貴事業所では、サービス利用について、利用者やご家族からどのような相談や苦情を受けていますか。(〇は3つまで)

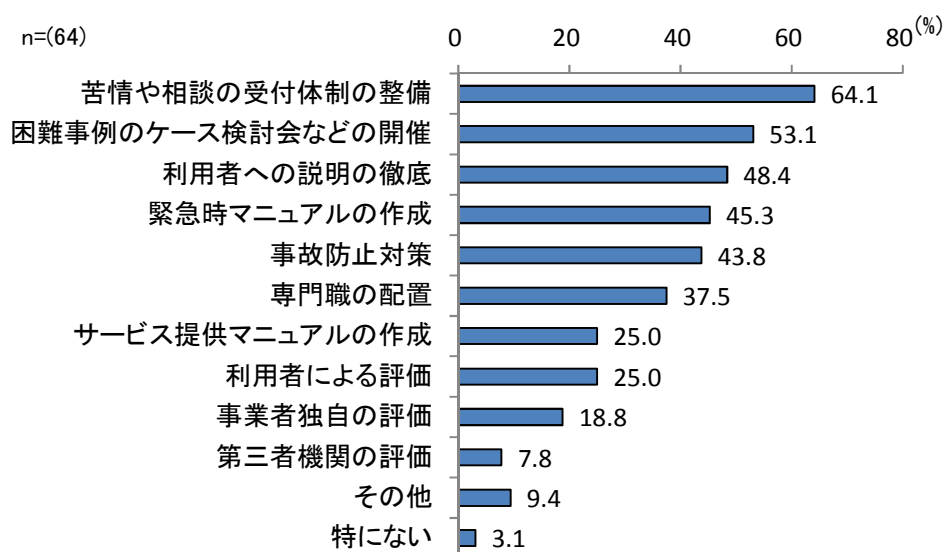
「利用日などが希望どおりにならない」が 26.6%と最も多く、以下「職員間の申し送りが不十分」が 21.9%、「病状等に関する相談」が 18.8%となっています。



### (3) サービス向上のための取り組み

問 18 貴事業所では、サービス向上のためにどのようなことに取り組んでいますか。  
(〇はいくつでも)

「苦情や相談の受付体制の整備」が 64.1%で最も多く、以下、「困難事例のケース検討会などの開催」が 53.1%、「利用者への説明の徹底」が 48.4%、「緊急時マニュアルの作成」が 45.3%、「事故防止対策」が 43.8%となっています。



### (4) 貴事業所で配置している専門職

【問 18 で、「5 専門職の配置」と回答した事業所にお聞きします。】

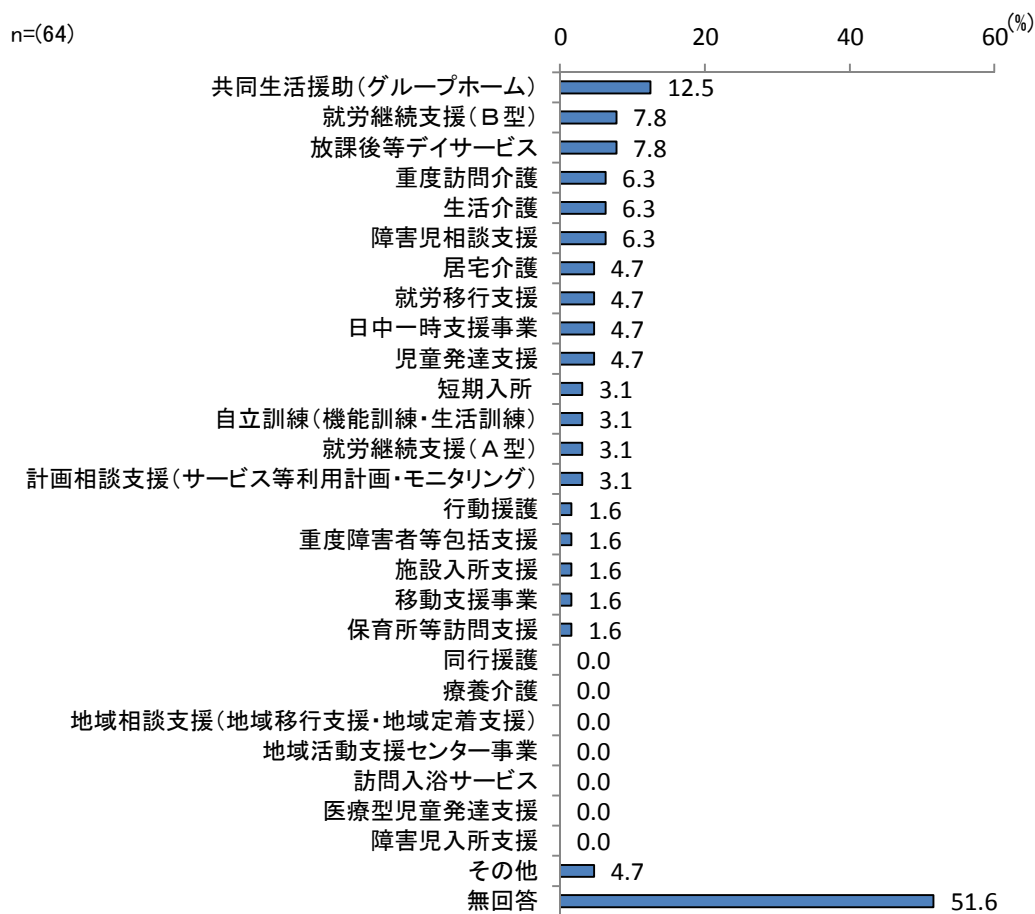
問 19 貴事業所で配置している専門職について、職種名と雇用形態をお教えてください。

職種名	件数	雇用形態	件数
精神保健福祉士	7	常勤	17
社会福祉士	4	非常勤	8
医師	3	嘱託	2
理学療法士	3	その他	1
介護福祉士	3		
作業療養士	2		
臨床心理士	2		
看護師	2		
サービス管理責任者	1		

### (5) 新規参入を検討している障害福祉サービス

問 20 貴事業所では、今後新規に障害福祉サービス等への参入を検討していますか。  
(〇はいくつでも)

新規参入を検討している障害福祉サービスについては「共同生活援助（グループホーム）」が12.5%と最も多く、次いで「就労継続支援（B型）」と「放課後等デイサービス」が7.8%となっています。

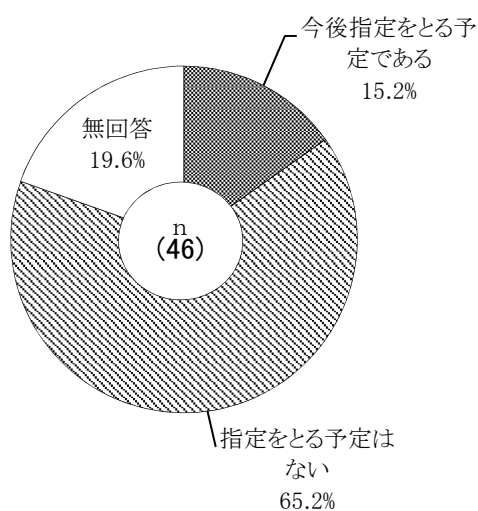


(6) 特定相談支援事業所・指定障害児相談支援事業の指定取得予定

【指定特定相談支援事業所・指定障害児相談支援事業所以外の事業所にお聞きします。】

問 21 貴事業所は、特定相談支援事業所・指定障害児相談支援事業所の指定をとる予定はありますか。(〇は1つ)

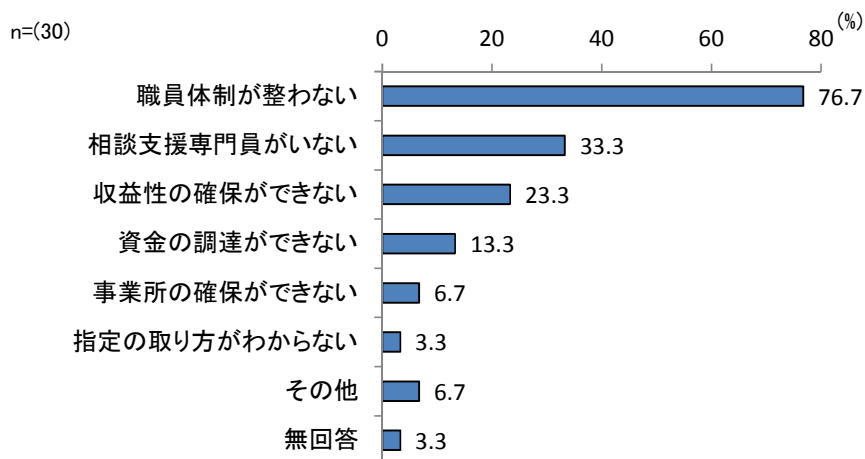
「今後指定をとる予定である」は 15.2%となっています。一方、「指定をとる予定はない」が 65.2%と6割を超えています。



(7) 特定相談支援事業所・指定障害児相談支援事業所の指定を取得しない理由

問 22 特定相談支援事業所・指定障害児相談支援事業所の指定をとる予定はない場合、その理由をお答えください。(〇は2つまで)

「職員体制が整わない」が 76.7% と最も多く、以下「相談支援専門員がいない」が 33.3%、「収益性の確保ができない」が 23.3%となっています。



(8) 指定特定相談支援事業所・指定障害児相談支援事業所について意見

問 23 指定特定相談支援事業所・指定障害児相談支援事業所についてご意見をお書きください。

全部で9件の回答がありました。

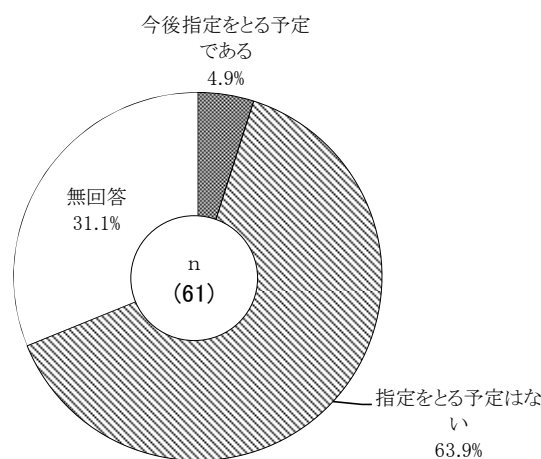
相談員の方の仕事量と報酬の差が大きく、中々民間の法人が参入出来にくい状況があると思う。介護のように毎月のサービス提供状況をチェックする仕事を増やし、報酬の引き上げがあれば問題になっている放課後デイサービスのサービスの質の低下も防げるのでは。
人材が少ない
どんどん増える利用者に、今ある事業所だけでは無理がある。「受けてくれれば良い」との意向に断わらない対応をしているが、それを“あそこは絶対受けてくれる”とのインフォメーションをしている事業所が多く、更に増えてしまう利用者に困っている。
計画を作る事業者が不足している。計画を作っても相談支援専門員と事業所のコミュニケーション、連携がとれていない。モニタリングがきちんと行われていないのではないかと感じることもある。
入所の方と地域で生活されている方との支援に大きな差が有る。又、所属する法人が運営する事業所を利用される方との差も大きいと感じる。在宅の方は複数の事業所を利用される事が多く、担当者会議の調整、訪問を必要とする回数も大きく違うと実感している。単一の単位では対応出来ないのではないかな。
未だに支援が受けにくいと聞きます。新事業に入る場合の障害の一つになっています。
福祉サービスを利用する為の登録となっているのが実態であると感じる。もっと当事者本人の生活面等の相談を行うシステムに変更して欲しい。
相談支援事業所を立ち上げるのは、職員確保の難しさもあり現実的ではありません。
計画の立案件数が多く、落ちついている方々のモニタリングまで手がまわりにくくなっているところがある。

(9) 一般相談支援事業所の指定取得予定

【指定一般相談支援事業所以外の事業所にお聞きします。】

問 24 貴事業所は、一般相談支援事業所の指定を取る予定はありますか。(○は1つ)

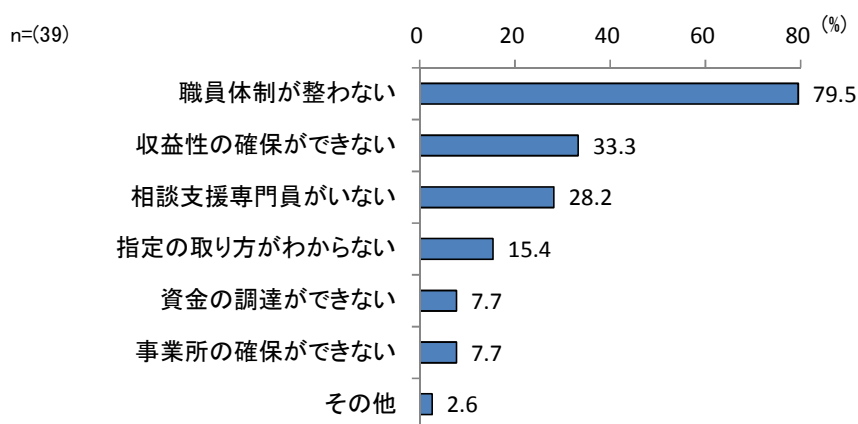
「今後指定をとる予定である」は 4.9%となっています。一方、「指定をとる予定はない」が 63.9%と6割を超えています。



(10) 一般相談支援事業所の指定を取得しない理由

問 25 指定をとる予定はない場合、その理由をお答えください。(〇は2つまで)

「職員体制が整わない」が79.5%と最も多く、以下「収益性の確保ができない」が33.3%、「相談支援専門員がいない」が28.2%となっています。



(11) 指定一般相談支援事業所について意見

問 26 指定一般相談支援事業所についてご意見をお書きください。

全部で3件の回答がありました。

報酬単価と担当するスタッフの報酬がアンバランス。

支給決定(計画)までに数か月かかるケース。生活環境の調整、手帳の取得からの支援はかなりのエネルギーを要し、その分、他のケースに係る事が出来ない。又、新規の受け入れもストップせざるを得ない。委託の相談支援との連携がなければ成り立たないのではないかと思います。又、初回の訪問時は認定調査(市)の職員と同行出来れば利用者の方も負担が減り、相談支援専門員の不安も軽減出来ると思います。

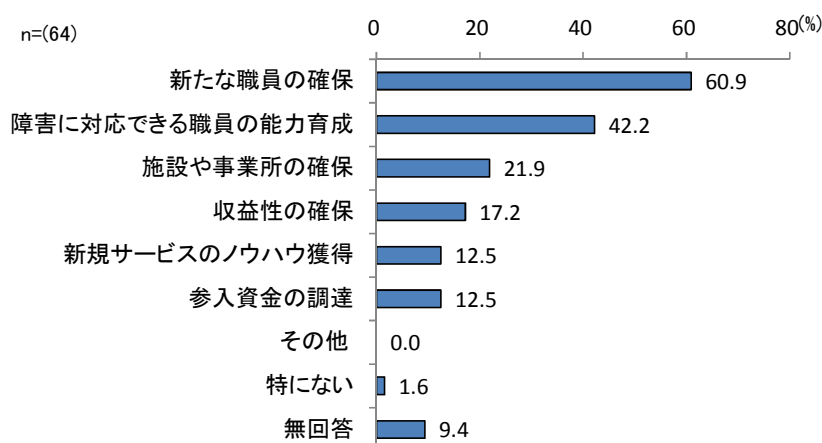
福祉サービスを利用する為の登録になっているのが実態であると感じる。もっと当事者本人の生活面等の相談を行うシステムに変更してほしい。



## (12) 新規サービスに参入する上での課題

問 27 新規サービスに参入する上で課題となることは何ですか。参入の予定がない事業所の方も、参入を想定した場合の課題をお答えください。(〇は2つまで)

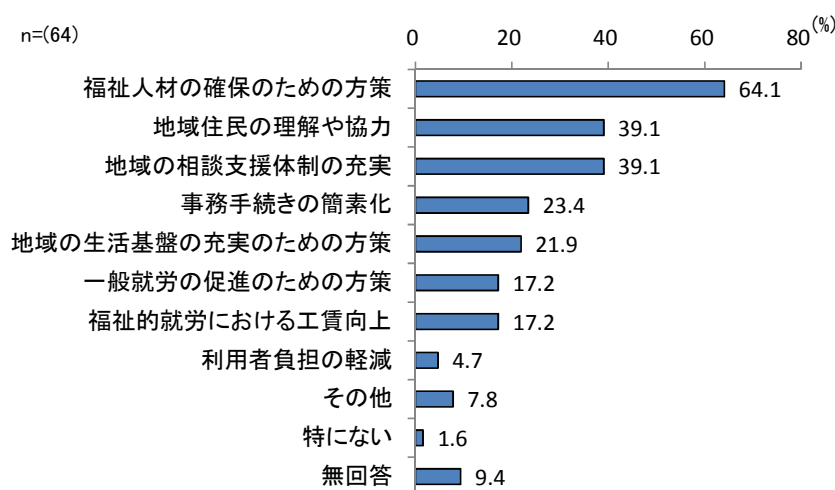
「新たな職員の確保」が60.9%と最も多く、以下「障害に対応できる職員の能力育成」が42.2%、「施設や事業所の確保」が21.9%となっています。



## (13) 今後の障害福祉施策の充実に向けて必要なこと

問 28 今後の障害福祉施策の充実に向けて、どのようなことが必要だと思いますか。(〇は3つまで)

「福祉人材確保のための方策」が64.1%と最も多く、次いで「地域住民の理解や協力」と「地域の相談支援体制の充実」が39.1%、「事務手続きの簡素化」が23.4%となっています。



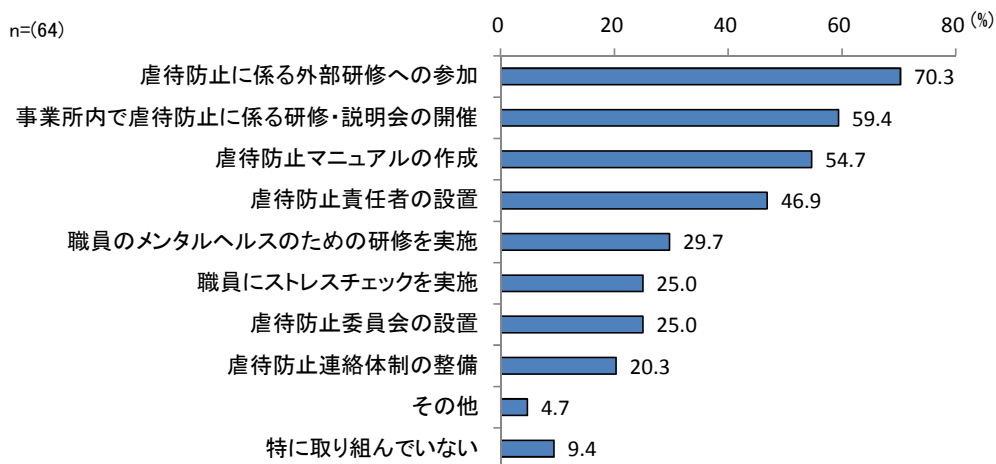
#### 4. 障害者の虐待防止について

##### (1) 虐待防止対策についての取り組み

問 29 貴事業所では虐待防止対策についてどのような取り組みをしていますか。

(〇はいくつでも)

「虐待防止に係る外部研修への参加」が 70.3%で最も多く、以下「事業所内で虐待防止に係る研修・説明会の開催」が 59.4%、「虐待防止マニュアルの作成」が 54.7%、「虐待防止責任者の設置」が 46.9%となっています。

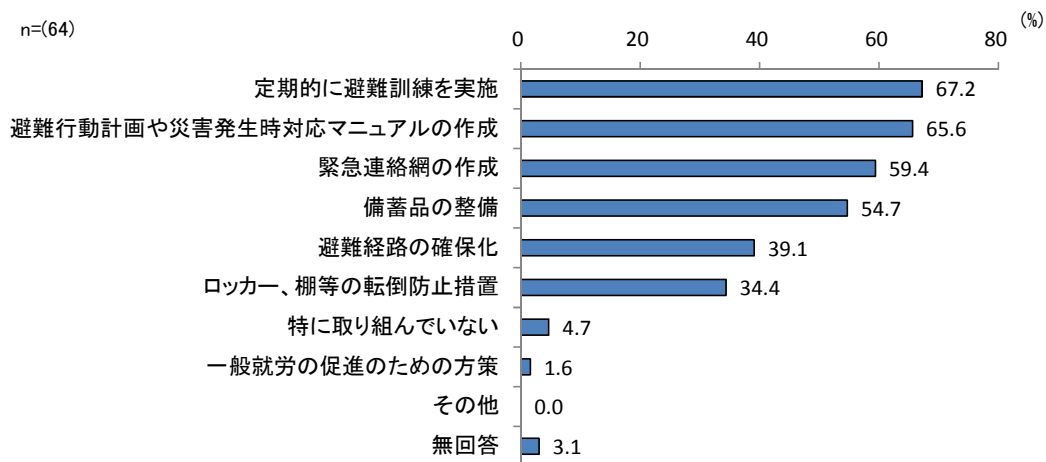


## 5. 災害時の対策について

### (1) 災害時の対策についての取り組み

問 30 貴事業所では災害時の対策についてどのような取り組みをしていますか。(〇はいくつでも)

「定期的に避難訓練を実施」が 67.2%で最も多く、以下「避難行動計画や災害発生時対応マニュアルの作成」が 65.6%、「緊急連絡網の作成」が 59.4%、「備蓄品の整備」が 54.7%となっています。

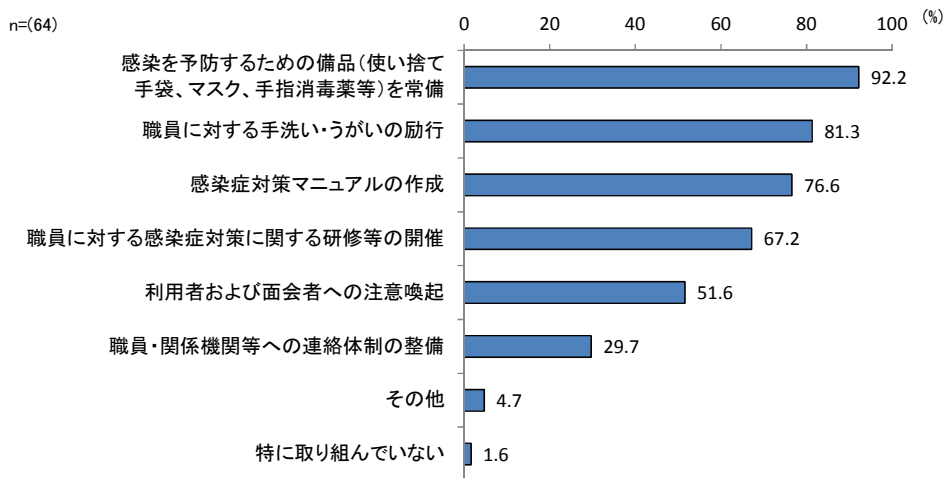


## 6. 感染症対策について

### (1) 感染症対策についての取り組み

問 31 貴事業所では感染症対策についてどのような取り組みをしていますか。(〇はいくつでも)

「感染を予防するための備品（使い捨て手袋、マスク、手指消毒薬等）を常備」が 92.2%で最も多く、以下「職員に対する手洗い・うがいの励行」が 81.3%、「感染症対策マニュアルの作成」が 76.6%、「職員に対する感染症対策に関する研修等の開催」が 67.2%となっています。

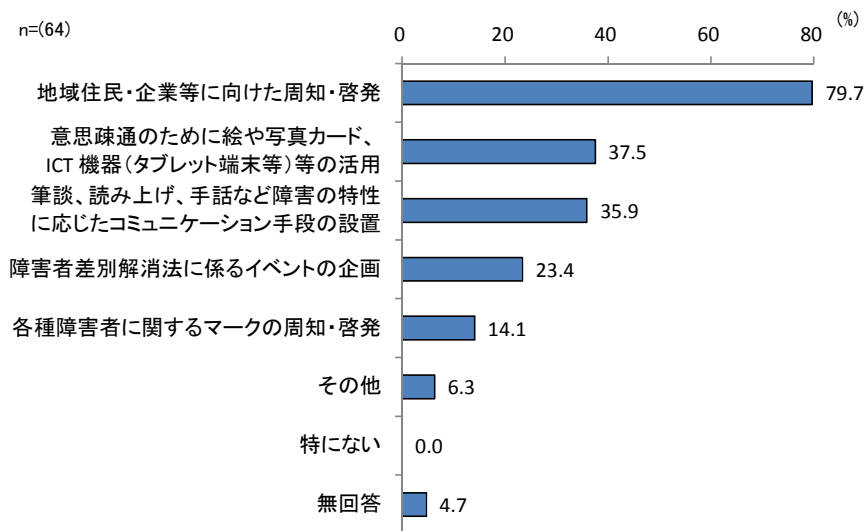


## 7. 障害者の差別解消について

### (1) 社会的障壁の除去に向けて、合理的配慮を進めていくために必要なこと

問 32 社会的障壁の除去に向けて、合理的配慮を進めていくために事業所として特に必要なことは何だと思われますか。(〇は3つまで)

「地域住民・企業等に向けた周知・啓発」が79.7%と最も多く、以下、「意思疎通のために絵や写真カード、ICT機器(タブレット端末等)等の活用」が37.5%、「筆談、読み上げ、手話など障害の特性に応じたコミュニケーション手段の設置」が35.9%となっています。



## 8. 自由意見

問 33 障害福祉に関するご意見やご要望などありましたら、ご自由にお書きください。

全部で 10 件の意見・要望がありました。

◆意見の概要 ※紙幅の都合により、内容を要約・抜粋している場合があります。

障害・高齢・子ども・貧困…一つの課題をそれぞれが取り組むのではなく、「共生」社会をどうつくるのか、その答えは「町づくり」にあると思っています。ぶつぶつと切れた人と人の糸をつなぎあわせる取り組みが次世代の笑顔を作ります。社会福祉法人改革と合わせ、それぞれの事業所が地域へアプローチするソーシャルワークの実践ができれば良い地域になるのではないのでしょうか。そして良い地域、みんな笑って過ごせる町は、結果として障害のある人も暮らしやすい町なのだと思います。住民参加型の福祉をしかけていきたいと思います。加えて、まずは成人施設と高齢者施設の融合にチャレンジしたいです。行政の方々には、このあたりのお知恵をおかりできたら幸いです。

放課後等デイの単価が高すぎると感じます。そのため、しっかりとした信念もなく利益だけを目的で参入している所が多いように感じます。今後厳格化が4月からすすむが、あまり意味がないのではないかと思います。また余かを楽しむことが決って悪いことではないというのも理解をしてもらいたいです。もちろん療育でしっかりとしたプログラムも必要だと思いますが、自由に子どもが遊べる場所も必要だと思います。余か型・療育型という形で放デイを分け、その単価も変えるというのも手ではないでしょうか。ご検討をお願いします。

当社はA型なのですが、行政からは特に（最賃）の事を強く言われますが、全ての障害の方が最賃をクリアできるのは、大変むずかしいものがあります。障害によって様々な利用者がいます。全てひっくるめて強く言われると行政の姿せいがわからなくなる時があります。何とか頑張っているのですが、私共の甘えでしょうか？（特に県の行政）

タクシー、バスなど公共交通機関のドライバーの態度が気になります。一般の方への対応は、言葉づかいも丁寧ですが、移動支援で同行をした際など、障害者の方の場合は、顔も見ない、めんどくさそうな態度をとるドライバーを見るため、同行するヘルパーも使用したくないという人も少なくありません。社会的障壁の除去に向けて周知、啓発が進めば良いと思います。

精神障害者の生活訓練施設、及びグループホームが不足しているので整備していただきたい。

職員の確保が課題。また世話人もほぼ高齢の為職員との意思疎通が難しい。盆や年末年始の人手不足、利用者に充実した余暇支援を提供できない。

障害児への取り組みが一環した流れの中で成人となった障害者へも提供できる部分と、中途障害や難病の方への支援内容の違いもあるし、知的、精神、身体をくってしまうのも無理があるので特性や本人の状況に見合った制度や支援がいいと思う。差別ではないので、より生活しやすい環境や取り組みという視点でいいのではないかと思います。高齢障害者への介護保険への移行に関しては金銭的なことだけではなく、サービスの充実を考えたらうで、スムーズに行える仕組みがあるといいと思う。

コミュニケーションで「手話」「触手話」「接近手話」などの技術を要することから、その職場環境に慣れるまでの心理的負担、技術習得のための時間は他の障害福祉サービス事業所に比べて大きいです。その状況を補い、ご利用者様の要望に添った支援をするために必要な職員数は現規定より多く、そのために配置する人材育成のための雇用は運営的な負担となっていることへご理解と加算等、助成制度の改善を求めます。さらに、職員が聴覚障害である場合、ご利用者様を含めない場面での家族（健聴）・医師（健聴）・ハローワークや就労予定先での協議が必要となった場合の情報保障が確立されていない現状把握とその改善を求めます。

障害福祉に関わる人のネットワークが不十分だと思う。各種協議会を設置し、市役所、区保健福祉センターを中心に、意見交換、研修等を行えると良い。自法人事業所利用者だけの計画相談しか行われない事業所や、他法人事業所を紹介しない相談事業者がある。質の確保も重要だと思う。

サービス管理責任者等の資格取得の研修受講について、年1回では不足。年2回に増やし、資格取得をすすめてほしい。・医療ケアの必要な方の通ったり、入所できる場が増えてほしい。サービス管理責任者（すでに取得し業務に携わる方）のフォローアップ研修。千葉でもやってほしい。補装具関係の業者は、施設だけでなく在宅等にも訪問していることから、様々な事業所の現場の実態をまのあたりにすることもあるようです。全ての事業所（規模の大小にかかわらず）に対して、厳しい目で実地指導を行ってください（出入りの業者から情報を得られやすいかもしれません）。

## 第3章 障害者団体・障害者施設関係団体等 とのヒアリング調査の結果

---





## 1 ヒアリング調査の概要

障害者基本法第9条第3項に規定する障害者計画及び障害者総合支援法第88条に規定する障害福祉計画の次期計画（平成30年度～平成32年度）の策定にあたり、千葉市内の障害者団体・障害者施設等を対象にヒアリングを行いました。

対象団体に事前に調査票を配布し、ヒアリングの当日に代表の方に会場に来ていただいて、調査票の記入内容を中心にお話を伺いました。

なお、平成28年度に検討した「千葉市における障害福祉施策に係る中長期指針」に関するヒアリングの中の一環として実施したため、障害福祉施策の方向性や現状の課題などの意見等については、当該指針の検討に活用し、「次期計画で早期に着手・重点的に実施すべき施策」として提案があった事項についてまとめました。

## 2 ヒアリング調査における意見等

### （１）障害の早期発見から相談機関への連携

- 障害の早期発見から相談機関への連携

現在、重度である利用者への対応も喫緊の課題ではあるが、事業関連費の増大を防ぐためには、より生き辛さを感じずに生活できる状況を整理するのも重要であると感じるため。

特に、二次障害を抱えやすい学齢期までに、障害への理解を本人、家族が意識できる状況を作っておくと、成人になってから苦しむ方も減らせると感じる。

（千葉市障害福祉サービス事業者連絡協議会）

- ひきこもり家庭へのアウトリーチ（訪問医療）型の仕組みづくり

ひきこもりが放置された場合、重症になる可能性があるため。

（特定非営利活動法人千家連）

### （２）相談機関とネットワーク構築

- 計画相談支援の充実

コーディネート機能が確立することにより、現在は不足している医療的ケア等がある方の利用できる福祉サービスが広がる。

高齢化が進んでいる障害者本人と家族に、家族以外の専門的な第三者による、きめ細やかな生活全般の支援は、親亡き後の支援にもつながる。

（千葉市重症心身障害児（者）を守る会）

- 障害者ひとりひとりに寄り添う相談体制の整備

家族、本人、親の高齢化と障害者自身の成長に伴い、相談体制は変化していく。

(千葉県肢体不自由児者父母の会)

- 専門性を重視した相談窓口設置

(千葉県身体障害者施設連絡協議会)

- 意思疎通・意思決定支援の充実

意思の疎通が困難な障害児者に対して、専門の教育を受けた者が支援にあたる体制づくりをしてほしい。千葉県として重点的に進めてほしい。

具体的には、計画相談の際に必ず専門員を交えることや、サービス等利用計画の作成時に意思疎通・意思決定支援の会議をもって、計画書の作成を行うことができればいいと思う。

(千葉県手をつなぐ育成会)

- 軌道に乗るまでは、現状の状態からみて相当な時間がかかるため、早期に実施すべき。

(千葉県手をつなぐ育成会)

- 中核的相談支援体制、相談支援を含めたネットワークの構築

計画相談の連携と、スーパーバイズと計画に乗らない人の相談支援体制を充実するためにも必要。

また、相談支援機能の底上げが行われると、より充実した障害福祉サービスを提供できるようになるため。

中核的な相談支援を銘打って行うところが必要で、各事業所が支援において困ることがあったら相談できればよい。特に、困難ケースがあった場合は、直接市役所等に相談するよりも、中核的な相談場所があれば、各事業所もまずそこに相談しやすいということがある。

(千葉県障害福祉サービス事業者連絡協議会)

- 地域生活支援拠点の整備

24時間365日相談支援ができる、グループホーム・短期入所の体験ができる、緊急時の対応ができる、専門的人材を育成する、地域の体制づくり。

「常時介護を要する者」であるか否かにかかわらず、地域での暮らしが可能な障害者等が安心して地域生活を開始・継続できるよう、地域で生活する障害者に対し、地域生活を支援する拠点の整備を推進すべきである。

(千葉県知的障害者福祉施設連絡協議会)

- 気軽に相談できる場の確保

子育てに不安を抱えている若いお母さんが気軽に相談にいける場所として、各区の保健福祉センターに、子育て相談の場を作ってください。

(千葉県自閉症協会)

- 療育センターの増設（少なくともあと2か所）。

（千葉市自閉症協会）

- 高次脳機能障害支援センターの設置

高次脳機能障害支援の窓口として、横浜市、名古屋市の政令市その他、さいたま市、堺市、京都市等に設置が進んでいます。千葉市としても設置の検討をお願いします。

千葉市でのセンター設置が実現すれば、市の行政や他の機関（こころの健康センター等）との連携が促進され、より普及啓発等が活発になることが期待できる。

（ちば高次脳機能障害者と家族の会）

- 相談支援専門員への理解を求める研修の実施

相談支援専門員その他福祉事業に携わる専門職の研修に高次脳機能障害支援に関する内容を加えて、理解の促進を図るようお願いします。

（ちば高次脳機能障害者と家族の会）

- 当事者の支援であるピアサポートの充実

放置された場合、重症になる可能性があるため。

（特定非営利活動法人千家連）

- 家族による家族相談体制の立ち上げ、充実

上から目線の医療、福祉サービスだけでは精神障害の患者家族が救われない。

（特定非営利活動法人千家連）

### （３）障害福祉サービス等の充実

- 重度若しくは特別な配慮を必要とする障害のある方へのサービス提供体制の整備

親も高齢化するのでショートステイ・居宅サービス等の需要の増加が見込まれます。

（千葉市肢体不自由児者父母の会）

- 通院送迎サービスの把握と実施拡大に向けて働きかけてほしい

各病院での送迎サービスは増えているが、まだ徹底はされていないのが現状である。一部の病院で行っている送迎サービスに対して、行政がなんらかの形で補助をしてくれれば、広まると思うので、検討してほしい。

また、現在どの病院がそのような独自のサービスを実施しているか、調査だけでもよいので、行ってほしい。

（千葉市腎臓病患者友の会）

- 福祉タクシー利用券について、通院で本当に困っている人に対して、手厚くしてほしい  
現在、市でもタクシー券を支給しているが、使用枚数が限られているため、早々に使い切ってしまう場合がある。例えば、タクシー利用の必要のない人、病院の送迎を利用している人はタクシー券を使う必要がない。

(千葉市腎臓病患者友の会)

- 重度心身障害者医療費助成制度の改正に伴う一部負担金を廃止してほしい  
また、新規65歳以上の透析患者を対象外とする年齢制限を廃止してほしい

(千葉市腎臓病患者友の会)

- サービス種別や事業を細かく分けることのメリットがないなら、サービス体系の見直し  
請求や書類に手間がかかりすぎる。利用する側もよくわからないのではないか。

(千葉市身体障害者施設連絡協議会)

- 現在の福祉サービスから取り残されている孤立した精神障害の患者家族へのケア・システムづくり(訪問医療、訪問看護、ホームヘルプ)。

(特定非営利活動法人千家連)

#### (4) 重い障害があっても自立できる社会の推進(住まいと社会のつながり)

- 視覚障害者を対象とした地域活動支援センターの設置

視覚障害者の現状は中途障害の増加と高齢化が顕著なこと。自立生活訓練を経て社会参加を果たそうとしても、適職がなく、日中活動の場も少ない。

(千葉市視覚障害者協会)

- 視覚障害者向けグループホームの設置

視覚障害者には一人暮らしの高齢女性が多い。身体障害者を対象としたグループホームが少ない上に、視覚・聴覚障害に関しては情報支援やコミュニケーションの点で他の障害との共同生活が難しく、本人も望んでいない。現状として、視覚障害者がグループホームに入ることができないケースが多い。

(千葉市視覚障害者協会)

- グループホームの整備

高齢化が進んでいるための親亡き後の支援。

(千葉市重症心身障害児(者)を守る会)

- グループホーム等生活場所の確保

親亡きあとの人生設計のために。

(特定非営利活動法人千家連)

- 重度障害のある方の住まいの場の確保

自宅、アパートでのひとり暮らしだけでなく、グループホーム等の生活の場の選択肢を増やすことが、必要と感じる。

(千葉市障害福祉サービス事業者連絡協議会)

- 医療施設（透析医療）を兼ね備えた住居施設の増設と利用料減額・補助等

団塊の世代が75歳から85歳代に突入する2025年になると、入院ベッドが足りなくなり、医療機関への通院も困難になる患者が多くなる。医療施設（透析医療）を兼ね備えた住居施設は現在も一部にあるが、今後のニーズの高まりを考えると増設を希望したい。

また、現存の医療施設（透析医療）を兼ね備えた住居施設は利用料が高額で入居できる人は限られるので、低料金で入居できるようにしていただきたい。

(千葉市腎臓病患者友の会)

- 福祉型短期入所施設、日中一時支援の充実

障害のある方の主たる介助者の休息や安心のために短期入所施設が充実することで、在宅を長く続けることが出来るため。定期的な短期入所利用が、ホームヘルパーを使いながらうまく在宅を続けていける生活設計につながると考える。

(千葉市障害福祉サービス事業者連絡協議会)

- 災害時の透析体制の確保について

- ① 透析患者のための「災害対策マニュアル」「災害対策シミュレーション」を作成してほしい

先の熊本地震の際には、県下23施設が透析不良となったと聞いている。災害時の備えは必要である。

- ② 災害時に備えて、透析施設に対する自家発電装置の設置に関する行政指導を行ってほしい

調査を行い把握するだけでもよいので、協力してもらいたい。熊本地震でも県下施設が透析不良になったため、他県の医療機関に4時間かけて行くことになった透析患者もいたと聞く。備えは必要である。

(千葉市腎臓病患者友の会)

- 災害時に備えて福祉避難所にオストメイト専用トイレの備蓄

熊本県、茨城県と続いた震災でも避難所にオストメイトトイレが無く大変困ったとの報告を受けています。今は簡易型から色々な製品が用意されています。震災が発生してからでは間に合いません。是非備蓄の検討をお願いします。

(千葉市オストミー協会)

- 災害時に備えて「自分のストーマ装具」の預かり保管の早急な実現

大規模災害時には日本用品協会から無償のストーマ装具が1か月分提供されます。

しかし、基本は「自助」です。いざという時に備えて自分の装具を持ち出せるよう各所に分散して準備を奨励していますが、万が一、流され使えなくなった場合は避難所では悲惨な生活が待っています。

緊急支援物資が届くまで自分の普段使用しているストーマ装具を堅牢な施設へ保管願えばさして費用も掛からず安心を得られるかと思います。

(千葉市オストミー協会)

- 災害時の避難や支援

避難体制などの周知、啓発が定期的に必要。

(千葉市重症心身障害児(者)を守る会)

## (5) 就労支援の充実

- 気軽に相談できる場の確保

一般就労している人たちが何でも相談できる憩いの場を作ってください。

(千葉市自閉症協会)

- 精神障害者がその人なりに安心して働ける場の確保など支援体制の充実

せっかく就労に結びついてもらっても長続きしない。もっと当事者に寄り添った仕組みが必要。

(特定非営利活動法人千家連)

- 多様な就労推進

精神障害者も社会の一員であるため。

(特定非営利活動法人千家連)

## (6) 人材の育成

- 専門的な対応を行っている事業所でも新しい人材が入ってこないとの悩みをよく聞く。重度の方にも様々な段階があり、より軽度の方へ様々な方が支援に入れるように育成を早期から始めてほしい。

(千葉市障害福祉サービス事業者連絡協議会)

- 職員の教育

最低でもホームヘルパー2級を取得している職員でないと専門職と言えないのではないかな。障害者虐待が問題となっているのも職員の意識の問題である。資格を持たない職員も雇うのであれば、その分、研修を行ってスキルを上げなければいけないと思う。

また、合わせて障害者の家族にも意識は持ってもらいたい。入所している利用者の家族が全く施設に顔を見せないケースもあるが、利用者本人と施設職員と家族のコミュニケーションがないと、職員のモチベーションも上がらない。

(千葉県身体障害者施設連絡協議会)

- 人材の育成と確保

児童精神科の増設、臨床心理士の増員、TEACCHやABAの専門家の育成、言語聴覚士や作業療法士の確保

遠方の発達障害専門病院に通っている人がとても多いという現状があります。PEP-RやAAPPEPを受けたことがない方がとても多く、これでは適切なアセスメントがなされたとは言えない状況です。生活スキルを身に付ける行動問題の原因を探る、など、自閉症の人の特性に合った支援をすることで双方が楽になると思います。

言語聴覚士は実際に子どもに対してカードを用いたりする指導を行う。作業療法士は行動療法を行う。臨床心理士は発達の場面から見て、検査、指導を行う。それぞれの役割がある。

(千葉県自閉症協会)

- 介護士によるオストメイトのストーマ装具交換の教育の早急な実施

オストメイトも高齢化が進んでいます。自分でストーマ装具交換ができなくなった時に施設や訪問の介護士の方に簡単な教育を実施するだけで装具交換ができるようになりました。従来は医療行為とされていて訪問看護師の仕事でしたが、厚労省の通達で上記が可能となりました。県内の他市では既に講習、教育が実施され始めています。オストメイトである事を理由に施設の入居を断られる等聞きますが、これらも解消できるかと思います。

(千葉県オストミー協会)

- 障害当事者団体の育成

東日本大震災においても公的支援を補う共助として当事者団体の果たす役割が大きくクローズアップされた。

(千葉県視覚障害者協会)

- 相談支援事業の報酬単価増

毎年、研修受講者が多くいるのに、その担い手がいなのは報酬単価が安すぎて運営が出来ないからである。報酬を上げて、人材を確保してほしい。

また、福祉職希望者に対して、奨学金制度により支援を行っているのが現状であるが、それでは人が集まらないし、適任でない人材が資金だけもらって学校に行って資格をとり、別の職種に流れる可能性もある。養成学校を設立するなどしないと人が集まらないのではないかと。

(千葉県身体障害者施設連絡協議会)

- 福祉を支える人材の育成、賃金アップのための報酬単価の増額

私たちの子どもたちが幸せに過ごすためにはとても大切。

(千葉市手をつなぐ育成会)

#### (7) 障害者への理解促進と社会参加しやすい環境の構築

- 要約筆記者養成事業の継続と筆談サポーター養成事業の実施

予算的に厳しいことは分かっているが、要約筆記者養成事業は続けていきたい。また、筆談サポーター養成事業を出来ればやりたい。

(千葉市中途失聴・難聴者協会)

- 千葉市の各区の高齢障害支援課の設置通訳者の人員増員

設置通訳を1名から2名に増員すべき。高齢障害支援課に行っても、相談等の外出により設置通訳の不在が多くて困っているとの不満が多く出ている。

(千葉市聴覚障害者協会)

- 千葉市内の透析患者の実態把握と啓発について

市内の透析患者の把握をし、透析患者に対して周知をしたい。

当会の会員は透析患者のほんの一部であり、全透析患者に対して啓発活動を行うことはなかなか出来ない状況にある。透析患者の中には自分の障害について理解できていない者もいる。非会員について、行政からの働きかけをお願いしたい。

病院によっては、当会の入会を勧めてもらえるところもあるが、ごく一部である。障害についての正確な知識を得るために当事者に会員になってもらえるといい。まず、会についての周知をすることを、行政や、特に病院に協力していただきたい。

(千葉市腎臓病患者友の会)

- 高次脳機能障害に対する理解活動の推進

高次脳機能障害の特性が広く一般の人々に理解されないと日常生活・就労・福祉支援・相談支援等生活全てにおける生きづらさが解消されない。

平成27年に改正された高次脳機能障害及びその関連障害に対する支援普及事業実施要領第2では、「実施主体は都道府県とする。なお、指定都市又は中核市で事業を実施した方が適切に事業実施できる場合には、指定都市又は中核市に事業の全部又は一部を委託することができるものとする。」とされています。

千葉市の場合には、どうなのか実態を把握し、早期な支援策の策定を考えて頂きたいと思います。

(ちば高次脳機能障害者と家族の会)



- 会議に精神障害者当事者を参加させてほしい

会議には親でなく当事者も積極的に参加させてほしい。代表者が集まる会議などでも当事者がオブザーバーでも構わないので参加できれば、どのような施策を考えるべきか、より具体的に考えることが出来るのではないかな。

(千葉県精神障害者共同作業所等連絡会)

- 本人の年金の管理方法

本人の年金が家族に流れていることがよくある。障害年金を頼りにして、家族が働かないというのは問題。

(千葉県身体障害者施設連絡協議会)

- 教育現場における正しい理解

強みを活かして、伸ばす指導、コミュニケーションの指導、ソーシャル・スキル・トレーニングを行ってほしい。不適切な対応の積み重ねにより、不信感や不安感を募らせて二次障害を発症してしまうのは学齢期だからです。苦手な集団生活をどうしたら落ち着いて過ごせるのか、そのための指導や工夫がほしいです。知的障害と情緒障害とにクラス分けはしていても実際のカリキュラムは同じで、自閉症に特化した教育的支援は展開されていないのが現状です。

養護教育センターで実施しているが、効率を考えるらしく、良さそうな子が受けられるみたいで、もうちょっときっちりやってほしい。普段の学校生活の中で、トラブルがあったときにその時にやるのが効果的。一般の先生にもやってもらったほうがよい。

(千葉県自閉症協会)

- 家族に暴力をふるう精神障害者に対する危機介入チームの編成

放置された場合、事件を引き起こす可能性があるため、通報があればすぐに駆けつける体制を地域につくる。

(特定非営利活動法人千家連)

## (8) 障害福祉施策関連事業費の増大への対応

- 障害の軽い人は、サービスを受けるだけではなく、就労等社会参加できるような支援が必要。障害の重い人は、地域で自分らしく暮らす事が出来るサービスが必要。

(千葉県肢体不自由児者父母の会)

- 各制度の存続が大事なので、一番の問題。

(千葉県手をつなぐ育成会)



資料編

---



千葉市障害者生活実態・意向調査

～アンケートへのご協力をお願い～

日頃から、本市の障害者施策にご理解、ご協力をいただき、誠にありがとうございます。  
本市では、来年度に障害者計画・障害福祉計画を策定するにあたり、皆様のご意見・ご要望を把握し、今後の障害者施策の推進に役立てるためのアンケート調査を実施することになりました。つきましては、お忙しいところ恐縮ですが、調査へのご協力をお願いいたします。

この調査は、障害者手帳または自立支援医療（精神通院医療）受給者証をお持ちの方の中から無作為抽出、無記名郵送方式でご回答いただきますので、ご回答された方が特定されたり、個人の回答内容が明らかにされたりすることはありません。ご回答いただいた内容は、統計的に処理した上で、障害者施策を推進するための基礎資料としてのみ活用し、その他の目的で使用されることは一切ありません。

この調査の趣旨をご理解いただき、調査にご協力いただけるようにお願いいたします。

千葉市 保健福祉局 高齢障害部 障害者自立支援課  
平成29年1月

ご記入にあたって

- ① 封筒のあて名がご本人でご回答ください。（この調査票で「あなたは」とあるのは、あて名がご本人のことです。また、ご本人の回答を代筆していただくことも可能です。）
- ② ご本人が病状や障害などの理由で回答できない場合には、ご家族や介助者の方がご本人の立場に立ってご回答ください。
- ③ 回答は、あてはまる選択肢の番号に直接〇印をつけてお答えください。「その他」に回答する場合は、その内容を（ ）内にご記入ください。回答欄に直接記入していただく設問もありますので、その場合は設問の指示にしたがってお書きください。
- ④ この調査票には、名前や住所、電話番号などは書かないでください。
- ⑤ 視覚障害者の方で、点字の調査票を希望する場合は下記の問合せ先にご連絡ください。

記入した調査票は、封筒の「返信用封筒」に入れて、切手は貼らずに  
平成29年2月8日（水）までに、ポストに投函してください。

お問い合わせ先

千葉市 保健福祉局 高齢障害部 障害者自立支援課 企画班  
電話：043-245-5175 FAX：043-245-5549

- この調査票でご回答いただくのはどなたですか。（〇は1つ）
1. あて名のご本人、又はご本人の回答を代筆する他の方
  2. ご家族の方（ご本人が回答できないため、ご本人の立場に立って回答）
  3. その他（ ）

1. ご本人について

問1 あなたの性別をおたずねします。（〇は1つ）

1. 男性
2. 女性

問2 あなたの年齢について、平成29年1月1日現在の年齢をご記入ください。

歳

問3 あなたのお住まいの区をおたずねします。（〇は1つ）

1. 中央区
2. 花見川区
3. 稲毛区
4. 若葉区
5. 緑区
6. 美浜区

問4 あなたがお持ちの手帳の種類と等級、自立支援医療（精神通院医療）の利用をおたずねします。（〇はいくつでも。手帳をお持ちの方は、カッコ内の等級（程度）にも〇印をつけてください。）

1. 身体障害者手帳（1級 2級 3級 4級 5級 6級）
2. 療育手帳（〇の1、2、3、4、5、6の1、2）
3. 精神障害者保健福祉手帳（1級 2級 3級）
4. 自立支援医療（精神通院医療）を利用している

問5 身体障害者手帳をお持ちの方におたずねします。障害の種類は何ですか。（〇はいくつでも）

1. 肢体不自由
2. 音声・言語・そしゃく機能障害
3. 視覚障害
4. 聴覚・平衡機能障害
5. 内部機能障害（免疫機能障害を含む）

問6 難病に罹患している方におたずねします。あなたの難病の種類は何ですか。

1. 画が指定する特定疾患（別表で該当する疾患の番号を記入してください。番号はいくつでも。）

2. その他の難病（病名をお書きください：）

問7 あなたは医師から高次脳機能障害と診断されたことがありますか。（○は1つ）  
※高次脳機能障害とは、病気や事故など、様々な原因で脳が部分的に損傷を受けたことにより生じる言語や記憶などの障害です。

1. 診断されたことがある
2. 診断されたことはない

問8 【問7で診断されたことがある（1番）に○をつけた方におたずねします。】  
あなた（ご本人）が障害を負った原因は何ですか。（○は1つ）

1. 脳血管疾患（脳梗塞・脳出血・くも膜下出血）
2. 脳外傷
3. 脳炎・低酸素脳症
4. その他（ ）

2. 医療機関への受診状況について

問9 あなたは最近1年間に、障害や疾病が原因で医療機関を受診しましたか。（○は1つ）

1. 障害や疾病では受診していない

2. 一時的に受診したが、入院はしていない

3. 1年間継続して受診したが、入院はしていない

4. 一時入院した（入院期間以外に通院した場合も含む）

5. 1年間継続して入院していた

問10 あなたが現在受けている医療的ケアの種類をおたずねします。（○はいくつでも）

1. 吸引

2. 吸入

3. 経管栄養

4. 中心静脈栄養

5. 導尿

6. 在宅酸素

7. ネブライザー

8. 咽頭エアウェイ

9. パルスオキシメーター

10. 気管切開部の管理（ガーゼ交換等）

11. 人工呼吸器の管理

12. 人工肛門、人工膀胱の管理

13. アルツハイマー病等の認知症への対応

14. インシュリン注射

15. 人工透析

16. 服薬管理

17. その他（ ）

18. 受けていない

問11 【問10で1～17番に○をつけた方におたずねします。】  
医療的ケアについて、誰かに相談をしていますか。（○はいくつでも）

1. 家族（配偶者、母親、父親、その他の家族や親族）

2. 医師

3. 看護師

4. ホームヘルパー

5. その他（ ）

6. 特に相談していない

問12 【問10で1～17番に○をつけた方におたずねします。】  
現在、医療的ケアを行っている人は誰ですか。（○はいくつでも）

1. 自分自身
2. 家族（配偶者、母親、父親、その他の家族や親族）
3. 医師
4. 看護師
5. その他（ ）

問13 障害者総合支援法に基づく障害福祉サービスとして、医療的ケアが必要な重度の障害がある方について、介助者の病気やその他の理由により、介助が難しくなった場合に、一時的に施設（病院・診療所等）が利用できる事業「医療型短期入所」があります。

（1）あなたは「医療型短期入所」のことを知っていますか。（○は1つ）

1. 知っている
2. 知らない

（2）あなたは「医療型短期入所」の必要性を感じていますか。（○は1つ）

1. 感じている
2. 感じていない
3. わからない

問14 あなたの「医療」についておたずねします。あなたはどの病院や診療所に通院していますか。（○はいくつでも）

1. 市内の歩いていける場所
2. 市内の歩いていけない場所
3. 市内の市町村（平塚市以外）
4. 東京都内
5. その他（具体的に： ）（都道府県）（市区町村）
6. 特に通院していない

3. 家族や介助者について

問15 あなたは、どなたと一緒に暮らしていますか。（○はいくつでも）

1. 母親

2. 父親

3. 兄弟姉妹

4. 祖父母

5. 配偶者

6. 子ども

7. その他の親族

8. 施設（グループホーム等）で暮らしている

9. ひとり暮らし

10. その他（ ）

問16 あなたへの介助について、主な介助者はどなたですか。(○は1つ)

1. 母親
2. 父親
3. 兄弟姉妹
4. 祖父母
5. 配偶者
6. 子ども
7. その他の親族
8. ホームヘルパー
9. ボランティア
10. 介助は受けていない
11. その他 ( )

問17 【問16で主な介助者が家族・親族 (1～7番) に○をつけた方におたずねします。】

主な介助者の年齢をお答えください。(○は1つ)

1. 20歳未満
2. 20代
3. 30代
4. 40代
5. 50代
6. 60代
7. 70歳以上

問18 【問16で主な介助者が家族・親族 (1～7番) に○をつけた方におたずねします。】

主な介助者の介助継続年数をお答えください。(○は1つ)

1. 1年未満
2. 1年以上～5年未満
3. 5年以上～10年未満
4. 10年以上～15年未満
5. 15年以上～20年未満
6. 20年以上～25年未満
7. 25年以上～30年未満
8. 30年以上

問19 【問16で主な介助者が家族・親族 (1～7番) に○をつけた方におたずねします。】

主な介助者が困っていることは何ですか。(○はいくつでも)

1. 介助者自身の健康に不安がある
2. 介助者の高齢化に不安がある
3. 代わりに介助を頼める人がいない
4. 緊急時の対応に不安がある
5. 身体的な負担が大きい
6. 精神的な負担が大きい
7. 経済的な負担が大きい
8. 仕事に出られない
9. 長期の旅行や外出ができない
10. 休養や息抜き時間が少ない
11. 特に困っていることはない
12. よくわからない
13. その他 ( )

#### 4. 相談や情報入手について

問20 あなた (やご家族の方) は、日常生活で困っていることはありますか。(○はいくつでも)

1. 自分では身の回りの事が十分にできない
2. 自分や家族だけでは家事が十分にできない
3. 健康状態に不安がある
4. 介助者の負担が大きい
5. 段差や階段など、住まいに支障がある
6. 外出するのに支障がある
7. 利用したい福祉サービスを十分利用できない
8. 収入や生活費に不安を感じている
9. 緊急時に支援が得られない
10. 近所の人などとの人間関係に支障がある
11. 将来の生活に不安を感じている
12. 特に困っていることはない
13. その他 ( )

問21 あなた (やご家族の方) が困った時に相談する相手は誰 (どこ) ですか。(○はいくつでも)

1. 家族・親族
2. 友人・知人
3. 近所の人
4. 相談支援事業所
5. ホームヘルパー
6. 施設等の職員
7. 医療関係者 (医師・看護師など)
8. 障害者団体や家族の会
9. 学校の職員
10. 民生委員・児童委員
11. 身体障害者相談員・知的障害者相談員
12. 保健福祉センター
13. 発達障害者支援センター
14. こころの健康センター
15. 相談する相手はいない
16. その他 ( )

問22 あなた (やご家族の方) は、どのような相談制度があれば、より便利だと思いますか。(○はいくつでも)

1. 近所で気軽に立ち寄れる相談
2. 休日や夜間など緊急時の相談
3. 専門性の高い職員による相談
4. 自分と同じ立場の人による相談
5. 定期的に訪問してくれる相談
6. プライバシーに配慮した相談
7. 特に希望はない
8. その他 ( )

問23 あなた（やご家族の方）は、どのような相談方法が相談しやすいですか。  
（〇はいくつでも）

- 電話による相談
- 電子メールやインターネットによる相談
- ファックスによる相談
- 手話通訳者のサポートを受けられる相談
- その他（ ）

問24 あなた（やご家族の方）は、福祉に関する情報を、どこから知ることが多いですか。  
（〇はいくつでも）

- ちば市政だより
- 市のパンフレットなど
- 障害者団体などの刊行物
- 学校のお知らせ
- 市のホームページ
- 市以外のホームページ
- 新聞・雑誌
- テレビ・ラジオ
- 施設や福祉サービス事業所
- 医療機関
- 障害者団体や家族の会
- 民生委員・児童委員
- 身体障害者相談員・知的障害者相談員
- 身体障害者相談員・知的障害者相談員
- 市の窓口
- その他（ ）

問25 あなたは、商品の購入やサービスの利用にあたって、トラブルになったことがありますか。（〇は1つ）

- ある
- ない

問26 【問25で「1. ある」に〇をつけた方におたずねします。】

あなたは、どこに（誰に）相談しましたか。（〇はいくつでも）

- 購入先、利用先、勧誘員
- メーカー
- 業界団体の窓口
- 国民生活センター
- 千葉県消費生活センター
- 千葉県消費生活センター
- その他の国・地方公共団体等の相談窓口
- 弁護士
- 警察
- 家族・友人・知人
- わからない、覚えていない
- 相談していない
- その他（ ）

## 5. あなたの暮らしについて

問27 あなたのお住まいの種類をお聞きます。（〇は1つ）

- 持ち家（一戸建て）
- 持ち家（集合住宅）
- 民間賃貸住宅（一戸建て）
- 民間賃貸住宅（集合住宅）
- 公営住宅
- UR都市機構住宅（旧公営住宅）
- グループホーム
- その他（ ）

問28 あなたは、住まいについて困っていることがありますか。（〇はいくつでも）

- 階段の昇降
- 玄関・出入口などの段差
- 風呂が使いにくい
- トイレが使いにくい
- 建物の老朽化
- 家賃など住宅費の負担
- 特に困っていることはない
- その他（ ）

問29 あなたは、どのくらいの頻度で外出していますか。（〇は1つ）

- 週4日以上
- 週2～3日
- 週1日くらい
- 月2～3日
- 月1日くらい
- あまり外出しない

問30 あなたは、どのような目的で外出することが多いですか。（〇はいくつでも）

- 通勤・通学・通所
- 訓練やリハビリ
- 医療機関への受診
- 買い物
- 友人・知人と会う
- 趣味やスポーツ
- グループ活動
- 散歩に行く
- あまり外出しない
- その他（ ）

問31 あなたは、外出時の移動手段について、何を利用していますか。（〇はいくつでも）

- 鉄道
- バス
- モノレール
- タクシー
- 自家用車
- その他（ ）



問32 あなたは、外出時に困っていることがありますか。(○はいくつでも)

1. 歩道・通路の段差
2. 警告の短さ
3. 歩道・通路の障害物
4. バスやタクシーなどの乗降
5. 建物の階段・段差
6. エレベーターの場所がわかりにくい
7. トイレの利用
8. 周りの人に手助けを頼みにくい
9. 周囲の音が気になる
10. 特に困っていることはない
11. その他 ( )

問33 外出先のトイレに望むことは何ですか。(○はいくつでも)

1. 点字で男女の別がわかるようにしてほしい
2. 男女の別やペーパーの位置、洗浄ボタン等を音声案内で知らせしてほしい
3. 絵文字表示を角やすくしてほしい
4. トイレの中を明るくしてほしい
5. トイレの中の段差をなくしてほしい
6. 点字ブロックをつけてほしい
7. 便器等の位置、向きを統一してほしい
8. トイレの中に手すりをつけてほしい
9. エアタオルをつけてほしい
10. トイレに十分な広さがほしい
11. 緊急通報ボタンをつけてほしい
12. 特にない
13. その他 ( )

問34 あなたは日頃、近くの公園を利用していますか。(○は1つ)

1. よく利用する
2. 時々利用する
3. あまり利用しない
4. 全く利用しない

問35 【問34で「1. よく利用する」または「2. 時々利用する」に○をつけた方におたずねします】あなたが公園を利用する目的は何ですか。(○はいくつでも)

1. 散歩
2. 運動
3. 休息
4. 植物などの自然観賞
5. 昼食
6. 公園を近道に使っている
7. 周辺の散策途中のトイレ利用や休憩
8. 子どもの遊び場
9. イベント見学・参加
10. その他 ( )

問36 あなたは、障害者が安心して公園を利用できるようにするために、何が重要だと思いますか。(○はいくつでも)

1. 通路の幅を広げてほしい
2. 手すりをつけてほしい
3. 段差や急な坂をなくしてほしい
4. 点字や音声でわかりやすく情報を伝えてほしい
5. 障害者の利用しやすいトイレを設置してほしい
6. 障害者にとって危険な遊びや運動については利用者にマナーを守るよう指導してほしい
7. ベンチを増やしてほしい
8. 利用しやすい水飲み場、手洗い場を設置してほしい
9. 特に必要なことはない
10. その他 ( )

## 6. 災害対策について

問37 あなたは、地震などの災害が起きた時について、どのようなことを不安に思いますか。(○はいくつでも)

1. 自分や家族だけでは避難できない
2. 自分では助けを呼ぶことができない
3. 災害に関する情報を得るのが難しい
4. 避難所の設備が障害に対応しているか不安
5. 避難所で必要な介助を受けられるか不安
6. 避難所で一般市民と一緒に生活できるか不安
7. 薬や医療的なケアが確保できるか不安
8. 特に不安に思うことはない
9. その他 ( )

問38 あなたは、災害発生に備えて、避難生活に必要な物資（薬や装具等）を、備蓄していますか。(○は1つ)

1. 1週間分以上の備蓄がある
2. 4～6日分くらいの備蓄がある
3. 1～3日分くらいの備蓄がある
4. 備蓄していない

問 39 あなたは、災害に対してどのような備えをしていますか。(○はいくつでも)

1. 日頃から家族で災害時の対応を話し合っている

2. 非常持ち出し品の用意、非常食等の備蓄(3日分程度)をしている

3. 非常持ち出し品や備蓄品の中に、障害や難病の状況にに応じて必要な医薬品、装具、食料等を用意している

4. 避難所等において医療が受けられるよう、必要な医薬品や医療機関の連絡先などを記録している

5. 家族や近所の人、知人等に、災害が発生したときの手助けをお願いしている

6. 自分の障害のことや緊急連絡先等を記載したカードを作成している

7. 市の避難行動要支援者名簿の作成にあたり、個人情報提供について同意している

8. 多員に転倒防止器具を取り付けている

9. 住居の耐震診断を受け、必要な補強を行っている

10. 災害時に避難する指定避難所(一次避難所)を知っている

11. 地域の防災訓練や勉強会・セミナー等に参加している

12. 特にない

13. その他( )

問 40 あなたは、災害で避難する場合に、どのような支援をしてほしいですか。(○はいくつでも)

1. 一人では避難できないので、移動の介助をしてほしい
2. 災害の情報をわかりやすく伝えてほしい
3. 障害の種類や程度に対応した配慮をしてほしい
4. 地域の人にとって安全確認等をしてほしい
5. 避難場所の情報を的確に伝えてほしい
6. 特に必要なことはない
7. その他( )

7. 日中活動・就労について

問 41 あなたは、平日の日中を主にどのように過ごしていますか。(最もあてはまる番号ひとつに○)

1. 正職員として働いている
2. パート・アルバイトなどで働いている
3. 福祉的就労をしている(作業所など)
4. 自宅で就労している(収入のある仕事)
5. 福祉的就労以外の通所施設に通っている
6. 自宅で家事や手伝いをしている
7. 学校などに通っている
8. 職業訓練中
9. 就労活動中
10. 特に何もしていない
11. その他( )

問 42 【問 41 で働いている(1~4番)に○をつけた方におたずねします。】あなたが仕事上ですべて困っていることはなんですか。(○は3つまで)

1. 身体的な負担が大きい
2. 精神的な負担が大きい
3. 通勤が大変
4. 職場の施設が障害に対応していない
5. 障害に対する職場の理解不足
6. 職場の人間関係
7. 仕事の相談をする相手がいらない
8. 仕事で自分には合わない
9. 給与・工賃などの収入が少ない
10. 仕事が難しくて覚えられない
11. 特に困っていることはない
12. その他( )

問 43 【問 41 で働いていない(5~7番)に○をつけた方におたずねします。】あなたが働いていない理由はなんですか。(○は3つまで)

1. 障害や病気が重いから
2. 高齢だから
3. 自分に合った仕事が見つからないから
4. 希望に合った求人が見つからないから
5. 働く自信がないから
6. 通勤が困難だから
7. 障害に理解のある職場が見つかるか不安があるから
8. 人間関係がうまくいかず不安があるから
9. 趣味の活動など仕事以外のことをしたいから
10. その他( )

問44 あなたは、障害のある人が企業などで一般就労するためには、どのような支援が必要だ  
と思いますか。(○はいくつでも)

- 1. 仕事探しから就労までの総合的な相談支援
- 2. 働くための知識や能力を身につけるための職業訓練
- 3. 職場を理解するための就労体験
- 4. 障害の特性に合った職業・雇用の拡大
- 5. 障害者向けの求人情報の提供
- 6. 障害理解を促進するための職場への働きかけ
- 7. 職場施設のバリアフリー化
- 8. 障害や病気の状態に合った柔軟な勤務形態
- 9. ジョブコーチなど職場に定着するための支援
- 10. 特に必要なことはない
- 11. わからない
- 12. その他 ( )

問45 あなたは今後、どのような活動に取り組みたいと思いますか。すでに取り組んでいる方は、  
今後も取り組みたいかどうかをお答えください。(○はいくつでも)

- 1. 趣味・教養に関する活動
- 2. 学習活動
- 3. スポーツ活動
- 4. ボランティア活動
- 5. 障害者団体の活動
- 6. 町内会・自治会など地域の活動
- 7. 特にない
- 8. その他 ( )

8. 運動やスポーツについて

問46 あなたは、運動やスポーツをしていますか。  
(学校に通っている方は、学校の授業を除く)

- 1. している
- 2. していたが、今はやっていない
- 3. 今まで運動やスポーツをしたことがない

問 47 【問46で「1. している」に○をつけた方におたずねします】

あなたは、どのくらいの頻度で運動やスポーツをしていますか。

- 1. 週に3回以上
- 2. 週に1～2回
- 3. 月に1～3回
- 4. 年に1～11回

問48 【問46で「1. している」または「2. していたが、今はやっていない」に○をつけた方に  
おたずねします】あなたがやっている(行っている)運動やスポーツの種目は何ですか。

(あてはまるものすべてに○)

- |                      |                   |                      |
|----------------------|-------------------|----------------------|
| 1. ウォーキング            | 2. ランニング・マラソン     | 3. ラジオ体操・健康体操        |
| 4. ヨガ・太極拳            | 5. ウエイトトレーニング     | 6. ダンス               |
| 7. エアロビクス            | 8. 水泳             | 9. ゴルフ               |
| 10. 野球・ソフトボール        | 11. サッカー・フットサル    | 12. ラグビー             |
| 13. バスケットボール         | 14. 陸上競技          | 15. バレーボール・ソフトバレーボール |
| 16. ハンドボール           | 17. テニス・ソフトテニス    | 18. バドミントン           |
| 19. 卓球               | 20. アイススケート       | 21. スキー・スノーボード       |
| 22. 柔道               | 23. 剣道            | 24. 空手・合気道           |
| 25. グレートボール          | 26. ボウリング         | 27. グラウンドゴルフ         |
| 28. 登山・キャンプ          | 29. サイクリング        | 30. ヨット・サーフィン        |
| 31. トライアスロン          | 32. パークゴルフ        |                      |
| 【上記を除く全国障害者スポーツ大会競技】 |                   |                      |
| 33. アーチェリー           | 34. グランドソフトボール    | 35. 車椅子バスケットボール      |
| 36. サウンドテablルテニス     | 37. フットベースボール     | 38. フライングディスク        |
| 【上記を除くパラリンピックの公式競技等】 |                   |                      |
| 39. ウィルチアエーラグビー      | 40. カヌー           | 41. 車いすテニス           |
| 42. 車いすフエッジング        | 43. ゴールボール        | 44. 電動車椅子サッカー        |
| 45. 5人制サッカー(視覚障害者)   | 46. 7人制サッカー(聴性麻痺) |                      |
| 47. シッティンクハレーボール     | 48. 自転車競技         | 49. 射撃               |
| 50. セーリング            | 51. テコンドー         | 52. トライアスロン          |
| 53. 馬術               | 54. パワーリフティング     | 55. ポート              |
| 56. ボッチャ             |                   |                      |
| 57. その他 ( )          |                   |                      |

問49 今後、障害のある方がスポーツ活動を、より多く行うためには、どのようなになればいい  
と思いますか。(あてはまるものすべてに○)

- 1. 身近で気軽に、障害者が見える施設があれば
- 2. 安く使える施設があれば
- 3. 一緒にスポーツをする仲間がいれば
- 4. 子どもを預けられるところがあれば
- 5. スポーツを教えてくれる人がいれば
- 6. 施設の環境・雰囲気良くなれば
- 7. 時間に余裕があれば
- 8. 経済的な援助があれば
- 9. わからない
- 10. その他 ( )

問50 【問46 で「3. 今まで運動やスポーツをしたことがない」に○を付けた方におたずねします】 あなたがスポーツをしない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. スポーツができる場所がないため
2. スポーツをする施設が受け入れてくれないため
3. 指導してくれる人がいないため
4. 上手にスポーツができる自信がないため
5. スポーツをするために必要な器具や用具がないため
6. 経済的に無理であるため
7. 一緒にスポーツをする仲間がないため
8. 介助などのボランティアがないため
9. 障害の程度が重く、スポーツは無理であるため
10. 今のスポーツをやったらよいかわからないため
11. してみたいスポーツがないため
12. スポーツが嫌いだから
13. 忙しくて時間がないから
14. その他 ( )

## 9. 将来について

問51 あなたは、親なき後の生活を考えたとき、どのような不安がありますか。(○はいくつでも)

1. 身の回りの介助や援助をしてくれる人がいるか
2. 財産管理や契約などの手続きを自分で出来るか
3. 結婚できるかどうか、結婚生活を続けられるか
4. いっしょに暮らす家族がいるか
5. 十分な教育を受けられるか
6. 働く場所や適当な仕事があるか
7. 十分な収入が得られるか
8. 趣味や生きがいを持てるか
9. 生活をするうえで必要な情報を得られるか
10. 将来に不安はない
11. その他 ( )

問52 あなたは将来、どのような暮らし方をしたいと思いますか。(○は1つ)

1. 自宅で家族と暮らしたい
2. 自宅でひとり暮らしをしたい
3. グループホームなどに入居したい
4. 障害者の入所施設に入りたい
5. 高齢者の入所施設に入りたい (特別養護老人ホームなど)
6. わからない
7. その他 ( )

問53 あなたは、障害のある人が地域で生活していくためには、何が必要だと思いますか。(○は3つまで)

1. 地域の人のための障害に対する理解
2. 地域生活に関する相談支援
3. 訪問系サービスの充実
4. 日中活動系サービスの充実
5. 自立生活のための訓練・体験
6. グループホームなどの拡充
7. 障害者のための住宅の確保
8. 医療体制の充実
9. 就労のための支援
10. 災害時の支援
11. 道路・交通・建物のバリアフリー化
12. 経済的負担の軽減
13. 特に必要なことはない
14. わからない
15. その他 ( )

問54 【主な介助者の方におたずねします。】今あなたが介助をしている人に、将来どのような暮らし方をしてほしいと思いますか。(○は1つ)

1. 自宅で家族と暮らしてほしい
2. 自宅でひとり暮らしをしてほしい
3. グループホームなどに入居してほしい
4. 障害者の入所施設に入してほしい
5. 高齢者の入所施設に入してほしい (特別養護老人ホームなど)
6. わからない
7. その他 ( )

## 10. 障害のある人に対する理解度

問55 あなたは、地域で生活をしていて、差別を感じることがありますか。(○は1つ)

1. 頻繁に感じる
2. 時々感じる
3. あまり感じない
4. 感じない
5. わからない

問56 あなたは、障害のある人に対する市民の理解が、どの程度あると感じていますか。(○は1つ)

1. よく理解されている
2. おおむね理解されている
3. あまり理解されていない
4. まったく理解されていない
5. わからない

問57 障害者への差別をなくすことを目的として、平成28年4月1日に「障害者差別解消法」が施行されましたが、このことを知っていますか。(○は1つ)

※障害者差別解消法は、すべての国民が、障害の有無によって分け隔てられることなく、相互に人格と個性を尊重し合いながら共生する社会の実現に向け、障害を理由とする差別の解消を社会において推進することを目的に制定され、平成28年4月1日に施行されました。

1. 内容まで知っている      2. 名前だけは知っている      3. 知らない

問58 あなたは、障害者が選挙の投票をしやすいとするために、投票所に何が必要だと思えますか。(○はいくつでも)

1. 候補者情報を紙や音声で伝えてほしい  
2. 段差をなくしてほしい  
3. 車いすを用意してほしい  
4. 投票しやすいようサポートする人を配置してほしい  
5. 代理投票制度を活用しやすくしてほしい  
6. コミュニケーションボード等を活用し、障害者にわかりやすく、投票方法等について説明してほしい  
7. 特に必要なことはない  
8. その他 ( )

問59 あなたは、障害者に対する理解をより深めるために、どのようなことを行政に取り組んでみたいですか。(○は2つまで)

1. 障害者理解のための学校教育の普及  
2. 広報などによる啓発活動の推進  
3. 障害者の活動や団体の活動の紹介  
4. ボランティアの活動の推進  
5. 障害のある人と参加できるスポーツ・文化活動の推進  
6. 障害のある人に配慮した公共施設や道路の整備  
7. 障害者福祉に関する広報やパンフレットの作成  
8. 特にない  
9. その他 ( )

問60 あなたは、障害者に対する理解をより深めるために、どのようなことを企業に取り組んでみたいですか。(○は2つまで)

1. 社員に対して障害者雇用の意義を、研修を通じて伝えていく  
2. 就労を自指している障害者のいる特別支援学校等を見学する  
3. 障害者を雇用している企業の見学を行う  
4. 障害者雇用の実習を受け入れる  
5. 社賞が障害者の種類や程度に対応して、コミュニケーションできるようにする  
6. 障害者とともに職場で働く上での配慮すべきことをまとめたパンフレットやマニュアルを作成する。  
7. 特にない  
8. その他 ( )

問61 障害者への理解を深めるために、障害者自身がどのような取り組みをしていく必要があると思いますか。(○は2つまで)

1. 障害者差別解消法の合理的配慮等、障害者の人権に関する法律や制度への理解を深める  
2. スポーツ大会やイベント等、地域の人々との交流の場へ積極的に参加する  
3. まちづくりや地域づくり等に障害者の視点を反映できるようにしていく  
4. 障害者団体に参加し、様々な活動を通じて市民と関わっていく  
5. 障害者の視点から、障害者理解のためのパンフレット等がより市民にわかりやすいものとなるよう工夫していく  
6. 職場においても、自分の能力や個性を活かして仕事をしていく  
7. 特にない  
8. その他 ( )

※合理的配慮とは、行政 機関等へ障害者から社会的障壁の除去を必要としている旨の意思の表明 があった場合に、その実施に伴う負担が過重でないときは、社会的障壁(バリア)を除去するための必要かつ合理的な取組を行わなければならないことです。(民間事業者については努力義務)

問62 社会的障壁の除去に向けて、合理的配慮を進めていくためには何だと思われるですか。(○は2つまで)

1. 市民や民間事業者に対して障害者差別解消法に関する周知・啓発  
2. 障害者差別解消法に係るセミナー等の開催  
3. 障害当事者を講師とした市民・民間事業者向けの研修  
4. 筆談、読み上げ、手話など障害の特性に応じたコミュニケーション手段の設置  
5. 意識疎通のために絵や写真カード、ICT機器(タブレット端末等)等の活用  
6. 各種障害者に関するマークの周知・啓発  
7. 特にない  
8. その他 ( )

11. サービス利用について

(1) 訪問系サービス

問63 あなたは、次のような訪問系サービスを利用していますか。また今後利用したいと思いますか。すでに利用している方も、今後利用したいかどうかをお答えください。  
(①～⑤のそれぞれのサービスについて、回答欄Aは1・2のどちらか、回答欄Bは1・2のどちらかに○をつけてください。)

サービス名	サービスの内容	回答欄 (A)		回答欄 (B)	
		現在の利用状況		今後の利用希望	
		利用している	利用していない	利用したい	利用したくない
① 居宅介護 (ホームヘルプ)	自宅で、身体介護や家事援助などの支援を行います。	1	2	1	2
② 重度訪問介護	重度の肢体不自由者、重度の知的障害者・精神障害者に、入浴、排せつ、食事などの介護を総合的にを行います。	1	2	1	2
③ 行動援護	行動障害のある知的障害者・精神障害者に、移動介護や危険回避等の援護を行います。	1	2	1	2
④ 重度障害者等包括支援	常に介護を必要とする障害者に、居宅介護などのサービスを包括的に提供します。	1	2	1	2
⑤ 同行援護	移動に著しい困難を有する視覚障害者に、移動時及び外出先で、情報支援や移動援護などを行います。	1	2	1	2

問64 あなたは、訪問系サービスの利用に関して困っていることがありますか。(○はいくつでも)

1. サービスの内容や使い方がよくわからない
2. サービスに関する情報が少ない
3. 利用したいサービスが利用できない
4. サービス利用の手続きが煩瑣
5. 事業所との日時などの調整が煩瑣
6. 利用できる回数や日数が少ない
7. サービスの質について困っている
8. 利用者負担について困っている
9. 特に困っていることはない
10. その他 ( )

(2) 日中活動サービス

問65 あなたは、次のような日中活動系サービスを利用していますか。また今後利用したいと思いますか。すでに利用している方も、今後利用したいかどうかをお答えください。(①～⑦のそれぞれのサービスについて、回答欄Aは1・2のどちらか、回答欄Bは1・2のどちらかに○をつけてください。)

サービス名	サービスの内容	回答欄 (A)		回答欄 (B)	
		現在の利用状況		今後の利用希望	
		利用している	利用していない	利用したい	利用したくない
① 生活介護	常に介護を必要とする障害者に、施設などで介護や創作的活動などの機会を提供します。	1	2	1	2
② 自立訓練 (機能訓練・生活訓練)	自立した日常生活や社会生活を営むことができるように、必要な訓練を行います。	1	2	1	2
③ 就労移行支援	一般就労を希望する障害者に、就労に必要な知識・能力向上のための訓練を行います。	1	2	1	2
④ 就労継続支援 (A型・B型)	一般就労が難しい障害者に、生産活動などの訓練を行います。	1	2	1	2
⑤ 療養介護	医療を要する障害者に、病院などで機能訓練や看護、介護などを行います。	1	2	1	2

サービス名	サービスの内容	回 答 欄 (A)		回 答 欄 (B)	
		現在の利用状況		今後の利用希望	
		利用している	利用していない	利用したい	利用しない
⑥短期入所（シヨートステイ）	介護者が病気等のときに、短期間、施設で必要な介護等の支援を行います。	1	2	1	2
⑦その他の通所施設	（具体的なサービス名をお書きください： ）	1	2	1	2

問66 あなたは、日 中活動系サービスの利用に困っていることがありますか。（○はいくつでも）

- サービスの内容や使い方がよくわからない
- サービスに関する情報が少ない
- 利用したいサービスが利用できない
- サービス利用の手続きが大変
- 事業者との日時などの調整が大変
- 利用できる回数や日数が少ない
- サービスの質について困っている
- 他の利用者との関係について困っている
- 施設への通所が大変
- 利用者負担について困っている
- 特に困っていることはない
- その他（ ）

(3) 居住系サービス

問67 あなたは、次のような居住系サービスを利用していますか。また今後利用したいと思いますか。すでに利用している方も、今後利用したいかどうかをお答えください。

- (①～②のそれぞれのサービスについて、回答欄Aは1・2のどちらか、回答欄Bは1・2のどちらかに○をつけてください。)

サービス名	サービスの内容	回 答 欄 (A)		回 答 欄 (B)	
		現在の利用状況		今後の利用希望	
		利用している	利用していない	利用したい	利用しない
① 夜間や休日、共同生活を行う住居で、相談や日常生活上の援助、入浴、排せつ、食事の介護などを行います。		1	2	1	2
② 障害者支援施設に入所する障害者に対し、主に夜間に入浴、排せつ・食事等の介護を行います。		1	2	1	2

問68 あなたは、居住系サービスの利用に困っていることがありますか。（○はいくつでも）

- サービスの内容や使い方がよくわからない
- サービスに関する情報が少ない
- 希望しているが入居・入所できない
- 将来必要になったときすぐに入居・入所できるか不安
- 生活上の支援が不十分
- プライバシーを十分守れない
- 他の入居者との関係について困っている
- 入居のための費用について困っている
- 特に困っていることはない
- その他（ ）

(4) 地域生活支援事業

問69 あなたは、次のようなサービスを利用していますか。また今後利用したいと思いますか。  
すでに利用している方も、今後利用したいかどうかをお答えください。(①～⑩のそれぞれのサービスについて、回答欄Aは1・2のどちらか、回答欄Bは1・2のどちらかに○をつけてください。)

サービス名	サービスの内容	回答欄 (A)		回答欄 (B)	
		現在の利用状況		今後の利用希望	
		利用している	利用していない	利用したい	利用しない
① 相談支援事業	障害者等からの相談に対応し、必要な情報提供や権利擁護のための援助を行います。	1	2	1	2
② 成年後見制度利用支援事業	成年後見制度の利用にかかる費用や後见人等報酬の助成をします。	1	2	1	2
③ 意思疎通支援事業	意思疎通を図ることに支障のある方に、手話通訳者等を派遣します。	1	2	1	2
④ 日常生活用具給付等事業	重度障害者に対して、日常生活支援用具等の給付・貸与を行います。	1	2	1	2
⑤ 移動支援事業	屋外での移動が困難な障害者に対して、外出のための援助を行います。	1	2	1	2
⑥ 地域活動支援センター	障害者に、創作的活動や生産活動の機会を提供したり、社会との交流を促進します。	1	2	1	2
⑦ 本人活動支援事業	在宅の知的障害者に対して、ボランティア活動の機会を提供します。	1	2	1	2
⑧ 訪問入浴サービス事業	自宅に訪問入浴車を派遣して、入浴の機会を提供します。	1	2	1	2
⑨ 知的障害者職類委託事業	知的障害者、民間事業者等のもとで、生活指導や技能習得訓練などを受けます。	1	2	1	2

サービス名	サービスの内容	回答欄 (A)		回答欄 (B)	
		現在の利用状況		今後の利用希望	
		利用している	利用していない	利用したい	利用しない
⑩ 生活訓練等事業	視覚障害者等に対して、日常生活に必要な訓練、指導等を行います。	1	2	1	2
⑪ 日中一時支援事業	障害者に日中生活の場を提供し、家族の就労や休養のための支援を行います。	1	2	1	2

問70 【問63、65、67、69にある障害福祉サービスを利用している方や、今後利用したい方にお聞きします】 サービス等利用計画の作成について、どのように進めていきたいですか。(○はひとつ)

- 相談支援事業所の相談支援専門員にサービス等利用計画の作成を依頼したい
- セルフプランを自分や家族で作成したい
- 通所施設の職員など福祉の知識のある身近な人が支援してくれたら、自分や家族でセルフプランを作成したい
- まず詳しい内容を聞くために、相談支援事業所の相談支援専門員等に相談したい
- サービス等利用計画もセルフプランもよくわからない

問71 【これまでに特定相談支援事業所でサービス等利用計画を作成したことがある方にお聞きします】 サービス等利用計画を作成して感じたことはありますか (○は4つまで)

- ニーズを適切に反映したサービスの提案を受けられることができた
- サービス等利用計画に沿った形でサービス提供事業所等の支援を受けることができた
- サービス等利用計画の内容が具体的に分かりやすかった
- 相談支援専門員が丁寧に丁寧に分かりやすく説明してくれた
- 課題解決に向けて自分が取り組むべきことが明確になった
- サービス等利用計画にニーズが適切に反映されなかった
- サービス等利用計画の内容が分かりにくかった
- 相談支援専門員の説明が分かりにくかった
- 制度そのものが分かりにくかった
- その他 ( )



(5) 福祉タクシ-利用券・自動車燃料費助成について

問 72 あなたは、福祉タクシ-利用券や自動車燃料券を利用していますか。利用している方は、その種類（券の色）もお答えください。（○は1つ）

1. 福祉タクシ-利用券（黄色券）
2. 福祉タクシ-利用券（水色券）
3. 自動車燃料券
4. 利用していない

問 73 【問 72 でいずれかの券を利用している（1～3番）と回答した方にお聞きします】福祉タクシ-利用券・自動車燃料券の主な使い道は何ですか。（○はいくつでも）

1. 通勤・通学
2. 福祉施設への通所
3. 医療機関への通院
4. 買い物など日常の用事
5. 文化・教養活動
6. スポーツ・レクリエーション活動
7. 旅行
8. 友人・知人と会う
9. その他（ ）

問 74 【問 72 で自動車燃料券を利用している（3番）と回答した方にお聞きします。】福祉タクシ-利用券ではなく、自動車燃料券を選んでいる理由は何ですか。（○は1つ）

1. 自分で運転できるから
2. 家族などが運転する車で移動することが多いから
3. タクシ-や公共交通機関の利用が難しいから
4. 自家用車のほうが経済的負担が少ないから
5. 特に理由はない
6. その他（ ）

## 12. 収入や利用者負担について

問75 あなたご本人の主な収入源をお答えください。（○は3つまで）

1. 一般就労による収入（給与・報酬など）
2. 福祉的就労による収入（工資など）
3. 事業収入（自営業など）
4. 財産収入（家賃収入など）
5. 年金・手当
6. 生活保護費
7. 家族などからの仕送り
8. 収入はない
9. その他（ ）

問76 あなた（や保護者の方）は、障害福祉サービスの利用者負担について、どのように感じていますか。（○は1つ）

1. 非常に負担に感じる
2. やや負担に感じる
3. あまり負担に感じない
4. 障害福祉サービスを利用していない
5. 障害福祉サービスを利用しているが、利用者負担はない

## 13. 市の障害者施策について

問77 あなた（や保護者・ご家族の方）は、市の障害者施策について、どのように感じていますか。（○は1つ）

1. 非常に満足
2. やや満足
3. やや不満
4. 非常に不満
5. どちらとも言えない

## 14. 自由意見

問78 障害福祉に関するご意見やご要望、今後利用したい福祉サービスなどありましたら、ご自由にお書きください。（自由記述）

ご協力ありがとうございました。

記入した調査票は、同封の「返信用封筒」に入れて、切手を貼らずに、

平成29年2月8日（水）までに ポストに投函してください。

※封筒やこの調査票には、名前、住所、電話番号などは書かないでください。

千葉市障害者生活実態・意向調査

～アンケートへのご協力をお願い～

白旗から、本市の障害者施策にご理解、ご協力をいただき、誠にありがとうございます。  
本市では、来年度に障害者計画・障害福祉計画を策定するにあたり、皆様のご生活状況やご意見・ご要望を把握し、今後の障害者施策の推進に役立てるためのアンケート調査を実施することになりました。つきましては、お忙しいところ恐縮ですが、調査へのご協力をお願いいたします。

この調査は、本市から支給決定を受けて施設入所支援サービスを利用されている方全員に対して、無記名郵送方式でご回答いただきますので、ご回答された方が特定されたり、個人の回答内容が明らかにされたりすることはありません。ご回答いただいた内容は、統計的に処理した上で、障害者施策を推進するための基礎資料としてのみ活用し、その他の目的で使用されることは一切ありません。

この調査の趣旨をご理解いただき、調査にご協力いただけたら幸いです。

千葉市 保健福祉局 高齢障害部 障害者自立支援課

ご記入にあたって

- ① 封筒のあて名がご本人でご回答ください。（この調査票で「あなたは」とあるのは、あて名がご本人のことです。また、ご本人の回答を代筆していただくことも可能です。）
- ② ご本人が病气や障害などの理由で回答できない場合には、ご家族や介助者の方がご本人の立場に立ってご回答ください。
- ③ 回答は、あてはまる選択肢の番号に直接〇印をつけてお答えください。「その他」に回答する場合は、その内容を（ ）内にご記入ください。回答欄に直接記入していただく設問もありますので、その場合は設問の指示にしたがってお書きください。
- ④ この調査票には、名前や住所、電話番号などは書かないでください。
- ⑤ 視覚障害者の方で、点字の調査票を希望する場合は下記の問合先にご連絡ください。

記入した調査票は、同封の「返信用封筒」に入れて、切手は貼らずに  
平成29年2月8日（水）までに、ポストに投函してください。

お問い合わせ  
千葉市 保健福祉局 高齢障害部 障害者自立支援課 企画班  
電話：043-245-5175 FAX：043-245-5549

- 問 この調査票でご回答いただくのはどなたですか。（〇は1つ）
1. あて名のご本人、又はご本人の回答を代筆する他の方
  2. ご家族の方（ご本人が回答できないため、ご本人の立場に立って回答）
  3. 施設職員の方（ご本人が回答できないため、ご本人の立場に立って回答）
  4. その他（ ）

1. ご本人について

- 問1 あなたの性別をおたずねします。（〇は1つ）
1. 男性
  2. 女性
- 問2 あなたの年齢について、平成29年1月1日現在の年齢をご記入ください。

歳

- 問3 あなたがお持ちの手帳の種類と等級、自立支援医療（精神通院医療）の利用をおたずねします。（〇はいくつでも。手帳をお持ちの方は、カッコ内の等級（程度）にも〇印をつけてください。）

1. 身体障害者手帳（1級 2級 3級 4級 5級 6級）
2. 療育手帳（㊤の1 ㊤の2 Aの1 Aの2 Bの1 Bの2）
3. 精神障害者保健福祉手帳（1級 2級 3級）
4. 自立支援医療（精神通院医療）を利用している
5. 手帳も持っていないし、自立支援医療（精神通院医療）も利用していない

- 問4 身体障害者手帳をお持ちの方におたずねします。障害の種類は何ですか。（〇はいくつでも）
1. 肢体不自由
  2. 音声・言語・しゃく機能障害
  3. 視覚障害
  4. 聴覚・平衡機能障害
  5. 内部機能障害（免疫機能障害を含む）

- 問5 難病に罹患している方におたずねします。あなたの難病の種類は何ですか。
1. 画が指定する特定疾患（別表で該当する疾患の番号を記入してください。番号はいくつでも。）

2. その他の難病（病名をお書きください： ）

2. 医療機関への受診状況について

問6 あなたは最近1年間に、障害や疾病が原因で医療機関を受診しましたか。(○は1つ)

- 1. 障害や疾病では受診していない
- 2. 一時的に受診したが、入院はしていない
- 3. 1年間継続して受診したが、入院はしていない
- 4. 一時入院した（入院期間以外に通院した場合も含む）
- 5. 1年間継続して入院していた

問7 あなたが現在受けている医療的ケアの種類をおたずねします。(○はいくつでも)

- 1. 吸引
- 2. 吸入
- 3. 経管栄養
- 4. 中心静脈栄養
- 5. 導尿
- 6. 在宅酸素
- 7. ネブライザー
- 8. 嚥頭エアウェイ
- 9. バルブオキシメーター
- 10. 気管切開部の管理（ガーゼ交換等）
- 11. 人工呼吸器の管理
- 12. 人工肛門、人工膀胱の管理
- 13. アルツハイマー病等の認知症への対応
- 14. インシュリン注射
- 15. 人工透析
- 16. 服薬管理
- 17. その他（ ）
- 18. 受けていない

3. 施設への入所について

問8 あなたが入所している施設の種をお聞きします。(○は1つ)

- 1. 主に身体障害を対象とした施設
- 2. 主に知的障害を対象とした施設
- 3. 主に精神障害を対象とした施設
- 4. 主に重度心身障害者を対象とした施設
- 5. その他の施設（ ）

問9 あなたが入所している施設がある地域をお聞きします。(○は1つ)

- 1. 千葉市内
- 2. 千葉県内（千葉市以外）
- 3. 関東（千葉県以外）
- 4. その他の地域（ ）

問10 あなたが現在の施設に入所してからどの期間をお聞きします。(○は1つ)

- 1. 5年未満
- 2. 5～10年未満
- 3. 10～15年未満
- 4. 15～20年未満
- 5. 20年以上

問11 あなたが現在の施設へ入所することを決めた理由は何ですか。(○はいくつでも)

- 1. 常時介助が必要なため
- 2. 医療的なケアが必要なため
- 3. 家族による介助が難しくなったため
- 4. 在宅サービスが不十分だったため
- 5. 住まいが障害に配慮していなかったため
- 6. リハビリや訓練を受けるため
- 7. 将来地域で自立生活をするため
- 8. 家族に勧められたため
- 9. 施設のほうに安心して暮らせるため
- 10. 他に理由はない
- 11. その他（ ）

4. 相談や情報入手について

問12 あなたは、日常生活で困っていることはありませんか。(○はいくつでも)

- 1. 自分では身の回りの事が十分にできない
- 2. 健康状態に不安がある
- 3. 施設での生活内容に不満がある
- 4. 施設での作業や訓練に不満がある
- 5. プライバシーが十分に保てない
- 6. 外出の機会が少ない
- 7. 施設職員や入所者との関係がうまくいかない
- 8. 家族とあまり会えない
- 9. 将来の生活に不安を感じている
- 10. 他に困っていることはない
- 11. その他（ ）

問13 あなた（やご家族の方）が困った時に相談する相手は誰（どこ）ですか。

(○はいくつでも)

- 1. 家族・親族
- 2. 同じ施設の入所者
- 3. 入所者以外の友人・知人
- 4. 相談支援事業所
- 5. 入所している施設の職員
- 6. ボランティア
- 7. 第三者委員（苦情の受付窓口）
- 8. 医療関係者（医師・看護師など）
- 9. 障害者団体や家族の会
- 10. 保健福祉センター
- 11. こころの健康センター
- 12. 相談する相手はいない
- 13. その他（ ）

5. 日常生活（施設での生活）について

問14 あなたは平日の日中を主にどのように過ごしていますか。

（最もあてはまる番号ひとつに○）

1. 入所している施設で看護や介護を受けて生活している
2. 入所している施設で作業や訓練をしている
3. 一般の企業等で働いている
4. その他（ ）

問15 あなたは、現在入所している施設での生活に満足していますか。（○は1つ）

1. 満足している
2. やや満足している
3. やや不満がある
4. 不満がある
5. どちらとも言えない

問16 あなたは、入所している施設に対してどのような要望がありますか。（○はいくつでも）

1. 看護や介護の質の向上
2. 職員の対応の仕方の改善
3. 居室などの生活空間の改善
4. プライバシーへの配慮
5. 日中活動の充実
6. 余暇活動の充実
7. 外出機会の増加
8. 地域の人との交流機会の増加
9. 相談体制の充実
10. 地域生活に向けた自立訓練
11. 特に要望はない
12. その他（ ）

問17 あなたは、最近1年間、どの位の頻度でご自宅に帰りましたか。（○は1つ）

1. 10回以上
2. 6～9回
3. 3～5回
4. 1～2回
5. この1年間は帰っていない
6. 帰る自宅はない

問18 あなたは、どのくらいの頻度で外出していますか。（○は1つ）

1. 週2日以上
2. 週1日くらい
3. 月2～3日くらい
4. 月1日くらい
5. 2～3か月に1日くらい
6. あまり外出しない

問19 あなたは、どのような目的で外出することが多いですか。（○はいくつでも）

1. 通勤・通学
2. 訓練やリハビリ
3. 医療機関への受診
4. 買い物
5. 友人・知人と会う
6. 趣味やスポーツ
7. グループ活動
8. 散歩に行く
9. あまり外出しない
10. その他（ ）

問20 あなたは、外出時の移動手段について、何を利用していますか。（○はいくつでも）

1. 鉄道
2. バス
3. モノレール
4. タクシー
5. 自家用車
6. その他（ ）

問21 あなたは、外出時に困っていることがありますか。（○はいくつでも）

1. 歩道・通路の段差
2. 警告の短さ
3. 歩道・通路の障害物
4. バスやタクシーなどの乗降
5. 建物の階段・段差
6. エレベーターの場所がわかりにくい
7. トイレの利用
8. 周りの人に手助けを頼みにくい
9. 周囲の音が気になる
10. 特に困っていることはない
11. その他（ ）

問22 外出先のトイレに望むことは何ですか。（○はいくつでも）

1. 点字で男女の別がわかるようにしてほしい
2. 男女の別やペーパーの位置、洗浄ボタン等を音声案内で知らせてほしい
3. 絵文字表示を良くしてほしい
4. トイレの音を明るくしてほしい
5. トイレの中の段差をなくしてほしい
6. 点字ブロックをつけてほしい
7. 便器等の位置、向きを統一してほしい
8. トイレの中に手すりをつけてほしい
9. エアオルをつけてほしい
10. トイレに十分な広さがほしい
11. 緊急通報ボタンをつけてほしい
12. 特にない
13. その他（ ）

問23 あなたは日頃、近くの公園を利用していますか。(○は1つ)

1. よく利用する 2. 時々利用する  
3. あまり利用しない 4. 全く利用しない

問24 【問23で「1. よく利用する」または「2. 時々利用する」に○をつけた方におたずねします】あなたが公園を利用する目的は何ですか。(○はいくつでも)

1. 散歩 2. 運動  
3. 休息 4. 植物などの自然観賞  
5. 昼食 6. 公園を近道に使っている  
7. 周辺の散策途中のトイレ利用や休息  
8. 子どもの遊び場 9. イベント見学・参加  
10. その他 ( )

問25 あなたは、障害者が安心して公園を利用できるようにするために、何が必要だと思いますか。(○はいくつでも)

1. 通路の幅を広げてほしい  
2. 手すりをつけてほしい  
3. 段差や急な坂をなくしてほしい  
4. 点字や音声でわかりやすく情報を伝えてほしい  
5. 障害者の利用しやすいトイレを設置してほしい  
6. 障害者にとって危険な遊びや運動については利用者にはマナーを守るよう指導してほしい  
7. ベンチを増やしてほしい  
8. 利用しやすい水飲み場、手洗い場を設置してほしい  
9. 特に必要ことはない  
10. その他 ( )

6. 将来について

問26 あなたは将来、どのような暮らし方をしたいと思いますか。(○は1つ)

1. 施設を退所して家族と暮らしたい  
2. 施設を退所してひとり暮らしをしたい  
3. 施設を退所してグループホームなどで生活したい  
4. 独居入所している施設で生活したい  
5. 高齢者の入所施設で生活したい (特別養護老人ホームなど)  
6. わからない  
7. その他 ( )

問27 【問26で将来は施設を退所したい(1～3番)に○をつけた方におたずねします。】施設を退所したい理由は何か。(○はいくつでも)

1. 家族のそばにいたいから 2. ひとり暮らしをしてみたいから  
3. 自由な生活がしたいから 4. 社会的に自立したいから  
5. 施設を出てやりたいことがあるから  
6. 一般就労してみたいから 7. 作業所等で働いてみたいから  
8. 施設での生活に不満があるから  
9. 特に理由はない  
10. その他 ( )

問28 【問26で引き続き施設で生活したい(4番)に○をつけた方におたずねします。】今の施設での生活を続けたい理由は何か。(○はいくつでも)

1. 施設にいたほうが安心できるから  
2. 施設での生活が自分に合っているから  
3. 施設職員や他の入所者との関係が良好だから  
4. 健康面などで不安があるから  
5. 自宅での家族の受け入れ体制が整っていないから  
6. 自宅の構造が障害に配慮していないから  
7. 地域で十分な介助が受けられるか不安だから  
8. 地域での生活に魅力を感じないから  
9. 特に理由はない  
10. その他 ( )

問29 【全ての方におたずねします。】あなたは、障害のある人が地域で生活していくためには何が必要だと思いますか。(○はいくつでも)

1. 地域の人たちの障害に対する理解 2. 地域生活に関する相談支援  
3. 訪問サービスの実施 4. 日中活動サービスの実施  
5. 自立生活のための訓練・体験 6. グループホームなどの拡充  
7. 障害者のための住宅の確保 8. 医療体制の充実  
9. 就労のための支援 10. 災害時の支援  
11. 道路・交通・建物のバリアフリー化 12. 経済的負担の軽減  
13. 特に必要なことはない  
14. その他 ( )

問30 あなたは、障害のある人が企業などで一般就労するためには、どのような支援が必要だ  
と思いますか。(○はいくつでも)

1. 仕事探しから就労までの総合的な相談支援
2. 働くための知識や能力を身につけるための職業訓練
3. 職場を理解するための就労体験
4. 障害の特性に合った職業・雇用の拡大
5. 障害者向けの求人情報の提供
6. 障害理解を促進するための職場への働きかけ
7. 職場施設のバリアフリー化
8. 障害や病気の状態に合った柔軟な勤務形態
9. ジョブコーチなど職場に定着するための支援
10. 特に必要なことはない
11. その他( )

7. 障害のある人に対する理解度

問31 あなたは、ふだんの生活のなかで、差別を感じることがありますか。(○は1つ)

1. 頻繁に感じる
2. 時々感じる
3. あまり感じない
4. 感じない
5. わからない

問32 あなたは、障害のある人に対する市民の理解が、どの程度あると感じていますか。(○は1つ)

1. よく理解されている
2. おおむね理解されている
3. あまり理解されていない
4. まったく理解されていない
5. わからない

問33 障害者への差別をなくすことを目的として、平成28年4月1日に「障害者差別解消法」が施行されましたが、このことを知っていますか。(○は1つ)

※障害者差別解消法は、すべての国民が、障害の有無によって分け隔てられることなく、相互に人格と個性を尊重し合いながら共生する社会の実現に向け、障害を理由とする差別の解消を社会において推進することを目的に制定され、平成28年4月1日に施行されました。

1. 内容まで知っている
2. 名前だけは知っている
3. 知らない

問34 あなたは、障害者が選挙の投票をしやすいするために、投票所に何が必要だと思いま  
すか。(○はいくつでも)

1. 候補者情報を点字や音声で伝えてほしい
2. 段差をなくしてほしい
3. 重いすをを用意してほしい
4. 投票しやすいようサポートする人を配置してほしい
5. 代選投票制度を活用しやすいしてほしい
6. コミュニケーションボード等を活用し、障害者にわかりやすく、投票方法等について説明してほしい
7. 特に必要なことはない
8. その他( )

問35 あなたは、障害者に対する理解をより深めるために、どのようなことを行政に取り組ん  
でもらいたいですか。(○は2つまで)

1. 障害者理解のための学校教育の普及
2. 広報などによる啓発活動の推進
3. 障害者の活動や団体の活動の紹介
4. ボランティアの活動の推進
5. 障害のある人と参加できるスポーツ・文化活動の推進
6. 障害のある人に配慮した公共施設や道路の整備
7. 障害者福祉に関する広報やパンフレットの作成
8. 特にない
9. その他( )

問36 あなたは、障害者に対する理解をより深めるために、どのようなことを企業に取り組ん  
でもらいたいですか。(○は2つまで)

1. 社員に対して障害者雇用の意義を、研修を通じて伝えていく
2. 就労を自指している障害者のいる特別支援学校等を見学する
3. 障害者を雇用している企業の見学を行う
4. 障害者雇用の実習を受け入れる
5. 社員が障害の種別や程度に対応して、コミュニケーションできるようにする
6. 障害者とともに職場で働く上での配慮すべきことをまとめたパンフレットやマニユールを作成する。
7. 特にない
8. その他( )

問37 障害者への理解を深めるために、障害者自身がどのような取り組みをしていく必要があると思いますか。(○は2つまで)

1. 障害者差別解消法の合理的配慮等、障害者の人権に關する法律や制度への理解を深める
2. スポーツ大会やイベント等、地域の人々との交流の場へ積極的に参加する
3. まちづくりや地域づくり等に障害者の視点を反映できるようにしていく
4. 障害者団体に参加し、様々な活動を通じて市民と関わっていく
5. 障害者の視点から、障害者理解のためのパンフレット等がより市民にわかりやすいものとなるよう工夫していく
6. 職場においても、自分の能力や個性を活かして仕事をしていく
7. 特にない
8. その他 ( )

※合理的配慮とは、行政機関等へ障害者から社会的障壁の除去を必要としている旨の意思の表明があった場合に、その実施に伴う負担が過重でないときは、社会的障壁(バリア)を除去するための必要かつ合理的な取組を行わなければならないことです。(民間事業者については努力義務)

問38 社会的障壁の除去に向けて、合理的配慮を進めていくために必要なことは何だと思われるますか。(○は2つまで)

1. 市民や民間事業者に対して障害者差別解消法に關する周知・啓発
2. 障害者差別解消法に關するセミナー等の開催
3. 障害当事者を講師とした市民・民間事業者向けの研修
4. 筆談、読み上げ、手話など障害の特性に際したコミュニケーション手段の設置
5. 意思疎通のために絵や写真カード、ICT機器(タブレット端末等)等の活用
6. 各種障害者に関するマークの周知・啓発
7. 特にない
8. その他 ( )

8. サービス利用について

問39 あなたは、福祉タクシー利用券や自動車燃料券を利用していますか。利用している方は、その種類(券の色)もお答えください。(○は1つ)

1. 福祉タクシー利用券(黄色券)
2. 福祉タクシー利用券(水色券)
3. 自動車燃料券
4. 利用していない

問40 【問39でいずれかの券を利用している(1~3番)と回答した方にお聞きします】福祉タクシー利用券・自動車燃料券の主な使い道は何ですか。(○はいくつでも)

1. 通勤・通学
2. 福祉施設への通所
3. 医療機関への通院
4. 買い物など日常の用事
5. 文化・教養活動
6. スポーツ・レクリエーション活動
7. 旅行
8. 友人・知人と会う
9. その他 ( )

問41 【問39で自動車燃料券を利用している(3番)と回答した方にお聞きします】福祉タクシー利用券ではなく、自動車燃料券を選んでいる理由は何ですか。

(○は1つ)

1. 自分で運転できるから
2. 家族などが運転する車で移動することが多いから
3. タクシーや公共交通機関の利用が難しいから
4. 自家用車のほうが経済的負担が少ないから
5. 特に理由はない
6. その他 ( )

9. 収入や利用者負担について

問42 あなたご本人の主な収入源をお答えください。(○は3つまで)

1. 一般就労による収入(給与・報酬など)
2. 福祉的就労による収入(工賃など)
3. 事業収入(自営業など)
4. 財産収入(家賃収入など)
5. 年金・手当
6. 生活保護費
7. 家族などからの仕送り
8. 収入はない
9. その他 ( )

10. 市の障害者施策について

問43 あなたは、行政の障害者施策について、どのように感じていますか。(○は1つ)

1. 非常に満足
2. やや満足
3. やや不満
4. 非常に不満
5. どちらとも言えない

11. 自由意見

問44 障害福祉に関するご意見やご要望、今後利用したい福祉サービスなどありましたら、ご自由にお書きください。(自由記述)

協力ありがとうございました。

記入した調査票は、同封の「返信用封筒」に入れて、切手を貼らずに、  
平成29年2月8日(水)までに ポストに投函してください。

※封筒やこの調査票には、名前、住所、電話番号などは書かないでください。



千葉市 障害者生活実態・意向調査

～アンケートへのご協力をお願いします～

白頃から、本市の障害者施策にご理解、ご協力をいただき、誠にありがとうございます。  
本市では、本年度に障害者計画・障害福祉計画を策定するにあたり、皆様の生活状況やご意見・ご要望を把握し、今後の障害者施策の推進に役立てるためのアンケート調査を実施することになりました。つきましては、お忙しいところ恐縮ですが、調査へのご協力をお願いいたします。

この調査は、障害者手帳をお持ちの方の中から無作為抽出、無記名郵送方式でご回答いただきますので、ご回答された方が特定されたり、個人の回答内容が明らかにされたりすることはありません。ご回答いただいた内容は、統計的に処理した上で、障害者施策を推進するための基礎資料としてのみ活用し、その他の目的で使用されることは一切ありません。  
この調査の趣旨をご理解いただき、調査にご協力いただけたら幸いです。

千葉県 保健福祉局 高齢障害部 障害者自立支援課  
平成29年1月

ご記入にあたって

- ① 封筒のあて名が本人でご回答ください。（この調査票で「あなたは」とあるのは、あて名が本人のことです。また、ご本人の回答を代筆していただくことも可能です。）
- ② ご本人が年少の場合や、病氣や障害などの理由で回答できない場合には、ご家族や介助者の方がご本人の立場に立ってご回答ください。
- ③ 回答は、あてはまる選択肢の番号に直接〇印をつけてお答えください。「その他」に回答する場合は、その内容を（ ）内にご記入ください。回答欄に直接記入していただく設問もありますので、その場合は設問の指示にしたがってお書きください。
- ④ この調査票には、名前や住所、電話番号などは書かないでください。
- ⑤ 視覚障害者の方で、点字の調査票を希望する場合は下記の問合先にご連絡ください。

記入した調査票は、同封の「返信用封筒」に入れて、切手は貼らずに  
平成29年2月8日（水）までに、ポストに投函してください。

お問い合わせ  
千葉県 保健福祉局 高齢障害部 障害者自立支援課 企画班  
電話：043-245-5175 FAX：043-245-5549

- 問 この調査票でご回答いただくのはどなたですか。（〇は1つ）
1. あて名のご本人、又はご本人の回答を代筆する他の方
  2. ご家族の方（ご本人が回答できないため、ご本人の立場に立って回答）
  3. その他（ ）

1. ご本人について

問1 あなたの性別をおたずねします。（〇は1つ）

1. 男性
2. 女性

問2 あなたの年齢について、平成29年1月1日現在の年齢をご記入ください。

歳

問3 あなたのお住まいの区をおたずねします。（〇は1つ）

1. 中央区
2. 花見川区
3. 稲毛区
4. 若葉区
5. 緑区
6. 美浜区

問4 あなたがご持ちの手帳の種類と等級、自立支援医療（精神通院医療）の利用をおたずねします。（〇はいくつでも。手帳をお持ちの方は、カッコ内の等級（程度）にも〇印をつけてください。）

1. 身体障害者手帳（1級 2級 3級 4級 5級 6級）
2. 療育手帳（〇の1 〇の2 Aの1 Aの2 Bの1 Bの2）
3. 精神障害者保健福祉手帳（1級 2級 3級）
4. 自立支援医療（精神通院医療）を利用している

問5 身体障害者手帳をお持ちの方におたずねします。障害の種類は何ですか。（〇はいくつでも）

1. 肢体不自由
2. 音声・言語・そしゃく機能障害
3. 視覚障害
4. 聴覚・平衡機能障害
5. 内部機能障害（免疫機能障害を含む）

問6 難病に罹患している方におたずねします。あなたの難病の種類は何ですか。

1. 国が指定する特定疾患（別表で該当する疾患の番号を記入してください。番号はいくつでも。）

--	--	--	--	--

2. その他の難病（病名をお書きください： ）

2. 医療機関への受診状況について

問7 あなたは最近1年間に、障害や疾病が原因で医療機関を受診しましたか。（○は1つ）

1. 障害や疾病では受診していない

2. 一時的に受診したが、入院はしていない

3. 1年間継続して受診したが、入院はしていない

4. 一時入院した（入院期間以外に通院した場合も含む）

5. 1年間継続して入院していた

問8 あなたが現在受けている医療的ケアの種類をおたずねします。（○はいくつでも）

1. 吸引 2. 吸入 3. 経管栄養 4. 中心静脈栄養 5. 導尿 6. 在宅酸素 7. ネブライザー 8. 咽頭エアウェイ 9. パルスオキシメーター 10. 気管切開部の管理（ガーゼ交換等） 11. 人工呼吸器の管理 12. 人工肛門、人工膀胱の管理 13. アルツハイマー病等の認知症への対応 14. インシュリン注射 15. 人工透析 16. 服薬管理 17. その他（ ） 18. 受けていない

問9 【問8で1～17番に○をつけた方におたずねします。】  
医療的ケアについて、誰かに相談をしていますか。（○はいくつでも）

1. 家族（配偶者、母親、父親、その他の家族や親族） 2. 医師 3. 看護師 4. ホームヘルパー 5. その他（ ） 6. 特に相談していない

問10 【問8で1～17番に○をつけた方におたずねします。】  
現在、医療的ケアを行っている人は誰ですか。（○はいくつでも）

1. 自分自身 2. 家族（配偶者、母親、父親、その他の家族や親族） 3. 医師 4. 看護師 5. その他（ ）

問11 障害者総合支援法に基づく障害福祉サービスとして、医療的ケアが必要な重度の障害がある方について、介助者の病状やその他の理由により、介助が難しくなった場合に、一時的に施設（病院・診療所等）が利用できる事業「医療型短期入所」があります。

（1）あなたは「医療型短期入所」のことを知っていますか。（○は1つ）

1. 知っている 2. 知らない

（2）あなたは「医療型短期入所」の必要性を感じていますか。（○は1つ）

1. 感じている 2. 感じていない 3. わからない

問12 あなたの「医療」についておたずねします。あなたはどの病院や診療所に通院していますか。（○はいくつでも）

1. 市内の歩いていける場所 2. 市内の歩いていけない場所 3. 市内の市町村（千葉市以外） 4. 東京都内 5. その他（具体的に： （都道府県） （市区町村）） 6. 特に通院していない

3. 家族や介助者について

問13 あなたは、どなたと一緒に暮らしていますか。（○はいくつでも）

1. 母親 2. 父親 3. 兄弟姉妹 4. 祖父母 5. その他の親族 6. 施設（グループホーム等）で暮らしている 7. ひとり暮らし 8. その他（ ）

問14 あなたへの介助について、主な介助者はどなたですか。（○は1つ）

1. 母親 2. 父親 3. 兄弟姉妹 4. 祖父母 5. その他の親族 6. ホームヘルパー 7. ボランティア 8. 介助は受けていない 9. その他（ ）

問15 【問14で主な介助者が家族・親族（1～5番）に○をつけた方におたずねします。】

主な介助者の方の年齢をお答えください。（○は1つ）

1. 20歳未満      2. 20代      3. 30代  
4. 40代      5. 50代      6. 60代  
7. 70歳以上

問16 【問14で主な介助者が家族・親族（1～5番）に○をつけた方におたずねします。】

主な介助者の介助継続年数をお答えください。（○は1つ）

1. 1年未満      2. 1年以上～5年未満  
3. 5年以上～10年未満      4. 10年以上～15年未満  
5. 15年以上～18年未満

問17 【問14で主な介助者が家族・親族（1～5番）に○をつけた方におたずねします。】

主な介助者が困っていることは何ですか。（○はいくつでも）

1. 介助者自身の健康に不安がある      2. 介助者の高齢化に不安がある  
3. 代わりに介助を頼める人がいない      4. 緊急時の対応に不安がある  
5. 身体的な負担が大きい      6. 精神的な負担が大きい  
7. 経済的な負担が大きい      8. 仕事に出られない  
9. 長期的旅行や外出ができない      10. 休養や息抜き時間が少ない  
11. 特につまっていることはない  
12. よくわからない  
13. その他（      ）

#### 4. 相談や情報入手について

問18 あなた（や保護者・ご家族の方）は、日常生活で困っていることはありますか。（○はいくつでも）

1. 自分では身の回りの事が十分にできない      2. 自分や家族では家事が十分にできない  
3. 健康状態に不安がある      4. 介助者の負担が大きい  
5. 段差や階段など、住まいに支障がある      6. 外出するのに支障がある  
7. 利用したい福祉サービスを十分に利用できない  
8. 収入や生活費に不安を感じている      9. 緊急時に支援が得られない  
10. 近所の人などとの人間関係に支障がある      11. 将来の生活に不安を感じている  
12. 特につまっていることはない  
13. その他（      ）

問19 あなた（や保護者）が困った時に相談する相手は誰（どこ）ですか。（○はいくつでも）

1. 家族・親族      2. 友人・知人  
3. 近所の人      4. 相談支援事業所  
5. ホームヘルパー      6. 施設等の職員  
7. 医療関係者（医師・看護師など）      8. 障害者団体や家族の会  
9. 学校の職員      10. 養護教育センター  
11. 民生委員・児童委員  
12. 身体障害者相談員・知的障害者相談員  
13. 保健福祉センター      14. 療育センター  
15. 発達障害者支援センター      16. こころの健康センター  
17. 相談する相手はいない      18. その他（      ）

問20 あなた（や保護者・ご家族の方）は、どのような相談制度があれば、より便利だと思いますか。（○はいくつでも）

1. 近所で気軽に立ち寄れる相談      2. 休日や夜間など緊急時の相談  
3. 専門性の高い職員による相談      4. 自分と同じ立場の人による相談  
5. 定期的に訪問してくれる相談      6. プライバシーに配慮した相談  
7. 特に希望はない  
8. その他（      ）

問21 あなた（やご家族の方）は、どのような相談方法が相談しやすいですか。（○はいくつでも）

1. 電話による相談      2. 電子メールやインターネットによる相談  
3. ファックスによる相談      4. 手話通訳者のサポートを受けられる相談  
5. その他（      ）

問22 あなた（や保護者・ご家族の方）は、福祉に関する情報を、どこから知ることが多いですか。（○はいくつでも）

1. ちば市役所      2. 市のパンフレットなど  
3. 障害者団体などの刊行物      4. 学校のお知らせ  
5. 市のホームページ      6. 市以外のホームページ  
7. 新聞・雑誌      8. テレビ・ラジオ  
9. 施設や福祉サービス事業所      10. 医療機関  
11. 障害者団体や家族の会      12. 民生委員・児童委員  
13. 身体障害者相談員・知的障害者相談員  
14. 市の窓口  
15. その他（      ）

5. あなたの暮らしについて

- 問23 あなたのお住まいの種類の種類をお聞きます。(Oは1つ)
1. 持ち家（戸建て）
  2. 持ち家（集合住宅）
  3. 民間賃貸住宅（戸建て）
  4. 民間賃貸住宅（集合住宅）
  5. 公営住宅
  6. UR都市機構住宅（旧公団住宅）
  7. グループホーム
  8. その他（ ）

- 問24 あなた（や保護者の方）は、住まいについて困っていることがありますか。(Oはいくつでも)

1. 階段の昇降
2. 玄関・出入口などの段差
3. 風呂が使いにくい
4. トイレが使いにくい
5. 建物の老朽化
6. 家賃など住居費の負担
7. 特に困っていることはない
8. その他（ ）

- 問25 あなたは、どのくらいの頻度で外出していますか。(Oは1つ)

1. 週4日以上
- 週2～3日
- 週1日くらい
- 月2～3回
- 月1日くらい
- あまり外出しない

- 問26 あなたは、どのような目的で外出することが多いですか。(Oはいくつでも)

1. 運動・通学・通所
- 訓練やリハビリ
- 医療機関への受診
- 買い物
- 友人・知人と会う
- 趣味やスポーツ
- グループ活動
- 散歩に行く
- あまり外出しない
- その他（ ）

- 問27 あなたは、外出時の移動手段について、何を利用していますか。(Oはいくつでも)

1. 鉄道
- バス
- モノレール
- タクシー
- 自家用車
- その他（ ）

- 問28 あなたは、外出時に困っていることがありますか。(Oはいくつでも)

1. 歩道・通路の段差
- 青信号の短さ
- 歩道・通路の障害物
- バスやタクシーなどの乗降
- 建物の階段・段差
- エレベーターの場所がわかりにくい
- トイレの利用
- 周りの人に手助けを頼みにくい
- 周囲の自が気になる
- 特に困っていることはない
- その他（ ）

- 問29 外出先のトイレに望むことは何ですか。(Oはいくつでも)

1. 点字で男女の別がわかるようにしてほしい
2. 男女の別やパーパーの位置、洗浄ボタン等を音声案内で知らせてほしい
3. 絵文字表示を良くしてほしい
4. トイレの中を明るくしてほしい
5. トイレの中の段差をなくしてほしい
6. 点字ブロックをつけてほしい
7. 便器等の位置、向きを統一してほしい
8. トイレの奥に手すりをつけてほしい
9. エアタオルをつけてほしい
10. トイレに十分な広さがほしい
11. 緊急通報ボタンをつけてほしい
12. 特にない
13. その他（ ）

- 問30 あなたは日頃、近くの公園を利用していますか。(Oは1つ)

1. よく利用する
- 時々利用する
- あまり利用しない
- 全く利用しない

- 問31 【問30で「1. よく利用する」または「2. 時々利用する」にOをつけた方におたずねします】あなたが公園を利用する目的は何ですか。(Oはいくつでも)

1. 散歩
- 運動
- 休息
- 植物などの自然観賞
- 昼食
- 公園を近道に使っている
- 周辺の散策途中のトイレ利用や休憩
- 遊び場
- イベント見学・参加
- その他（ ）

問32 あなたは、障害者が安心して公園を利用してできるようにするために、何が必要だと思いますか。(○はいくつでも)

1. 通路の幅を広げてほしい
2. 手すりをつけてほしい
3. 段差や急な坂をなくしてほしい
4. 点字や音声でわかりやすく情報を伝えてほしい
5. 障害者の利用しやすいトイレを設置してほしい
6. 障害者にとって危険な遊びや運動については利用者にマナーを守るよう指導してほしい
7. ベンチを増やしてほしい
8. 利用しやすい飲み場、手洗い場を設置してほしい
9. 特に必要なことはない
10. その他 ( )

## 6. 災害対策について

問33 あなた（や保護者・ご家族の方）は、地震などの災害が起きた時について、どのようなことを不安に思いますか。(○はいくつでも)

1. 自分や家族だけでは避難できない
2. 自分では助けを乞ふことができない
3. 災害に備える情報を得るのが難しい
4. 避難所の設備が障害に対応しているか不安
5. 避難所で必要な介助を受けられるか不安
6. 避難所で一般市民と一緒に生活できるか不安
7. 薬や医療的なケアが確保できるか不安
8. 特に不安に思うことはない
9. その他 ( )

問34 あなたは、災害発生に備えて、避難生活に必要な物資（薬や装具等）を、備蓄していますか。(○は1つ)

1. 1週間分以上の備蓄がある
2. 4～6日分くらいの備蓄がある
3. 1～3日分くらいの備蓄がある
4. 備蓄していない

問35 あなたは、災害に対してどのような備えをしていますか。(○はいくつでも)

1. 日頃から家族で災害時の対応を話し合っている
2. 非常持ち出し品の用意、非常食等の備蓄（3日分程度）をしている
3. 非常持ち出し品や備蓄品の中に、障害や難病の状況に応じて必要な医薬品、装具、食料等を用意している
4. 避難所等において医療が受けられるよう、必要な医薬品や医療機関の連絡先などを記録している
5. 家族や近所の人、知人等に、災害が発生したときの手助けをお願いしている
6. 自分の障害のことや緊急連絡先等を記載したカードを作成している
7. 市の避難行動要支援者名簿の作成にあたり、個人情報提供について同意している
8. 象員に転倒防止器具を取り付けている
9. 住居の耐震診断を受け、必要な補強を行っている
10. 災害時に避難する指定避難所（一次避難所）を知っている
11. 地域の防災訓練や勉強会・セミナー等に参加している
12. 特にない
13. その他 ( )

問36 あなたは、災害で避難する場合に、どのような支援をしてほしいですか。(○はいくつでも)

1. 一人では避難できないので、移動の介助をしてほしい
2. 災害の情報をわかりやすく伝えてほしい
3. 障害の種類や程度に対応した配慮をしてほしい
4. 地域の人にすぐに安否確認等をしてほしい
5. 避難場所の情報を的確に伝えてほしい
6. 特に必要なことはない
7. その他 ( )

7. 療育・保育について

問37 保護者・ご家族の方が、あて名のお子さんの障害に気づいたのはいつですか。(○は1つ)

1. 産まれたとき
2. 0歳
3. 1歳
4. 2歳
5. 3歳
6. 4～6歳
7. 7～12歳
8. 13歳以降

問38 保護者・ご家族の方が、あて名のお子さんの障害に気づいたきっかけは何ですか。(○は1つ)

1. 産まれてからもなく病院で知らされた
2. 家族や周りの人が気づいた
3. 乳幼児健診で知らされた
4. 医療機関を受診したときに知らされた
5. 育児相談などで知らされた
6. 保育所(園)・幼稚園の職員が気づいた
7. 小中学校の職員が気づいた
8. その他( )

問39 保護者・ご家族の方が、あて名のお子さんの療育・保育について困っている(または以前に困ったことがある)ことはありますか。(○はいくつでも)

1. 療育・保育に関する情報が少ない
2. 希望する施設や保育所(園)・幼稚園に入れない
3. 施設での療育・訓練の機会が少ない
4. 施設での療育・訓練の内容に問題がある
5. 本人の成長に不安がある
6. 友だちとの関係づくりがうまくできない
7. 通園・通所の送り迎えが大変
8. 費用など経済的負担が大きい
9. 小学校入学時の学校選択で困っている
10. 特に関っていることはない
11. その他( )

問40 【あなた(あて名のお子さん)が小学校入学前におたずねします。】あなたが現在通っているところはありますか。(○はいくつでも)

1. 保育所(園)
2. 幼稚園
3. 特別支援学校の幼稚園
4. 療育センター
5. 大宮学園
6. 桜木園
7. その他の療育機関
8. 通っている所はない
9. その他( )

問41

【あなた(あて名のお子さん)が小学校入学前におたずねします。】あなたが小学校(小学部)に入学するとき、どの学校・学級に通わせたいと思いますか。(○は1つ)

1. 小学校の通常学級
2. 小学校の特別支援学級
3. 特別支援学校
4. わからない
5. その他( )

問42 【保護者の方におたずねします。】療育・保育から小学校に入学する際に、保護者の同意があった場合、お子さんの支援に関する情報が小学校に提供されることについてどう思いますか。(○は1つ)

1. とてもよいと思う
2. よいと思う
3. あまりよくないと思う
4. よくないと思う

問43 【保護者の方におたずねします。】療育・保育から小学校に入学する際に、保護者の同意があった場合、お子さんの支援についてのどのような情報が小学校に提供されるとよいと思いますか。(○はいくつでも)

1. 障害の種別や程度
2. 性格の特徴
3. 得意な分野と不得意な分野
4. コミュニケーション能力
5. 接する上で配慮しなければならないこと
6. 家族構成
7. 障害を発症した時期
8. その他( )

8. 学校・教育について

この章(問44～52)は、【在学中の方のみ対象です。】  
「あなた」が小学校入学前・学校卒業後の場合は、回答不要です

問44 あなたは、主にどの学校・学級等に通っていますか。(○は1つ)

1. 小学校の通常学級
2. 小学校の特別支援学級
3. 特別支援学校の小学部
4. 中学校の通常学級
5. 中学校の特別支援学級
6. 特別支援学校の中学部
7. 高等学校
8. 特別支援学校の高等部
9. その他の学校
10. 通所施設などに通っている
11. どこにも通っていない
12. その他( )

問45 あなた（や保護者・ご家族の方）は、学校や教育について、どのようなことで困っていますか。（○はいいくつでも）

1. 教育・療育に関する情報が少ない
2. 学校での介助が不足
3. 通学の送迎が不足
4. 教職員の指導・支援の仕方が心配
5. 学校のカリキュラムが本人に合わない
6. 友だちとの関係づくりがうまくできない
7. 療育・訓練を受ける機会が少ない
8. 今後の学校選択について迷っている
9. 学校終了後の進路に不安がある
10. 特に困っていることはない
11. その他（ ）

問46 あなた（や保護者・ご家族の方）は、放課後や夏休みなどの過ごし方について、どのような希望をお持ちですか。（○はいいくつでも）

1. 自宅で過ごしたい
2. 地域の友だちと遊びたい
3. 放課後等デイサービスを利用したい
4. 子どもルームを利用したい
5. 部活動などに参加したい
6. 習い事や塾などに行きたい
7. 特に希望はない
8. その他（ ）

問47 【保護者の方におたずねします。】小学校から中学校に入学する際に、保護者の同意があった場合、お子さんの支援に関する情報が中学校に提供されることについてどう思いますか。（○は1つ）

1. とてもよいと思う
2. よいと思う
3. あまりよくないと思う
4. よくないと思う

問48 【保護者の方におたずねします。】小学校から中学校に入学する際に、保護者の同意があった場合、お子さんの支援についてのどのような情報が中学校に提供されるよいと思いますか。（○はいいくつでも）

1. 障害の種類や程度
2. 性格の特徴
3. 得意な分野と不得意な分野
4. コミュニケーション能力
5. 接する上で配慮しなければならないこと
6. 家族構成
7. 障害を発症した時期
8. その他（ ）

問49 【小学校（小学部）・中学校（中学部）に通っている方におたずねします。】あなたは、中学校卒業後、どのような進路を希望していますか。（○は1つ）

1. 高等学校
2. 特別支援学校の高等部
3. その他の学校
4. 障害福祉サービス事業所（通所施設など）に通いたい
5. 企業などで就労したい
6. わからない
7. その他（ ）

問50 【保護者の方におたずねします。】中学校から高等学校（高等部）に入学する際に、保護者の同意があった場合、お子さんの支援に関する情報が高等学校（高等部）に提供されることについてどう思いますか。（○は1つ）

1. とてもよいと思う
2. よいと思う
3. あまりよくないと思う
4. よくないと思う

問51 【保護者の方におたずねします。】中学校から高等学校（高等部）に入学する際に、保護者の同意があった場合、お子さんの支援についてのどのような情報が高等学校（高等部）に提供されるよいと思いますか。（○はいいくつでも）

1. 障害の種類や程度
2. 性格の特徴
3. 得意な分野と不得意な分野
4. コミュニケーション能力
5. 接する上で配慮しなければならないこと
6. 家族構成
7. 障害を発症した時期
8. その他（ ）

問52 【高等学校（高等部）に通っている方におたずねします。】あなたは、学校卒業後、どのような進路を希望していますか。（○は1つ）

1. 企業等に就職したい
2. 大学・短大に進学したい
3. 専門学校などに通いたい
4. 障害高等技術専門学校などに通いたい
5. 障害福祉サービス事業所（通所施設など）に通いたい
6. 自宅で就労したい（収入のある仕事）
7. 就労・就学はしないで過ごしたい
8. わからない
9. その他（ ）

9. 日中活動・就労について

この章（問53、54）は、【学校卒業後の方のみ対象です。  
（「あなた」が小学校教育前・在学中の場合は、回答不要です）

問53 あなたは、平日の日中を主にどのように過ごしていますか。（最もあてはまるものにとだけ○）

- 1. 正職員として働いている
- 2. パート・アルバイトなどで働いている
- 3. 福祉的就労をしている（作業所など）
- 4. 自宅で就労している（収入のある仕事）
- 5. 福祉的就労以外の通所施設に通っている
- 6. 自宅で家事や手伝いをしている
- 7. 職業訓練中
- 8. 就職活動中
- 9. 特に何もしていない
- 10. その他（ ）

問54 あなたは、障害のある人が企業などで一般就労するためには、どのような支援が必要だと思いますか。（○はいくつでも）

- 1. 仕事探しから就労までの総合的な相談支援
- 2. 働くための知識や能力を身につけるための職業訓練
- 3. 職場を理解するための就労体験
- 4. 障害の特性に合った職業・雇用の拡大
- 5. 障害者向けの求人情報の提供
- 6. 障害理解を促進するための職場への働きかけ
- 7. 職場施設のバリアフリー化
- 8. 障害や病気の状態に合った柔軟な勤務体制
- 9. ジョブコーチなど職場に定着するための支援
- 10. 特に必要なことはない
- 11. わからない
- 12. その他（ ）

10. 運動やスポーツについて

問55 あなたは、運動やスポーツをしていますか。  
（学校に通っている方は、学校の授業を除く）

- 1. している
- 2. していたが、今はやっていない
- 3. 今までで運動やスポーツをしたことがない

問56 【問55で「1. している」に○をつけた方におたねします】

あなたは、どのくらいの頻度で運動やスポーツをしていますか。

- 1. 週に3回以上
- 2. 週に1～2回
- 3. 月に1～3回
- 4. 年に1～11回

問57 【問55で「1. している」または「2. していたが、今はやっていない」に○をつけた方におたねします】あなたがやっている（行っていた）運動やスポーツの種目は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

1. ウォーキング	2. ランニング・マラソン	3. ラジオ体操・健康体操
4. ヨガ・太極拳	5. ウェイトトレーニング	6. ダンス
7. エアロビクス	8. 水泳	9. ゴルフ
10. 野球・ソフトボール	11. サッカー・フットサル	12. ラグビー
13. バスケッボール	14. 陸上競技	15. バレーボール・ソフトボール
16. ハンドボール	17. テニス・ソフトテニス	18. バドミントン
19. 卓球	20. アイススケート	21. スキー・スノーボード
22. 柔道	23. 剣道	24. 空手・合気道
25. ゲートボール	26. ホウリング	27. グラウンドゴルフ
28. 登山・キャンプ	29. サイクリング	30. ヨット・サーフィン
31. トライアスロン	32. バークゴルフ	
【上記を除く全国障害者スポーツ大会競技】		
33. アーチェリー	34. グランドソフトボール	35. 車椅子バスケットボール
36. サウンドテーブルテニス	37. フットベースボール	38. フライングディスク
【上記を除くパラリンピックの公式競技等】		
39. ウィルチアエーラグビー	40. カヌー	41. 車いすテニス
42. 車いすフェンシング	43. ゴールボール	44. 電動車椅子サッカー
45. 5人制サッカー（視覚障害者）	46. 7人制サッカー（脳性麻痺）	49. 射撃
47. シッティングバレーボール	48. 自転車競技	52. トライアスロン
50. セーリング	51. テコンドー	55. ポート
53. 馬術	54. パワーリフティング	
56. ボッチャ		
57. その他（ ）		

問58 今後、障害のある方がスポーツ活動を、より多く行うためには、どのようになればいいと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

- 1. 身近で気軽に、障害者が使える施設があれば
- 2. 安く使える施設があれば
- 3. 一緒にスポーツをする仲間がいれば
- 4. 子どもを預けられるところがあれば
- 5. スポーツを教えてくれる人がいれば
- 6. 施設の環境・雰囲気良くなれば
- 7. 時間に余裕があれば
- 8. 経済的な援助があれば
- 9. わからない
- 10. その他（ ）



問59 【問55で「3. 今まで運動やスポーツをしたことがない」に○を付けた方におたずねします】 あなたがスポーツをしない理由は何か。(あてはまるものすべてに○)

1. スポーツができる場所がないため
2. スポーツをする施設が受け入れてくれないため
3. 指導してくれる人がいないため
4. 上手にスポーツができる自信がないため
5. スポーツをするために必要な器具や用具がないため
6. 経済的に無理であるため
7. 一緒にスポーツをする仲間がいないため
8. 介助などのボランティアがないため
9. 障害の程度が重く、スポーツは無理であるため
10. 今のスポーツをやったらよいかわからないため
11. してみたいスポーツがないため
12. スポーツが嫌いだから
13. 忙しくて時間がないから
14. その他 ( )

## 11. 将来について

問60 あなたは将来、どのような暮らし方をしたいと思いますか。(○は1つ)

1. 自宅で家族と暮らしたい
2. 自宅でひとり暮らしをしたい
3. グループホームなどに入居したい
4. 障害者の入所施設に入りたい
5. わからない
6. その他 ( )

問61 あなた(や保護者・ご家族の方)は、障害のある人が地域で生活していくためには、何が必要だと思いますか。(○は3つまで)

1. 地域の入居者の障害に対する理解
2. 地域生活に関する相談支援
3. 訪問系サービスの充実
4. 日中活動系サービスの充実
5. 自立生活のための訓練・体験
6. グループホームなどの拡充
7. 障害者のための住宅の確保
8. 医療体制の充実
9. 就労のための支援
10. 災害時の支援
11. 道路・交通・建物のバリアフリー化
12. 経済的負担の軽減
13. 特に必要なことはない
14. わからない
15. その他 ( )

問62 【主な介助者の方におたずねします。】今あなたが介助をしている人に、将来どのような暮らし方をしてほしいと思いますか。(○は1つ)

1. 自宅で家族と暮らしてほしい
2. 自宅でひとり暮らしをしてほしい
3. グループホームなどに入居してほしい
4. 障害者入所施設に入してほしい
5. わからない
6. その他 ( )

## 12. 障害のある人に対する理解度

問63 あなたは、地域で生活をしていて、差別を感じることがありますか。(○は1つ)

1. 頻繁に感じる
2. 時々感じる
3. あまり感じない
4. 感じない
5. わからない

問64 あなたは、障害のある人に対する市民の理解が、どの程度あると感じていますか。(○は1つ)

1. よく理解されている
2. おおむね理解されている
3. あまり理解されていない
4. まったく理解されていない
5. わからない

問65 障害者への差別をなくすことを目的として、平成28年4月1日に「障害者差別解消法」が施行されましたが、このことを知っていますか。(○は1つ)

※障害者差別解消法は、すべての国民が、障害の有無によって分け隔てられることなく、相互に人格と個性を尊重し合いながら共生する社会の実現に向け、障害を理由とする差別の解消を社会において推進することを目的に制定され、平成28年4月1日に施行されました。

1. 内容まで知っている
2. 名前だけは知っている
3. 知らない

問66 あなたは、障害者が選挙の投票をしやすいように、投票所に何が必要だと思いませんか。(〇はいくつでも)

- 候補者情報（こうほしゃじょうほう）を点字（てんじ）や音声（おんせい）で伝えてほしい
- 段差（だんさ）をなくしてほしい
- 車いす（くるま）を用意（ようい）してほしい
- 投票（とうひょう）しやすいようサポート（さぽーと）する人を配置（ちはい）してほしい
- 代理投票制度（だいりとうひょうせいど）を活用（かっよう）しやすいしてほしい
- コミュニケーションボード（コミュニケーションボード）等（らう）を活用（かっよう）、障害者（しょうがいしや）にわかりやすく、投票方法（とうひょうほうほう）等（らう）について説明（せつめい）してほしい
- 特に必要（ひつよう）なことではない
- その他（その他）

問67 とひ あなたは、障害者しょうがいしゃに対する理解りかいをより深めるために、どのようなことを行政ぎょうせいに取り組んとでもらいたいですか。(〇は2つまで)

1. 障害者理解のための学校教育的普及  
（しょうがいしゃのりかいのためのがっこうてきようきょういくのきふく）
2. 広報などによる啓発活動の推進  
（こうほうなどによるけいはつくわつどうのすいしん）
3. 障害者の活動や団体の活動の紹介  
（しょうがいしゃのかつどうやだんたいのかつどうのしょうかい）
4. ボランティアの活動の推進  
（ボランティアのかつどうのすいしん）
5. 障害のある人と参加できるスポーツ・文化活動の推進  
（しょうがいしゃのあるひととさんかできるスポーツ・ぶんかかつかどうのすいしん）
6. 障害のある人に配慮した公共施設や道路の整備  
（しょうがいしゃのあるひとにえいりしたこうきょうしせつやだうろくのせいび）
7. 障害者福祉に関する広報やパンフレットの作成  
（しょうがいしゃふくしに関するこうほうやパンふれっとのさくせい）
8. 特になし
9. その他（ ）

問8 あなたは、障害者に対する理解をより深めるために、どのようなことを企業に取り組んでもらいたいですか。(〇は2つまで)

1. 社員（しやくいん）に対して障害者（しやうがいしや）雇（く）用の意義（いぎぎ）を、研修（けんしゆ）を通じて伝（つた）へていく
2. 就（しゆう）労（らう）を旨（め）指（さ）している障害者（しやうがいしや）のいる特別（とくべつ）支援（しえん）学校（がっこう）等（ら）を見学（けんがく）する
3. 障害者（しやうがいしや）を雇（く）用（よう）している企業（きぎや）の見学（けんがく）を行う
4. 障害者（しやうがいしや）雇（く）用の実習（じしゆ）を受け入れる
5. 社員（しやくいん）が障害（しやうがい）の種類（しゆるい）や程度（ていど）に對（たい）応（おう）して、コミュニケーションできるようにする
6. 障害者（しやうがいしや）とともに職場（しやくば）で働（はたら）く上（う）での配慮（はいり）すべきことをまとめたパンフレットやマニユアル（まにゅアル）を作成（せいせい）する。
7. 持（も）たない
8. その他（その他）（その他）

問69 障害者への理解を深めるために、障害者自身がどのような取り組みをしていく必要があると思いますか。(〇は2つまで)

1. 障害者差別解消法の合理的配慮等、障害者の人権に関する法律や制度への理解を深める
2. スポーツ大会やイベント等、地域の人々との交流の場へ積極的に参加する
3. まちづくりや地域づくり等に障害者の視点を反映できるようにしていく
4. 障害者団体に参加し、様々な活動を通じて市民と関わっていく
5. 障害者の視点から、障害者理解のためのパンフレット等がより市民にわかりやすいものとなるよう工夫していく
6. 職場においても、自分の能力や個性を活かして仕事をしていく
7. 特になし
8. その他（ ）

※合理的配慮とは、行政機関等へ障害者から社会的障壁の除去を必要としている旨の意思の表明がある場合に、その実施に伴う負担が過重でないときは、社会的障壁(バリア)を除去するための必要かつ合理的な取組を行わなければならないことです。(民間事業者については努力義務)

問70 社会的障壁の除去に向けて、合理的配慮を進めていくために必要なことは何だと思われるか。(〇は2つまで)

1. 市民や民間事業者に対して障害者差別解消法に関する周知・啓発
2. 障害者差別解消法に係るセミナー等の開催
3. 障害当事者を講師とした市民・民間事業者向けの研修
4. 筆談、読み上げ、手話など障害者の特性に応じたコミュニケーション手段の設置
5. 意思疎通のために絵や写真カード、ICT機器（タブレット端末等）等の活用
6. 各種障害者に関するマークの周知・啓発
7. 特にない
8. その他（ ）

13. サービス利用について

(1) 訪問系サービス

問71 あなたは、次のような訪問系サービスを利用していますか。また今後利用したいと思いますか。すでに利用している方も、今後利用したいかどうかをお答えください。(①～⑤のそれぞれのサービスについて、回答欄Aは1・2のどちらか、回答欄Bは1・2のどちらかに○をつけてください。)

サービス名	サービスの内容	回答欄 (A)		回答欄 (B)	
		現在の利用状況 利用している	利用して いない	今後の利用希望 利用したい	利用した くない
①居宅介護 (ホームヘルプ)	自宅で、身体介護や家事援助などの支援を行います。	1	2	1	2
②重度訪問 介護	重度の肢体不自由者、重度の知的障害者・精神障害者に、入浴、排泄つ、食事などの介護を総合的に 行います。	1	2	1	2
③行動支援	行動障害のある知的障害者・精神障害者に、移動介護や危険回避等の 支援を行います。	1	2	1	2
④重度 障害者等 包括支援	常に介護を必要とする障害者に、 居宅介護などのサービスを包括的 に提供します。	1	2	1	2
⑤同行支援	移動に著しい困難を有する軽 障害者に、移動時及び外出先で 情報支援や移動援助などを行います。	1	2	1	2

問72 あなたは、訪問系サービスの利用に関して困っていることがありますか。(○はいくつでも)

1. サービスの内容や使い方がよくわからない
2. サービスに関する情報が少ない
3. 利用したいサービスが利用できない
4. サービス利用の手続きが大変
5. 事業者との日時などの調整が大変
6. 利用できる回数や日数が少ない
7. サービスの質について困っている
8. 利用者負担について困っている
9. 特に困っていることはない
10. その他 ( )

(2) 日中活動サービス

問73 あなたは、次のような日中活動系サービスを利用していますか。また今後利用したいと思いますか。すでに利用している方も、今後利用したいかどうかをお答えください。

(①～⑪のそれぞれのサービスについて、回答欄Aは1・2のどちらか、回答欄Bは1・2のどちらかに○をつけてください。)

サービス名	サービスの内容	回答欄 (A)		回答欄 (B)	
		現在の利用状況 利用している	利用して いない	今後の利用希望 利用したい	利用した くない
①生活介護	常に介護を必要とする障害者に、施設などで介護や創作的活動などの機会を提供します。			1	2
②自立訓練 (機能訓練・生活訓練)	自立した日常生活や社会生活を営むことができるように、必要な訓練を行います。			1	2
③就労移行 支援	一般就労を希望する障害者に、就労に必要な知識・能力向上のための訓練を行います。			1	2
④就労継続 支援 (A型・B型)	一般就労が難しい障害者に、生産活動などの訓練を行います。			1	2
⑤療養介護	医療を要する障害者に、病院などで機能訓練や看護、介護などを行います。			1	2
⑥短期入所 (ショート ステイ)	介護者が病気等のときに、短期間施設に入所して必要な介護等の支援を行います。	1	2	1	2
⑦児童発達 支援	日常生活における基本的な動作の指導や、集団生活への適応訓練を行います。	1	2	1	2
⑧放課後等 デイサービス	学校の授業の終了後または夏休み等の休業日に生活能力向上のために必要な訓練、社会との交流促進等を行います。	1	2	1	2
⑨保育所等 訪問支援	障害児が通う保育所等を訪問し、集団生活への適応のための専門的な支援を行います。	1	2	1	2
⑩医療型児童 発達支援	日常生活における基本的な動作の指導や、集団生活への適応訓練等と治療を行います。	1	2	1	2
⑪その他の 通所施設	(具体的なサービス名をお書きください： )	1	2	1	2

問74 あなたは、日中活動系サービスの利用に困っていることがありますか。(○はいくつでも)

- 1. サービスの内容や使い方がよくわからない
- 2. サービスに関する情報が少ない
- 3. 利用したいサービスが利用できない
- 4. サービス利用の手続きが大変
- 5. 事業者との日時などの調整が大変
- 6. 利用できる回数や日数が少ない
- 7. サービスの質について困っている
- 8. 他の利用者との関係について困っている
- 9. 利用者負担について困っている
- 10. 特に困っていることはない
- 11. その他（ ）

(3) 居住系サービス

問75 あなたは、次のような居住系サービスを利用していますか。また今後利用したいと思いますか。すでに利用している方も、今後利用したいかどうかをお答えください。(○はいくつでも)

サービス名	サービスの内容	回答欄 (A)		回答欄 (B)	
		現在利用している	利用していない	今後利用したい	今後利用しない
①共同生活援助 (グループホーム)	夜間や休日、共同生活を行う住居で、相談や日常生活上の援助、入浴、排せつ、食事の介護などを行います。	18歳以上の方を対象としたサービスのため、現在の利用状況は回答不要です。右の今後の利用希望のみ回答してください。	1	2	2
②施設入所支援	障害者支援施設に入所する障害者に対し、主に夜間に入浴、排せつ、食事等の介護を行います。				
③障害児入所支援	知的障害児、肢体不自由または重度の知的障害・肢体不自由が重複している児童を保護し、日常生活の指導等と治療を行います。	1	2	1	2

(4) 地域生活支援事業

問76 あなたは、次のようなサービスを利用していますか。また今後利用したいと思いますか。すでに利用している方も、今後利用したいかどうかをお答えください。(○はいくつでも)

サービス名	サービスの内容	回答欄 (A)		回答欄 (B)	
		現在利用している	利用していない	今後利用したい	今後利用しない
①相談支援事業	障害者等からの相談に応じ、必要な情報提供や権利擁護のための援助を行います。	1	2	1	2
②成年後見制度利用支援事業	成年後見制度の利用にかかる申立て費用や後見人等報酬の助成をします。	20歳以上の方を対象としたサービスのため、現在の利用状況は回答不要です。右の今後の利用希望のみ回答してください。	1	2	2
③意向疎通支援事業	意思疎通を図ることに支障のある方に、手話通訳者等を派遣します。	1	2	1	2
④日常生活用具給付等事業	重度障害者に対して、自立生活支援用具等の給付・貸与を行います。	1	2	1	2
⑤移動支援事業	屋外での移動が困難な障害者に対して、外出のための援助を行います。	1	2	1	2
⑥地域活動支援センター	障害者に、創作的活動や生産活動の機会を提供したり、社会との交流を促進します。	1	2	1	2
⑦在宅的障害者本人活動支援事業	在宅の知的障害者に対して、ボランティア活動の機会を提供します。	1	2	1	2
⑧訪問入浴サービス事業	自宅に訪問入浴車を派遣して、入浴の機会を提供します。	1	2	1	2
⑨知的障害者職親委託事業	知的障害者が、民間事業者等のもとで、生活指導や技能習得訓練などを受けます。	1	2	1	2
⑩生活訓練等事業	視覚障害者等に対して、日常生活に必要な訓練、指導等を行います。	1	2	1	2

サービス名	回 答 欄 (A)		回 答 欄 (B)	
	現在の利用状況		今後の利用希望	
	利用している	利用して いない	利用した い	利用した くない
① 日中一時 支援事業	1	2	1	2

障害者に日中生活の場を  
提供し、家族の就労や休養  
のための支援を行います。

問77 【問71、73、75、76にある障害福祉サービスを利用している方や、今後利用したい方にお聞きします】 サービス等利用計画の作成について、どのように進めていきたいですか。  
 (○はひとつ)

- 相談支援事業所の相談支援専門員にサービス等利用計画の作成を依頼したい
- セルフプランを自分や家族で作成したい
- 通所施設の職員など福祉の知識のある身近な人が支援してくれたら、自分や家族でセルフプランを作成したい
- まず詳しい内容を聞くために、相談支援事業所の相談支援専門員等に相談したい
- サービス等利用計画もセルフプランもよくわからない

問78 【これまでに特定相談支援事業所でサービス等利用計画を作成したことがある方にお聞きします】 サービス等利用計画を作成して感じたことはありますか。(○は4つまで)

- ニーズを適切に反映したサービスの提案を受けることができた。
- サービス等利用計画に沿った形でサービス提供 事業所等の支援を受けることができた。
- サービス等利用計画の内容が具体的に分かりやすかった。
- 相談支援専門員が丁寧に分かりやすく説明してくれた。
- 課題解決に向けて自分を取り組むべきことが明確になった。
- サービス等利用計画にニーズが適切に反映されなかった。
- サービス等利用計画の内容が分かりにくかった。
- 相談支援専門員の説明が分かりにくかった。
- 制度そのものが分かりにくかった。
- その他 ( )

(5) 福祉タクシー利用券・自動車燃料費助成について

問 79 あなたは、福祉タクシー利用券や自動車燃料券を利用していますか。利用している方は、その種類 (券の色) もお答えください。(○は1つ)

- 福祉タクシー利用券 (黄色券)
- 福祉タクシー利用券 (水色券)
- 自動車燃料券
- 利用していない

問 80 【問79でいずれかの券を利用している (1～3番) と回答した方にお聞きします】 福祉タクシー利用券・自動車燃料券の主な使い道は何ですか。(○はいくつでも)

- 通勤・通学
- 福祉施設への通所
- 医療機関への通院
- 買い物など日常の用事
- 文化・教養活動
- スポーツ・レクリエーション活動
- 旅行
- 友人・知人と会う
- その他 ( )

問 81 【問 79 で自動車燃料券を利用している (3 番) と回答した方にお聞きします。】 福祉タクシー利用券ではなく、自動車燃料券を選んでいる理由は何ですか。  
 (○は1つ)

- 家族などが運転する車で移動することが多いから
- タクシーや公共交通機関の利用が難しいから
- 自家用車のほうが経済的負担が少ないから
- 特に理由はない
- その他 ( )

14. 収入や利用者負担について

問82 あなたご本人の主な収入源をお答えください。(○は3つまで)

- 一般就労による収入 (給与・報酬など)
- 福祉的就労による収入 (工賃など)
- 事業収入 (自営業など)
- 財産収入 (家賃収入など)
- 年金・手当
- 生活保護費
- 家族などからの仕送り
- 収入はない
- その他 ( )

問83 あなた (保護者の方) は、障害福祉サービスの利用者負担について、どのように感じていますか。(○は1つ)

- 非常に負担に感じる
- やや負担に感じる
- あまり負担に感じない
- 障害福祉サービスを利用していない
- 障害福祉サービスを利用しているが、利用者負担はない

15. 市の障害者施策について

問84 あなた（や保護者・ご家族の方）は、市の障害者施策について、どのように感じていますか。（○は1つ）

1. 非常に満足

2. やや満足

3. やや不満

4. 非常に不満

5. どちらとも言えない

16. 自由意見

問85 障害福祉に関するご意見やご要望、今後利用したい福祉サービスなどありましたら、ご自由にお書きください。（自由記述）

協力ありがとうございました。

記入した調査票は、同封の「返信用封筒」に入れて、切手を貼らずに、平成29年2月8日（水）までにポストに投函してください。

※封筒やこの調査票には、名前、住所、電話番号などは書かないでください。

〇千葉市障害者生活実態・意向調査票

千葉市障害者生活実態・意向調査

～アンケートへのご協力をお願いします～

白旗から、本市の障害者施策にご理解、ご協力をいただき、誠にありがとうございます。  
本市では、来年度に障害者計画・障害福祉計画を策定するにあたり、皆様のご生活状況やご意見・ご要望を把握し、今後の障害者施策の推進に役立てるためのアンケート調査を実施することになりました。つきましては、お忙しいところ恐縮ですが、調査への協力をお願いいたします。

この調査は、精神障害者保健福祉手帳または自立支援医療（精神通院医療）受給者証をお持ちの18歳以上の方のうち、発達障害の類型に属する病名での申請がある方の中から、無作為抽出、無記名郵送方式でご回答いただきますので、ご回答された方が特定されたり、個人の回答内容が明らかにされたりすることはありません。ご回答いただいた内容は、統計的に処理した上で、障害者施策を推進するための基礎資料としてのみ活用し、その他の目的で利用されることは一切ありません。

この調査の趣旨をご理解いただき、調査にご協力いただけるようにお願いいたします。

千葉市 保健福祉局 高齢障害部 障害者自立支援課  
平成29年1月

ご記入にあたって

- ① 封筒のあて名ご本人がご回答ください。（この調査票で「あなたは」とあるのは、あて名ご本人のことです。また、ご本人の回答を代筆していただくことも可能です。）
- ② ご本人が病気や障害などの理由で回答できない場合には、ご家族や介助者の方がご本人の立場に立ってご回答ください。
- ③ 回答は、あてはまる選択肢の番号に直接○印をつけてお答えください。「その他」に回答する場合は、その内容を（ ）内に記入ください。回答欄に直接記入していただく設問もありますので、その場合は設問の指示にしたがってお書きください。
- ④ この調査票には、名前や住所、電話番号などは書かないでください。
- ⑤ 視覚障害者の方で、点字の調査票を希望する場合は下記の問合せ先にご連絡ください。

記入した調査票は、同封の「返信用封筒」に入れて、切手は貼らずに  
平成29年2月8日（水）までに、ポストに投函してください。

お問い合わせ先  
千葉市 保健福祉局 高齢障害部 障害者自立支援課 企画班  
電話：043-245-5175 FAX：043-245-5549

- 問 この調査票でご回答いただくのはどなたですか。（〇は1つ）
- 1. あて名のご本人、又はご本人の回答を代筆する他の方
  - 2. ご家族の方（ご本人が回答できないため、ご本人の立場に立って回答）
  - 3. その他（ ）

1. ご本人について

問1 あなたの性別をおたずねします。（〇は1つ）

- 1. 男性
- 2. 女性

問2 あなたの年齢について、平成29年1月1日現在の年齢をご記入ください。

歳

問3 あなたのお住まいの区をおたずねします。（〇は1つ）

- 1. 中央区
- 2. 花見川区
- 3. 稲毛区
- 4. 若葉区
- 5. 緑区
- 6. 美浜区

問4 あなたがご持ちの手帳の種類と等級、自立支援医療（精神通院医療）の利用をおたずねします。（〇はいくつでも。手帳をお持ちの方は、カッコ内の等級（程度）にも○印をつけてください。）

- 1. 身体障害者手帳（1級 2級 3級 4級 5級 6級）
- 2. 療育手帳（㊟ ㊿の1 ㊿の2 ㊿の1 Bの1 Bの2）
- 3. 精神障害者保健福祉手帳（1級 2級 3級）
- 4. 自立支援医療（精神通院医療）を利用している

問5 あなたが受けている最新の診断名をお聞きます。（〇はいくつでも）

- 1. 自閉症・自閉的傾向
- 2. 高機能自閉症・高機能広汎性発達障害
- 3. 自閉症スペクトラム障害（ASD）
- 4. 広汎性発達障害（PDD）
- 5. アスペルガー症候群
- 6. 注意欠陥・多動性障害（AD/HD）
- 7. 学習障害（LD）
- 8. 知的障害
- 9. 特に診断は受けていない
- 10. その他（ ）

問6 難病に罹患している方におたずねします。あなたの難病の種類は何ですか。

1. 国が指定する特定疾患（別表で該当する疾患の番号を記入してください。番号はいくつでも。）

--	--	--	--

2. その他の難病（病名をお書きください： ）

## 2. 医療機関への受診状況について

問7 あなたは最近1年間に、障害や疾病が原因で医療機関を受診しましたか。(Oは1つ)

1. 障害や疾病では受診していない
2. 一時的に受診したが、入院はしていない
3. 1年間継続して受診したが、入院はしていない
4. 一時入院した（入院期間以外に通院した場合も含む）
5. 1年間継続して入院していた

問8 あなたの「医療」についておたずねします。あなたはどこの病院に通院していますか。  
(○はいいくつでも)

1. 市内のあいてにいける場所
2. 市内のあいてにいけない場所
3. 真まことの市町村（平へい市以外）
4. 東京都内
5. その他（具体的に： （都道府県））
6. 特に通とほしているない

### 3. 家族や介護者について

問9 あなたは、どなたと一緒に暮らしていますか。(〇はいくつでも)

1. 母親ははおや
2. 父親ちちおや
3. 兄弟姉妹きょうだい
4. 祖父母
5. 配偶者ぐわいぶしや
6. 子ども
7. その他の親族
8. 施設しせつ（グループホーム等）で暮らしている
9. ひとり暮らし
10. その他（ ）

問10 あなたへの介助について、  
 おも かいじよ かいじよ かいじよ  
 主な介助者はどなたですか。(○は1つ)

1. 母親 ははおや
2. 父親 ちちおや
3. 兄弟姉妹 きょうどういまいしまい
4. 祖父母 そふぼ
5. 配偶者 はいふしや
6. 子ども
7. その他の親族 かみじょう
8. ホームヘルパー
9. ボランティア
10. 介助は要けていない
11. その他 ( )

問11 とい おも かいじょうしゃ かぞく しんぞく ばん かに とい 問10で主な介助者が家族・親族（1～7番）に○をつけた方におたずねします。】

おも かいじやしや ねんれい <sup>こた</sup>えをお答えください。(○は1つ)

1. 20歳未満 (さいにみまわ)
2. 20代 (だいに)
3. 30代 (だいに)
4. 40代 (だいに)
5. 50代 (だいに)
6. 60代 (だいに)
7. 70歳以上 (そひじゅうじょう)

問12 といで主<sup>おも</sup>な介<sup>かい</sup>助<sup>じょ</sup>者<sup>しゃ</sup>が家<sup>か</sup>族<sup>ぞく</sup>・親<sup>しん</sup>族<sup>ぞく</sup>（1～7番）に〇をつけた方<sup>かた</sup>におたずねします。】

主な**かいじょ**者の**かいじょ**の**かいじょ****ねんすう**をお**こた**えください。(〇は1つ)

1. 1年未満  
ねんないしゅう
2. 1年以上～5年未満  
ねんいじょう ねんないしゅう
3. 5年以上～10年未満  
ねんいじょう ねんないしゅう
4. 10年以上～15年未満  
ねんいじょう ねんないしゅう
5. 15年以上～20年未満  
ねんいじょう ねんないしゅう
6. 20年以上～25年未満  
ねんいじょう ねんないしゅう
7. 25年以上～30年未満  
ねんいじょう ねんないしゅう
8. 30年以上  
ねんいじょう

問13 **【問10で主な介助者が家族・親族（1～7番）に○をつけた方におたずねします。】**

おも かいじょしゃ こまな 主な介護者が困っていることは何ですか。(〇はいくつでも)

1. 介助者自身の健康に不安がある  
かいじょしゃ自身のけんこうにふあんがある
2. 介助者の高齢化に不安がある  
かいじょしゃの高齢化にふあんがある
3. 代わりに介助を頼める人がいない  
かいにたいかいじょをたのめるひとがいない
4. 緊急時の対応に不安がある  
きんぎゅうじのたいおうにふあんがある
5. 身体的な負担が大きい  
しんたい的なふたんが大きい
6. 精神的な負担が大きい  
しんせつ的なふたんが大きい
7. 経済的な負担が大きい  
けいぎせつ的なふたんが大きい
8. 仕事に出られない  
しごとに出られない
9. 長期の旅行や外出ができない  
ちがくのりょこうやでしでかえない
10. 休養や息抜きの時間がない  
きゅうぎやいきぬきのじかんがない
11. 特に困っていることはない  
とくにこまっていることはない
12. よくわからない  
よくわからない
13. その他 ( )  
その他 ( )

#### 4. 相談や情報入手について

問14 あなた（やご家族の方）は、日常生活で困っていることはありませんか。（○はいくつでも）

1. 発達<sup>はつたつ</sup>や心身<sup>しんしん</sup>の状態<sup>じょうたい</sup>に不安<sup>ふあん</sup>がある
2. 行動上<sup>こうどうじょう</sup>の問題<sup>もんだい</sup>への対応<sup>たいおう</sup>に困<sup>こま</sup>っている
3. 自分<sup>じぶん</sup>では身<sup>み</sup>の回り<sup>まわり</sup>の事<sup>こと</sup>が十分<sup>じゅうぶん</sup>にできない
4. 健康<sup>けんこう</sup>状態<sup>じょうたい</sup>に不安<sup>ふあん</sup>がある
6. 外出<sup>がいしゅつ</sup>するのに支障<sup>ししょう</sup>がある
7. 利用<sup>りよう</sup>したい福祉<sup>ふくし</sup>サービス<sup>さーびす</sup>を十分<sup>じゅうぶん</sup>に利用<sup>りよう</sup>できない



8. 収入や生活費に不安を感じている
9. 緊急時に支援が得られない
10. 将来の生活に不安を感じている
11. 療育・教育について困っている
12. 就労について困っている
13. 特に困っていることはない
14. その他（ ）

問15 あなた（やご家族の方）が困った時に相談する相手は誰（どこ）ですか。（○はいくつでも）

1. 家族・親族
2. 友人・知人
3. 近所の人
4. 相談支援事業所
5. ホームヘルパー
6. 施設等の職員
7. 医療関係者（医師・看護師など）
8. 障害者団体や家族の会
9. 学校の職員
10. 民生委員・児童委員
11. 身体障害者相談員・知的障害者相談員

12. 保健福祉センター
13. 発達障害者支援センター
14. こころの健康センター
15. 相談する相手はいない
16. その他（ ）

問16 あなた（やご家族の方）は、どのような相談制度があれば、より便利だと思いますか。（○はいくつでも）

1. 近所で気軽に立ち寄れる相談
2. 休日や夜間など緊急時の相談
3. 専門性の高い職員による相談
4. 自分と同じ立場の人による相談
5. 定期的に訪問してくれる相談
6. フライバシーに配慮した相談
7. 特に希望はない
8. その他（ ）

問17 あなた（やご家族の方）は、どのような相談方法が相談しやすいですか。（○はいくつでも）

1. 電話による相談
2. 電子メールやインターネットによる相談
3. ファックスによる相談
4. 手話通訳者のサポートを受けられる相談
5. その他（ ）

問18 あなた（やご家族の方）は、福祉に関する情報を、どこから知ることが多いですか。（○はいくつでも）

1. ちば市政だより
2. 市のパンフレットなど
3. 障害者団体などの刊行物
4. 学校のお知らせ
5. 市のホームページ
6. 市以外のホームページ
7. 新聞・雑誌
8. テレビ・ラジオ
9. 施設や福祉サービス事業所
10. 医療機関
11. 障害者団体や家族の会
12. 民生委員・児童委員
13. 身体障害者相談員・知的障害者相談員
14. 市の窓口
15. その他（ ）

問19 あなたは、商品の購入やサービスの利用にあたって、トラブルになったことがありますか。（○は1つ）

1. ある
2. ない

問20 【問19で「1. ある」に○をつけた方におたずねします。】

あなたは、どこに（誰に）相談しましたか。（○はいくつでも）

1. 購入先、利用先、相談員
2. メーカー
3. 業界団体の窓口
4. 国民生活センター
5. 千葉県消費生活センター
6. 千葉県消費生活センター
7. その他の国・地方公共団体等の相談窓口
8. 弁護士
9. 警察
10. 家族・友人・知人
11. わからない、覚えていない
12. 相談していない
13. その他（ ）

## 5. あなたの暮らしについて

問21 あなたのお住まいの種類の聞きします。（○は1つ）

1. 持ち家（一戸建て）
2. 持ち家（集合住宅）
3. 民間賃貸住宅（一戸建て）
4. 民間賃貸住宅（集合住宅）
5. 公営住宅
6. UR都市機構住宅（旧公営住宅）
7. グループホーム
8. その他（ ）

問22 あなたは、住まいについて困っていることがありますか。(○はいくつでも)

1. 階段の昇降
2. 玄関・出入口などの段差
3. 風呂が使いにくい
4. トイレが使いにくい
5. 建物の老朽化
6. 家賃など住宅費の負担
7. 特に困っていることはない
8. その他 ( )

問23 あなたは、どのくらいの頻度で外出していますか。(○は1つ)

1. 週 4日以上
2. 週 2～3日
3. 週 1日くらい
4. 月 2～3回
5. 月 1日くらい
6. あまり外出しない

問24 あなたは、どのような目的で外出することが多いですか。(○はいくつでも)

1. 通勤・通学・通所
2. 訓練やリハビリ
3. 医療機関への受診
4. 買い物
5. 友人・知人と会う
6. 趣味やスポーツ
7. グループ活動
8. 散歩に行く
9. あまり外出しない
10. その他 ( )

問25 外出先のトイレに望むことは何ですか。(○はいくつでも)

1. 男子で男女の別がわかるようにしてほしい
2. 男女の別やペーパーの位置、洗浄ボタン等を普声案内で知らせてほしい
3. 絵文字表示を見やすくしてほしい
4. トイレの中を明るくしてほしい
5. トイレの中の段差をなくしてほしい
6. 点字ブロックをつけてほしい
7. 便器等の位置、向きを統一してほしい
8. トイレの中に手すりをつけてほしい
9. エアタオルをつけてほしい
10. トイレに十分な広さがほしい
11. 緊急通報ボタンをつけてほしい
12. 特にない
13. その他 ( )

問26 あなたは日頃、近くの公園を利用していますか。(○は1つ)

1. よく利用する
2. 時々利用する
3. あまり利用しない
4. 全く利用しない

問27 【問26で「1. よく利用する」または「2. 時々利用する」に○をつけた方におたずねします】あなたが公園を利用する目的は何ですか。(○はいくつでも)

1. 散歩
2. 運動
3. 休息
4. 植物などの自然観賞
5. 昼食
6. 公園を近道に使っている
7. 周辺の散策途中のトイレ利用や休息
8. 子どもの遊び場
9. イベント見学・参加
10. その他 ( )

問28 あなたは、障害者が安心して公園を利用できるようにするために、何が必要だと思いますか。(○はいくつでも)

1. 通路の幅を広げてほしい
2. 手すりをつけてほしい
3. 段差や急な坂をなくしてほしい
4. 点字や音声でわかりやすく情報を伝えてほしい
5. 障害者の利用しやすいトイレを設置してほしい
6. 障害者にとって居心地の良い遊びや運動については利用者にマナーを守るよう指導してほしい
7. ベンチを増やしてほしい
8. 利用しやすい水飲み場、手洗い場を設置してほしい
9. 特に必要なことはない
10. その他 ( )

## 6. 災害対策について

問29 あなたは、地震などの災害が起きた時について、どのようなことを不安に思いますか。(○はいくつでも)

1. 自分や家族だけでは避難できない
2. 自分では助けを呼ぶことができない
3. 災害に関する情報を得るのが難しい
4. 避難所の設備が障害に対応しているか不安
5. 避難所で必要な介助を受けられるか不安
6. 避難所で一般市民と一緒に生活できるか不安
7. 薬や医療的なケアが確保できるか不安
8. 特に不安に思うことはない
9. その他 ( )

問30 あなたは、災害発生に備えて、避難生活に必要な物資（食料や家具等）を、備蓄していますか。（○は1つ）

1. 1週間分以上の備蓄がある
2. 4～6日分くらいの備蓄がある
3. 1～3日分くらいの備蓄がある
4. 備蓄していない

問31 あなたは、災害に対してどのような備えをしていますか。（○はいくつでも）

1. 日頃から家族で災害時の対応を話し合っている
2. 非常持ち出し品の用意、非常食等の備蓄（3日分程度）をしている
3. 非常持ち出し品や備蓄品の中に、障害や難病の状況に際して必要な医薬品、装具、食料等を用意している。
4. 避難所等において医療が受けられるよう、必要な医薬品や医療機関の連絡先などを記録している
5. 家族や近所の人、知人等に、災害が発生したときの手助けをお願いしている
6. 自分の障害のことや緊急連絡先等を記載したカードを作成している
7. 市の避難行動要支援者名簿の作成にあたり、個人情報提供の提供について同意している
8. 家具に転倒防止器具を取り付けている
9. 住居の耐震診断を受け、必要な補強を行っている
10. 災害時に避難する指定避難所（一次避難所）を知っている
11. 地域の防災訓練や勉強会・セミナー等に参加している
12. 特になし
13. その他（ ）

問32 あなたは、災害で避難する場合に、どのような支援をしてほしいですか。（○はいくつでも）

1. 一人では避難できないので、移動の介助をしてほしい
2. 災害の情報をわかりやすく伝えてほしい
3. 障害の程度や程度に対応した配慮をしてほしい
4. 地域の人にすぐに安否確認をしてほしい
5. 避難場所の情報を正確に伝えてほしい
6. 特に必要なことはない
7. その他（ ）

## 7. 日中活動・就労について

問33 あなたは、平日の日を主にどのように過ごしていますか。（最もあてはまる番号ひとつに○）

1. 正職員として働いている
2. パート・アルバイトなどで働いている
3. 福祉的就労をしている（作業所など）
4. 自宅で就労している（収入のある仕事）
5. 福祉的就労以外の通所施設に通っている
6. 自宅で家事や手伝いをしている
7. 特になし
8. 学校などに通っている
9. 職業訓練中
10. 就労活動中
11. その他（ ）

問34 【問33で働いている（1～4番）に○をつけた方におたずねします。】あなたが仕事上で困っていることはなんですか。（○は3つまで）

1. 身体的な負担が大きい
2. 精神的な負担が大きい
3. 通勤が大変
4. 職場の施設が障害に対応していない
5. 障害に対する職場の理解不足
6. 職場の人間関係
7. 仕事の相談をする相手がいらない
8. 仕事が自分には合わない
9. 給与・工賃などの収入が少ない
10. 仕事が難しくて覚えられない
11. 特になし
12. その他（ ）

問35 【問33で働いていない（5～7番）に○をつけた方におたずねします。】あなたが働いていない理由はなんですか。（○は3つまで）

1. 障害や病気が重いから
2. 高齢だから
3. 自分に合った仕事が見つからないから
4. 希望にあった求人が見つからないから
5. 働く自信がないから
6. 通勤が困難だから
7. 障害に理解のある職場が見つかるか不安があるから
8. 人間関係がうまくいかず不安があるから
9. 趣味の活動など仕事以外のことをしたいから
10. その他（ ）

問36 【すべての方におたずねします】あなたは、障害のある人が、企業などで一般就労するために、どのような支援が必要だと思いますか。(○はいくつでも)

- 1. 仕事探しから就労までの総合的な相談支援
- 2. 働くための知識や能力を身につけるための職業訓練
- 3. 職場を理解するための就労体験
- 4. 障害の特性に合った職業・雇用の拡大
- 5. 障害者向けの求人情報の提供
- 6. 障害理解を促進するための職場への働きかけ
- 7. 職場施設のバリアフリー化
- 8. 障害や病気の状態に合った柔軟な勤務形態
- 9. ジョブコーチなど職場に定着するための支援
- 10. 特に必要なことはない
- 11. わからない
- 12. その他 ( )

問37 あなたは今後、どのような活動に取り組みたいと思いますか。すでに取り組んでいる方は、今後も取り組みたいかどうかをお答えください。(○はいくつでも)

- 1. 趣味・教養に関する活動
- 2. 学習活動
- 3. スポーツ活動
- 4. ボランティア活動
- 5. 障害者団体の活動
- 6. 町内会・自治会など地域の活動
- 7. 特にない
- 8. その他 ( )

8. 運動やスポーツについて

問38 あなたは、運動やスポーツをしていますか。  
(学校に通っている方は、学校の授業を除く)

- 1. している
- 2. していたが、今はやっていない
- 3. 今まで運動やスポーツをしたことがない

問39 【問38で「1. している」に○をつけた方におたずねします】

あなたは、どのくらいの頻度で運動やスポーツをしていますか。

- 1. 週に3回以上
- 2. 週に1～2回
- 3. 月に1～3回
- 4. 月に1～1回

問40 【問38で「1. している」または「2. していたが、今はやっていない」に○をつけた方におたずねします】あなたがやっている(行っている)運動やスポーツの種類は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. ウォーキング	2. ランニング・マラソン	3. ラジオ体操・健康体操
4. ヨガ・太極拳	5. ウェイトトレーニング	6. ダンス
7. エアロビクス	8. 水泳	9. ゴルフ
10. 野球・ソフトボール	11. サッカー・フットサル	12. ラグビー
13. バスケッボール	14. 陸上競技	15. ハンボール・ワトリンボール
16. バンドボール	17. テニス・ソフトテニス	18. バドミントン
19. 卓球	20. アイススケート	21. スキー・スノーボード
22. 柔道	23. 剣道	24. 空手・合気道
25. ゲートボール	26. ホウリング	27. グラウンドゴルフ
28. 登山・キャンプ	29. サイクリング	30. ヨット・サーフィン
31. トライアスロン	32. ハークゴルフ	
【上記を除く全国障害者スポーツ大会競技】		
33. アーチERY	34. グランドソフトボール	35. 車椅子バスケットボール
36. サウンドテーブルテニス	37. フットベースボール	38. フライングディスク
【上記を除くパラリンピックの公式競技等】		
39. ウィルチアエーラグビー	40. カヌー	41. 重いデニス
42. 重いデフエントニング	43. ゴールボール	44. 電動車椅子サッカー
45. 5人制サッカー(視覚障害者)	46. 7人制サッカー(視覚障害者)	
47. シッティングバレーボール	48. 自転車競技	49. 射撃
50. セーリング	51. テコンドー	52. トライアスロン
53. 馬術	54. パワーリフティング	55. ボート
56. ボッチャ		
57. その他 ( )		

問41 今後、障害のある方がスポーツ活動を、より多く行うためには、どのようなになればいいと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

- 1. 身近で気軽に、障害者が使える施設があれば
- 2. 安く使える施設があれば
- 3. 一緒にスポーツをする仲間がいれば
- 4. 子どもを預けられるところがあれば
- 5. スポーツを教えてくれる人がいれば
- 6. 施設の環境・雰囲気良くなれば
- 7. 時間に余裕があれば
- 8. 経済的な援助があれば
- 9. わからない
- 10. その他 ( )

問42 【問38 で「3. 今まで運動やスポーツをしたことがない」に○を付けた方におたずねします】 あなたがスポーツをしない理由は何か。(あてはまるものすべてに○)

1. スポーツができる場所がないため
2. スポーツをする施設が受け入れてくれないため
3. 指導してくれる人がいないため
4. 上手にスポーツができる自信がないため
5. スポーツをするために必要な器具や用具がないため
6. 経済的に無理であるため
7. 一緒にスポーツをする仲間がいないため
8. 介助などのボランティアがないため
9. 障害の程度が重く、スポーツは無理であるため
10. 今のスポーツをやったらいいかわらないため
11. してみたいスポーツがないため
12. スポーツが嫌いだから
13. 忙しくて時間がないから
14. その他 ( )

## 9. 将来について

問43 あなたは、親なき後の生活を考えたとき、どのような不安がありますか。(○はいくつでも)

1. 身の回りの介助や援助をしてくれる人がいるか
2. 財産管理や契約などの手続きを自分で出来るか
3. 結婚できるかどうか、結婚生活を続けられるか
4. いっしょに暮らす家族がいるか
5. 十分な教育を受けられるか
6. 働く場所や適当な仕事があるか
7. 十分な収入が得られるか
8. 趣味や生きがいを持てるか
9. 生活をするうえで必要な情報を得られるか
10. 特に不安はない
11. その他 ( )

問44 あなたは将来、どのような暮らし方をしたいと思いますか。(○は1つ)

1. 自宅で家族と暮らしたい
2. 自宅でひとり暮らしをしたい
3. グループホームなどに入居したい
4. 障害者入所施設に入りたい
5. 高齢者の入所施設に入りたい (特別養護老人ホームなど)
6. わからない
7. その他 ( )

問45 あなたは、障害のある人が地域で生活していくためには、何が必要だと思いますか。(○は3つまで)

1. 地域の人のための障害に対する理解
2. 地域生活に関する相談支援
3. 訪問系サービスの充実
4. 日中活動系サービスの充実
5. 自立生活のための訓練・体験
6. グループホームなどの拡充
7. 障害者のための住宅の確保
8. 医療体制の充実
9. 就労のための支援
10. 災害時の支援
11. 道路・交通・建物のバリアフリー化
12. 経済的負担の軽減
13. 特に必要なことはない
14. わからない
15. その他 ( )

問46 【主な介助者の方におたずねします。】今あなたが介助をしている人に、将来どのような暮らし方をしてほしいと思いますか。(○は1つ)

1. 自宅で家族と暮らしてほしい
2. 自宅でひとり暮らしをしてほしい
3. グループホームなどに入居してほしい
4. 障害者の入所施設に入ってほしい
5. 高齢者の入所施設に入ってほしい (特別養護老人ホームなど)
6. わからない
7. その他 ( )

## 10. 障害のある人への理解度

問47 あなたは、地域で生活をしていて、差別を感じることがありますか。(○は1つ)

1. 頻繁に感じる
2. 時々感じる
3. あまり感じない
4. 感じない
5. わからない

問48 あなたは、障害のある人に対する市民の理解が、どの程度あると感じていますか。(○は1つ)

1. よく理解されている
2. おおむね理解されている
3. あまり理解されていない
4. まったく理解されていない
5. わからない

問49 障害者への差別をなくすことを目的として、平成28年4月1日に「障害者差別解消法」が施行されましたが、このことを知っていますか。(○は1つ)

※障害者差別解消法は、すべての国民が、障害の有無によって分け隔てられることなく、相互に人格と個性を尊重し合いながら共生する社会の実現に向け、障害を理由とする差別の解消を社会において推進することを目的に制定され、平成28年4月1日に施行されました。

1. 内容まで知っている      2. 名前だけは知っている      3. 知らない

問50 あなたは、障害者が選挙の投票をしやすくするために、投票所に何が必要だと思いますか。(○はいくつでも)

1. 候補者情報を点字や音声で伝えてほしい  
2. 段差をなくしてほしい  
3. 車いすを用意してほしい  
4. 投票しやすいようサポートする人を配置してほしい  
5. 代理投票制度を活用しやすくしてほしい  
6. コミュニケーションボード等を活用し、障害者にわかりやすく、投票方法等について説明してほしい  
7. 特に必要ことはない  
8. その他 ( )

問51 あなたは、障害者に対する理解をより深めるために、どのようなことを行政に取り組んでもらいたいですか。(○は2つまで)

1. 障害者理解のための学校教育の普及  
2. 広報などによる啓発活動の推進  
3. 障害者の活動や団体の活動の紹介  
4. ボランティアの活動の推進  
5. 障害のある人と参加できるスポーツ・文化活動の推進  
6. 障害のある人に配慮した公共施設や道路の整備  
7. 障害者福祉に関する広報やパンフレットの作成  
8. 特にない  
9. その他 ( )

問52 あなたは、障害者に対する理解をより深めるために、どのようなことを企業に取り組んでもらいたいですか。(○は2つまで)

1. 社賞に対して障害者雇用の意義を、研修を通じて伝えていく  
2. 就労を自指している障害者のいる特別支援学校等を見学する  
3. 障害者を雇用している企業の見学を行う  
4. 障害者雇用の実習を受け入れる  
5. 社員が障害の種類や程度に対応して、コミュニケーションできるようにする  
6. 障害者とともに職場で働く上での配慮すべきことをまとめたパンフレットやマニュアルを作成する  
7. 特にない  
8. その他 ( )

問53 障害者への理解を深めるために、障害者自身がどのような取り組みをしていく必要があると思いますか。(○は2つまで)

1. 障害者差別解消法の合理的配慮等、障害者の人権に関する法律や制度への理解を深める  
2. スポーツ大会やイベント等、地域の人々との交流の場へ積極的に参加する  
3. まちづくりや地域づくり等に障害者の視点を反映できるようにしていく  
4. 障害者団体に参加し、様々な活動を通じて市民と関わっていく  
5. 障害者の視点から、障害者理解のためのパンフレット等がより市民にわかりやすいものとなるよう工夫していく  
6. 職場においても、自分の能力や個性を活かして仕事をしていく  
7. 特にない  
8. その他 ( )

※合理的配慮とは、行政機関等へ障害者から社会的障壁の除去を必要としている旨の意思の表明があった場合に、その実施に伴う負担が過重でないときは、社会的障壁(バリア)を除去するための必要かつ合理的な取組を行わなければならないことです。(民間事業者については努力義務)

問54 社会的障壁の除去に向けて、合理的配慮を進めていくために必要なことは何だと思われますか。(○は2つまで)

1. 市民や民間事業者に対して障害者差別解消法に関する周知・啓発  
2. 障害者差別解消法に際するセミナー等の開催  
3. 障害当事者を講師とした市民・民間事業者向けの研修  
4. 筆談、読み上げ、手話など障害の特性に際したコミュニケーション手段の設置  
5. 意思疎通のために絵や写真カード、ICT機器(タブレット端末等)等の活用  
6. 各種障害者に関するマークの周知・啓発  
7. 特にない  
8. その他 ( )

11. サービス利用について

(1) 訪問系サービス

問55 あなたは、次のような訪問系サービスを利用していますか。また今後利用したいと思いますか。すでに利用している方も、今後利用したいかどうかをお答えください。  
(①～⑤のそれぞれのサービスについて、回答欄Aは1・2のどちらか、回答欄Bは1・2のどちらかに○をつけてください。)

サービス名	サービスの内容	回答欄 (A)		回答欄 (B)	
		現在の利用状況		今後の利用希望	
		利用している	利用していない	利用したい	利用したくない
①居宅介護 (ホームヘルプ)	自宅で、身体介護や家事援助などの支援を行います。	1	2	1	2
②重度訪問介護	重度の肢体不自由者、重度の知的障害者・精神障害者に、入浴、排せつ、食事などの介護を総合的にを行います。	1	2	1	2
③行動援護	行動障害のある知的障害者・精神障害者に、移動介護や危険回避等の支援を行います。	1	2	1	2
④重度障害者等包括支援	常に介護を必要とする障害者に、居宅介護などのサービスを包括的に提供します。	1	2	1	2
⑤同行援護	移動に著しい困難を有する視覚障害者に、移動時及び外出先で、情報支援や移動支援などを行います。	1	2	1	2

問56 あなたは、訪問系サービスの利用に困っていることがありますか。(○はいくつでも)

1. サービスの内容や使い方がよくわからない
2. サービスに関する情報が少ない
3. 利用したいサービスが利用できない
4. サービス利用の手続きが大変
5. 事業者との日時などの調整が大変
6. 利用できる回数や日数が少ない
7. サービスの質について困っている
8. 利用者負担について困っている
9. 特に困っていることはない
10. その他 ( )

(2) 日中活動サービス

問57 あなたは、次のような日中活動系サービスを利用していますか。また今後利用したいと思いますか。すでに利用している方も、今後利用したいかどうかをお答えください。  
(①～⑦のそれぞれのサービスについて、回答欄Aは1・2のどちらか、回答欄Bは1・2のどちらかに○をつけてください。)

サービス名	サービスの内容	回答欄 (A)		回答欄 (B)	
		現在の利用状況		今後の利用希望	
		利用している	利用していない	利用したい	利用したくない
①生活介護	常に介護を必要とする障害者に、施設などで介護や創作的活動などの機会を提供します。	1	2	1	2
②自立訓練 (機能訓練・生活訓練)	自立した日常生活や社会生活を営むことができるように、必要な訓練を行います。	1	2	1	2
③就労移行支援	一般就労を希望する障害者に、就労に必要な知識・能力向上のための訓練を行います。	1	2	1	2
④就労継続支援 (A型・B型)	一般就労が難しい障害者に、生産活動などの訓練を行います。	1	2	1	2
⑤療養介護	医療を要する障害者に、病院などで機能訓練や看護、介護などを行います。	1	2	1	2
⑥短期入所 (ショートステイ)	介護者が病気等のときに、短期間、施設で必要な介護等の支援を行います。	1	2	1	2
⑦その他の通所施設	(具体的なサービス名をお書きください： )	1	2	1	2

問58 あなたは、日中活動系サービスの利用に困っていることがありますか。(○はいくつでも)

1. サービスの内容や使い方がよくわからない
2. サービスに関する情報が少ない
3. 利用したいサービスが利用できない
4. サービス利用の手続きが大変
5. 事業者との日時などの調整が大変
6. 利用できる回数や日数が少ない
7. サービスの質について困っている
8. 利用者との関係について困っている
9. 利用者負担について困っている
10. 特に困っていることはない
11. その他 ( )

(3) 居住系サービス

問59 あなたは、次のような居住系サービスを利用していますか。また今後利用したいと思いますか。すでに利用している方も、今後利用したいかどうかをお答えください。

(①～②のそれぞれのサービスについて、回答欄Aは1・2のどちらか、回答欄Bは1・2のどちらかに○をつけてください。)

サービス名	サービスの内容	回答欄 (A)		回答欄 (B)	
		現在の利用状況 利用している	利用して いない	今後の利用希望 利用したい	利用した くない
①共同生活援助 (グループホーム)	夜間や休日、共同生活を行う住居で、相談や日常生活上の援助、入浴、排せつ、食事の介護などを行います。	1	2	1	2
②施設入所支援	障害者支援施設に入所する障害者に対し、主に夜間に入浴、排せつ、食事等の介護を行います。	1	2	1	2

468

問60 あなたは、居住系サービスの利用に関して困っていることがありますか。(○はいくつでも)

1. サービスの内容や使い方がよくわからない
2. サービスに関する情報が少ない
3. 希望しているが入居・入所できない
4. 将来必要になったときすぐに入居・入所できるか不安
5. 生活上の支援が不十分
6. プライバシーを十分守れない
7. 他の入居者との関係について困っている
8. 入居のための費用について困っている
9. 特に困っていることはない
10. その他 ( )

(4) 地域生活支援事業

問61 あなたは、次のようなサービスを利用していますか。また今後利用したいと思いますか。すでに利用している方も、今後利用したいかどうかをお答えください。

(①～⑪のそれぞれのサービスについて、回答欄Aは1・2のどちらか、回答欄Bは1・2のどちらかに○をつけてください。)

サービス名	サービスの内容	回答欄 (A)		回答欄 (B)	
		現在の利用状況 利用している	利用して いない	今後の利用希望 利用したい	利用した くない
①相談支援事業	障害者等からの相談に応じ、必要な情報提供や権利擁護のための援助を行います。	1	2	1	2
②成年後見制度利用支援事業	成年後見制度の利用にかかる申立て費用や後見人等報酬の助成をします。	1	2	1	2
③意思疎通支援事業	意思疎通を図ることに支障のある方に、手話通訳者等を派遣します。	1	2	1	2
④日常生活用具給付等事業	重度障害者に対して、自立生活支援用具等の給付・貸与を行います。	1	2	1	2
⑤移動支援事業	屋外での移動が困難な障害者に対して、外出のための援助を行います。	1	2	1	2
⑥地域活動支援センター	障害者に、創作的活動や生産活動の機会を提供したり、社会との交流を促進します。	1	2	1	2
⑦本人活動支援事業	在宅の知的障害者に対して、ボランティア活動の機会を提供します。	1	2	1	2
⑧訪問入浴サービス事業	自宅に訪問入浴車を派遣して、入浴の機会を提供します。	1	2	1	2
⑨知的障害者職親委託事業	知的障害者、民間事業者等のもとで、生活指導や技能習得訓練などを受けます。	1	2	1	2



サービス名	回 答 欄 (A)		回 答 欄 (B)	
	現在の利用状況		今後の利用希望	
	利用している	利用していない	利用したい	利用しない
⑩生活訓練等事業	1	2	1	2
⑪日中一時支援事業	1	2	1	2

問62 【問 55、57、59、61 にある障害福祉サービスを利用している方や、今後利用したい方にお聞きします】 サービス等利用計画の作成について、どのように進めていきたいですか。(○はひとつ)

1. 相談支援事業所の相談支援専門員にサービス等利用計画の作成を依頼したい
2. セルフプランを自分や家族で作成したい
3. 通所施設の職員など福祉の知識のある身近な人が支援してくれたら、自分や家族でセルフプランを作成したい
4. まず詳しい内容を聞くために、相談支援事業所の相談支援専門員等に相談したい
5. サービス等利用計画もセルフプランもよくわからない

問63 【これまでに特定相談支援事業所でサービス等利用計画を作成したことがある方にお聞きします】 サービス等利用計画を作成して感じたことはありますか。(○は 4 つまで)

1. ニーズを適切に反映したサービスの提案を受けることができた。
2. サービス等利用計画に沿った形でサービス提供 事業所 等の支援を受けることができた。
3. サービス等利用計画の内容が具体的に分かりやすかった。
4. 相談 支援専門員 が丁寧 に分かりやすく説明してくれた。
5. 課題解決に向けて自分が取り組むべきことが明確になった。
6. サービス等利用計画にニーズが適切に反映されなかった。
7. サービス等利用計画の内容が分かりにくかった。
8. 相談支援専門員の説明が分かりにくかった。
9. 制度そのものが分かりにくかった。
10. その他 ( )

(5) 福祉タクシー利用券・自動車燃料費助成について

問64 あなたは、福祉タクシー利用券や自動車燃料券を利用していますか。利用している方は、その種類（券の色）もお答えください。(○は1つ)

1. 福祉タクシー利用券（黄色券）
2. 福祉タクシー利用券（水色券）
3. 自動車燃料券
4. 利用していない

問65 【問 64 でいずれかの券を利用している（1～3番）と回答した方にお聞きします】 福祉タクシー利用券・自動車燃料券の主な使い道は何ですか。(○はいくつでも)

1. 通勤・通学
2. 福祉施設への通所
3. 医療機関への通院
4. 買い物など日常の用事
5. 文化・教養活動
6. スポーツ・レクリエーション活動
7. 旅行
8. 友人・知人と会う
9. その他 ( )

問66 【問 64 で自動車燃料券を利用している（3番）と回答した方にお聞きします。】 福祉タクシー利用券ではなく、自動車燃料券を選んでいる理由は何ですか。(○は1つ)

1. 自分で運転できるから
2. 家族などが運転する車で移動することが多いから
3. タクシーや公共交通機関の利用が難しいから
4. 自家用車のほうが経済的負担が少ないから
5. 特に理由はない
6. その他 ( )

12. 収入や利用者負担について

問67 あなたご本人の主な収入源をお答えください。(○は3つまで)

1. 一般就労による収入（給与・報酬など）
2. 福祉的就労による収入（工賃など）
3. 事業収入（自営業など）
4. 財産収入（家賃収入など）
5. 年金・手当
6. 生活保護費
7. 家族などからの仕送り
8. 収入はない
9. その他 ( )

問68 あなた（やご家族の方）は、障害福祉サービスの利用者負担について、どのように感じていますか。（○は1つ）

- 1. 非常に負担に感じる
- 2. やや負担に感じる
- 3. あまり負担に感じない
- 4. 障害福祉サービスを利用していない
- 5. 障害福祉サービスを利用しているが、利用者負担はない

13. 市の障害者施策について

問69 あなた（やご家族の方）は、市の障害者施策について、どのように感じていますか。（○は1つ）

- 1. 非常に満足
- 2. やや満足
- 3. やや不満
- 4. 非常に不満
- 5. どちらとも言えない

14. 自由意見

問70 障害福祉に関するご意見やご要望、今後利用したい福祉サービスなどありましたら、ご自由にお書きください。（自由記述）

きょうりよく  
ご協力ありがとうございます。

きこへい  
記入した調査票は、同封の「返信用封筒」に入れて、切手を貼らずに、平成29年2月8日（水）までにポストに投函してください。

ちゆうさひよう  
※封筒やこの調査票には、名前、住所、電話番号などは書かないでください。

〇千葉市障害者生活実態・意向調査票

千葉市障害者生活実態・意向調査

～アンケートへのご協力をお願い～

白旗から、本市の障害者施策にご理解、ご協力をいただき、誠にありがとうございます。  
本市では、来年度に障害者計画・障害福祉計画を策定するにあたり、皆様のご生活状況やご意見・ご要望を把握し、今後の障害者施策の推進に役立てるためのアンケート調査を実施することになりました。つきましては、お忙しいところ恐縮ですが、調査へのご協力をお願いいたします。

この調査は、精神障害者保健福祉手帳または自立支援医療（精神通院医療）受給者証をお持ちの方、及び千葉市療育センター又は千葉市大宮学園に通っている方のうち、発達障害の類型に属する病名での申請がある方の中から、無作為抽出、無記名郵送方式でご回答いただきますので、ご回答された方が特定されたり、個人の回答内容が明らかにされたりすることはありません。ご回答いただいた内容は、統計的に処理した上で、障害者施策を推進するための基礎資料としての活用し、その他の目的で使用されることは一切ありません。  
この調査の趣旨をご理解いただき、調査にご協力いただけるようお願いいたします。

千葉市 保健福祉局 高齢障害部 障害者自立支援課  
平成29年1月

ご記入にあたって

- ① この調査票で「あなたは」とあるのは、封筒のあて名に個人名の記載のある18歳未満の発達障害のあるご本人のことです。また、ご本人の回答を保証者の方が代筆していただくことも可能です。
- ② ご本人が年少の場合や、病氣や障害などの理由で回答できない場合には、ご家族や介助者の方がご本人の立場に立ってご回答ください。
- ③ 回答は、あてはまる選択肢の番号に直接〇印をつけてお返しください。「その他」に回答する場合は、その内容を（ ）内にご記入ください。回答欄に直接記入していただく設問もありますので、その場合は設問の指示にしたがってお書きください。
- ④ この調査票には、名前や住所、電話番号などは書かないでください。
- ⑤ 視覚障害者の方で、点字の調査票を希望する場合は下記の問合せ先にご連絡ください。

記入した調査票は、封筒の「返信用封筒」に入れて、切手は貼らずに  
平成29年2月8日（水）までに、ポストに投函してください。

お問い合わせ 千葉市 保健福祉局 高齢障害部 障害者自立支援課 企画室  
電話：043-245-5175 FAX：043-245-5549

- 問 この調査票でご回答いただくのはどなたですか。（〇は1つ）
- 1. 封筒あて名に個人名の記載のあるご本人、又はご本人の回答を代筆する他の方
  - 2. ご家族の方（ご本人が回答できないため、ご本人の立場に立って回答）
  - 3. その他（ ）

1. ご本人について

問1 あなたの性別をおたずねします。（〇は1つ）

- 1. 男性
- 2. 女性

問2 あなたの年齢について、平成29年1月1日現在の年齢をご記入ください。

問3 あなたのお住まいの区をおたずねします。（〇は1つ）

- 1. 中央区
- 2. 花見川区
- 3. 稲毛区
- 4. 若葉区
- 5. 緑区
- 6. 美浜区

問4 あなたがご持ちの手帳の種類と等級、自立支援医療（精神通院医療）の利用をおたずねします。（〇はいくつでも。手帳をお持ちの方は、カッコ内の等級（程度）にも〇印をつけてください。）

- 1. 身体障害者手帳（1級 2級 3級 4級 5級 6級）
- 2. 療育手帳（㊟ ㊿の1 ㊿の2 ㊿の1 ㊿の2 Bの1 Bの2）
- 3. 精神障害者保健福祉手帳（1級 2級 3級）
- 4. 自立支援医療（精神通院医療）を利用している
- 5. 手帳は持っておらず、自立支援医療（精神通院医療）も利用していない

問5 あなたが受けている最新の診断名をお願いします。（〇はいくつでも）

- 1. 自閉症・自閉的傾向
- 2. 高機能自閉症・高機能広汎性発達障害
- 3. 自閉症スペクトラム障害（ASD）
- 4. 広汎性発達障害（PDD）
- 5. アスペルガー症候群
- 6. 注意欠陥・多動性障害（AD/HD）
- 7. 学習障害（LD）
- 8. 知的障害
- 9. 特に診断は受けていない
- 10. その他（ ）

問6 難病に罹患している方におたずねします。あなたの難病の種類は何ですか。

1. 国が指定する特定疾患（別表で該当する疾患の番号を記入してください。番号はいくつでも。）

2. その他の難病（病名をお書きください： ）

2. 医療機関への受診状況について

問7 あなたは最近1年間に、障害や疾病が原因で医療機関を受診しましたか。（○は1つ）

1. 障害や疾病では受診していない

2. 一時的に受診したが、入院はしていない

3. 1年間継続して受診したが、入院はしていない

4. 一時入院した（入院期間以外に通院した場合も含む）

5. 1年間継続して入院していた

問8 あなたの「医療」についておたずねします。あなたはどの病院に通院していますか。（○はいくつでも）

1. 市内の歩いていける場所

2. 市内の歩いていけない場所

3. 県内の市町村（千葉県以外）

4. 東京都内

5. その他（具体的に： （都道府県） （市区町村）

6. 特に通院していない

3. 家族や介助者について

問9 あなたは、どなたと一緒に暮らしていますか。（○はいくつでも）

1. 母親

2. 父親

3. 兄弟姉妹

4. 祖父母

5. その他の親族

6. 施設（グループホーム等）で暮らしている

7. ひとり暮らし

8. その他（ ）

問10 あなたへの介助について、主な介助者はどなたですか。（○は1つ）

1. 母親

2. 父親

3. 兄弟姉妹

4. 祖父母

5. その他の親族

6. ホームヘルパー

7. ボランティア

8. 介助は受けていない

9. その他（ ）

問11 【問10で主な介助者が家族・親族（1～5番）に○をつけた方におたずねします。】主な介助者の年齢をお答えください。（○は1つ）

1. 20歳未満

2. 20代

3. 30代

4. 40代

5. 50代

6. 60代

7. 70歳以上

問12 【問10で主な介助者が家族・親族（1～5番）に○をつけた方におたずねします。】主な介助者の介助継続年数をお答えください。（○は1つ）

1. 1年未満

2. 1年以上～5年未満

3. 5年以上～10年未満

4. 10年以上～15年未満

5. 15年以上～18年未満

問13 【問10で主な介助者が家族・親族（1～5番）に○をつけた方におたずねします。】主な介助者が困っていることは何ですか。（○はいくつでも）

1. 介助者自身の健康に不安がある

2. 介助者の高齢化に不安がある

3. 代わりに介助を頼める人がいない

4. 緊急時の対応に不安がある

5. 身体的な負担が大きい

6. 精神的な負担が大きい

7. 経済的な負担が大きい

8. 仕事に出られない

9. 長期の旅行や外出ができない

10. 休養や息抜きが時間がない

11. 特に困っていることはない

12. よくわからない

13. その他（ ）

4. 相談や情報入手について

問14 あなた（や保護者・ご家族の方）は、日常生活で困っていることはありますか。（○はいくつでも）

1. 自分では身の回りの事が十分にできない

2. 自分や家族では家事が十分にできない

3. 健康状態に不安がある

4. 介助者の負担が大きい

5. 段差や階段など、住まいに支障がある

6. 外出するのに支障がある

7. 利用したい福祉サービスを十分に利用できない

8. 収入や生活費に不安を感じている

9. 緊急時に支援が得られない

10. 近所の人などとの人間関係に支障がある

11. 将来の生活に不安を感じている

12. 特に困っていることはない

13. その他（ ）

472

3

4

- 問15 あなた（や保護者）が困った時に相談する相手は誰（どこ）ですか。（〇はいくつでも）
1. 家族・親族
  2. 友人・知人
  3. 近所の人
  4. 相談支援事業所
  5. ホームヘルパー
  6. 施設等の職員
  7. 医療関係者（医師・看護師など）
  8. 障害者団体や家族の会
  9. 学校の職員
  10. 養護教育センター
  11. 民生委員・児童委員
  12. 身体障害者相談員・知的障害者相談員
  13. 保健福祉センター
  14. 療育センター
  15. 発達障害者支援センター
  16. こころの健康センター
  17. 相談する相手はいない
  18. その他（ ）
- 問16 あなた（や保護者・ご家族の方）は、どのような相談制度があれば、より便利だと思いますか。（〇はいくつでも）
1. 近所で気軽に立ち寄れる相談
  2. 休日や夜間など緊急時の相談
  3. 専門性の高い職員による相談
  4. 自分と同じ立場の人による相談
  5. 定期的に訪問してくれる相談
  6. フライバシーに配慮した相談
  7. 特に希望はない
  8. その他（ ）
- 問17 あなた（やご家族の方）は、どのような相談方法が相談しやすいですか。（〇はいくつでも）
1. 電話による相談
  2. 電子メールやインターネットによる相談
  3. ファックスによる相談
  4. 手話通訳者のサポートを受けられる相談
  5. その他（ ）
- 問18 あなた（や保護者・ご家族の方）は、福祉に関する情報を、どこから知ることが多いですか。（〇はいくつでも）
1. ちば市政だより
  2. 市のパンフレットなど
  3. 障害者団体などの刊行物
  4. 学校のお知らせ
  5. 市のホームページ
  6. 市以外のホームページ
  7. 新聞・雑誌
  8. テレビ・ラジオ
  9. 施設や福祉サービス事業所
  10. 医療機関
  11. 障害者団体や家族の会
  12. 民生委員・児童委員
  13. 身体障害者相談員・知的障害者相談員
  14. 市の窓口
  15. その他（ ）

## 5. あなたの暮らしについて

6. 災害対策について

問27 あなた（や保護者・ご家族の方）は、地震などの災害が起きた時について、どのようなことを不安に思いますか。（○はいくつでも）

1. 自分や家族だけでは避難できない
2. 自分では助けを呼ぶことができない
3. 災害に関する情報を得るのが難しい
4. 避難所の設備が障害に対応しているか不安
5. 避難所で必要な介助を受けられるか不安
6. 避難所で一般市民と一緒に生活できるか不安
7. 薬や医療的なケアが確保できるか不安
8. 特に不安に思うことはない
9. その他（ ）

問28 あなたは、災害発生に備えて、避難生活に必要な物資（薬や装具等）を、備蓄していますか。（○は1つ）

1. 1週間分以上の備蓄がある
2. 4～6日分くらいの備蓄がある
3. 1～3日分くらいの備蓄がある
4. 備蓄していない

問29 あなたは、災害に対してどのような備えをしていますか。（○はいくつでも）

1. 日頃から家族で災害時の対応を話し合っている
2. 非常持ち出し品の用意、非常食等の備蓄（3日分程度）をしている
3. 非常持ち出し品や備蓄品の中に、障害や難病の状況に応じて必要な医薬品、装具、食料等を用意している
4. 避難所等において医療が受けられるよう、必要な医薬品や医療機関の連絡先などを記録している
5. 家族や近所の人、知人等に、災害が発生したときの手助けをお願いしている
6. 自分の障害のことや緊急連絡先等を記載したカードを作成している
7. 市の避難行動要支援者名簿の作成に当たり、個人情報提供について同意している
8. 食事に転倒防止器具を取り付けている
9. 住居の耐震診断を受け、必要な補強を行っている
10. 災害時に避難する指定避難所（一次避難所）を知っている
11. 地域の防災訓練や勉強会・セミナー等に参加している
12. 特にない
13. その他（ ）

問23 外出先のトイレに望むことは何ですか。（○はいくつでも）

1. 点字で男女の別がわかるようにしてほしい
2. 男女の別やペーパーの位置、洗浄ボタン等を音声案内で知らせしてほしい
3. 絵文字表示を見やすくしてほしい
4. トイレの中を明るくしてほしい
5. トイレの中の段差をなくしてほしい
6. 点字ブロックをつけてほしい
7. 便器等の位置、向きを統一してほしい
8. トイレの中に手すりをつけてほしい
9. エアタオルをつけてほしい
10. トイレに十分な広さがほしい
11. 緊急通報ボタンをつけてほしい
12. 特にない
13. その他（ ）

問24 あなたは日頃、近くの公園を利用していますか。（○は1つ）

1. よく利用する
2. 時々利用する
3. あまり利用しない
4. 全く利用しない

【問24で「1. よく利用する」または「2. 時々利用する」に○をつけた方におたずねします】

問25 あなたが公園を利用する目的は何ですか。（○はいくつでも）

1. 散歩
2. 運動
3. 休息
4. 植物などの自然観賞
5. 昼食
6. 公園を近道に使っている
7. 周辺の散策途中のトイレ利用や休憩
8. 遊び場
9. イベント見学・参加
10. その他（ ）

問26 あなたは、障害者が安心して公園を利用できるようにするために、何が必要だと思いますか。（○はいくつでも）

1. 通路の幅を広げてほしい
2. 手すりをつけてほしい
3. 段差や急な坂をなくしてほしい
4. 点字や音声でわかりやすく情報を伝えてほしい
5. 障害者の利用しやすいトイレを設置してほしい
6. 障害者にとって危険な遊びや運動については利用者にマナーを守るよう指導してほしい
7. ベンチを増やしてほしい
8. 利用しやすい飲み場、手洗い場を設置してほしい
9. 特に必要はない
10. その他（ ）

問30 あなたは、災害で避難する場合に、どのような支援をしてほしいですか。(○はいくつでも)

1. 一人では避難できないので、移動の介助をしてほしい
2. 災害の情報をわかりやすく伝えてほしい
3. 障害の種類や程度に対応した配慮をしてほしい
4. 地域の入にすぐに安否確認等をしてほしい
5. 避難場所の情報を的確に伝えてほしい
6. 特に必要ことはない
7. その他 ( )

## 7. 療育・保育について

問31 保護者・ご家族の方が、あて名のお子さんの障害に気づいたのはいつですか。(○は1つ)

1. 産まれたとき
2. 0歳
3. 1歳
4. 2歳
5. 3歳
6. 4～6歳
7. 7～12歳
8. 13歳以降

問32 保護者・ご家族の方が、あて名のお子さんの障害に気づいたきっかけは何ですか。(○は1つ)

1. 産まれてまもなく病院で知らされた
2. 家族や周りの人が気づいた
3. 乳幼児健診で知らされた
4. 医療機関を受診したときに知らされた
5. 育児相談などで知らされた
6. 保育所(園)・幼稚園の職員が気づいた
7. 小中学校の職員が気づいた
8. その他 ( )

問33 【医師による診断名が出ている方(問5で特に診断は受けていない(9番)に○をつけなかった方)におたずねします。】あなたが、診断・判定を受けたのは何歳の時ですか。(○は1つ)

1. 産まれたとき
2. 0歳
3. 1歳
4. 2歳
5. 3歳
6. 4～6歳
7. 7～12歳
8. 13歳以降

問34 保護者・ご家族の方が、あて名のお子さんの療育・保育について困っている(または以前に困ったことがある)ことはありますか。(○はいくつでも)

1. 療育・保育に関する情報が少ない
2. 希望する施設や保育所(園)・幼稚園に入れない
3. 施設での療育・訓練の機会が少ない
4. 施設での療育・訓練の内容に問題がある
5. 本人の成長に不安がある
6. 友だちとの関係づくりがうまくできない
7. 通園・通所の送り迎えが大変
8. 費用など経済的負担が大きい
9. 小學校入学時の学校選択で困っている
10. 特に困っていることはない
11. その他 ( )

問35 【あなた(あて名のお子さん)が小學校入学前の方におたずねします。】あなたが現在通っているところがありますか。(○はいくつでも)

1. 保育所(園)
2. 幼稚園
3. 特別支援学校の幼稚園部
4. 療育センター
5. 大宮学園
6. 桜木園
7. その他の療育機関
8. 通っている所はない
9. その他 ( )

問36 【あなた(あて名のお子さん)が小學校入学前の方におたずねします。】あなたが小學校(小学部)に入學するとき、どの学校・学級に通わせたいと思いますか。(○は1つ)

1. 小學校の通常学級
2. 小學校の特別支援学級
3. 特別支援学校
4. わからない
5. その他 ( )

問37 【保護者の方におたずねします。】療育・保育から小學校に入學する際に、保護者の同意があった場合、お子さんの支援に関する情報を小學校に提供されることについてどう思いますか。(○は1つ)

1. とてもよいと思う
2. よいと思う
3. あまりよくないと思う
4. よくないと思う

問38 【保護者の方におたずねします。】療育・保育から小学校に入学する際に、保護者の同意があった場合、お子さんの支援についてのどのような情報が小学校に提供されるとよいと思いますか。

(○はいくつでも)

1. 障害の種類や程度
2. 性格の特徴
3. 得意な分野と不得意な分野
4. コミュニケーション能力
5. 接する上で配慮しなければならないこと
6. 家族構成
7. 障害を発症した時期
8. その他 ( )

8. 学校・教育について

この章 (問39～47) は、【在学中の方のみ対象です。  
('あなた' が小学校入学前・学校卒業後の場合は、回答不要です)】

問39 あなたは、主にどの学校・学級等に通っていますか。(○は1つ)

1. 小学校の通常学級
2. 小学校の特別支援学級
3. 特別支援学校の小学部
4. 中学校の通常学級
5. 中学校の特別支援学級
6. 特別支援学校の中学部
7. 高等学校
8. 特別支援学校の高等部
9. その他の学校
10. 通所施設などに通っている
11. どこにも通っていない
12. その他 ( )

問40 あなた (や保護者・ご家族の方) は、学校や教育について、どのようなことで困っていますか。(○はいくつでも)

1. 教育・療育に関する情報が少ない
2. 学校での介助が大変
3. 通学の送迎が大変
4. 教職員の指導・支援の仕方が心配
5. 学校のカリキュラムが本人に合わない
6. 友だちとの関係づくりがうまくできない
7. 療育・訓練を受ける機会が少ない
8. 今後の学校選択について迷っている
9. 学校終了後の進路に不安がある
10. 特に困っていることはない
11. その他 ( )

問41 あなた (や保護者・ご家族の方) は、放課後や夏休みなどの過ごし方について、どのような希望をお持ちですか。(○はいくつでも)

1. 自宅で過ごしたい
2. 地域の友だちと遊びたい
3. 放課後等デイサービスを利用したい
4. 子どもルームを利用したい
5. 部活動などに参加したい
6. 習い事や塾などに行きたい
7. 特に希望はない
8. その他 ( )

問42 【保護者の方におたずねします。】小学校から中学校に入学する際に、保護者の同意があった場合、お子さんの支援に関する情報が中学校に提供されることについてどう思いますか。

(○は1つ)

1. とてもよいと思う
2. よいと思う
3. あまりよくないと思う
4. よくないと思う

問43 【保護者の方におたずねします。】小学校から中学校に入学する際に、保護者の同意があった場合、お子さんの支援についてのどのような情報が中学校に提供されるとよいと思いますか。(○はいくつでも)

1. 障害の種類や程度
2. 性格の特徴
3. 得意な分野と不得意な分野
4. コミュニケーション能力
5. 接する上で配慮しなければならないこと
6. 家族構成
7. 障害を発症した時期
8. その他 ( )

問44 【小学校(小学部)・中学校(中学部)に通っている方におたずねします。】あなたは、中学校卒業後、どのような進路を希望していますか。(○は1つ)

1. 高等学校
2. 特別支援学校の高等部
3. その他の学校
4. 障害福祉サービス事業所(通所施設など)に通いたい
5. 企業などで就労したい
6. わからない
7. その他 ( )

問45 【保護者の方におたずねします。】中学校から高等学校(高等部)に入学する際に、保護者の同意があった場合、お子さんの支援に関する情報が高等学校(高等部)に提供されることについてどう思いますか。(○は1つ)

1. とてもよいと思う
2. よいと思う
3. あまりよくないと思う
4. よくないと思う



問46 【保護者の方におたずねします。】中学校から高等学校（高等部）に入学する際に、保護者の同意があった場合、お子さんの支援についてのどのような情報が高等学校（高等部）に提供されるとよいと思いますか。（○はいくつでも）

1. 障害の種類や程度
2. 性格の特徴
3. 得意な分野と不得意な分野
4. コミュニケーション能力
5. 接する上で配慮しなければならないこと
6. 家族構成
7. 障害を発症した時期
8. その他（ ）

問47 【高等学校（高等部）に通っている方におたずねします。】あなたは、学校卒業後、どのような進路を希望していますか。（○は1つ）

1. 企業等に就職したい
2. 大学・短大に進学したい
3. 専門学校などに通いたい
4. 障害者高等技術専門学校などに通いたい
5. 障害福祉サービス事業所（通所施設など）に通いたい
6. 自宅で就労したい（収入のある仕事）
7. 就労・就学はしないで過ごしたい
8. わからない
9. その他（ ）

9. 日中活動・就労について

この章（問48、49）は、【学校卒業後の方のみ対象です。  
（「あなた」が小学校入学前・在学中の場合は、回答不要です）

問48 あなたは、平日の日中を主にどのように過ごしていますか。（最もあてはまるものにひとつだけ○）

1. 正職員として働いている
2. パート・アルバイトなど働いている
3. 福祉的就労をしている（作業所など）
4. 自宅で就労している（収入のある仕事）
5. 福祉的就労以外の通所施設に通っている
6. 自宅で家事や手伝いをしている
7. 職業訓練中
8. 就労活動中
9. 特に何もしていない
10. その他（ ）

問49

あなたは、障害のある人が企業などで一般就労するためには、どのような支援が必要だと思いますか。（○はいくつでも）

1. 仕事探しから就労までの総合的な相談支援
2. 働くための知識や能力を身につけるための職業訓練
3. 職場を理解するための就労体験
4. 障害の特性に合った職業・雇用の拡大
5. 障害者向けの求人情報の提供
6. 障害理解を促進するための職場への働きかけ
7. 職場施設のバリアフリー化
8. 障害や病気の状態に応じた柔軟な勤務形態
9. ジョブコーチなど職場に定着するための支援
10. 特に必要なことはない
11. わからない
12. その他（ ）

10. 運動やスポーツについて

問50

あなたは、運動やスポーツをしていますか。  
（学校に通っている方は、学校の授業を除く）

1. している
2. していたが、今はやっていない
3. 今まで運動やスポーツをしたことがない

問51

【問50で「1. している」に○をつけた方におたずねします】

あなたは、どのくらいの頻度で運動やスポーツをしていますか。

1. 週に3回以上
2. 週に1～2回
3. 月に1～3回
4. 年に1～11回

問52 【問50で「1. している」または「2. していたが、今はやっていない」に○をつけた方に  
おたずねします】あなたがやっている(行っている)運動やスポーツの種目は何ですか。  
(あてはまるものすべてに○)

1. ウォーキング	2. ランニング・マラソン	3. ラジオ体操・健康体操
4. ヨガ・太極拳	5. ウェイトトレーニング	6. ダンス
7. エアロビクス	8. 水泳	9. ゴルフ
10. 野球・ソフトボール	11. サッカー・フットサル	12. ラグビー
13. バスケットボール	14. 陸上競技	15. ハンボル・ホ・ワトボール
16. ハンドボール	17. テニス・ソフトテニス	18. バドミントン
19. 卓球	20. アイススケート	21. スキー・スノーボード
22. 柔道	23. 剣道	24. 空手・合気道
25. ゲートボール	26. ボウリング	27. クラウンドゴルフ
28. 登山・キャンプ	29. サイクリング	30. ヨット・サーフィン
31. トライアスロン	32. バークゴルフ	
【上記を除く全国障害者スポーツ大会競技】		
33. アーチERY	34. グランドソフトボール	35. 車椅子バスケットボール
36. サウンドテーパーテニス	37. フットベースボール	38. フライングディスク
【上記を除くパラリンピックの公式競技等】		
39. ウィルチエアークビー	40. カヌー	41. 車いすテニス
42. 車いすフェンシング	43. ゴールボール	44. 電動車椅子サッカー
45. 5人制サッカー(視覚障害者)	46. 7人制サッカー(視覚障害)	
47. シッティングバレーボール	48. 自転車競技	49. 射撃
50. セーリング	51. テコンドー	52. トライアスロン
53. 馬術	54. パワーリフティング	55. ボート
56. ボッチャ		
57. その他( )		

問54 【問50で「3. 今まで運動やスポーツをしたことがない」に○を付けた方におたずねし  
ます】あなたがスポーツをしない理由は何か。(あてはまるものすべてに○)

1. スポーツができる場所がないため
2. スポーツをする施設が受け入れてくれないため
3. 指導してくれる人がいないため
4. 上手にスポーツができる自信がないため
5. スポーツをするために必要な器具や用具がないため
6. 経済的に無理であるため
7. 一緒にスポーツをする仲間がないため
8. 介助などのボランティアがないため
9. 障害の程度が重く、スポーツは無理であるため
10. 今のスポーツをやたらよいかわからないため
11. してみたいスポーツがないため
12. スポーツが嫌いだから
13. 忙しくて時間がないから
14. その他( )

11. 将来について

問55 あなたは将来、どのような暮らし方をしたいと思いますか。(○は1つ)

1. 自宅で家族と暮らしたい
2. 自宅でひとり暮らしをしたい
3. グループホームなどに入居したい
4. 障害者の入所施設に入りたい
5. わからない
6. その他( )

問56 あなたは、障害のある人が地域で生活していくためには、何が必要だと思いますか。(○は3つまで)

1. 地域の人たちの障害に対する理解
2. 地域生活に関する相談支援
3. 訪問系サービスの充実
4. 日中活動系サービスの充実
5. 自立生活のための訓練・体験
6. グループホームなどの拡充
7. 障害者のための住宅の確保
8. 医療体制の充実
9. 就労のための支援
10. 災害時の支援
11. 道路・交通・建物のバリアフリー化
12. 経済的負担の軽減
13. 特に必要なことはない
14. わからない
15. その他( )

問57 【主な介助者の方におたずねします。】今あなたが介助をしている人に、将来どのような暮らし方をしてほしいと思いますか。（○は1つ）

1. 自宅で家族と暮らしてほしい
2. 自宅でひとり暮らしをしてほしい
3. グループホームなどに入居してほしい
4. 障害者の入所施設に入ってほしい
5. わからない
6. その他（ ）

## 12. 障害のある人の理解度

問58 あなたは地域で生活をしていて、差別を感じることがありますか。（○は1つ）

1. 頻繁に感じる
2. 時々感じる
3. あまり感じない
4. 感じない
5. わからない

問59 あなたは、障害のある人に対する市民の理解が、どの程度あると感じていますか。（○は1つ）

1. よく理解されている
2. おおむね理解されている
3. あまり理解されていない
4. まったく理解されていない
5. わからない

問60 障害者への差別をなくすことを目的として、平成28年4月1日に「障害者差別解消法」が施行されましたが、このことを知っていますか。（○は1つ）

※障害者差別解消法は、すべての国民が、障害の有無によって分け隔てられることなく、相互に人格と個性を尊重し合いながら共生する社会の実現に向け、障害を理由とする差別の解消を社会において推進することを目的に制定され、平成28年4月1日に施行されました。

1. 内容まで知っている
2. 名前だけは知っている
3. 知らない

問61 あなたは、障害者が選挙の投票をしやすいするために、投票所に何が必要だと思いますか。（○はいくつでも）

1. 候補者情報を点字や音声で伝えてほしい
2. 段差をなくしてほしい
3. 重いすを貸してほしい
4. 投票しやすいようサポートする人を配置してほしい
5. 代連投票制度を活用しやすくしてほしい
6. コミュニケーションボード等を活用し、障害者にわかりやすく、投票方法等について説明してほしい
7. 特に必要ことはない
8. その他（ ）

問62 あなたは、障害者に対する理解をより深めるために、どのようなことを行政に取り組んでもらいたいですか。（○は2つまで）

1. 障害者理解のための学校教育の普及
2. 広報などによる啓発活動の推進
3. 障害者の活動や団体の活動の紹介
4. ボランティアの活動の推進
5. 障害のある人と参加できるスポーツ・文化活動の推進
6. 障害のある人に配慮した公共施設や道路の整備
7. 障害者福祉に関する広報やパンフレットの作成
8. 特にない
9. その他（ ）

問63 あなたは、障害者に対する理解をより深めるために、どのようなことを企業に取り組んでもらいたいですか。（○は2つまで）

1. 社賞に対して障害者雇用の意義を、研修を通じて伝えていく
2. 就労を自覚している障害者のいる特別支援学校等を見学する
3. 障害者を雇用している企業の見学を行う
4. 障害者雇用の実習を受け入れる
5. 社賞が障害の種類や程度に対応して、コミュニケーションできるようにする
6. 障害者とともに職場で働く上での配慮すべきことをまとめたパンフレットやマニュアルを作成する
7. 特にない
8. その他（ ）

問64 障害者への理解を深めるために、障害者自身がどのような取り組みをしていく必要があると思いますか。(○は2つまで)

- 1. 障害者差別解消法の合理的配慮等、障害者の人権に関する法律や制度への理解を深める
- 2. スポーツ大会やイベント等、地域の人々との交流の場へ積極的に参加する
- 3. まちづくりや地域づくり等に障害者の視点を反映できるようにしていく
- 4. 障害者団体に参加し、様々な活動を通じて市民と関わっていく
- 5. 障害者の視点から、障害者理解のためのパンフレット等がより市民にわかりやすいものとなるよう工夫していく

6. 職場においても、自分の能力や個性を活かして仕事をしていく

7. 特にない

8. その他（ ）

※合理的配慮とは、行政機関等へ障害者から社会的障壁の除去を必要としている旨の意思の表明があった場合に、その実施に伴う負担が過重でないときは、社会的障壁(バリア)を除去するための必要かつ合理的な取組を行わなければならないことです。(民間事業者については努力義務)

問65 社会的障壁の除去に向けて、合理的配慮を進めていくために必要なことは何だと思われますか。(○は2つまで)

- 1. 市民や民間事業者に対して障害者差別解消法に関する周知・啓発
- 2. 障害者差別解消法に係るセミナー等の開催
- 3. 障害当事者を講師とした市民・民間事業者向けの研修
- 4. 筆談、読み上げ、手話など障害者の特性に応じたコミュニケーション手段の設置
- 5. 意思疎通のために絵や写真カード、ICT機器（タブレット端末等）等の活用
- 6. 各種障害者に関するマークの周知・啓発
- 7. 特にない
- 8. その他（ ）

13. サービス利用について

(1) 訪問系サービス

問66 あなたは、次のような訪問系サービスを利用していますか。また今後利用したいと思いますか。すでに利用している方も、今後利用したいかどうかをお答えください。

(①～⑤のそれぞれのサービスについて、回答欄Aは1・2のどちらか、回答欄Bは1・2のどちらかに○をつけてください。)

サービス名	サービスの内容	回答欄 (A)		回答欄 (B)	
		現在の利用状況		今後の利用希望	
		利用している	利用していない	利用したい	利用しない
①居宅介護（ホームヘルプ）	自宅で、身体介護や家事援助などの支援を行います。	1	2	1	2
②重度訪問介護	重度の肢体不自由者、重度の知的障害者・精神障害者に、入浴、排せつ、食事などの介護を総合的に行います。	1	2	1	2
③行動援護	行動障害のある知的障害者・精神障害者に、移動介護や危険回避等の援護を行います。	1	2	1	2
④重度障害者等包括支援	常に介護を必要とする障害者に、居宅介護などのサービスを包括的に提供します。	1	2	1	2
⑤同行援護	移動に著しい困難を有する視覚障害者に、移動時及び外出先で、情報支援や移動援護などを行います。	1	2	1	2

問67 あなたは、訪問系サービスの利用に困っていることがありますか。(○はいくつでも)

- 1. サービスの内容や使い方がよくわからない
- 2. サービスに関する情報が少ない
- 3. 利用したいサービスが利用できない
- 4. サービス利用の手続きが大変
- 5. 事業者との日時などの調整が大変
- 6. 利用できる回数や日数が少ない
- 7. サービスの質について困っている
- 8. 利用者負担について困っている
- 9. 特に困っていることはない
- 10. その他（ ）

(2) 日中活動サービス

問68 あなたは、次のような日中活動系サービスを利用していますか。また今後利用したいと思いませんか。すでに利用している方も、今後利用したいかどうかをお答えください。  
(①～⑩のそれぞれのサービスについて、回答欄Aは1・2のどちらか、回答欄Bは1・2のどちらかに○をつけてください。)

サービス名	サービスの内容	回答欄 (A)		回答欄 (B)	
		現在の利用状況 利用	利用して いない	今後の利用希望 利用 したい	利用した くない
①生活介護	常に介護を必要とする障害者に、施設などで介護や創作的活動などの機会を提供します。			1	2
②自立訓練 (機能訓練・生活訓練)	自立した日常生活や社会生活を営むことができるように、必要な訓練を行います。	①～⑤については、18歳以上の方を対象としたサービスのため、現在の利用状況は回答不要です。右の今後の利用希望のみ回答してください。			2
③就労移行支援	一般就労を希望する障害者に、就労に必要な知識・能力向上のための訓練を行います。				2
④就労継続支援 (A型・B型)	一般就労が難しい障害者に、生産活動などの訓練を行います。	1			2
⑤療養介護	医療を要する障害者に、病院などで機能訓練や看護、介護などを行います。	1			2
⑥短期入所 (ショートステイ)	介護者が病気等のときに、短期間、施設で必要な介護等の支援を行います。	1	2		2
⑦児童発達支援	日常生活における基本的な動作の指導や、集団生活への適応訓練を行います。	1	2		2

サービス名	サービスの内容	回答欄 (A)		回答欄 (B)	
		現在の利用状況 利用 している	利用して いない	今後の利用希望 利用 したい	利用した くない
⑧放課後等 デイサービス	学校の授業の終了後または 夏休み等の休業日に、生活 能力向上のために必要な 訓練・社会交流促進等を行 います。	1	2	1	2
⑨保育所等 訪問支援	障害児が通う保育所等を訪問 し、集団生活への適応のため の専門的な支援を行います。	1	2	1	2
⑩ 医療型児童 発達支援	日常生活における基本的な 動作の指導や、集団生活への 適応訓練等と治療を行います。	1	2	1	2
⑪その他の 通所施設	(具体的なサービス名をお書 きください： )	1	2	1	2

問69 あなたは、日中活動系サービスの利用に関して困っていることがありますか。(○はいくつでも)

1. サービスの内容や使い方がよくわからない      3. 利用したいサービスが利用できない  
2. サービスに関する情報が少ない      5. 事業者との日時などの調整が大変  
4. サービス利用の手続きが大変      7. サービスの質について困っている  
6. 利用できる回数や日数が少ない  
8. 他の利用者との関係について困っている  
9. 利用者負担について困っている  
10. 特に困っていることはない  
11. その他 ( )

(3) 居住系サービス

問70 あなたは、次のような居住系サービスを利用していますか。また今後利用したいと思いますか。すでに利用している方も、今後利用したいかどうかをお答えください。  
(①～③のそれぞれのサービスについて、回答欄Bの1・2のどちらかに○をつけてください。)

サービス名	サービスの内容	回答欄 (A)		回答欄 (B)	
		現在の利用状況 利用している	利用していない	今後の利用希望 利用したい	利用したくない
①共同生活援助 (グループホーム)	夜間や休日、共同生活を行う住居で、相談や日常生活上の援助、入浴、排泄、食事の介護などを行います。	18歳以上の方を対象としたサービスのため、現在の利用状況は回答不要です。右の今後の利用希望のみ回答してください。		1	2
②施設入所支援	障害者支援施設に入所する障害者に対し、主に夜間に入浴、排泄・食事等の介護を行います。			1	2
③障害児入所支援	知的障害児、肢体不自由児または重度の知的障害・肢体不自由が重複している児童を保護し、日常生活の指導等と治療を行います。	1	2	1	2

(4) 地域生活支援事業

問71 あなたは、次のようなサービスを利用していますか。また今後利用したいと思いますか。すでに利用している方も、今後利用したいかどうかをお答えください。(①～⑩のそれぞれのサービスについて、回答欄Aは1・2のどちらか、回答欄Bは1・2のどちらかに○をつけてください。)

サービス名	サービスの内容	回答欄 (A)		回答欄 (B)	
		現在の利用状況 利用している	利用していない	今後の利用希望 利用したい	利用したくない
①相談支援事業	障害者等からの相談に応じ、必要な情報提供や権利擁護のための援助を行います。	1	2	1	2
②成年後見制度利用支援事業	成年後見制度の利用にかかる申立て費用や後見人等報酬の助成をします。	20歳以上の方を対象としたサービスのため、現在の利用状況は回答不要です。右の今後の利用希望のみ回答してください。		1	2
③意思疎通支援事業	意思疎通を図ることに支障のある方に、手話通訳者等を派遣します。	1	2	1	2
④日常生活用具給付等事業	重度障害者に対して、自立生活支援用具等の給付・貸与を行います。	1	2	1	2
⑤移動支援事業	屋外での移動が困難な障害者に対して、外出のための援助を行います。	1	2	1	2
⑥地域活動支援センター	障害者に、創作的活動や生産活動の機会を提供したり、社会との交流を促進します。	1	2	1	2
⑦本人活動支援事業	在宅の知的障害者に対して、ボランティア活動の機会を提供します。	1	2	1	2
⑧訪問入浴サービス事業	自宅に訪問入浴車を派遣して、入浴の機会を提供します。	1	2	1	2
⑨知的障害者職親委託事業	知的障害者が民間事業者等のもとで、生活指導や技能習得訓練などを受けます。	1	2	1	2
⑩生活訓練等事業	視覚障害者等に対して、日常生活に必要な訓練、指導を行います。	1	2	1	2

サービス名	回 答 欄 (A)		回 答 欄 (B)	
	現在の利用状況		今後の利用希望	
	利用している	利用していない	利用したい	利用しない
① 日中一時 支援事業	1	2	1	2

問72 【問66、68、70、71にある障害福祉サービスを利用している方や、今後利用したい方にお聞きします】 サービス等利用計画の作成について、どのように進めていきたいですか。  
(○はひとつ)

- 1. 相談支援事業所の相談支援専門員にサービス等利用計画の作成を依頼したい
- 2. セルフプランを自分や家族で作成したい
- 3. 通所施設の職員など福祉の知識のある身近な人が支援してくれたら、自分や家族でセルフプランを作成したい
- 4. まず詳しい内容を聞くために、相談支援事業所の相談支援専門員等に相談したい
- 5. サービス等利用計画もセルフプランもよくわからない

問73 【これまでに特定相談支援事業所でサービス等利用計画を作成したことがある方にお聞きします】 サービス等利用計画を作成して感じたことはありますか。(○は4つまで)

- 1. ニーズを適切に反映したサービスの提案を受けることができた。
- 2. サービス等利用計画に沿った形でサービス提供事業所等の支援を受けることができた。
- 3. サービス等利用計画の内容が具体的に分かりやすかった。
- 4. 相談支援専門員が丁寧に分かりやすく説明してくれた。
- 5. 課題解決に向けて自分が取り組むべきことが明確になった。
- 6. サービス等利用計画にニーズが適切に反映されなかった。
- 7. サービス等利用計画の内容が分かりにくかった。
- 8. 相談支援専門員の説明が分かりにくかった。
- 9. 制度そのものが分かりにくかった。
- 10. その他 ( )

(5) 福祉タクシー利用券・自動車燃料費助成について

問74 あなたは、福祉タクシー利用券や自動車燃料券を利用していますか。利用している方は、その種類(券の色)もお答えください。(○は1つ)

- 1. 福祉タクシー利用券 (黄色券)
- 2. 福祉タクシー利用券 (水色券)
- 3. 自動車燃料券
- 4. 利用していない

問75 【問74でいずれかの券を利用している(1～3番)と回答した方にお聞きします】 福祉タクシー利用券・自動車燃料券の主な使い道は何ですか。(○はいくつでも)

- 1. 通勤・通学
- 2. 福祉施設への通所
- 3. 医療機関への通院
- 4. 買い物など日常の用事
- 5. 文化・教養活動
- 6. スポーツ・レクリエーション活動
- 7. 旅行
- 8. 友人・知人と会う
- 9. その他 ( )

問76 【問74で自動車燃料券を利用している(3番)と回答した方にお聞きします。】 福祉タクシー利用券ではなく、自動車燃料券を選んでいる理由は何ですか。(○は1つ)

- 1. 家族などが運転する車で移動することが多いから
- 2. タクシーや公共交通機関の利用が難しいから
- 3. 自家用車のほうが経済的負担が少ないから
- 4. 特に理由はない
- 5. その他 ( )

14. 収入や利用者負担について

問77 あなたご本人の主な収入源をお答えください。(○は3つまで)

- 1. 一般就労による収入 (給与・報酬など)
- 2. 福祉的就労による収入 (工賃など)
- 3. 事業収入 (自営業など)
- 4. 財産収入 (家賃収入など)
- 5. 年金・手当
- 6. 生活保護費
- 7. 家族などからの仕送り
- 8. 収入はない
- 9. その他 ( )

問78 あなた (や保護者) は、障害福祉サービスの利用者負担について、どのように感じていますか。(○は1つ)

- 1. 非常に負担に感じる
- 2. やや負担に感じる
- 3. あまり負担に感じない
- 4. 障害福祉サービスを利用していない
- 5. 障害福祉サービスを利用しているが、利用者負担はない

15. 市の障害者施策について
- 問79 あなた（や保護者・ご家族の方）は、市の障害者施策について、どのように感じていますか。（〇は1つ）
1. 非常に満足

2. やや満足

3. やや不満

4. 非常に不満

5. どちらとも言えない

16. 自由意見
- 問80 障害福祉に関するご意見やご要望、今後利用したい福祉サービスなどありましたら、ご自由にお書きください。（自由記述）

ご協力ありがとうございました。

記入した調査票は、同封の「返信用封筒」に入れて、切手を貼らずに、平成29年2月8日（水）までに ポストに投函してください。  
※封筒やこの調査票には、名前、住所、電話番号などは書かないでください。



千葉市障害者生活実態・意向調査

サービス  
事業者の方

～アンケートへのご協力をお願い～

日頃から、本市の障害者施策にご理解、ご協力をいただき、誠にありがとうございます。  
本市では、来年度に障害者計画・障害福祉計画を策定するにあたり、各事業所の運営状況・サ  
ービスの提供状況等のご意見・ご要望を把握し、今後の障害者施策の推進に役立てるためのアン  
ケート調査を実施することになりました。つきましては、お忙しいところ恐縮ですが、調査へ  
のご協力をお願いいたします。

この調査は、市内の障害福祉サービス等事業所を対象としています。  
ご回答いただいた内容は、統計的に処理した上で、障害者施策を推進するための基礎資料とし  
てのみ活用し、その他の目的で使用されることは一切ありません。  
この調査の趣旨をご理解いただき、調査にご協力いただけるようお願いいたします。

平成29年1月  
千葉市 保健福祉局 高齢障害部 障害者自立支援課

ご記入にあたって

- ① 回答は、あてはまる選択肢の番号に直接〇印をつけてお答えください。「その他」に回答  
する場合は、その内容を（ ）内にご記入ください。回答欄に直接記入していただく設  
問もありますので、その場合は設問の指示にしたがってお書きください。
- ② この調査票には、事業所名や所在地、電話番号などは書かないでください。

記入した調査票は、同封の「返信用封筒」に入れて、切手は貼らずに  
**平成29年2月8日（水）までに、ポストに投函してください。**

お問い合わせ

千葉市 保健福祉局 高齢障害部 障害者自立支援課 企画班  
電話：043-245-5175 F A X：043-245-5549

1. 貴事業所について

問1 貴事業所の経営主体は何ですか。（〇は1つ）

- 1. 社会福祉法人
- 2. 医療法人
- 3. 一般社団法人・一般財団法人
- 4. 株式会社・有限会社
- 5. 特定非営利活動法人（NPO法人）
- 6. 協同組合
- 7. 合同会社・合資会社
- 8. その他法人
- 9. 個人医療機関
- 10. 地方公共団体
- 11. その他（ ）

問2 貴事業所の開業年はいつですか

昭和 ・ 平成 年（西暦） 年（西暦）

問3 貴事業所で提供している障害福祉サービス、児童福祉法に基づく障害児サービス等は何  
ですか。ただし、介護保険サービスは除きます。（〇はいくつでも）

- 1. 居宅介護
- 2. 重度訪問介護
- 3. 行動援護
- 4. 重度障害者等包括支援
- 5. 同行援護
- 6. 短期入所
- 7. 生活介護
- 8. 療養介護
- 9. 自立訓練（機能訓練・生活訓練）
- 10. 就労移行支援
- 11. 就労継続支援（A型）
- 12. 就労継続支援（B型）
- 13. 共同生活援助（グループホーム）
- 14. 施設入所支援
- 15. 地域相談支援（地域移行支援・地域定着支援）
- 16. 計画相談支援（サービス等利用計画・モニタリング）
- 17. 地域活動支援センター事業
- 18. 移動支援事業
- 19. 日中一時支援事業
- 20. 訪問入浴サービス
- 21. 児童発達支援
- 22. 医療型児童発達支援
- 23. 放課後等デイサービス
- 24. 保育所等訪問支援
- 25. 障害児入所支援
- 26. 障害児相談支援
- 27. その他（ ）

問4 貴事業所が事業を展開しているエリア（サービス利用対象者がお住まいの範囲）はどこですか。（○はいくつでも）

1. 千葉市の一部
2. 千葉市内全域
3. 千葉県内
4. その他（）

問5 貴事業所で提供しているサービスを利用されている方は何人ですか。障害別にお答えください。（平成29年1月1日時点の人数）  
重複障害の方については主たる障害についてご回答ください。

1. 身体障害 人
2. 知的障害 人
3. 精神障害 人
4. 雑病等 人

問6 貴運営法人及び貴事業所の平成27年度の事業収支状況はいかがでしたか。（○は各1つ）

【運営法人（介護保険サービス事業所等も含む）の収支状況】

1. 黒字だった
2. ほぼ収支が均衡した
3. やや赤字だった
4. 大幅な赤字だった
5. その他（）

【障害福祉サービス等事業所の収支状況】

1. 黒字だった
2. ほぼ収支が均衡した
3. やや赤字だった
4. 大幅な赤字だった
5. その他（）

問7 貴事業所では経営上何を重視していますか。（○は3つまで）

1. 職員の確保
2. 職員の待遇改善
3. 職員の資質向上
4. 事務作業量の軽減
5. 施設・設備の改善
6. 制度改正などへの対応
7. 収益の確保
8. 運営資金の調達
9. 他の事業者との連携
10. 行政との連携
11. 地域住民等の理解
12. 地域に貢献する活動
13. その他（）

## 2. 職員について

問8 貴運営法人及び貴事業所では業務量に対する職員（人手）の充足具合はいかがですか。（○はそれぞれ1つ）

【運営法人（介護保険サービス事業所等も含む）の職員充足状況】

1. 十分である
2. やや不足している
3. 不足している
4. 非常に不足している
5. わからない

【障害福祉サービス等事業所の職員充足状況】

1. 十分である
2. やや不足している
3. 不足している
4. 非常に不足している
5. わからない

問9 貴運営法人及び貴事業所の職員について、平成28年1月1日から平成28年12月31日までの過去1年間の採用者数と離職者数は何人でしたか。  
（平成28年2月以降に事業を開始した場合は、事業開始日から平成28年12月31日までの採用者数と離職者数を記入してください。）

【運営法人（介護保険サービス事業所等も含む）の採用者・離職者数】

	採用者数	離職者数	離職した勤務年数	
			1年未満	3年未満
常勤職員	人	人	人	人
非常勤職員	人	人	人	人

【障害福祉サービス等事業所の採用者・離職者数】

	採用者数	離職者数	離職した勤務年数	
			1年未満	3年未満
常勤職員	人	人	人	人
非常勤職員	人	人	人	人

※1 運営法人の採用者であり、当該事業所に配属又は異動により転出した者を除く。

※2 1年未満の有期雇用契約により、採用又は退職した者を除く。

【問8の障害福祉サービス等事業所の職員充足状況で、「2 やや不足している」、「3 不足している」、「4 非常に不足している」と回答した事業所にお聞きします。】

問 10 不足と感じる理由について教えてください。(○は2つまで)

1. 離職率が高い（定着率が低い）
2. 採用が困難
3. 事業を拡大したいが人材が確保できない
4. その他（                      ）

【問10で、「2 採用が困難」と回答した事業所にお聞きします。】

問 11 採用が困難な原因はどこにあると思いますか。(○は4つまで)

1. 労働時間が長い
2. 夜勤が多い
3. 休みが取りにくい
4. 雇用が不安定
5. キャリアアップの機会が不十分
6. 賃金が低い
7. 仕事がつい（身体的）
8. 仕事がつい（精神的）
9. 社会的評価が低い
10. わからない
11. その他（                      ）

【全ての事業所にお聞きします。】

問 12 貴事業所では、職員が離職する原因はどこにあると思いますか。(○は4つまで)

1. 職場の人間関係に問題があった
2. 他の職場、仕事に魅力があった
3. 他と比べて賃金が低かった
4. キャリアアップの機会を与えられなかった
5. 結婚・出産・妊娠・育児等のライフイベントに専念するため
6. 人員整理・退職勧奨・法人解散・事業不振等のため
7. 家族の介護・看護のため
8. 病気・高齢のため
9. 定年・雇用期間満了のため
10. わからない
11. その他（                      ）

問 13 貴事業所では人材育成のためにどのような取り組みをしていますか。(○はいくつでも)

1. 事業所内で研修の実施
2. 事業所内で事例検討会の実施
3. 外部研修参加のための休暇取得の支援や金銭的な支援
4. 他事業者への異動・受入（人事交流）
5. 他事業者と合同で研修会の実施
6. 他事業者と合同で事例検討会の実施
7. 職員キャリアパスの導入
8. 指導員（チューター）制度の導入
9. 特に行っていない
10. その他（                      ）

問 14 貴事業所の職員は過去1年間にどのような研修に参加しましたか。(○はいくつでも)

1. 障害福祉サービス制度全般に関する研修
2. 障害者の権利擁護に関する研修
3. 職場のメンタルヘルスに関する研修
4. 苦情対応に関する研修
5. 成年後見制度に関する研修
6. 自立支援給付の請求に関する説明会・研修
7. 利用者支援等に係る実務研修
8. 障害の特性に関する研修
9. サービス管理責任者指導者養成研修
10. 相談支援従事者指導者養成研修
11. 市が実施する集団指導
12. 特に参加していない
13. その他（                      ）

問 15 貴事業所では、人材確保のためにどのような取り組みをしていますか。(○はいくつでも)

1. 求人誌などに人材広告を掲載した
2. インターネットの求人サイトを利用した
3. 人材募集のチラシを配布した
4. ハローワークを通じて募集した
5. 福祉専門学校等で求人を行った
6. 知人経由・人づてで探した
7. ボランティアを受け入れた
8. 特にしていない
9. その他（                      ）

3. サービス提供について

問 16 貴事業所では、サービスを提供する上で、どのようなことが課題となっていますか。

(○は3つまで)

- 1. 量的に、利用者の希望通り提供できていない
- 2. 質的に、利用者の希望通り提供できていない
- 3. 利用者や家族とのコミュニケーションが難しい
- 4. 困難事例への対応が難しい
- 5. 休日や夜間の対応が難しい
- 6. 変更やキャンセルが多い
- 7. 苦情やトラブルが多い
- 8. その他 ( )

問 17 貴事業所では、サービス利用について、利用者やご家族からどのような相談や苦情を受けていますか。(○は3つまで)

- 1. 利用できるサービスがわかりにくい
- 2. 保健福祉センターでの手続きが大変
- 3. 利用できる回数や日数が少ない
- 4. 利用日などが希望どおりにならない
- 5. サービスの質が良くない
- 6. 職員間の申し送りが不十分
- 7. 利用したいサービスが利用できない
- 8. 利用者負担が大きい
- 9. 病状等に関する相談
- 10. 特にない
- 11. その他 ( )

問 18 貴事業所では、サービス向上のためにどのようなことに取り組んでいますか。

(○はいくつでも)

- 1. 困難事例のケース検討会などの開催
- 2. 事業者独自の評価
- 3. 利用者による評価
- 4. 第三者機関の評価
- 5. 専門職の配置
- 6. サービス提供マニュアルの作成
- 7. 緊急時マニュアルの作成
- 8. 事故防止対策
- 9. 利用者への説明の徹底
- 10. 苦情や相談の受付体制の整備
- 11. 特にない
- 12. その他 ( )

【問 18 で、「5 専門職の配置」と回答した事業所にお聞きます。】

問 19 貴事業所で配置している専門職について、職種名と雇用形態をお教えてください。

例)	職種名	雇用形態
	(精神保健福祉士)	(非常勤)
	(医師)	(嘱託)
職種名		雇用形態
( )	( )	( )
( )	( )	( )
( )	( )	( )
( )	( )	( )

問 20 貴事業所では、今後新規に障害福祉サービス等への参入を検討していますか。

(○はいくつでも)

※ 介護保険サービス等は含めないでください。

- 1. 居宅介護
- 2. 重度訪問介護
- 3. 行動援護
- 4. 重度障害者等包括支援
- 5. 同行援護
- 6. 短期入所
- 7. 生活介護
- 8. 療養介護
- 9. 自立訓練 (機能訓練・生活訓練)
- 10. 就労移行支援
- 11. 就労継続支援 (A 型)
- 12. 就労継続支援 (B 型)
- 13. 共同生活援助 (グループホーム)
- 14. 施設入所支援
- 15. 地域相談支援 (地域移行支援・地域定着支援)
- 16. 計画相談支援 (サービス等利用計画・モニタリング)
- 17. 地域活動支援センター事業
- 18. 移動支援事業
- 19. 日中一時支援事業
- 20. 訪問入浴サービス
- 21. 児童発達支援
- 22. 医療型児童発達支援
- 23. 放課後等デイサービス
- 24. 保育所等訪問支援
- 25. 障害児入所支援
- 26. 障害児相談支援
- 27. その他 ( )

【指定特定相談支援事業所・指定障害児相談支援事業所以外の事業所にお聞きします。】

問 21 貴事業所は、特定相談支援事業所・指定障害児相談支援事業所の指定をとる予定はありますか。(○は1つ)

1. 今後指定をとる予定である                      2. 指定をとる予定はない

サービス等利用計画の作成やモニタリング等の計画相談支援は指定特定相談支援事業所・指定障害

児相談支援事業所で行います。

※ 指定特定相談支援事業所・指定障害児相談支援事業所については、10 ページをご覧ください。

問 22 特定相談支援事業所・指定障害児相談支援事業所の指定をとる予定はない場合、その理由をお答えください。

(○は2つまで)

1. 職員体制が整わない                      2. 相談支援専門員がいない  
3. 指定の取り方がわからない                      4. 資金の調達ができない  
5. 事業所の確保ができない                      6. 収益性の確保ができない  
7. その他 (                      )

問 23 指定特定相談支援事業所・指定障害児相談支援事業所についてご意見をお書きください。

問 26 指定一般相談支援事業所についてご意見をお書きください。

- 指定特定相談支援事業所・指定障害児相談支援事業所  
指定特定相談支援事業所は計画相談支援を行う事業所で、サービス等利用計画の作成や計画のモニタリングを行います。  
指定障害児相談支援事業所は障害児相談支援を行う事業所で、児童福祉法に基づく障害児支援利用計画の作成やモニタリングを行います。  
いずれも相談支援専門員の配置と専用の相談室が必要です。市区町村が指定します。

- 指定一般相談支援事業所  
指定一般相談支援事業所は地域相談支援（地域移行支援・地域定着支援）を行う事業所です。地域移行支援では、障害者支援施設入所中の障害者や精神科病院入院中の精神障害のある方々に対し、退所・退院した後の住居探しや地域生活に移行するための支援を行います。地域定着支援では、施設や病院を出て単身生活を始める方々に対し、緊急事態が生じた際の相談や緊急訪問を行います。相談支援専門員の配置と専用の相談室が必要です。都道府県・政令指定都市・中核市が指定します。

問 27 新規サービスに参入する上で課題となることは何ですか。参入の予定がない事業所の方も、参入を想定した場合の課題をお答えください。(○は2つまで)

1. 新たな職員の確保                      2. 障害に対応できる職員の能力育成  
3. 新規サービスのノウハウ獲得                      4. 参入資金の調達  
5. 施設や事業所の確保                      6. 収益性の確保  
7. 特にならない                      8. その他 (                      )

問 28 今後の障害福祉施策の充実に向けて、どのようなことが必要だと思いますか。

(○は3つまで)

1. 地域住民の理解や協力                      2. 地域の相談支援体制の充実  
3. 地域の生活基盤の充実のための方策                      4. 一般就労の促進のための方策  
5. 福祉的就労における工賃向上                      6. 福祉人材の確保のための方策  
7. 事務手続きの簡素化                      8. 利用者負担の軽減  
9. 特にならない                      10. その他 (                      )

#### 4. 障害者の虐待防止について

問 29 貴事業所では虐待防止対策についてどのような取り組みをしていますか。(○はいくつでも)

1. 虐待防止責任者の設置
2. 虐待防止委員会の設置
3. 虐待防止に係る外部研修への参加
4. 事業所内で虐待防止に係る研修・説明会の開催
5. 虐待防止マニュアルの作成
6. 虐待防止連絡体制の整備
7. 職員のメンタルヘルスのための研修を実施
8. 職員にストレスチェックを実施
9. 特に取り組んでいない
10. その他 ( )

#### 5. 災害時の対策について

問 30 貴事業所では災害時の対策についてどのような取り組みをしていますか。(○はいくつでも)

1. 避難行動計画や災害発生時対応マニュアルの作成
2. 定期的に避難訓練を実施
3. 備蓄品の整備
4. 一般就労の促進のための方策
5. ロッカー、棚等の転倒防止措置
6. 緊急連絡網の作成
7. 避難経路の確保
8. 特に取り組んでいない
9. その他 ( )

#### 6. 感染症対策について

問 31 貴事業所では感染症対策についてどのような取り組みをしていますか。(○はいくつでも)

1. 感染症対策マニュアルの作成
2. 職員に対する感染症対策に関する研修等の開催
3. 感染を予防するための備品（使い捨て手袋、マスク、手指消毒薬等）を常備
4. 職員に対する手洗い・うがいの励行
5. 職員・関係機関等への連絡体制の整備
6. 利用者および面会者への注意喚起
7. 特に取り組んでいない
8. その他 ( )

#### 7. 障害者の差別解消について

問 32 社会的障壁の除去に向けて、合理的配慮を進めていくために事業所として特に必要なことは何だと思われますか。(○は3つまで)

1. 地域住民・企業等に向けた周知・啓発
2. 各種障害者に関するマークの周知・啓発
3. 筆談、読み上げ、手話など障害の特性に応じたコミュニケーション手段の設置
4. 意思疎通のために絵や写真カード、ICT 機器（タブレット端末等）等の活用
5. 障害者差別解消法に係るイベントの企画
6. 特にない
7. その他 ( )

##### ※1 障害者差別解消法

障害者差別解消法は、すべての国民が、障害の有無によって分け隔てられることなく、相互に人格と個性を尊重し合いながら共生する社会の実現に向け、障害を理由とする差別の解消を社会において推進することを目的に制定され、平成 28 年 4 月 1 日に施行されました。

##### ○不当な差別的取扱いの禁止

不当な差別的取扱いとは、障害を理由として、正当な理由なく、サービスの提供を拒否したり、制限したり、条件を付けたりするような行為をいいます。行政機関又は民間事業者は、正当な理由なく、障害者の権利利益を侵害してはなりません。

##### ○合理的配慮の提供

行政機関等は、障害者から社会的障壁の除去を必要としている旨の意思の表明があった場合に、その実施に伴う負担が過重でないときは、社会的障壁（バリア）を除去するための必要かつ合理的な取組を行わなければなりません。（民間事業者については努力義務）

## 8. 自由意見

問 33 障害福祉に関するご意見やご要望などありましたら、ご自由にお書きください。

(自由記述)

ご協力ありがとうございました。

記入した調査票は、同封の「返信用封筒」に入れて、切手を貼らずに、

**平成29年2月8日(水)までに** ポストに投函してください。

※封筒やこの調査票には、事業所名、所在地、電話番号などは書かないでください。





**千葉県障害者計画・障害福祉計画策定に係る  
実態調査報告書**

－障害者生活実態・意向調査－

平成 29 年 3 月発行

発 行 千葉県保健福祉局 高齢障害部 障害者自立支援課  
〒260-8722 千葉県中央区千葉港 1-1  
電話 043-245-5175 FAX 043-245-5549